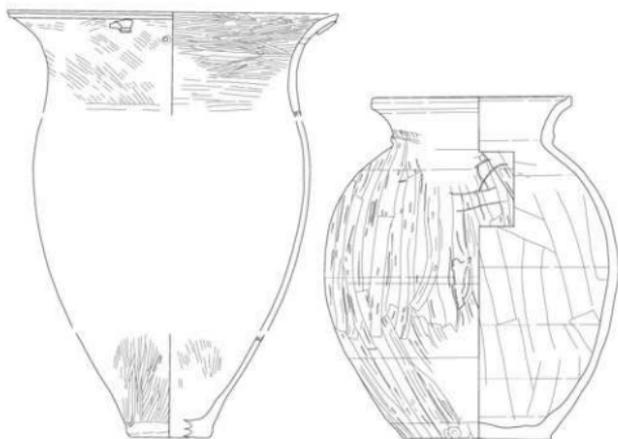


# 石江遺跡群

## 発掘調査報告書VI

-石江土地区画整理事業に伴う発掘調査-

(第1分冊：高間(1)遺跡本文・図版編1)



平成24年度

青森市教育委員会

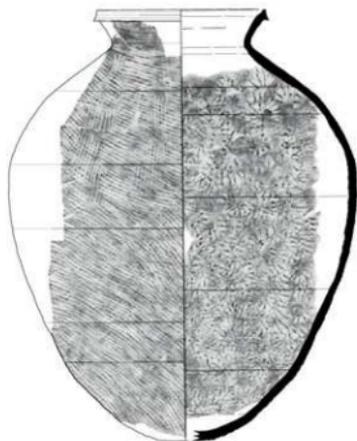


青森市埋蔵文化財調査報告書 第113集-1

# 石江遺跡群

## 発掘調査報告書VI

-石江土地区画整理事業に伴う発掘調査-  
(第1分冊：高間(1)遺跡本文・図版編1)



平成24年度

青森市教育委員会





高間(1)遺跡遠景 (B区、南から)



高間(1)遺跡旧石江神明宮跡 (C-1区、真上から)



高間(1)遺跡 SEa-04(SK-246)出土笹塔婆



高間(1)遺跡 SEa-04(SK-246)出土笹塔婆



高間(1)遺跡 SEa-04(SK-246)出土光背



高間(1)遺跡出土櫛 上: SEa-10(SK-358)  
下: F区 SI-001

## 序

東北新幹線新青森駅周辺の石江土地区画整理事業の事業予定地46haには、20ha以上の面積に七箇所の遺跡が所在していました。

青森市教育委員会では、土地区画整理事業と埋蔵文化財保護の調整について、関係機関と協議を重ね、開発工事に先立ち、記録保存を前提とした発掘調査を実施することとし、平成15年度から発掘調査を継続実施し、ほとんどの発掘調査を終了し、平成21年度から順次、新田(1)・(2)遺跡、新城平岡(2)・(4)・(7)遺跡の発掘調査報告書を刊行しております。

本書は、高間(1)遺跡の発掘調査成果について所収したものであります。

発掘調査の結果、当該地域には、縄文時代から古代・中世・近世・近代と長期的に人々が生活を営んでいたことが判明いたしました。特に、中世の井戸跡から、寛喜三年(西暦1231年)という年号の記された笹塔婆が出土するなど、本市の歴史の中で、初めて年号の記された文字資料が見つかることとなり、学術上、大いに注目されております。

また、太平洋戦争中に投下された焼夷弾が遺跡内から多数出土しており、当時の状況の一部を記録することもできました。

本書が地域の歴史を解き明かしていくうえで、多くの方々に活用いただければ幸いに存じます。

最後となりましたが、発掘調査ならびに本書を刊行するにあたり、ご理解とご指導を賜りました関係機関、関係各位に深く感謝申し上げます。

平成25年3月29日

青森市教育委員会

教育長 月永 良彦



## 例 言

1. 本書は、青森市（担当：都市整備部石江区分整理事務所）より委託を受け、青森市教育委員会が平成15～21年度に発掘調査を実施した石江遺跡群に関する発掘調査報告書である。
2. 本書に掲載される内容は、石江土地区画整理事業に係る石江遺跡群発掘調査の高間（1）遺跡（青森県遺跡台帳番号01070）の調査についてまとめたものである。  
高間（1）遺跡は、平成14年度に青森市教育委員会が実施した試掘確認調査によって、従前の高間（1）遺跡（旧青森県遺跡台帳番号01070）と高間（2）遺跡（旧青森県遺跡台帳番号01071）、高間（3）遺跡（旧青森県遺跡台帳番号01072）、高間（4）遺跡（旧青森県遺跡台帳番号01073）を統合した。遺跡台帳番号は高間（1）遺跡として利用されていた番号を優先した。  
また、統合した際の遺跡範囲から、試掘および発掘調査の結果を踏まえ一部範囲を変更している（平成16年6月1日付け青教文第71号、平成20年6月11日付け青教文第349号）本報告の成果は、範囲変更後の内容を含むものであり、全調査面積は98,505㎡である。
3. 本書に掲載されていない鉄器関連遺物については、石江遺跡群を構成する他遺跡の整理作業が終了する平成25年度に一括して報告する予定である。
4. 本書の作成および編集は青森市教育委員会が行い、木村淳一が担当した。また、発掘調査は小野貴之（青森市教育委員会文化財主査、平成19～21年度担当）、設楽政健（青森市教育委員会文化財主査、平成17年度担当）、相馬俊也（平成15～17年度青森市埋蔵文化財調査員、平成15～17年度担当）が担当した。
5. 基準点測量および遺構測量図化の一部は国際航業（株）に委託を実施した。また、E区の遺構図版編集・作成業務について（株）玉川文化財研究所および（株）三協技術に委託した。なお、成果は部分的な内容であり、最終的な編集は当委員会で行い、図版を作成している。
6. 遺物実測図トレース業務および一部の遺物実測業務については委託を実施した。  
（株）アルカ、（株）イビソク、（株）シン技術コンサル、（株）ラング
7. 巻首図版2の遺物写真撮影は（株）RABサービスに委託した。
8. 本書の作成に際し、石質鑑定を島口天氏（青森県立郷土館）に依頼した。また、掘立柱建物跡について前八戸工業大学教授故高島成佑氏に調査指導を賜り、門下の中村隼人氏（日本建築学会員）に検討して頂いた。また、木簡・笹塔婆の訳読は『木簡研究』第二七号（木簡学会2005）と第二八号（木簡学会2006）の掲載内容を引用し、第4分冊の遺物観察表中に掲載した。
9. 掲載した資料に関する原図・データ等は、一括して青森市教育委員会が保管している。なお、遺物写真図版中に掲載した木簡の赤外線写真については、独立行政法人奈良文化財研究所中村一郎氏による撮影である。
10. 本報告に係る発掘調査および報告書作成にあたって、下記の諸氏・機関等からご指導・ご協力を頂いた。記して感謝申し上げます次第である。（順不同・敬称略）

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所、青森県教育庁文化財保護課、青森県埋蔵文化財調査センター、伊藤武士、井上雅孝、岩田安之、宇部則保、錦江宏之、神原雄一郎、工藤清泰、菅藤淳、榎原滋高、佐々木由香、白鳥文雄、島口天、鈴木弘太、出越茂和、能城修一、藤原弘明、古川淳一、八木光則、渡辺晃宏

# 凡 例

1. 図版番号は、本分冊中の通し番号で表記した。表記方法としては図版番号とともに分冊番号である1を先頭に付した。具体的には「図1-〇」という形にした。

2. 遺構の掲載について

(1) 方位は国土地理院第X系平面直角座標系に基づく座標北である。座標系は旧日本測地系(TOKYO)に基づいている。

(2) 各国の縮尺は以下の縮尺を基本とし、それ以外のものについてはスケールを付して図示した。

1/5,000 1/1,200 1/400 1/300 1/180 1/120 1/100 1/60 1/30

(3) 水平基準は海拔高をメートル(m)で表示した。

(4) 遺構の略号はS I = 竪穴住居跡・竪穴遺構、SK・SKa = 土坑、SE・SEa = 井戸跡、STP・STPa = 溝状土坑(Tピット)、SA = 柵列、SB・SBa = 掘立柱建物跡、SP = ピット、SD = 溝跡、SN = カマド状遺構・炉跡・焼土状遺構、SC = 埋設土器遺構、SX = その他の遺構、SF = 道路跡である。

(5) 遺構番号については、調査区単位で遺構の種類毎に番号を付した。具体的には遺構の略号一番号とした。(例: 第1号竪穴住居跡 = S I - 01) なお、調査区を跨いで検出した遺構について、調査年次単位で個々の遺構名が付され精査されているものがある。本報告にあたっては統括できるものは統括し、遺構種別の変更等も反映したが、番号が重複する場合、遺構略号の前に調査年の西暦下2桁の数字を付した。

(6) 遺構の規模については、基本的に長軸×短軸×深さをcmで表示した。このうち深さについては、遺構確認面からの計測値を記した。

(7) 本書の土層の注記については、『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄1996)に準拠した。

(8) 本書の遺構図中で使用されるドット等の指示については下図のとおりである。

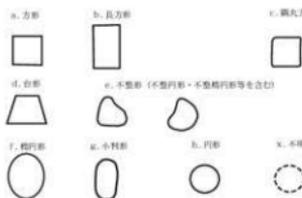
L.B.: ロームブロック  
P.B.: パミスブロック

## 遺構中のドット 種別略号

土器	● P	焼土範囲弱		灰範囲		火床面	
石器・石製品	▲ S	焼土範囲中		火山灰範囲		遺構内遺物範囲	
土製品	◆ CR(伊原) CH(羽口) CF(鉄付着伊原)	焼土範囲強		ローム範囲		硬化面	
鉄製品	▲ F	炭化物範囲		貼土範囲弱			
木製品	● W			貼土範囲強			
骨	■ B	粘土範囲					
植物種子	● NP						
その他	●						

(9) 土坑やピットの観察表中で表記した記号は、当委員会が平成18年度に刊行した『石江遺跡群発掘調査報告書第94集』で提示した分類に基づき提示している。形状の分類については下記に提示する。

## ① 平面プラン



## ② 断面プラン



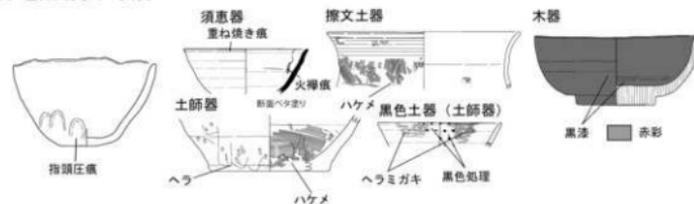
### 3. 遺物の掲載について

- (1) 各図の縮尺は以下のとおりである。なお、一部の資料については下記に提示した以外の縮尺で取り扱ったものもあり、スケールで表記している。

土器 1/3 石器・石製品 1/2・1/3 土製品 1/2・1/3

木製品 1/3・1/6・1/12 古銭 1/1

- (2) 遺物実測図の表現



#### 礎石器・剥片石器



# 目 次

巻首図版  
序  
例言  
凡例  
目次

## 第1章 調査の概要

第1節 調査経過	3
第2節 遺跡の環境	5
第3節 基本層序	5

## 第II章 A区

### 第1節 A-1区

1. 土坑	10
2. その他の遺構	10
3. 溝跡	10
4. 遺構外出土遺物	25

### 第2節 A-2区

1. 土坑	27
2. 井戸跡	30
3. 溝状土坑 (Tビット)	30
4. その他の遺構	30
5. 掘立柱建物跡・ビット	50
6. 溝跡	50

### 第3節 A-3区

1. 土坑	51
2. その他の遺構	51
3. ビット	51
4. 溝跡	51

### 第4節 A-4区

1. ビット	57
2. 溝跡	57

## 第III章 B区

### 第1節 B-1区

1. 堅穴住居跡	61
2. 土坑	61
3. 溝状土坑 (Tビット)	67
4. ビット	69
5. 遺構外出土遺物	71

### 第2節 B-2区

1. 堅穴住居跡	80
2. 土坑	80
3. 溝状土坑 (Tビット)	87
4. ビット	87
5. 溝跡	87
6. 円形周溝状遺構	87
7. 遺構外出土遺物	87

## 第IV章 C区

### 第1節 C-1区

1. 堅穴住居跡	91
2. 土坑	108
3. 溝状土坑 (Tビット)	129
4. 柱穴列・ビット	132
5. 溝跡	161
6. 遺構外出土遺物	161

### 第2節 C-2区

1. 堅穴住居跡	165
2. 土坑	177
3. その他の遺構	181
4. ビット	181
5. 遺構外出土遺物	181

### 第3節 C-3区

1. 堅穴住居跡	188
2. 土坑	202
3. 鉄生産関連炉	225
4. 溝状土坑 (Tビット)	229
5. その他の遺構	230
6. ビット	233
7. 遺構外出土遺物	233

### 第4節 C-4区

1. 土坑	257
2. 溝状土坑 (Tビット)	259
3. ビット	261
4. 遺構外出土遺物	261

## 第V章 D区

### 第1節 D-1区

1. 堅穴住居跡	263
2. 土坑	278
3. 井戸跡	291
4. 溝状土坑 (Tビット)	291
5. ビット	299
6. 溝跡	299
7. 円形・方形周溝状遺構	309

### 第2節 D-2区

1. 堅穴住居跡	309
2. 土坑	321
3. 焼成関連遺構	329
4. 溝状土坑 (Tビット)	329
5. その他の遺構	331
6. 掘立柱建物跡・ビット	334
7. 溝跡	334
第3節 D区遺構外出土遺物	343

報告書抄録 345  
既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

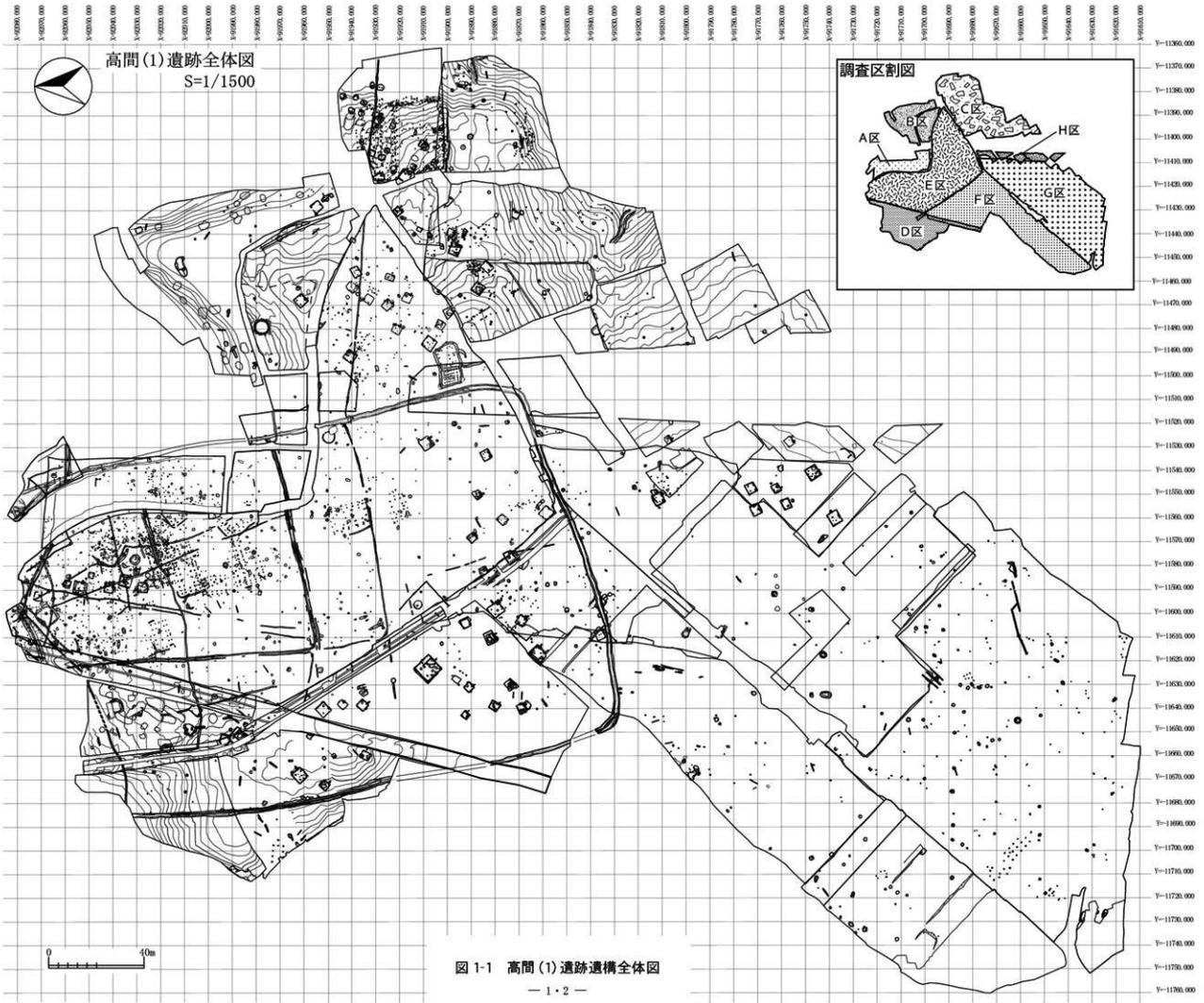


図 1-1 高間(1)遺跡遺構全体図



# 第1章 調査の概要

## 第1節 調査経過

石江土地区画整理事業に伴う石江遺跡群発掘調査の調査経緯および平成15～19年度の調査経過は、平成21年度刊行の第106集『石江遺跡群発掘調査報告書Ⅱ』第1分冊第1章第5節中で掲載した。しかし、調査全体の経過が主眼であった為、先に刊行された石江遺跡群発掘調査報告書Ⅴと同様に本節では高間(1)遺跡を中心に調査経過について掲載する。

平成15年度から本発掘調査を実施した石江遺跡群発掘調査は、原因者である青森市都市整備部石江土地区画整理事務所の実施する工事工程に対応した調査である。その為、遺跡ごとに発掘調査を完了させていく形ではなく、各遺跡の工事で破壊される部分を優先して発掘調査を実施した。

高間(1)遺跡に対しても基本的に同様の措置であるが、遺跡範囲が広大であるとともに、宅地として利用されていた部分が多く、土地承諾の取れた部分を中心に調査着手する方針で進められた。

平成15年度は新城平岡(4)遺跡の調査に続いてA区とした北東側の調査区を調査し、平成16年度はB区とD・E区の一部、平成17年度はC・F・G区の一部とE区、平成18年度はD・G区の一部と細切れで非効率な調査が継続した。平成19年度に入り、建物移転の進捗が上がったこともあり、

面的な調査が実施可能になったこと、平成20年度以降重機による表土処理が土地区画整理事業の工事業者が対応する措置に変更になったこともあり、調査の進捗に応じた迅速な対応が図られることとなった。

結果として、調査対象面積9,850.50㎡について予定通り平成21年度で終了することとなった。

なお、調査の進捗に伴い範囲変更を平成16年6月25日青教文第3811号、平成20年6月11日青教文第349号で二度実施しており、範囲拡張部部も含めて調査は完了している。

整理作業は、土地区画整理事業に伴う石江遺跡群の中では優先度が低く実施しており、木簡等優先度の高い資料を除いた資料の大部分は、新田(1)・(2)遺跡、新城平岡(2)・(4)・(7)遺跡の整理の端境期に部分的に実施するに留まった。新城平岡(2)・(4)・(7)遺跡の整理が終息した平成23年度の後半から本格的に整理作業を実施し、平成24年度中に終了する計画で進められた。

自然科学分析の成果については、石江遺跡群分析編4の中で掲載した。また、高間(1)遺跡についても炉跡の検出と鉄関連遺物の出土があるが、その整理作業は、調査員穴澤義功氏を中心に平成23年度から整理を実施し、平成25年度に自然科学分析を実施予定である。その成果は、新田(1)・(2)

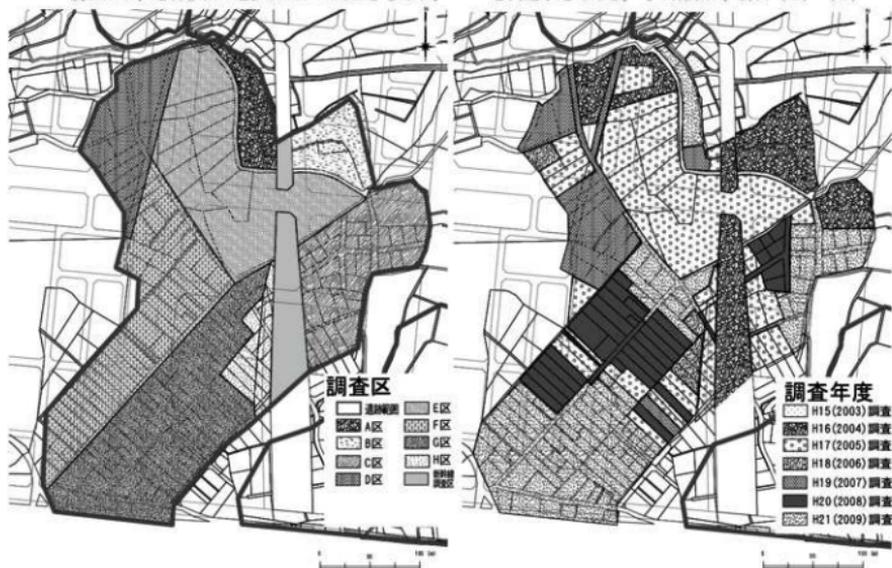


図1-2 高間(1)遺跡調査区・調査年次図



図 1-3 高間(1)遺跡位置図

遺跡、新城平岡（2）・（4）遺跡と同様に石江遺跡群の鉄関連遺物の成果報告として事業最終年度の平成25年度に報告予定である。

## 第2節 遺跡の環境

高岡（1）遺跡は、土地区画整理事業に伴う発掘調査以前は、高岡（1）遺跡（旧台帳番号01070）、高岡（2）遺跡（旧台帳番号01071）、高岡（3）遺跡（旧台帳番号01072）、高岡（4）遺跡（旧台帳番号01073）の四つの遺跡として細かく登録されていた。

土地区画整理事業の事前協議に伴い平成14年度に実施された試掘・確認調査により、四遺跡を統廃合し、高岡（1）遺跡となった。

遺跡は、新城川右岸の河岸段丘に相当する丘陵の一部で、石江堤の東～南側に相当する。標高は4.8～12.2mである。遺跡の東側は谷地形が泥炭層で埋まった状態で、谷地形のボーリング調査の結果は第106集第1分冊第2章第3節に掲載している。発掘調査前の土地利用は、杉林・雑木林、宅地・アパート・畑地・荒蕪地・資材置き場等で、新青森駅周辺に建設された新興の住宅地以外は道路沿いに建てられた建物がほとんどである。

なお、土地の地割が細かく分筆されている地点が多く見られるが、これは昭和の大合併時の1955（昭和30）年前後に村の共有地を分筆したという地元住民の話がある。

また、調査区内では太平洋戦争時に米軍が投下したM-74焼夷弾が多数投下されており、第106集第1分冊第1章第5節中で記載したが、一時不燃ゴミ扱いとされた時期があったが、基本的には青森警察署に通報→自衛隊が回収という取扱いで対処されている。出土位置の記録が残った資料を図1-4に掲載した。西側の新城平岡（4）遺跡地内で3発確認されており（第112集第1分冊図1-338H区遺構配置図参照）、地元住民による話によると戦時中の1945（昭和20）年7月28日の青森空襲の際に石江堤（高岡（1）遺跡の西側、新城平岡（4）遺跡の東側）の地点から市内へ向かって投下され始めたという発言があり、概ね発言内容と整合性が取れているものと判断される。

## 第3節 基本層序

遺跡は丘陵上が主体で、石江遺跡群の他遺跡のように沖積地上や谷地形の底に相当する地点の調査はなく、緩やかな傾斜地が主体である。

土地利用状況が宅地の地点では元々の地盤にシラス等の盛土がなされており、その下位に黒色土が検出する地点が主体を占めた。また、畑地については掘削に伴う改変が顕著で、標高の高いF区の南側な

どの一部の地点では地山まで掘削が及んでいる場合があった。

基本的に黒色～黒褐色土主体の土層、暗褐色土主体の土層、黄褐色土混じりの漸移層、浮石混じりの地山（10YR5/6黄褐色土等月見野火山灰相当）、粘質地山土（10YR4/4褐色土等大谷火山灰相当）が続く、地山土について奥羽本線沿線の地点で法面が良好に観察可能な地点があり、粘土のサンプル採取を行っている。一部テストピースを作成し、焼成を行い色調や胎土の質感等を比較可能な状況とし、胎土分析のサンプルとしても利用したが、青森県立郷土館島口天氏の観察によるといずれの粘土中にも角閃石が含まれ、火山灰起源の粘土である。海綿骨針が含まれる岡町層は地質分布図上では新城川流域上の本遺跡の南西側に存在する扱いになっている。残念ながら近年宅地化や法面改修などで、路頭部が確認できないため、現存状況は確認できない状況にあるが、岡町層の再堆積を含めた段丘形成層や岡町層は本遺跡内で掘削に伴い検出した地山のローム層には含致せず、その下位の深い位置に包含されている可能性が高く、遺跡出土の土師器のほとんどに含まれる海綿骨針のある胎土の原材料は遺跡内の物理的な掘削深度では到達できない可能性が高いものである。

降下火山灰は西側の新城平岡（4）遺跡では十和田a（T<sub>o-a</sub>）火山灰の堆積が基本土層中でも認められたが、本遺跡内では白頭山～苦小牧（B-1m）火山灰が各調査で確認でき、T<sub>o-a</sub>火山灰はC区とF区で部分的に検出した程度である。火山灰の堆積状況にばらつきが生じていた可能性がある。

- 焼夷弾出土測量点
  - 焼夷弾出土目測点(相対位置)
  - ▲ 焼夷収束弾頭部出土地点
- ※位置特定の不確実なものは地面の記録をもとに出土個数を記録



図1-4 高間(1)遺跡焼夷弾出土位置図





## 高間(1)遺跡A区遺構配置図 S=1/600

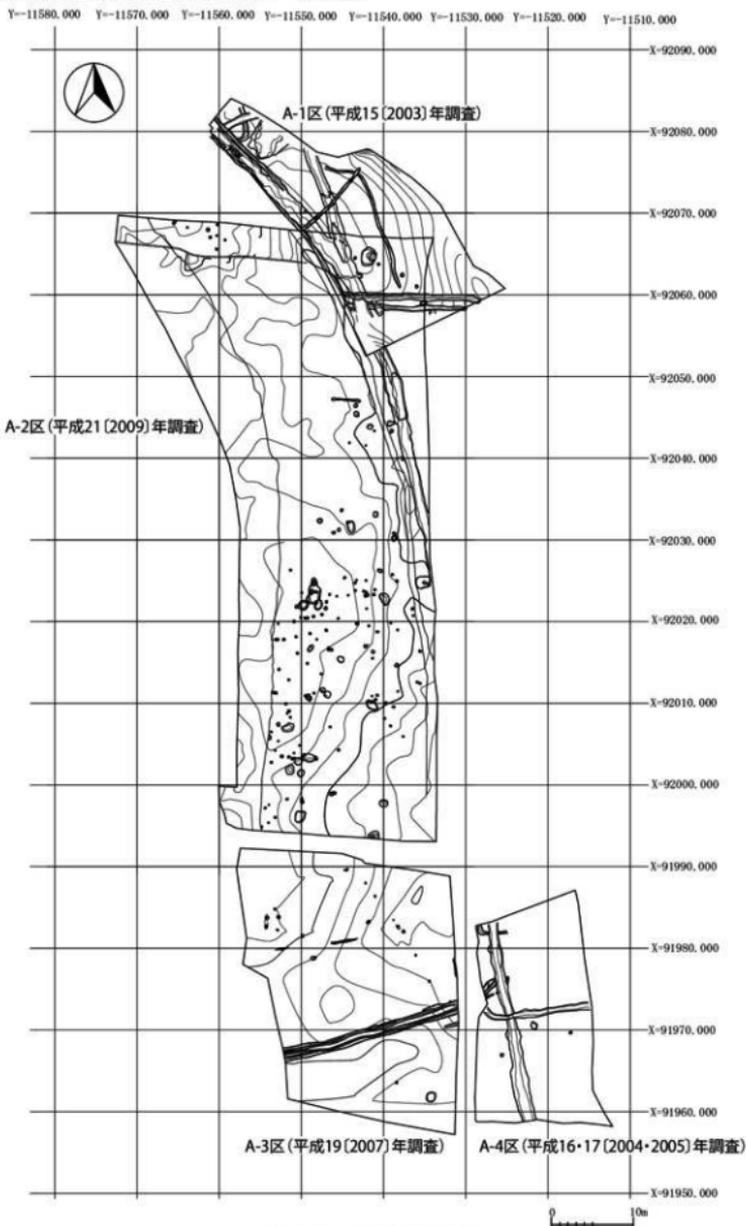


図 1-7 A区遺構配置図

## 第二章 A 区

A区の調査は、平成15～17、19・21年度に3,521.9㎡を対象とし調査を実施している。調査時には隣接するE区としたものが含まれていたが、掲載にあたって、連続性を含めて再整理した。しかし、調査年次だけでなく、調査を担当した担当者がそれぞれ異なっていたため、遺構番号等もその調査区内では完結するものの、隣接する調査区との関連性が追えない資料が多い状況であった。

そこで、調査時の区割をそのまま尊重した上で、A-1～4の小区単位に分け、それぞれの小区ごとに節区分して記載する。また、遺構外出土資料については極端に遺物の出土量が少なく、掲載資料も少ないことから、該当する資料のあったA-1区のみをその節の中で記載した。

調査地点としては遺跡の北東側に相当する。調査地点は東側に傾斜する丘陵の縁辺部に相当し、調査前は杉林と休耕田であった。調査時点でも利用されていた用水部分は調査が不可で、東側の一部が遺跡の範囲拡張前に工事が実施され、一部未精査の地点が伴う。

ただ、南北方向に走る溝跡は調査部分の状況を踏まえると連続したものと考えられ、他の区につながる区画溝と認定できる資料であり、その内容について主たる部分と関連遺構が検出しているE区内で記述し、本調査区内では部分的な関連性のみを記載することとする。

### 第1節 A-1区

#### 1. 土坑

##### SK-01 (図-18)

A-1区中央より南側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $236 \times 176 \times 44$  cmを測る。断面形は東側に一段下がった落ち込みがあり、底面に凹凸がありながら、壁際は垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は5層に分層し、ロームブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。覆土中から縄文土器の体部片が出土した。

##### SK-02 (図-18)

A-1区南側から検出した。SD-07・08と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形円形を呈し、 $83 \times 67 \times 30$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は2層に分層し、ロームブロック混じりの人為堆積状況を呈する。

#### 2. その他の遺構

##### SX-01 (図-19)

A-1区北西側で検出した。北側が調査区外へ延びる形で記録されているが、記録写真を確認したところ、東側の下位は実質的に風倒木による天地返しが生じた堆積である。この状況を前提に判断すると $350 \times 307 \times 50$  cmを測る。断面形は凹凸があり、前述の風倒木による影響で、不整形な形状を呈している。壁は緩やかに立ち上がる部分がほとんどである。堆積土は30層に分層しているが、前述のとおり、風倒木に伴う堆積が第15層以下を基本としている。ただし、調査時に意識した分層がなされていない為、一部の層が混同した状態で記録されている。掲載にあたって原資料を掲載する形としたが、一部崩落に伴う自然堆積状況を呈する。また、土層注記には記録されていないが、上面から火山灰を検出した記録写真と検出範囲の記録がある。種別の記録がなされていない為詳細が不明であるが、写真で確認した限りでは白みを帯びた色調を呈しており、灰である可能性も残されている。覆土中から縄文土器深鉢体部片が出土した。

#### 3. 溝跡

調査後に認定された資料を含め12条の溝跡を検出している。一部は西側のA-2区、さらに西側のE区から延びる溝跡の延長部に相当する資料があるが、A-2区側の残存状況が悪かった為E区から明確に連続性のある状況で確認できた資料は少ない状況である。

##### SD-01 (図-10～14, 16・17・20)

調査区内の南端から北西隅に向かって検出した。調査区内では長さ30.0m、幅260cm、深さ73cmを測る。調査区中央より南側でSD-02と重複しており、SD-02の方が新しい。また、SD-03・05・07・08・10・SDa-01と重複しており、一部新旧の判断がつかない資料が含まれるが、Tピットの可能性が含まれるSD-10以外との関係は本遺構の方が古い取り扱いである。南端でSD-02と合流する部分の溝はA-2区ではSD-001、A-4区ではSD-51b、E区ではSD-51と取り扱われる区画溝と認定できる資料であり、その規模等の情報はE区のSD-51中で一括して記載した。出土遺物は珠洲焼・瀬美窯の壺、土師器・須恵器・製塩土器・縄文土器が出土している。

##### SD-02 (図-13・14・16・17・20)

## 高間(1)遺跡A-1区遺構配置図(平成15年度〔2003年〕調査) S=1/300

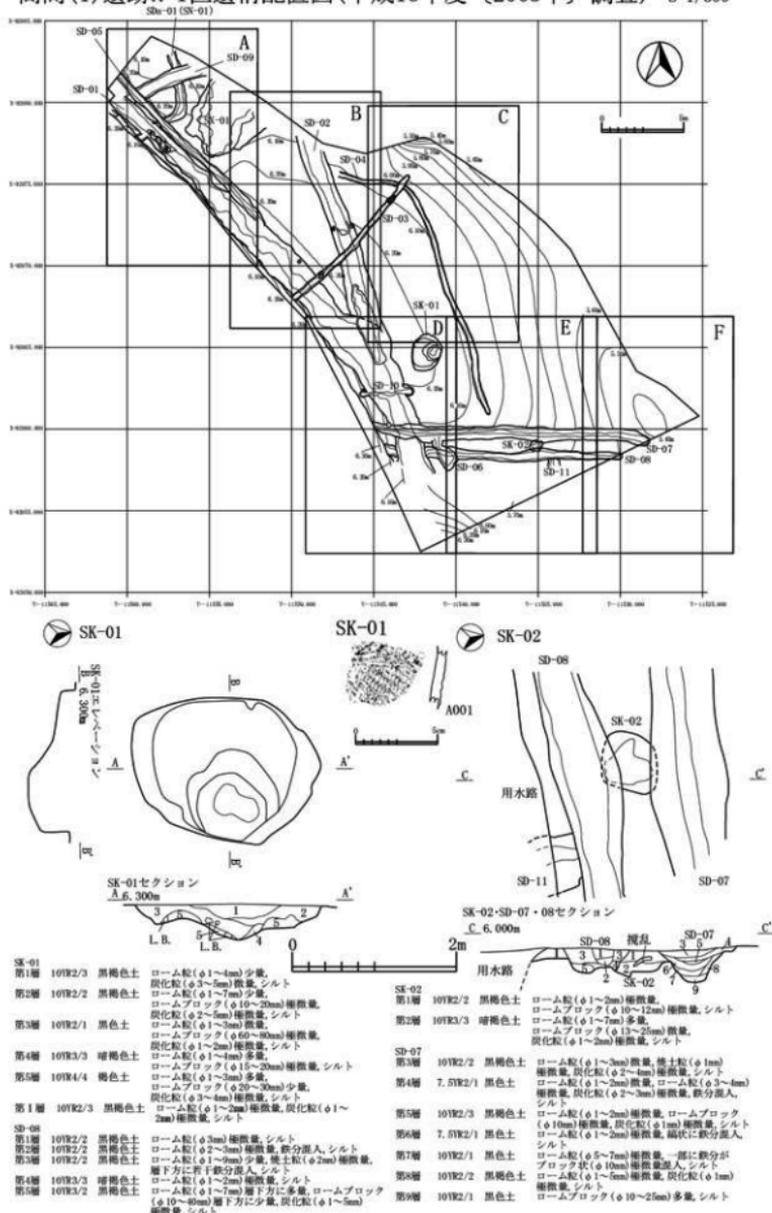
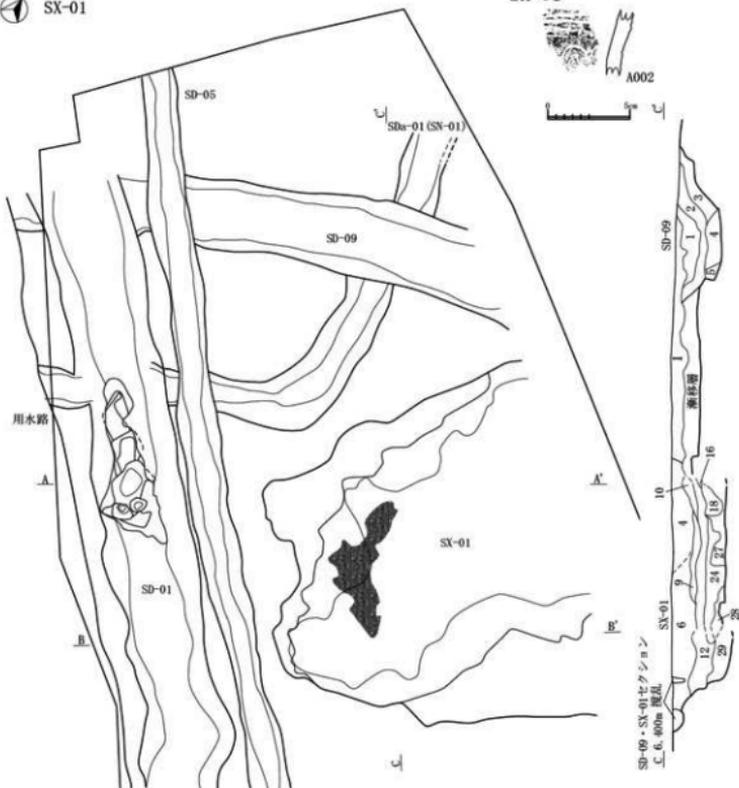


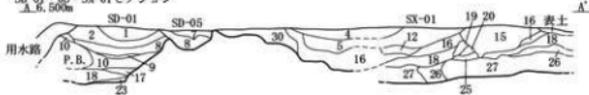
図1-8 A-1区遺構配置図・SK-1

SX-01

SX-01



SD-01・05・SX-01セクション  
A. 6.500m



SD-01・05・SX-01セクション  
B. 6.500m

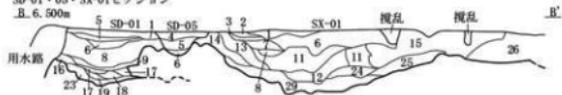


図1-9 A-1区SX-1

SV-01				
第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~8mm)少量,炭化粒(φ1mm)極微量	
第2層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)多量,炭化粒(φ2~3mm)微量	
第3層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量,ロームブロック(φ10mm)極微量,炭化粒(φ2~4mm)極微量	
第4層	7.5YR2/1	黒色土	ローム粒(φ3~4mm)極微量	
第5層	10YR1/7.1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量	
第6層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ4~8mm)・ブロック(φ10~20mm)多量,ロームブロック(φ40~80mm)少量,炭化粒(φ4~5mm)極微量	
第7層	10YR4/2	褐色土	ローム粒(φ4~7mm)多量,ロームブロック(φ15~30mm)少量,炭化粒(φ3~4mm)極微量	
第8層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ12~15mm)極微量	
第9層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量,ロームブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)極微量	
第10層	7.5YR1/7.1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,ロームブロック(φ15~30mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量	
第11層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~40mm)多量,パリスブロック(φ30mm)極微量,炭化粒(φ4~5mm)極微量	
第12層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~40mm)多量,パリスブロック(φ30~40mm)極微量,炭化粒(φ2~4mm)極微量	
第13層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量	
第14層	7.5YR1/7.1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)微量	
第15層	10YR6/8	明黄褐色土	パリス粒(φ5mm)極微量,パリスブロック(φ10~20mm)多量,一部に砂若干混入	
第16層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~7mm)多量,ロームブロック(φ10~20mm)少量,ロームブロック(φ40~6mm)極微量	
第18層	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック(φ10~60mm)主体層	
第19層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量,ロームブロック(φ10~40mm)極微量	
第20層	10YR5/8	黄褐色土	ローム主体層	
第21層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)・ブロック(φ20~80mm)多量	
第22層	7.5YR5/6	明褐色土	軟分選入,粘土,土質	
第23層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~7mm)多量,ロームブロック(φ10~50mm)少量,炭化粒(φ3~9mm)極微量	
第24層	10YR5/6	黄褐色土	パリスブロック(φ10~30mm)多量,炭化物(φ10~30mm)微量	
第28層	10YR5/6	黄褐色土	パリス粒・ブロック(φ5~30mm)主体層	
第29層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ3~5mm)極微量,ロームブロック(φ10~30mm)微量,ロームブロック(φ80mm)極微量	
第30層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)微量,ロームブロック(φ15~35mm)極微量	
SD-01				
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ3~8mm)極微量,シルト	
第2層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量,焼土粒(φ2~4mm)極微量,炭化粒(φ4~9mm)極微量	
第3層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)少量,ロームブロック(φ25mm)極微量,パリス粒(φ3mm)極微量	
第4層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,パリス粒(φ3mm)極微量	
第5層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)多量	
第6層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)極微量	
第7層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~7mm)多量,ロームブロック(φ10~30mm)少量,炭化粒(φ2~5mm)極微量,シルト	
第8層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量,ロームブロック(φ10~15mm)極微量,焼土粒・炭化粒(φ3mm)極微量	
第9層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ4~8mm)極微量,焼土粒(φ4~5mm)微量,シルト,全体的に軟分選入	
第10層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ3~5mm)極微量,焼土に軟分選入	
第11層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)多量,焼土粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ4mm)極微量,織状に軟分選入	
第12層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~7mm)多量,ロームブロック(φ11~20mm)微量,炭化粒(φ2mm)極微量,シルト	
第13層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~6mm)多量,ロームブロック(φ10~15mm)少量,織状に軟分選入,シルト	
第14層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~8mm)多量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,織状に軟分選入	
第15層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量,ロームブロック(φ40mm)極微量,軟分選入	
第16層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)多量,ロームブロック(φ40mm)極微量,織状に非均質の軟分選入,シルト	
第17層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)多量,ロームブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,軟分と若干砂混入	
第18層	10YR4/2	褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量,ローム粒(φ3~5mm)極微量,織状に軟分選入,第1層より多量砂混入	
第19層	10YR6/2	灰黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量,第16層より多量軟分と砂混入	
第20層	10YR4/2	灰黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量,ローム粒(φ5~7mm)極微量,織状に軟分選入,シルト	
第21層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~2mm)多量,炭化粒(φ2~4mm)極微量,シルト	
第22層	10YR5/4	にじみ黄褐色土	ロームブロック(φ20~100mm)主体層,若干砂混入	
第23層	10YR1/7.1	黒色土	砂少量	
SD-05				
第1層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量	
第2層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,砂微量	
第3層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒・ロームブロック(φ1~30mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,砂少量	
第4層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量	
第5層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)極微量	
第6層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量	
第7層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒・ロームブロック(φ1~20mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量	
第8層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量	
SD-09				
第1層	7.5YR1/7.1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量	
第2層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量,ロームブロック(φ20~30mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量	
第3層	10YR2/2	暗褐色土	ローム粒(φ3~4mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)極微量	
第4層	10YR2/3	暗褐色土	ローム粒(φ3~7mm)多量,ロームブロック(φ20~50mm)少量	
第5層	10YR2/2	暗褐色土	ロームブロック(φ30~60mm)多量,ロームブロック(φ10mm)極微量	

調査区内の南端から北側に向かって検出した。調査区内では長さ22.5m、幅185cm、深さ78cmを測る。SD-01・03・07・08・10と重複しており、SD-03より古く、他の遺構より新しい。前述のSD-01とは南側で流路が重複関係となり、南側のA-2区のSD-001ではほとんど同位置となっている。この溝は前述のとおりE区で記載する大規模に区画される区画溝で、D・F区では新旧二段階の溝であると認定できる資料であることから、SD-01と本遺構は区画溝の新旧段階の変遷に伴う構築であると考えられる。覆土中から珠洲焼播鉢の口縁部片が出土している。

## SD-03 (図1-13 ~ 15)

調査区中央、西側から北東方向に構築されており、本調査区内で途切れている。E区SD-22の延長

部に相当する溝跡で、本調査区内では長さ10.5m、幅40.0cm、深さ19cmを測る。SD-01・02・04と重複しており、いずれの遺構よりも新しい。

## SD-04 (図1-13・15・18)

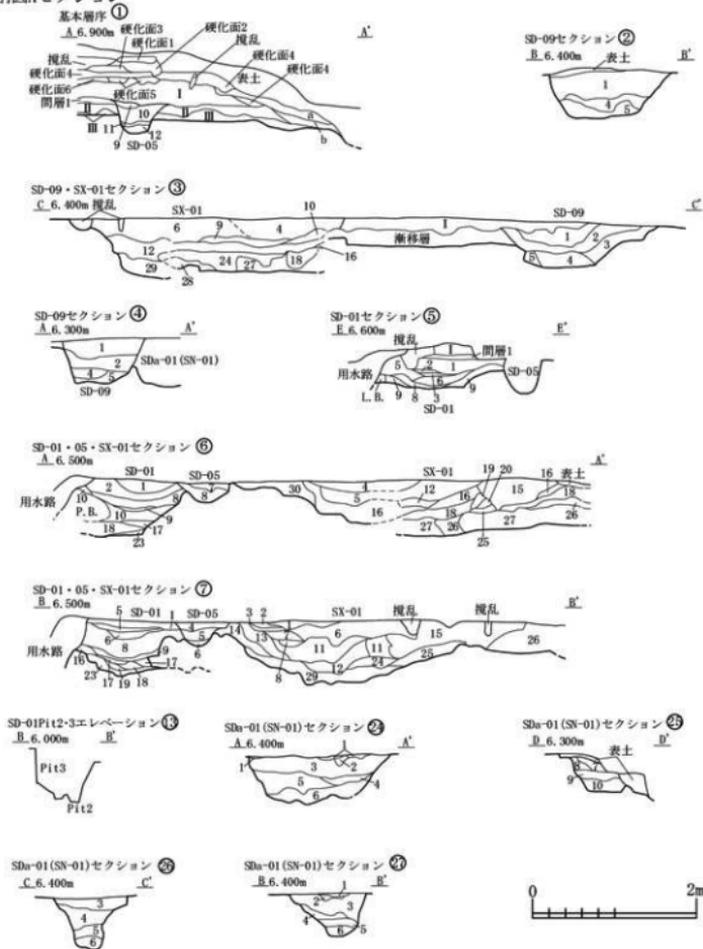
調査区中央から東側の地点で検出し、コンターラインに沿うように弧状を描き、南端が閉じている。長さ18.6m、幅40cm、深さ18.0cmを測る。SD-03と重複しており、本遺構の方が古い。

## SD-05 (図1-10 ~ 14, 20)

調査区北西隅から検出した。SD-01に沿うように構築されており、南端はSD-01との重複部で消えており、実質的にはSD-01の覆土下に存在していたものと考えられる。検出部分の規模は長



## 分割図Aセクション



基本層序セクション ①  
 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )多量、ロームブロック( $\phi 15\sim 20m$ )層上方に少量、炭化粒( $\phi 3\sim 5m$ )散見  
 硬化面1 7.03K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )多量、炭化粒( $\phi 2\sim 3m$ )少量  
 硬化面2 7.03K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )多量、ロームブロック( $\phi 20\sim 25m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見  
 硬化面3 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )多量、ロームブロック( $\phi 15\sim 20m$ )少量、黄土粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見  
 硬化面4 100K4/2 灰黄褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、硬化面より両側で部分崩入が認められる  
 硬化面5 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 3m$ )散見、層上方に硬化面層の土が突入  
 硬化面6 7.03K2/1 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )多量、P.C.S.粒( $\phi 6\sim 8m$ )散見、黄土粒( $\phi 2m$ )散見、微分若干混入  
 間層1 100K2/3 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )多量、炭化粒( $\phi 2\sim 3m$ )散見、炭化屑( $\phi 25m$ )散見  
 第I層 100K2/3 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、シルト  
 第II層 100K2/1 黒褐色土 ローム粒( $\phi 4\sim 7m$ )散見  
 第III層 100K2/3 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )少量、ロームブロック( $\phi 15m$ )散見、神杉層  
 第IV層 100K2/3 黒褐色土 ローム粒( $\phi 2\sim 4m$ )少量、黄土粒( $\phi 3m$ )散見  
 第V層 100K2/2 黒褐色土 炭化粒( $\phi 3\sim 5m$ )散見  
 第VI層 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )少量、炭化粒( $\phi 2\sim 3m$ )散見

SD-05セクション ①  
 第IV層 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )少量、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見  
 第III層 100K2/1 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、黄土粒、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見  
 第II層 100K2/2 黒褐色土 ローム粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見  
 第I層 100K2/2 黒褐色土 100K2/2 黒褐色土の混合土、ローム粒( $\phi 1\sim 5m$ )少量、黄土粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見、炭化粒( $\phi 1\sim 2m$ )散見

図 T-11 A-1 区 SD-2

<b>30-47セクション</b> ㉒ ㉓ ㉔		
第1層 7.5B1, 7/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量
第2層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 2\sim 5m$ )少量, ロームブロック( $\phi 20\sim 30m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第3層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 3\sim 5m$ )微量, 灰化土( $\phi 3\sim 5m$ )極微量
第4層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 3\sim 5m$ )少量, ロームブロック( $\phi 30\sim 30m$ )少量
第5層 10R2/2	黒褐色土	ロームブロック( $\phi 30\sim 40m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10m$ )極微量
<b>30-48セクション</b> ㉕ ㉖ ㉗		
第1層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )少量, 灰化土( $\phi 1m$ )極微量
第2層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )少量, 灰化土( $\phi 2\sim 3m$ )微量
第3層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )少量, ロームブロック( $\phi 12\sim 15m$ )極微量
第4層 7.5B2/1	黒色土	ローム状( $\phi 3\sim 4m$ )極微量
第5層 10R1, 7/1	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )極微量
第6層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ -ブロック( $\phi 10\sim 20m$ )多量, ロームブロック( $\phi 40\sim 60m$ )少量, 灰化土( $\phi 4\sim 5m$ )極微量
第7層 10R4/4	褐色土	ローム状( $\phi 3\sim 7m$ )多量, ロームブロック( $\phi 15\sim 30m$ )少量, 灰化土( $\phi 3\sim 4m$ )極微量
第8層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )少量, ロームブロック( $\phi 12\sim 15m$ )極微量
第9層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )多量, ロームブロック( $\phi 15\sim 20m$ )微量, 灰化土( $\phi 3\sim 5m$ )極微量
第10層 7.5B1, 7/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )極微量, ロームブロック( $\phi 15\sim 30m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量
第11層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 20m$ )少量, ミスブロック( $\phi 3m$ )極微量, 灰化土( $\phi 4\sim 5m$ )極微量
第12層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )少量, ロームブロック( $\phi 20\sim 20m$ )微量, 灰化土( $\phi 2\sim 4m$ )極微量
第13層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )微量
第14層 10R6, 8	明黄褐色土	パリス灰( $\phi 5m$ )極微量, パリスブロック( $\phi 10\sim 20m$ )多量, 一部に砂質土入り
第15層 10R2/2	黄褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 20m$ )少量, ロームブロック( $\phi 60m$ )極微量, 灰化土( $\phi 4\sim 5m$ )極微量
第16層 10R2/3	暗褐色土	ロームブロック( $\phi 10\sim 20m$ )主体層
第17層 10R4/4	黄褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 6m$ )多量, ロームブロック( $\phi 20\sim 40m$ )極微量
第18層 10R6, 8	黄褐色土	ローム土主体層
第19層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )-ブロック( $\phi 20\sim 40m$ )多量
第20層 7.5B2/6	暗褐色土	砂分層, 粘土質土
第21層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 7m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )少量, 灰化土( $\phi 3\sim 4m$ )極微量
第22層 10R2/3	黄褐色土	パリス灰( $\phi 5m$ )-ブロック( $\phi 10\sim 20m$ )多量, 灰化土( $\phi 10\sim 30m$ )微量
第23層 10R6, 8	黄褐色土	パリス灰, ブロック( $\phi 10m$ )主体層
第24層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 3\sim 6m$ )極微量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )微量, ロームブロック( $\phi 10m$ )極微量
第25層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )極微量, ロームブロック( $\phi 15\sim 20m$ )極微量
<b>30-49セクション</b> ㉘ ㉙		
第1層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )少量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第2層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )少量, 灰化土-ブロック( $\phi 10\sim 40m$ )微量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量, 砂微量
第3層 10R2/2	暗褐色土	ローム状, ロームブロック( $\phi 1\sim 30m$ )少量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量, 砂少量
第4層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 20m$ )微量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )微量
第5層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 20m$ )微量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )微量
第6層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 9m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )中量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量
第7層 10R2/2	暗褐色土	ローム状, ロームブロック( $\phi 1\sim 20m$ )少量, 灰化土( $\phi 1\sim 5m$ )極微量
第8層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 8m$ )少量, 焼土粒( $\phi 1\sim 3m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )微量
<b>30-50セクション</b> ㉚ ㉛ ㉜ ㉝		
第1層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )少量, 灰化土( $\phi 3\sim 8m$ )極微量, シルト
第2層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )少量, 焼土粒( $\phi 2\sim 4m$ )極微量, 灰化土( $\phi 4\sim 9m$ )極微量
第3層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 8m$ )少量, ロームブロック( $\phi 25m$ )極微量, パリス灰( $\phi 3m$ )極微量
第4層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 2\sim 4m$ )極微量
第5層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )多量
第6層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 4m$ )極微量
第7層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 7m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )少量, 灰化土( $\phi 2\sim 4m$ )極微量, シルト
第8層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 15m$ )極微量, 焼土粒, 灰化土( $\phi 3m$ )極微量
第9層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )少量, 灰化土( $\phi 4\sim 4m$ )極微量, 焼土粒( $\phi 4\sim 5m$ )微量, シルト, 全球的に砂分層入
第10層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 3\sim 5m$ )極微量, 局所的に砂分層入
第11層 10R2/2	黒褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 8m$ )多量, 焼土粒( $\phi 3m$ )極微量, 灰化土( $\phi 4m$ )極微量, 局所的に砂分層入
第12層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 6m$ )多量, シルト
第13層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 6m$ )多量, ロームブロック( $\phi 10\sim 15m$ )少量, 局所的に砂分層入, シルト
第14層 10R2/3	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )多量, 灰化土( $\phi 1\sim 2m$ )極微量
第15層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )極微量, ロームブロック( $\phi 40m$ )極微量, 砂分層入
第16層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )多量
第17層 10R2/4	暗褐色土	ロームブロック( $\phi 40m$ )極微量, 局所的に暗褐色土の砂分層入, シルト
第18層 10R4/2	灰黄褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 5m$ )多量, 局所的に砂分層入
第19層 10R6/2	灰黄褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )多量, 第16層より多く砂分層入
第20層 10R4/2	灰黄褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )少量, ローム状( $\phi 5\sim 7m$ )極微量, 局所的に砂分層入, シルト
第21層 10R4/4	褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )多量, 灰化土( $\phi 2\sim 4m$ )極微量, シルト
第22層 10R5/4	にじみ黄褐色土	ロームブロック( $\phi 20\sim 100m$ )土主体層, 若干砂入り
第23層 10R1, 7/1	黒色土	砂少量
<b>30-51 (30-51)セクション</b> ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳		
第1層 7.5B5/6	暗褐色土	1. 0.5%明褐色焼土粒( $\phi 1\sim 0.5m$ )少量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第2層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 9m$ )微量, 7. 0.5%明褐色焼土粒( $\phi 1\sim 3m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 5m$ )極微量, 焼土粒( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第3層 10R1, 7/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 9m$ )微量, 7. 0.5%明褐色焼土粒( $\phi 1\sim 3m$ )極微量, 灰化土( $\phi 1\sim 5m$ )極微量, 焼土粒( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第4層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )多量, 焼土粒, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )極微量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )少量
第5層 10R2/1	黒色土	ローム状, ロームブロック( $\phi 1\sim 25m$ )少量, 灰化土( $\phi 1\sim 4m$ )極微量
第6層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 9m$ )中量, ロームブロック( $\phi 10\sim 30m$ )多量, 灰化土( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第7層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 1\sim 3m$ )極微量
第8層 10R2/1	暗褐色土	ロームブロック( $\phi 20\sim 30m$ )多量
第9層 10R2/2	暗褐色土	ローム状( $\phi 2\sim 4m$ )少量, ロームブロック( $\phi 10\sim 25m$ )微量
第10層 10R2/1	黒色土	ローム状( $\phi 1\sim 2m$ )微量, ロームブロック( $\phi 20\sim 40m$ )極微量

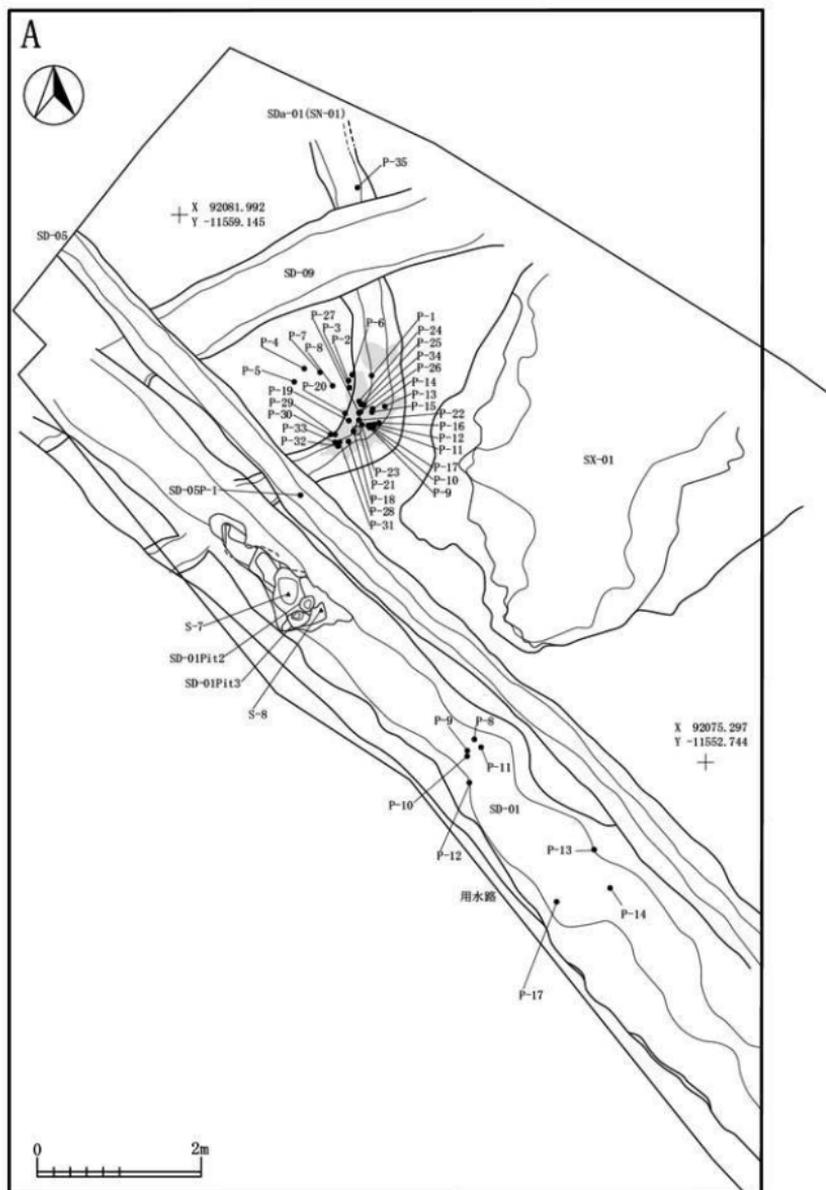


图 1-12 A-1 区 SD-3

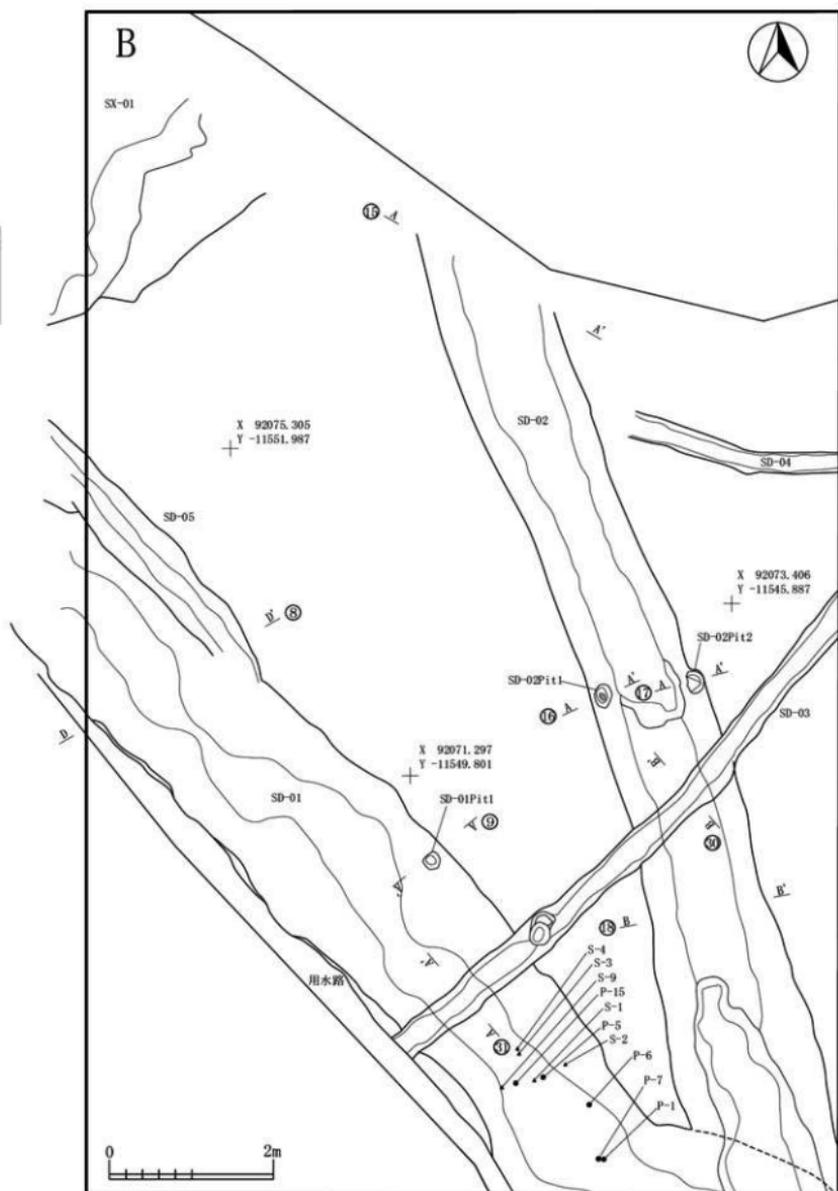
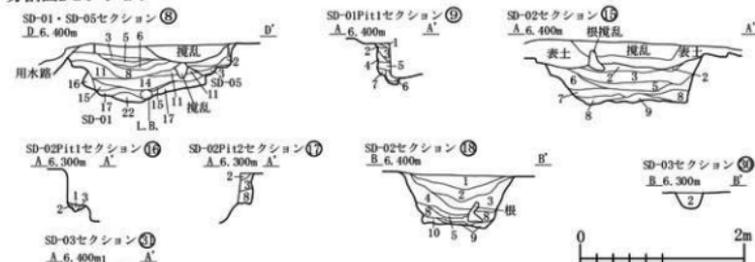


図 1-13 A-1区 SD-4

## 分割図Bセクション



SD-01セクション 第1層 10YR/2/3 黒褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量, 炭化灰 (φ3~8mm) 極微量, シルト
第2層 10YR/2/3 黒褐色土	ローム粒 (φ1~15mm) 少量, 粘土粒 (φ2~4mm) 少量, 炭化灰 (φ4~9mm) 極微量, ロームブロック (φ1~4mm) 少量, ロームブロック (φ25mm) 極微量, パミヌ粒 (φ3mm) 極微量
第3層 10YR/2/3 黒褐色土	ローム粒 (φ2~4mm) 極微量, ローム粒 (φ1mm) 少量, ロームブロック (φ10~20mm) 多量
第4層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~7mm) 多量, ロームブロック (φ10~30mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第5層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~7mm) 多量, ロームブロック (φ10~30mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第6層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~5mm) 多量, ロームブロック (φ10~15mm) 極微量, 粘土粒 (φ2mm) 極微量
第7層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 少量, 炭化灰 (φ4~8mm) 極微量, 粘土粒 (φ4~5mm) 微量, シルト, 全体の鉄分混入
第8層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ3~5mm) 極微量, 腐植鉄分混入
第9層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 多量, ローム粒 (φ1~2mm) 少量, 炭化灰 (φ4~8mm) 極微量, 粘土粒 (φ4mm) 微量, 腐植鉄分混入
第10層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~7mm) 多量, ロームブロック (φ11~20mm) 少量, 炭化灰 (φ3mm) 極微量, シルト
第11層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~4mm) 多量, ロームブロック (φ10~15mm) 少量, 腐植鉄分混入, シルト
第12層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 多量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, 腐植鉄分混入
第13層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 極微量, 炭分混入
第14層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 多量, ロームブロック (φ40mm) 極微量, 腐植鉄分混入, シルト
第15層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~5mm) 多量, ロームブロック (φ10~20mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, 鉄分と砂混入
第16層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ローム粒 (φ3~5mm) 極微量, 腐植鉄分混入, 第15層より多く砂混入
第17層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, 第16層より多く鉄分と砂混入
第18層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 少量, ローム粒 (φ1~7mm) 極微量, 腐植鉄分混入, シルト
第19層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, 炭化灰 (φ2~8mm) 極微量, シルト
第20層 10YR/2/3 暗褐色土	ロームブロック (φ20~30mm) 少量, 粘土粒 (φ2~4mm) 少量, 若干砂混入
第21層 10YR/4/4 褐色土	砂少量
第22層 10YR/5/4 にごり灰褐色土	
第23層 10YR1.7/1 黒色土	
SD-01Pit1セクション 第1層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~8mm) 中量
第2層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 少量, ロームブロック (φ15~40mm) 少量
第3層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1mm) 少量, 炭化灰 (φ1mm) 微量
第4層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量, ロームブロック (φ10mm) 少量
第5層 10YR/2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~5mm) 少量
第6層 10YR/2/1 黒色土	ローム粒 (φ5mm) 多量, ロームブロック (φ12~17mm) 少量
SD-02セクション 第1層 10YR/2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第2層 10YR/2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~4mm) 少量, ロームブロック (φ10~20mm) 多量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第3層 10YR1.7/1 黒色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ15~20mm) 極微量, シルト
第4層 10YR/2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ15~20mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第5層 10YR1.7/1 黒色土	ローム粒 (φ1~4mm) 少量, パミヌブロック (φ20mm) 極微量, シルト
第6層 10YR/2/2 黒褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ15mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第7層 10YR/2/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 多量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, 全体の鉄分混入, シルト
第8層 7.5YR/5/4 明褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ40mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第9層 7.5YR/5/4 明褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ20~30mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第10層 10YR/3/3 暗褐色土	ローム粒 (φ1~4mm) 多量, ロームブロック (φ45mm) 極微量, 炭化灰 (φ1mm) 極微量, シルト
SD-02P11セクション 第1層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量, ローム粒 (φ2~7mm) 多量, 7.5YR10/1に5%褐色粘土質土 (φ30mm) 混入
第2層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~5mm) 少量, ロームブロック (φ30mm) 少量, パミヌ粒 (φ3~5mm) 少量, 7.5YR10/1に5%褐色粘土質土 (φ30mm) 混入
SD-02P12セクション 第1層 10YR1.7/1 黒色土	ローム粒 (φ1~4mm) 少量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第2層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ローム粒 (φ7~9mm) 極微量, ロームブロック (φ15~20mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第3層 7.5YR/5/4 明褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ40mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 多量, ロームブロック (φ40mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト

SD-03セクション 第1層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 微量, 炭化灰 (φ2~2mm) 極微量, シルト
第2層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~3mm) 少量, ロームブロック (φ15mm) 極微量, 炭化灰 (φ1~2mm) 極微量, シルト
第3層 10YR/2/2 暗褐色土	ローム粒 (φ1~2mm) 微量, 炭化灰 (φ1mm) 極微量, シルト

図 1-14 A-1 区 SD-5

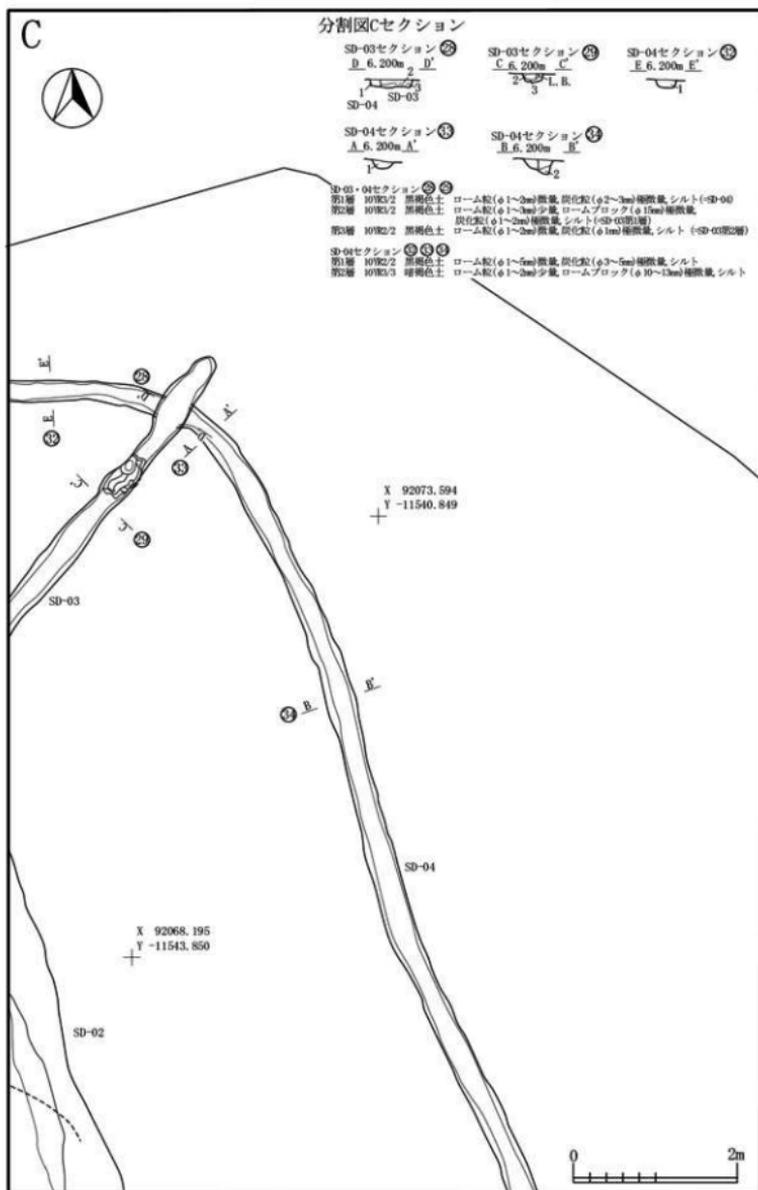


図 1-15 A-1区 SD-6

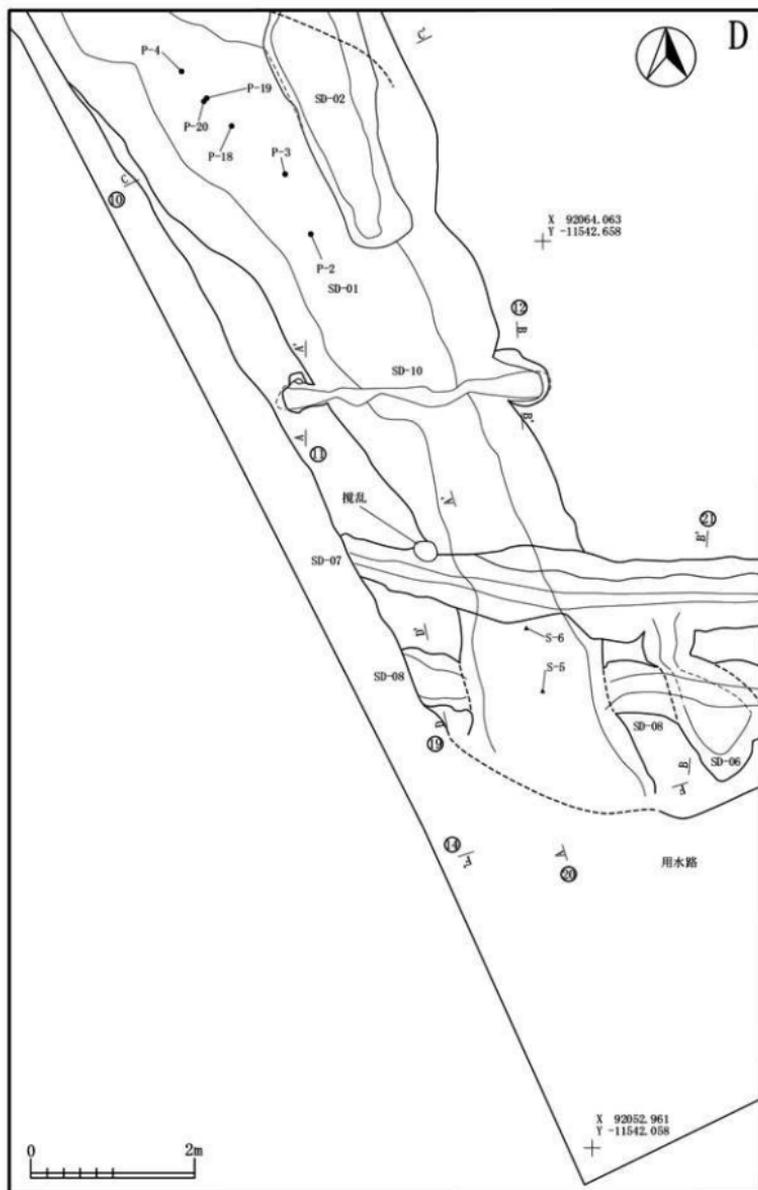


图 1-16 A-1 区 SD-7





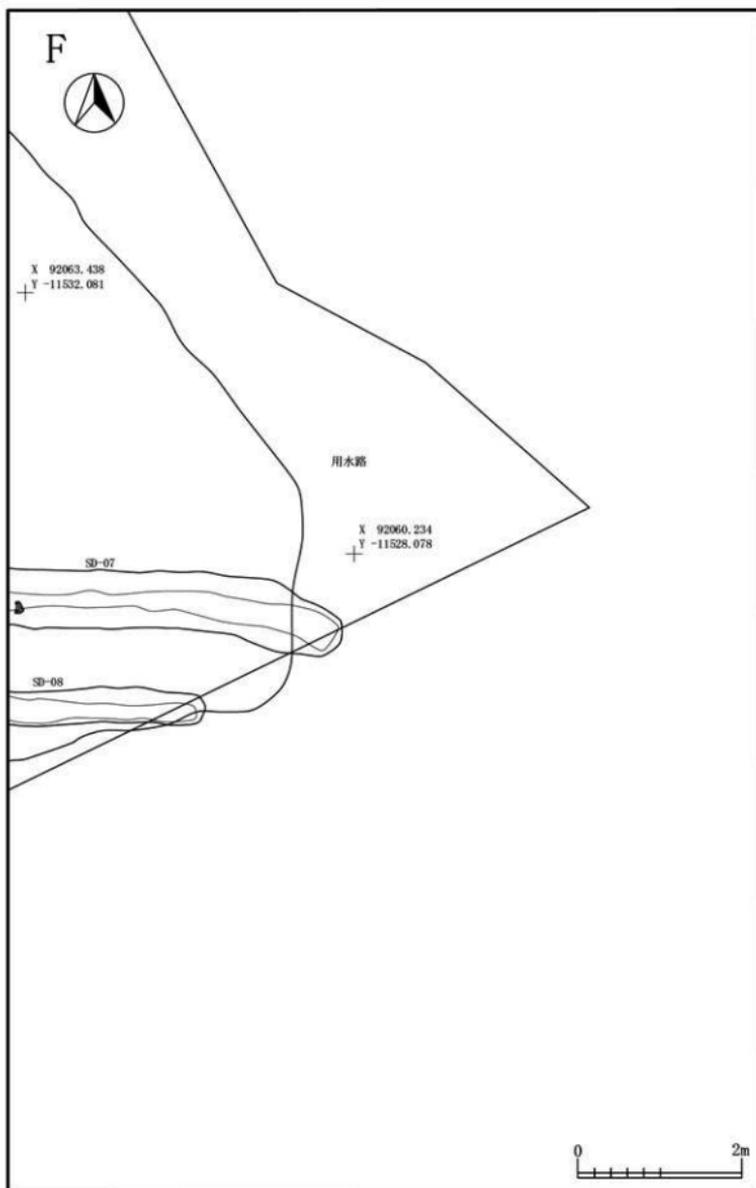


図 1-19 A-1区 SD-10

さ12.9m、幅30.0cm、深さ43cmを測る。SD-01・09・SDa-01と重複しており、本遺構の方が新しい。中層から土師器碗の口縁~体部にかけての資料が出土した。口径12.0cmを測る。

#### SD-06 (図1-16・17)

調査区南側で検出した。部分的な検出で、SD-07に接する形で途切れている。長さ2.25m、幅95.0cm、深さ27.0cmを測る。SD-07・08と重複しており、SD-08より新しく、SD-07とは接する形で途切れており、堆積状況も底面の高さがほぼ同一面である部分から認められることから併存した可能性がある。

#### SD-07 (図1-16~19)

調査区南側で検出した。ほぼ東西軸で、SD-08と並行する形で検出し、前述のSD-06とは接する形で併存した可能性がある溝跡である。調査区内では長さ16.8m、幅96.0cm、深さ45cmを測る。SK-02、SD-01・02・06と重複しており、SK-02とSD-01よりも新しく、SD-06とは併存、SD-02とはSD-02側の方が新しい。

#### SD-08 (図1-16~20)

調査区南側で検出した。SD-07と並行する形で検出しており、東西軸の溝跡である。調査区内では長さ14.5m、幅80.0cm、深さ43.0cmを測る。SK-02、SD-01・02、SD-07に接するSD-06、SD-11と重複しており、SK-02より新しく、SD-02・06より古く、SD-01との関係はSD-02部分で切られているが詳細は不明である。また、SD-11については直接の切り合い関係について把握できる土層記録がないが詳細は不明であるが、土層堆積上SD-06とSD-07の関係のように底面が類似した高さになる部分から認められ、直交するような接し方も類似することから、SD-08とSD-11については併存した可能性がある。その場合、SD-06・07とSD-08・11は、形状・軸線等の共通性が認められ、SD-08・11からSD-06・07への変遷過程とみなすことができる取り扱いとなる。出土遺物は覆土から出土した土師器碗底部資料を図示した。底径6.6cmを測る。

#### SD-09 (図1-10~12)

調査区北西隅から検出した。調査区内の規模は長さ6.1m、幅190.0cm、深さ57cmを測る。SD-01・05・SDa-01と重複しており、

SDa-01より新しく、SD-01・05よりも古い。

#### SD-10 (図1-16・17・20)

調査区の南側で検出した。長さ3.3m、幅55.0cm、深さ73.0cmを測る。SD-01・02と重複しており、本遺構の方が古い。調査時に溝跡として調査されているが、南側のA-2区で検出したSTP-01と平行する軸線であることから、溝状土坑(所謂Tピット)の可能性が高い。覆土中から縄文時代中期の口縁部片が出土している。

#### SD-11 (図1-18)

調査区南端で検出した。南側の用水路に切られる形で途切れており、検出部分の長さは33.0cm、幅75cm、深さ42cmを測る。SD-08の項目での記述のとおり、SD-08と接する形で構築されており、直接新旧関係が把握できる土層図の記録はないものの、底面の深さ等で比較可能な情報があり、併存した可能性があるものと考えられる。

#### SDa-01 (調査時SN-01) (図1-10~12,20)

調査区北側で検出した。溝であるが、調査時に焼土を意識した遺構番号が付与され精査されていた。逆L字状態を呈する溝で、西側の延長部はE区SD-20へ延びるものと考えられる。本調査区内での規模は長さ7.1m、幅72cm、深さ62cmを測る。一部焼土ブロックとともに遺物が集中して廃棄されており、土師器・製塩土器を主体に一部弥生時代中期の土器片が混合して出土している。他の溝跡が中世の資料が混合する資料が多い中、本遺構は下限資料は古代の資料のみである。

#### 4. 遺構外出土遺物 (図1-20)

1点図示した。須恵器裏の体部片で外面はタタキ、内面は一部当て貝殻が観察される。

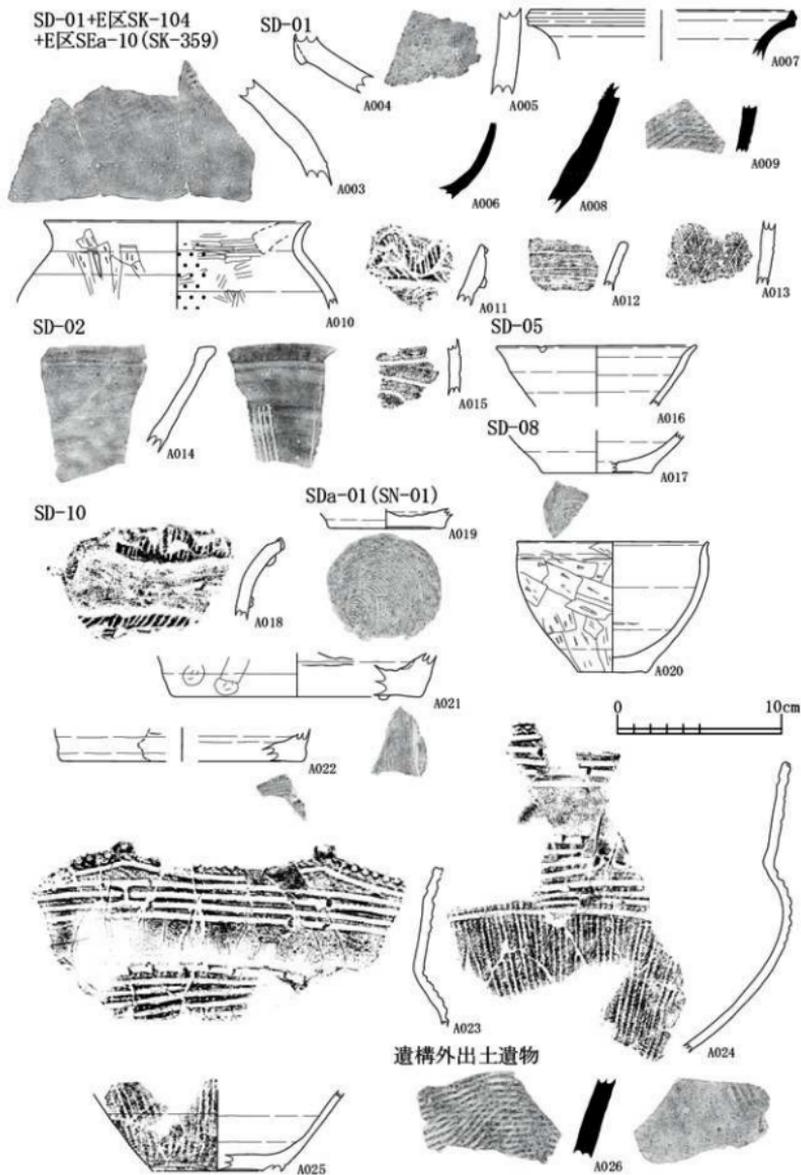


図 1-20 A-1 区 SD-11, 遺構外出土遺物

## 第2節 A-2区

### 1. 土坑

#### SK-03 (図1-22)

調査区南側から検出した。平面形は円形を呈し、 $91.0 \times 90.0 \times 22.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は鍋底形で、一部緩やかに立ち上がる形状である。堆積土は3層に分層し、パミス粒・炭化粒を微量含む自然堆積状況を呈する。

#### SK-04 (図1-22)

調査区南側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $150.0 \times 99.0 \times 33.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は一部緩やかな段状を呈しており、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は5層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### SK-05 (図1-22)

調査区南側から検出した。SP-20・124・125と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は小判形を呈し、 $158.0 \times 95.0 \times 24.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は底面に若干凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる部分と垂直に近い形で立ち上がる部分が見られる。堆積土は5層に分層し、ブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。

#### SK-06 (図1-22)

調査区南側から検出した。平面形は楕円形を呈し、 $90.0 \times 74.0 \times 13.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は柱穴状を呈し、中央が凹んだ形状で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は3層に分層し、ロームブロック混じりの裏詰め土を含めた人為的堆積状況を呈する。

#### SK-07 (図1-22)

調査区南側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $112.0 \times 100.0 \times 26.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は播鉢形で、緩やかに立ち上がる形状である。堆積土は3層に分層し、流れ込みを含めた自然堆積状況を呈する。

#### SK-08 (図1-22)

調査区南側から検出した。平面形は隅丸方形を呈し、 $99.0 \times 78.0 \times 40.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は段状に立ち上がる形状で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は3層に分層し、第2・3層が柱穴の裏詰め土と類似したブロック混じりの人為的堆積状況を呈している。

#### SK-09 (図1-23)

調査区南側で検出した。南端が調査区外に伸びているが、平面形は不整形隅丸方形を呈しており、 $(147.0) \times (103.0) \times 41.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は中央部分が柱穴状に一段落ち込んだ形状で、壁際の検出部は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は5層に分層し、水の浸食による色調の褪色が顕著な土層であるが、柱穴の裏詰めなど人為的堆積状況を呈している。

#### SK-10 (図1-23)

調査区中央から東側の位置から検出した。平面形は不整形形を呈し、 $78.0 \times 57.0 \times 20.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は段状に立ち上がる形状で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層に分層しているが、記録写真を確認したところ、下部に色調が明るめな土層が自然堆積しており、テラス状の部分にはパミスブロックが含まれる土があることから柱穴と同様の堆積状況である可能性が高い。

#### SK-11 (図1-23)

調査区中央からやや東側の位置から検出した。平面形は不整形隅丸方形を呈し、 $66.0 \times 52.0 \times 26.0 \text{ cm}$ を測る。壁は垂直に近い形で立ち上がる形状で、一部袋状に入り込む部分が見られる。堆積土は1層に分層し、ロームブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況である。

#### SK-12 (図1-23)

調査区中央から北側の位置から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $68.0 \times 58.0 \times 17.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は1層に分層し、ロームブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。

#### SK-13 (図1-23)

調査区中央から北側の位置から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $72.0 \times 63.0 \times 12.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は鍋底形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層に分層し、自然堆積を呈する。

#### SK-14 (図1-23)

調査区中央から北東側の位置から検出した。平面形は不整形形で、 $84.0 \times 66.0 \times 21.0 \text{ cm}$ を測る。断面形は鍋底形で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層に分層し、ロームブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈している。

#### SK-15 (図1-23)

高間(1)遺跡A-2区遺構配置図(平成21年度〔2009年〕調査) S=1/400

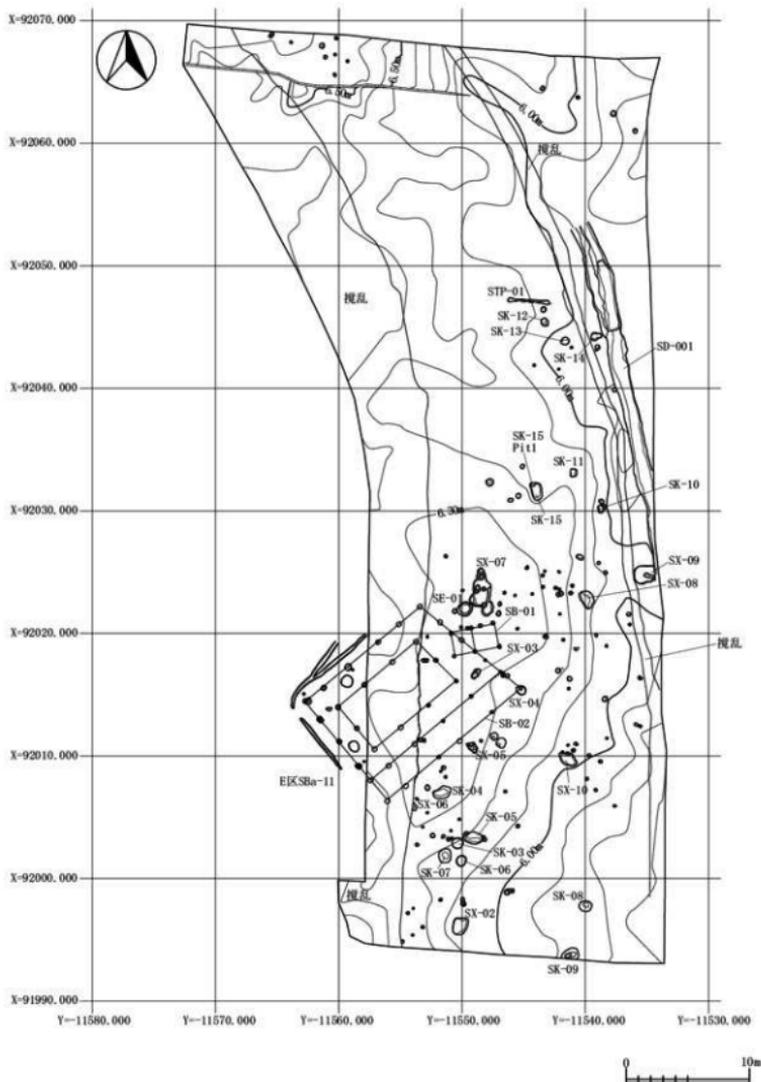
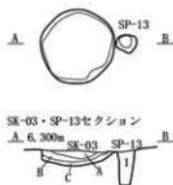


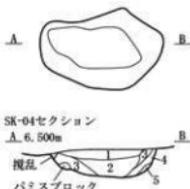
図 1-21 A-2区遺構配置図

SK-03



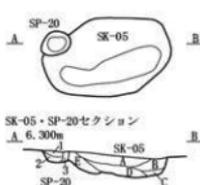
SK-03・SP-13セクション

SK-04



SK-04セクション

SK-05



SK-05・SP-20セクション

SK-03

第1層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量  
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量  
第3層 10YR5/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量

SP-13

第1層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量

SK-04

第1層 10YR3/1 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ20mm大)混入,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量

第2層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ100mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量

第3層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,ローム粒(φ1~3mm)微量

第4層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量

第5層 10YR6/4 にぶい黄褐色土 パミス層

SK-05

第1層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量

第2層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ15~20mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量

第3層 10YR4/2 灰黄褐色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ30~50mm)少量

第4層 10YR4/1 褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~3mm)少量

第5層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~30mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量

SP-20

第1層 10YR4/2 灰黄褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量

第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~3mm)微量,パミスブロック(φ30mm大)混入

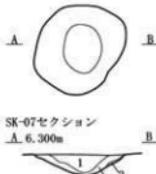
第3層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量

SK-06



SK-06セクション

SK-07



SK-07セクション

SK-08



SK-08セクション

SK-06

第1層 10YR4/2 灰黄褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,パミスブロック(φ10mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量  
第3層 10YR6/6 明黄褐色土 (パミス層)

SK-07

第1層 10YR3/1 黒褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量

第2層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,パミスブロック(φ30mm大)混入,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量

第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,パミスブロック(φ20mm大)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量

SK-08

第1層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ10~30mm)少量

第2層 10YR3/1 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~50mm)中量

第3層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~100mm)多量

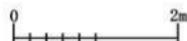


図 1-22 A-2 区 SK-1

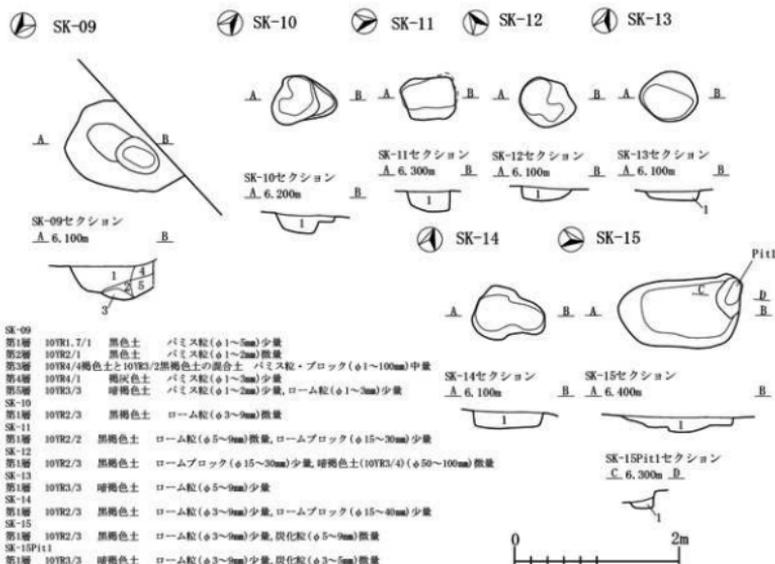


図1-23 A-2区SK-2

調査区中央から検出した。平面形は小判形を呈し、 $147.0 \times 86.0 \times 17.0$  cmを測る。北側の壁際にPit1としたピットを検出しているが、実質的には本遺構とは別遺構で、本遺構の方が新しい。断面形は凹凸がある形状で垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は1層に分層し、自然堆積状況を呈する。

## 2. 井戸跡

### SE-01 (図1-24 ~ 28)

調査区中央からやや南側から検出した。SP-19と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形円形を呈し、 $120.0 \times 111.0 \times 25.0$  cmを測る。断面形は円筒形を呈し、壁上部で開き気味に立ち上がる形状である。堆積土は10層に分層し、廃棄と埋め戻しの伴う人為堆積を呈する。出土遺物は木製品のみで、A027の黒漆の漆器椀、A028白木の椀の底部、A029指物の箱の底板ないしは天板、A030~A058の箸、箸状木製品、A063検扇、A066籠、A072木錘などが出土しており、E区に展開する掘立柱建物跡と井戸跡の延長部に相当する。

## 3. 溝状土坑 (Tピット)

### STP-01 (図1-29)

調査区中央より北側の位置から検出した。A-1

区SD-10の部分で記載したが、本遺構も東西軸を基軸とする溝状土坑である。規模は $338.0 \times 33.0 \times 72.0$  cmを測る。断面形は一部袋状に入り込む形で、壁は袋状の部分と垂直に近い形で立ち上がる部分が見られる。堆積土は1層に分層し、崩落が一部伴う自然堆積状況を呈する。

## 4. その他の遺構

### SX-02 (図1-30)

調査区南側で検出した。不整形丸方形の土坑状の形状で、 $156.0 \times 126.0 \times 37.0$  cmを測る。断面形は凹凸のある形状で、壁は緩やかに立ち上がる部分と垂直に近い形で立ち上がる部分がある。堆積土は3層に分層し、ブロック混じりの堆積土が凹凸部分に充填されている。上面は自然堆積状況を呈する。

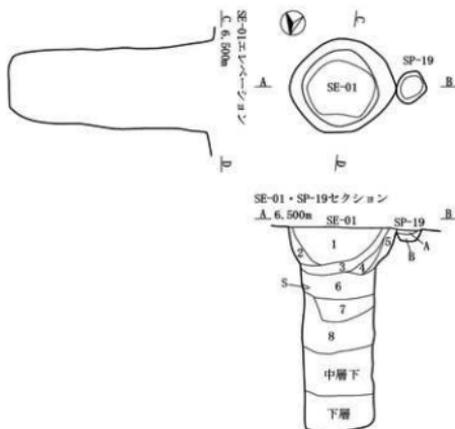
### SX-03 (図1-30)

調査区南側で検出した。不整形小判形を呈し、 $92.0 \times 48.0 \times 11.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は1層に分層し、人為堆積状況を呈する。

### SX-04 (図1-30)

調査区南側で検出した。楕円形を呈し、 $85.0 \times 73.0 \times 16.0$  cmを測る。断面形は中央部分

SE-01



SE-01石器・木製品・土壌サンプル位置図

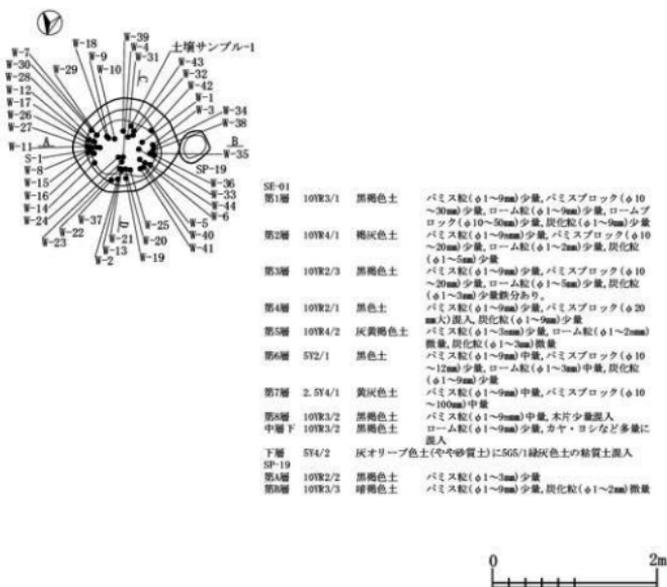


図 1-24 A-2 区 SE-1

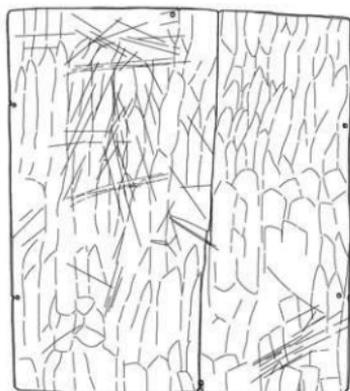
SE-01



A027



A028



A029



☒ 1-25 A-2 ☒ SE-2

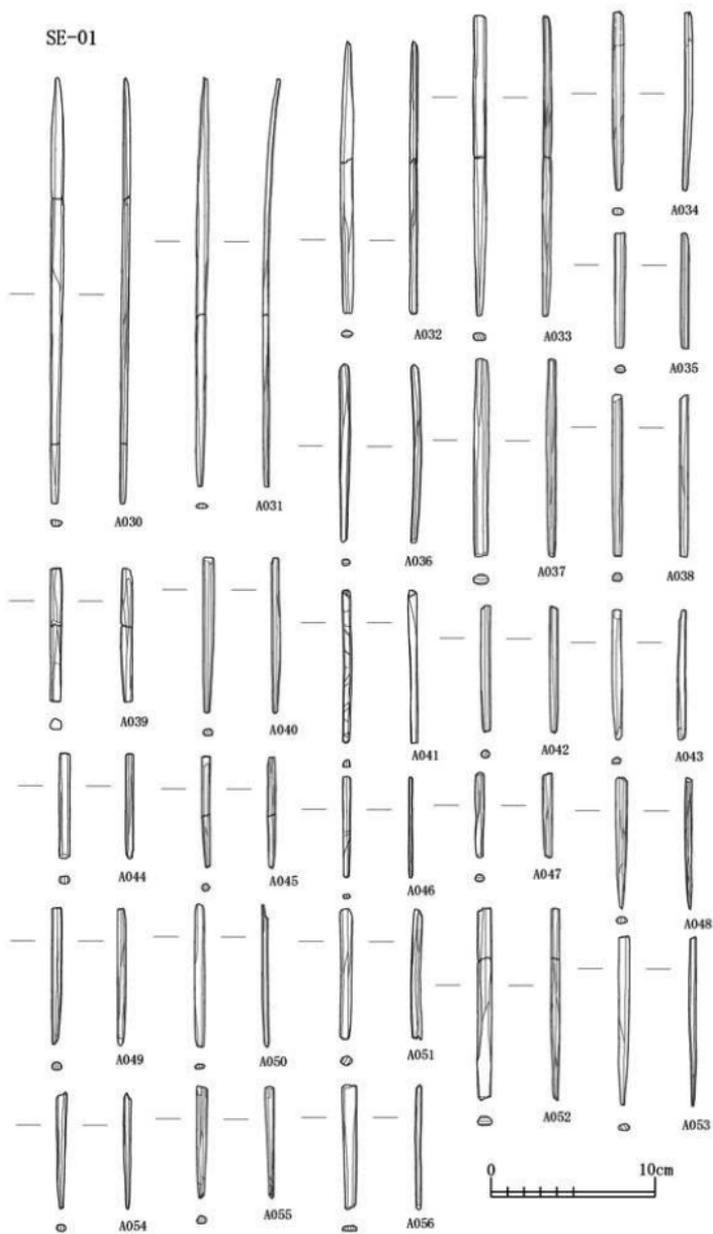


图 1-26 A-2 区 SE-3

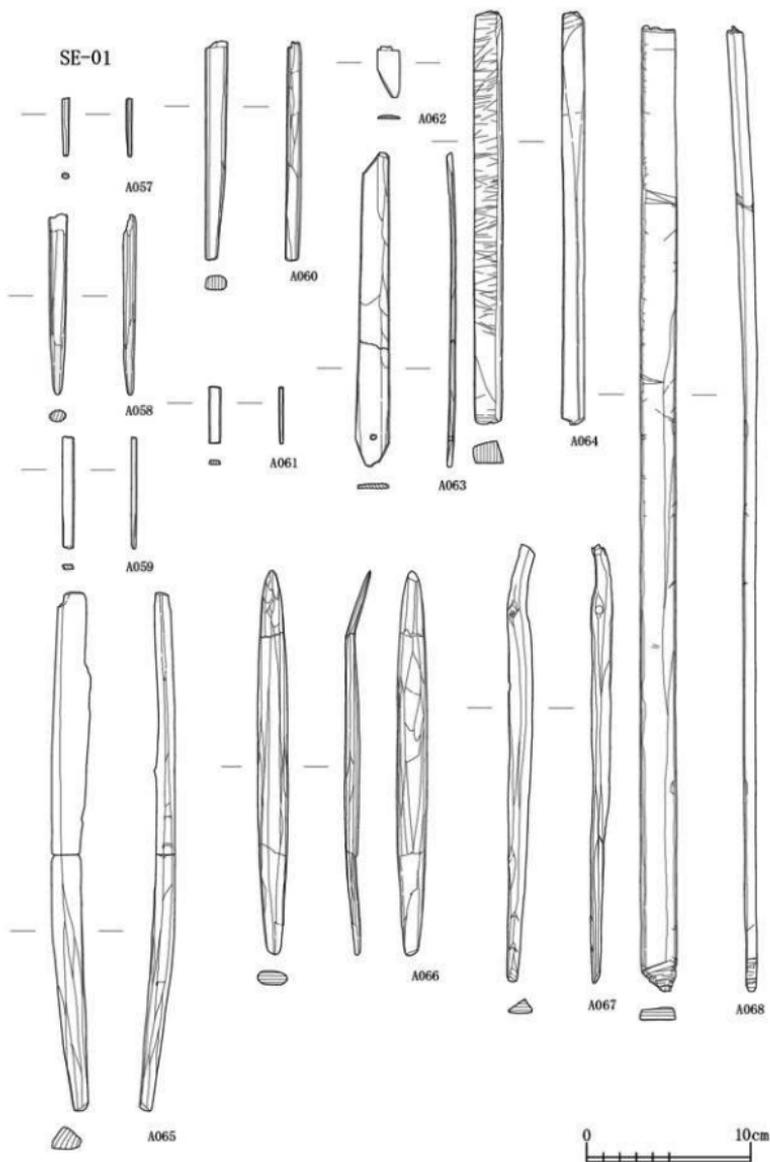


図 1-27 A-2 区 SE-4

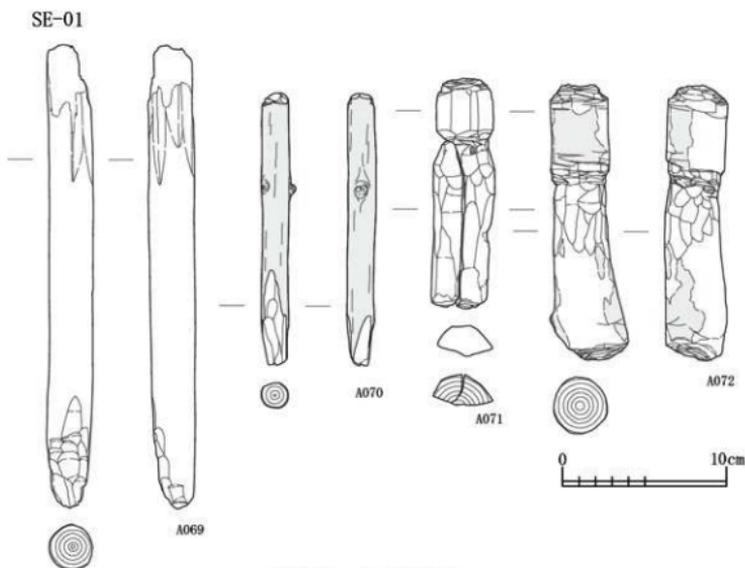
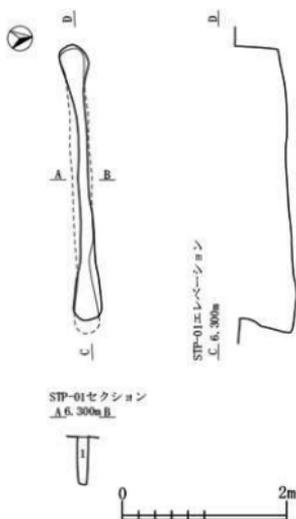


図 1-28 A-2区 SE-5

STP-01



STP-01  
第1層 101R2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量

図 1-29 A-2区 STP

が凹んだ形状で、壁際は緩やかに立ち上がる。堆積土は3層に分層し、第1・2層が柱穴状の掘りこみが認められ、バミスブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。SB-02の柱穴として調査後認定されている。

SX-05 (図 1-30)

調査区南側で検出した。SP-56、SB-02 Pit 8と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形で、 $88.0 \times 66.0 \times 15.0$  cmを測る。断面形は段状を呈し、垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。また、一部斜めに入り込んだ部分があり、深さ50.0 cmを測る。堆積土は5層に分層したが、実質的に第1~3層はSP-56やSB-02 Pit 8と近接した位置にあり、柱穴として機能した掘り込みの堆積土の可能性が高く、本遺構部分も柱穴として機能した可能性が高い。

SX-06 (図 1-30)

調査区南側で検出した。西側が用水路に切られていて残存していないが、平面形は不整形を呈し、 $(64.0) \times (35.0) \times 13.0$  cmを測る。断面形は底面に凹凸があり、壁は垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は4層に分層し、柱穴の堆積状況と同様の堆積状態で、

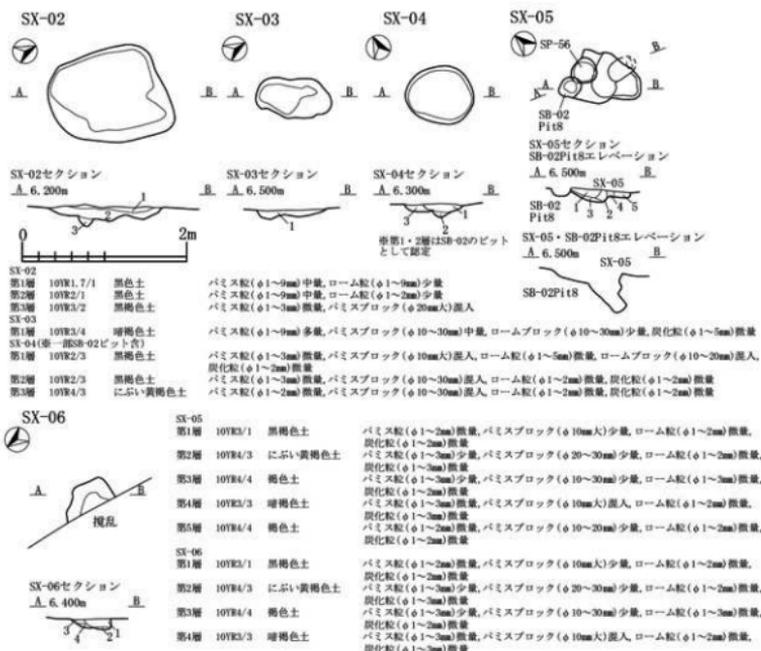


図1-30 A-2区 SX-1

近隣に掘立柱建物跡が所在することなどを踏まえると建物の柱穴の一部の可能性もある。

## SX-07 (図1-31)

調査区中央から検出した。SP-100・111・112・115・116と重複しているが、本遺構の第1層に堆積している土からはビニールが検出しており、各ピットともその堆積土よりは古い。本遺構の残存部は第1層以下から基部が部分的に検出している状況である。平面形はカマド状遺構のように煙出状に突出した部分を持ち、 $317 \times 185 \times 25.5$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁際は緩やかに立ち上がる。長方形気味の部分の底面直上から炭化物や焼土粒を検出しており、カマド状遺構の燃焼室に相当する可能性がある。その場合、SP-116から北側の部分が煙道部に相当するものと考えられ、その場合主軸方位はN-3°-Wである。

## SX-08 (図1-31)

調査区中央のやや南東側から検出した。平面形は不整楕円形を呈し、 $153.0 \times 106.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は中央が凹んだ段状を呈しており、壁際は垂直に近い形で立ち上がる。堆

積土は3層に分層し、底面直上に堆積する第3層はパミスブロック混じりの流れ込みに伴う土層で、上位に堆積している土も自然堆積状況である。

## SX-09 (図1-31)

調査区東側で検出した。SD-001と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整楕円形を呈し、 $170.0 \times 150.0 \times 13.0$  cmを測る。SD-001に接する側に $95.0 \times 39.0 \times 16.0$  cmの溝状の掘り込みがあり、断面形はその部分が落ち込んだ形状である。壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は5層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況である。また、出土遺物は壁際の地点から湿気窯の壺体部片(A073)と自然礫が出土している。

## SX-10 (図1-31)

調査区中央から南側の地点で検出した。平面形は不整楕円形を呈しており、 $165.0 \times 104.0 \times 14.0$  cmを測る。断面形は緩やかな段があり、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は3層に分層し、パミスブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

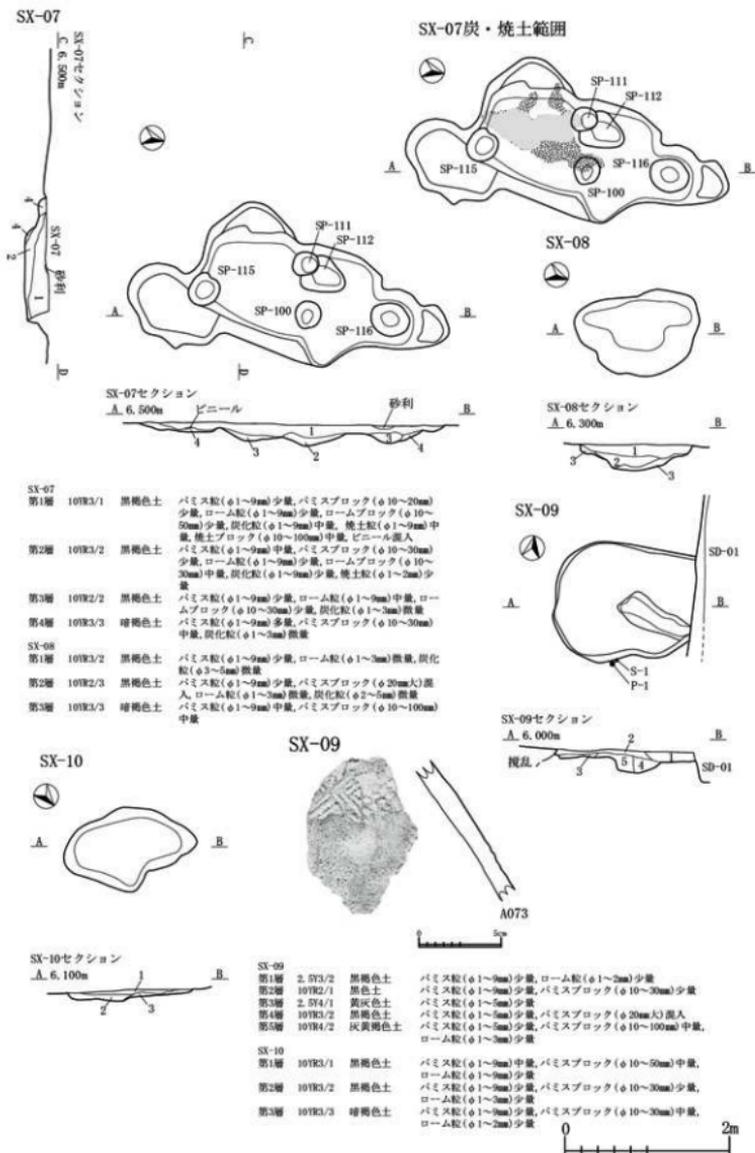


図 1-31 A-2区 SX-2



SB-01 · 02

X= 92020.690  
Y=11563.626

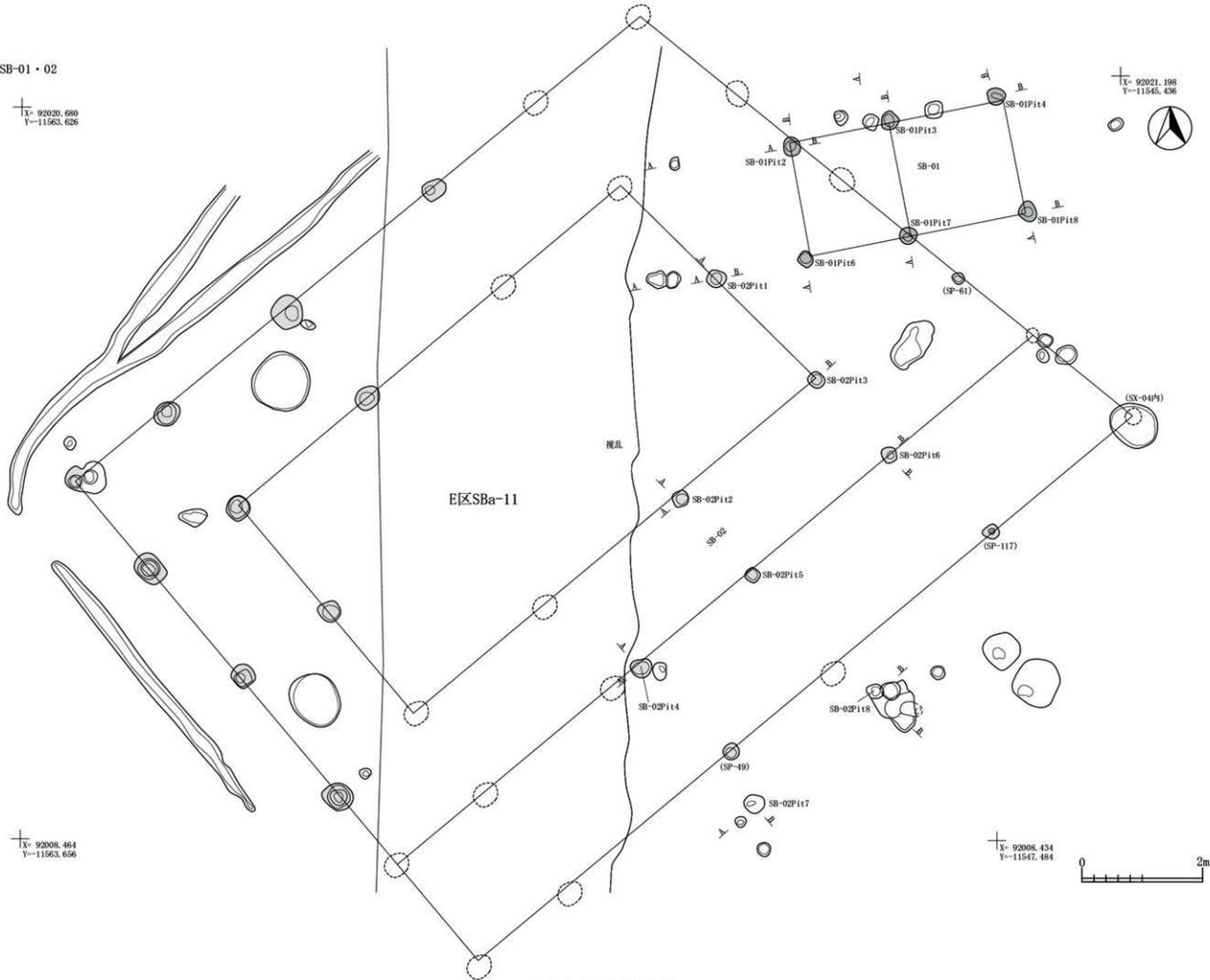


图 1-33 A-2 区 SB-2





A-2区SP配置图 S=1/400

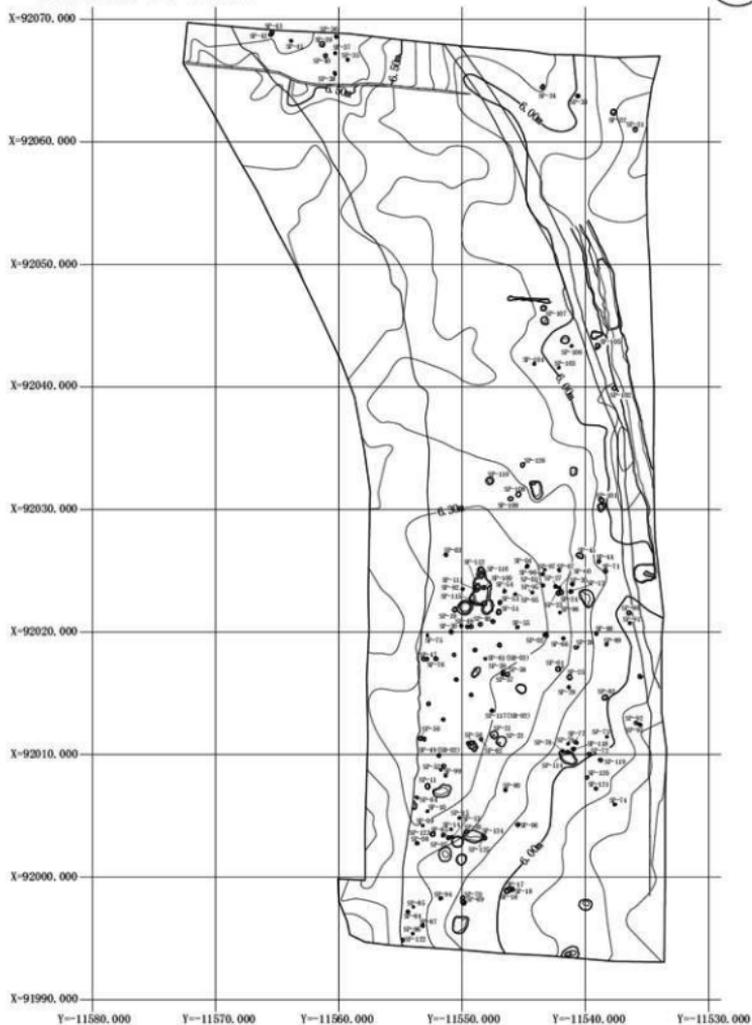

 II-2  
 A-2区

图 1-34 A-2区 SP-1

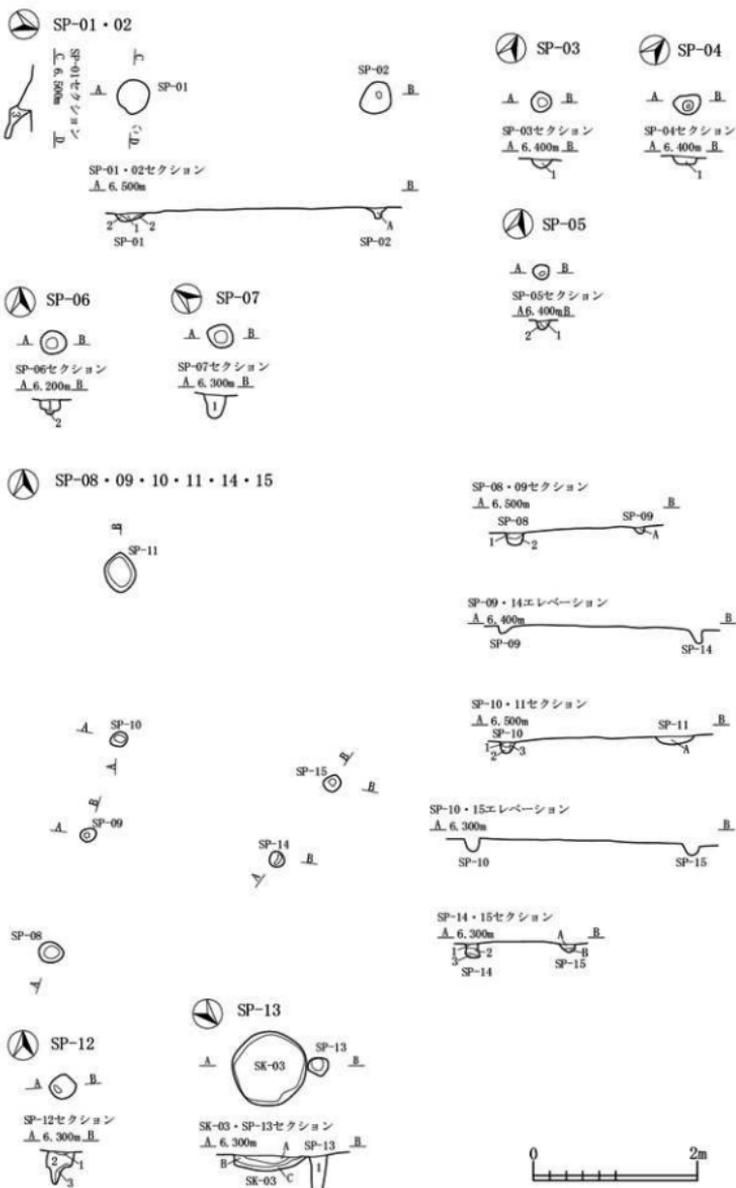


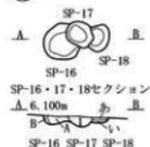
図 1-35 A-2 区 SP-2

SP-01 第1層	10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR4/6 褐色土	パミス層
第3層	10YR4/2 灰黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-02 第4層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~15mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-03 第1層	10YR4/2 灰黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ15mm大)混入, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-04 第1層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ30~40mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量
SP-05 第1層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量, パミスブロック(φ10~15mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, ローム粒(φ1~2mm)少量
SP-06 第1層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~2mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~20mm)中量
SP-07 第1層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量
SP-08 第1層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第2層	10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量

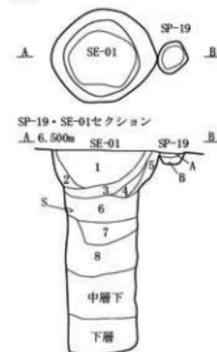
SP-09 第A層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)少量
SP-10 第1層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, パミスブロック(φ20mm大)混入, ローム粒(φ2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ5mm)少量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-11 第A層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-12 第1層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第2層	10YR4/1 褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~15mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第3層	10YR6/4にぶい黄褐色土と10YR3/2暗褐色土の混生土	炭化粒(φ1~2mm)少量
SP-13 第1層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-03 第B層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第B層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~1mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第C層	10YR5/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-14 第1層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ3mm)少量
第2層	10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第3層	10YR6/4 にぶい黄褐色土	パミス層
SP-15 第A層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第B層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~20mm)少量

II-1  
A-2区

▲ SP-16・17・18



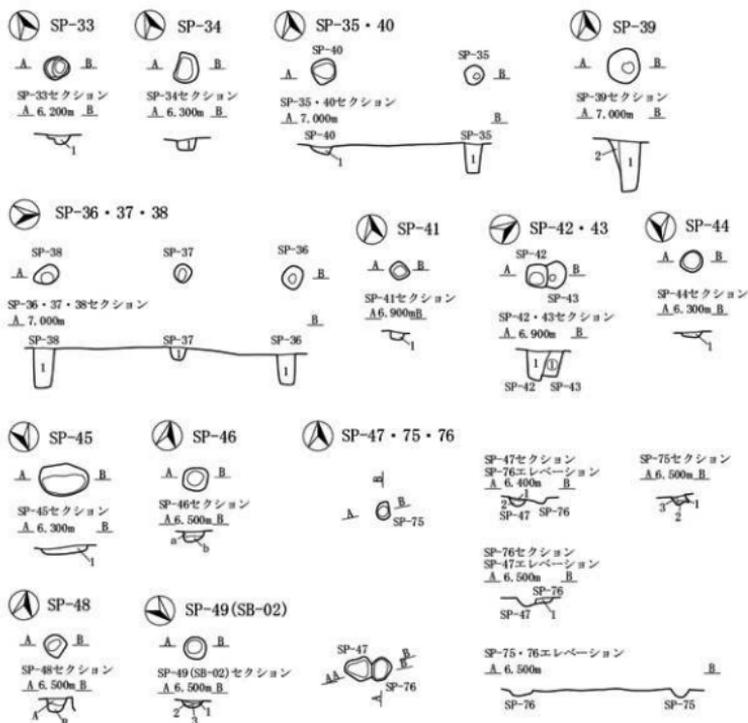
▼ SP-19



SP-16 第A層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第B層	10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
SP-17 第1層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ20mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
SP-18 第A層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量
第1層	10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~9mm)少量
第2層	10YR4/1 褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第4層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, パミスブロック(φ20mm大)混入, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第5層	10YR4/2 灰黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第6層	5Y2/1 黒色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~100mm)中量, ローム粒(φ1~3mm)中量, 炭化粒(φ1~9mm)少量
第7層	2.5Y4/1 黄灰色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~9mm)中量
第8層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, カヤ・ヨシなど多量に混入
中層下	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, カヤ・ヨシなど多量に混入
下層	5Y4/2 灰オリーブ色土(やが砂質土)に5G2/1褐色土の粘質土混入	
SP-19 第A層	10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量
第B層	10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量

図 1-36 A-2区 SP-3



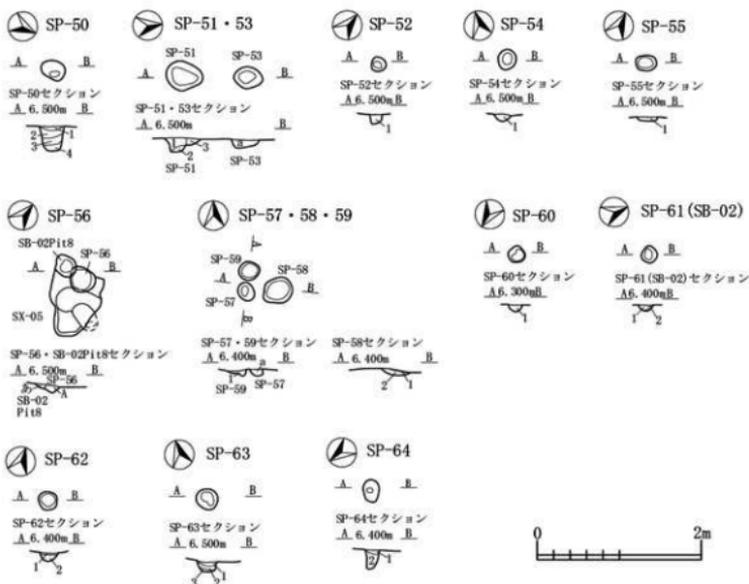


SP-33 第1層	10YR4/3	にぶい・黄褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量
SP-34 第1層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ15~20mm)微量
SP-35 第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)微量
SP-40 第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
SP-36 第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)微量
SP-37 第1層	10YR4/3	にぶい・黄褐色土	ローム粒(φ3~9mm)微量
SP-38 第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ3~9mm)中量, ロームブロック(φ15~20mm)少量
SP-39 第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ5~9mm)多量, ロームブロック(φ15~25mm)少量, 炭化粒(φ5mm)微量
第2層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ5~9mm)少量, 暗褐色土粒(10YR3/3)(φ5~9mm)微量
SP-41 第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)微量
SP-42 第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)微量, ロームブロック(φ15~20mm)微量
SP-43 第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ20~30mm)微量
SP-44 第1層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量
SP-45 第1層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ3~9mm)微量
SP-46 第1層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~30mm)中量, ローム粒(φ1~2mm)少量
第3層	10YR7/6	明黄褐色土	パミス層

SP-47 第1層	10YR4/2	灰黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)中量, パミスブロック(φ10~30mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第2層	10YR4/4	褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量, パミスブロック(φ10~30mm)中量, ロームブロック(φ30mm)混入, 炭化粒(φ1~9mm)少量
SP-75 第1層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)微量
第2層	10YR4/2	灰黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, ローム粒(φ5~9mm)少量
第3層	10YR4/6	褐色土	パミス粒(φ3~9mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)中量
SP-76 第1層	10YR4/2	灰黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)多量, パミスブロック(φ10~30mm)多量
第A層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量, パミスブロック(φ10~30mm)中量
第B層	10YR5/4	にぶい・黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)多量, ローム粒(φ1~9mm)多量
SP-49(SB-02) 第1層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量, パミスブロック(φ10mm)混入, ローム粒(φ1~3mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量, パミスブロック(φ30mm)混入, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第3層	10YR4/4	褐色土	パミス層

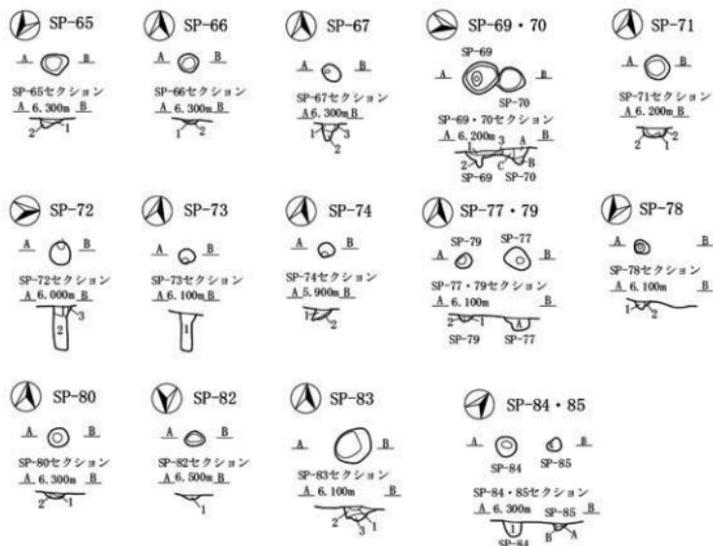


図 1-38 A-2区 SP-5



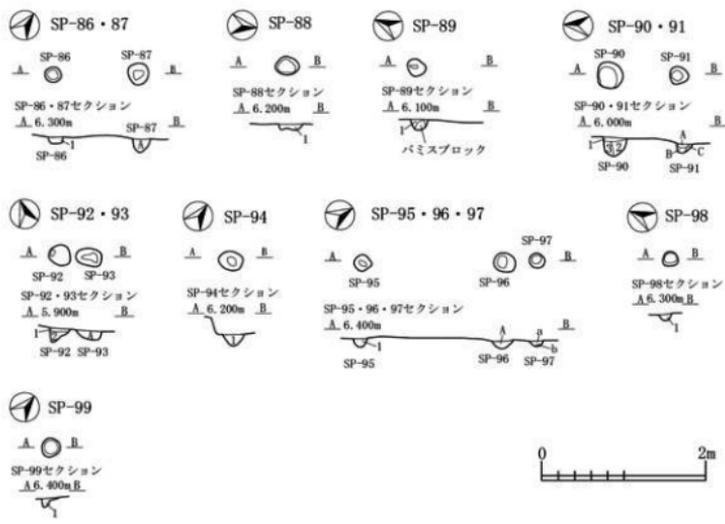
SP-50	第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミズ粒(φ1~2mm)微量,バミズブロック(φ20mm)混入	SP-59	第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミズ粒(φ1~2mm)微量,ロームブロック(φ30mm)混入		
	第2層 10YR2/2 黒褐色土	バミズ粒(φ1~5mm)少量,バミズブロック(φ10mm)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量	第2層 10YR5/4 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)微量,バミズブロック(φ10mm)混入,炭化粒(φ1~3mm)微量	SP-59	第1層 10YR5/6 黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10mm)混入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR2/3 黒褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)中量,バミズブロック(φ30mm)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量	第4層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)中量,バミズブロック(φ10~30mm)少量,ロームブロック(φ30mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量	SP-60	第1層 10YR3/3 暗褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10mm)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量
SP-51	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~5mm)少量,バミズブロック(φ30mm)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量	SP-61(SB-02)	第1層 10YR5/4 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~2mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)混入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量		
	第2層 10YR4/4 褐色土	バミズ粒(φ1~2mm)微量,バミズブロック(φ10mm)混入	第2層 10YR4/6 褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)微量,バミズブロック(φ10~20mm)混入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量	SP-62	第1層 10YR3/3 暗褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量	SP-63	第1層 10YR5/4 褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ30mm)混入,炭化粒(φ1~3mm)微量	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)中量,バミズブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~5mm)微量
SP-53	第1層 10YR4/4 褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ30mm)混入,炭化粒(φ1~3mm)微量	SP-64	第1層 10YR3/1 黒褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量		
SP-52	第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10~12mm)微量	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)微量	SP-64	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~9mm)少量
SP-54	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量	SP-65	第1層 10YR4/6 褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)中量,バミズブロック(φ10~30mm)混入,炭化粒(φ1~2mm)微量	第2層 10YR4/2 灰黄褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)中量,ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)少量
SP-55	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量					
SP-56	第1層 10YR3/4 暗褐色土	バミズ粒(φ1~5mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)微量					
SB-02P118	第1層 10YR3/3 暗褐色土	バミズ粒(φ1~9mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)微量					
SP-57	第1層 10YR4/6 褐色土	バミズ粒(φ1~2mm)微量,バミズブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量					

図 1-39 A-2 区 SP-6



SP-65 第1層	10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)少量	SP-69 第1層	10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~3mm)微量
第2層	10YR4/2 灰黄褐色土	バミス粒(φ3~5mm)少量, バミスブロック(φ10mm大)混入, ローム粒(φ1~5mm)少量	第2層	10YR4/1 褐色土	バミス粒(φ3~5mm)少量, バミスブロック(φ10mm大)混入, ローム粒(φ1~3mm)少量
SP-66 第1層	10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	第3層	10YR3/2 褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量
第2層	10YR4/1 褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	SP-69 第1層	10YR3/3 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量
SP-67 第1層	10YR3/4 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)微量	第2層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量, バミスブロック(φ10~20mm)中量, ローム粒(φ1~9mm)中量
第2層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)微量	第3層	10YR3/2 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量, ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-69 第1層	10YR3/3 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	SP-70 第4層	10YR4/2 灰黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10~15mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	第3層	10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)微量
第3層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)微量	第5層	10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)混入, ローム粒(φ1~2mm)少量
SP-71 第1層	10YR4/1 褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量	第2層	10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ1~2mm)少量
第2層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量	第3層	10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量
第1層	10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	第3層	10YR3/3 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ20mm大)混入, ローム粒(φ1~2mm)少量
第2層	10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)少量	SP-84 第1層	10YR2/1 黒色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10mm大)混入, ローム粒(φ1~3mm)微量
第3層	10YR4/4 褐色土	バミス層	第4層	10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~2mm)少量, バミスブロック(φ10mm大)混入, ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-73 第1層	10YR2/1 黒色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~3mm)少量	第3層	10YR4/6 褐色土	バミス層

図 1-40 A-2 区 SP-7



SP-86 第1層	10YR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量	SP-96 第A層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ10~100mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量
SP-87 第A層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量	SP-97 第5層	10YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~9mm)多量,バミスブロック(φ10mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量
SP-88 第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量	第6層	10YR6/6	明黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量
SP-89 第1層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10mm大)混入,炭化粒(φ1~2mm)散量	SP-98 第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量
SP-90 第1層	10YR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)中量	SP-99 第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~2mm)少量,バミスブロック(φ50mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~2mm)散量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)散量,バミスブロック(φ100mm大)混入,ロームブロック(φ200mm大)混入				
第3層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)散量,ロームブロック(φ100mm大)混入				
SP-91 第A層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~2mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量				
第B層	10YR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10mm大)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量				
第C層	10YR5/6	黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)多量,バミスブロック(φ100mm大)混入,ローム粒(φ1~9mm)中量				
SP-92 第1層	10YR2/3	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ50mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量				
第2層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10mm大)混入,ローム粒(φ1~2mm)散量				
SP-93 第A層	10YR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量				
SP-94 第1層	10YR2/3	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量				
SP-95 第1層	10YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)散量,炭化粒(φ1~3mm)散量				

図 1-41 A-2 区 SP-8

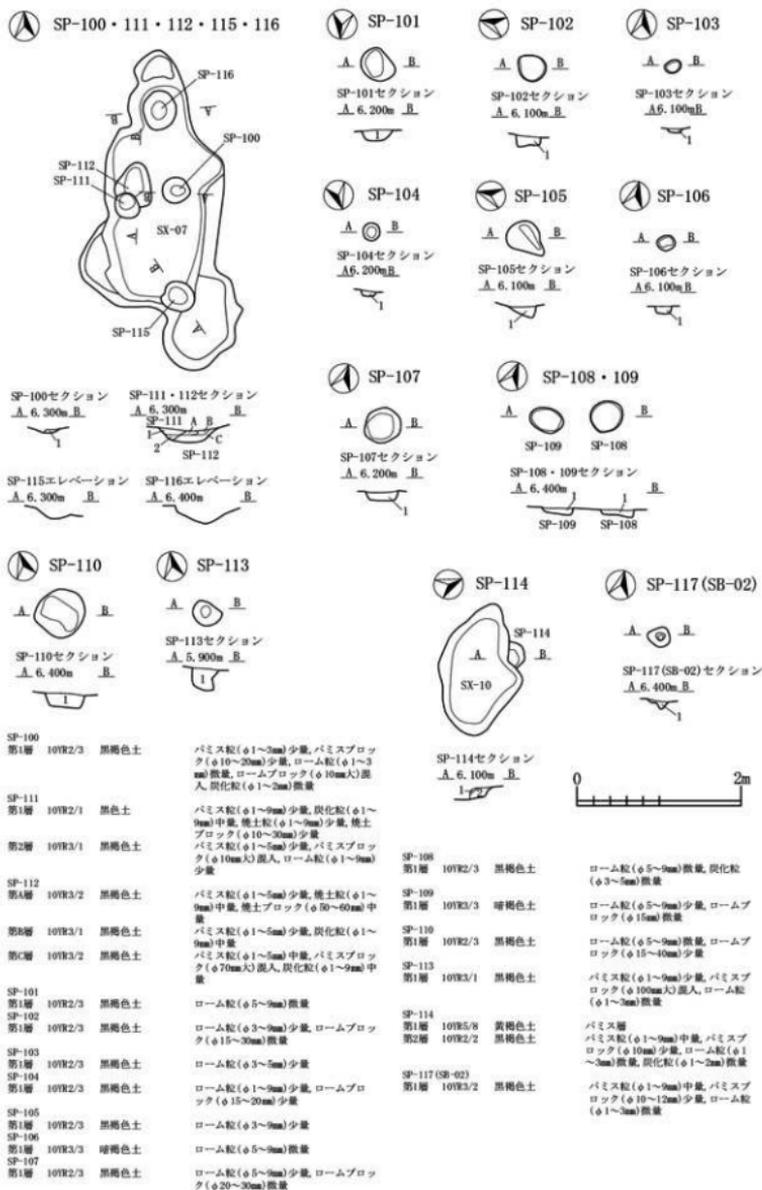


図 1-42 A-2区 SP-9

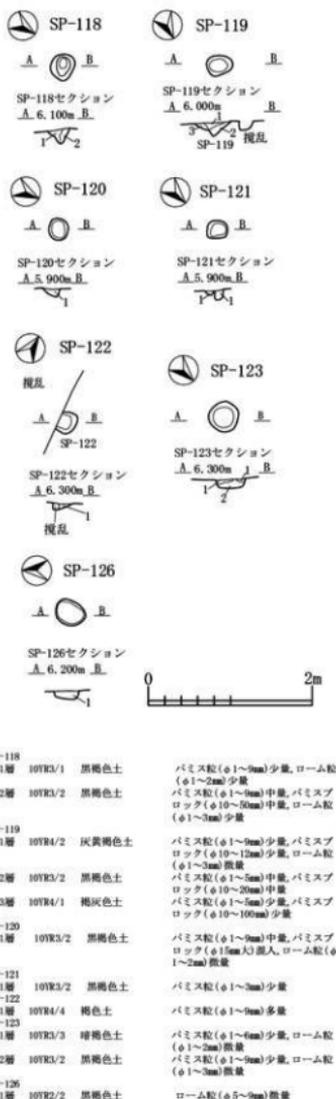


図 1-43 A-2 区 SP-10

## 5. 掘立柱建物跡・ピット (図 1-32 ~ 43)

SB-01 (図 1-32・33)

調査区中央よりやや南側から検出した。2×1間の建物である。東西棟で主軸方位はN-79°-Eである。

SB-02 (図 1-32・33)

調査区の中央から南西側から検出した。E区で故高島氏がSBa-11と認定した掘立柱建物跡の延長部に相当する。3×2間の建物の外周に5×4間の庇が巡っている。南東方向にはさらに1間分の孫庇が付属している。

ピットについて本調査区内から124基検出している。しかし、遺存状況が悪い影響で、前述の2棟以外に建物として認定可能な配置を示すものがなく、個々のピットについて図面情報の提示にとどめ、情報は遺構観察表に取りまとめている。なお、調査時にピット扱いで精査され、整理時にSBのピット扱いとしたものについてはピット内で個別の平面図・土層堆積図を掲載した。

## 6. 溝跡

SD-001 (図 1-44)

調査区東側で検出した。A-1区で検出したSD-01・02、A-4区で検出したSD-51b、E区で検出したSD-51に続く溝跡である。本調査区内での規模は、削平により浅くなっており、長さ30.0m、幅218.0cm、深さ35.0cmを測る。A-1区の部分で記載したとおり、この溝跡は新旧二段階あり、本調査区内で検出した溝についても北側の地点に若干のずれが認められるもののほとんど同軸線上に溝が走っている形である。出土遺物は覆土中から出土した須恵器長頸瓶体部片(A074)と須恵器壺体部片(A075)と磨製石斧(A076)を図示した。

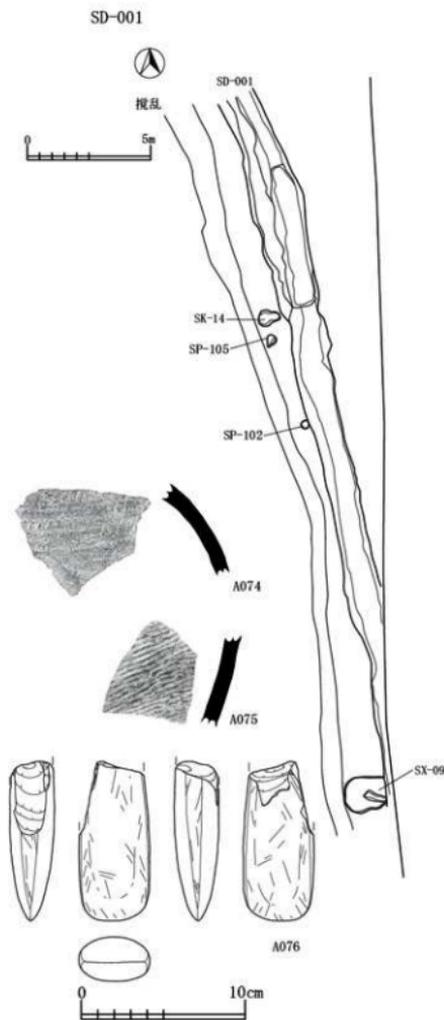


図 1-44 A-2 区 SD

## 第3節 A-3区

## 1. 土坑

SK-001 (図1-46)

調査区南西隅で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $1.27 \times 1.08 \times 2.1$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、一部緩やかに立ち上がる部分があるが、垂直に近い形で立ち上がる部分が多い。堆積土は3層に分層し、第2層はB-Tm火山灰の単純層、下位の第2層中にもB-Tm火山灰が微量混入する。

## 2. その他の遺構

SX-001 (図1-46)

調査区中央から北側の部分から検出した。調査時には遺構外の獣骨集中地点として取り扱われていたが、報告時に遺構略号を付与した。長さ1m、幅40cm程度の範囲から獣骨が43点出土した。破片資料のため、明確に同定に至った資料はないが、いずれも火熱を受けておらず、イノシシ・シカ等の大型哺乳類である可能性のある資料が含まれる。

## 3. ビット (図1-47)

調査区内から19基検出した。掘立柱建物跡として組み上げるのできた資料はないが、SP-008～017のビットが、完全な直線ではないが直線気味にN-35°-Wの軸線と並んでいるように配置している。個別の規模については遺構観察表に掲載した。

## 4. 溝跡

SD-001 (図1-48)

調査区中央よりやや北側の地点で断続的に検出した。東西軸で調査区内の規模は、断続部分を含んで長さ10.2m、幅60cm、深さ8cmを測る。調査区西側のE区ではSD-78とした溝跡の延長線にあたり、断続しながらも同一遺構の可能性はある。

SD-002・003 (図1-48)

調査区中央より南側の地点から検出した。本調査区東端部分で検出したSD-002と中央から西端に延びるSD-003はいずれもSD-004とした溝跡に切られている。断続はしているものの、SD-002と003は同一軸線上に該当し、E区の類似する溝跡の状況を踏まえると本遺構は同一遺構と判断できる溝跡である。SD-004との重複部分はSD-004により切れ残存していないため、部分的な規模であるが、SD-002部分は長さ2.8m、幅(46)cm、深さ11cmを測る。SD-003は長さ14.6m、幅40cm、深さ

高間(1)遺跡A-3区遺構配置図(平成19年度〔2007年〕調査) S=1/200

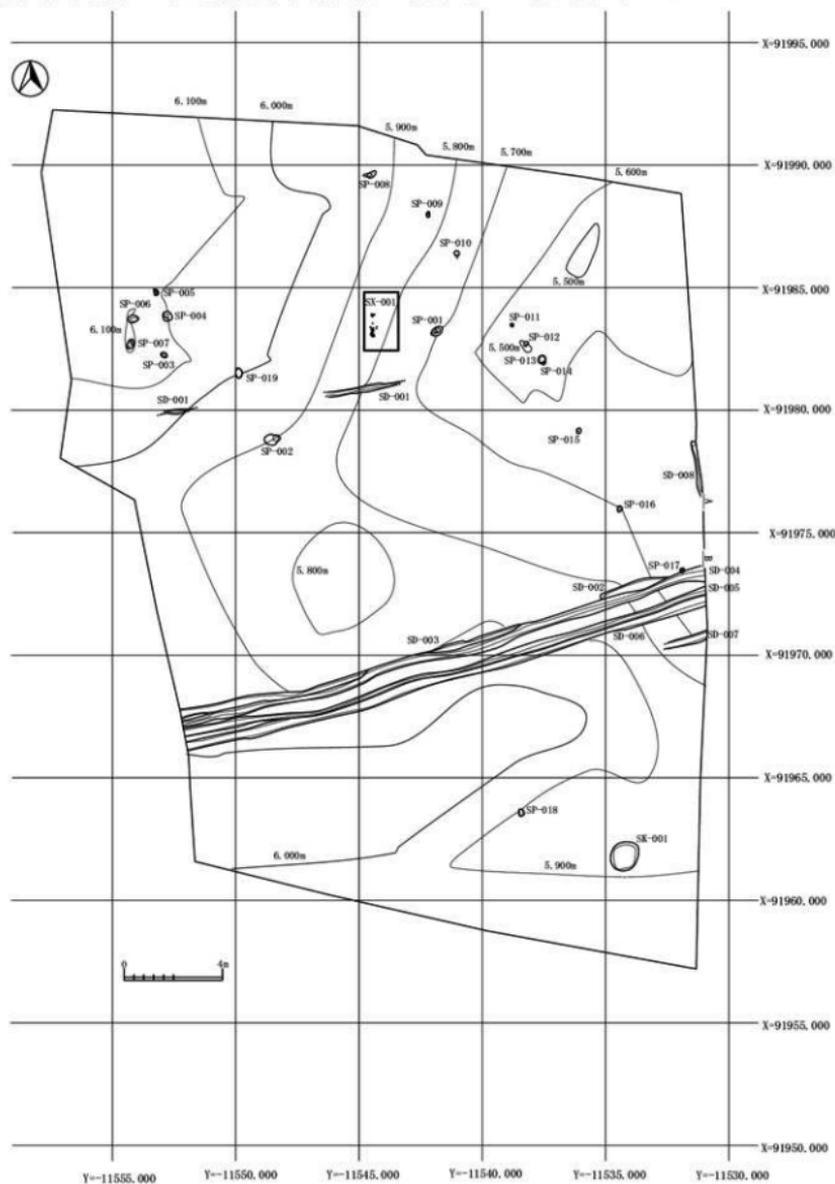


図 1-45 A-3区遺構配置図

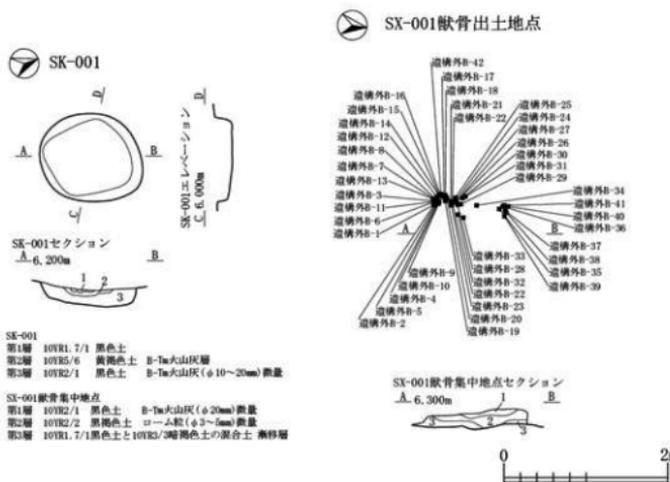


図 1-46 A-3 区 SK・SX

8 cmを測る。SD-003の西側のE区内でSD-70とした溝跡の延長線上に該当し、同一遺構として機能した可能性が高い。また、東側のA-4区側ではSD-93に連続している。

#### SD-004 (図1-48)

調査区中央より南側の地点から検出した。前述のとおり、SD-002・003と重複しており、本遺構が新しい。東西軸で、調査区内での規模は長さ2.05m、幅65cm、深さ18cmを測る。西側のE区ではSD-32とした溝跡につながる軸線上に位置しており、同時期に機能した可能性が高い。また、A-4区ではSD-90に連続している。

#### SD-005 (図1-48)

調査区中央より南側の地点から検出した。SD-006と重複しており、本遺構の方が新しい。東西軸で、調査区内での規模は長さ2.18m、幅40cm、深さ31cmを測る。覆土中から土師器残片1点が出土し、A077として図示した。西側のE区でSD-69とした溝跡につながる軸線上に位置しており、同時期に機能した可能性が高い。また、東側のA-4区ではSD-89に連続している。

#### SD-006 (図1-48)

調査区中央より南側の地点から検出した。SD-005と重複しており、本遺構の方が古い。東西軸で、調査区内での規模は長さ2.18m、幅43cm、深さ27cmを測る。西側のE区でSD-

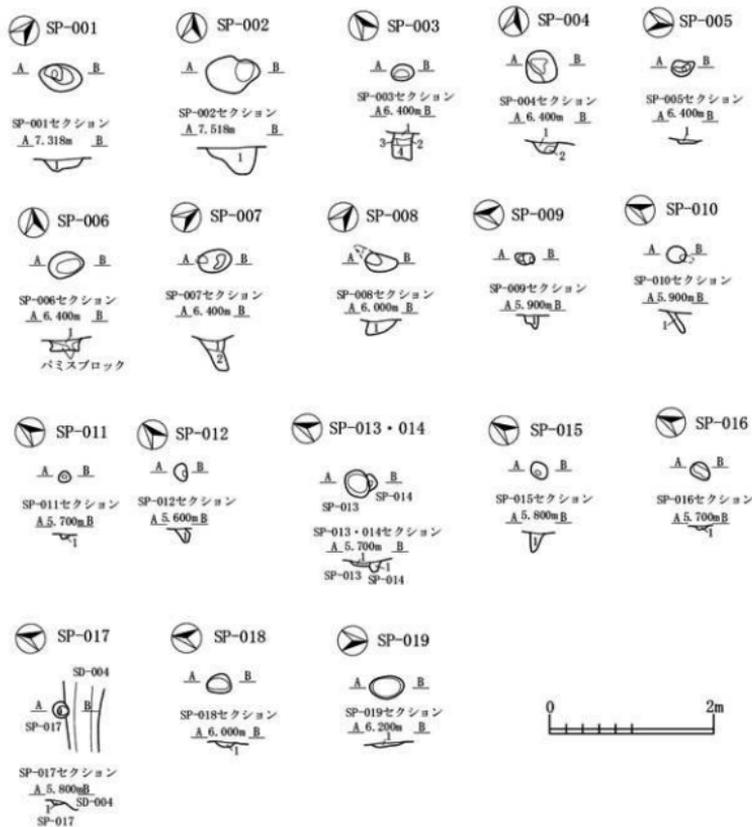
71とした溝跡につながる軸線上に位置しており、同時期に機能した可能性が高い。

#### SD-007 (図1-48)

調査区中央より南東側の地点で検出した。SD-002~006と同様に東西軸で、調査区内の規模は、長さ1.9m、幅38cm、深さ3cmを測る。調査区内でも東端のみの検出であるが、西側のE区の延長線上の位置にはSD-68が所在しており、SD-68についても断続的な状況で検出していることから本遺構と同時期の可能性が高い。

#### SD-008 (図1-48)

調査区東側で検出した。東側が調査区外に伸びており、検出部の規模は、長さ2.4m、幅(20)cm、深さ21cmを測る。東側のA-4区でSD-88とした溝の延長線上に位置しており、同一遺構と考えられる。



SP-001  
第1層 10YR1, 7/1 黒色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-002  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-003  
第1層 10YR2/1 黒色土  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量  
第3層 10YR2/3黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合土 ローム粒(φ5~10mm)微量  
第4層 10YR2/2黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合土 ローム粒・ブロック(φ5~25mm)少量

SP-004  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3mm)微量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ5mm)微量

SP-005  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-006  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)少量

SP-007  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)少量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量

SP-008  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-009  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-010  
第1層 10YR2/2黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-011  
第1層 10YR1, 7/1 黒色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-012  
第1層 10YR1, 7/1 黒色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-013  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3mm)微量

SP-014  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-015  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-016  
第1層 10YR 2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量

SP-017  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ3~10mm)微量

SP-018  
第1層 10YR1, 7/1 黒色土 ローム粒(φ3~10mm)微量

SP-019  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量

図 1-47 A-3 区 SP

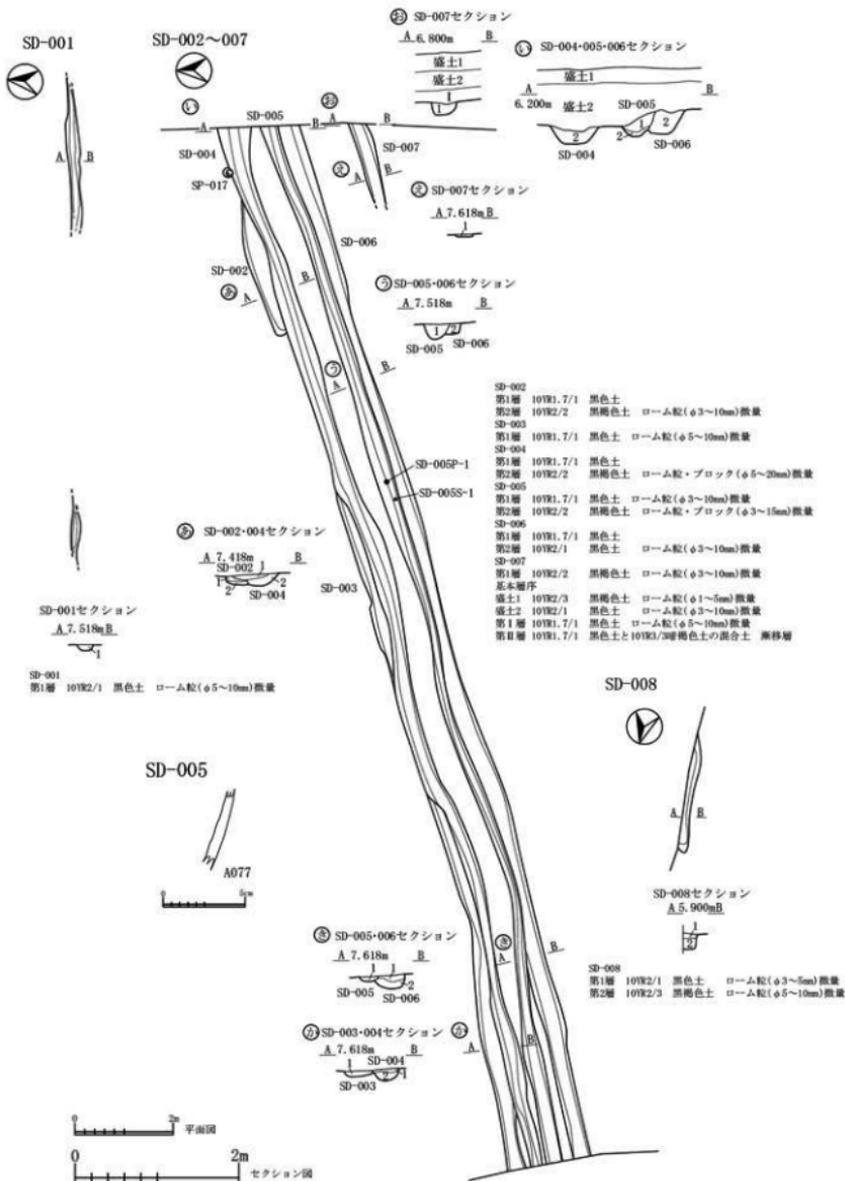


図 1-48 A-3区 SD

高間(1)遺跡A-4区遺構配置図(平成16・17年度〔2004・2005年〕調査) S=1/150

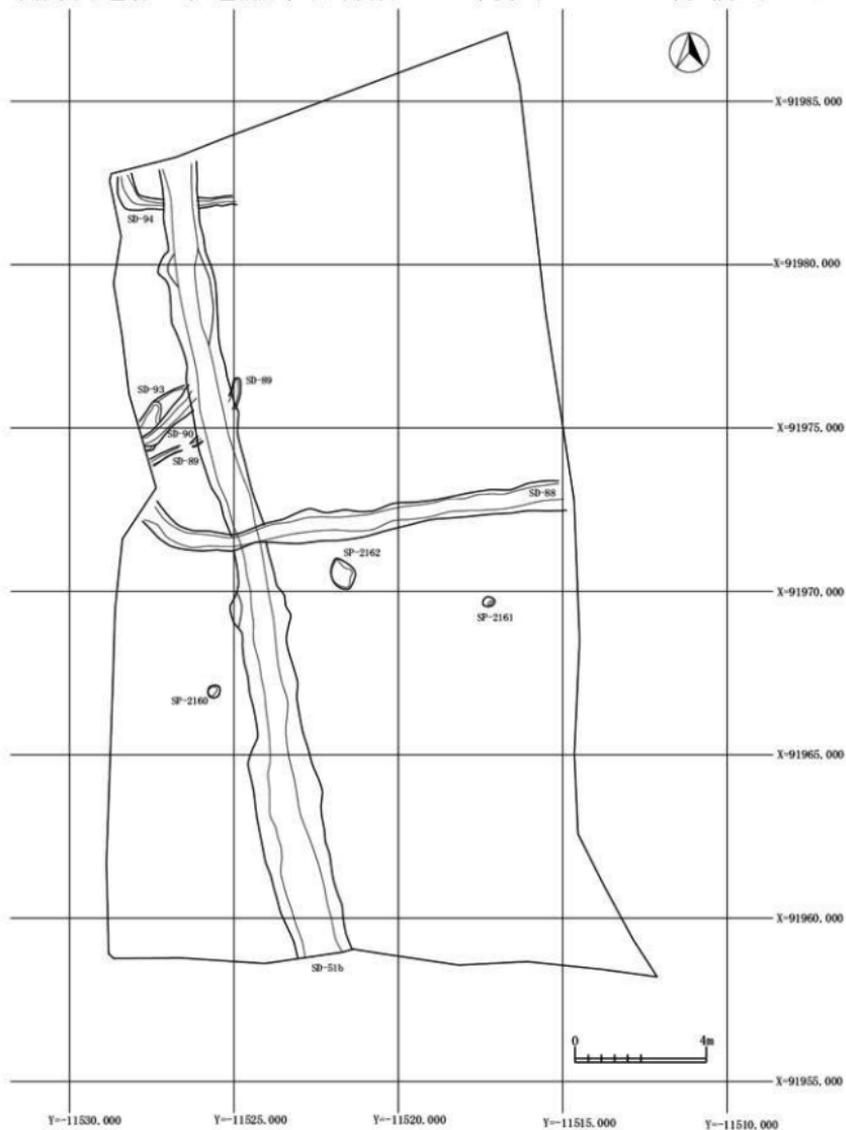


図 1-49 A-4区遺構配置図

## 第4節 A-4区

## 1. ピット

SP-2160 (図1-50)

調査区中央より西側の位置から検出した。平面形は不整形形を呈し、 $4.2.0 \times 3.6.0 \times 2.2.0$  cmを測る。断面形はV字状を呈しており、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は2層に分層し、黒色土主体の堆積である。

SP-2161 (図1-50)

調査区中央より東側の位置から検出した。平面形は楕円形を呈し、 $3.5.0 \times 3.0.0 \times 2.5.0$  cmを測る。断面形は段状に立ち上がる形状で、開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は2層に分層し、パミス粒などが若干含まれるが自然堆積状況を呈する。

SP-2162 (図1-50)

調査区中央から検出した。平面形は不整形楕円形を呈し、 $10.0.0 \times 7.3.0 \times 2.5.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は3層に分層し、浸食による影響を受けた黒色土が堆積し、自然堆積状況を呈する。

## 2. 溝跡

SD-51b (図1-51・52)

調査区北端～南端にかけて検出した。A-1区のSD-01・02、A-2区のSD-001、E区のSD-51につながる区画溝である。本調査区内での規模は、長さ24.9m、幅205.0cm、深さ68cmを測る。SD-88～90・94と重複しているが、いずれの遺構より本遺構の方が古い。また、他の地点で確認されたように複数の時期にまたがって利用されており、一部の地点では流路が別々に存在するものも見られるが、本調査区内では同一部分の再掘削にとどまっている状況である。覆土中から手づかねかわらけ1点(A078)、珠洲焼甕体部片1点(A079)、須臾器甕体部片1点(A080)、土師器小甕体部片1点(A081)、弥生土器甕1点(A082)、縄文土器体部片1点(A

083)を図示した。

SD-88 (図1-51)

調査区中央で検出した。SD-51bと重複しており、本遺構の方が新しい。調査区内での規模は、長さ13.6m、幅105cm、深さ15.0cmを測る。調査区西端の部分でL字状に曲がり、A-3区のSD-008につながる。この溝は土地の境界にも重なるものである。

SD-89 (図1-51)

調査区西側で検出した。SD-51bと重複しており、本遺構の方が新しいが、重複部分はSD-51bが優先的に掘削され、部分的な残存である。本調査区内での規模は、長さ4.0m、幅35.0cm、深さ23.0cmを測る。西側はA-3区のSD-005につながる。

SD-90 (図1-51)

調査区西側で検出した。SD-51bより新しいが、SD-51bが優先的に掘削されたため、重複部分の残存が少ない状況である。また、SD-93と重複しており、本遺構の方が新しい。調査区内での規模は、長さ2.2m、幅56.0cm、深さ21.0cmである。SD-51b・93と重複しており、いずれの遺構よりも新しい。西側はA-3区のSD-004につながる。

SD-93 (図1-51)

調査区西側で検出した。SD-90と重複しており、本遺構の方が古い。また、延長部がSD-51bと接しているが、詳細は不明である。調査区内での規模は、長さ2.0m、幅50.0cm、深さ10.0cmを測る。西側はA-3区のSD-002につながる。

SD-94 (図1-51)

調査区北側で検出した。SD-51bと重複しており、直接の重複部分はSD-51bの掘削優先で調査されており、残存していないが、図1-51のA-Bライン上で第VII層から掘り込みが行われてい

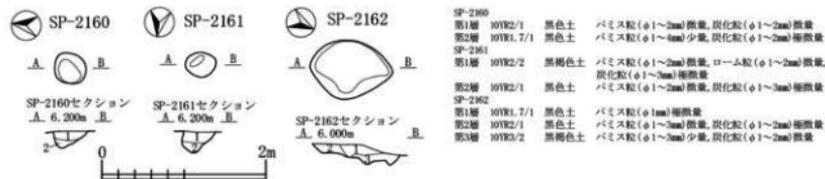


図1-50 A-4区SP



基本層序			
第1層	10YR3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)極微量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)極微量,炭化灰(φ1~5mm)極微量
第3層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)微量
第4層	10YR1/1	黒褐色土	バミス灰(φ1~1mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第5層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)極微量,炭化灰(φ1~3mm)極微量
第6層	10YR3/1	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)極微量,ロームブロック(φ10~30mm)微量
第7層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)極微量,ロームブロック(φ10~30mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
SD-51b			
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~3mm)極微量
第3層	10YR1, 7/1	黒色土	炭化物混合層 バミス灰(φ1~2mm)微量
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第5層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)極微量
第6層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~1mm)多量,炭化灰(φ1mm)極微量
第7層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,鉄分ブロック(φ10~20mm大)混入
第8層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1mm)極微量
第9層	10YR3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~1mm)中量,炭化灰(φ1~2mm)微量
第10層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第11層	10YR3/1	黒褐色土	炭化灰(φ1~2mm)極微量,粘土ブロック(φ10~20mm)少量
第12層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~40mm)微量,炭化灰(φ1~3mm)微量
第13層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第14層	10YR3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~1mm)中量
第15層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)微量
第16層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,炭化灰(φ1mm)微量
第17層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~7mm)中量,炭化灰(φ1~2mm)微量
第18層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)微量
第19層	10YR3/1	黒褐色土	バミス灰(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第20層	10YR1, 3/1	にぶい黄褐色土	バミス灰(φ1~5mm)中量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化灰(φ1~3mm)少量,砂粒ブロック状に混入
第21層	10YR1, 7/1	黒色土	バミスブロック(φ10~40mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第22層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ3~6mm)極微量,炭化灰(φ1~4mm)少量
第23層	10YR4/1	褐色土	バミス灰(φ3~6mm)極微量,炭化灰(φ1~4mm)少量
SD-88			
第1層	10YR4/1	褐色土	粘土質土層 バミス灰(φ1~2mm)微量
第2層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~4mm)微量,バミスブロック(φ10~20mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
SD-89			
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~9mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第3層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~3mm)微量
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~4mm)少量,バミスブロック(φ20mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
SD-90			
第1層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~4mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~9mm)少量,炭化灰(φ1mm)極微量
第3層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~9mm)中量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~4mm)極微量,ロームブロック(φ10~15mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
SD-93			
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~4mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
SD-94			
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス灰(φ1~5mm)微量
第3層	10YR3/1	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)極微量

## SD-51b

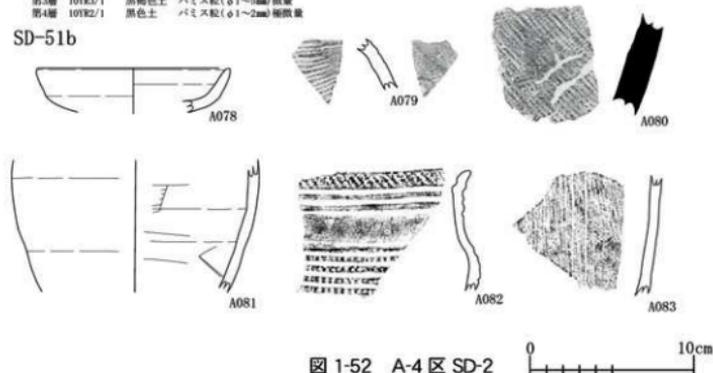


図 1-52 A-4 区 SD-2

るところをみると近接した時期の掘削であることがわかる。また、南側に所在するSD-88は本遺構とほぼ同軸で、西端でL字状に曲がる点など共通であり、同時期もしくは近接した時期の所産と判断でき、SD-88の方がSD-51bより新しい。このことからSD-94についてもSD-51bよりは新しい可能性が高い。調査区内での規模は、長さ4.2m、幅57.0cm、深さ25.0cmを測る。SD-88と同様にこの溝の東側の延長線上は土地

の境界と重なるものである。

### 高間(1)遺跡B区遺構配置図 S=1/600

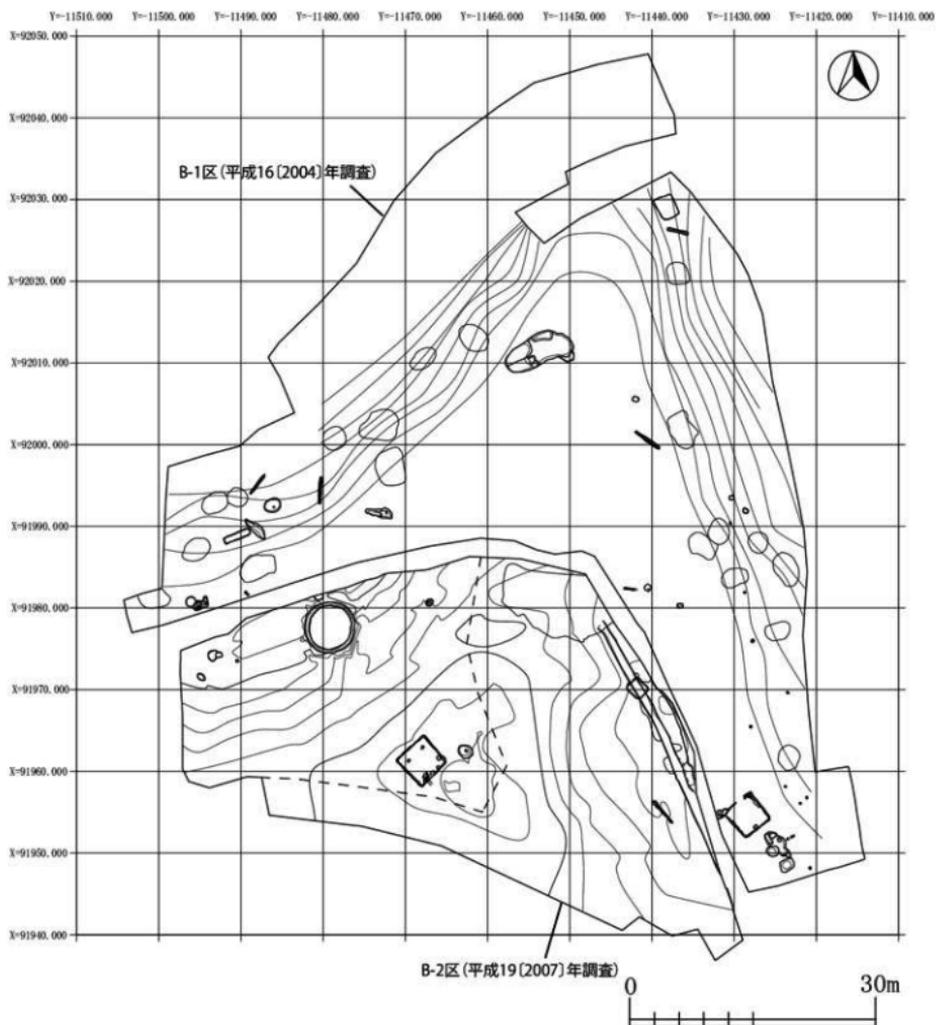


図 1-53 B区遺構配置図

## 第三章 B区

B区の調査は、平成16・19年度に5,940.9㎡を対象として調査を実施している。隣接する地点であるものの、それぞれの年度の番号付与状況は調査担当者が異なり別々の内容であったため、本報告に際して、A区と同様に調査年次単位で、区分けした内容を報告することとする。区分けは便宜的に平成16年度調査部分をB-1区、平成19年度の調査区をB-2区とした。

### 第1節 B-1区

#### 1. 竪穴住居跡

##### SI-01 (図1-55)

調査区南東隅で検出した。SK-07と重複しており、本遺構の方が古い。削平により壁溝とピットのみの検出で、壁溝から推定される規模は424.0×420.0×c mを測る。平面形は方形で、壁溝が北壁の中央が空いているが、断続しながらほぼ全周する形である。ピットは壁溝内の小ピットを含め27基扱いで精査されているが、柱穴として明確に機能したのはPit1程度で、他の資料は残存部分から検出していないが、前述のとおり、北壁側の中央付近に空地があり、その部分に設置されていた可能性がある。その場合N3の位置で、建物の主軸方位は(N-40°-W)である。

#### 2. 土坑

##### SK-03 (図1-56)

調査区南東隅で検出した。SK-04と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は楕円形を呈し、150.0×123.0×44.0 c mを測る。断面形はやや凹凸がある形状で、壁は段を変え立ち上がっている。堆積土は5層に分層し、廃棄の伴う人為的堆積状況を呈する。第2層中からB-Tm火山灰を粒状に検出している。出土遺物は破片資料主体で図示したのは製土器士の体部片2点を図示した。

##### SK-04 (図1-56)

調査区南東隅で検出した。SK-03・06と重複しており、SK-03より古くSK-06より新しい。平面形は不整形を呈し、423.0×173.0×25.0 c mを測る。断面形は段状を呈し、壁際は緩やかに立ち上がる。また、本遺構の帰属扱いでPit2基を精査しているが、Pit1については本遺構の上面で検出しており、帰属したとは認定できず、Pit2については掘り方充填相当と類似した土が堆積していることから掘削痕の充填部分の可能性が有る。

##### SK-05 (図1-57・58)

調査区中央からやや北側の地点で検出した。SK-09と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形楕円形を呈し、規模は(275.0)×(175.0)×50.0 c mを測る。断面形はやや凹凸がある形状で、壁際は垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分がある。堆積土は13層に分層し、ブロックを含む埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。覆土中から縄文時代前期の土器部資料2点が出土している。

##### SK-06 (図1-56)

調査区南東隅で検出した。SK-04と重複しており本遺構の方が古い。平面形は不整形丸方形で、171×136×36 c mを測る。断面形は段状に立ち上がる形状で、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分がある。堆積土は5層に分層し、壁際にブロック混じりの土が堆積しているが、他は自然堆積状況を呈する。

##### SK-07 (図1-59)

調査区南東隅で検出した。SI-01と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形を呈し、(150.0)×100.0×23.0 c mを測る。西側の調査区境界部分の形状は断続しているが、長楕円形状の土坑が二重なった形状を呈している。断面形は段状を呈し、前述の重なったような部分の境界は段を持ちそれぞれ別遺構のような形状を持っている。別遺構と捉えた場合西側の方が新しく、SI-01と重複する側の方が古い。堆積土は双方併せて5層に分層しており、いずれの堆積土もブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

##### SK-09 (図1-57・58)

調査区中央からやや北側の地点で検出した。SK-05・12と重複しており、いずれの遺構よりも新しい。平面形は不整形楕円形を呈し、850.0×354.0×32.0 c mを測る。断面形は若干凹凸があり、一部で土坑状の掘り込みがある。壁は開き気味に緩やかに立ち上がる。堆積土は25層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。覆土中から縄文時代前期末の体部資料、第8層とB-2区のSM-001上層出土の遺構間接合資料の半円状扁平打製石器などが出土している。

##### SK-10 (図1-59)

調査区北側から検出した。平面形は隅丸長方形を呈し、287.0×240.0×11.0 c mを測る。

高間(1)遺跡B-1区遺構配置図 S=1/500

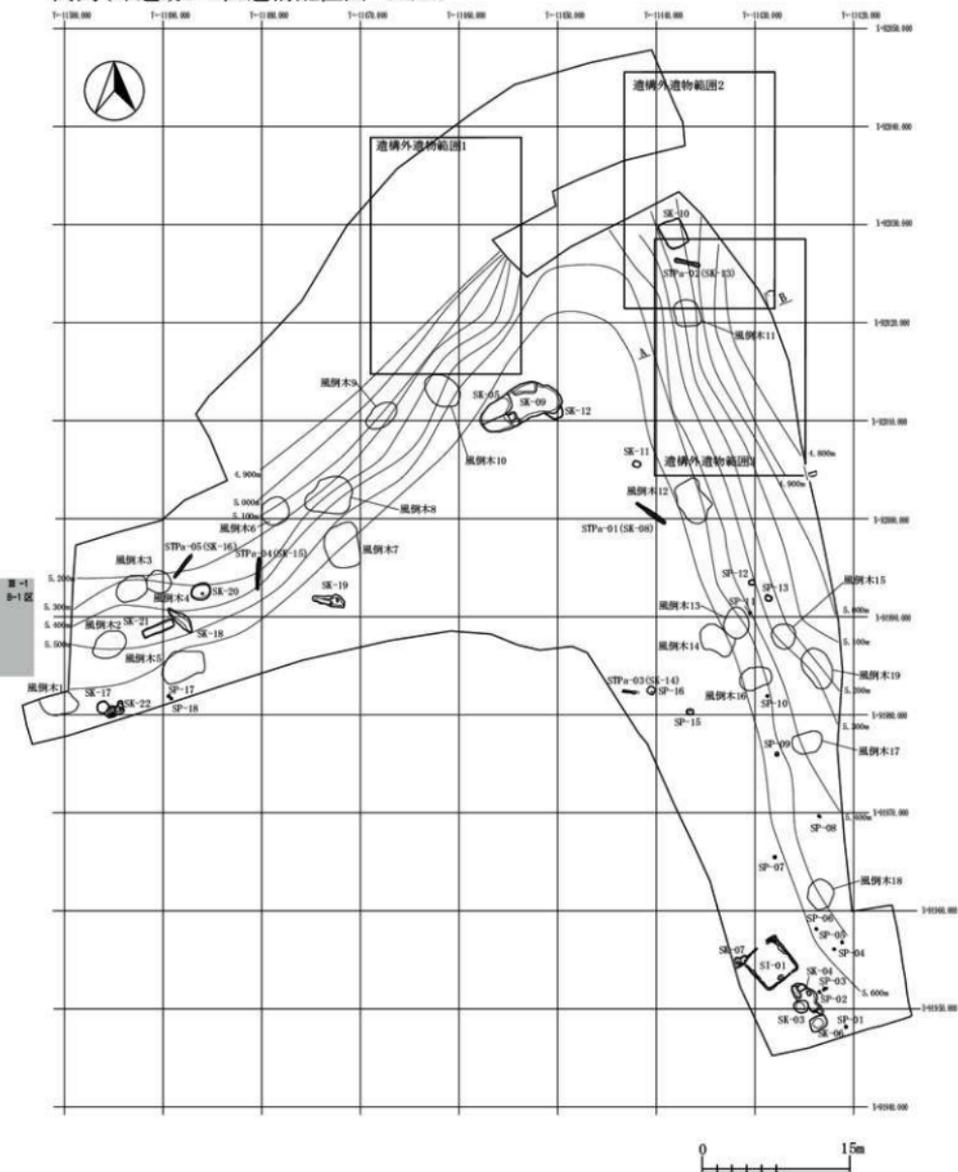
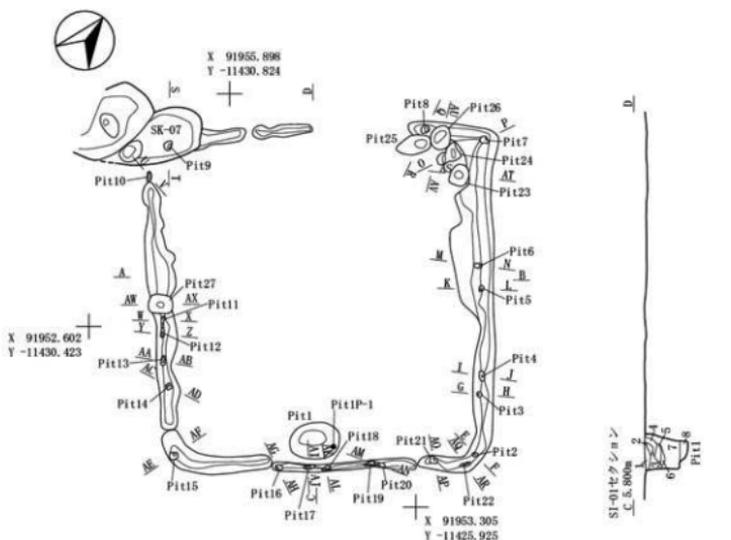


図 1-54 B-1区遺構配置図

SI-01



SI-01

壁溝1	10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ2mm)微量, パミス(φ3mm)極微量
第1層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)少量, 炭化粒(φ5~9mm)微量, パミス粒(φ3mm)微量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ3mm)微量
第4層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)微量
壁溝2		
第1層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量, パミス粒(φ3mm)極微量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, パミス粒(φ2mm)極微量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)多量

SI-01Pit1

第1層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ3mm)微量, ロームブロック(φ10~30mm)少量, 焼土粒(φ2~9mm)少量, 炭化粒(φ2mm)微量
第2層	10YR5/4 にがい黄褐色土	ローム粒(φ5~9mm)少量, 焼土粒(φ5mm)少量, 炭化粒(φ3mm)微量, 粘土粒(φ2mm)極微量
第3層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ3~15mm)少量, パミス粒, 炭化粒
第4層	10YR4/3 にがい黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~15mm)中量, 焼土粒(φ2~5mm)少量, 炭化粒(φ2mm)極微量
第5層	10YR5/4 にがい黄褐色土	ローム粒(φ2mm)微量, 焼土粒(φ2~3mm)微量, 炭化粒(φ2mm)微量
第6層	2.5YR5/6 明赤褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~30mm)少量, 焼土粒・焼土ブロック(φ2~15mm)微量, 炭化粒(φ2~5mm)極微量, 粘土粒(φ0.5mm)極微量
第7層	7.5YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ5mm)極微量, パミス粒(φ2mm)極微量
第8層	7.5YR3/3 暗褐色土	

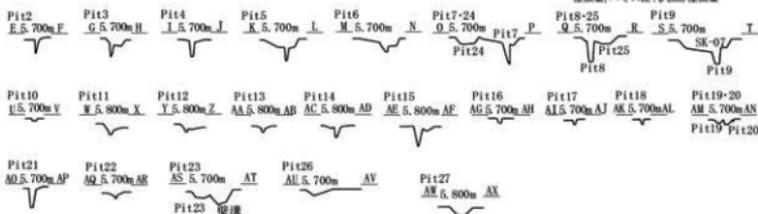
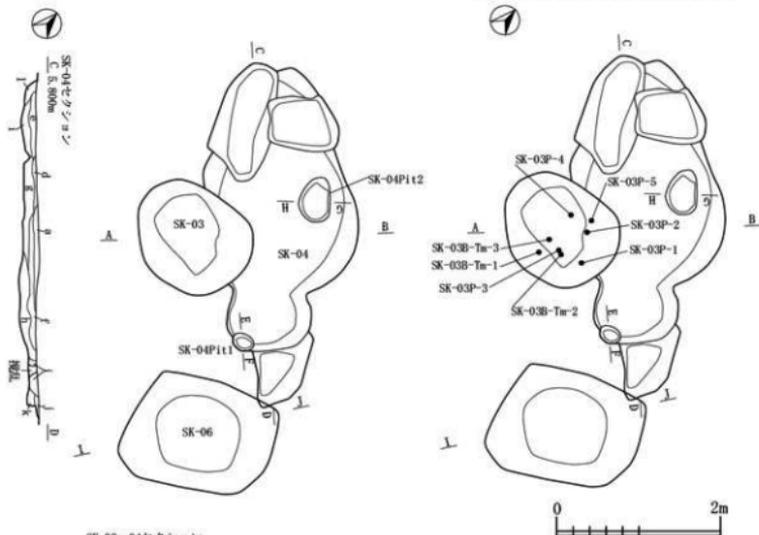


図 1-55 B-1 区 SI

SK-03・04・06

SK-03土器・B-Tm火山灰出土位置図



- SK-04P11  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒微量
- SK-04P12  
第1層 10YR4/3 に近い黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、炭化粒(φ2mm)極微量、粘土粒(φ5mm)極微量
- SK-06  
第1層 7.5YR4/3 褐色土 ローム粒(φ2mm)極微量、炭化粒(φ1mm)極微量、パミス粒(φ2~2mm)微量  
第2層 7.5YR5/4 に近い褐色土 パミス粒(φ1~2mm)極微量  
第3層 7.5YR6/4 に近い褐色土 パミス粒(φ1mm)極微量  
第4層 10YR7/2 に近い黄褐色土 ローム粒(φ2mm)極微量  
第5層 10YR7/6 明黄褐色土 10YR3/3暗褐色土ブロック(φ10mm)極微量、パミス粒(φ2mm)極微量

- SK-03  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ15mm)少量、炭化粒(φ2mm)極微量、パミス粒(φ5mm)微量  
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ2mm)微量、ロームブロック(φ15mm)極微量、炭化粒(φ2mm)極微量  
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ2mm)中量、パミス(φ2~9mm)少量  
第4層 10YR1.7/1 黒色土 10YR3/2黒褐色土ブロック(φ10~20mm)中量、ローム粒(φ2~2mm)微量  
第5層 10YR1.7/1 黒色土 10YR3/2黒褐色土ブロック(φ10mm)微量、ローム粒(φ2~9mm)極微量
- SK-04  
第a層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)極微量、炭化粒(φ2mm)極微量、パミス粒(φ1mm)極微量  
第b層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)極微量  
第c層 10YR3/3 増褐色土 ローム粒(φ1mm)極微量、パミス粒(φ1mm)極微量  
第d層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量  
第e層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)微量、炭化粒(φ2mm)極微量、B-Tm火山灰極微量  
第f層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量、パミス粒(φ1mm)極微量  
第g層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量、炭化粒(φ2mm)微量、パミス粒(φ5~9mm)微量  
第h層 10YR3/2 増褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量、炭化粒(φ2mm)極微量、パミス粒(φ2mm)極微量  
第i層 10YR3/3 増褐色土 ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ2mm)極微量、パミス粒(φ5mm)少量  
第j層 10YR3/2 黒褐色土 10YR3/1黒褐色土少量、ローム粒(φ3mm)極微量  
第k層 10YR4/3 に近い黄褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量、パミス粒(φ2~2mm)微量
- 第1層 10YR3/3 増褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)多量、パミス粒(φ5mm)極微量

SK-03

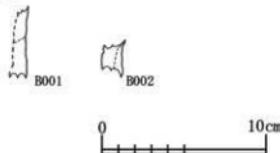
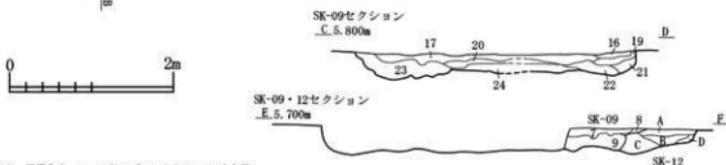
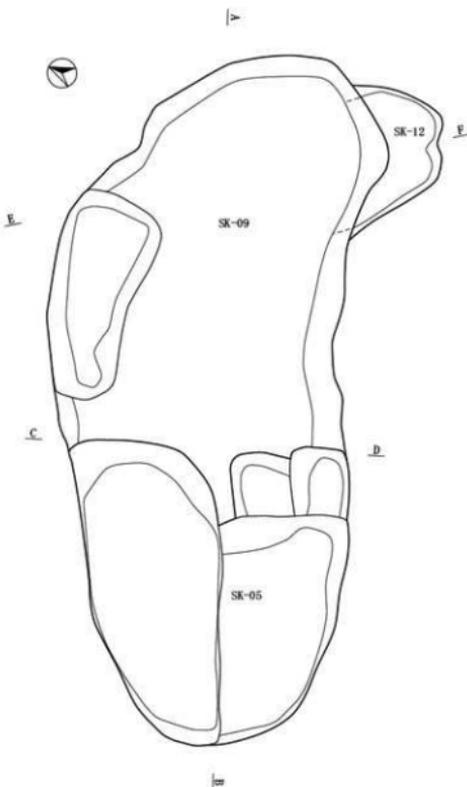
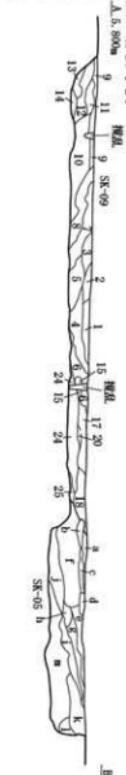


図 1-56 B-1区 SK-1

SK-05-09-12



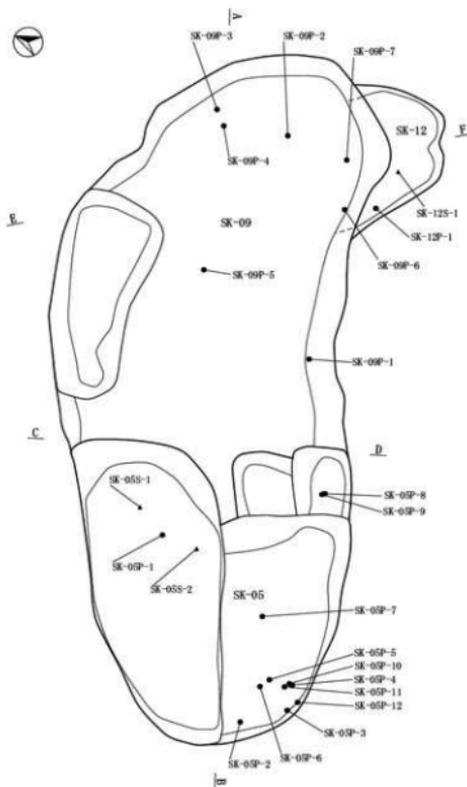
SK-05		
第a層	10TR3/2	黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量
第b層	10TR2/1	黒色土 ローム粒(φ1~2mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)中量
第c層	10TR4/4	褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~50mm)多量
第d層	10TR4/6	褐色土 ローム主体層
第e層	10TR3/2	黒褐色土 黒褐色土ブロック(φ15~25mm)少量,ローム・ブロック(φ5~30mm)中量
第f層	10TR4/4	褐色土 黒褐色土ブロック(φ30~40mm)少量,ローム・ブロック(φ5~50mm)多量
第g層	10TR4/4	褐色土 黒褐色土ブロック(φ10~30mm)少量,ローム・ブロック(φ2~40mm)中量
第h層	10TR3/2	黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量,ロームブロック(φ50mm)微量
第i層	10TR4/4	褐色土 黒褐色土ブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ2~9mm)多量,ロームブロック(φ10~60mm)中量
第j層	10TR3/3	暗褐色土 黒褐色土ブロック(φ20~60mm)少量,ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ20~40mm)少量
第k層	10TR3/2	黒褐色土 黒褐色土ブロック(φ40~60mm)中量,ローム粒(φ1~6mm)中量,ロームブロック(φ20~40mm)微量,炭化粒(φ2~4mm)微量
第l層	10TR3/2	黒褐色土 ローム粒(φ2~4mm)中量,ロームブロック(φ10~20mm)微量
第m層	10TR2/1	黒色土 ローム粒(φ4~9mm)多量,ロームブロック(φ10~20mm)微量

SK-12		
第A層	10TR2/3	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15~60mm)少量,焼土粒(φ1mm)微量
第B層	10TR3/3	暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)多量
第C層	10TR2/3	黒褐色土 ローム粒(φ1~60mm)少量,ロームブロック(φ10~60mm)少量
第D層	10TR2/2	黒褐色土 ローム粒(φ1~7mm)微量

図 1-57 B-1 区 SK-2

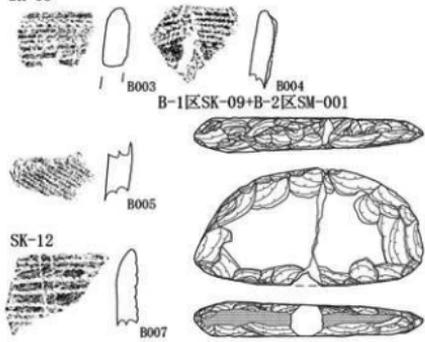
B-1 区

SK-05・09・12遺物出土位置図



- SK-09
- 第1層 10R5/6 黄褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック(φ10~40cm)中量、ローム粒・ブロック(φ1~100cm)多量、パミス粒(φ1~5cm)散量
- 第2層 10R4/3 に近い黄褐色土、ローム粒(φ1~9cm)中量、パミス粒(φ1cm)散量
- 第3層 10R5/6 黄褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック(φ10~40cm)少量、ローム粒・ブロック(φ1~40cm)多量、パミス粒(φ1cm)散量
- 第4層 10R3/3 暗褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック(φ10~30cm)少量、ローム粒(φ1~9cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)少量
- 第5層 10R5/4 に近い黄褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック(φ10~100cm)中量、ローム粒・ブロック(φ1~10~50cm)中量
- 第6層 10R2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9cm)少量、ロームブロック(φ10~20cm)散量、灰化粒(φ1~3cm)散量
- 第7層 10R2/3 黄褐色土 ローム粒(φ1~9cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)少量、パミス粒(φ1cm)散量
- 第8層 10R5/6 黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40cm)多量
- 第9層 10R3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~9cm)少量、ロームブロック(φ10~20cm)中量、パミス粒(φ1cm)散量
- 第10層 10R3/3 暗褐色土 (φ10~20cm)中量、灰化粒(φ1~3cm)散量
- 第11層 10R2/2 黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40cm)多量、ロームブロック(φ10~30cm)少量
- 第12層 10R2/2 黄褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~20cm)少量
- 第13層 10R4/4 褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック(φ10~20cm)少量、ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)中量
- 第14層 10R3/2 黄褐色土 ローム粒(φ1~5cm)少量、ロームブロック(φ10~30cm)少量
- 第15層 10R3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)少量
- 第16層 10R2/2 黄褐色土 ローム粒少量、ロームブロック(φ10~40cm)中量
- 第17層 10R3/3 黄褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒(φ1~5cm)多量、ロームブロック(φ10~40cm)多量
- 第18層 10R4/4 褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒(φ1~5cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)中量
- 第19層 10R3/4 暗褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒(φ1~5cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)少量
- 第20層 10R3/2 黄褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒(φ1~9cm)中量、ロームブロック(φ10~20cm)少量、パミス粒散量
- 第21層 10R3/4 暗褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック多量、ローム粒(φ1~5cm)中量、ロームブロック(φ10~30cm)中量
- 第22層 10R3/3 暗褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック散量、ローム粒(φ1~9cm)中量、ロームブロック(φ10~15cm)少量
- 第23層 10R3/3 暗褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒(φ1~9cm)中量、ロームブロック(φ10~40cm)多量
- 第24層 10R4/6 褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック多量
- 第25層 10R4/4 褐色土 10R2/3黄褐色土ブロック少量、ローム粒・ブロック(φ1~30cm)中量

SK-05



B-1区SK-09+B-2区SM-001

図 1-58 B-1区SK-3

断面形は緩やかに凹む形状で、一部ビット状に落ち込む部分が見られる。壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は5層に分層し、一部再掘削などが行われているが、主たる部分は自然堆積状況を呈する。壁際から自然礫が1点出土している。

#### SK-11 (図1-59)

調査区中央から検出した。平面形は隅丸方形を呈し、 $78.0 \times 60.0 \times 6.0$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は2層に分層し、自然堆積状況を呈する。第1層からB008として図示した戴石が出土している。石質は流紋岩である。

#### SK-12 (図1-57・58)

調査区中央からやや北側の地点で検出した。SK-09と重複しており、本遺構の方が古い。重複のため、欠損部が多いが、残存部は不整形円形を呈し、 $(180.0) \times 160.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は凹んだ形状で、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は4層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況である。覆土中から縄文時代前期末の口縁部片が出土している。

#### SK-17 (図1-59)

調査区西端から検出した。攪乱により切り合いが不明瞭ではあるが、SK-22と重複しており、SK-17の方が新しい堆積状況である。平面形は円形を呈し、 $125.0 \times 125.0 \times 18.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は11層に分層し、B-Tm火山灰を含む土層が幾重にも重なった堆積状況を呈しており、人為的堆積である。

#### SK-18 (図1-59)

調査区西側から検出した。平面形は溝状を呈し、 $340.0 \times 110.0 \times 20.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は8層に分層し、下層は流れ込みに伴う堆積状況で、最上位にB-Tm火山灰を含む土層が自然堆積して埋没が完了している。

#### SK-19 (図1-60)

調査区中央より西側の地点から検出した。平面形は溝状を呈し、 $324.0 \times 126.0 \times 42.0$  cmを測る。また底面部分にP1t1・2とした長楕円形の小ビット2基を検出している。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がる部分と垂直に近い形で立ち上がる部分が見られる。堆積土は7層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

#### SK-20 (図1-60)

調査区西側から検出した。平面形は楕円形を呈し、 $206.0 \times 165.0 \times 19.0$  cmを測る。また、中央から南寄りの底面上で $23 \times 21 \times 22$  cmの小ビットを検出している。断面形は皿形状で、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は6層に分層し、流れ込みの伴う自然堆積状況を呈する。

#### SK-21 (図1-60)

調査区西側から検出した。平面形は溝状を呈し、 $335.0 \times 90.0 \times 30.0$  cmを測る。断面形は箱形を呈し、垂直に近い形で立ち上がる。堆積土はブロック主体の埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。

#### SK-22 (図1-59)

調査区西側で検出した。SK-17と重複しており、攪乱により不明瞭ではあるが、本遺構の方が古い堆積状況である。平面形は不整形で、 $197.0 \times 107.0 \times 36.0$  cmを測る。断面形は凹凸が激しく、ビット状の掘り込みが複数検出している。壁は段状に立ち上がる部分がある。堆積土は8層に分層し、人為堆積状況を呈する。

#### SK-23 (図1-60)

調査区北側で、基本層序の記録ベルト上で断面のみ確認している。平面の記録がなく、長さ $238.0$  cm、深さ $23.0$  cmを測る。堆積土は2層に分層し、自然堆積状況を呈する。

### 3. 溝状土坑 (Tピット)

#### STPa-01 (SK-08) (図1-61)

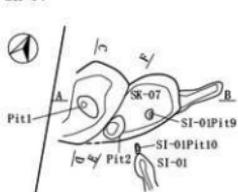
調査区中央より東側で検出した。平面形は溝状を呈し、 $360.0 \times 46.0 \times 117.0$  cmを測る。断面形は一部袋状を呈する部分があるが、ほとんどが垂直に近い形で立ち上がり、壁際で開き気味に立ち上がる。堆積土は14層に分層し、地点により堆積状況が異なるが、自然堆積状況を呈する。覆土中から縄文土器の体部資料が出土した。

#### STPa-02 (SK-13) (図1-61)

調査区北側から検出した。平面形は溝状を呈し、 $261.0 \times 42.0 \times 101.0$  cmを測る。断面形は壁上部で根による影響で変形箇所が認められるが、中層以下は垂直に近い立ち上がりである。堆積土は4層に分層し、自然堆積状況を呈する。覆土中からSTPa-01出土の土器片と同一個体と考えられる体部資料が出土している。

#### STPa-03 (SK-14) (図1-61)

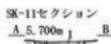
SK-07



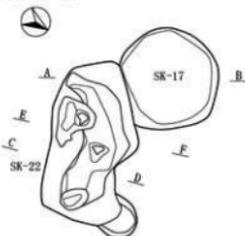
SK-07		
第1層 10YK2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)微量,バミブロック(φ10mm)微量
第3層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
第4層 10YK2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ2mm)微量
第5層 10YK3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,炭化粒(φ2mm)微量
SI-01壁溝1		
第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)少量,炭化粒(φ5~9mm)微量,バミ粒(φ3mm)微量



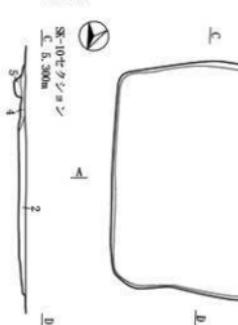
SK-11



SK-17-22

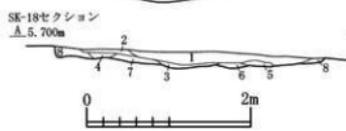
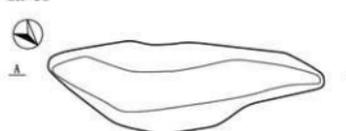


SK-10



SK-10		
第1層 10YK2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YK1/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第3層 10YK2/1	黒色土	ローム粒(φ1mm)微量,焼土粒(φ5mm)微量
第4層 10YK2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第5層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)中量
SK-11		
第1層 10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量
第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量

SK-18



SK-17		
第1層 10YK2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)少量,炭化粒(φ7mm)微量
第2層 10YK1/1	黒色土	ローム粒(φ1mm)微量, B-Ta火山灰少量
第3層 10YK6/4	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, B-Ta火山灰多量
第4層 10YK2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)中量,炭化粒(φ3~5mm)微量, B-Ta火山灰微量
第5層 10YK2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化物(φ10~15mm)少量, B-Ta火山灰少量
第6層 10YK1/1	黒色土	炭化物主体層,ローム粒(φ1~6mm)少量, B-Ta火山灰微量
第7層 10YK1/1	黒色土	炭化物主体層,ローム粒(φ1~2mm)微量, B-Ta火山灰少量
第8層 10YK4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
第9層 10YK1/1	黒色土	炭化物主体層,ローム粒(φ5mm)少量
第10層 10YK4/4	褐色土	ローム粒(φ1~7mm)中量
第11層 10YK3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SK-22		
第1層 10YK3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量
第2層 10YK2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ30mm)混入
第3層 10YK3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~15mm)少量,炭化粒(φ3~5mm)微量
第4層 10YK3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~15mm)微量
第5層 10YK4/3	にぶい黄褐色土	ローム(V)相厚土層
第6層 10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~15mm)少量
第7層 10YK3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~40mm)少量
第8層 10YK4/1	褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)少量

図 1-59 B-1 区 SK-4

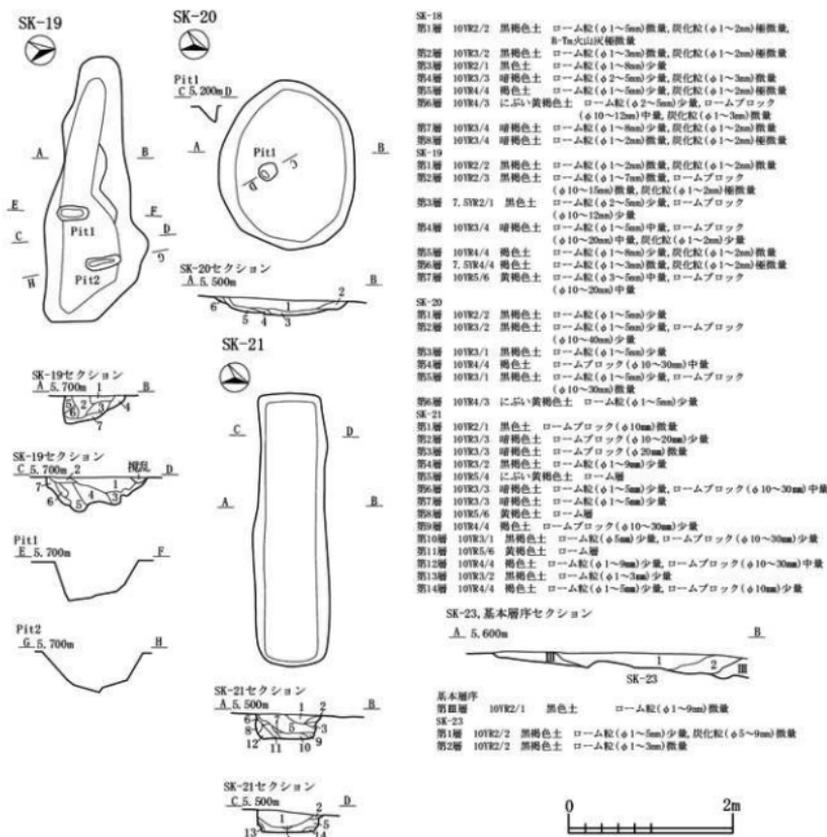


図1-60 B-1区 SK-5

調査区中央より南側の地点で検出した。平面形は溝状を呈し、 $133.0 \times 26.0 \times 78.0$  cmを測る。断面形は段状で東壁の一部が袋状に入り込む。堆積土は4層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。覆土中から縄文時代前期の口縁部片と後期の体部片が出土している。

#### STP a-04 (SK-15) (図1-61)

調査区西側で検出した。平面形は溝状を呈し、 $331.0 \times 34.0 \times 78$  cmを測る。断面形は壁上部で角度を変え開き気味に立ち上がる形状で、壁は凹凸が顕著である。堆積土は6層に分層し、自然堆積状況を呈する。

#### STP a-05 (SK-16) (図1-61)

調査区西側で検出した。平面形は溝状を呈し、 $275.0 \times 28.0 \times 73.0$  cmを測る。断面形は長軸方向が袋状を呈し、短軸方向は壁上部で開き気味に角度を変え立ち上がっている。堆積土は8層に分層し、壁崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### 4. ビット (図1-62)

調査区内から17基検出した。規模等の情報は遺構観察表に集約した。ほとんどが調査区南東側から検出しており、SP-01・02はSI-01の南側に延びる同一軸線上に並ぶビットである。また、SP-04~11についても直線的ではないにせよ、コンターラインに沿った配置をしており、櫛等

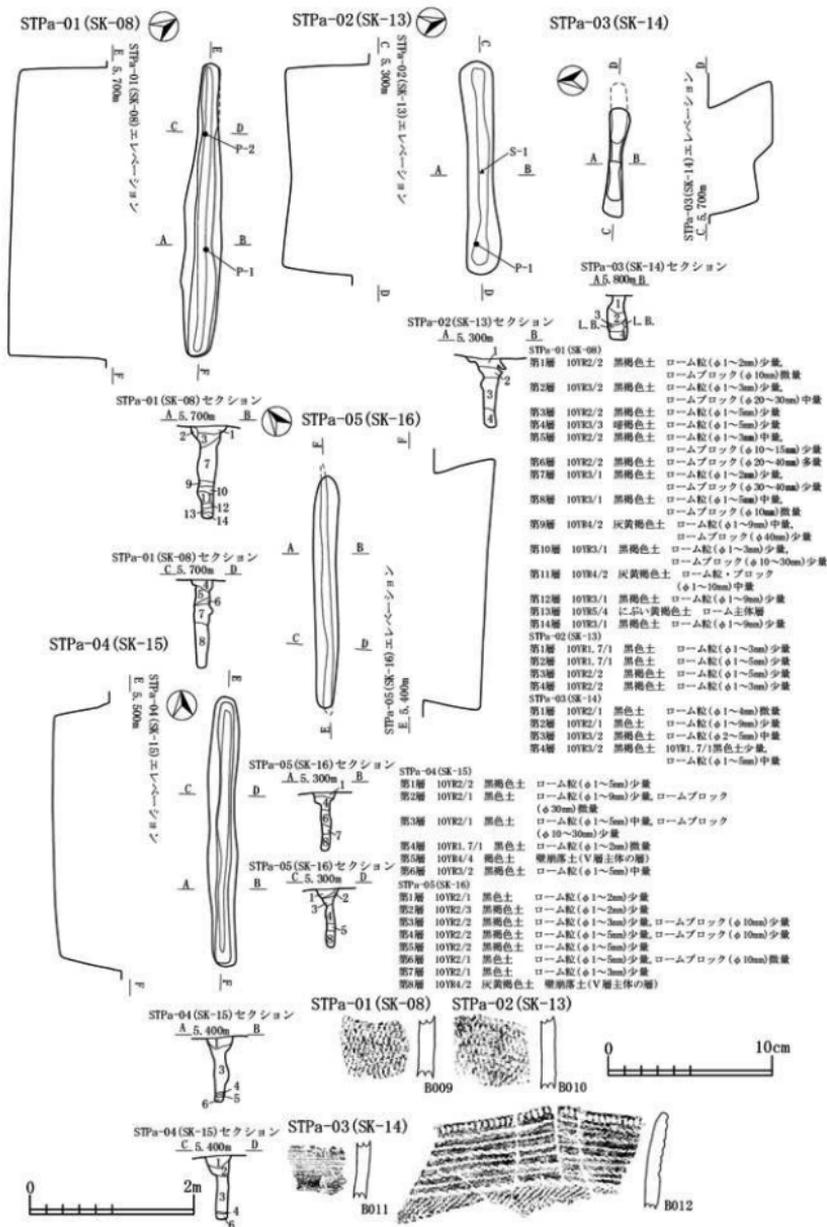


図 1-61 B-1 区 STPa

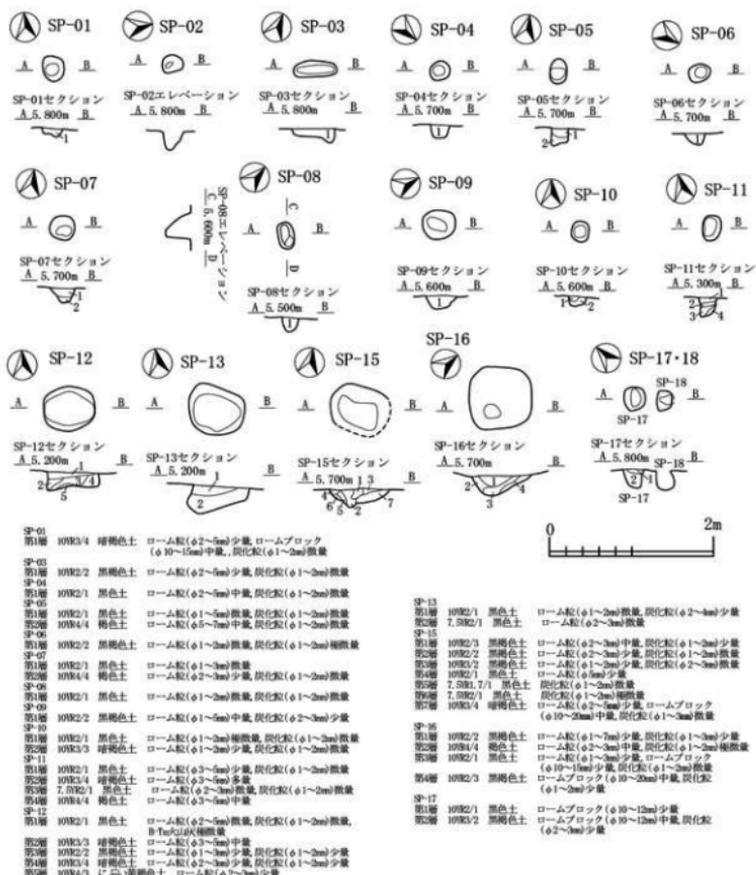


図 1-62 B-1 区 SP

の役割を果たした可能性を持つ。

## 5. 遺構外出土遺物 (図 1-63 ~ 70)

出土位置図については図 1-63 ~ 67、出土遺物の実測図について図 1-68 ~ 70 に図示した。北側に舌状に突出した北西側および北東~東側に緩やかに傾斜する斜面上に廃棄されていた。斜面上に廃棄されていた資料は縄文時代後期末葉土層下層 d<sub>1</sub> ~ d<sub>2</sub> 式にかけての資料がほとんどで、縄文時代後期前葉の十腰内 I 式の土器も若干混入している。B 013 は III 層 P-553 (微細図 3) 出土の深鉢で、口径 27.0 cm、器高 35.6 cm、底径 11.4 cm を測る。受け口状の口縁部器形で、外面口縁部は原体の背面を刺突気味に 4 列押し形付ている。ま

た、体部は単軸絡糸体以外に細い工具により条痕が施されており、器形文様施文ともルーズな規範により作られた資料である。内面のミガキは横方向に精緻に行われており、外面の口縁~体部上半、内面の体部下半には煤・炭化物が付着している。B 021 は包含層出土のかわらけで口径 8.8 cm、器高 1.6 cm、底径 7.4 cm、器高指数 18.2、底径指数 8.41 を測る。手づくねかわらけで、器壁に厚みがあり、外面体部下半はヘラクズリにより器壁が面取り状に薄くされている。薄片石器は珪質頁岩主体で、礫石器は半円状扁平打石器の出土が顕著である。その他、B 036 は包含層出土の漆器櫛で近世以降の所産であり、B 037 は包含層出土の二銭銅貨で鋳造年は寛政で読定できなかった。

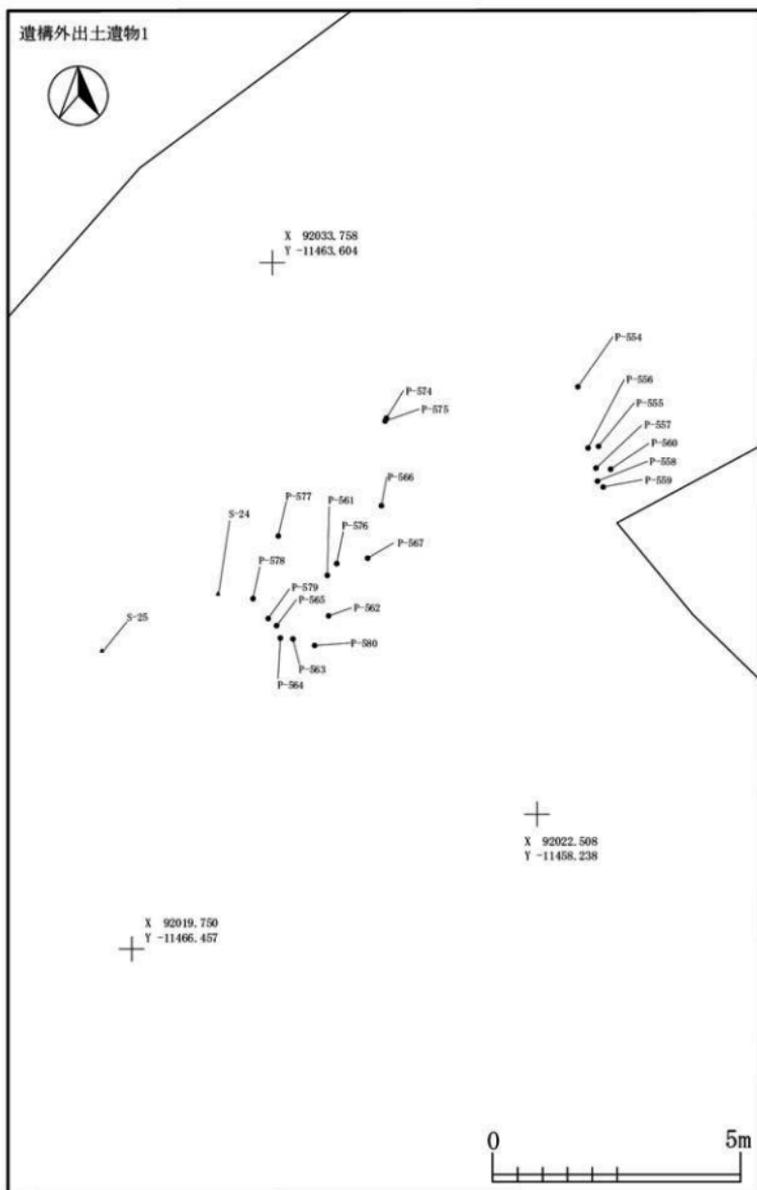


図 1-63 B-1区遺構外出土遺物-1

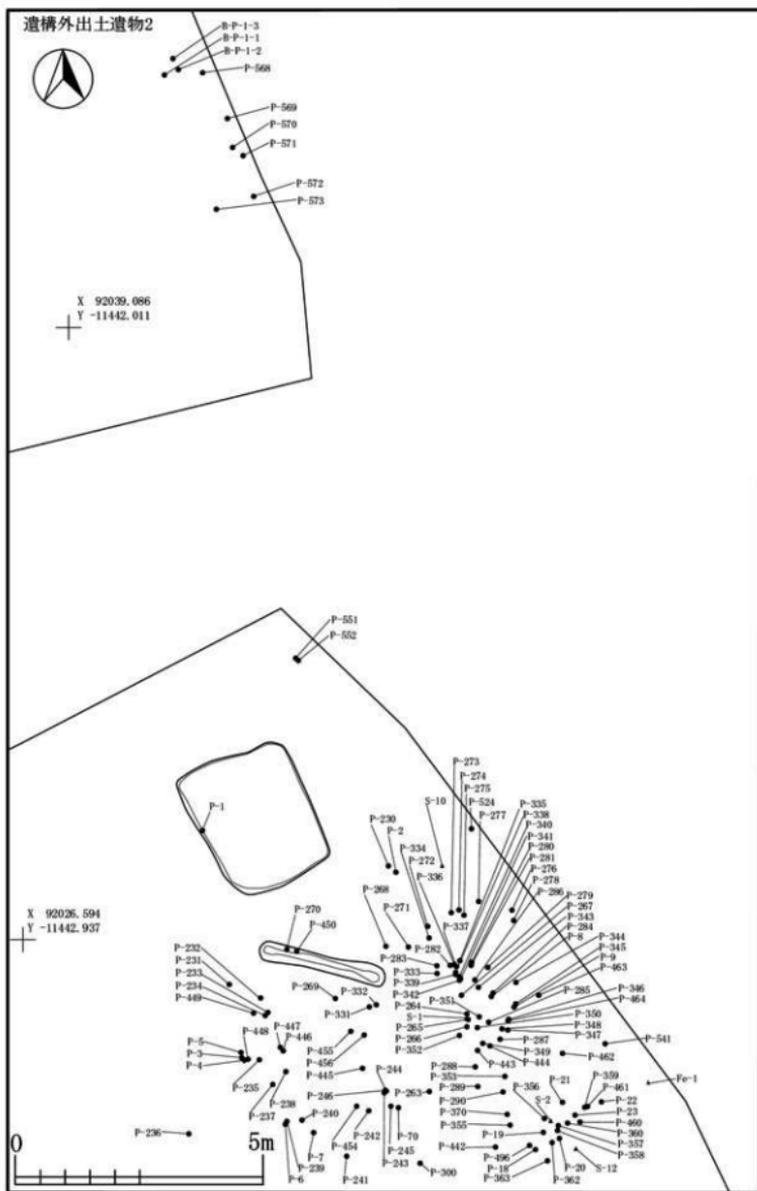


圖 1-64 B-1区遺構外出土遺物-2

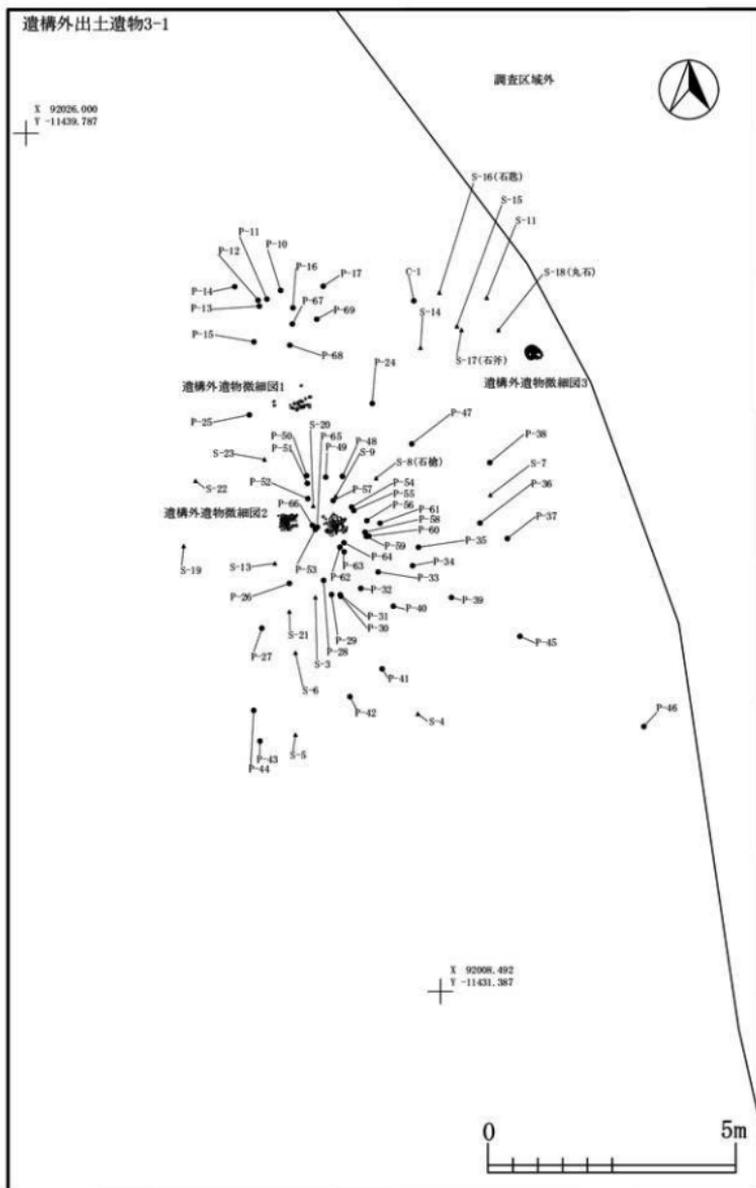


図 1-65 B-1区遺構外出土遺物-3

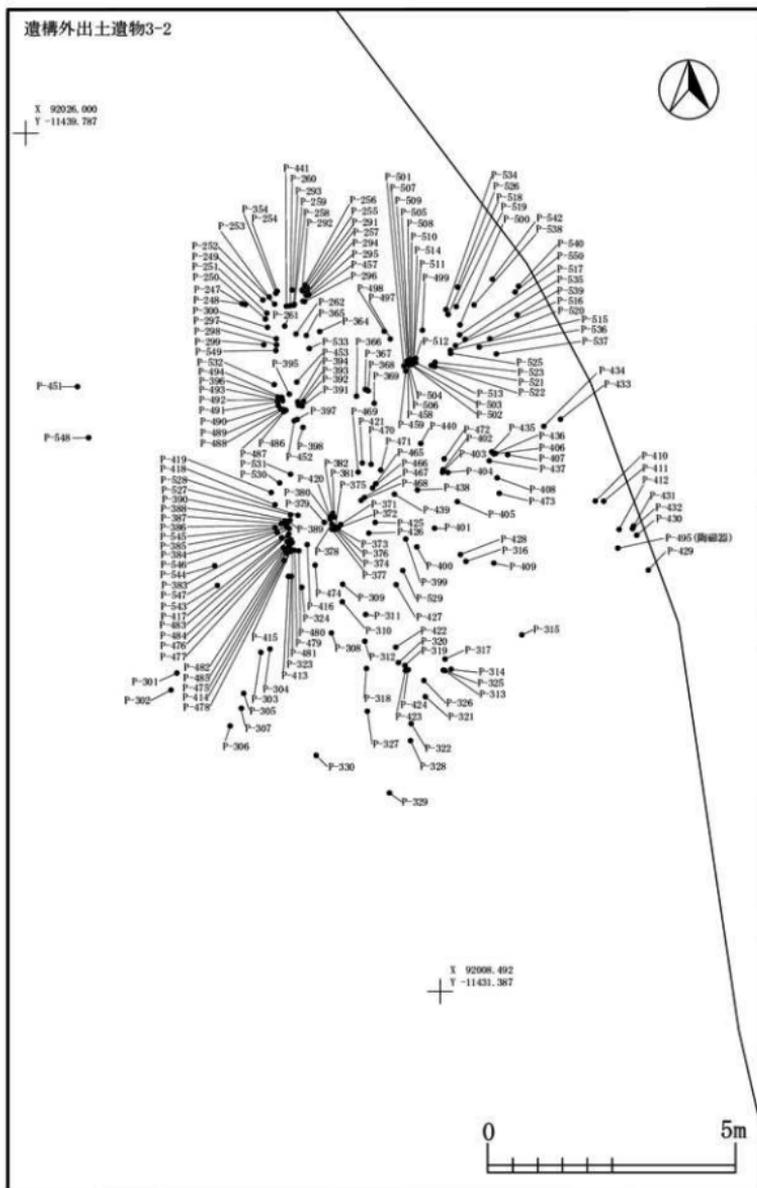
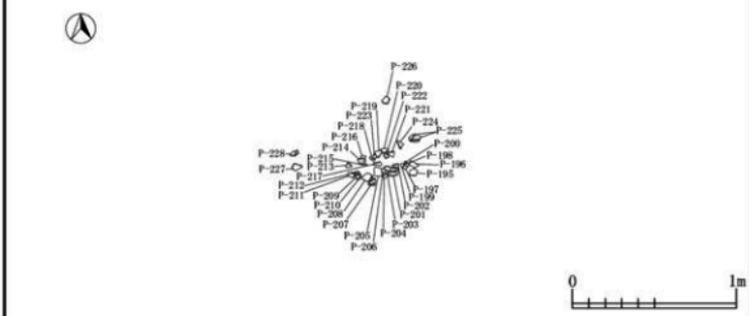
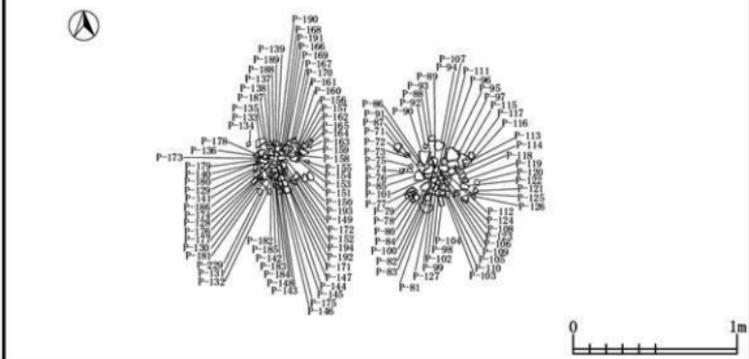


圖 1-66 B-1区遺構外出土遺物-4

遺構外出土遺物微細図1



遺構外出土遺物微細図2



遺構外出土遺物微細図3



図 1-67 B-1区遺構外出土遺物-5

## 遗構外出土遺物

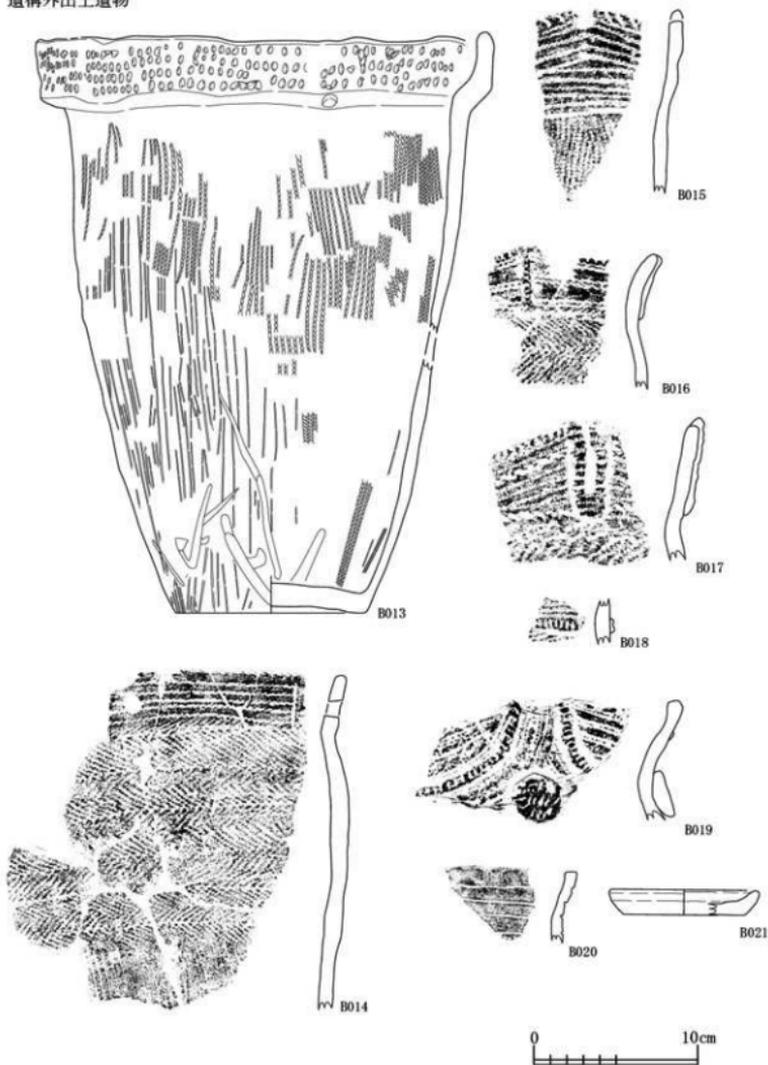
圖-1  
B-1区

图 1-68 B-1区遗構外出土遺物-6

遺構外出土遺物

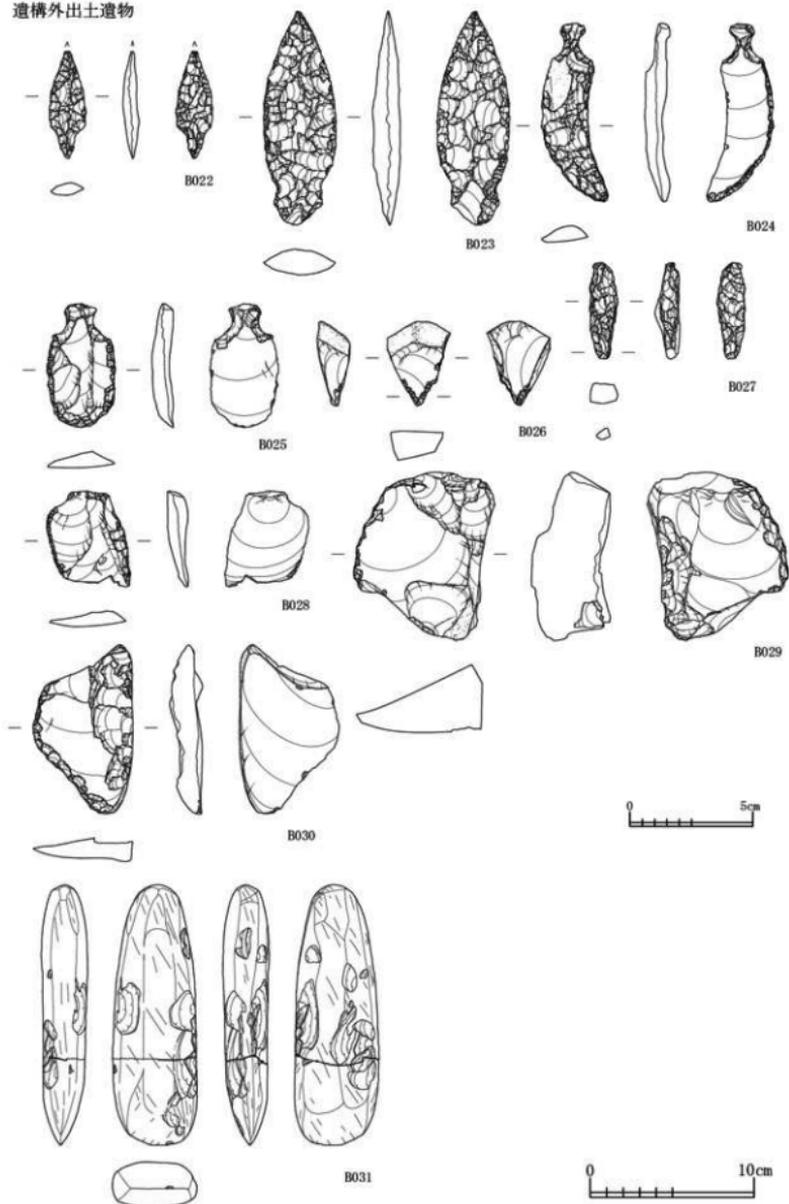


図 1-69 B-1区遺構外出土遺物-7

遺構外出土遺物

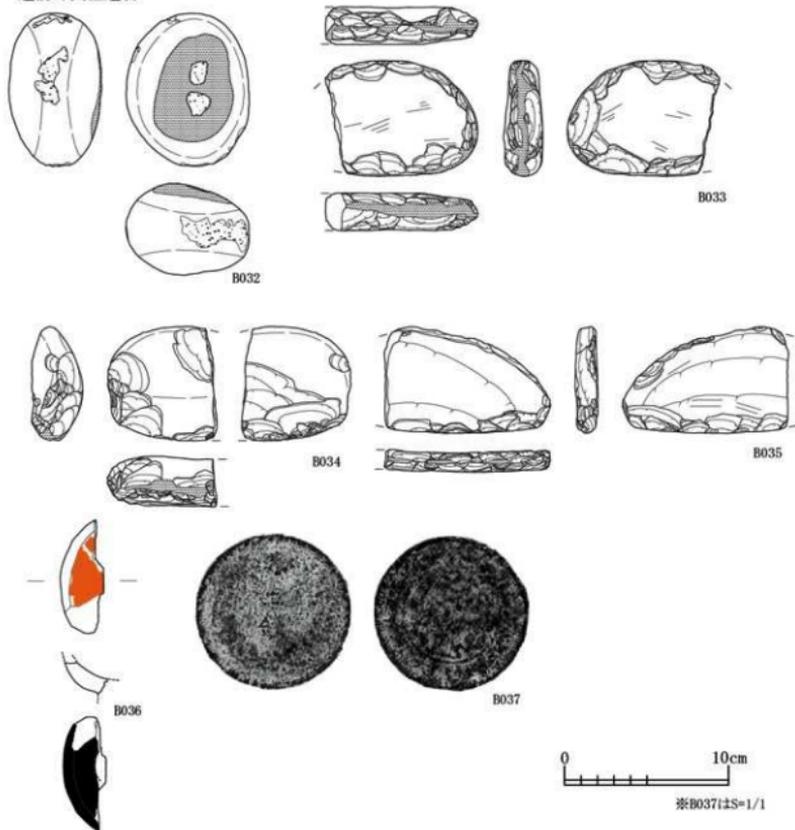


圖-1  
B-1区

圖 1-70 B-1区遺構外出土遺物-8



SI-001

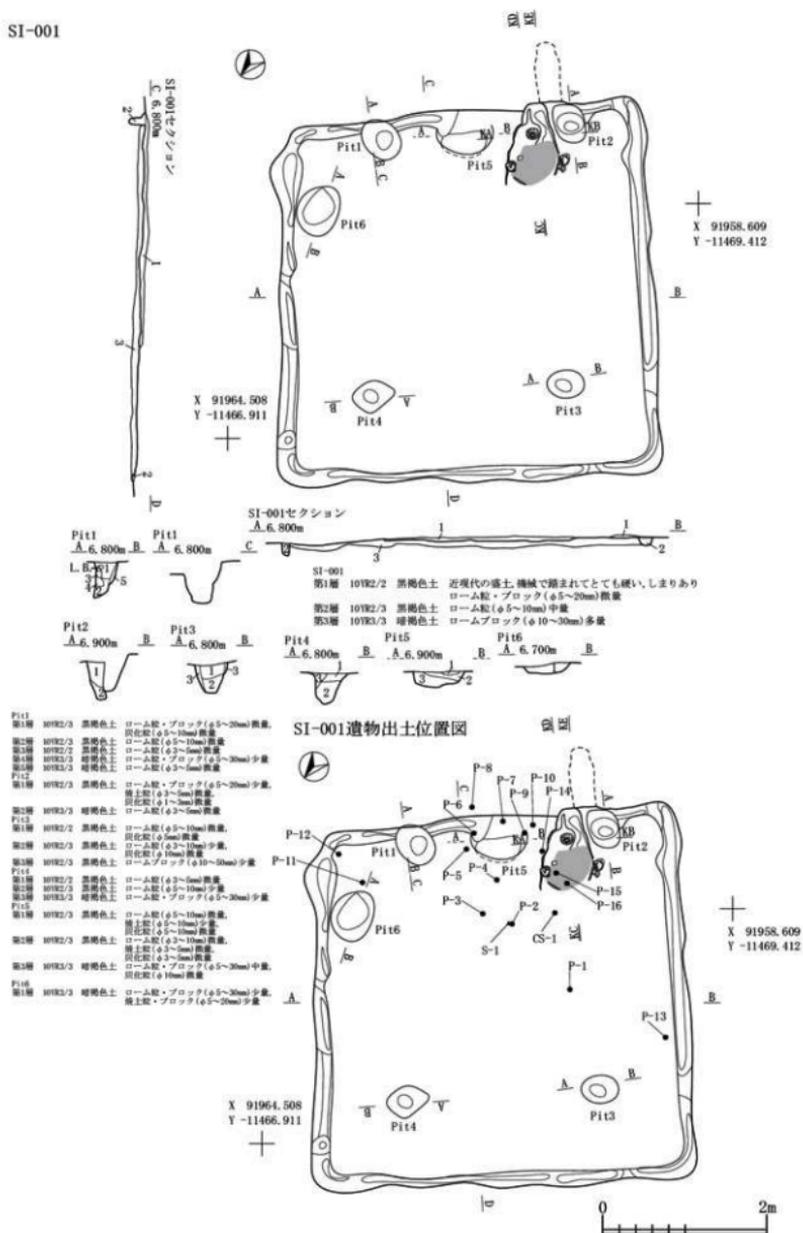


図 1-72 B-2区 SI-1

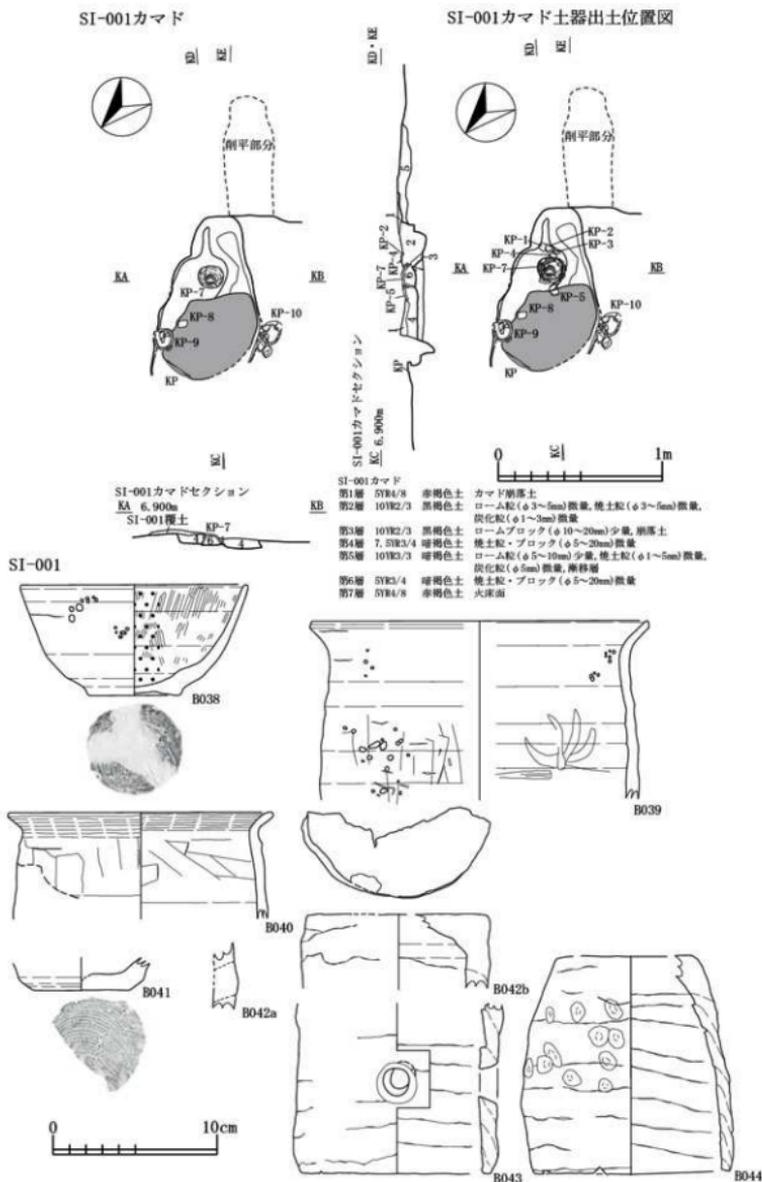


図 1-73 B-2区 SI-2

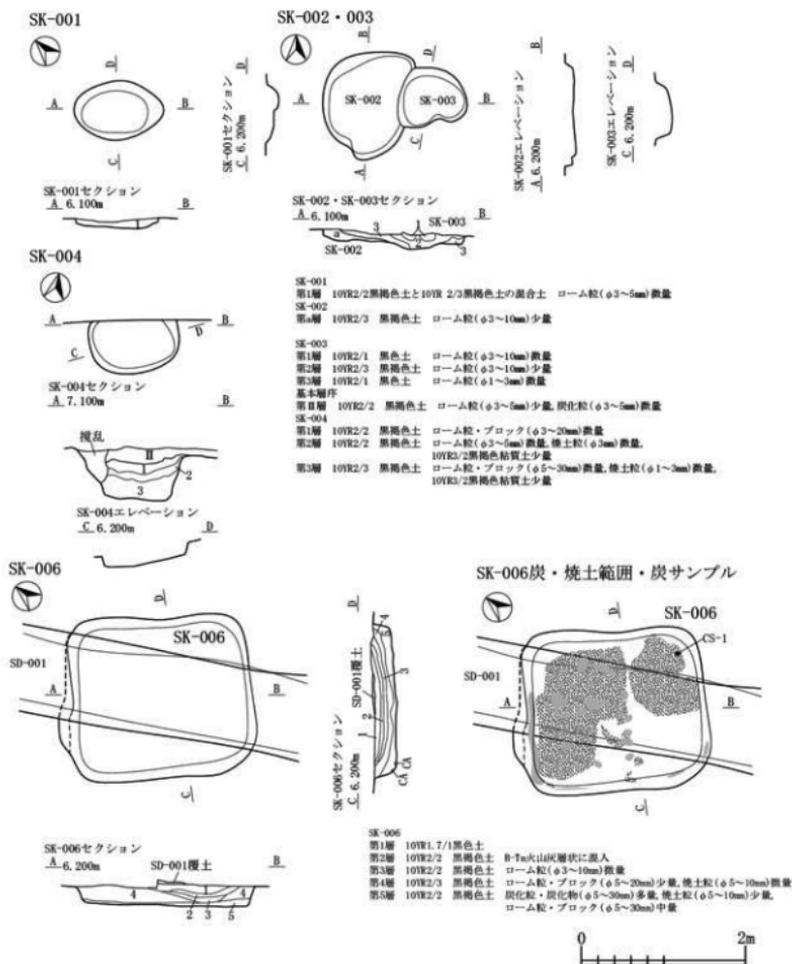


図 1-74 B-2区 SK-1

堆積土は1層に分層し、人為堆積状況を呈する。

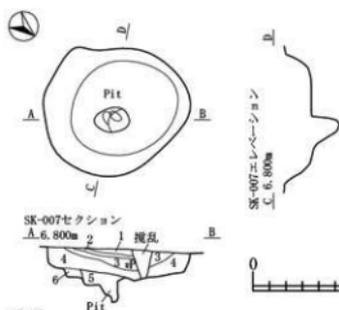
SK-002 (図 1-74)

調査区西端で検出した。SK-003と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形円形を呈し、139.0×110.0×14.0cmを測る。断面形は若干凹凸が見られ、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層に分層し、自然堆積状況を呈する。

SK-003 (図 1-74)

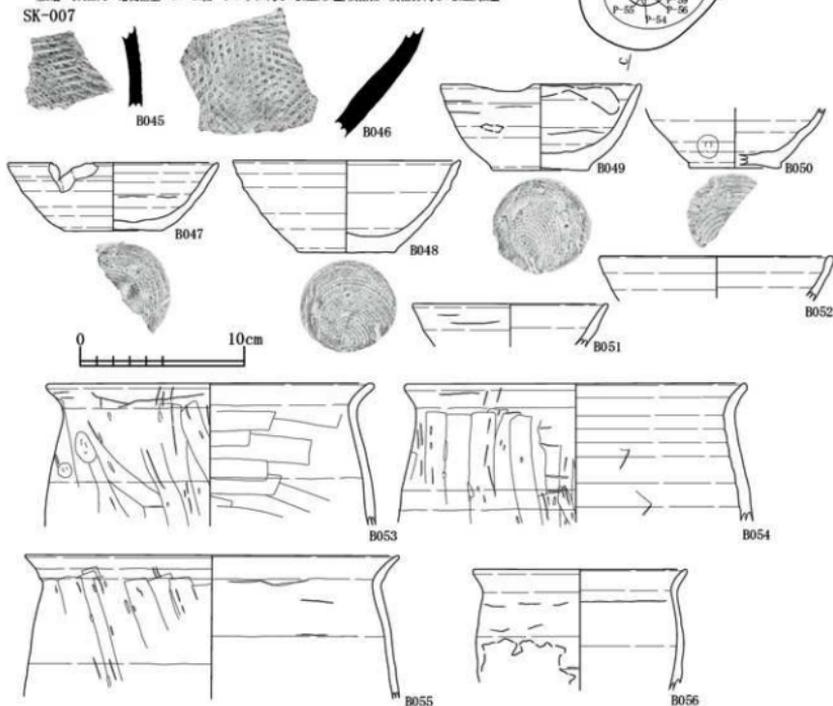
調査区西端で検出した。SK-002と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形円形を呈し、15.0×73.0×16.0cmを測る。断面形は中央が若干凹んだ段状を呈しており、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は3層に分層し、自然堆積状況を呈する。

SK-007

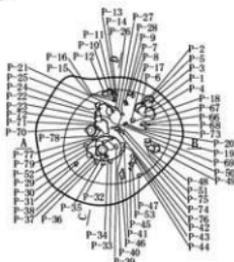


- SK-007
- 第1層 10YR1.7/1 黒色土 焼土粒(φ5mm)微量
  - 第2層 10YR2/3 暗褐色土 B-7a火山灰が層中に堆積
  - 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
  - 第4層 10YR3/4 暗褐色土 焼土粒(φ2~5mm)微量
  - 第5層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~30mm)少量,炭化粒(φ5mm)微量
  - 第6層 10YR3/4暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 崩落土
  - Pit 第7層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)少量,炭化粒・炭化物(φ5~20mm)微量

SK-007



SK-007土器出土位置図1回目



SK-007土器出土位置図2回目

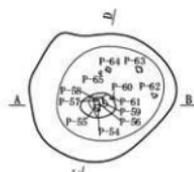


図1-75 B-2区 SK-2

## SK-004 (図1-74)

調査区北西端で検出した。調査区境界外に延びており、平面形は楕円形を呈し、 $110.0 \times (68.0) \times 54.0$  cmを測る。断面形は鍋底形で、擾乱により壁の一部が影響を受けているが、壁は開き気味に立ち上がっている。

堆積土は3層に分層し、第1～3層まで共通するブロックの混入が認められ、一括の埋め戻しであることが考えられる。

## SK-006 (図1-74)

調査区東側で検出した。SD-001と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は隅丸方形を呈し、 $241.0 \times 201.0 \times 26.0$  cmを測る。断面形は鍋底形で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。底面直上に炭化物・焼土等を検出し、壁が被熱により赤化していることから製炭土坑として認定できる。堆積土は5層に分層し、第2層にB-Tm火山灰が層状に堆積し、自然堆積状況を呈する。

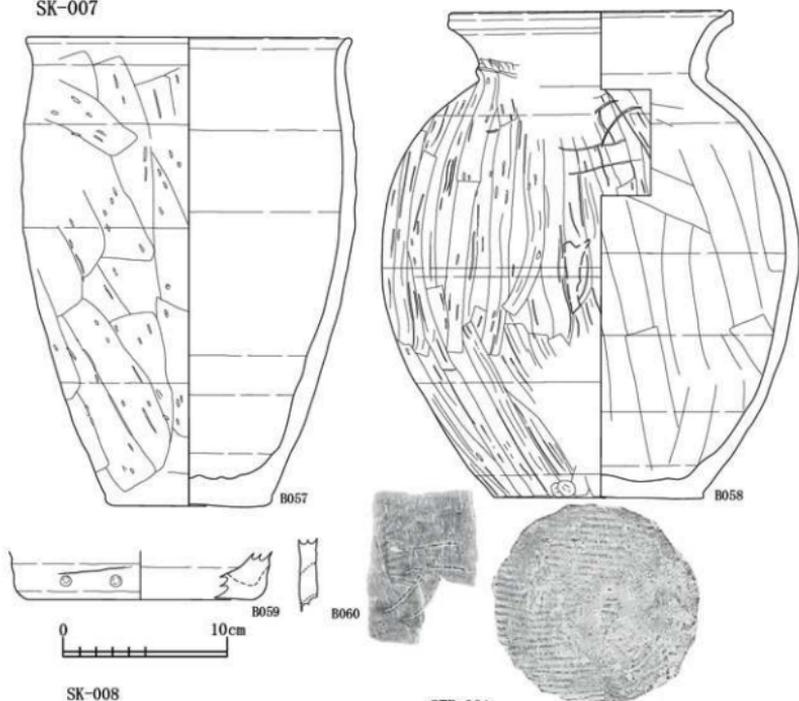
## SK-007 (図1-75・76)

調査区中央SI-001の東隣の位置から検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $180.0 \times 150.0 \times 37.0$  cmを測る。また中央付近に $40.0 \times 30.0 \times 30.0$  cmの小ピットを検出している。断面形は鍋底形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は小ピット部分も含め6層に分層し、廃棄の伴う人為堆積と廃棄後放置され、上面は自然堆積状況を呈している。廃棄層に相当する第3・4層からはB045～B060に図示した遺物が出土している。実質的に一括廃棄資料で、B-Tm降灰前の年代基準資料として適用可能な資料である。

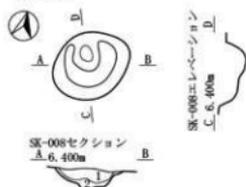
図示した資料のうち食膳具は体部に卷上成形痕を残す資料が含まれ、口唇が意図的に打ちかかれた資料がある。法量の揃った資料について記述するが、B047は第3層出土の土師器碗で、口径 $12.6$  cm、器高 $4.2$  cm、底径 $5.8$  cm、器高指数 $3.3.3$ 、底径指数 $4.6.0$ を測る。海綿骨針を含みやや粘りのある胎土で、色調は褐色を呈する。器形が環形の浅身のタイプで、開き気味に立ち上がっている。B048は、第3層出土の土師器碗で、口径 $13.8$  cm、器高 $5.7$  cm、底径 $5.8$  cm、器高指数 $4.1.3$ 、底径指数 $4.2.0$ を測る。内外面とも約半分が淡黒斑により灰褐色気味の色調を呈する部分が見られ、焼成時に壁際に置かれ、部分還元化した痕跡であると判断される。海綿骨針・淨石を含みやや粘りのある胎土で、色調は淡赤褐色を呈する。図面よりは若干器壁が厚みを帯びた印象を与えるが、外面口縁部直下に浅い稜段を顕著にさせており、

内面口唇部は面取状に作出させている。破断面の一部に煤付着が認められ、灯明使用としての可能性がある。B049は第4層出土の土師器碗で、口径 $12.0$  cm、器高 $5.3$  cm、底径 $5.8$  cm、器高指数 $4.4.2$ 、底径指数 $4.8.3$ を測る。海綿骨針・淨石を含みやや粘りの弱い胎土で、褐色を呈しザラザラした質感を有する。外面口縁部～体部の一部に円形の黒斑が観察される。内面口縁部は剥落が顕著で、口唇部の一部も打欠かされている。器壁は厚みを持ち、重量感があり、体部からつまみ上げるように外反させている。煮炊具のうち全体形のおかる資料は第3・4層出土の非クロロ土師器甕の図上復元資料で、口径 $19.6$  cm、器高 $28.6$  cm、底径 $10.2$  cmを測る。海綿骨針を含み粘りのやや弱いザラザラした胎土で、河川起源の丸みを帯びた小礫の混入が顕著である。底面は草本系の圧痕が若干認められるがヘラによる調整でほとんどが撫で消されており、底端部は粘土の潰れにより若干突出した部分が見られる。内面はヘラを利用した痕跡が部分的に観察されるがほとんど指ナデにより撫で消しが行われており、底部は放射状、体部下～中半は右上がりの斜め方向、体部中～上半は横方向のナデにより調整されている。外面は口縁部を下にした状態で下方向から左下がりの方向に幅広の鈍削り状にヘラ削りがなされておられ、口縁部直下では斜め方向が顕著である。削りが主体である。内面は体部上半～底部にかけて淡黒斑化しており、外面は頸部直下～体部にかけて煤付着している。破片資料のうちB054は第3層出土のクロロ系甕で、口径 $20.4$  cmを測る。内外面とも回転運動に伴うナデが行われた後に外面は体部～頸部直下にかけて底部から口縁部に向かったヘラによる縦方向の調整がされており、一部は口唇部直下まで突き抜けた箇所が見られる。内外面とも煤付着があり、破片単位で二次被熱等の影響の差があることからは変化した状態で流動や被熱の影響が生じている可能性がある。B056はSI-001の掘り方に相当する第3層出土破片とSK-007第3・4層出土破片の遺構間接合のクロロ小甕で、口径 $12.8$  cmを測る。土師器食膳具と同質のやや粘りのある胎土で、海綿骨針を含み、砂礫の混入が少ない。接合破片間の接点は磨耗が顕著で、一部は剥落が生じており、使用最終段階の状況と破片化した後の二次的な影響が混在した状況であるが、内面口唇部直下には煮炊痕が部分的に残存し、外面側の対応する部分は吹こぼれが生じた炭化物の付着痕が観察される。各破片の黒斑化した部分は接合部分で不整合している箇所が多いことから、破片化した状態で二次的な被熱があったことが考えられる。B058は第3層出土の土師器盃で、口径 $17.0$  cm、器高 $29.8$  cm、底径 $12.7$  cmを測る。土

SK-007



SK-008



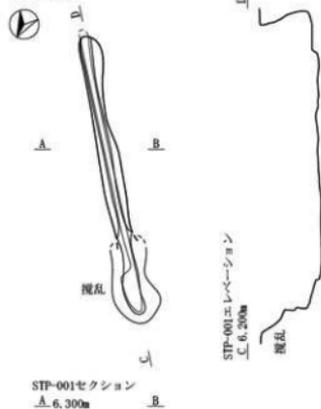
SK-008  
第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)微量、炭化物(φ10~30mm)少量、焼土粒(φ5~10mm)少量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)少量

SP-001



SP-001  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量

STP-001



STP-001  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)少量  
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2~10mm)少量

図 1-76 B-2区 SK-2,STP,SP

師器食糧具に用いられるやや粘りのある胎土に浮石混じりの砂粒が多量混ざられており、器壁は厚みである。主体を占め出土する胎土ではないが、類似の資料は青森平野南部の野木(1)遺跡などでも出土例のある胎土の特徴と器壁の厚さを持っている。底面はタキによる調整で平底化されている。体部は体部中～下半にかけては正位の状態から縦方向にヘラケズリが、体部中～上半は倒位の状態からヘラケズリがなされており、ストロークの長い縦方向(右下がり)の調整である。内面の体部は縦方向の指ナデで頸部付近が接合のため斜め方向のナデが行われている部分が認められるが口縁部は横方向の回転ナデが行われている。外面口唇端部は須恵器長頸瓶や大口壺と同様に面取がなされているが、土師器ロクロ系甕に共通する口唇端部の造りである。一部欠損の為確定できないが、体部上半に倒位に「十万」の合わせ字に類似した刻書が認められる。須恵器大口壺の代替品としての位置づけが考慮できる資料である。

#### SK-008 (図1-76)

調査区北側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $103.0 \times 81.0 \times 27.0$  cmを測る。断面形は柱穴状を呈し、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は2層に分層し、人為堆積状況を呈する。

### 3. 溝状土坑(Tピット)

#### STP-001 (図1-76)

調査区東側で検出した。一部擾乱による影響があるが、平面形は溝状を呈し、 $357.0 \times 27.0 \times 76.0$  cmを測る。長軸方向の断面形は袋状を呈し、短軸方向は壁上部で角度を変え緩やかに立ち上がる部分があるが、それ以下は直立気味に立ち上がる形状を呈する。堆積土は2層に分層し、自然堆積状況を呈する。

### 4. ピット

#### SP-001 (図1-76)

調査区西側で検出した。付近にSK-002・003等は所在しているが、ピットとしては単独の検出であり、他の施設との関係も不明である。平面形は楕円形を呈し、 $36.0 \times 30.0 \times 5.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は直立気味に立ち上がる。堆積土は1層に分層し、自然堆積状況を呈する。

### 5. 溝跡

#### SD-001 (図1-77)

調査区東側の境界部に沿って検出した。SK-006と重複しており、本遺構の方が新しい。調査区内での規模は、長さ38.5m、幅105.0cm、

深さ18cmを測る。断面形は箱形で、堆積土は5層に分層し、自然堆積状況を呈する。出土遺物は第3層S-2として取り上げた回石1点を図示した。石質は黒色片岩である。

#### SD-002 (図1-77)

調査区東端で部分的に検出した。検出部分の規模は、長さ14.0m、幅(8.2.0)cm、深さ23.0cmを測る。第1層から染付皿と碗の破片が出土しており近世以降の所産である。

### 6. 円形周溝状遺構

#### SM-001 (図1-78)

調査区北西端で検出した。平面形は円環状を呈し、 $621.0 \times 607 \times 30.0$  cmを測る。他の調査区でも類似した遺構が検出しているが、本遺構については東側の上面が後世の掘削に伴い擾乱が生じており、溝の上面に第I～III層とした土層が堆積しており、その地点からB064・B065に図示した骨角器、B067の寛永通寶などが出土しており、厳密に帰属時期について不明である。堆積土は本遺構帰属分として7層分層しているが、崩落が一部伴う埋め戻しの影響が強い堆積状況を呈している。また、中央部分は上面は前述の影響があるが、地山部分を掘り込んだ土坑などは検出していない。

### 7. 遺構外出土遺物 (図1-78)

遺構外出土遺物は風倒木出土の縄文時代前期の体部資料に2点を図示した。いずれも単軸輪条体1類で、同一個体と考えられる資料である。B-1区側で前期末の資料が出土しており、同時期の資料と考えられる。

SD-001・002

SD-001

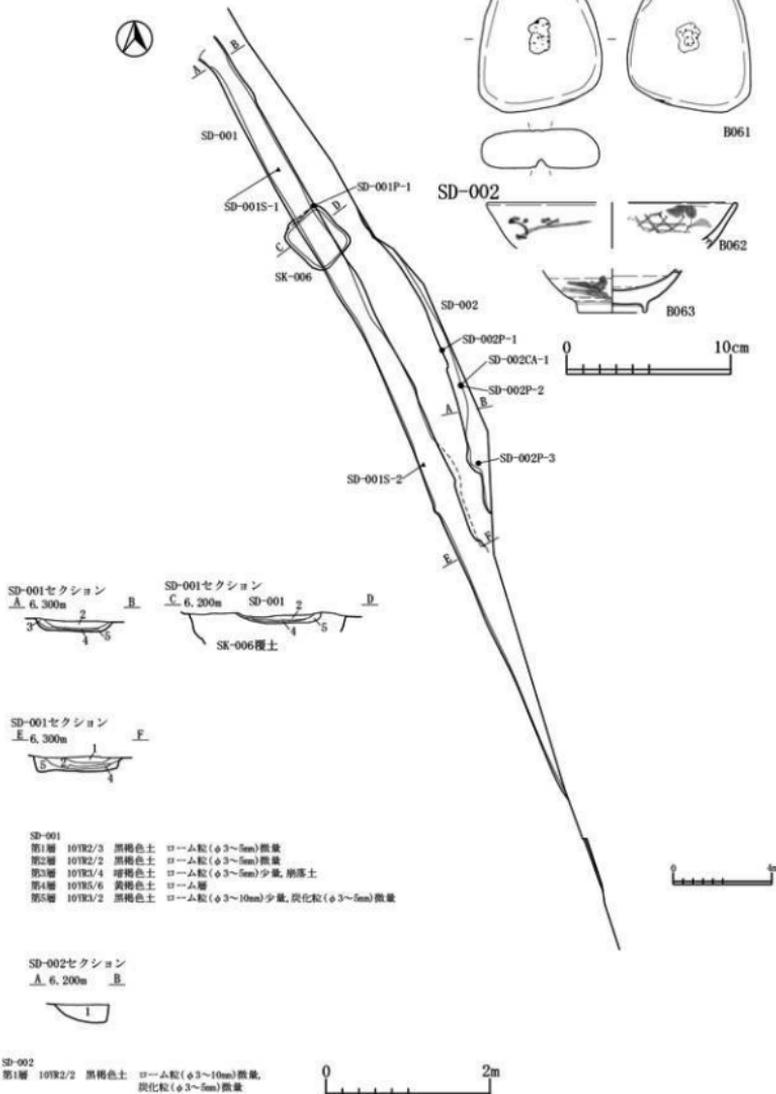
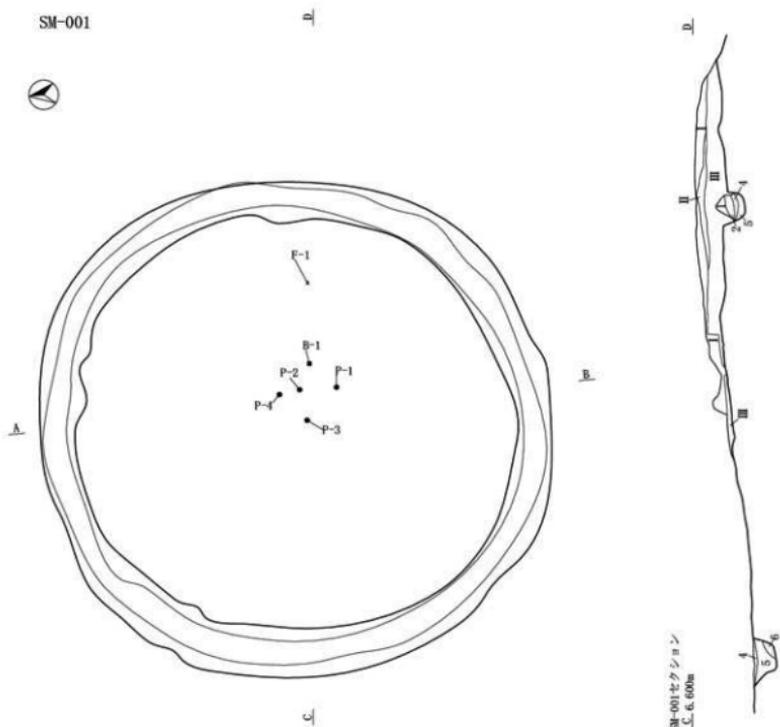
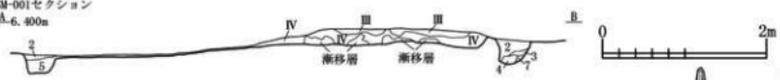


図 1-77 B-2区 SD

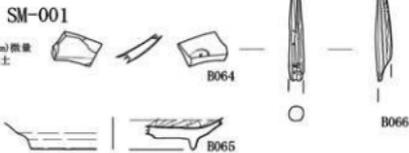
SM-001



SM-001セクション  
A. 6.400m



- SM-001
- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ3~5mm)微量
  - 第2層 10YR2/1黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)微量
  - 第3層 10YR3/3暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 ローム粒(φ3~5mm)微量, 崩落土
  - 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)微量
  - 第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~50mm)中量
  - 第6層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)微量
  - 第7層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量
- 瓦本層序
- 第I層 10YR2/3 黒褐色土
  - 第II層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)少量, 炭化粒(φ3~5mm)微量
  - 第III層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ5~30mm)微量
  - 第IV層 10YR3/4暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土



遺構外出土遺物

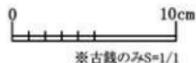
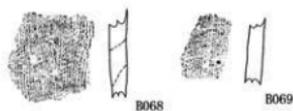


図 1-78 B-2 区 SM, 遺構外出土遺物

高間(1)遺跡C区遺構配置図 S=1/1000

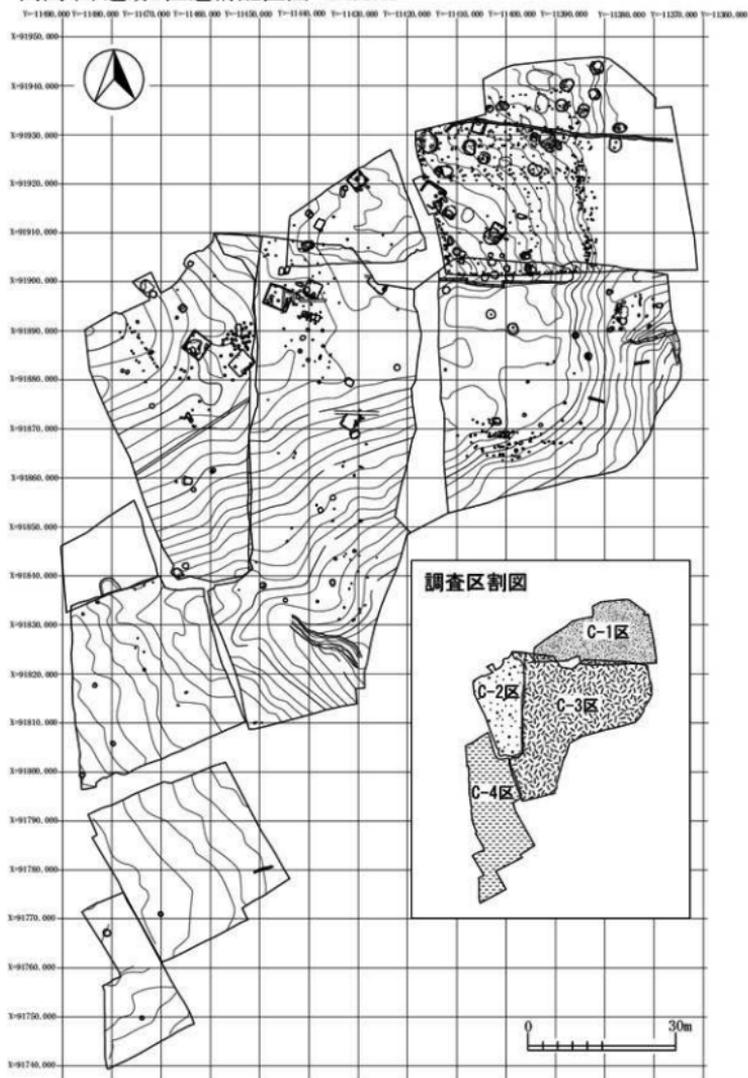


図 1-79 C区遺構配置図・区割図

## 第IV章 C区

C区の調査は、平成16・17・20・21年度に12,308.1㎡を対象とした調査を実施している。調査時にもC-1～5の番号が付され調査が実施されていた。他の地区と同様に調査担当が年度ごとに異なっており、遺構番号等も複数の系統に基づく付され方がなされていた。

そこで、本報告に際し、調査年度を基本として調査区の区割を整理し、C-1～4の四つの区割とした。一部の調査地点の境界部分は、別年度に調査している関係で、重複する部分を調査区として記録しているケースが見られたが、本調査区についてはそれぞれの区割を提示し、遺構については記録量の多い区割内で掲載している。

なお、遺構外出土遺物については各節ごとに取組めて掲載した。

### 第1節 C-1区

#### 1. 竪穴住居跡

S1-02 (図1-81～83)

C-1区中央よりやや南側から検出した。SK-30・SP-94・95と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形長方形を呈し、294.0×274.0×28.0cmを測る。主軸方位はN122°-Eである。ピットは竪穴内から4基検出

しているが、柱穴として機能した可能性のあるピットはP11で、南西側の壁際にSP-94を検出しており、対応した位置関係である。ただ、SP-94については本遺構より新しいとされたSK-30の上面で検出した形で浅いピットである。明確な柱穴配置は不明な状況である。壁溝は北隅～北東隅側と北西壁全面、南西壁のほぼ全面で検出している。

堆積土は15層に分層し、掘り方のない堆積状況をして記録されている。第5～7、第11～13層中にB-7m火山灰が混入し、火山灰の二次堆積の影響が顕著である。また、床面直上に堆積する第8層中から炭化材を検出しており、他の土層からも炭化粒・物の混入が定量見られる。

カマドは南東3の位置から検出した。構造は地下式で、右袖側はSK-30の影響により破壊されており、煙道長90.0cmを測る。支脚としてKS-1とした礎が設置され、その上から調査時遺物番号KP-2、C003で図示した土師器甕が正位の状況で出土している。左袖部分からはC004・C005で図示した土師器甕の口縁～体部片が出土しているが、C004の内面でハケメが認められるものの、短頭で短く折り返したのみの口縁部主体で、地下式の構造でありながら、遺物は新相を呈する。

### 高間(1)遺跡C-1区遺構配置図 S=1/600

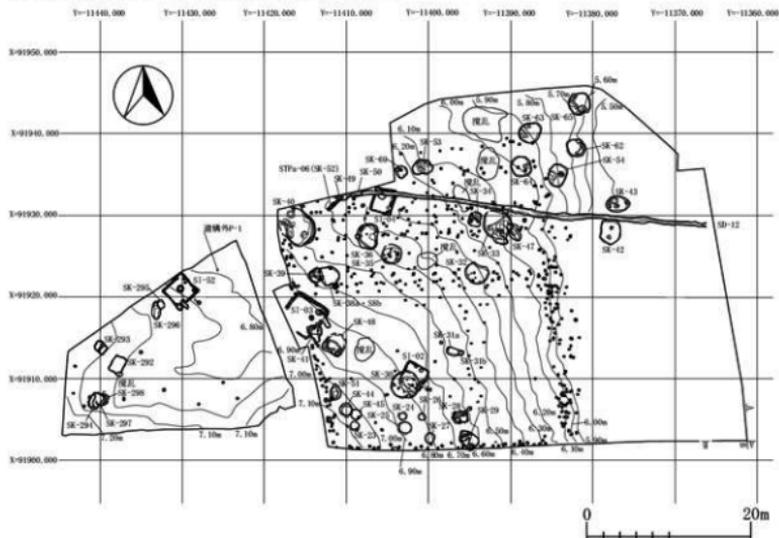
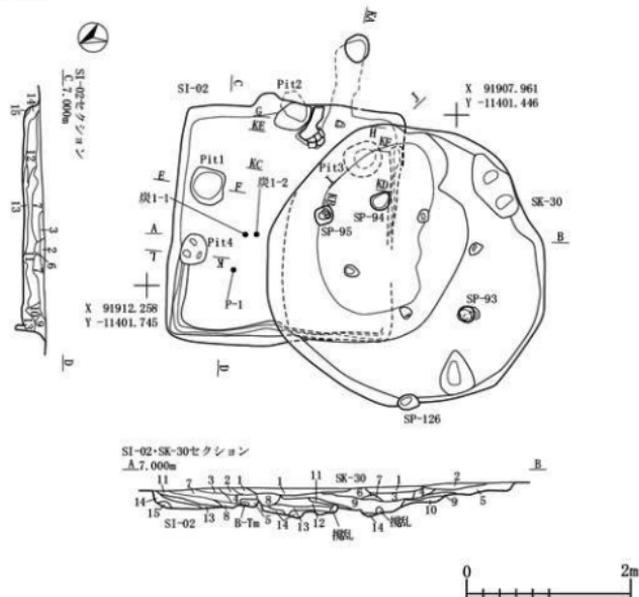


図1-80 C-1区遺構配置図

SI-02



SI-02

第1層	10YR1/7.1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1mm)微量,パミス粒(φ3mm)極微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第4層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,パミス粒(φ3mm)極微量,炭化粒(φ5mm)極微量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)極微量,パミス粒(φ5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰混入
第6層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量, B-Tn火山灰少量
第7層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量, B-Tn火山灰微量
第8層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒・炭化物(φ1~20mm)多量
第9層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)極微量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第10層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ5mm)微量, B-Tn火山灰微量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量, B-Tn火山灰少量
第12層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)微量, B-Tn火山灰少量
第13層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,パミス粒(φ2~3mm)極微量,炭化粒(φ1~9mm)極微量
第14層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ2~3mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第15層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1mm)極微量

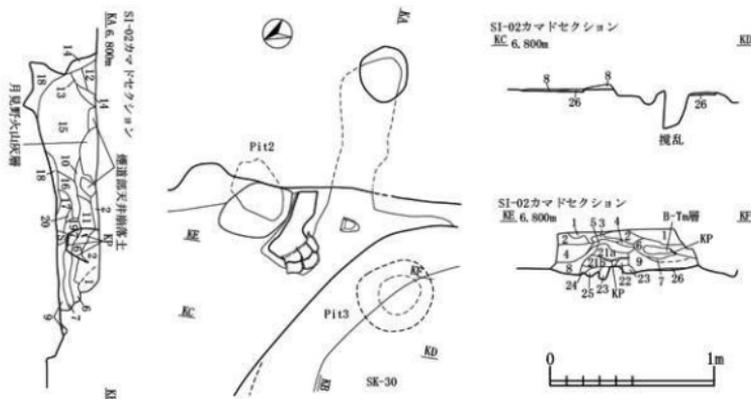
SK-30

第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,粘土粒(φ5mm)極微量, B-Tn火山灰極微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ1mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第4層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~50mm)多量
第5層	10YR4/4	褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)多量,粘土ブロック(φ10~20mm)微量
第6層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)微量, B-Tn火山灰少量
第7層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~20mm)多量
第8層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)微量, B-Tn火山灰微量, 10YR1.7/1黒色土少量
第9層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, B-Tn火山灰極微量
第10層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層, ロームブロック(φ10~20mm)少量, 粘土ブロック(φ20mm)少量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~20mm)中量,炭化粒(φ1mm)極微量,粘土ブロック(φ15mm)微量
第12層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~15mm)少量,パミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ2~5mm)極微量, B-Tn火山灰少量
第13層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, B-Tn火山灰微量, 10YR1.7/1黒色土微量
第14層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層, ローム粒・ブロック(φ5~15mm)中量,パミス粒(φ2mm)微量

図 1-81 C-1区 SI-02-1



SI-02カマド



SI-02カマド

第1層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,バミス粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第2層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,バミス粒(φ1mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第3層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	土層内部にバミス粒集中
第4層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量, B-Tn火山灰微量
第5層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ2mm)極微量
第6層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ2~3mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ2~5mm)少量, B-Tn火山灰極微量
第7層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ2~5mm)微量, B-Tn火山灰少量
第8層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第9層	7.5YR4/4 褐色土	焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~9mm)極微量
第10層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)極微量,焼土粒(φ1~9mm)極微量
第11層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第12層	7.5YR4/4 褐色土	ローム粒(φ2~5mm)極微量,焼土粒(φ2~5mm)極微量,粘土微量
第13層	7.5YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,ロームブロック(φ10mm)極微量
第14層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ2~3mm)極微量
第15層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第16層	10YR4/4 褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)微量
第17層	5YR4/4 にぶい赤褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量
第18層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1mm)極微量,焼土粒・ブロック(φ1~15mm)微量
第19層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ2~9mm)少量,焼土粒(φ2mm)極微量
第20層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ2~3mm)少量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第21層	7.5YR4/3 褐色土	炭化粒(φ1mm)極微量
第21b層	7.5YR4/3 褐色土	ローム粒(φ5mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第22層	5YR4/6 赤褐色土	ローム粒(φ5mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第23層	10YR3/2 黒褐色土	焼土粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第24層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第25層	10YR5/6 黄褐色土	焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第26層	5YR4/6 赤褐色土	ローム層
		焼土層,ローム粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量

図 1-82 C-1区 SI-02-2

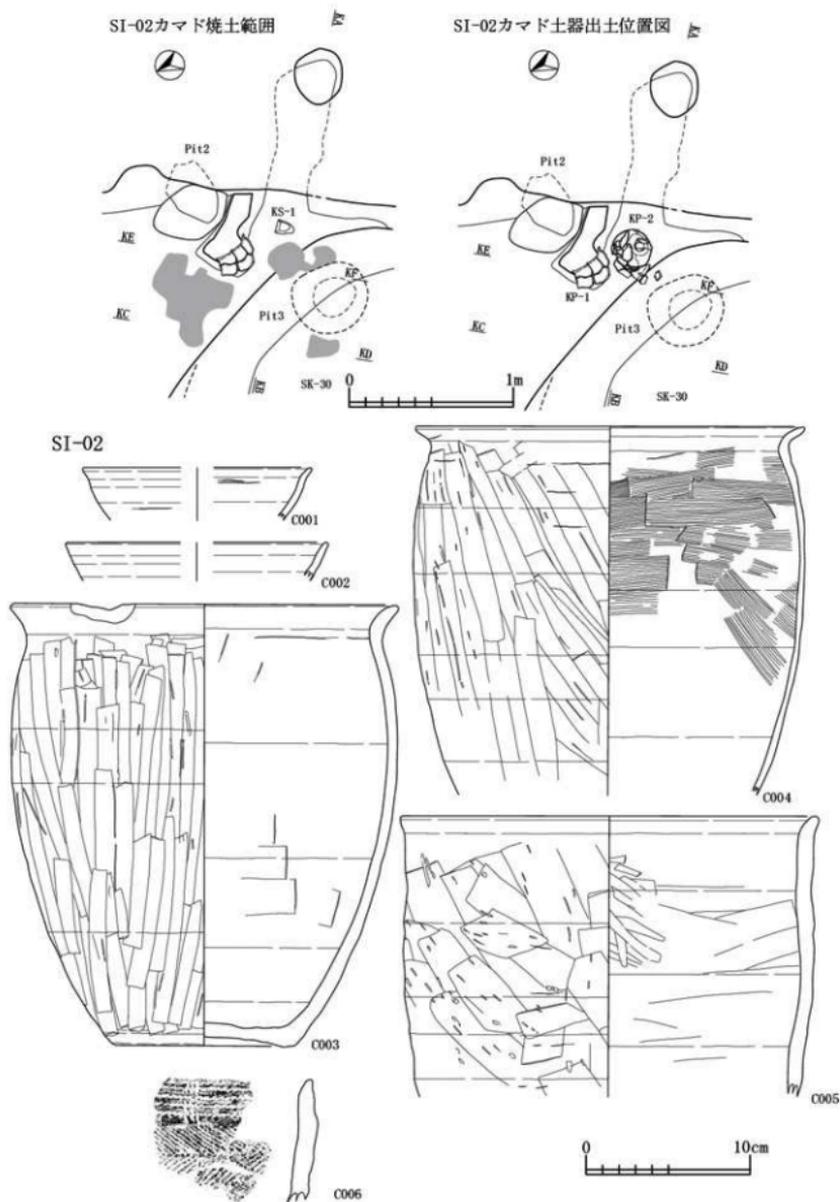


図 1-83 C-1区 SI-02-3

## S I - 0 3 (図184~88)

調査区中央よりやや西側の地点で検出した。西端は現代の用水に面しており、壁は残存していない。残存部は、不整形長方形を呈し、 $4.7 \times 2.0 \times 4.5 \times 3.0 \times 3.3.0 \text{ cm}$ を測る。主軸方位は $N-127^{\circ}-E$ である。SK-41、SA-01 Pit 1、SP-121と重複しており、いずれの遺構よりも古い。ピットは竪穴内から3基検出し、いずれのピットも柱穴として機能した可能性がある掘り方である。Pit 1とPit 2が類似した規模、掘り込みで、南壁の中央と東隅に配置しており、並んだ配置状況であるが、西側の部分がカマドの右袖筋にあたり、精査が不十分であった可能性が残される。また、北側では柱穴の配置は中央、主柱配置状況は不明である。壁溝は南壁の中央周辺と西壁の欠損部周辺で未検出であるが、その他の壁では一部断続しながらも全体的に巡る検出状況であった。また、SN-01としたピットは柱穴ではなく、灰溜めピットのようにカマド構築材と同様の粘土や焼土粒・灰などとともにC012・C013で図示した土器などが廃棄されていた。堆積土は後述する突出部の堆積土を含め26層に分層し、掘り方充填土は第26層のみで、壁際を中心に充填している。床面直上に堆積する第13層中にB-Tm火山灰を検出しているが、その上位に堆積する第6・8層中にも含まれる。

カマドは南3の位置から検出した。重複するSK-41の掘り方に影響した精査がなされており、煙道部の検出状況が不鮮明である。記録写真・図面等を確認した限りでは構造は半地下式で、袖部幅 $1.2 \times 0 \text{ cm}$ 、煙道長(約)66 cmを測る。支脚としてC017に図示した土製支脚が設置されており、袖の芯材として、左袖にKP-6~9のC009として図示した土師器甕が、右袖にKP-1~3のC010として図示した土師器甕が、それぞれ倒位に設置されていた。

また、南2の位置から半地下式の煙道状の突出部を検出した。長さ $1.24 \times 0 \text{ cm}$ を測る。堆積土は廃絶の埋没過程よりも前に埋没しており、竪穴の床面から段を持っており、奥壁に向かって緩やかに立ち上がる形状である。軸線が竪穴の軸線より幅が多く $N-151^{\circ}-E$ である。火床面の痕跡はない状況で実際カマドとして構築・使用された可能性は低い。壁溝の欠落部にも相当し、構築を意図した掘削痕である可能性が若干残される。出土遺物は前述の資料のほかC011に図示した北壁側の第14層P-20・22出土、C015で図示した南側の下層P-27、SN-01下層P-1~3等の廃棄に伴う資料が多い状況である。C014はカマド出土の破片とS I - 0 4の出土資料の遺構間接合資料である。

## S I - 0 4 (図189~91)

調査区北側で検出した。SP-138・SD-112と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形台形を呈し、 $3.10 \times 2.63 \times 2.90 \text{ cm}$ を測る。主軸方位は $N-115^{\circ}-E$ である。ピットは竪穴内から3基検出したが、S I - 0 3と同様にカマド設置壁側のみ並んで検出した状況で、主柱配置は不明である。また、中央より北西寄りの部分から土坑を検出しており、貯蔵穴の可能性があり、カマド2とした東壁の北寄りの部分で一部断続箇所が見られる。堆積土は掘り方充填を含め16層に分層した。廃絶後の堆積土は第1~14層で、壁際の第13層中と中位の第3層中にB-Tm火山灰が含まれる。

カマドは床面が火床面状に焼土化した部分二箇所をカマド1・2として精査している。カマド2とした部分には構築材等も残存しておらず、廃絶時にカマドとして使用されていた可能性が高いのはカマド1である。カマド1は東3・4の位置から検出しており、左袖の一部が若干残存しているものの、右袖は基部の一部のみが残存し、支脚と取り扱った資料もC024で図示した資料のように破片化した資料が主体となっている。煙道は竪穴内に明確な掘り込みが認められず、断面の記録図を確認すると壁外に向かって緩やかに立ち上がる形状であることから、仮に存在したとしても半地下式であることが想定される。カマド2とした部分では壁の一部が焼土化し、若干突出した掘り込みが認められ、半地下式の短煙道タイプとして認定できる資料である。

出土遺物はカマド1の前庭側に破片が散逸した状況で出土する事例が多く、図示した資料のうちC018~C020についても床面直上の第8層出土扱いの資料主体である。この資料のうちC019は北側のSK-69出土資料と遺構間接合資料である。その他、前述のとおりS I - 0 3と遺構間接合資料も認められ、直線距離で17 m程度の近接した位置関係にあることから双方に廃棄された事例が認められるものである。

## S I - 5 2 (図192~96)

調査区西側で検出した。平面形は不整形長方形を呈し、 $3.34 \times 3.12 \times 2.0 \times 2.0 \text{ cm}$ を測る。主軸方位は $N-139^{\circ}-E$ である。ピットは竪穴内から6基検出しているが十分な深さを持つ資料がなく、堆積状況も柱設置痕が確認できず詳細は不明である。中央にSK-01とした円筒形の土坑がある。廃絶後の埋没開始時には既に埋まりきった堆積で、床面の掘り方充填土に相当する第32層も埋没完了の上面に一部堆積しており、本遺構と直接関連

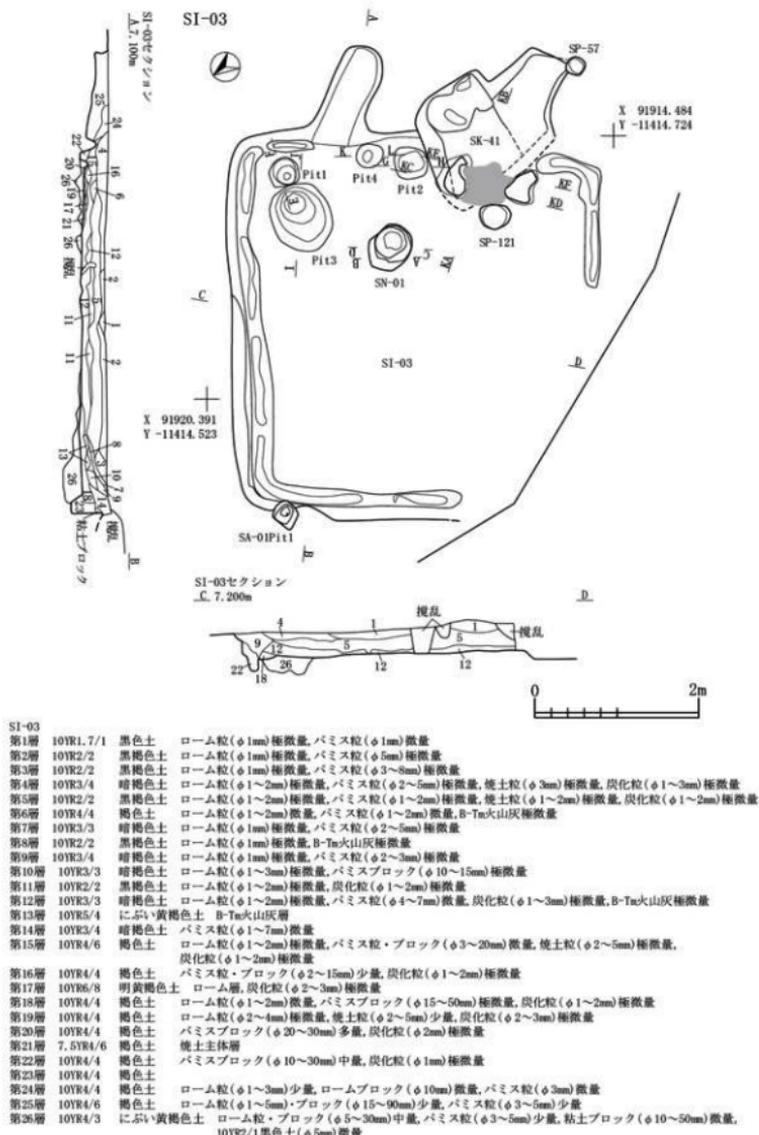


図 1-84 C-1区 SI-03-1

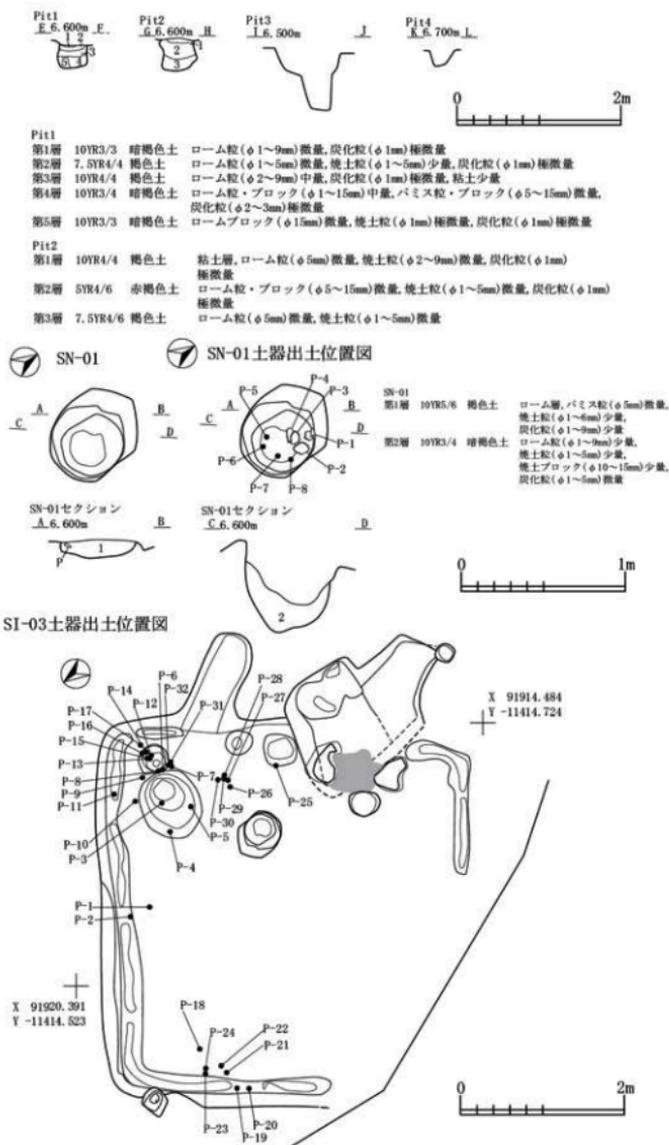
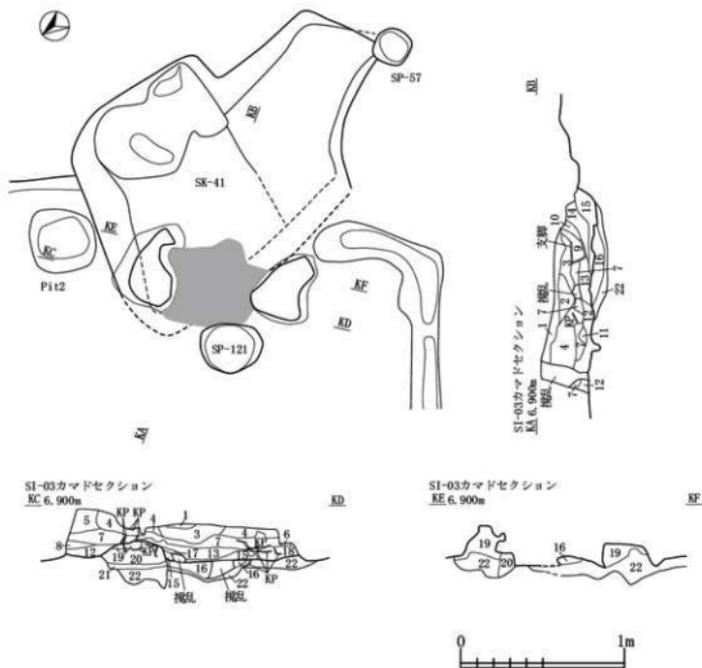


図 1-85 C-1区 SI-03-2

SI-03カマド



SI-03カマド

第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒( $\phi$ 1~9mm)少量, パミス粒( $\phi$ 1~3mm)微量, 焼土粒( $\phi$ 1mm)極微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~5mm)少量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~5mm)少量, パミス粒( $\phi$ 1~5mm)微量, 焼土粒( $\phi$ 1~5mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 2mm)極微量
第4層	10YR1.7/1	黒色土	ローム粒( $\phi$ 1~3mm)極微量, パミス粒( $\phi$ 2~3mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 1mm)極微量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~5mm)微量, パミス粒( $\phi$ 1~2mm)極微量
第6層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	B-Tu火山灰多量
第7層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~3mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 2~3mm)極微量, B-Tu火山灰微量
第8層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	B-Tu火山灰多量
第9層	5YR5/6	明赤褐色土	焼土層
第10層	7.5YR4/4	褐色土	ローム粒( $\phi$ 1mm)極微量, 焼土粒( $\phi$ 2~3mm)微量
第11層	10YR4/4	褐色土	ローム層
第12層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~9mm)極微量, 焼土粒( $\phi$ 1~9mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 1~5mm)極微量
第13層	7.5YR4/4	褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~9mm)極微量, 焼土粒・ブロック( $\phi$ 1~15mm)少量
第14層	5YR4/6	赤褐色土	ローム粒( $\phi$ 2~5mm)少量, 焼土粒( $\phi$ 1~5mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 2mm)極微量
第15層	7.5YR4/4	褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~3mm)極微量, パミス粒( $\phi$ 1~3mm)微量, 焼土粒( $\phi$ 2~3mm)微量
第16層	5YR5/6	明赤褐色土	焼土層, ローム粒( $\phi$ 1~5mm)極微量
第17層	7.5YR4/4	褐色土	焼土粒( $\phi$ 2~5mm)少量
第18層	10YR4/4	褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~9mm)少量, 焼土粒( $\phi$ 1~9mm)極微量, 炭化粒( $\phi$ 2mm)極微量
第19層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~5mm)少量, 焼土粒( $\phi$ 3mm)微量, 炭化粒( $\phi$ 2mm)極微量
第20層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土粒( $\phi$ 1~9mm)少量, 炭化粒( $\phi$ 1mm)微量, 粘土少量
第21層	7.5YR4/6	褐色土	ローム粒( $\phi$ 1~2mm)微量, 焼土粒( $\phi$ 2mm)微量
第22層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック( $\phi$ 1~50mm)多量, パミス粒( $\phi$ 3mm)極微量

図 1-86 C-1区 SI-03-3

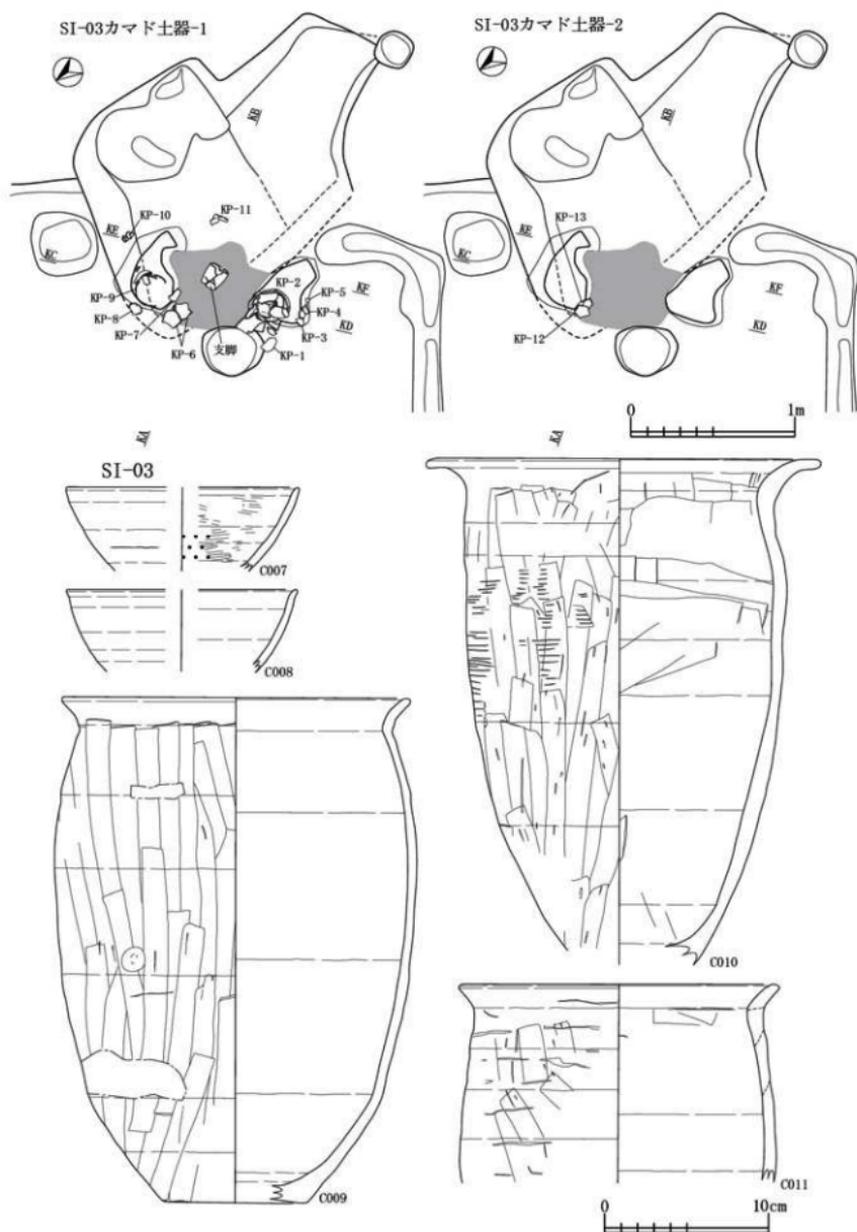
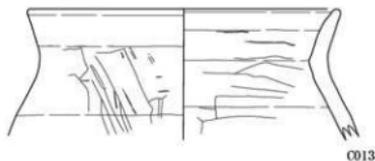


図 1-87 C-1区 SI-03-4

## SI-03



## SI-03+SI-04

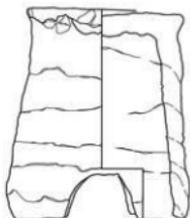
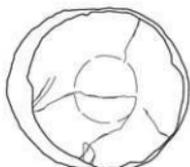
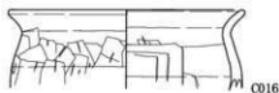
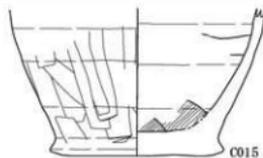
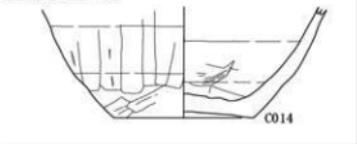


図 1-88 C-1区 SI-03-5

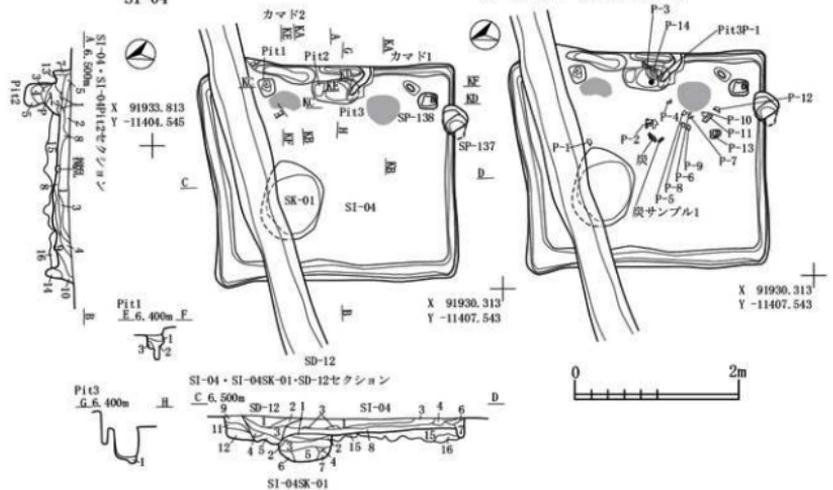
のない可能性も残されている。壁溝は北側のPit 4周辺で一部断続しているがカマド設置部分を除きほぼ全周する形で検出した。東壁の南北隅の部分が丸みを帯びた掘り込みで、壁の掘り込みに比べると隅丸形状を呈している。堆積土は掘り方充填土を含め3層に分層し、床面に若干の堆積が進行した後の第16層中にB-Tm火山灰が面的に堆積している。(第16層の前後に関連する土層からもB-Tm火山灰の検出が記録されているが、本遺構については第16層からの浸透や攪拌等が影響した可能性が高い。)ただ、堆積状況としては雨水等の影響による二次的堆積状態で、厚くブロック化した火山灰が堆積している状況であった。

カマドは南2と南3の位置から検出しており、南2側が古く、南3の位置のものが新しい。南3のカマドは半地下式で、袖部幅86.0cm、煙道長61.0cmを測る。煙道は掘り方が存在し、78.0cmを測る。粘土を構築材とし、支脚相当位置にKP-3~5として取り上げC029で図示した土師器樂底部片が倒位に設置されていた。旧段

階のカマドである南2のカマドは地下式で、前庭部が残存しておらず煙道長121.0cmを測る。主軸方位は新段階のものと若干異なりN-135°-Eである。煙道は壁穴外へ傾斜して立ち上がり、隅丸形状に掘削された煙出部と連結している。出土遺物は混入した縄文土器のほかは煮炊具主体の出土で、図示も煮炊具のみであるが、短頸で、C027のように体部上半に最大径のあるタイプも見られる。

SI-04

SI-04土器・炭出土位置図



SI-04	層	土色	特徴
第1層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量, 焼土粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
第3層	10YK3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰多量
第4層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第5層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第6層	10YR4/4	褐色土	ローム粒・ブロック(φ5~50mm)中量
第7層	10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第8層	10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量, 焼土粒(φ1~8mm)少量, 炭化粒(φ1~9mm)少量
第9層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ2~9mm)中量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第10層	10YK3/4	暗褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第11層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第12層	10YK3/3	暗褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)中量, 炭化粒(φ1~5mm)少量
第13層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰微量
第14層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第15層	10YR4/6	褐色土	ロームブロック(φ10~50mm)多量, 炭化粒(φ5~7mm)少量, 貼床
第16層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ5~9mm)中量, 炭化粒(φ2~5mm)中量, 貼床
SD-12	第1層	10YR2/1	黒色土
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
第4層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第5層	10YK3/4	暗褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)多量, 炭化粒(φ1~3mm)少量

SK-01	層	土色	特徴
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量, 焼土粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰微量
第3層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ3~30mm)中量, 焼土粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第4層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第5層	10YK3/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量, 焼土粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ2~5mm)少量
第6層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第7層	10YK3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
Pit1	第1層	10YR2/3	黒褐色土
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~7mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第3層	10YR4/6	褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
Pit2	第1層	7.5YR4/4	褐色土
第2層	10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ2~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第3層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ2~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰少量
第4層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ2~5mm)少量, 炭化粒(φ2~5mm)少量, B-Tn火山灰少量
第5層	10YK3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ2~3mm)少量, 炭化粒(φ2~3mm)少量
Pit3	第1層	7.5YR4/4	褐色土
第2層			ローム粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ2~3mm)少量, 炭化粒(φ2~3mm)少量

図 1-89 C-1区 SI-04-1

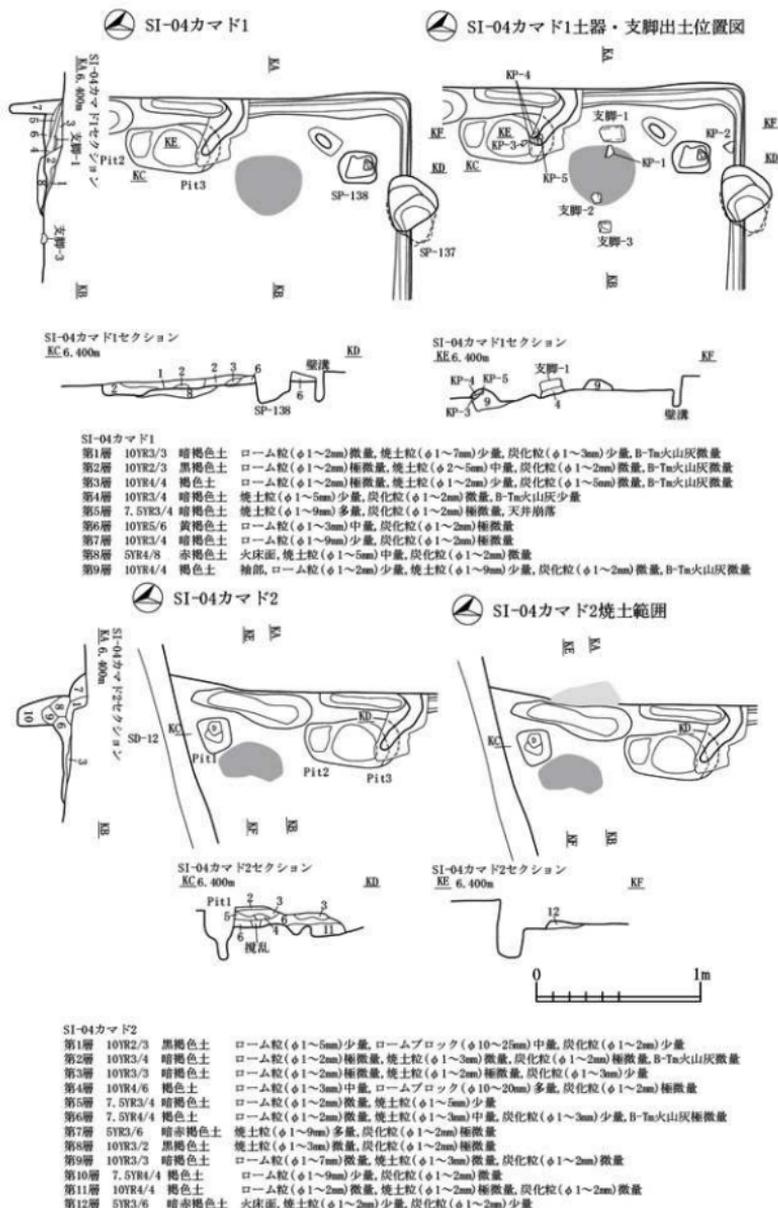
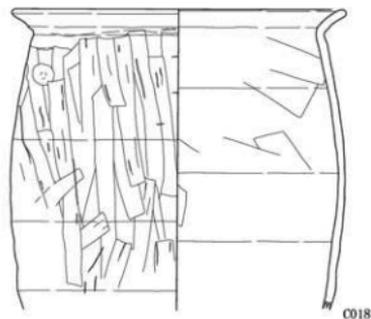
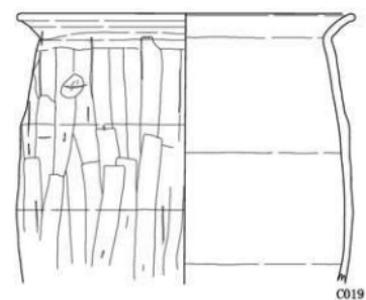


図1-90 C-1区 SI-04-2

SI-04+遺構外



SI-04+SK-69



SI-04

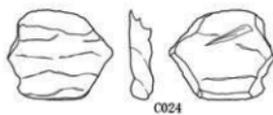
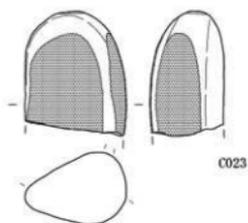
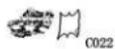
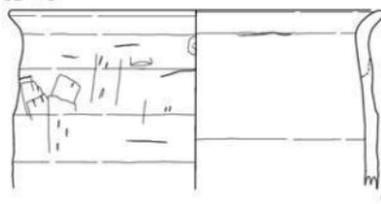
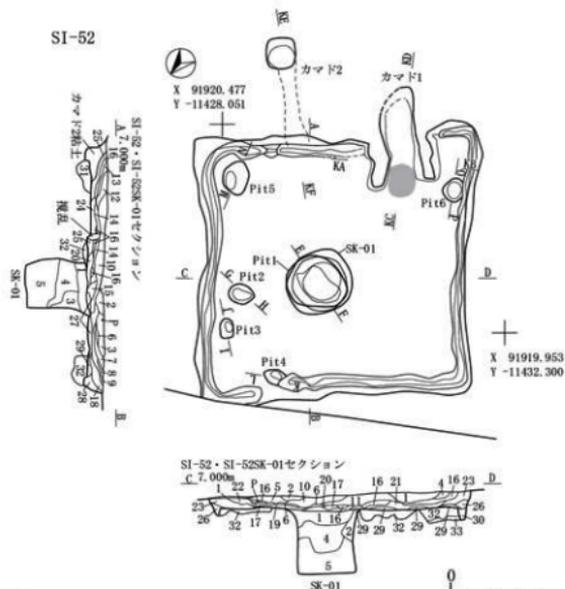


图 1-91 C-1区 SI-04-3

SI-52

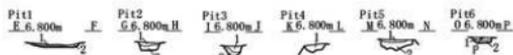


SI-52	層	土質	特徴
第1層	10YR1.7/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1mm)微量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量
第6層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
第7層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,バミスブロック(φ10mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量,B-Tn火山灰少量
第8層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量,B-Tn火山灰微量
第9層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ5mm)極微量
第10層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)少量
第11層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,B-Tn火山灰極微量
第12層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,バミスブロック(φ15mm)極微量
第13層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量,B-Tn火山灰微量
第14層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
第15層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量,B-Tn火山灰微量
第16層	10YR3/2	黒褐色土	炭化粒(φ1~2mm)極微量,B-Tn火山灰多量混入層
第17層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第18層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ2~5mm)微量,B-Tn火山灰微量
第19層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量
第20層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
第21層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ3mm)極微量
第22層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ5mm)極微量
第23層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量
第24層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10mm)極微量
第25層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ2mm)極微量,B-Tn火山灰微量
第26層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ20mm)微量
第27層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ30mm)微量
第28層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量
第29層	10YR3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)少量
第30層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)中量,バミスブロック(φ20mm)微量
第31層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~30mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量
第32層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,黒色土(10YR2/1)微量
第33層	10YR5/6	黄褐色土	バミスブロック(φ10~30mm)中量

SK-01

第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ2~3mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)中量,粘土粒(φ5mm)極微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ2~5mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量,黒色土(10YR2/1)微量
第3層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~50mm)中量
第4層	10YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量
第5層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)中量,バミスブロック(φ10~30mm)少量

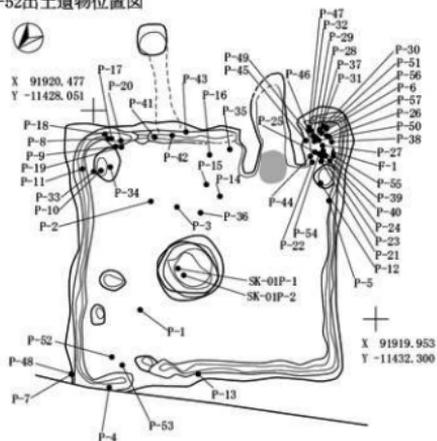
図 1-92 C-1区 SI-52-1



Pit1	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR4/4 褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量
Pit2	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ20~50mm) 極微量
Pit3	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10mm)極微量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	バミスブロック(φ10~30mm)多量

Pit4	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~20mm)少量
Pit5	第1層 7.5YR4/4 褐色土	バミス粒(φ2~5mm)微量,バミスブロック (φ10mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量,焼土粒 (φ2~3mm)少量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック (φ10~15mm)微量,焼土粒(φ2mm)極量
Pit6	第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2~5mm)微量, 焼土粒(φ1~5mm)少量
	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,バミスブロック (φ10mm)極微量

SI-52出土遺物位置図



SI-52 B-Tm火山灰範囲・火山灰サンプル

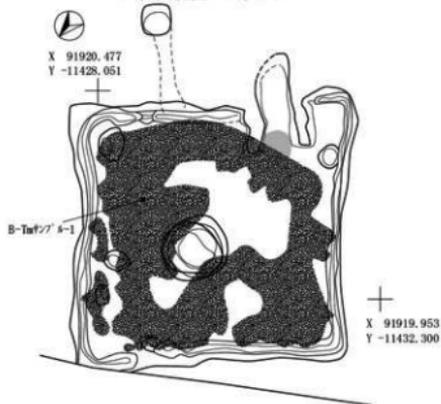
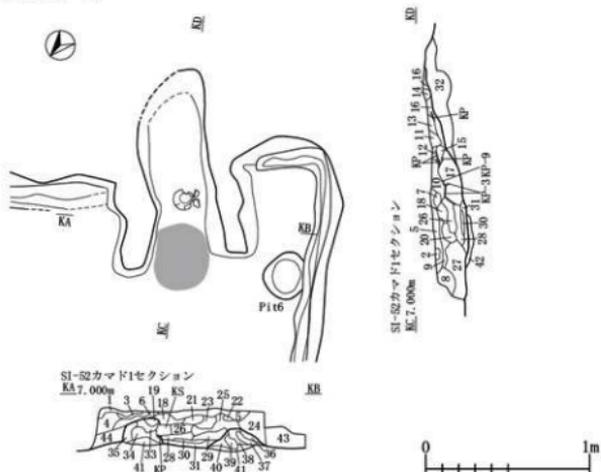


図 1-93 C-1区 SI-52-2

SI-52カマド1

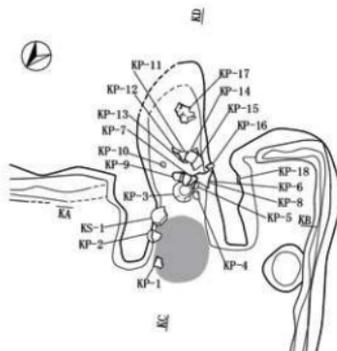


SI-52カマド1

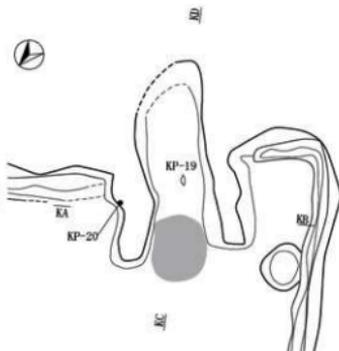
第1層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	炭化粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1mm)微量, B-Tn火山灰極微量
第4層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1mm)微量, 炭化粒(φ1mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量, B-Tn火山灰微量
第5層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~3mm)微量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第6層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1mm)微量, 炭化粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第7層	7.5YR4/4	褐色土	炭化粒(φ1mm)極微量, B-Tn火山灰少量
第8層	10YR2/1	黒色土	炭化粒(φ2~3mm)微量, B-Tn火山灰微量
第9層	10YR4/2	灰黄褐色土	バミス粒(φ2~3mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第10層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ2~3mm)微量, 炭化粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ1mm)極微量, 粘土層
第11層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量, 粘土層
第12層	7.5YR4/3	褐色土	バミス粒(φ2mm)極微量, 粘土層
第13層	7.5YR4/6	褐色土	バミス粒(φ1~2mm)極微量, 焼土粒(φ2~3mm)微量
第14層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第15層	5YR4/4	にぶい赤褐色土	バミス粒(φ2~3mm)極微量, 焼土層
第16層	7.5YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量, バミスブロック(φ15mm)極微量, 焼土層
第17層	7.5YR3/3	暗褐色土	炭化粒(φ1~2mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量
第18層	7.5YR4/3	褐色土	炭化粒(φ3mm)極微量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第19層	5YR4/8	赤褐色土	焼土層
第20層	10YR2/1	黒色土	焼土粒(φ1mm)微量, B-Tn火山灰極微量
第21層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	炭化粒(φ1mm)極微量, B-Tn火山灰少量
第22層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ2mm)極微量
第23層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ2mm)極微量, 炭化粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第24層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第25層	7.5YR4/3	暗褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)極微量, 炭化物(φ10mm)極微量, 焼土粒(φ1~3mm)少量
第26層	7.5YR4/3	暗褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量, 焼土粒(φ1~5mm)少量
第27層	7.5YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ2mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)微量, 焼土粒(φ2~3mm)少量
第28層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第29層	7.5YR4/6	褐色土	焼土粒(φ1~2mm)微量, 粘土層
第30層	5YR4/6	赤褐色土	焼土層
第31層	5YR4/4	にぶい赤褐色土	バミス粒(φ1~2mm)極微量, 焼土層
第32層	10YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)微量
第33層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ3mm)極微量, 炭化粒(φ2mm)極微量, 焼土粒(φ1~5mm)少量, 焼土ブロック(φ10mm)極微量
第34層	7.5YR4/6	褐色土	バミス粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ1~5mm)少量
第35層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ2mm)微量, 焼土粒(φ2mm)極微量
第36層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ5mm)極微量, 焼土粒(φ1~5mm)微量, 粘土ブロック(φ10mm)少量
第37層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1mm)極微量
第38層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, 焼土粒(φ1~5mm)微量
第39層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1~5mm)微量, 焼土ブロック(φ15mm)微量
第40層	7.5YR4/4	褐色土	炭化粒(φ5mm)極微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第41層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量
第42層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土層
第43層	7.5YR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, 焼土粒(φ2mm)少量
第44層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ3mm)極微量, 焼土粒(φ1mm)微量

図1-94 C-1区 SI-52-3

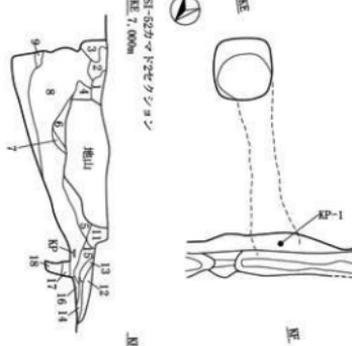
SI-52カマド1土器・石器出土位置図1



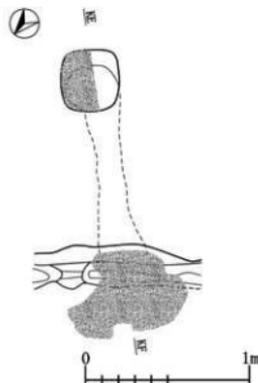
SI-52カマド1土器出土位置図2



SI-52カマド2



SI-52カマド2粘土範囲



SI-52カマド2

- 第1層 10YK3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)微量
- 第2層 7.5YR4/4 褐色土 バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ5~9mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)少量
- 第3層 10YK3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)少量
- 第4層 7.5YR4/3 褐色土 焼土粒(φ1~9mm)微量
- 第5層 7.5YR4/4 褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)微量
- 第6層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)少量
- 第7層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス粒(φ5mm)微量,焼土粒(φ2mm)極微量
- 第8層 7.5YR4/4 褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量
- 第9層 10YK3/3 暗褐色土 バミス粒(φ1~2mm)微量

- 第10層 10YK3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量
- 第11層 10YK3/2 黒褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10mm)微量
- 第12層 10YK5/6 明褐色土 バミス粒(φ3mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量
- 第13層 10YR4/4 褐色土 バミス粒(φ1mm)極微量,バミスブロック(φ10mm)極微量
- 第14層 10YR4/2 灰黄褐色土 バミス粒(φ1mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量
- 第15層 10YK3/3 暗褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量
- 第16層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス粒(φ1~9mm)中量,焼土粒(φ1~2mm)微量
- 第17層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1mm)極微量
- 第18層 10YK3/2 黒褐色土 バミス粒(φ3mm)少量

IV-1  
C-1区

図 1-95 C-1区 SI-52-4

## SI-52

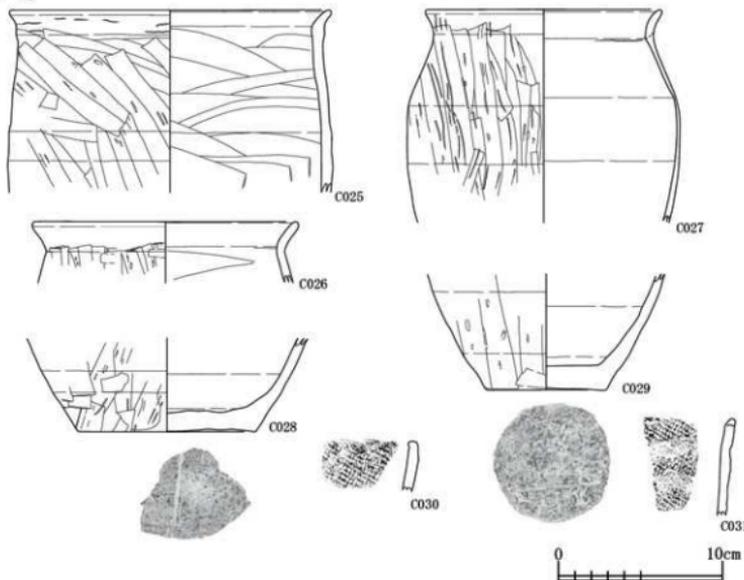


図 1-96 C-1区 SI-52-5

## 2. 土坑

## SK-23 (図 1-97)

調査区南側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $106.0 \times 98.0 \times 89.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、所謂フラスコ状土坑である。底面の規模は $117.0 \times 113.0$  cmを測る。堆積土は13層に分層した。底面直上は自然堆積で、その上位は第8・9層は地山の粘土層で、一部壁の崩落が伴う人為的な堆積である。

## SK-24 (図 1-97)

調査区南側で検出した。平面形は不整楕円形を呈し、 $88.0 \times 80.0 \times 56.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、SK-23同様フラスコ状土坑である。底面は $129.0 \times 118.0$  cmを測る。堆積土は11層に分層した。一部壁の崩落が伴う自然堆積状況を呈する。下層から縄文時代中期と思われる体部資料が出土している。

## SK-25 (図 1-97)

調査区南側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $146.0 \times 137.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は上面が削平を受けているものの、前2つと同様

に袋状を呈し、底面は $176.0 \times 161.0$  cmを測る。堆積土は11層に分層し、崩落の伴う人為堆積状況を呈する。削平の為上層扱いであるが、実質的に土坑中層～下層に相当する位置からSK-24下層出土資料と同一個体である縄文土器体部片が出土している。

## SK-26 (図 1-98)

調査区南側で検出した。平面形は円形を呈し、 $89.0 \times 83.0 \times 36.0$  cmを測る。断面形は軽く袋状を呈している。堆積土は7層に分層し、壁の崩落が伴う自然堆積状況を呈する。

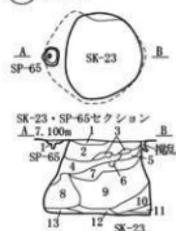
## SK-27 (図 1-98)

調査区南側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $125.0 \times 111.0 \times 51.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、底面は $130.0 \times 110.0$  cmを測る。堆積土は7層に分層し、底面直上は自然堆積を呈し、下層～上層にかけ人為的埋め戻し状況を呈する。

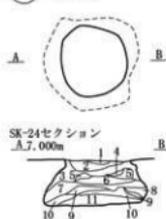
## SK-28 (図 1-98)

調査区南側で検出した。平面形は不整長方形を呈

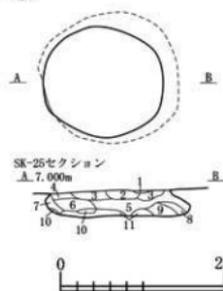
SK-23



SK-24



SK-25



SK-23			
第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,パミス粒・ブロック(φ5~20mm)少量,炭化粒(φ2mm)微量
第3層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層,ロームブロック(φ20~30mm)少量,パミス粒(φ5mm)微量
第4層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)極微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第6層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第7層	7.5YR5/6	明褐色土	ローム層,パミス粒(φ5~9mm)微量,粘土ブロック(φ20mm)微量,大谷火山灰混入
第8層	7.5YR5/6	明褐色土	大谷火山灰ブロック主体層,ロームブロック(φ20~50mm)多量
第9層	7.5YR5/6	明褐色土	ローム層,ロームブロック(φ20~30mm)少量,パミス粒・ブロック(φ2~15mm)少量,月見野火山灰混入,第8層より黄色が強い
第10層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量,パミス粒(φ2~3mm)微量,炭化粒(φ3mm)極微量
第11層	7.5YR5/4	にぶい褐色土	ローム層,ローム粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第12層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)極微量
第13層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ5mm)極微量
SP-65			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,パミス粒(φ2mm)微量,10YR3/3暗褐色土(φ5mm)少量

SK-24

第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロック(φ20mm)極微量,パミス粒(φ3mm)微量,炭化物極微量
第2層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層,ロームブロック(φ10~30mm)微量,パミス粒(φ3~9mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ2~20mm)少量,パミス粒・ブロック(φ5~20mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第4層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ5~20mm)少量,炭化粒(φ1mm)極微量
第5層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層,ローム粒・ブロック(φ2~20mm)中量,パミス粒(φ2~5mm)微量,壁崩落土
第6層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2~5mm)少量,パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ3mm)少量
第7層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層,ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)混入,壁崩落土,パミス粒・ブロック(φ1~15mm)少量
第8層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,パミス粒(φ2mm)微量
第9層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ2mm)微量
第10層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)極微量,炭化粒(φ5mm)極微量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2~3mm)極微量

SK-25

第1層	10YR2/1	黒色土	パミス粒(φ3mm)極微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量,10YR2/1黒色土少量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ3mm)微量
第4層	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック(φ10mm)極微量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ3mm)極微量,粘土粒(φ3~9mm)極微量
第5層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)微量
第6層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,パミス粒(φ1~3mm)極微量(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第7層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ2mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,粘土粒(φ5mm)少量
第8層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)中量,パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ2mm)極微量,粘土ブロック(φ10mm)極微量,壁崩落土
第9層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2~3mm)微量
第10層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	パミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量
第11層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ2~9mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量,粘土・ブロック(φ5~20mm)微量

SK-24



SK-25



図 1-97 C-1 区 SK-1

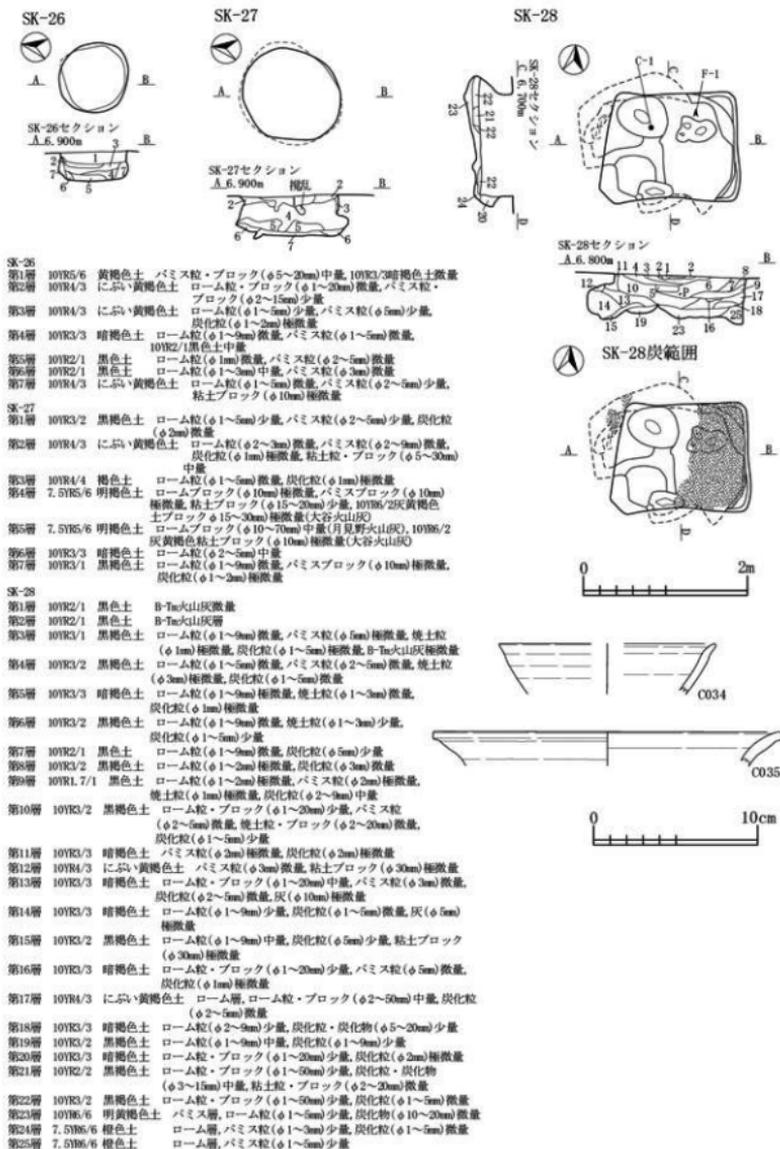


図1-98 C-1区SK-2

し、 $1.61.0 \times 1.33.0 \times 53.0$  cmを測る。本遺構は一つの土坑扱いとして精査されているが、近隣にSK-26・27などの縄文時代に帰属したと考えられるフラスコ状を呈する土坑が配置しており、本遺構の下部についても袋状に入り込んだ部分が見られる。底部の袋状部分の規模は $1.61.0 \times 1.53.0$  cmを測り上面の方形の土坑とは配置プランが異なり、下部の袋状の掘り込みは縄文時代に帰属した土坑の可能性が含まれる。方形の断面形は垂直に近い形で立ち上がり、下部の土坑は袋状の断面形である。堆積土は25層に分層しているが、第12～15層、第20～25層が下部の袋状の土坑の堆積土に相当し、上部の方形の土層は13層分である。最上位の第1～3層からB-Tm火山灰を検出している。方形の底面に相当する第17層の上面を底面とし、その上位に堆積する第9層は炭化物層で面的に検出している。本遺構が製炭土坑として機能した可能性が高い。覆土からC034に図示した土師器輪、第6層および下層からC035に図示した土師器甕の口縁部が出土している。

#### SK-29 (図1-99)

調査区南側で検出した。SP-127と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形楕円形を呈し、 $2.56.0 \times 1.80.0 \times 81.0$  cmを測る。なお、SK-28と同様に本遺構の南側部分には袋状に入り込む土坑状の古い段階の掘り込みがあり、SK-27・28と近接した位置関係であることから、本遺構についても下部の一部が縄文時代のフラスコ状土坑が重なった可能性がある。断面形は段状と袋状を呈し、掘り込みとしては北側の部分が新しく、南側の前述の袋状側の掘り込みが古い段階の資料である。堆積土は35層に分層し、混在した層番号が付されているが、新しい段階に堆積した第5・6層からB-Tm火山灰を検出した。遺物は袋状土坑の上位の北側の掘り込みの埋没に伴う堆積土中からC036に図示した土師器甕底部が出土しており、北側の掘り込みについてはB-Tm降灰前の平安時代に行われていた可能性が高い。

#### SK-30 (図1-100)

調査区中央より南側で検出した。SI-02と重複しており、調査時の記録上では本遺構の方が新しい。平面形は円形を呈し、 $3.40.0 \times 3.40.0 \times 32.0$  cmを測る。平面形が直径3.4mの円形で、ピットも伴い、出土遺物についても最下層からC037で図示した縄文時代前期末の土器片なども出土していることから、一見すると縄文時代の堅穴住居跡として見てしまうが、記録情報によるとB-Tm火山灰の堆積する平安時代の堅穴建物であるS

I-02を切る堆積状況が記録されており、本遺構内の堆積土中にもSI-02起源のB-Tm火山灰の混合土が第5～7層、第11層中に見られることからSK-30の掘削に際しSI-02部分を掘削したことにより、再堆積が発生した可能性が高い。また、中位には炭化物の堆積層と焼土化した土の堆積が認められ焼成が伴った可能性がある。本遺構周辺に類似した規模と焼成が伴う掘乱掘りの円形の掘り込みや土坑扱いで記録したSK-32・33・35・36・40・42・43・53・54・62・63・64・65などが群生している。ピットと取り扱われた穴は堅穴内から7基検出しているが、本遺構に帰属しない可能性のあるものも含まれ、Pit2～6は深さがある。深さがあるピットについて他の類似するピットからは根が残存した状況で検出する事例もあり、一部の資料については伐根の跡の倒木痕である資料も含まれる。堆積土は14層に分層し、前述のとおり、SI-02起源の土の再堆積に伴う埋没状況である可能性が高い。

#### SK-31a・b (図1-101)

調査区中央からやや南側の位置から検出した。SK-31のa・bとして二つの遺構として記録されているが、堆積状況を見る限り同一遺構の掘削の段階差に伴う可能性もある。平面形は長方形を呈し、 $2.08.0 \times 93.0 \times 57.0$  cmを測る。断面形は段状を呈し、中央が柱穴状に凹んだ形状で、壁際がテラスを持つ形状である。堆積土はa・b合わせて16層に分層し、b扱いは第15・16層が堆積しているが、対応する土層はa側の西側の壁面のテラス上に堆積する第6層が相当し、再掘削前の堆積としてはa・b双方の部分を含めた埋め戻しが伴った可能性が高い。

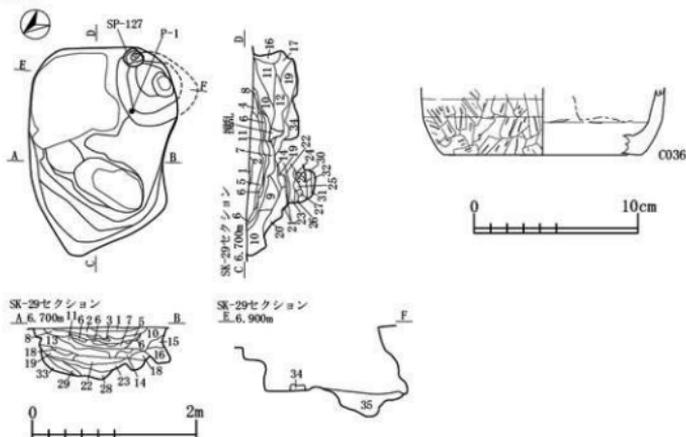
#### SK-32 (図1-101)

調査区中央からやや東側の地点で検出した。SA-02Pit10とSA-03Pit7と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形円形を呈し、 $2.98.0 \times 2.23.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる。SK-30と同様に小ピットを検出しており、ある程度の深さを持つ資料が多い。本遺構もSK-30と同様に中位に炭化物の堆積層と焼土層の堆積が認められ、焼成が伴った可能性が高い資料である。

#### SK-33 (図1-102)

調査区中央からやや北東側の地点から検出した。SK-47と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形を呈し、 $4.60.0 \times 3.40.0 \times 56.0$  cmを測る。断面形は凹凸が顕著で、一部

## SK-29



## SK-29

- |      |           |         |   |      |           |         |   |
|------|-----------|---------|---|------|-----------|---------|---|
| 第1層  | 10YR1.7/1 | 黒色土     | ローム粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ5mm)極微量  | 第16層 | 10YR5/4   | にぶい黄褐色土 | ローム層,バミス粒(φ2~5mm)少量,壁跡層土                              |
| 第2層  | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ2mm)極微量,バミス粒(φ3mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)極微量,B-Tu火山灰中量 | 第17層 | 10YR3/4   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)中量,バミス粒(φ5~9mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量            |
| 第3層  | 10YR3/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1mm)極微量   | 第18層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)少量                          |
| 第4層  | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1mm)極微量,バミス粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ3mm)極微量                          | 第19層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ2~9mm)少量,粘土粒・ブロック(φ5~15mm)少量      |
| 第5層  | 10YR2/1   | 黒色土     | ローム粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ2mm)極微量,B-Tu火山灰少量                            | 第20層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ2~9mm)微量,バミス粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ2~9mm)少量             |
| 第6層  | 10YR3/2   | 黒褐色土    | B-Tu火山灰層,B-Tu火山灰多量  | 第21層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)中量                          |
| 第7層  | 10YR2/1   | 黒色土     | ローム粒(φ1~9mm)微量,バミス粒(φ5mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)微量                        | 第22層 | 7.5YR6/6  | 橙色土     | ローム層,バミス粒(φ1~3mm)微量,10YR3/3暗褐色土少量                     |
| 第8層  | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)微量                         | 第23層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミス層,ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量 |
| 第9層  | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2mm)微量                         | 第24層 | 7.5YR/4   | にぶい橙色   | ローム層  |
| 第10層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ2~9mm)微量,炭化粒・炭化物(φ1~15mm)少量                  | 第25層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミス層,ローム粒(φ1~5mm)少量                                   |
| 第11層 | 10YR3/4   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)微量,バミス粒(φ2~5mm)微量,粘土粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ2~5mm)微量          | 第26層 | 10YR1.7/1 | 黒色土     | 炭化物層,ローム粒・バミス粒(φ1~3mm)微量                              |
| 第12層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)微量,バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量                       | 第27層 | 7.5YR6/6  | 橙色土     | ローム層,バミス粒(φ1~5mm)少量                                   |
| 第13層 | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ1~9mm)中量  | 第28層 | 7.5YR6/6  | 橙色土     | ローム層,10YR6/6明黄褐色土バミス粒(φ1~5mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)微量         |
| 第14層 | 10YR4/3   | にぶい黄褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ2~9mm)少量,粘土ブロック(φ10mm)微量                      | 第29層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミス層,ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量                     |
| 第15層 | 10YR4/3   | にぶい黄褐色土 | ローム粒(φ2~9mm)微量,バミス粒(φ5mm)微量,炭化粒(φ2mm)微量                           | 第30層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミス層  |
|      |           |         |   | 第31層 | 10YR4/6   | 褐色土     | ローム層  |
|      |           |         |   | 第32層 | 10YR5/4   | にぶい黄褐色土 | バミス主体層,ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量                   |
|      |           |         |   | 第33層 | 7.5YR6/6  | 橙色土     | ローム層,炭化粒(φ1~5mm)微量                                    |
|      |           |         |   | 第34層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミス層,ロームブロック(φ15~50mm)少量                              |
|      |           |         |   | 第35層 | 10YR6/6   | 明黄褐色土   | バミスと7.5YR6/6橙色ロームとの混合層<br>炭化粒(φ1~5mm)層上方に微量           |



SK-31a・31b



SK-31a・31bセクション

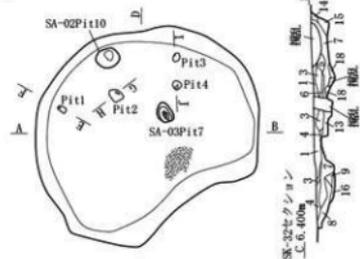
A 6.700m



SK-31a・31b

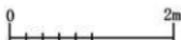
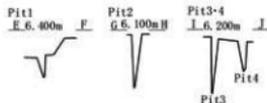
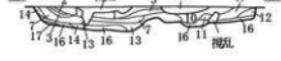
- |      |         |         |   |
|------|---------|---------|---|
| 第1層  | 10YR3/3 | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)極微量,バミス粒(φ2~9mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量             |
| 第2層  | 10YR2/3 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~2mm)極微量,バミス粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ2~3mm)極微量              |
| 第3層  | 10YR3/3 | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~3mm)極微量,バミス粒(φ2~3mm)極微量,炭化粒(φ3mm)極微量              |
| 第4層  | 10YR2/3 | 黒褐色土    | 焼土層,バミス粒(φ2mm)極微量,炭化粒(φ5mm)極微量                            |
| 第5層  | 10YR3/2 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~2mm)微量,バミス粒(φ5mm)極微量,炭化粒(φ1mm)極微量                 |
| 第6層  | 10YR3/3 | 暗褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)微量        |
| 第7層  | 10YR2/2 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)極微量,バミス粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)極微量              |
| 第8層  | 10YR3/3 | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)中量,バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量              |
| 第9層  | 10YR2/2 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量               |
| 第10層 | 10YR3/2 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)微量,バミス粒(φ2~3mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量              |
| 第11層 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色土 | ローム層,ローム粒・ブロック(φ1~15mm)中量,バミス粒(φ1~5mm)微量                  |
| 第12層 | 10YR2/2 | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)中量,バミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量               |
| 第13層 | 10YR3/2 | 黒褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量,バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量          |
| 第14層 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色土 | ローム層,バミス粒(φ5~9mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量                        |
| 第15層 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量               |
| 第16層 | 10YR4/3 | にぶい黄褐色土 | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量,バミス粒(φ2~5mm)極微量,粘土粒・ブロック(φ5~15mm)極微量 |

SK-32



SK-32セクション

A 6.400m

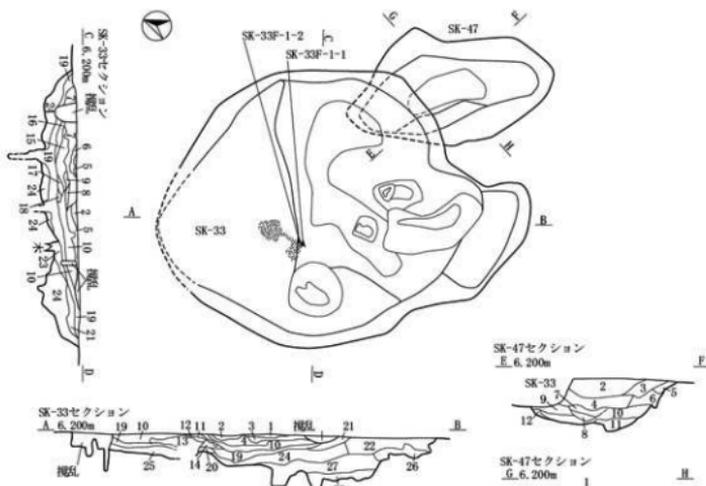


SK-32

- |      |           |         |   |
|------|-----------|---------|---|
| 第1層  | 7.5YR5/6  | 明褐色土    | 焼土層,炭化粒・炭化物(φ1~20mm)少量  |
| 第2層  | 10YR3/2   | 黒褐色土    | 焼土粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量                                       |
| 第3層  | 10YR1.7/1 | 黒色土     | ローム粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ2~3mm)中量                                     |
| 第4層  | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~3mm)少量,バミス粒(φ2mm)極微量,焼土粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量           |
| 第5層  | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ3mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ2~5mm)極微量,粘土ブロック(φ40mm)極微量        |
| 第6層  | 7.5YR3/2  | 黒褐色土    | ローム粒(φ1mm)極微量   |
| 第7層  | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)微量,バミス粒(φ2mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量,炭化粒(φ2mm)極微量            |
| 第8層  | 10YR3/1   | 黒褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)微量                               |
| 第9層  | 10YR2/1   | 黒色土     | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ2~9mm)微量,炭化粒(φ2~3mm)極微量,粘土粒(φ2~5mm)極微量 |
| 第10層 | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量                  |
| 第11層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量,バミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量                  |
| 第12層 | 10YR4/4   | 褐色土     | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量,10YR1.7/1黒色土微量                               |
| 第13層 | 10YR3/3   | 暗褐色土    | ローム粒(φ1~5mm)中量,バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)微量                       |
| 第14層 | 10YR3/2   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~3mm)少量,バミス粒(φ3mm)極微量,炭化粒(φ2mm)極微量                         |
| 第15層 | 10YR3/2   | 黒褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)微量,バミス粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量                    |
| 第16層 | 10YR2/2   | 黒褐色土    | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,バミス粒(φ2~9mm)微量                               |
| 第17層 | 10YR3/1   | 黒褐色土    | ローム粒(φ1~9mm)少量  |
| 第18層 | 10YR4/3   | にぶい黄褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)少量                                     |

図 1-101 C-1区 SK-5

SK-33・47



SK-33			
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第2層	5YR5/6	明赤褐色土	焼土層,炭化粒(φ5mm)微量
第3層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土層,ロームブロック(φ10~50mm)多量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第4層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~4mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量,10YR4/3にぶい黄褐色土ブロック(φ40~50mm)中量
第5層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土層,炭化粒(φ1~5mm)少量
第6層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)少量,炭化物(φ15mm)微量
第7層	5YR5/8	明赤褐色土	焼土層,炭化粒(φ1~5mm)微量,炭化物(φ10~25mm,φ40~60mm)微量
第8層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物層
第9層	10YR4/2	灰黄褐色土	灰層,炭化物(φ10~100mm)多量
第10層	7.5YR5/6	明褐色土	炭化粒(φ1~5mm)微量
第11層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物層
第12層	10YR4/2	灰黄褐色土	灰層
第13層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物層,焼土ブロック(φ50mm)微量
第14層	7.5YR5/6	明褐色土	炭化物層
第15層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物層
第16層	7.5YR5/6	明褐色土	焼土層,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~30mm)微量
第17層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	焼土層,炭化粒(φ1~9mm)中量
第18層	10YR1.7/1	黒色土	炭化物層
第19層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)微量,炭化物(φ10~30mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量
第20層	10YR4/6	褐色土	ローム層
第21層	10YR4/4	褐色土	ローム層,ロームブロック(φ10~30mm)多量,パミス粒(φ5~8mm)少量
第22層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第23層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)中量,パミス粒(φ5~9mm)微量
第24層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
第25層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量,ロームブロック(φ10~30mm)中量
第26層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)中量,パミス粒(φ5mm)少量
第27層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層
第28層	10YR3/3	暗褐色土	ロームブロック(φ15~50mm)少量,炭化物(φ15~40mm)微量

SK-47			
第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)極微量,パミス粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,パミス粒(φ2~3mm)微量,炭化粒(φ5mm)極微量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)極微量
第4層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ5mm)微量,炭化粒(φ2mm)極微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ2~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ2mm)極微量
第6層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ2~5mm)少量
第7層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2mm)微量
第8層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量
第9層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ2mm)微量
第10層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第11層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~25mm)中量,パミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)極微量
第12層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム多量,炭化粒(φ1mm)極微量

図 1-102 C-1区 SK-6

SK-30・32等でピットとして記録した細く深いピット状の落ち込みを複数検出している。本遺構もSK-30などと同様に炭化物の堆積と焼成が伴った堆積状況を呈しており、ほぼ同様の遺構であったと考えられる。

#### SK-34 (図1-103)

調査区中央よりやや北東側から検出した。平面形は隅丸方形を呈し、 $178.0 \times 154.0 \times 14.0$  cmを測る。削平により壁面のほとんどが残存しておらず、検出した部分は掘り方と掘り方充填土と底面直上に堆積土の残存部分だけである。また、本遺構内からもSK-30などと同様に小ピットを検出し、Pit 3・7のようにやや深さを持つものも伴っている。削平のため、焼土層は認められないが、SK-30などと類似した位置づけになる可能性がある。

#### SK-35 (図1-103)

調査区中央で検出した。平面形は円形を呈し、 $250.0 \times 235.0 \times 28.0$  cmを測る。SK-32と攪乱で記録された落ち込み部分の延長線上の西側の位置に相当し、SK-30などと同様に深さを持つピット状の落ち込みが伴っている。堆積土は焼土層や炭化物の堆積層が認められないが、炭化粒の混入は認められ、類似した穴である可能性が高い。

#### SK-36 (図1-104)

調査区中央で検出した。平面形は不整形円形を呈し、 $317.0 \times 255.0 \times 33.0$  cmを測る。本遺構内でもSK-30と同様に小ピットを検出しているが、Pit 1・2・5については柱穴列の一部である可能性が高い。本遺構もSK-30と同様にB-Tm火山灰の混入が認められるが、第3層が焼土層に相当し、平安時代の帰属資料ではなく、後段の帰属資料の埋土にB-Tm火山灰が混入していた可能性が高い資料である。

#### SK-38a・38b (図1-105)

調査区中央からやや西側の地点で検出した。SK-39と重複しており、本遺構の方が新しい。また、SK-38aと38bについてはSK-38aとSK-39の境界部分の新しい掘り込みについてSK-38bとして記録しているだけで、実質的な土坑状の部分はSK-38a扱いの資料となる。平面形は不整形で $265.0 \times 235.0 \times 30.0$  cmを測る。断面形は凹凸が顕著で壁は段状に立ち上がっている。堆積土は17層に分層しているが全般的にブロックの混入が顕著で人為的堆積状況を呈する。

#### SK-39 (図1-105)

調査区中央からやや西側の地点で検出した。SK-38a・bと重複しており、本遺構の方が古い。平面形は隅丸方形を呈し、 $160.0 \times 155.0 \times 30.0$  cmを測る。断面形は鍋底状を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は15層に分層し、中間の第7層がロームブロック主体の堆積土で蓋がされたように面を覆っている。底面が硬化した状況で検出している。

#### SK-40 (図1-106)

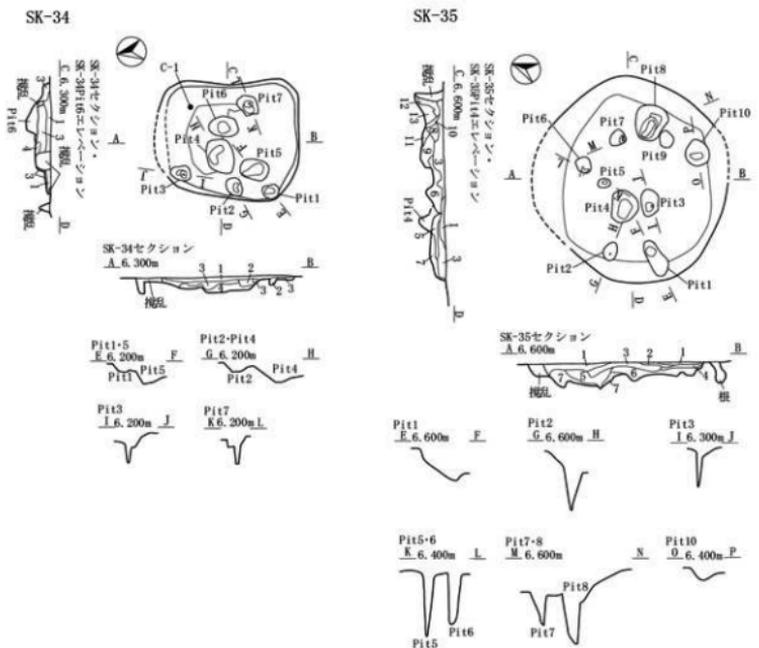
調査区中央より北側で検出した。北西側が調査区外に延びており欠測しているが、検出部で平面形は楕円形を呈し、 $470.0 \times 375.0 \times 115.0$  cmを測る。断面形は底面が凹凸があり、壁は直立に近い形で立ち上がる部分と壁上部の一部で開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は70層に分層し、ブロック混じりの土層が見られ、人為的な埋め戻しの要因が強い状況である。B-Tm火山灰を含む土の混入が見られるが、埋め戻し面積が広い。そのため、周辺のB-Tm火山灰が堆積した土を埋め戻しに利用したのみで、B-Tm火山灰の降灰に近接した時期の所産にはならない可能性が高い。

#### SK-41 (図1-106・107)

調査区中央より西側から検出した。SI-03・SP-57と重複しており、SI-03より新しく、SP-57より古い。平面形は不整形を呈し、 $204.0 \times 140.0 \times 35.0$  cmを測る。断面形は凹凸が顕著で底面が不明瞭である。また、重複するSI-03のカマド部分の掘り込みが底面の一部から検出している。堆積土は11層に分層したが、前述のとおりSI-03のカマド部分と重複しており、堆積土中にカマド起因の土の堆積が認められるなど、SI-03カマドの破壊の痕跡が明瞭である。出土遺物についてもSI-03カマドの重複部分から出土している破片が多く、本遺構の帰属というよりはSI-03との関連性が考慮される。

#### SK-42 (図1-108)

調査区東側の地点から検出した。平面形は不整形を呈し、 $296.0 \times 253.0 \times 36.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる。底面から浅いピット2基を検出しているが、他の事例と同様の様相である。堆積土は28層に分層し、上面はSK-30などと同様に炭化物の堆積層と焼土層を検出している。



SK-34

- 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,バミス粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)微量,炭化粒(φ2~5mm)微量
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2~3mm)極微量
- 第4層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス粒(φ2~9mm)少量,粘土粒・ブロック(φ5~15mm)微量

SK-35

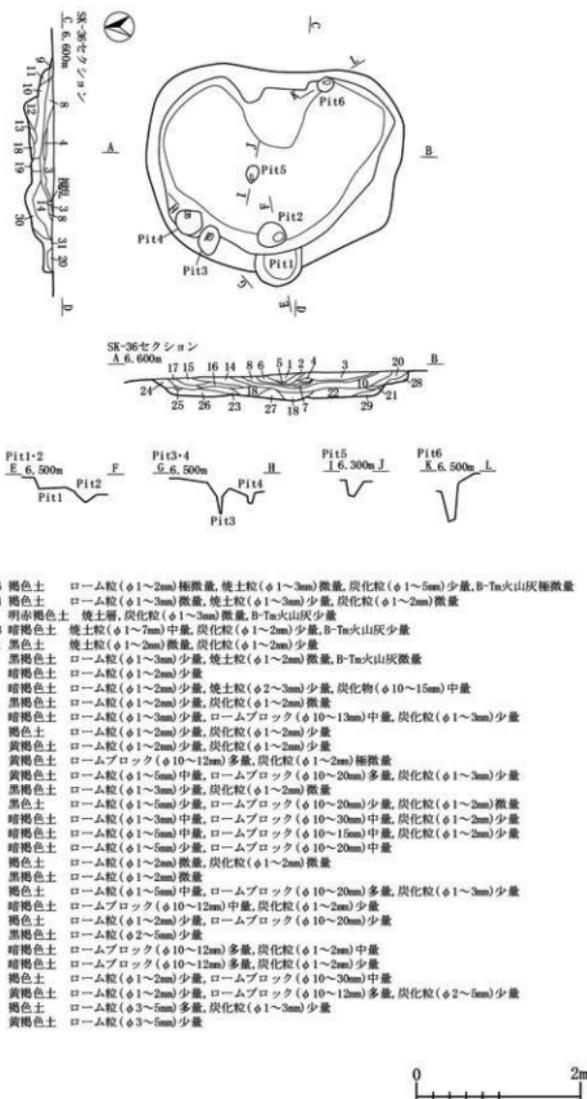
- 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ2~30mm)中量,バミス粒(φ5mm)微量,粘土粒・ブロック(φ5~30mm)微量
- 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)微量
- 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ2mm)極微量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量,バミス粒(φ5mm)極微量
- 第5層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~50mm)中量,バミス粒(φ2~5mm)微量,粘土粒(φ5mm)極微量,10YR2/1黒色土少量
- 第6層 10YR4/4 褐色土 ローム層,ローム粒・ブロック(φ2~20mm)多量,バミス粒(φ2~5mm)微量,10YR2/1黒色土微量
- 第7層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム層,ローム粒・ブロック(φ2~50mm)多量,バミス粒・ブロック(φ2~30mm)微量
- 第8層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~50mm)多量,バミス粒(φ2~3mm)極微量
- 第9層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量,バミス粒(φ2~5mm)微量
- 第10層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ1~2mm)微量
- 第11層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層,10YR2/1黒色土少量
- 第12層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,バミス粒(φ1~3mm)微量
- 第13層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム層,ロームブロック(φ130mm)極微量,バミス粒(φ3~5mm)極微量



N-1  
C-1区

図 1-103 C-1区 SK-7

SK-36

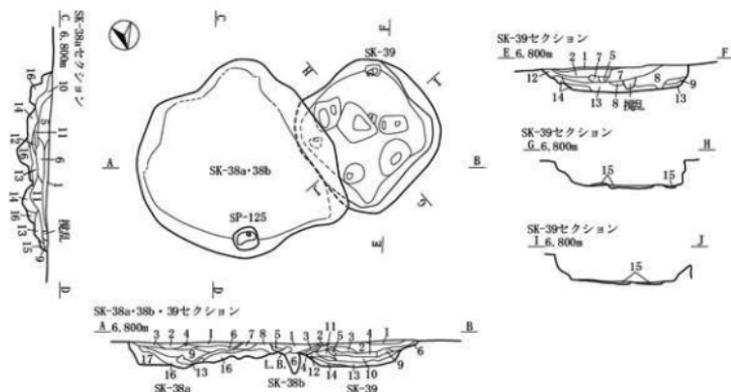


SK-36

第1層	7.5YR4/6 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量, 焼土粒(φ1~3mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)少量, B-Tn火山灰極微量
第2層	7.5YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量, 焼土粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第3層	5YR5/8 明赤褐色土	焼土層, 炭化粒(φ1~3mm)微量, B-Tn火山灰少量
第4層	7.5YR3/3 暗褐色土	焼土粒(φ1~7mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量, B-Tn火山灰少量
第5層	7.5YR2/1 黒色土	焼土粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第6層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)微量, B-Tn火山灰微量
第7層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量
第8層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ2~3mm)少量, 炭化物(φ10~15mm)中量
第9層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第10層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, ロームブロック(φ10~13mm)中量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第11層	10YR4/6 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第12層	10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第13層	10YR5/8 黄褐色土	ロームブロック(φ10~12mm)多量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
第14層	10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量, ロームブロック(φ10~20mm)多量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第15層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第16層	10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第17層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)中量, ロームブロック(φ10~30mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第18層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量, ロームブロック(φ10~15mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第19層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)中量
第20層	10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第21層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量
第22層	10YR4/6 褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量, ロームブロック(φ10~20mm)多量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第23層	10YR3/4 暗褐色土	ロームブロック(φ10~12mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第24層	10YR4/6 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)少量
第25層	10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)少量
第26層	10YR3/4 暗褐色土	ロームブロック(φ10~12mm)多量, 炭化粒(φ1~2mm)中量
第27層	10YR3/4 暗褐色土	ロームブロック(φ10~12mm)多量, 炭化粒(φ1~2mm)少量
第28層	10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, ロームブロック(φ10~30mm)中量
第29層	10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, ロームブロック(φ10~12mm)多量, 炭化粒(φ2~5mm)少量
第30層	10YR4/4 褐色土	ローム粒(φ3~5mm)多量, 炭化粒(φ1~3mm)少量
第31層	10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ3~5mm)少量

図 1-104 C-1区 SK-8

SK-38a・38b・39



SK-39硬化面範囲

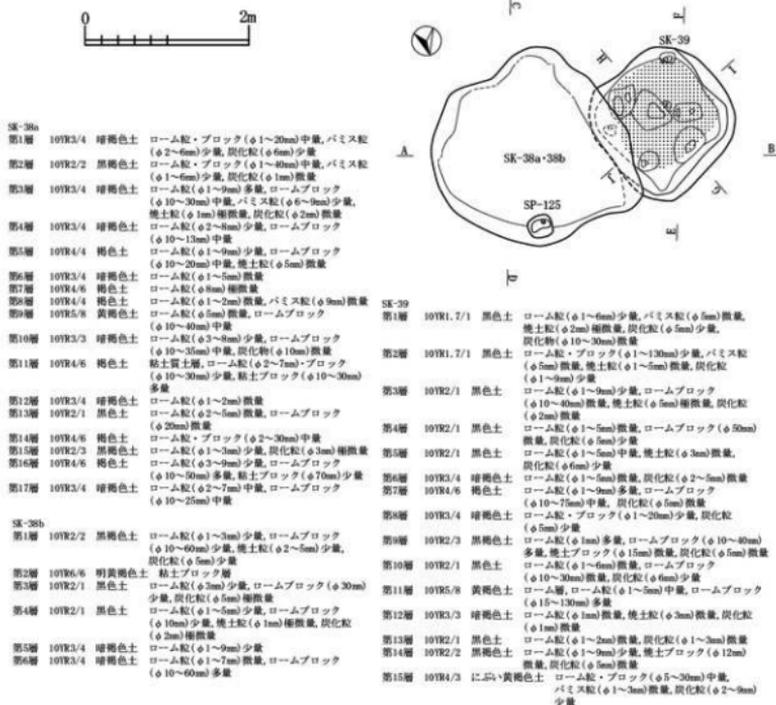
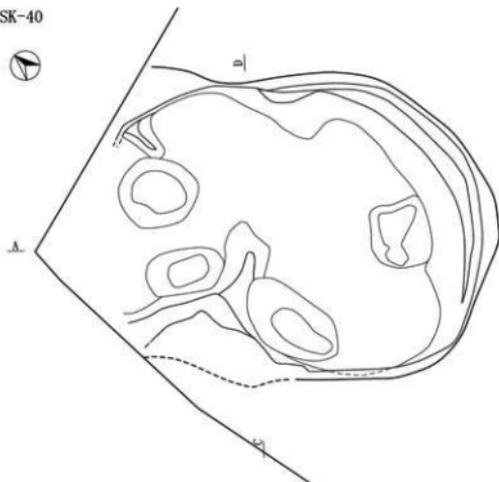
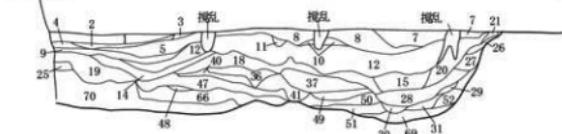


図 1-105 C-1区 SK-9

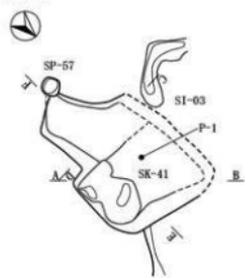
SK-40



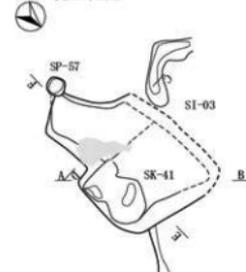
SK-40セクション  
A. 7.100m



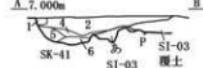
SK-41



SK-41焼土範囲



SK-41・SI-03セクション  
A. 7.000m



SK-41セクション  
C. 7.000m



SK-41セクション  
E. 7.000m

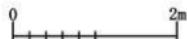


図 1-106 C-1区 SK-10

SK-40			
第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~8mm)中量
第2層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量,パリスブロック(φ10~20mm)微量
第3層	10R3/3	黄褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~3mm)中量
第4層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~3mm)微量
第5層	10R2/2	黒褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~8mm)中量
第6層	10R3/3	黄褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~5mm)少量,10R2/1黒色土少量
第7層	10R2/1	黒色土	ローム状(φ1~8mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量,パリス灰(φ1~8mm)少量,β-Tu/βTu/βTu少量
第8層	10R2/2	黒褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~5mm)少量,パリスブロック(φ15~40mm)微量
第9層	10R2/2	黒褐色土	パリス灰(φ1~8mm)微量
第10層	10R2/1	黒色土	10R2/1黒色土少量
第11層	10R2/1	黒色土	ローム状・パリス灰(φ1~3mm)微量
第12層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	β-Tu/βTu/βTu少量,ローム状・パリス灰(φ1~3mm)中量,微量
第13層	10R3/3	黄褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~5mm)微量,β-Tu/βTu/βTu中量,10R2/1黒色土微量
第14層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量,β-Tu/βTu/βTu少量
第15層	10R2/1	黒色土	10R6/5にじみ・黄褐色土-Tu/βTu/βTu少量層,ローム状・パリス灰(φ1~5mm)微量
第16層	10R2/2	黒褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~3mm)微量
第17層	10R2/1	黒色土	ローム状・ブロック(φ1~25mm)少量
第18層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~3mm)少量,β-Tu/βTu/βTu微量,10R2/3黒褐色土少量
第19層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量,β-Tu/βTu/βTu微量
第20層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	β-Tu/βTu/βTu少量,黄褐色土ローム状(φ1~5mm)微量,10R2/1黒色土少量
第21層	10R1/1	黒色土	10R3/3黄褐色土少量
第22層	10R2/2	黒褐色土	ローム状・パリス灰(φ1~3mm)微量
第23層	10R2/1	黒色土	パリス灰(φ1~3mm)微量
第24層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~3mm)多量
第25層	10R2/2	黒褐色土	10R2/2(φ1~8mm)微量,10R3/3黒褐色土中量
第26層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~5mm)微量,10R1/1黒色土微量
第27層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)多量
第28層	10R2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)微量,炭化粉北側下方に少量
第29層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量
第30層	10R3/2	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)中量
第31層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~3mm)少量
第32層	10R4/4	褐色土	ロームブロック(φ15~30mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)微量
第33層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,10R2/2黄褐色土中量
第34層	10R3/2	黄褐色土	10R2/2黄褐色土・ロームの混合層,ローム状(φ1~5mm)少量
第35層	10R2/1	黒色土	ローム状(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ15~40mm)微量
第36層	10R4/4	褐色土	黒色土と10R7/8黄褐色土ロームの混合層,ローム状(φ1~2mm)少量
第37層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~5mm)微量,10R2/1黒色土微量
第38層	10R7/8	黄褐色土	ローム層
第39層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,10R2/2黄褐色土中量
第40層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量,10R2/1黒色土少量
第41層	10R2/1	黒色土	ローム状・ブロック(φ1~30mm)中量
第42層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量,ローム状(φ1~2mm)微量
第43層	10R2/1	黒色土	ローム状・ブロック(φ1~50mm)少量,ローム状(φ1~8mm)層上方に層状に少量
第44層	10R2/1	黒色土	ロームブロック(φ10~25mm)少量,ローム層層上方に層状に混入
第45層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~8mm)少量,10R2/2黄褐色土少量
第46層	10R2/1	黒色土	ローム状(φ1~30mm)少量
第47層	10R7/8	黄褐色土	ローム土と10R2/2にじみ・黄褐色土ロームの混合層,10R3/3黄褐色土少量
第48層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~3mm)微量,10R3/3黄褐色土少量
第49層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~8mm)少量,10R2/1黒色土少量
第50層	10R2/1	黒色土	10R7/8黄褐色土・ロームの混合層
第51層	10R2/1	黒色土	10R7/8黄褐色土ロームの混合層,ローム状(φ1~8mm)微量,10R3/3黄褐色土少量
第52層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,10R3/3黄褐色土少量
第53層	10R7/8	黄褐色土	ローム層
第54層	10R4/4	褐色土	
第55層	10R3/4	黄褐色土	ローム状(φ1~8mm)少量
第56層	10R3/4	黄褐色土	ローム状(φ1~3mm)微量
第57層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,10R2/2黄褐色土微量
第58層	10R4/4	褐色土	ローム層,10R2/2黄褐色土中量
第59層	10R7/8	黄褐色土	ローム層
第60層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,10R2/2黄褐色土中量
第61層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~8mm)微量,10R2/1黒色土少量
第62層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,10R2/1黒色土中量
第63層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層
第64層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,10R2/1黒色土少量
第65層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,10R2/1黒色土少量
第66層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~8mm)微量,10R2/1黒色土微量
第67層	10R7/8	黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~8mm)少量
第68層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,ローム状(φ1~3mm)微量,10R2/1黒色土ブロック(φ10~20mm)微量
第69層	10R3/2	黄褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)多量,10R2/1黒色土少量
第70層	10R6/5	にじみ・黄褐色土	ローム層,ロームブロック(φ10~30mm)少量,10R2/1黒色土少量

第71層	10R2/2	黒褐色土	ローム状(φ1~5mm)少量
第72層	10R3/3	黄褐色土	ローム状・ブロック(φ1~40mm)少量,パリス灰(φ1mm)微量,泥土ブロック(φ10~15mm)少量
第73層	10R3/3	黄褐色土	ローム状・ブロック(φ1~20mm)少量,泥土(φ2~3mm)微量,10R2/1黒色土(φ5~15mm)少量
第74層	10R3/3	黄褐色土	ローム状(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)微量
第75層	10R4/4	褐色土	ローム状(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)多量,粘土ブロック(φ20~30mm)微量
第76層	10R4/4	にじみ・黄褐色土	粘土層,ローム状(φ1~8mm)微量,粘土(φ1~3mm)微量,炭化粉(φ1~8mm)微量
第77層	10R4/4	褐色土	ローム状(φ1~5mm)微量,粘土(φ2mm)微量,炭化粉(φ1~2mm)微量
第78層	10R4/4	褐色土	ローム状(φ1~5mm)少量,パリス灰(φ2mm)微量,炭化粉(φ1~2mm)微量
第79層	10R6/5	黄褐色土	ローム層
第80層	10R4/4	にじみ・黄褐色土	ローム状(φ2~5mm)微量,パリス灰(φ1~2mm)微量,炭化粉(φ1mm)微量
第81層	10R4/4	褐色土	ローム状(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)中量,粘土(φ20~30mm)少量

SK-41

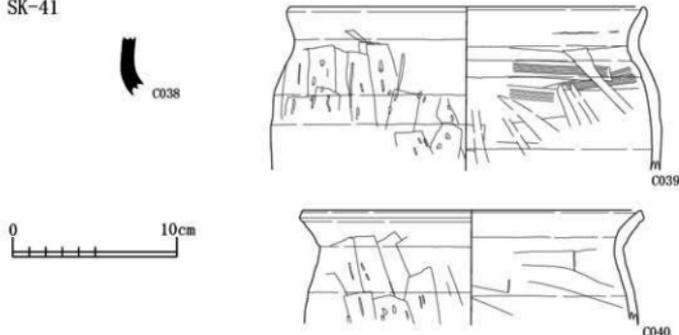
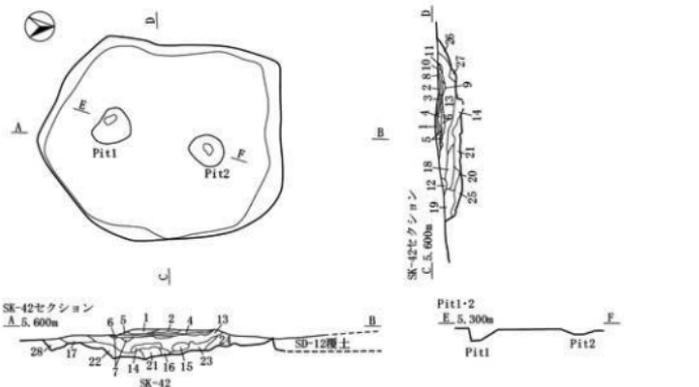


図 1-107 C-1区 SK-11

## SK-42



- SK-42
- 第1層 7.07R5/4 に近い褐色土 焼土層,炭化物群法に少量  
 第2層 10YR2/2 黒褐色土 焼土粒(φ1~3mm)中量,炭化粒(φ5~15mm)少量  
 第3層 10YR5/4 に近い黄褐色土 焼土層,炭化粒(φ1~5mm)少量  
 第4層 10YR2/2 黒褐色土 焼土粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量  
 第5層 7.5YR5/4 に近い褐色土 焼土層,炭化粒(φ5mm)少量  
 第6層 10YR1/7/1 黒色土 炭化物層  
 第7層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ5~9mm)微量  
 第8層 10YR3/2 黒褐色土 焼土粒+ブロック(φ1~15mm)中量,炭化粒(φ3mm)微量  
 第9層 10YR5/4 に近い黄褐色土 焼土層,炭化粒(φ5mm)少量  
 第10層 10YR2/2 黒褐色土 焼土ブロック(φ30mm)少量,炭化粒(φ5mm)微量  
 第11層 10YR1/7/1 黒色土 炭化物層  
 第12層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒+ブロック(φ1~30mm)中量  
 第13層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ30mm)微量  
 第14層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)少量,パミスブロック(φ10mm)微量  
 第15層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10mm)微量  
 第16層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)少量  
 第17層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~20mm)少量  
 第18層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第19層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15mm)微量,パミス粒(φ3~5mm)微量  
 第20層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ3~5mm)微量  
 第21層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第22層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)多量,ロームブロック(φ10~40mm)中量,パミス粒(φ1~9mm)微量  
 第23層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~50mm)中量,パミス粒(φ5mm)少量,炭化粒(φ5mm)微量  
 第24層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)中量,パミス粒(φ3~5mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量  
 第25層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~25mm)少量,パミス粒(φ1~5mm)少量  
 第26層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~15mm)微量  
 第27層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
 第28層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ40mm)微量,パミス粒(φ5~9mm)少量,炭化物(φ10mm)微量

図 1-108 C-1 区 SK-12

## SK-43 (図 1-109)

調査区東側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $285.0 \times 193.0 \times 35.0$  cm を測る。前述の SK-42 と同様、底面から浅いピットを 4 基検出したが、建物として機能するには掘り込みが不十分である。堆積土は 17 層に分層し、SK-42 と同様、上面の第 1~3 層が焼土層に相当し、埋土上面で焼成が伴っている。

## SK-44 (図 1-109)

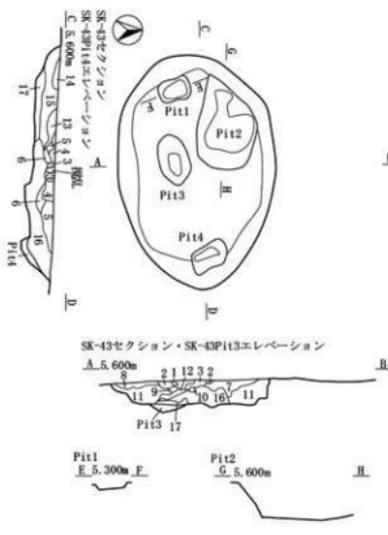
調査区南側で検出した。SK-45 と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形を呈し、

$157.0 \times 143.0 \times 114.0$  cm を測る。断面形は袋状を呈し、フラスコ状土坑である。底面の規模は  $178.0 \times 158.0$  cm を測る。堆積土は 15 層に分層し、壁崩落の伴う自然堆積状況を呈する。第 5 層および覆土中から C041 に図示した縄文土器の体部片と覆土から C042 に図示した縦型石匙の破片が出土している。

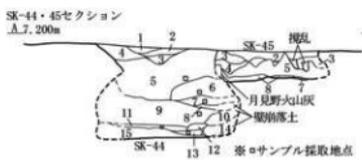
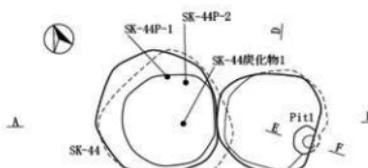
## SK-45 (図 1-109)

調査区南側で検出した。SK-44 と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形を呈し、 $135.0 \times 126.0 \times 37.0$  cm を測る。

SK-43



SK-44-45



SK-45セクション C.7.200m

SK-44Pit11 E.7.100m



- |       |                 |   |
|-------|-----------------|---|
| SK-43 | 7.5YR5/9 明褐色土   | 黄土層   |
| 第1層   | 10YR3/4 暗褐色土    | 黄土土塊(φ1~5cm)中量, 黄土ブロック(φ1.5cm)散量, 炭化粒(φ1~5mm)散量                     |
| 第2層   | 7.5YR5/9 明褐色土   | 黄土層   |
| 第3層   | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5cm)中量  |
| 第4層   | 10YR3/1 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)散量, パミス粒(φ3~5mm)散量                                      |
| 第5層   | 10YR3/3 暗褐色土    | 黄土土塊(φ1~5mm)中量, ローム泥(φ1~5mm)散量, パミス粒(φ3~5mm)散量                      |
| 第6層   | 10YR3/3 暗褐色土    | 黄土土塊(φ1~5mm)散量, パミス粒(φ1~5mm)散量, 黄土土塊(φ5mm)極微量                       |
| 第7層   | 10YR3/2 黒褐色土    | ローム泥(φ1~3mm)少量, パミス粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)少量                       |
| 第8層   | 10YR2/1 黒色土     | ローム泥(φ1~5mm)散量  |
| 第9層   | 10YR2/1 黒色土     | ローム泥(φ1mm)散量, 炭化粒(φ1~2mm)少量   |
| 第10層  | 10YR3/4 暗褐色土    | ローム泥(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)少量, パミス粒(φ1~5mm)少量                 |
| 第11層  | 10YR4/4 褐色土     | ローム泥(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ5mm)散量, 炭化粒(φ5mm)散量                           |
| 第12層  | 10YR3/1 暗褐色土    | ローム泥(φ1~9mm)散量  |
| 第13層  | 10YR3/2 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ3~9mm)散量                                      |
| 第14層  | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ3~9mm)散量                                      |
| 第15層  | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~9mm)少量, パミス粒(φ1~9mm)中量                                      |
| 第16層  | 10YR2/2 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~100mm)中量, パミス粒(φ5mm)散量                  |
| 第17層  | 10YR4/6 褐色土     | ロームブロック(φ10~100mm)とパミス粒・ブロック(φ5~15mm)混入                             |
| SK-44 | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~2mm)少量, パミス粒(φ3~5mm)散量                                      |
| 第1層   | 10YR3/1 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量  |
| 第2層   | 10YR3/2 暗褐色土    | ローム泥(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ15mm)散量, 炭化粒(φ3mm)散量                       |
| 第3層   | 10YR4/4 褐色土     | ローム泥(φ1~7mm)少量, 炭化粒(φ2mm)散量   |
| 第4層   | 10YR4/4 褐色土     | ローム泥(φ1~9mm)中量, ロームブロック(φ10~20mm)少量, パミス粒(φ3~9mm)散量, 炭化粒(φ5~9mm)散量  |
| 第5層   | 10YR4/6 褐色土     | ローム泥(φ1~5mm)中量, ロームブロック(φ10~15mm)少量, パミス粒(φ3~5mm)散量, 炭化粒(φ10mm)散量   |
| 第6層   | 10YR4/6 褐色土     | ローム泥(φ1~5mm)少量, パミス粒・ブロック(φ5~25mm)少量, 炭化粒(φ15mm)散量                  |
| 第7層   | 10YR4/6 褐色土     | ローム泥(φ1~7mm)少量, 炭化粒(φ2mm)散量   |
| 第8層   | 10YR5/6 黄褐色土    | ロームブロック(φ10~80mm)中量, パミスブロック(φ10~15mm)散量                            |
| 第9層   | 10YR4/3 に近い黄褐色土 | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~30mm)散量, パミス粒(φ3~9mm)少量                 |
| 第10層  | 10YR3/4 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ3~15mm)少量, 炭化粒・炭化物(φ3~15mm)少量                 |
| 第11層  | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~30mm)少量, ロームブロック(φ10~30mm)少量, パミス粒(φ5~9mm)散量, 炭化粒(φ5~9mm)散量 |
| 第12層  | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥・ブロック(φ1~30mm)少量, パミス粒(φ3~5mm)散量, 炭化粒(φ3~9mm)散量                 |
| 第13層  | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~9mm)少量                                       |
| 第14層  | 10YR4/6 褐色土     | ローム泥  |
| 第15層  | 10YR5/6 黄褐色土    | ロームブロック(φ10~30mm)中量, 炭化物(φ10mm)散量                                   |
| SK-45 | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ3~8mm)中量, パミス粒(φ3~5mm)少量                                      |
| 第1層   | 10YR3/4 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~70mm)中量, パミス粒(φ3~9mm)少量, 炭化粒(φ3mm)散量    |
| 第2層   | 10YR4/6 褐色土     | ローム泥・ブロック(φ1~40mm)中量, パミス粒・ブロック(φ5~30mm)少量                          |
| 第3層   | 10YR2/4 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ15~20mm)散量                                 |
| 第4層   | 10YR3/4 暗褐色土    | ローム泥  |
| 第5層   | 10YR5/6 黄褐色土    | ローム泥  |
| 第6層   | 10YR3/4 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ40~50mm)少量                                 |
| 第7層   | 10YR2/2 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量  |
| 第8層   | 10YR3/3 暗褐色土    | ローム泥(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ40~70mm)中量                                 |
| 第9層   | 10YR4/3 に近い黄褐色土 | ローム泥・ブロック(φ1~30mm)少量  |

SK-44

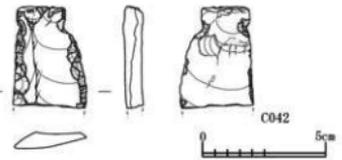
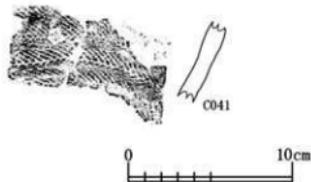


図1-109 C-1区 SK-13

N-1  
C-1区

断面形の一部は袋状を呈し、底面は130.0×123.0cmを測る。また、底面からピット1基を検出した。規模は32.0×30.0×23.0cmを測る。堆積土は9層に分層し、ブロック混じりの急激な埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

#### SK-47 (図1-102)

調査区中央寄りやや北東側から検出した。SK-33と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整小判形を呈し、255.0×155.0×71.0cmを測る。断面形は段状に立ち上がり、壁も上部で一部角度を変え、開き気味に立ち上がる箇所が見られる。堆積土は12層に分層し、流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。

#### SK-48 (図1-110)

調査区中央よりやや南西側で検出した。第4層が炭化物包含層で、SK-30同様焼成が関連した可能性がある。ただし、炭化物が堆積する第4層を切る形で掘り込みが行われており、その掘り込み部分にはバミスブロックが比較的多く含む土が堆積しており、再掘削及び埋め戻しが伴っている土坑である。検出部分の形状は不整長楕円形を呈し、257.0×143.0×13.0cmを測る。他の類似した土坑同様底面からピットとした深い穴を検出しているが、本遺構の穴については掘削痕である可能性がある。堆積土は9層に分層したが、焼成に関連した土層は第4層のみである。

#### SK-49 (図1-110)

調査区北側で検出した。北側が調査区外に延びているため約半分の検出であるが、SK-50とSTPa-06と重複しており、いずれの遺構より本遺構が新しい。検出部分の形状は(不整形)を呈し、220.0×(70.0)×50.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がり、壁上部で角度を変えている。堆積土は8層に分層し、上面はブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。

#### SK-50 (図1-110)

調査区北側で検出した。SK-49とSD-12と重複しており、SK-49より古い。SD-12との関係は記録されたセクション図上ではSD-12の土層が分層されておらず、新旧関係上ではSK-50の方が新しい取り扱いになるが、記録写真を確認したところ、セクション図上のSK-50第5層上面にある第2層の部分がSD-12からのびる土層と同質の土が堆積している。SD-12の方が新しい可能性が高い。SK-49に切られてい

るのと北側が調査区外に延びているため、全容は不明であるが、平面形は(小判形)を呈しており、(150.0)×(60.0)×36.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は5層に分層し、崩落土混じりの自然堆積状況を呈する。

#### SK-51 (図1-111)

調査区南側から検出した。SP-41と重複しており、本遺構の方が古い。なお、本遺構扱いでPit1と記録されている穴が底面から検出しているが、SP-41と同一地点に相当し、上面の調査後の重複調査である可能性がある。平面形は不整形を呈し、202.0×138.0×47.0cmを測る。断面形は凹凸が顕著で開き気味に立ち上がる部分と段状にやや角度が急な形で立ち上がる箇所が見られる。堆積土は7層に分層し、流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。

#### SK-53 (図1-111)

調査区北側から検出した。平面形は不整楕円形を呈し、259.0×188.0×26.0cmを測る。断面形は凹凸があり、木根の一部が残存しており、底面の一部は根による影響が生じている。堆積土は9層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

#### SK-54 (図1-111)

調査区北東側から検出した。平面形は不整楕円形を呈し、275.0×216.0×30.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる。また、ピット状の落ち込みがあり、根が一部残存している。堆積土は15層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

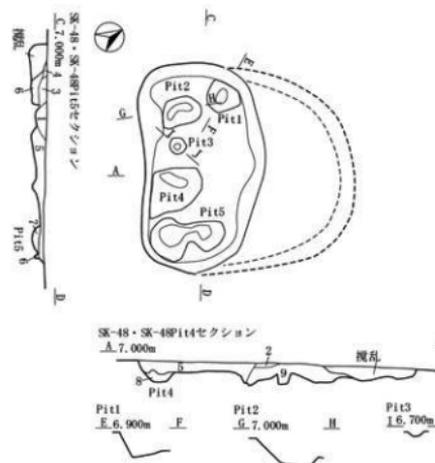
#### SK-62 (図1-111)

調査区北東側から検出した。平面形は不整楕円形で、238.0×220.0×26.0cmを測る。東側の一部が木根の影響により沈下した部分が見られ、一部木根が残存している。堆積土は15層に分層し、炭化物が混入する埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。覆土中から縄文時代前期末の口縁部片が出土しているが、摩滅が顕著で拘れ込みの可能性が高い。

#### SK-63 (図1-112)

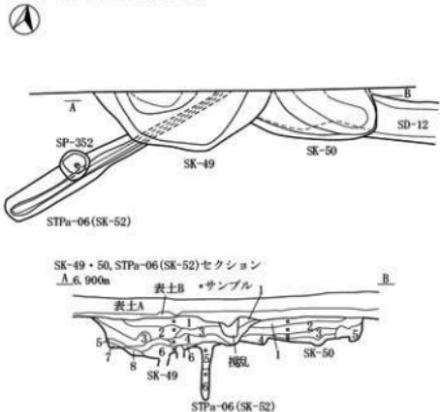
調査区北東側から検出した。SP-434と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整楕円形で、283.0×250.0×28.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は緩やかに開き気味に立ち

SK-48



- |       |       |         |      |  |
|-------|-------|---------|------|--|
| SK-48 | 第1層   | 10YK3/3 | 暗褐色土 | ローム配(φ1~9cm)少量、<br>ロームブロック(φ10cm)微量、<br>パミス配(φ6cm)微量、<br>焼土配(φ1~3cm)微量、<br>炭化配(φ1~3cm)微量 |
|       | 第2層   | 10YR2/3 | 黒褐色土 | ローム配(φ1~2cm)少量、<br>ロームブロック(φ10~12cm)微量、<br>パミス配(φ2~5cm)微量、<br>炭化配(φ2~3cm)微量              |
|       | 第3層   | 10YR2/2 | 黒褐色土 | ローム配(φ1~9cm)少量、ローム<br>ブロック(φ10~20cm)少量、<br>パミスブロック(φ20cm)微量、<br>炭化配(φ2~3cm)少量            |
|       | 第4層   | 10YR2/1 | 黒色土  | ローム配(φ1~2cm)微量、炭化配<br>(φ2cm)微量   |
|       | 第5層   | 10YK3/4 | 暗褐色土 | ローム配・ブロック<br>(φ1~30cm)中量、<br>パミスブロック(φ10cm)微量、<br>焼土配(φ3~9cm)微量、炭化配<br>(φ1~7cm)少量        |
|       | 第6層   | 10YR4/4 | 褐色土  | ローム配(φ1~5cm)少量、<br>ロームブロック(φ10cm)微量、<br>炭化配(φ1cm)微量                                      |
|       | 第9層   | 10YR4/4 | 褐色土  | ローム配(φ1~3cm)中量、<br>ロームブロック(φ10~25cm)少量、<br>パミス配(φ5~9cm)少量、<br>炭化配(φ1~3cm)微量              |
|       | Pit14 | 10YR4/4 | 褐色土  | ローム配(φ1~9cm)中量、<br>ロームブロック(φ10~60cm)多量   |
|       | Pit15 | 10YK3/4 | 暗褐色土 | ローム配(φ1~8cm)中量、<br>ロームブロック(φ20~50cm)中量   |

SK-49・50・STPa-06 (SK-52)



- |       |     |           |      |   |
|-------|-----|-----------|------|---|
| SK-49 | 第1層 | 10YK3/4   | 暗褐色土 | ローム配(φ1~9cm)多量、<br>ロームブロック(φ10~50cm)中量、<br>10YK2/1黒色土(φ10~40cm)中量 |
|       | 第2層 | 10YK3/2   | 黒褐色土 | ローム配・ブロック(φ1~50cm)少量、<br>10YK2/1黒色土(φ30~50cm)中量                   |
|       | 第3層 | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム配(φ1~9cm)微量、<br>ロームブロック(φ10~20cm)少量                            |
|       | 第4層 | 10YK2/1   | 黒色土  | ローム配・ブロック(φ1~20cm)微量  |
|       | 第5層 | 10YK3/1   | 黒褐色土 | ローム配(φ1~5cm)少量、ロームブロック<br>(φ10~15cm)少量                            |
|       | 第6層 | 10YK3/1   | 黒褐色土 | ローム配(φ1~9cm)少量、<br>ロームブロック(φ15~40cm)中量                            |
|       | 第7層 | 10YK5/6   | 黄褐色土 | ローム層(崩落土)   |
|       | 第9層 | 10YK3/3   | 暗褐色土 | ローム配(φ1~9cm)多量  |
| SK-50 | 第1層 | 10YR1.7/1 | 黒色土  | ローム配(φ1~5cm)微量  |
|       | 第2層 | 10YK2/1   | 黒色土  | ローム配(φ1~5cm)少量  |
|       | 第3層 | 10YK3/3   | 暗褐色土 | ローム配(φ1~9cm)中量、<br>ロームブロック(φ10~30cm)少量                            |
|       | 第4層 | 10YK3/3   | 暗褐色土 | ロームブロック(φ10~50cm)多量   |
|       | 第5層 | 10YR4/4   | 褐色土  | ローム配(φ1~9cm)少量、<br>ロームブロック(φ10~60cm)多量<br>(崩落土)                   |

図1-110 C-1区 SK-14

上がる。焼土や炭化物の検出はほとんど認められないが、他の類似する土坑と同様に底部の一部に木根が残存している。

SK-64 (図1-112)

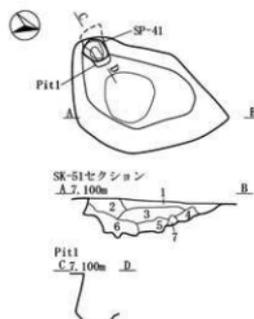
調査区北東側から検出した。SP-425・438と重複しており、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、260.0×250.0×53.0cmを測る。断面形は凹凸があり、垂直に近い形で立ち上がり、壁上部の一部で開き気味に立ち上がる箇

所が見られる。堆積土はブロック中心の埋め戻しに伴う堆積で、底面に木根の一部が残存している。他の類似する遺構と同様の様相である。

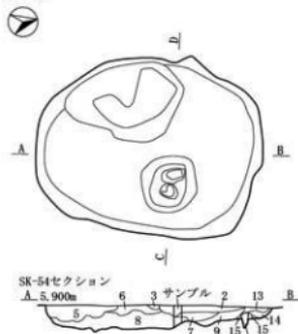
SK-65 (図1-112)

調査区北東側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、278.0×273.0×40.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は段状に立ち上がる。底面から木根を検出している。他の遺構と同様である。覆土中から近代の陶器が出土した。

SK-51



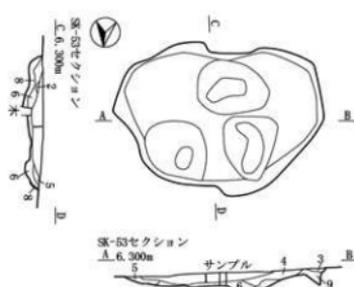
SK-54



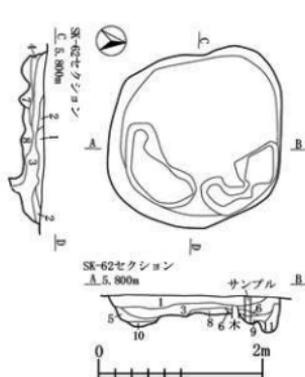
- SK-51  
 第1層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)散見,バミス粒(φ5mm)散見,炭化粒(φ1~5mm)散見  
 第2層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ5mm)散見  
 第3層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)散見,ロームブロック(φ10~15mm)散見  
 第4層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第5層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)少量  
 第6層 10YK4/3 にごり黄褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~20mm)少量  
 第7層 10YK4/4 褐色土 ローム粒(φ1~7mm)中量,バミス粒(φ15mm)散見  
 SK-53  
 第1層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~25mm)中量,バミス粒(φ5~9mm)散見,炭化粒(φ1~3mm)散見  
 第2層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1mm)散見  
 第3層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第4層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)中量  
 第5層 10YK4/4 褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)中量,バミス粒(φ5mm)散見  
 第6層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~50mm)少量,バミス粒(φ5~9mm)少量  
 第7層 10YK5/6 黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~50mm)少量,バミス粒(φ5~9mm)少量  
 第8層 10YK5/8 黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)散見  
 第9層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)散見  
 第10層 10YK5/6 黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)散見  
 第11層 10YK4/4 褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10mm)少量

- SK-62  
 第1層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)中量,バミス粒(φ5~9mm)散見,炭化粒(φ1~3mm)散見  
 第2層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)散見,ロームブロック(φ10~30mm)少量,バミス粒(φ5mm)散見  
 第3層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~50mm)少量,バミス粒(φ5~9mm)散見  
 第4層 10YK2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)散見  
 第5層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)中量  
 第6層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ5mm)散見  
 第7層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)散見  
 第8層 10YK5/6 黄褐色土 バミス粒(φ3~9mm)少量  
 第9層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~10mm)少量  
 第10層 10YK5/6 黄褐色土 ローム層(暗褐色土)  
 第11層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~70mm)中量,バミス粒(φ10mm)散見

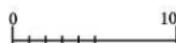
SK-53



SK-62



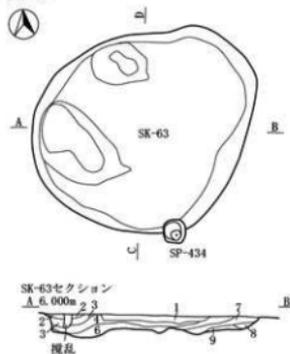
SK-62



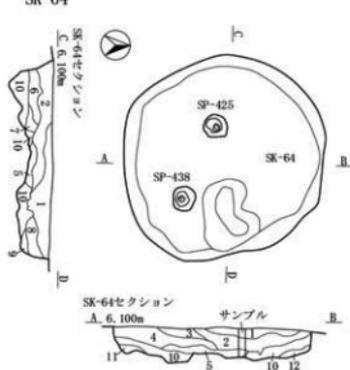
- SK-62  
 第1層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量,炭化物(φ10mm)散見  
 第2層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~40mm)中量  
 第3層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~50mm)中量,炭化粒(φ5mm)散見  
 第4層 10YK2/1 黒色土 ローム粒(φ2~5mm)散見,炭化粒(φ5mm)散見,バミス粒(φ1~2mm)散見,ロームブロック(φ10mm)散見,バミス粒(φ1~3mm)散見  
 第5層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~50mm)中量,炭化粒(φ5mm)散見,バミス粒(φ1~2mm)散見,ロームブロック(φ10mm)散見  
 第6層 10YK2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)散見,炭化粒(φ5mm)散見,バミス粒(φ1~2mm)散見,ロームブロック(φ10mm)散見  
 第7層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)少量,バミス粒(φ5~9mm)散見  
 第8層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~50mm)少量  
 第9層 10YK2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~25mm)少量,バミス粒(φ5mm)散見,炭化粒(φ20mm)散見  
 第10層 10YK5/8 黄褐色土 ローム層  
 第11層 10YK2/2 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~50mm)中量  
 第12層 10YK2/2 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ20~50mm)中量  
 第13層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ3~5mm)散見  
 第14層 10YK2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)散見  
 第15層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,バミス粒(φ1~2mm)少量

図 1-111 C-1区 SK-15

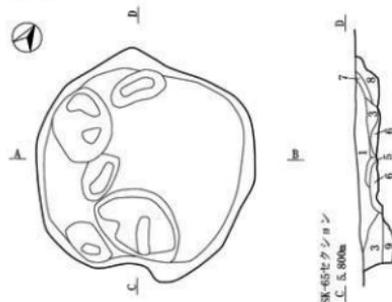
SK-63



SK-64



SK-65



- |       |      |           |      |   |
|-------|------|-----------|------|---|
| SK-63 | 第1層  | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量、パミス粒(φ5mm)微量、炭化粒(φ5~9mm)微量   |
|       | 第2層  | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム粒(φ1~5mm)少量                                    |
|       | 第3層  | 10YR3/2   | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~5mm)多量、ロームブロック(φ10~30mm)少量、パミス(φ5mm)微量    |
|       | 第4層  | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム粒(φ1~5mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)微量                |
|       | 第5層  | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)多量                |
|       | 第6層  | 10YR4/4   | 褐色土  | ローム粒・ブロック(φ1~40mm)多量、パミス粒・ブロック(φ1~15mm)微量         |
|       | 第7層  | 10YR2/2   | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)中量、パミス粒(φ5mm)微量   |
|       | 第8層  | 10YR4/4   | 褐色土  | ローム粒(φ1~5mm)微量、パミス粒(φ1~5mm)微量                     |
|       | 第9層  | 10YR5/8   | 黄褐色土 | ローム層  |
|       | 第10層 | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~25mm)少量、パミス粒(φ5~9mm)微量 |
|       | 第11層 | 10YR4/4   | 褐色土  | ローム層、ローム粒(φ1~9mm)多量、ロームブロック(φ10~20mm)中量           |
|       | 第12層 | 10YR2/1   | 黒色土  | ローム層、ロームブロック(φ15~20mm)多量                          |
|       | 第13層 | 10YR4/4   | 褐色土  | ローム粒(φ1~5mm)中量、パミス粒(φ5mm)微量                       |
|       | 第14層 | 10YR1.7/1 | 黒色土  | ロームブロック(φ15mm)微量                                  |
|       | 第15層 | 10YR5/6   | 黄褐色土 | ローム層(崩落土)   |
| SK-64 | 第1層  | 10YR3/2   | 黒褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ15~60mm)少量                |
|       | 第2層  | 10YR3/2   | 黒褐色土 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量、ロームブロック(φ10~15mm)微量          |
|       | 第3層  | 10YR2/2   | 黒褐色土 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量                              |
|       | 第4層  | 10YR3/2   | 黒褐色土 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量                              |
|       | 第5層  | 10YR3/1   | 黒褐色土 | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量                              |
|       | 第6層  | 10YR3/4   | 暗褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~50mm)中量                |
|       | 第7層  | 10YR3/4   | 暗褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)中量、ロームブロック(φ10~30mm)微量、パミス粒(φ1~3mm)微量 |
|       | 第8層  | 10YR3/3   | 暗褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~20mm)微量、パミス粒(φ1~5mm)少量 |
|       | 第9層  | 10YR3/3   | 暗褐色土 | ローム層、ロームブロック(φ10~70mm)多量                          |
|       | 第10層 | 10YR2/2   | 暗褐色土 | ローム粒(φ1~9mm)少量、ロームブロック(φ10~15mm)少量、パミス粒(φ5mm)微量   |

SK-65



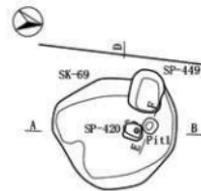
図 1-112 C-1 区 SK-16

## SK-68

SK-68セクション  
A. 6.600m

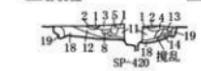
SK-68	10FR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~15mm)微量, パミス粒(φ3mm)微量
第1層	10FR1/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~15mm)少量
第2層	10FR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~9mm)多量, ロームブロック(φ10~40mm)中量, パミス粒(φ5~9mm)微量
第3層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量, パミス粒(φ3mm)微量
第4層	10FR5/6	黄褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~40mm)少量
第5層	10FR5/6	黄褐色土	ローム粒, ローム粒(φ1~9mm)中量, ロームブロック(φ10~50mm)多量, パミス粒(φ3~5mm)微量, 黒褐色土(φ5~40mm)少量
第7層	10FR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量, ロームブロック(φ10~50mm)少量
第8層	10FR4/4	褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~9mm)多量, ロームブロック(φ10~50mm)少量, パミス粒(φ5mm)微量
第9層	10FR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
第10層	10FR4/4	褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量
第11層	10FR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第12層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量, ロームブロック(φ10~60mm)多量
第13層	10FR4/6	褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量, ロームブロック(φ10~40mm)中量, パミス粒(φ1~5mm)少量
第14層	10FR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1~5mm)少量
第15層	10FR1/1	黒色土	ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量
第16層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量, ロームブロック(φ10~40mm)中量

## SK-69



## SK-69セクション

A. 6.600m



SK-69	10FR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量, パミス粒(φ5mm)微量
第1層	10FR4/4	ぶい黄褐色土	B-Tach山灰層
第2層	10FR1/7/1	黒色土	B-Tach山灰層
第3層	10FR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第4層	10FR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~4mm)微量
第5層	10FR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第6層	10FR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第7層	10FR5/4	ぶい黄褐色土	B-Tach山灰層
第8層	10FR1/7/1	黒色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第9層	10FR3/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)微量, パミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化物(φ15mm)微量
第10層	10FR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1mm)微量, 炭化物(φ3~5mm)微量
第11層	10FR2/1	黒色土	B-Tach山灰層, ローム粒(φ1~4mm)微量
第12層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10mm)少量
第13層	10FR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第14層	10FR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第15層	10FR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量, パミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化物(φ10~15mm)微量
第16層	10FR2/1	黒色土	ローム粒(φ1~4mm)微量
第17層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~40mm)少量, パミス粒(φ1~3mm)微量
第18層	10FR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第19層	10FR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
第20層	10FR3/4	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量, ロームブロック(φ15mm)微量
Pit1	10FR4/6	褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1~4mm)少量

図1-113 C-1区SK-17

## SK-68 (図1-113)

X=91941.000, Y=11405.000付近の調査区北端から検出した。壁面のセクション図のみの記録で、記録写真を確認すると不整形な土坑である。一部調査区外へ延びており142.0×(131.0)×56.0cmを測る。断面形は凹凸があり、段状に立ち上がる。堆積土は16層に分層し、ブロック混じりの人為的堆積状況を示している。

## SK-69 (図1-113)

調査区北側から検出した。SP-420・449と重複しており、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、148.0×135.0×22.0cmを測る。断面形は若干凹凸があり、壁の一部段を持ちながら垂直に近い形で立ち上がる部分が多い。底面から小ピットを1基検出し、19.0×18.0×16.0cmを測る。堆積土は20層に分層し、流れ込みを含む自然堆積状況を示す。B-Tm火山

灰を検出しているが、第12層は雨水等による流れ込みに伴う堆積を呈しており、上面の土に堆積する火山灰は堆積後の再堆積等に伴う混入である。

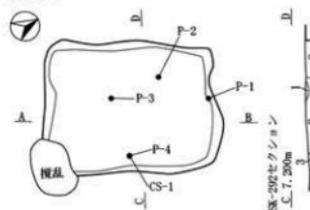
## SK-292 (図1-114)

調査区西側で検出した。平面形は不整形長方形を呈し、221.0×162.0×17.0cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に近い形で立ち上がっている。堆積土は7層に分層し、全般的に埋戻し等に伴う人為的堆積状況を示す。出土遺物は砕片のため図示していないが、土器器口ロクロ小甕の口縁部片1点と、非ロクロ小甕の口縁部片、体部片2点などが出土している。

## SK-293 (図1-114)

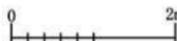
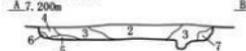
調査区西側で検出した。平面形は不整形長方形を呈し、154.0×122.0×33.0cmを測る。断面形は底面中央がやや盛り上がった形状で、両端

## SK-292

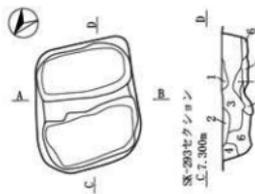


層	土質	特徴
第1層	10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR3/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ20~100mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)微量,炭化物(φ40mm)少量
第3層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第4層	10YR4/4 褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第5層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~5mm)多量
第6層	10YR5/6 黄褐色土	褐色土(10YR4/4)少量,ローム層
第7層	10YR5/6 黄褐色土	炭化粒(φ1~2mm)微量,暗褐色土(10YR3/3)中量,ローム層

## SK-292セクション



## SK-293



層	土質	特徴
第1層	10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第2層	10YR2/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ15mm)微量,炭化粒(φ1~7mm)微量
第3層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)中量,パミスブロック(φ10~60mm)中量,炭化粒(φ1~9mm)微量
第4層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~35mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)微量
第5層	10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)中量,パミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第6層	10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~40mm)中量,炭化粒(φ1~9mm)微量
第7層	10YR5/6 黄褐色土	パミスブロック層
第8層	10YR4/4 褐色土	パミス粒(φ1~7mm)少量,パミスブロック(φ20~70mm)多量

## SK-293セクション

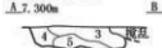


図 1-114 C-1区 SK-18

が若干凹んだ形状である。堆積土は8層に分層し、ブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。

## SK-294・297・298 (図1-115・116)

調査区西側で検出した。3基重複関係にあり、記述に際して一括して提示することとした。新旧関係はSK-297>SK-294>SK-298の関係である。最も新しいSK-297は平面形が不整形長方形を呈し、170.0×112.0×21.0cmを測る。断面形は一部凹凸があり、壁は緩やかに立ち上がる部分と垂直に近い形で立ち上がる部分が見られる。第3層中からC048で図示した須恵器製の体部片が出土しているが、同一個体の破片が重複するSK-294第7層中から出土しているため、二次的な要因が強い。

SK-294は平面形が隅丸長方形を呈し、205.0×140.0×73.0cmを測る。断面形は袋状を呈し、底面は206.0×183.0cmを測る。堆積土は35層に分層し、底面直上に近い第29層からB-Tm火山灰を粒状に検出している。また、中位では炭化物や焼土層を検出しており、焼成の可能性がある。また埋め戻しと考えられる土層中にもブロックなども認められ、廃棄も伴った可

能性が高い。覆土中から前述のSK-297出土資料と類似した須恵器破片や土師器煮炊具、土製支脚の破片が出土している。

SK-298はいずれの遺構からも切られた土坑で、平面形は不整形円形を呈し、168.0×(148.0)×56.0cmを測る。断面形は底面が傾斜があり、壁は袋状を呈し、所謂プラスチック状土坑で、底面は156.0×(154.0)cmを測る。B-Tm火山灰が最上位の第1層中から検出しており、SK-294・297の掘削の影響で混入した可能性が高いが、上限についての根拠資料が少なく縄文時代まで測る資料であるかどうかは不明である。

## 3. 溝状土坑(Tピット)

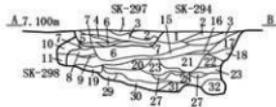
## STPa-06 (SK-52) (図1-117)

調査区北側で検出した。SK-49・SP-352と重複しており、本遺構の方が古い。北側が調査区外に延びているのと、SK-49との重複によって欠損している状態で、残存部の規模は338.0×38.0×82.0cmを測る。断面形は底面が溝状で直線的に立ち上がり、壁中半でやや開き気味に角度を変え立ち上がっている。一部崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

SK-294・297・298



SK-294・297・298セクション

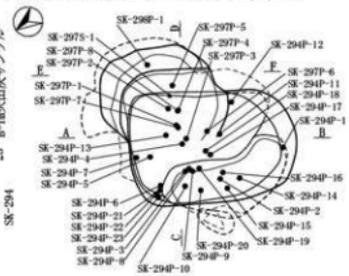


SK-298セクション

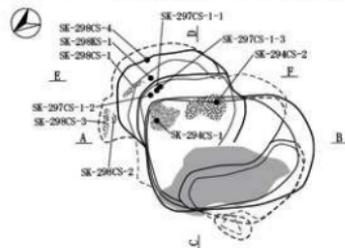


0 2m

SK-294・297・298土器・石器出土位置図



SK-294・297・298焼土・炭・粘土範囲・炭サンプル・B-Tm火山灰サンプル出土位置図



SK-294

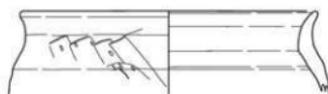
- |      |                              |   |
|------|------------------------------|---|
| 第1層  | 10YR3/3 暗褐色土                 | バミス粒(φ1~5mm)多量,バミスブロック(φ10~40mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量                   |
| 第2層  | 10YR3/4 暗褐色土                 | バミス粒(φ1~7mm)多量,バミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1mm)極微量                     |
| 第3層  | 10YR3/4 暗褐色土                 | バミス粒(φ1~7mm)多量,バミスブロック(φ10~30mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量                                 |
| 第4層  | 10YR3/2 黒褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~1.5mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量               |
| 第5層  | 10YR1/7 黄色土                  | 黒褐色土(10YR3/2)少量,炭化粒極  |
| 第6層  | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量,バミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~1.5mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)微量                 |
| 第7層  | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~9mm)微量,粘土粒(φ1~5mm)微量          |
| 第8層  | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)中量,バミス粒(φ1~2mm)微量   |
| 第9層  | 10YR2/3 黒褐色土                 | ロームブロック(φ10~20mm)微量,バミス粒(φ1~2mm)極微量   |
| 第10層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | 7.YR5/6明褐色焼土の混入土  |
| 第11層 | 5YR4/6 赤褐色土                  | 7.YR5/6明褐色焼土の混入土  |
| 第12層 | 7.5YR5/6明褐色土と7.5YR1/3褐色土の混合土 | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,バミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)極微量,粘土粒(φ1~5mm)極微量                 |
| 第13層 | 5YR4/4 濃い赤褐色土                | ローム粒(φ1~3mm)微量,バミス粒(φ1~3mm)極微量  |
| 第14層 | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~15mm)少量,バミス粒(φ1~2mm)極微量  |
| 第15層 | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~40mm)中量,バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)少量                   |
| 第16層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量,バミス粒(φ1~2mm)少量   |
| 第17層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)多量,バミス粒(φ1~5mm)中量,バミスブロック(φ10~20mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)少量            |
| 第18層 | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)中量  |
| 第19層 | 10YR2/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量  |
| 第20層 | 10YR3/3暗褐色土と7.5YR5/6黄褐色土の混合土 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量,バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量                 |
| 第21層 | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~50mm)多量,バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,粘土粒(φ10~20mm)少量 |
| 第22層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~50mm)多量,バミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量                 |
| 第23層 | 10YR3/1 黒褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~40mm)多量,バミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~7mm)極微量,焼土粒(φ1~9mm)極微量,粘土粒(φ1~5mm)少量   |
| 第24層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~2mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)極微量,バミス粒(φ1~15mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量               |
| 第25層 | 10YR3/3 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ20~50mm)中量,バミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量                  |
| 第26層 | 10YR3/1 黒褐色土                 | ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ20~50mm)微量,バミス粒(φ1~2mm)極微量                                |
| 第27層 | 10Y5/6 黄褐色土                  | ローム粒(φ1~5mm)少量,バミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,暗褐色土(10YR3/3)少量                      |
| 第28層 | 10YR5/8 明黄褐色土                | バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)極微量,粘土粒(φ1~3mm)極微量,暗褐色土(10YR3/3)少量                      |
| 第29層 | 10YR2/2 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~2mm)微量,バミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量                                       |
| 第30層 | 10YR3/1 黒褐色土                 | ローム粒(φ1~9mm)少量,バミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)極微量                       |
| 第31層 | 10YR3/1 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ15~30mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量                                 |
| 第32層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~30mm)中量,バミス粒(φ1~3mm)微量,粘土粒(φ10~15mm)極微量                              |
| 第33層 | 10YR3/1 暗褐色土                 | ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ30~80mm)少量,バミス粒(φ1~3mm)極微量                                |
| 第34層 | 10YR3/2 暗褐色土                 | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)中量,バミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,粘土粒(φ1~5mm)少量   |
| 第35層 | 10YR5/8 明黄褐色土                | ローム層  |

図 1-115 C-1区 SK-19

SK-297			
第1層	10YR2/1	黒色土	パミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1mm)極微量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ20mm)極微量,パミス粒(φ2~4mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~4mm)微量,ロームブロック(φ10~15mm)極微量,パミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
第4層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)極微量,パミス粒(φ1~2mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~4mm)少量,パミスブロック(φ30mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)微量,焼土粒(φ2~4mm)微量
第6層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第7層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量

SK-298			
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量,8-7m火山灰極微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
第3層	10YR5/6	黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化物(φ10~90mm)微量,黒褐色土(10YR3/2)少量,ローム層
第4層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量,粘土ブロック(φ15~70mm)微量(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)極微量,炭化物(φ15~20mm)極微量
第5層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化物(φ10~15mm)極微量,粘土ブロック(φ15~20mm)極微量,焼土土(10YR4/4)少量,ローム層
第7層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~70mm)中量,パミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量,粘土ブロック(φ10~20mm)微量
第9層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~50mm)多量,パミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量,粘土粒・ブロック(φ5~80mm)多量
第9層	10YR3/1	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ30~40mm)微量,パミス粒(φ1~2mm)微量
第10層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~30mm)少量,パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)微量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	ローム・ブロック(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ20~100mm)微量,パミス粒(φ1~3mm)微量

SK-294



C045



C046



C047

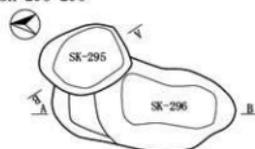
SK-297



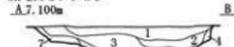
C048



SK-295・296



SK-296セクション



SK-295セクション



SK-295			
第1層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~30mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)極微量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~40mm)少量
第3層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)多量,パミスブロック(φ10~70mm)中量
SK-296			
第1層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~7mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~4mm)極微量
第4層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量
第5層	10YR2/1	黒色土	パミス粒(φ1~4mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第6層	10YR3/2	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~40mm)少量
第7層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~40mm)微量
第8層	10YR3/4	暗褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)微量

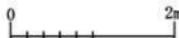


図 1-116 C-1 区 SK-20

STPa-06(SK-52)・SK-49・50

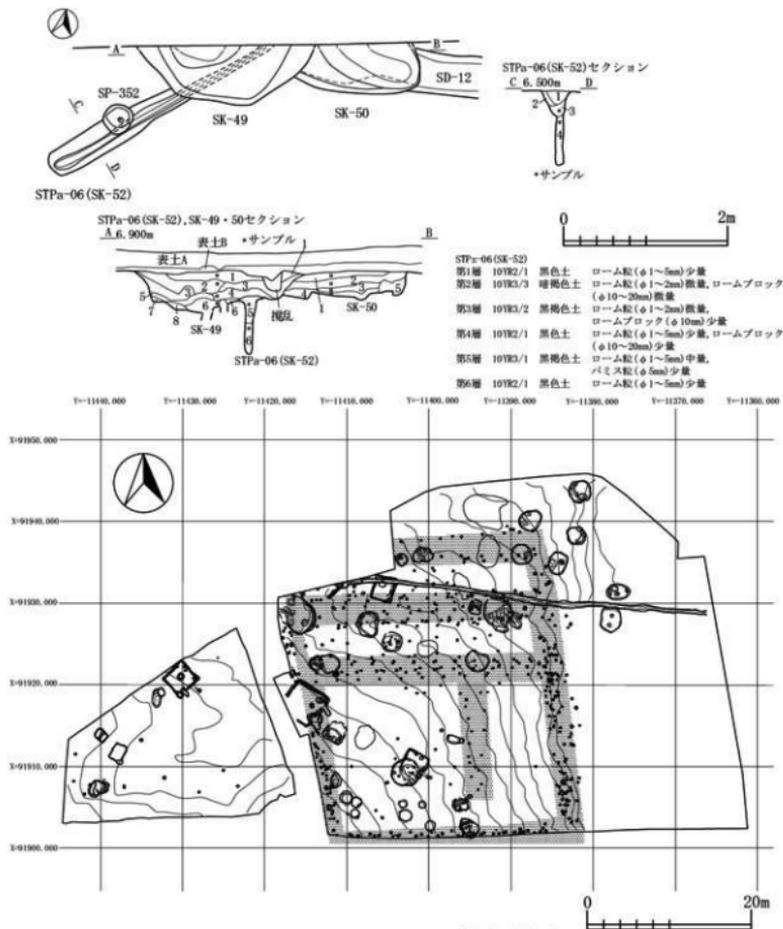


図1-117 C-1区STPa, 柱穴列模式図

4. 柱穴列・ピット (図1-117 ~ 146)

調査区内から検出したピットについては柱列を呈するものが多く、規則性のある軸線についてSAの略号が付され精査されたものがある。SP扱いのピットとSA扱いのピットについては単に柱穴列という訳ではなく、既報告の『石江遺跡群発掘調査報告書』(青森市埋蔵文化財調査報告書第94集)で記述したとおり、昭和60年刊行の『石江史実』によると石江神明宮が三度建て替えられ、明治32年建立の現在の地点から離れた石江高間112番1号に現在より一つ前の神社があったという記録があり、発

掘調査の結果でも柱穴列で囲まれた方形の区画が確認されており、全てのピットが本施設に帰属するものではないが、記述の情報が正しかったことが裏付けられている。

掲載に際し、調査時の遺構略号・番号を優先とした平面・セクション図の掲載を優先とし、規模等の情報については遺構観察表にまとめて掲載した。

出土遺物は、陶器や硬貨が出土しており、SP-314の富士1銭アルミ貨は昭和十七年発行のものである。

SA-01·02·03·04

S=1/150

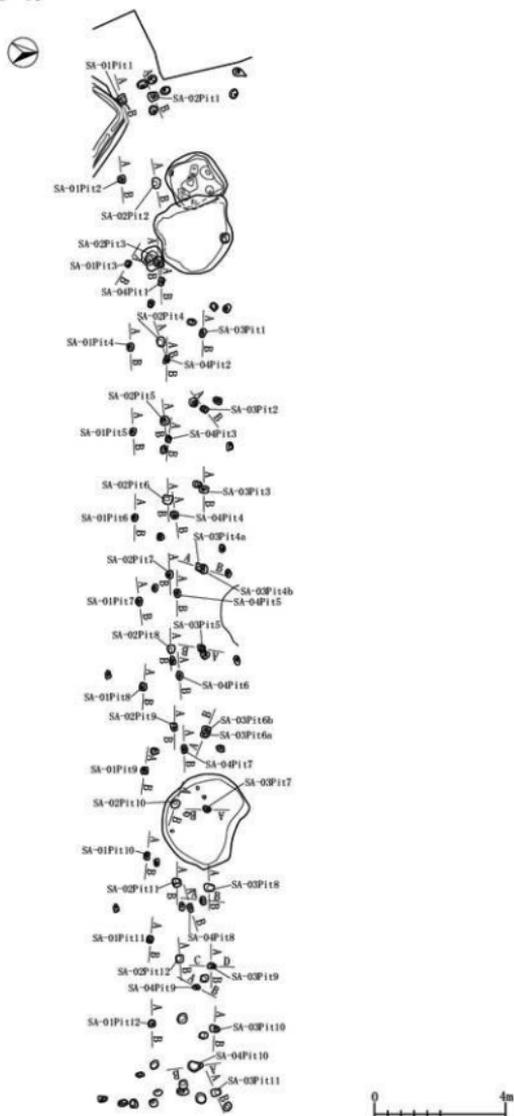
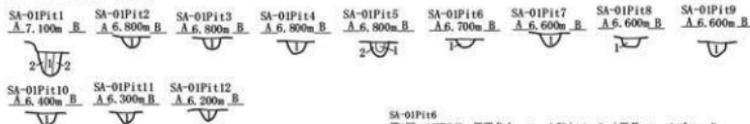
IV-1  
C-1区

图 1-118 C-1区 SA-1

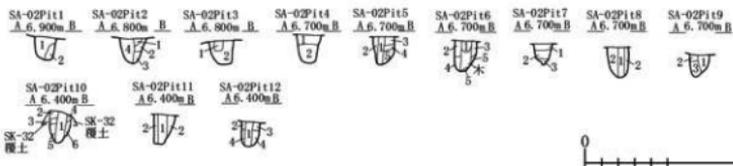
## SA-01Pitセクション



SA-01Pit1 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~8mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SA-01Pit2 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
SA-01Pit3 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ2~3mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
SA-01Pit4 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)微量,ロームブロック(φ10~15mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
SA-01Pit5 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~8mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量

SA-01Pit6 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~2mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)少量
SA-01Pit7 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SA-01Pit8 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
SA-01Pit9 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10~12mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SA-01Pit10 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量
SA-01Pit11 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SA-01Pit12 第1層 10YR2/3 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量

## SA-02Pitセクション

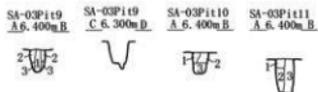
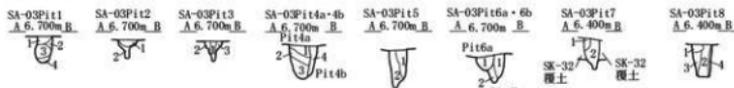


SA-02Pit1 第1層 10YR2/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~20mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土	ローム版(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SA-02Pit2 第1層 10YR4/6 褐色土	ローム版(φ2~5mm)多量
第2層 10YR4/4 褐色土	ローム版
第3層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量
第4層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)少量
SA-02Pit3 第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ15~20mm)少量
SA-02Pit4 第1層 10YR5/6 黄褐色土	ローム版,10YR3/1黒褐色土(φ30~50mm)中量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ15~30mm)微量

SA-02Pit5 第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~35mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10mm)微量
第3層 10YR5/3 に近い黄褐色土	ローム版(φ1~3mm)中量,ロームブロック(φ10mm)中量
SA-02Pit6 第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)少量
第2層 10YR5/6 黄褐色土	ローム版,10YR3/2黒褐色土(φ40~50mm)中量
SA-02Pit7 第1層 10YR5/6 黄褐色土	ローム版,ロームブロック(φ10~50mm)多量,10YR3/2黒褐色土(φ40mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ20~30mm)中量
第3層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)少量
SA-02Pit8 第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量
第3層 10YR4/6 褐色土	ローム版
第4層 10YR5/6 褐色土	ローム版
第5層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量
第6層 10YR2/2 黒褐色土	ローム版(φ1~3mm)微量
SA-02Pit9 第1層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15~30mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土	ローム版・ブロック(φ1~50mm)中量
SA-02Pit10 第1層 10YR3/1 黒褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15mm)微量
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土	ローム版(φ1~5mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)少量
第4層 10YR4/4 褐色土	ローム版

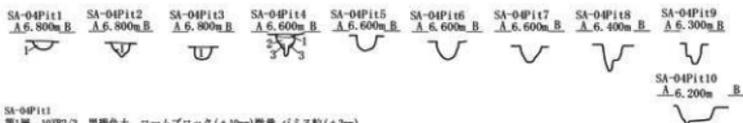
図 1-119 C-1区 SA-2

SA-03Pitセクション



- SA-03P111  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ15~30mm)少量  
 第2層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第3層 10TR3/2 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量  
 第4層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 SA-03P112  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ15~30mm)中量  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量  
 SA-03P113  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)中量  
 第3層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ20~30mm)中量  
 SA-03P114a  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)中量  
 第3層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)中量  
 SA-03P115  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム層  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15mm)微量
- SA-03P16a  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)中量  
 SA-03P16b  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~50mm)多量  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量  
 SA-03P17  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ローム層  
 第2層 10TR5/6 黄褐色土 ロームブロック(φ10~25mm)少量  
 SA-03P18  
 第1層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)少量  
 第3層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第4層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ20~30mm)少量  
 SA-03P19  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ15~20mm)少量  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ40~50mm)中量  
 第3層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量  
 SA-03P110  
 第1層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第2層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ15~30mm)中量  
 第3層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ20~40mm)微量  
 SA-03P111  
 第1層 10TR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ15~30mm)中量  
 第2層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層  
 第3層 10TR3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15~25mm)少量

SA-04Pitセクション

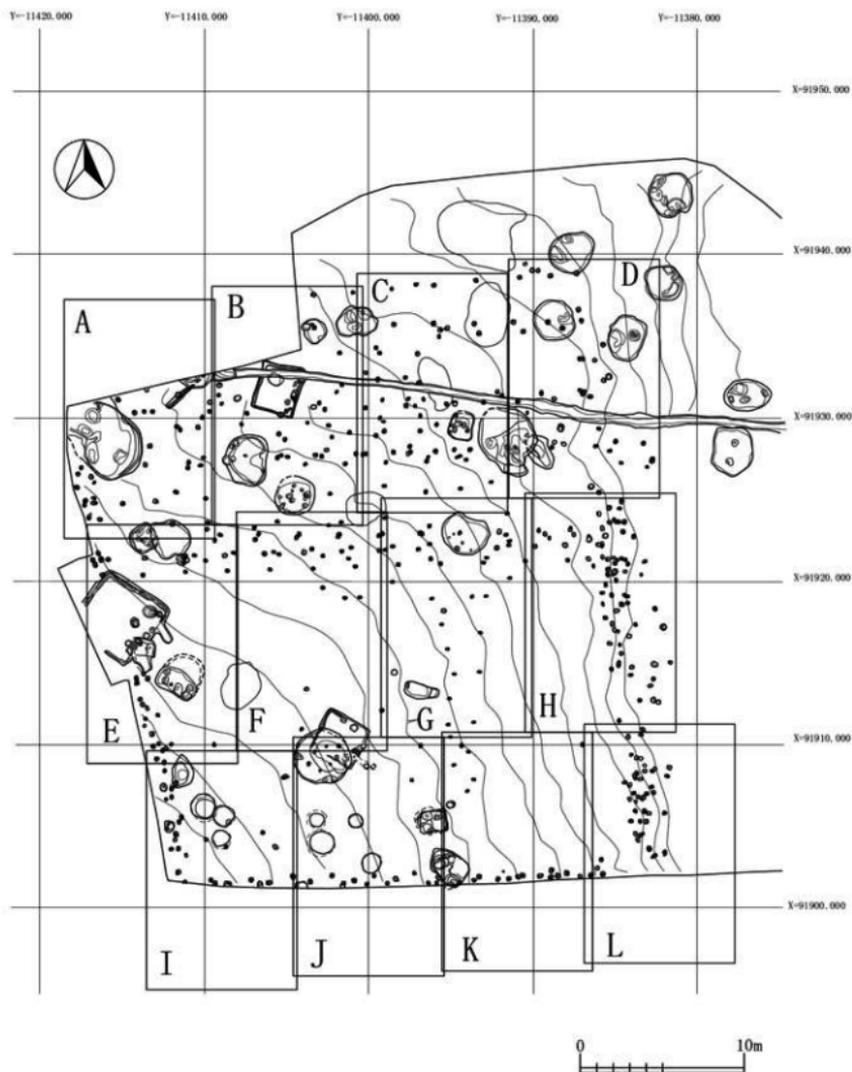


- SA-04P111  
 第1層 10TR2/3 黒褐色土 ロームブロック(φ10mm)微量,パミス粒(φ3mm)微量,10TR4/6褐色土混入  
 SA-04P112  
 第1層 10TR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ3~9mm)少量,炭化粒(φ5mm)微量  
 SA-04P113  
 第1層 10TR3/2 黒褐色土 ローム殻(φ5~9mm)少量,ロームブロック(φ15~20mm)少量,炭化粒(φ5mm)極微量  
 SA-04P114  
 第1層 10TR3/4 暗褐色土 ローム殻(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)少量  
 第2層 10TR3/2 黒褐色土 ローム殻(φ1~3mm)少量  
 第3層 10TR5/6 黄褐色土 ローム層



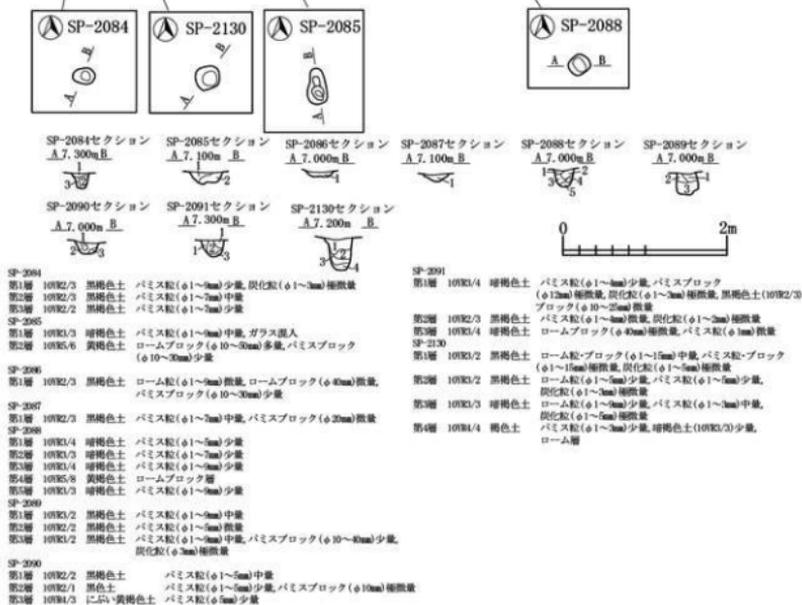
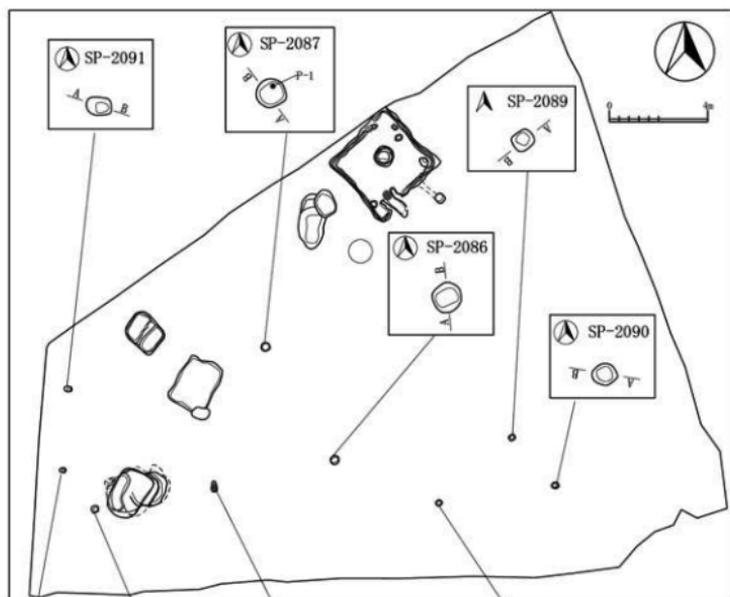
図 1-120 C-1 区 SA-3

SP分割図 S=1/300



IV-1  
C-1区

図 1-121 C-1区 SP-1



IV-1  
C-1区

図 1-122 C-1区 SP-2

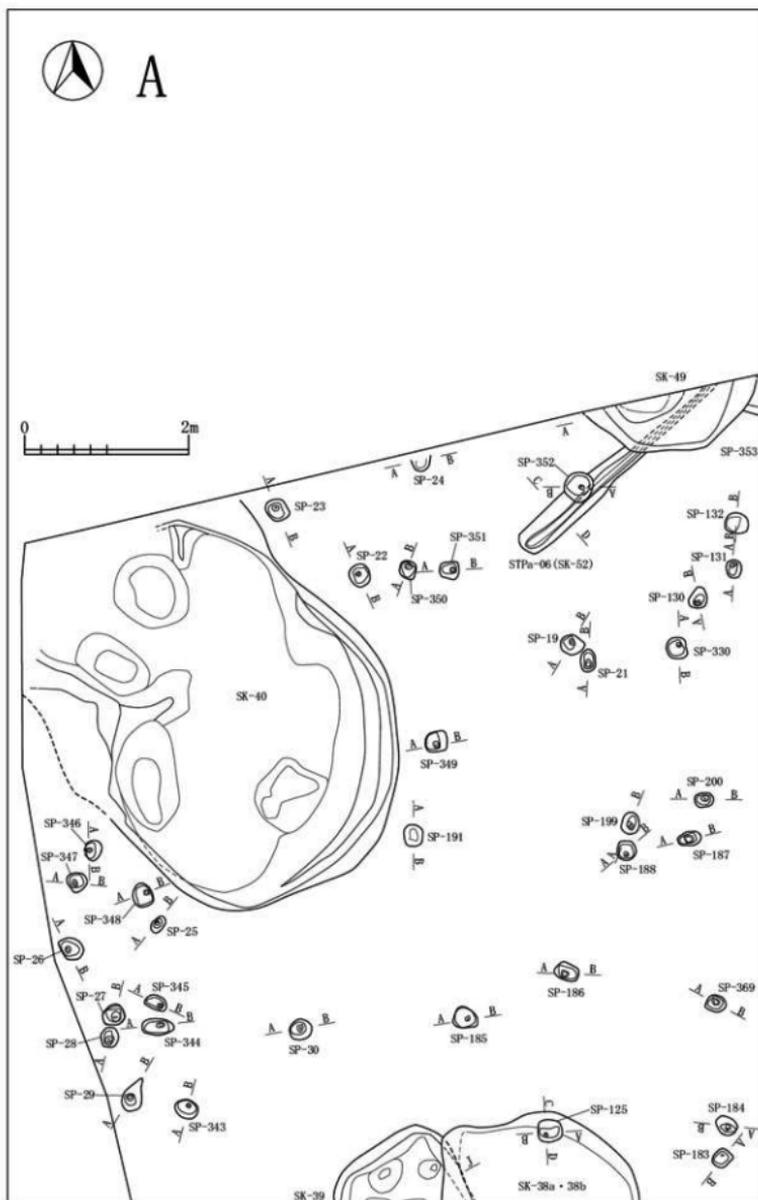
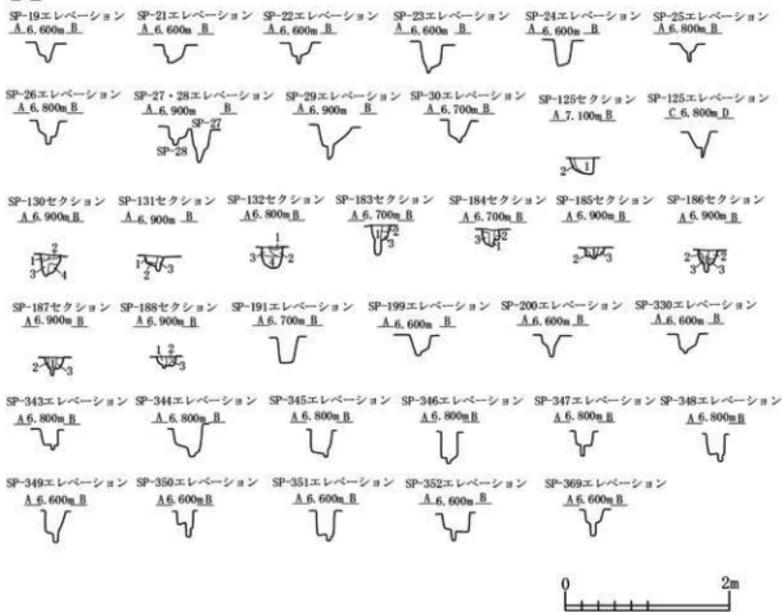


図 1-123 C-1 区 SP-3

# A



SP-125	第1層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ10~40mm)少量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15mm)少量
SP-130	第1層 10YK3/2	暗褐色土	ローム殻(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ5mm)微量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~9mm)少量
	第3層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
	第4層 10YK3/4	暗褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)少量
SP-131	第1層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~3mm)少量
	第2層 10YK3/4	暗褐色土	ローム殻・ブツツ(φ5~15mm)中量
	第3層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~3mm)少量
SP-132	第1層 10YK4/4	褐色土	ローム殻(φ1~3mm)少量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ2mm)微量,炭化粒(φ2mm)微量
	第3層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ15~20mm)少量
	第4層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
SP-183	第1層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~9mm)少量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量,バミズ粒(φ5mm)微量
	第3層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)微量

SP-184	第1層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~2mm)少量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1mm)微量
	第3層 10YK4/3	にぶい黄褐色土	ローム殻(φ1~5mm)中量,10YK3/2黒褐色土・ブロック(φ40mm)微量
SP-185	第1層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
	第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1mm)微量
	第3層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~3mm)微量
SP-186	第1層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
	第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1mm)微量
	第3層 10YK4/3	にぶい黄褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
SP-187	第1層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ20mm)微量
	第2層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
	第3層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量
SP-188	第1層 10YK3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15mm)微量
	第2層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ15~20mm)少量
	第3層 10YK3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5mm)微量

IV-1  
C-1区

図 1-124 C-1区 SP-4

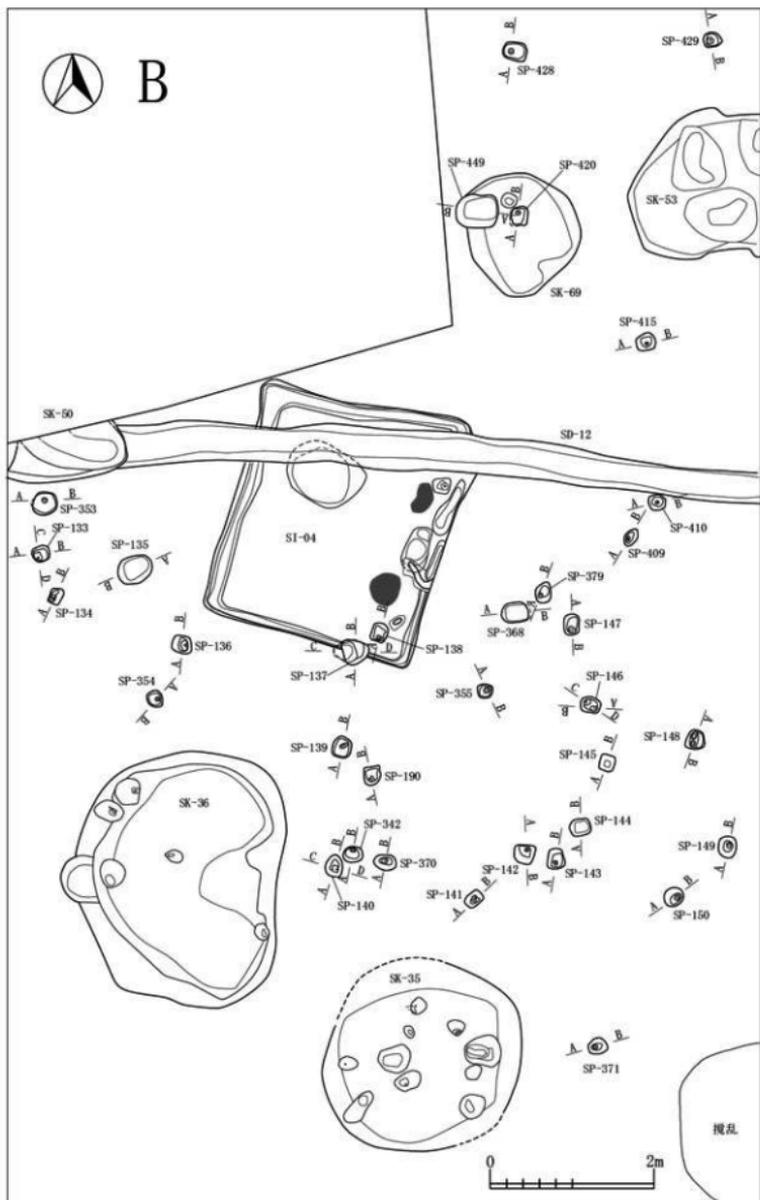


図 1-125 C-1 区 SP-5

# B

SP-133セクション SP-133エレベーション SP-134セクション SP-135セクション SP-136セクション SP-137セクション SP-137エレベーション  
 A. 6. 800m B. C. 6. 500m D. A. 6. 800m B. A. 6. 800m B. A. 6. 600m B. C. 6. 400m D.



SP-138セクション SP-139エレベーション SP-140セクション SP-140エレベーション SP-141セクション SP-142セクション  
 A. 6. 600m B. A. 6. 500m B. A. 6. 600m B. C. 6. 600m D. A. 6. 600m B. A. 6. 600m B.



SP-143セクション SP-144セクション SP-145セクション SP-146セクション SP-146エレベーション SP-147エレベーション  
 A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. C. 6. 400m D. A. 6. 600m B.



SP-148セクション SP-149セクション SP-150セクション SP-190セクション SP-342エレベーション SP-353エレベーション  
 A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. A. 6. 600m B. A. 6. 500m B. A. 6. 500m B.



SP-354エレベーション SP-355エレベーション SP-368エレベーション SP-370エレベーション SP-371エレベーション SP-379エレベーション  
 A. 6. 500m B. A. 6. 400m B. A. 6. 400m B. A. 6. 500m B. A. 6. 600m B. A. 6. 400m B.



SP-409エレベーション SP-410エレベーション SP-415エレベーション SP-420エレベーション SP-428エレベーション SP-429エレベーション  
 A. 6. 400m B. A. 6. 200m B.



SP-449エレベーション  
 A. 6. 500m B.



SP-133  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~2m)少量  
 第3層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)少量  
 第4層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)少量  
 第5層 照褐色土 ローム状(φ10~15m)少量  
 SP-134  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)中量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ1~3m)微量, バミス(φ5~9m)極微量  
 第3層 照褐色土 バミス状(φ1~3m)微量  
 第4層 照褐色土 バミス状(φ1~3m)中量  
 SP-135  
 第1層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量, バミスブロック(φ15m)少量, 焼土状(φ3~3m)微量, 灰化状(φ3m)微量, 10R2/2照褐色土混入  
 SP-136  
 第1層 照褐色土 ロームブロック(φ20~30m)中量, バミス状(φ1~2m)少量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ1~5m)中量, バミスブロック(φ15m)微量  
 第3層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)極多量, バミスブロック(φ20m)微量  
 SP-137  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量  
 第3層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)中量  
 第4層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)少量, 焼土状(φ1~2m)少量  
 第5層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)少量, ロームブロック(φ2m)微量  
 SP-138  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ロームブロック(φ30~60m)中量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-139  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量, 灰化状(φ3m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量  
 第3層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量  
 第4層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量  
 SP-141  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~1m)少量, ロームブロック(φ10~20m)少量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, バミス状(φ5~9m)微量

SP-142  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)中量, ロームブロック(φ15m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状, バミス状(φ5~9m)微量  
 SP-143  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m), ロームブロック(φ10~30m)少量  
 第2層 照褐色土 ローム状  
 SP-144  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~20m)少量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~2m)少量, ロームブロック(φ15m)微量  
 SP-145  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~2m)少量  
 SP-146  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)中量  
 SP-147  
 第1層 照褐色土 ロームブロック(φ20~30m)微量, バミス状(φ5~9m)少量, バミスブロック(φ15~20m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)微量, バミス状(φ1~5m)微量, バミスブロック(φ20m)微量  
 SP-149  
 第1層 照褐色土 バミス状(φ5~9m)少量, バミスブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)極微量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ5~9m)少量  
 SP-190  
 第1層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量, 灰化状(φ3m)極微量, 10R2/2照褐色土混入  
 SP-342  
 第1層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量  
 第2層 照褐色土 バミス状(φ1~1m)少量, 灰化状(φ3m)極微量  
 SP-353  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15m)微量

SP-409  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-410  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-415  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-420  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-428  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 SP-429  
 第1層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量  
 第2層 照褐色土 ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量, 焼土状(φ3~9m)微量

## SP-449



C049

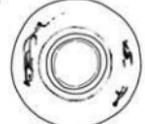


図 1-126 C-1 区 SP-6

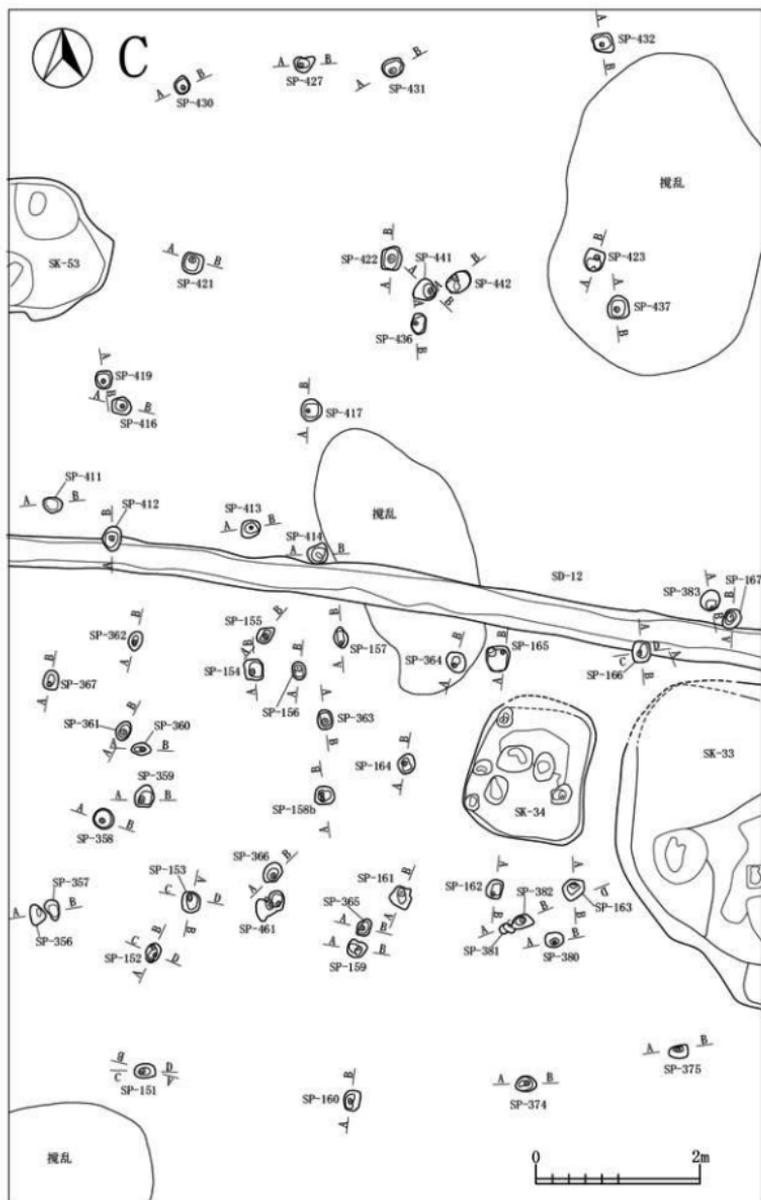


図 1-127 C-1 区 SP-7

C

SP-151セクション A. 6. 500m B. 	SP-151エレベーション C. 6. 400m B. 	SP-152セクション A. 6. 500m B. 	SP-152エレベーション C. 6. 400m B. 	SP-153セクション A. 6. 500m B. 	SP-153エレベーション C. 6. 400m B. 	
SP-154セクション A. 6. 500m B. 	SP-155セクション A. 6. 500m B. 	SP-156セクション A. 6. 500m B. 	SP-157セクション A. 6. 500m B. 	SP-158セクション A. 6. 500m B. 	SP-159セクション A. 6. 500m B. 	SP-160エレベーション A. 6. 400m B. 
SP-161セクション A. 6. 500m B. 	SP-162セクション A. 6. 300m B. 	SP-163セクション A. 6. 300m B. 	SP-164セクション A. 6. 500m B. 	SP-165セクション A. 6. 500m B. 	SP-166セクション A. 6. 300m B. 	SP-166エレベーション C. 6. 200m B. 
SP-167セクション A. 6. 300m B. 	SP-356・357エレベーション A. 6. 400m B. SP-356 SP-357 	SP-358エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-359エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-360エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-361エレベーション A. 6. 300m B. 	
SP-362エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-363エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-364エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-365エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-366エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-367エレベーション A. 6. 400m B. 	
SP-374エレベーション A. 6. 400m B. 	SP-375エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-380エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-381・382エレベーション A. 6. 300m B. SP-381 SP-382 	SP-383エレベーション A. 6. 200m B. 		
SP-411エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-412エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-413エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-414エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-416エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-417エレベーション A. 6. 200m B. 	
SP-419エレベーション A. 6. 300m B. 	SP-421エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-422エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-423エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-427エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-430エレベーション A. 6. 200m B. 	
SP-431エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-432エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-436エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-437エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-441エレベーション A. 6. 200m B. 	SP-442エレベーション A. 6. 200m B. 	



IV-1  
C-1区

図 1-28 C-1区 SP-8

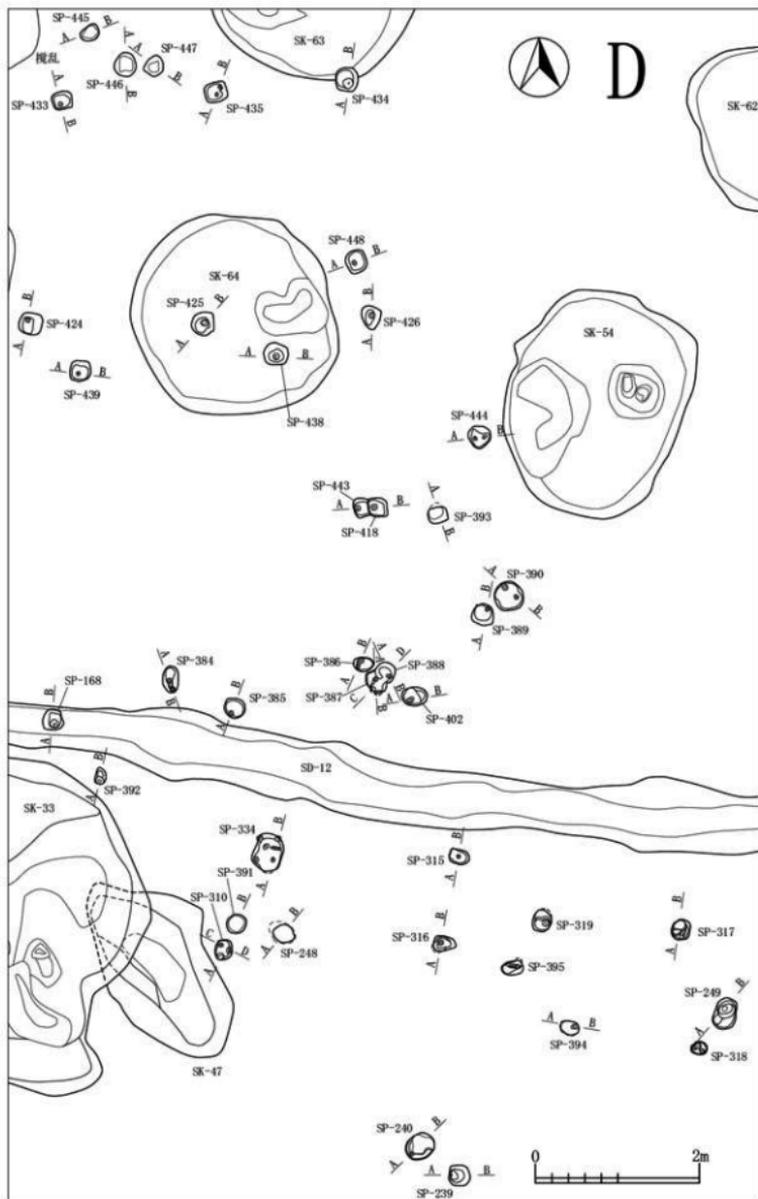


図 1-129 C-1区 SP-9

# D

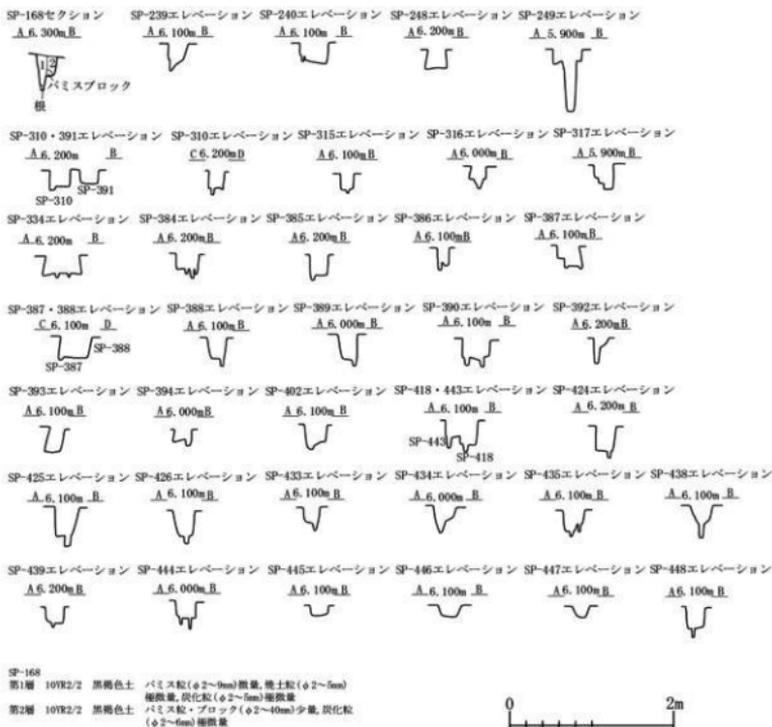


図 1-130 C-1 区 SP-10

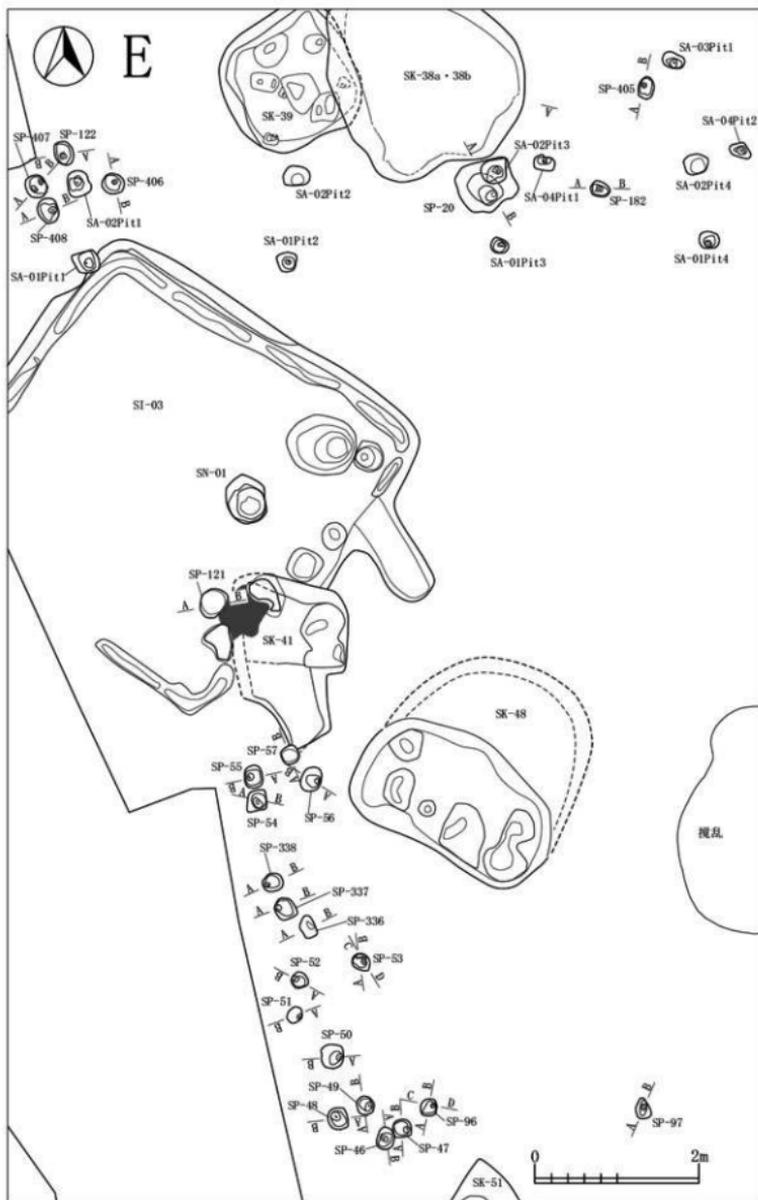
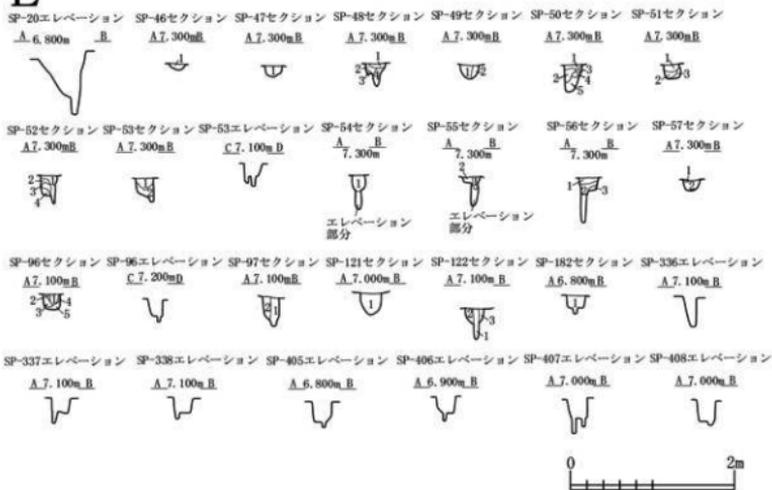


図 1-131 C-1 区 SP-11

# E



SP-46	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量, パミス粒(φ1~3mm)微量
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SP-48	第1層	10YR4/3	にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒・ブロック(φ1~15mm)少量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ5mm)微量
第3層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量, パミス粒(φ1~3mm)中量
第4層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
SP-49	第1層	10YR3/2	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ40mm)極微量, パミス粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量
SP-50	第1層	10YR3/2	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量, ロームブロック(φ10~15mm)少量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)中量
第3層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層
第4層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量
第5層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層
SP-51	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量
第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SP-52	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量
第3層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
第4層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)少量
SP-53	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
第2層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ15mm)微量

SP-54	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
SP-55	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1mm)微量
SP-56	第1層	10YR3/2	黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~2mm)少量, パミス粒(φ1~3mm)微量
第3層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量
SP-57	第1層	10YR1.7/1	黒色土
第2層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量
SP-96	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第3層	10YR2/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量
第4層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第5層	10YR4/4	褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
SP-97	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ロームブロック(φ10~40mm)中量
SP-121	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量
SP-122	第1層	10YR3/1	黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)微量, ロームブロック(φ15mm)微量
第3層	10YR3/2	暗褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ20mm)微量
SP-182	第1層	10YR2/3	暗褐色土 パミス粒(φ5~9mm)少量

図 1-132 C-1 区 SP-12

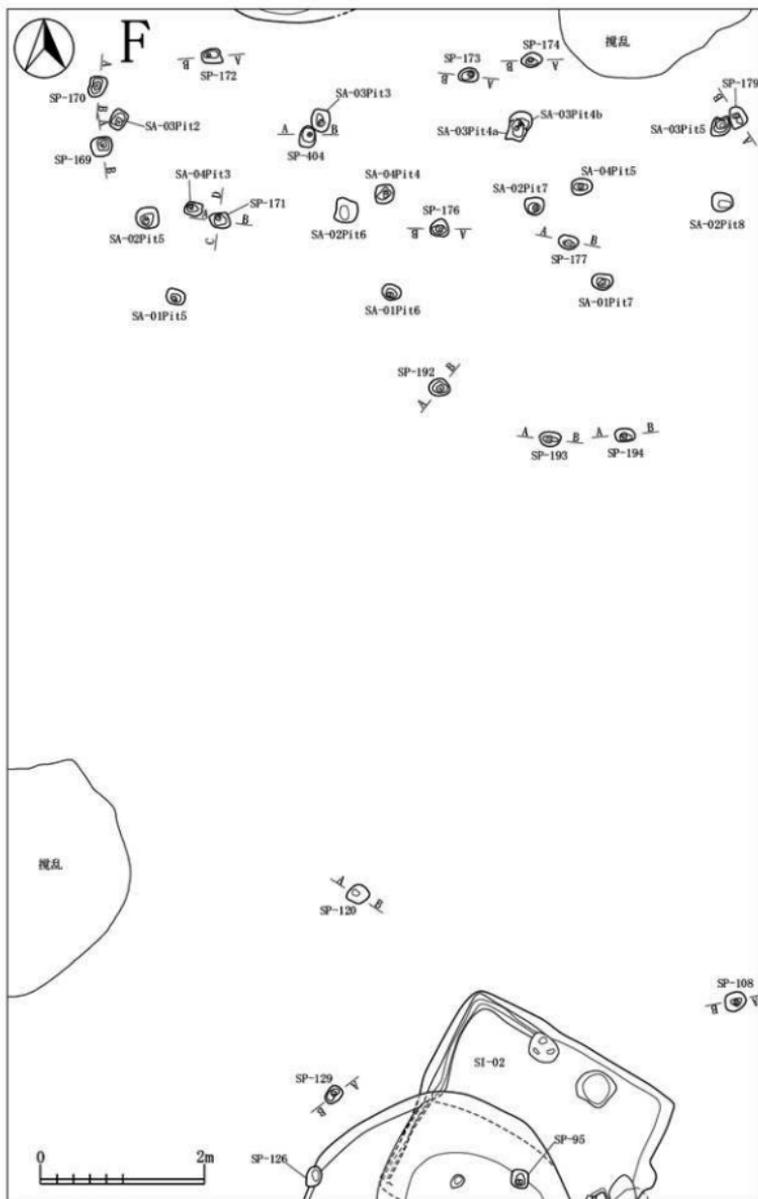


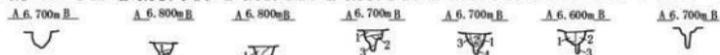
図 1-133 C-1区 SP-13

# F

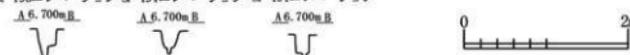
SP-108セクション SP-120セクション SP-129セクション SP-169セクション SP-170セクション SP-171セクション SP-171エレベーション



SP-172エレベーション SP-173セクション SP-174セクション SP-176セクション SP-177セクション SP-179セクション SP-192エレベーション



SP-193エレベーション SP-194エレベーション SP-404エレベーション



SP-108	第1層 10YK3/1 黒褐色土	ローム状(φ1~2m)少量, ブロック(φ10~20m)少量	SP-173	第1層 10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ5~9m)微量, パミスブロック(φ15m)極微量		
第2層	10YK3/1 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量	第2層	10YK3/2 黒褐色土	パミスブロック(φ10~20m)中量		
SP-120	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ20~40m)中量, パミス状(φ1~5m)微量, パミスブロック(φ20m)極微量	SP-174	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ10~20m)中量
SP-129	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ15~20m)少量	第2層	10YK2/2 黒褐色土	ローム状(φ5~9m)微量	
第2層	10YK3/1 黒褐色土	ローム層, ロームブロック(φ10~50m)多量	SP-176	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量, 炭化粒(φ3m)微量	
第3層	10YK3/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~30m)中量	第2層	10YK3/2 黒褐色土	ロームブロック(φ10~20m)中量		
SP-169	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量, ロームブロック(φ10~15m)微量	第3層	10YR5/6 黄褐色土	ローム層	
第2層	10YR5/4 に近い黄褐色土	ローム層, パミスブロック(φ10m)微量	SP-177	第1層	10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ1~9m)多量, 焼土粒(φ1~2m)微量, 炭化粒(φ1m)微量, シルト	
第3層	10YR4/4 褐色土	ローム状(φ1~5m)多量, ロームブロック(φ10~30m)中量, 10YK3/2黒褐色土ブロック(φ30~40m)少量	第2層	10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ1~5m)中量, シルト		
第4層	10YK3/2 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量	第3層	10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ1~3m)少量, シルト		
第5層	10YR4/4 褐色土	ローム層	第4層	10YK2/2 黒褐色土	パミス状(φ1~3m)少量, シルト		
SP-170	第1層	10YK3/1 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量	SP-179	第1層	10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ1~9m)中量, パミスブロック(φ15~40m)中量, シルト
第2層	10YR4/4 褐色土	ロームブロック(φ10~30m)中量	第2層	10YK3/2 黒褐色土	パミス状(φ1~9m)少量, パミスブロック(φ15~20m)少量, シルト		
第3層	10YK3/1 黒褐色土	ローム状(φ1~5m)少量	第3層	10YK2/2 黒褐色土	ローム状(φ1~3m)少量, パミス状(φ1~3m)少量, シルト		
SP-171	第1層	10YK3/2 黒褐色土	ローム状(φ1~9m)少量				

図 1-134 C-1 区 SP-14

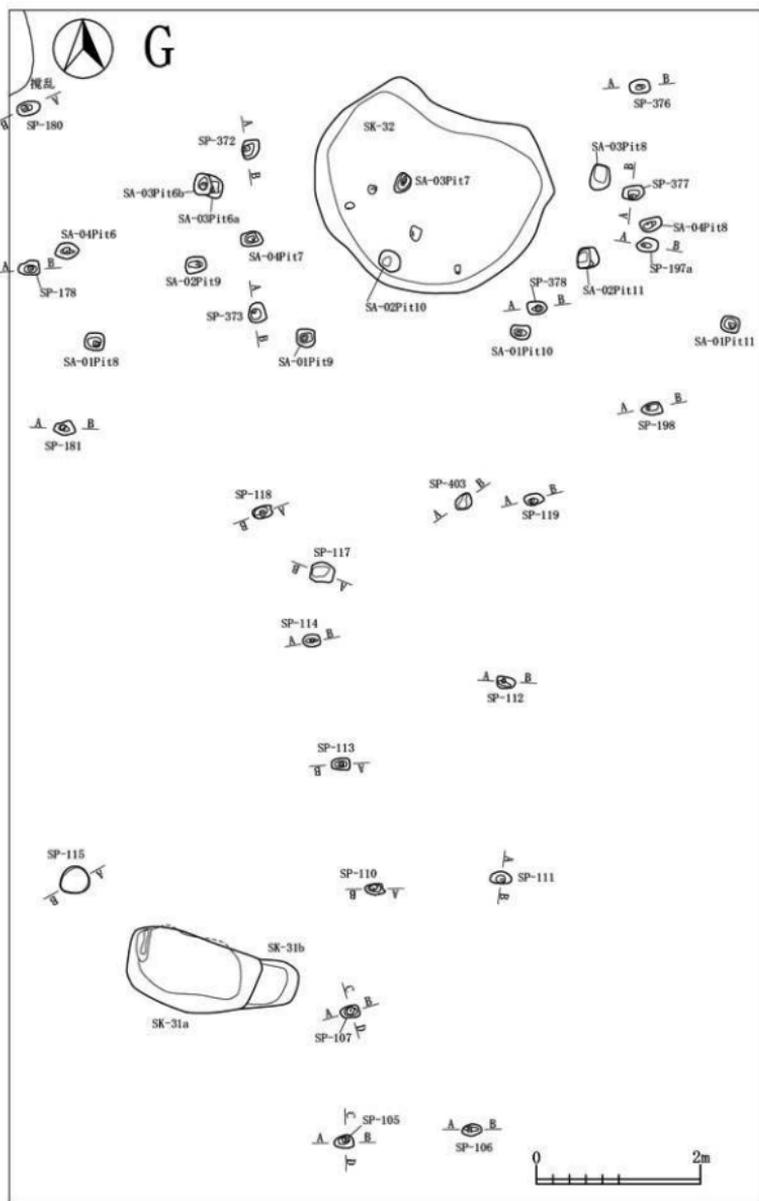
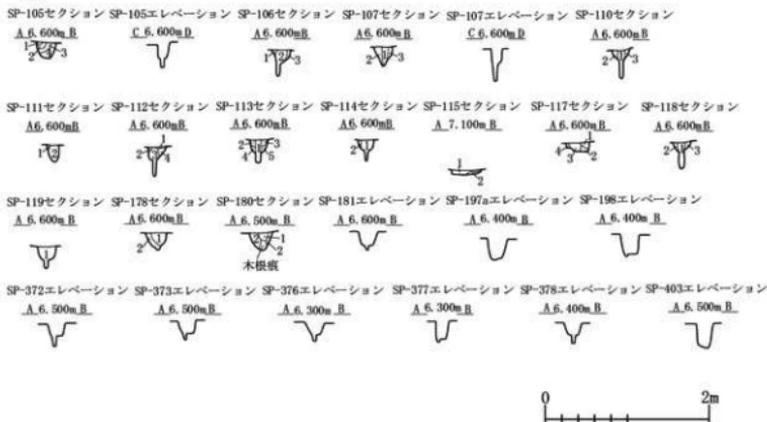


図 1-135 C-1 区 SP-15

# G



- SP-105  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量  
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量  
 第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ70mm)微量  
 第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 SP-106  
 第1層 10YR4/4 褐色土 ローム層, 10YR3/2黒褐色土少量  
 第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
 第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 SP-107  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10~15mm)微量  
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ブロック(φ15~20mm)少量  
 SP-110  
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
 第2層 10YR4/4 褐色土 ローム層  
 第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ローム層, ロームブロック(φ10~30mm)多量, 10YR3/2黒褐色土中量  
 SP-111  
 第1層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量  
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 SP-112  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量  
 第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量, ロームブロック(φ20mm)微量  
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第4層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 SP-113  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)少量  
 第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層(ロームブロック)  
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第5層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層

- SP-114  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ10mm)微量  
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム層, ロームブロック(φ10~25mm)多量  
 SP-115  
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)少量  
 第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
 SP-117  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
 第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~2mm)中量  
 第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
 第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ15mm)微量  
 SP-118  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ20mm)少量  
 第2層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ40mm)中量  
 第3層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~40mm)中量  
 SP-119  
 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ15~30mm)少量  
 SP-178  
 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~9mm)少量, パミス粒(φ3~9mm)中量, パミスブロック(φ15~20mm)少量, 炭化粒(φ1mm)微量, シルト  
 第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量, シルト  
 SP-180  
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1~3mm)多量, シルト  
 第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量, パミス粒(φ1~5mm)少量, パミスブロック(φ15~20mm)微量, シルト

IV-1  
 C-1区

図 1-136 C-1 区 SP-16

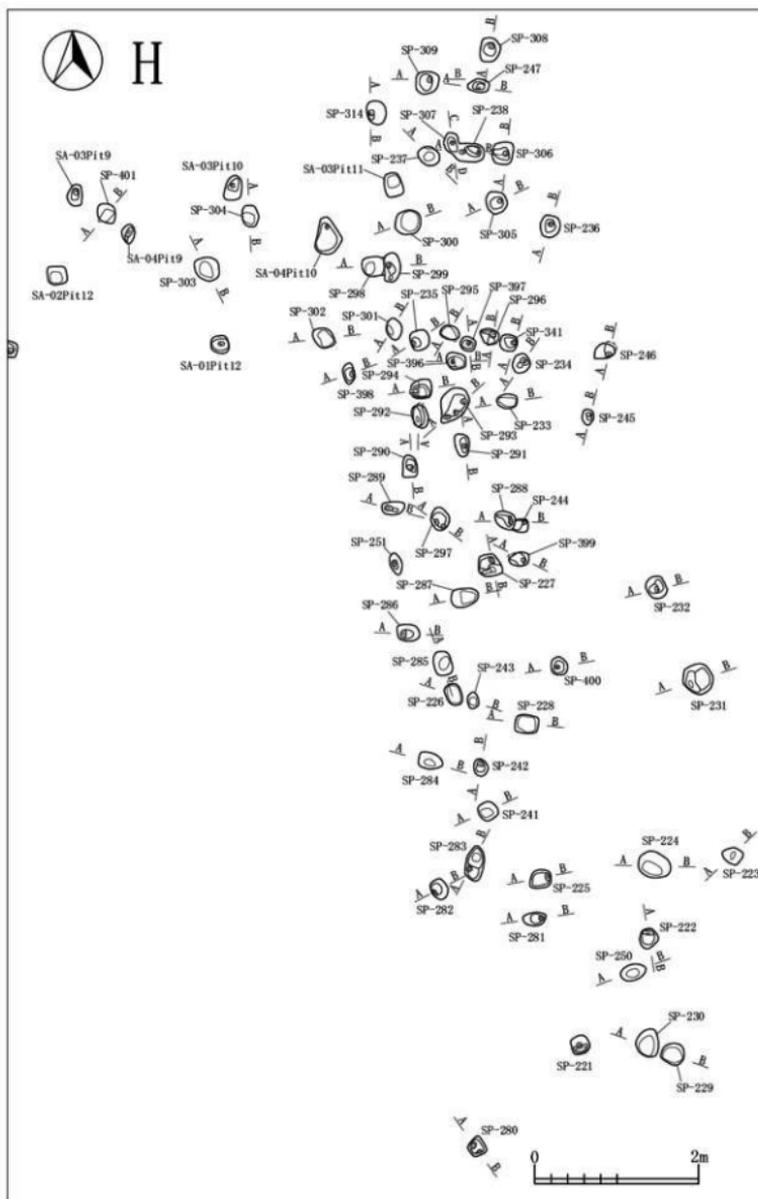
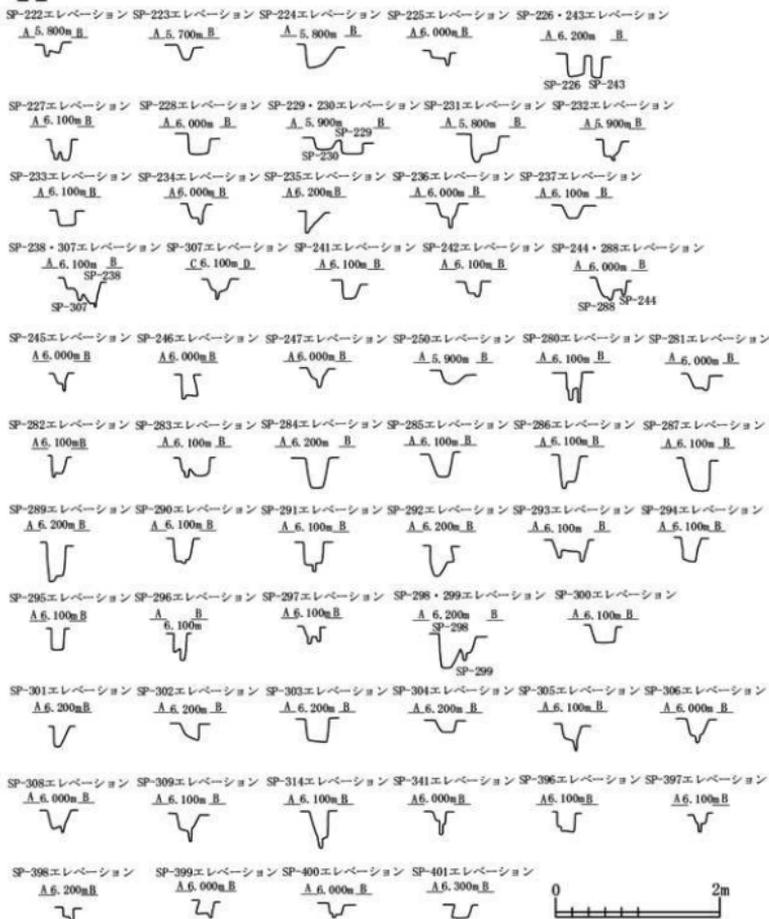


図 1-137 C-1区 SP-17

# H



SP-314



C050  
S=1/1

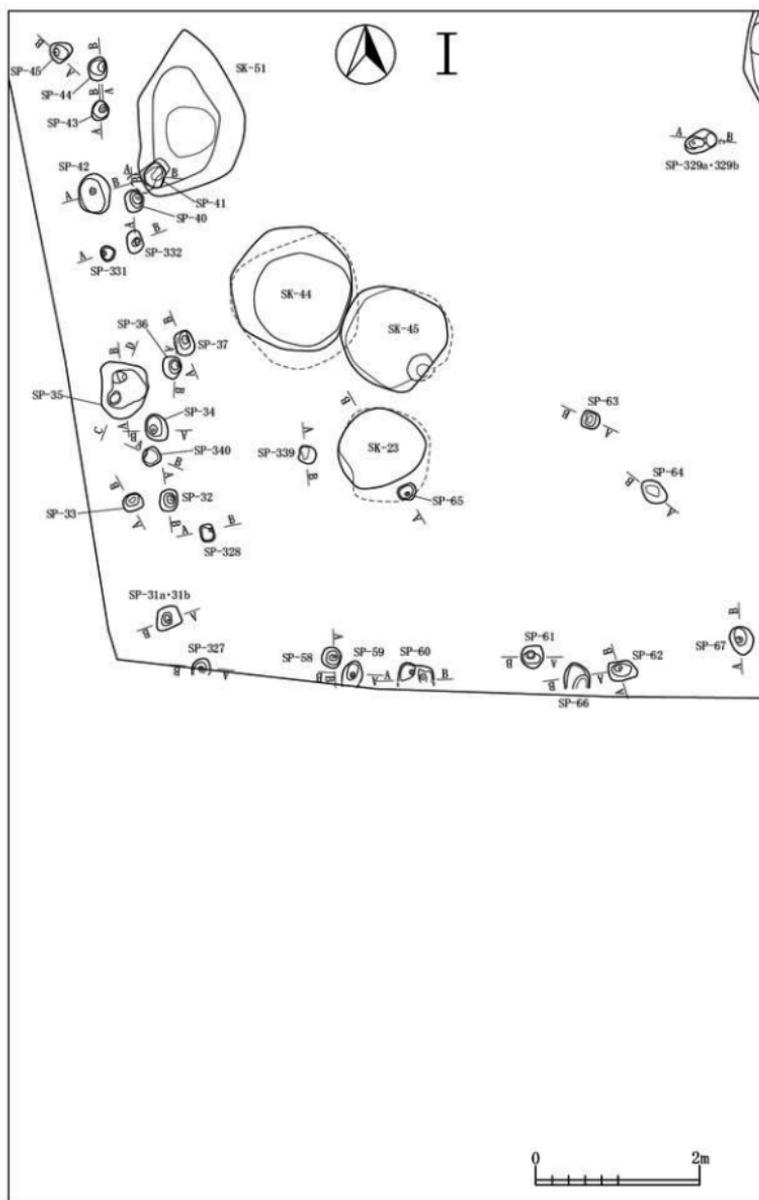


図 1-139 C-1 区 SP-19



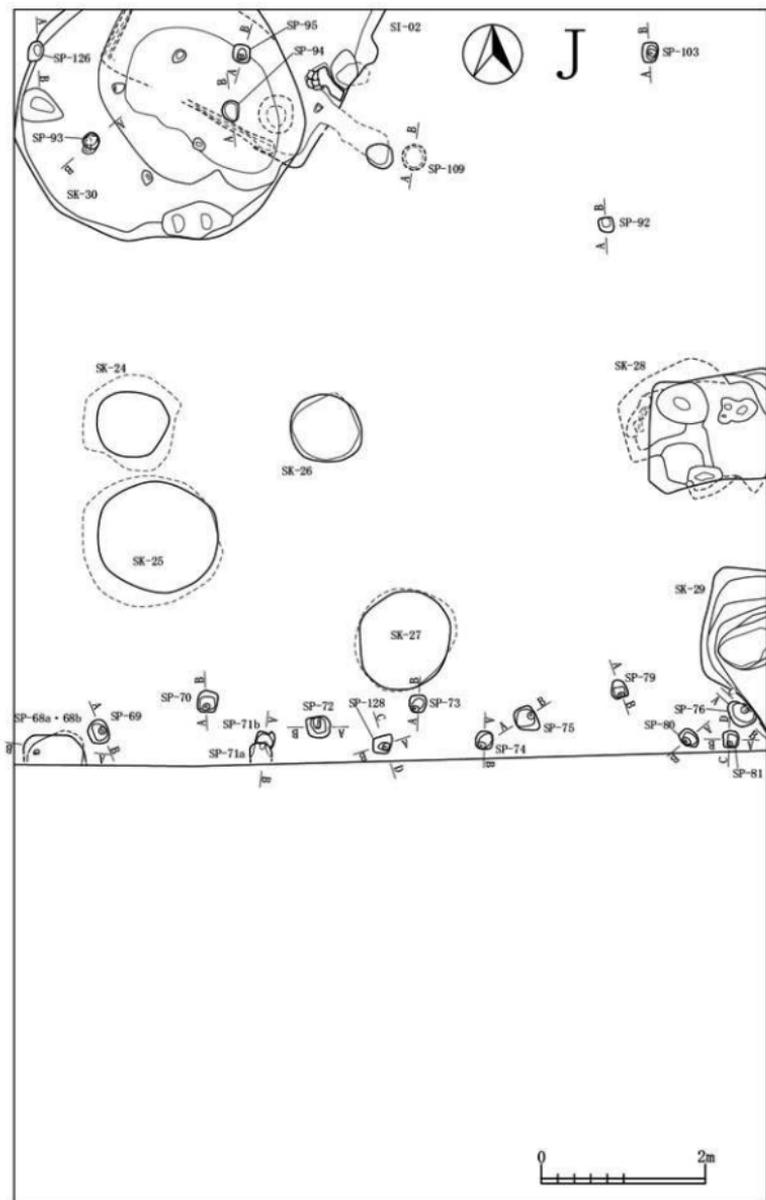


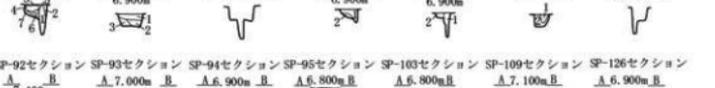
図 1-141 C-1 区 SP-21

# J

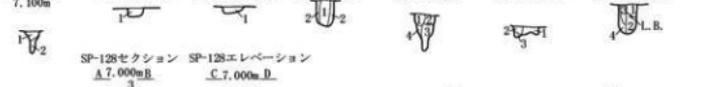
SP-68a・68bセクション SP-69セクション SP-70セクション SP-71a・71bセクション SP-72セクション SP-73セクション SP-74セクション  
 A. 7.300m B. 7.300m B. 7.300m B. 7.200m B. 7.300m A. 7.300m B. 7.300m B. 7.300m



SP-75セクション SP-76セクション SP-76エレベーション SP-79セクション SP-80セクション SP-81セクション SP-81エレベーション  
 A. 6.900m B. 6.900m B. 6.800m D. 6.900m B. 6.900m B. 6.900m D. 6.800m D.



SP-92セクション SP-93セクション SP-94セクション SP-95セクション SP-103セクション SP-109セクション SP-126セクション  
 A. 7.100m B. 7.000m B. 6.900m B. 6.800m B. 7.100m B. 6.900m B.



SP-128セクション SP-128エレベーション  
 A. 7.000m B. C. 7.000m D.

- SP-68a  
第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒
- SP-68b  
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第5層 10YR5/6 黄褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量  
第6層 10YR2/3 暗褐色土 ローム層(厚薄)  
第7層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
SP-69  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ15~50mm)少量  
第2層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)微量  
第3層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
第4層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
SP-70  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム層(φ1~5mm)少量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
第3層 10YR2/1 黒褐色土 ロームブロック(φ10~15mm)少量  
第4層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
SP-71a  
第1層 10YR4/4 褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)多量  
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム層(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15~30mm)少量  
SP-71b  
第1層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)少量  
第2層 10YR4/4 褐色土 ローム層  
SP-72  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,ロームブロック(φ15~30mm)少量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
第3層 10YR2/1 黒褐色土 ローム層(厚薄)  
SP-73  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ20mm)微量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層(厚薄)  
SP-74  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層(厚薄)  
SP-75  
第1層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層,10YR3/2黒褐色土ブロック中量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第3層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層,10YR3/2黒褐色土ブロック中量  
第4層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第5層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
第6層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量  
第7層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
SP-76  
第1層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ローム層,10YR3/1黒褐色土(φ10~50mm)中量  
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ローム層

- SP-79  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
SP-80  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)中量  
SP-81  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ40mm)微量  
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ15~40mm)中量  
SP-92  
第1層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~3mm)中量,ロームブロック混入  
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
SP-93  
第1層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量,粘土粒(φ1~2mm)  
SP-94  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ2~3mm)少量  
SP-95  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2~3mm)微量,粘土粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量  
第2層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ2~3mm)中量,粘土粒(φ2~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量,火山灰(φ1~2mm)細粒量  
SP-103  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ロームブロック(φ30~50mm)多量  
第2層 10YR2/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~30mm)中量  
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ブロック(φ20mm)少量  
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ブロック(φ15~20mm)少量  
SP-109  
第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第2層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量  
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~2mm)少量  
SP-126  
第1層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)微量,ロームブロック(φ10~30mm)中量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ20~50mm)少量  
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ5mm)少量,ロームブロック(φ10~40mm)多量  
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2mm)微量,ロームブロック(φ20mm)少量  
SP-128  
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量  
第2層 10YR5/6 黄褐色土 ローム層  
第3層 10YR4/4 褐色土 ローム層,ローム粒(φ1~5mm)多量  
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量

IV-1  
C-1区

図 1-142 C-1 区 SP-22

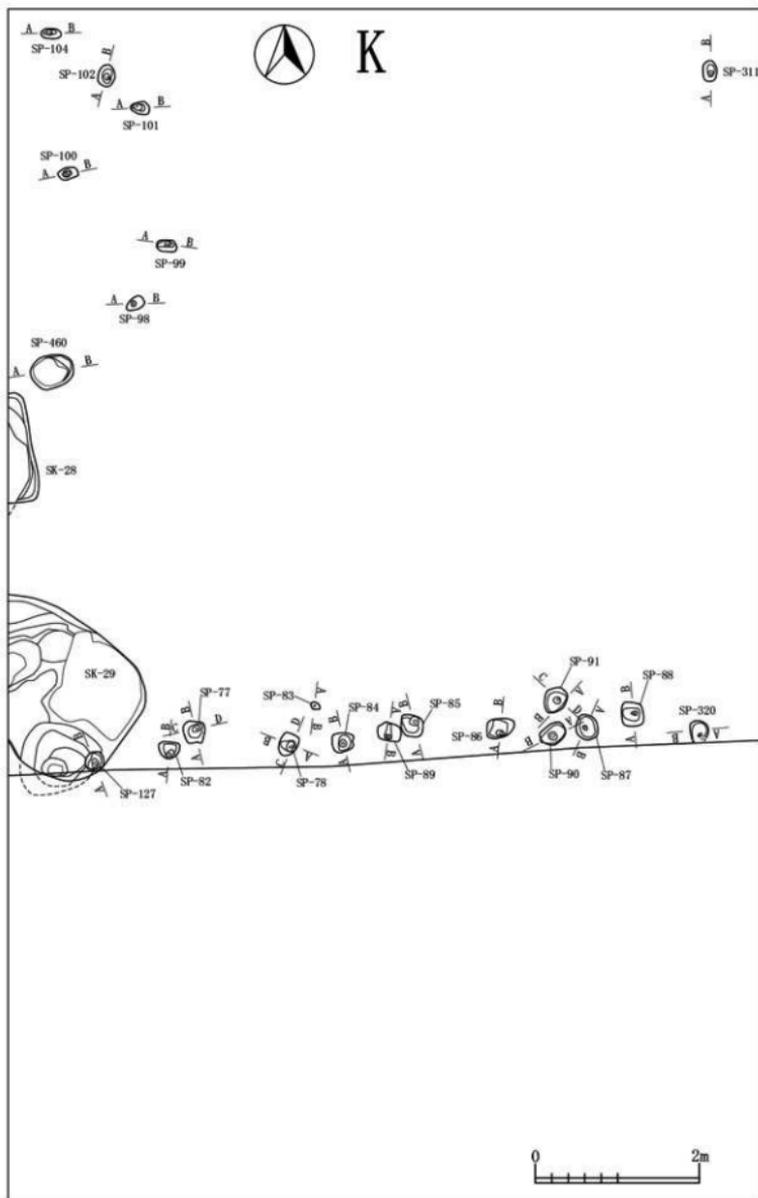
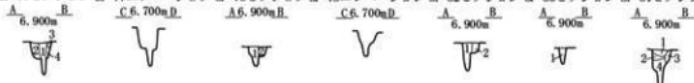


図 1-143 C-1 区 SP-23

# K

SP-77セクション SP-77エレベーション SP-78セクション SP-78エレベーション SP-82セクション SP-83セクション SP-84セクション



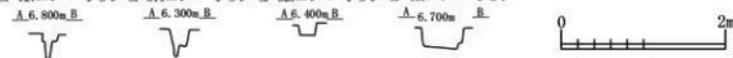
SP-85セクション SP-86セクション SP-87セクション SP-88セクション SP-89セクション SP-90セクション SP-91セクション



SP-91エレベーション SP-98セクション SP-99セクション SP-100セクション SP-101セクション SP-102セクション SP-104セクション



SP-127エレベーション SP-311エレベーション SP-320エレベーション SP-460エレベーション



SP-77	第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~2m)中量,ロームブロック(φ10~15m)少量
	第2層	10YR2/1	黒褐色土	ローム層(φ1m)微量
	第3層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
	第4層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)微量
SP-78	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,炭化物(φ10m)微量
	第2層	10YR4/4	褐色土	ローム層
SP-82	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~9m)少量,ロームブロック(φ15~20m)少量
	第2層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層,10YR3/1黒褐色土(φ50m)中量
SP-83	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~2m)微量
SP-84	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ10~40m)少量
	第2層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
	第3層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ15m)微量
	第4層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~9m)中量,ロームブロック(φ10~15m)少量
SP-85	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ15~20m)少量
	第2層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
	第3層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~3m)微量
	第4層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層,黒褐色土ブロック(φ30m)少量
SP-86	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)微量
	第2層	10YR3/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10~20m)中量
	第3層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)微量,ロームブロック(φ10~25m)微量
SP-87	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
	第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム層,ローム殻(φ1~9m)多量
	第3層	10YR4/4	褐色土	ローム層,ローム殻(φ1~9m)多量
SP-88	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ10m)微量
	第2層	10YR4/2	灰黄褐色土	ローム殻(φ1~5m)中量,ロームブロック(φ10~20m)少量
	第3層	10YR4/2	灰黄褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ15~30m)少量

SP-89	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
	第2層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム殻(φ1~3m)少量
SP-90	第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ10~20m)少量
	第2層	10YR4/4	褐色土	ローム層
	第3層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
SP-91	第1層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
	第2層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	ローム殻(φ1~3m)中量
	第3層	10YR4/4	褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
SP-98	第1層	10YR3/2	黒褐色土	ロームブロック(φ15~40m)中量
	第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ15m)微量
SP-99	第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
	第2層	10YR3/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10~15m)中量
	第3層	10YR3/2	黒褐色土	ロームブロック(φ15~40m)中量
SP-100	第1層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層
	第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~9m)少量,ロームブロック(φ40m)微量
	第3層	10YR5/6	黄褐色土	ローム層(剥落)
SP-101	第1層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層
	第2層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量,ロームブロック(φ10~15m)少量
SP-102	第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)中量,ロームブロック(φ10~30m)少量
	第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)少量
	第3層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	ローム層
	第4層	10YR3/1	黒褐色土	ロームブロック(φ20~50m)少量
SP-104	第1層	10YR3/2	黒褐色土	ローム殻(φ1~2m)少量
	第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム殻(φ1~5m)中量,ロームブロック(φ10~15m)微量
	第3層	10YR3/3	暗褐色土	ローム殻(φ1~5m)中量,ロームブロック(φ10m)微量

IV-1  
C-1区

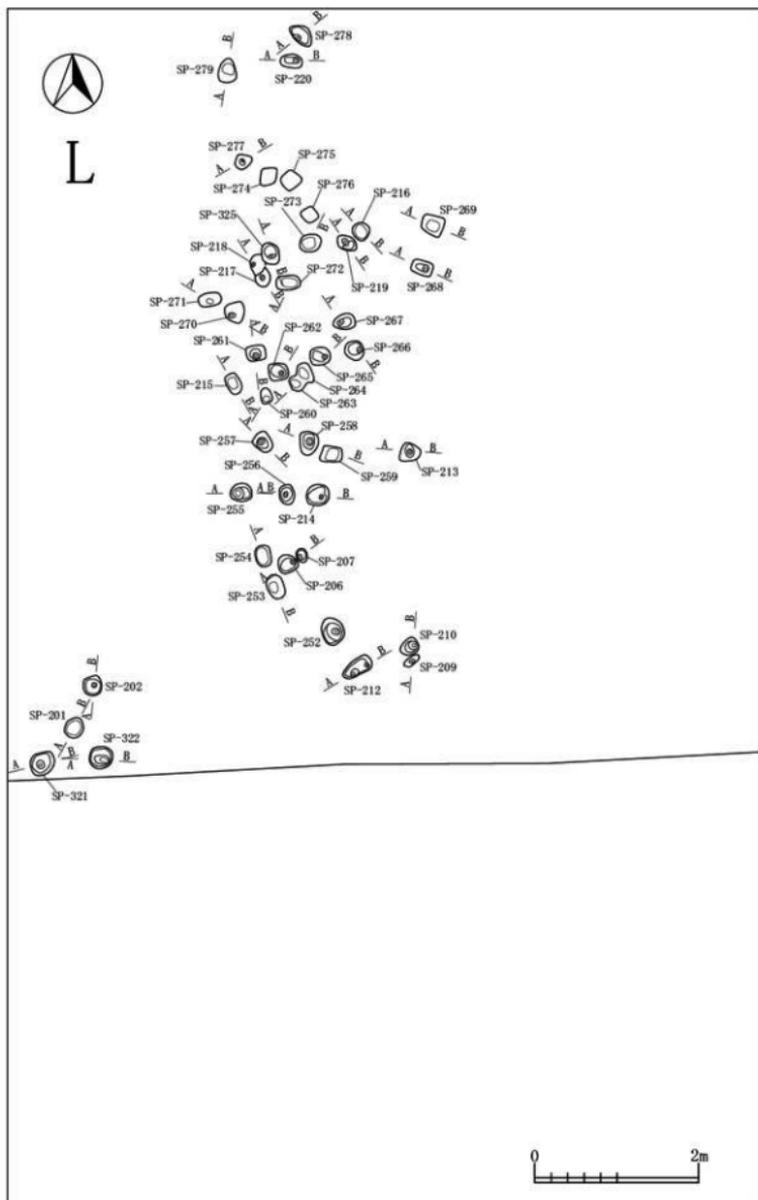


図 1-145 C-1 区 SP-25

## L

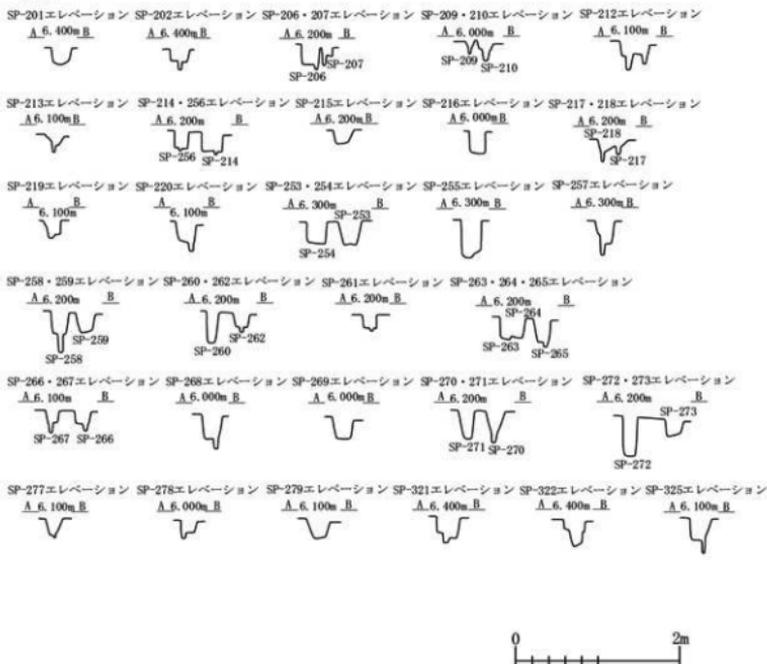


図 1-146 C-1 区 SP-26

## 5. 溝跡

SD-12 (図 1-147)

調査区北側で東西方向に走る本遺構を検出した。群在するピットより古く S1-04・SK-50 より新しい。また、本遺構は北側に位置する E 区で SD-52 として精査された溝跡と連続するものと判断される。調査区内では長さ 43.6m、幅 40~90cm、深さ 26~51cm を測る。覆土中から土師器甕、製塩土器、縄文土器などが出土している。

## 6. 遺構外出土遺物 (図 1-148)

6点図示した。C059の石匙以外は近代以降の資料主体である。C058は戦時中の防衛食容器で、蓋は出土していない。側面に「防衛食 防12 大日本防空食糧株式会社 社長 小澤専七郎 謹製」と記入されている。底面に文字が記入される資料があるが、本資料は記入されていない。



SD-12(セクション㉓)		SD-12(セクション㉔)	
第1層 10YR1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)散量	第1層 10YR1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)散量
第2層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)散量	第2層 10YR3/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)散量
第3層 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)中量	第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第4層 10YR4/4 黒色土	ロームブロック(φ10~30mm)少量	第4層 10YR3/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)中量
第5層 10YR5/6 黄褐色土	ローム粒(φ2mm)極微量、炭化粒(φ2~3mm)極微量	土本層序(セクション㉓)	
第6層 10YR5/6 黄褐色土	ローム層, 10YR2/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)散量、碎付土	
SD-12(セクション㉕)		表土A 10YR2/2 黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、焼土粒(φ1~2mm)少量、炭化粒(φ1~2mm)少量
第1層 10Y1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)散量	中間層C 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ2~5mm)中量、焼土粒(φ1~2mm)散量、炭化粒(φ1~2mm)散量
第2層 10YR1/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量	視瓦 10YR2/3 黒褐色土	ローム粒ブロック(φ1~20mm)中量、焼土粒(φ1~3mm)極微量、炭化粒(φ1~3mm)散量
第3層 10YR2/2 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量	第1層 10YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)少量、焼土粒(φ1~2mm)散入、炭化粒(φ1~3mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)少量		
第5層 10YR4/2 黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量		
第6層 10YR3/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~15mm)少量		
SD-12(セクション㉖)			
第1層 10Y1/7/1 黒色土	ローム粒(φ1~5mm)散量		
第2層 10YR1/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)散量		
第3層 10YR3/3 黄褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量		
第4層 10YR1/1 黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)散量		
第5層 10YR1/1 黒褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)中量		

遺構外出土遺物

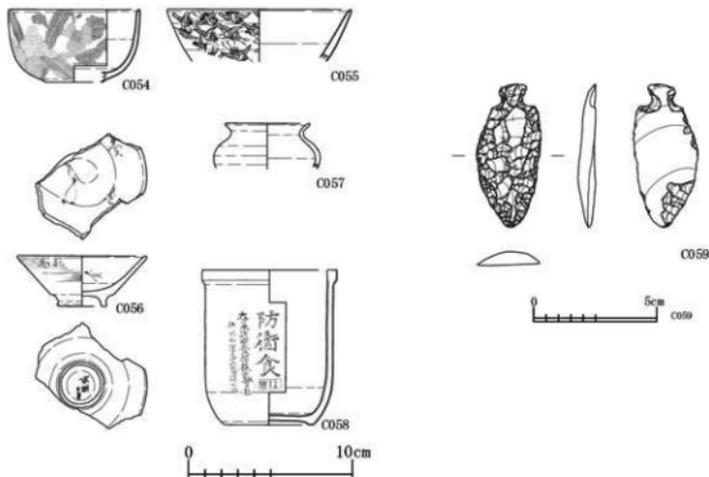


図 1-148 C-1区遺構外出土遺物

高間(1)遺跡C-2区遺構配置図 S=1/400

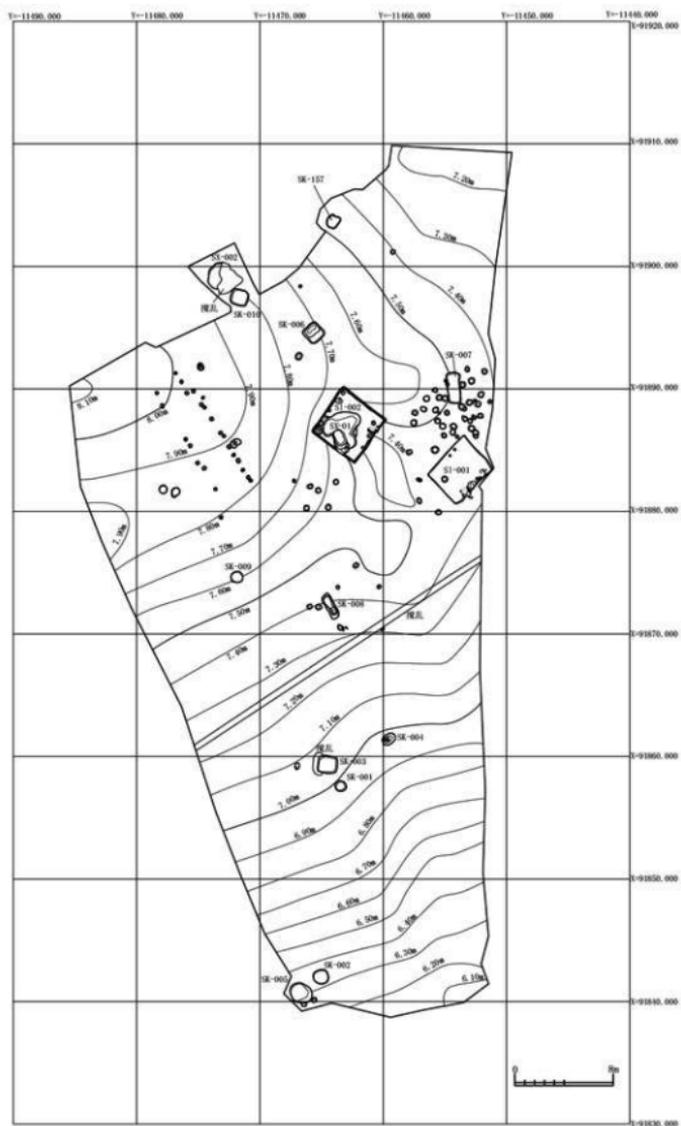


図 1-149 C-2区遺構配置図

## 第2節 C-2区

## 1. 竪穴住居跡

SI-001 (図1-150~156)

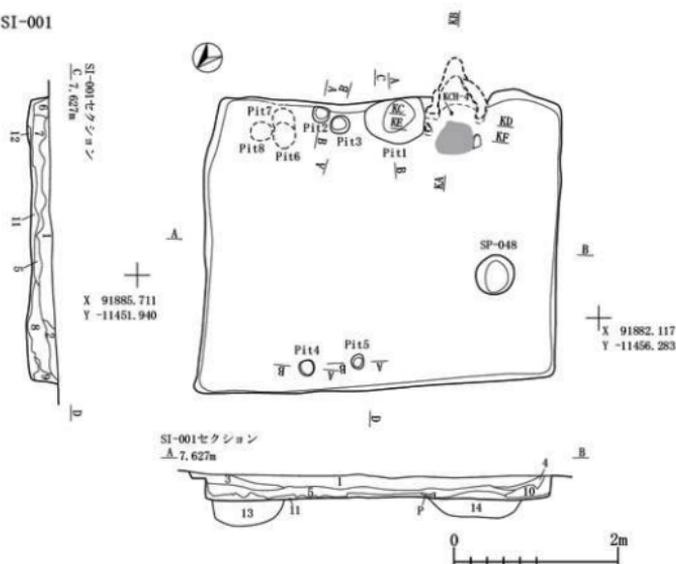
調査区東側から検出した。SP-048と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形長方形を呈し、430.0×360.0×34.0cmを測る。主軸方位はN-139°-Eである。壁溝はなく、ピットは床面から8基検出しており、カマド設置壁とその対面の壁寄りの部分から検出している。いずれも浅いピットで、支柱配置は不明である。Pit1はカマド脇ピットに相当する。堆積土は掘り方充填部分を含め14層に分層し、床面直上に堆積する第7層中と第1層からTo-a火山灰を検出してい

る。床面直上に堆積している第1層は炭化材の堆積層で、カマド設置壁寄り部分の残存が顕著である。

カマドは南3の位置から1基検出した。構造は半地下式で、袖幅70.0cm、煙道長48.0cmを測る。右袖にはKS-3とした礫を芯材としており、支脚は、KCH-4の位置から出土し、C082に図示した土製支脚が利用されている。煙道は、短煙道タイプで壁の中段を削り、壁際から若干緩やかに立ち上がり、煙出相当部が若干円んだ形状を呈し、緩やかに立ち上がる。出土物はカマド・カマド前庭部周辺に集中した出土状況を呈しており、遺構間接合資料を含め23点図示した。

C060は本遺構とC-2区のSX-001、及びE区のSI-21との遺構間接合資料の丸底の須

SI-001

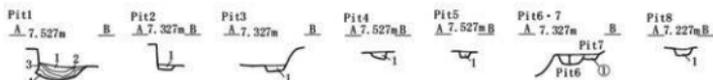


SI-001

第1層	10YR3/3	暗褐色土
第2層	10YR3/2	黒褐色土
第3層	10YR3/2	黒褐色土
第4層	10YR4/3	にぶい黄褐色土
第5層	10YR3/4	暗褐色土
第6層	10YR3/3	暗褐色土
第7層	5YR2/3	極暗赤褐色土
第8層	10YR4/4	褐色土
第9層	10YR3/3	暗褐色土
第10層	10YR3/4	暗褐色土
第11層	10YR3/3	暗褐色土
第12層	10YR4/6	褐色土
第13層	10YR4/6	褐色土
第14層	10YR3/4	暗褐色土

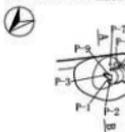
ローム粒(φ5~10mm)少量,ロームブロック(φ15~30mm)少量,  
焼土粒(φ5~10mm)微量,To-a火山灰微量  
ローム粒(φ3~10mm)中量,炭化粒(φ5~10mm)微量,  
焼土粒(φ5~10mm)微量  
ロームブロック(φ15~20mm)少量,炭化粒・炭化物(φ5~20mm)微量  
ローム粒(φ5~10mm)多量,炭化粒(φ3~5mm)微量  
ロームブロック(φ15~30mm)中量,炭化材(φ100~500mm)  
層下に混入  
焼土ブロック(φ15~40mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量  
焼土化したロームブロック(φ20mm)微量,炭化材(φ500mm)  
層下に混入,To-a火山灰微量,  
ロームブロック(φ15~30mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量  
ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量  
ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量,  
焼土粒(φ5~10mm)少量  
炭化材層 焼土粒(φ5~10mm)少量  
ローム粒(φ3~5mm)微量  
ローム粒(φ5~10mm)多量,ロームブロック(φ15~30mm)少量,  
炭化粒(φ5~10mm)少量  
ロームブロック(φ15~50mm)少量,ローム粒(φ3~10mm)多量,  
炭化粒(φ5~10mm)少量

図1-150 C-2区 SI-001-1

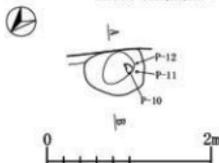


Pit1		
第1層	10YR4/6 褐色土	焼土化したロームブロック(φ30~50mm)中量
第2層	10YR3/3 暗褐色土	灰(φ30mm)ブロック状に混入、焼土化したロームブロック(φ10~20mm)少量、炭化物(φ30~50mm)少量
第3層	7.5YR3/4 暗褐色土	焼土粒(φ5~10mm)微量、炭化粒(φ3~5mm)微量
第4層	10YR4/4 褐色土	粘土層(大粒ローム) 焼土粒・ブロック(φ5~30mm)中量、炭化粒(φ5~10mm)少量
Pit2		
第1層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ3~10mm)微量、炭化粒(φ3~5mm)微量
Pit3		
第1層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ5~10mm)少量、焼土粒(φ3~10mm)微量、炭化粒(φ3~5mm)微量
Pit4		
第1層	10YR3/4 暗褐色土	ロームブロック(φ50mm)混入、ローム粒(φ5~10mm)微量、炭化粒(φ3~5mm)微量
Pit5		
第1層	10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ5~10mm)少量、炭化粒(φ3~5mm)微量
Pit6		
第1層	10YR4/6 褐色土	ロームブロック(φ20~30mm)少量、炭化粒(φ3~5mm)少量
Pit7		
第①層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ3~5mm)少量、炭化粒(φ3~5mm)微量
Pit8		
第1層	10YR3/4 暗褐色土	ローム粒(φ5~10mm)少量、炭化粒(φ3~5mm)微量

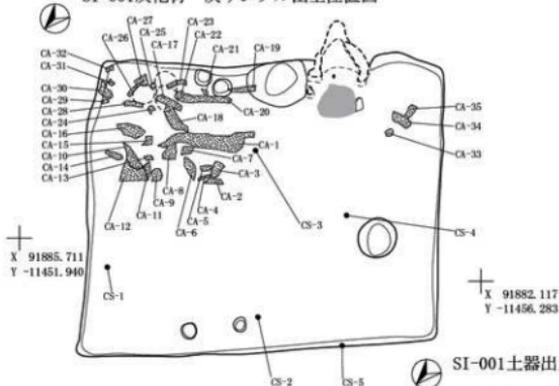
SI-001Pit1土器出土位置図-1



SI-001Pit1土器出土位置図-2



SI-001炭化材・炭サンプル出土位置図



SI-001土器出土位置図(炭化材下)

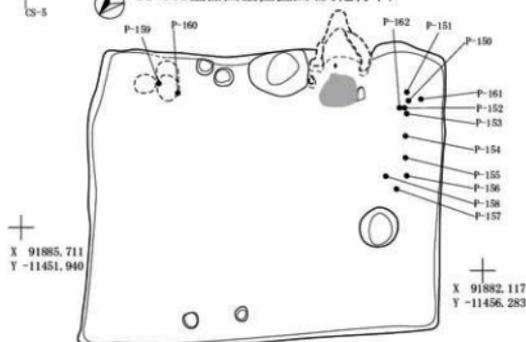
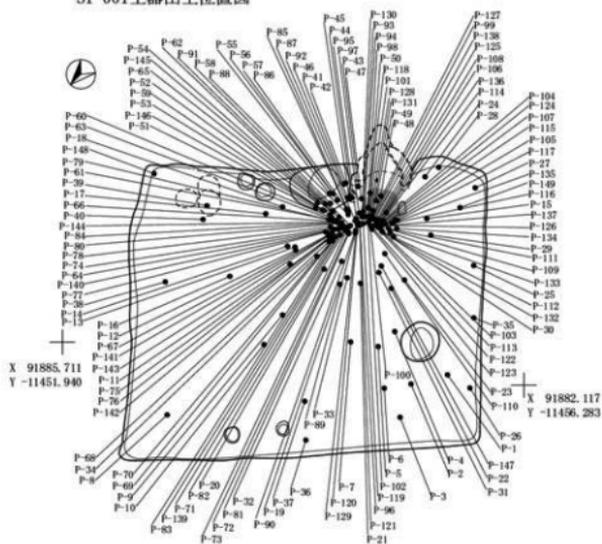


図 1-151 C-2区 SI-001-2

SI-001土器出土位置图



SI-001石器・鉄関連遺物・土製品・羽口出土位置图

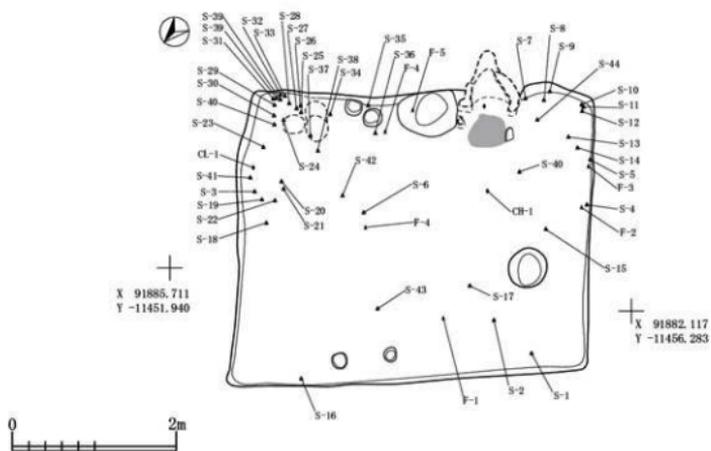
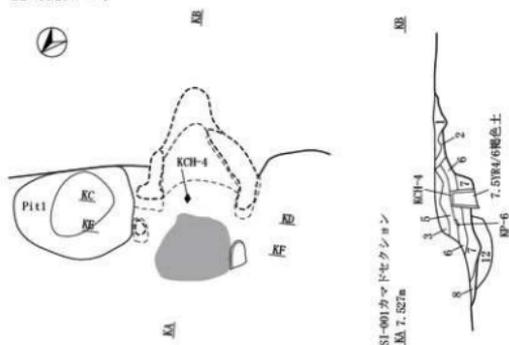


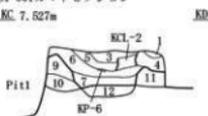
图 1-152 C-2区 SI-001-3

SI-001カマド



SI-001カマドセクション

KC 7.527m



SI-001カマドセクション

KB 7.527m



SI-001カマド

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 第1層 7.5YR3/4 暗褐色土  | 焼土ブロック(φ15~20mm)微量, ローム粒(φ5~10mm)微量, 炭化粒(φ3~5mm)微量                 |
| 第2層 7.5YR2/3 極暗褐色土 | 焼土粒(φ3~5mm)少量, 炭化粒(φ3~5mm)微量                                       |
| 第3層 7.5YR5/6 明褐色土  | ローム粒(φ3~10mm)少量, 焼土粒(φ5~10mm)少量                                    |
| 第4層 5YR3/6 暗赤褐色土   | 炭化粒(φ5~10mm)微量   |
| 第5層 5YR4/8 赤褐色土    | ローム粒(φ5~10mm)少量, 焼土粒(φ5~10mm)少量                                    |
| 第6層 5YR3/4 暗赤褐色土   | 天井崩落 炭化粒(φ3~5mm)少量   |
| 第7層 7.5YR3/4 暗褐色土  | 焼土粒(φ5~10mm)少量, 炭化粒(φ5~10mm)微量                                     |
| 第8層 10YR2/3 黒褐色土   | 炭化粒(φ5~10mm)微量   |
| 第9層 7.5YR4/6 褐色土   | 炭化粒(φ3~5mm)微量 内側被熱している   |
| 第10層 10YR3/4 暗褐色土  | ローム粒(φ5~10mm)少量, ロームブロック(φ15~25mm)微量, 炭化粒(φ3~5mm)微量, 焼土粒(φ3~5mm)微量 |
| 第11層 7.5YR3/4 暗褐色土 | 焼土粒(φ3~10mm)少量, 炭化粒(φ3~5mm)微量                                      |
| 第12層 5YR4/6 赤褐色土   | 火床面 ローム粒(φ5~10mm)少量  |

SI-001カマド土器・石器・羽口出土位置図

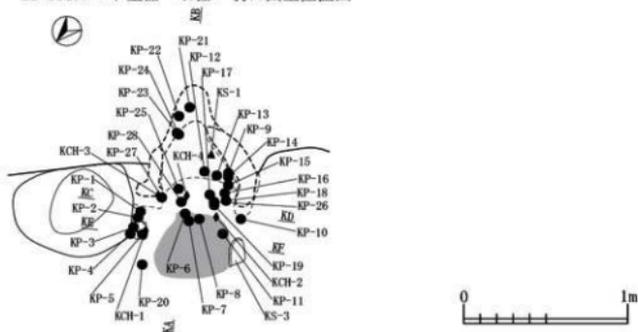
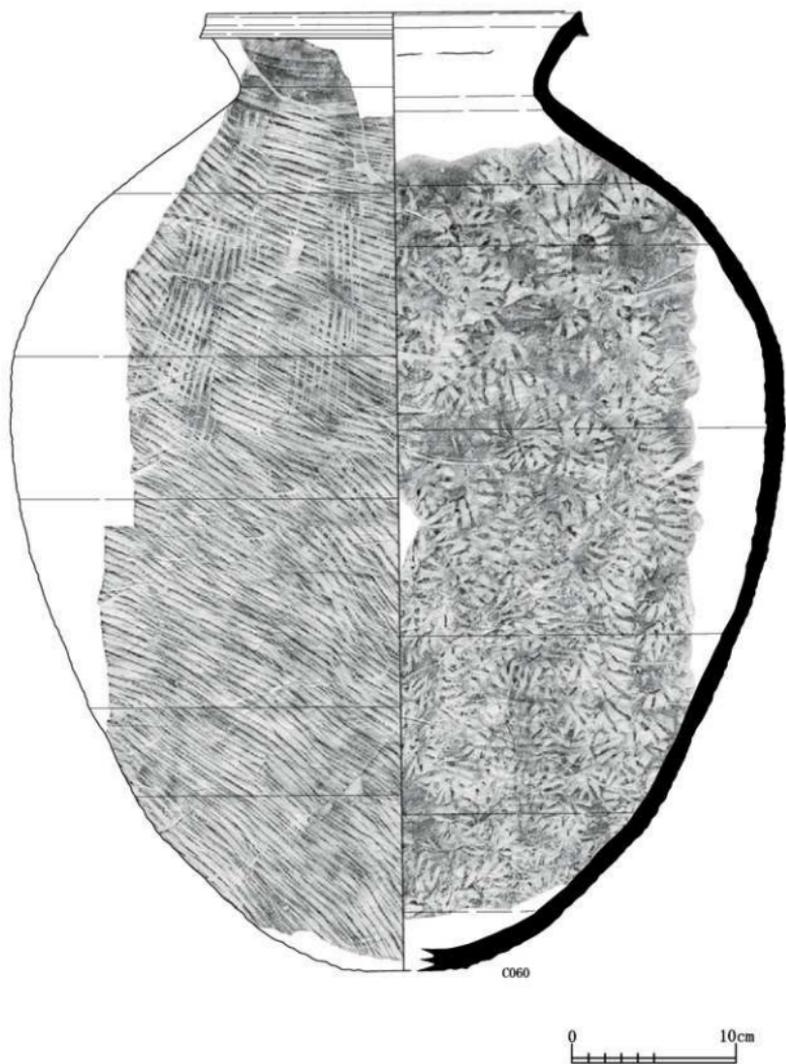


図1-153 C-2区SI-001-4

SI-001+SX-001+E区SI-21



IV-2  
C-2区

图 1-154 C-2区 SI-001-5

恵器甕で、口径2.2.8 cm、器高5.8.5 cm、底径(7.0) cmを測る。非五所川原産の焼成不良品で同質の資料は本調査区以外にE・G区などの遺構から出土している。本資料は他の出土資料に比べると残存状況が良い。外面の底部～体部中半までが平行叩きで、3 cmあたりの条数が7で、幅が広い。体部上半は平行叩きが横方向になり、一部交差した叩きを入れ交差叩きとしている箇所があるが、まばらな印象を与える。内面は放射状の当て具(蓮藕文)で、外面の平行叩きに対応した底部～体部中半まで密度が高く、交差叩きに加わる体部上半は密度がややまばらになる。口唇部は面取りがされ、台形状に内傾した端部で、口唇端部は三角形に突出した端部である。第1層出土のC061は、五所川原産須器長頸瓶の頭～体部にかけての資料で頸部に刻書が付されている。カマド第5層およびカマド脇ピットに相当するPit1出土の接合資料であるC062は口径1.3.2 cm、器高5.6 cm、底径5.6 cm、器高・底径指数4.2.4を測る。やや粘りのある胎土で、底部から開き気味に立ち上がり途中角度を変え、上に持ち上げるようにしているが中半から伸ばし上げるように立ち上げている。同じくカマド第5層出土のC063は、口径1.3.2 cm、器高5.7 cm、器高4.8 cm、器高指数4.3.1、底径指数3.6.3を測る。桶形で体部下半から丸みを帯び立ち上がるが、体部下半はそれほど目立った突出はなく、口唇部が丸みを帯び肥厚化している。煮炊具のうちC064は第1・7層およびカマド第5層出土の非クロコ甕で、口径2.2.4 cm、器高2.7.4 cm、底径1.0.2 cmを測る。短頸で、口径と体部上半の径がほぼ同じくらいで、底部は台状に作られている。内外面とも縦方向のヘラによる調整で、ストロークの長い調整がされている。口縁部は頸部を肥厚化させ、内面を三角形にシャープに突出させており、体部との境界を明瞭にさせている。口唇部は折り曲げた程度の状況であるが、外面側では肥厚化した頸部から連続した立ち上がりとなっており、通常の外反の弱い短めの頸部という印象を持たせる器形である。本遺構から出土した甕はいずれも堆積土第7層・カマド第5層以上のTora火山灰降灰後廃棄された資料主体で、口縁部の肥厚化が顕著な資料が多い。C068は第1・7層出土の平底の場で、口径3.6.3 cm、器高1.3.8 cm、底径1.1.5 cmを測る。底面は網状の木葉痕で、甕形の器形を下に潰したような造りで、厚みがある。口縁部は折れを有するが、倒置した際に重量で潰れたのか部分的に外反が強い箇所がある。外面の体部調整は縦方向のヘラ、内面は横方向のナゲで、甕と同様の調整がなされている。C069は第5層出土の小型土器、C070～C080は弥生時代中期の

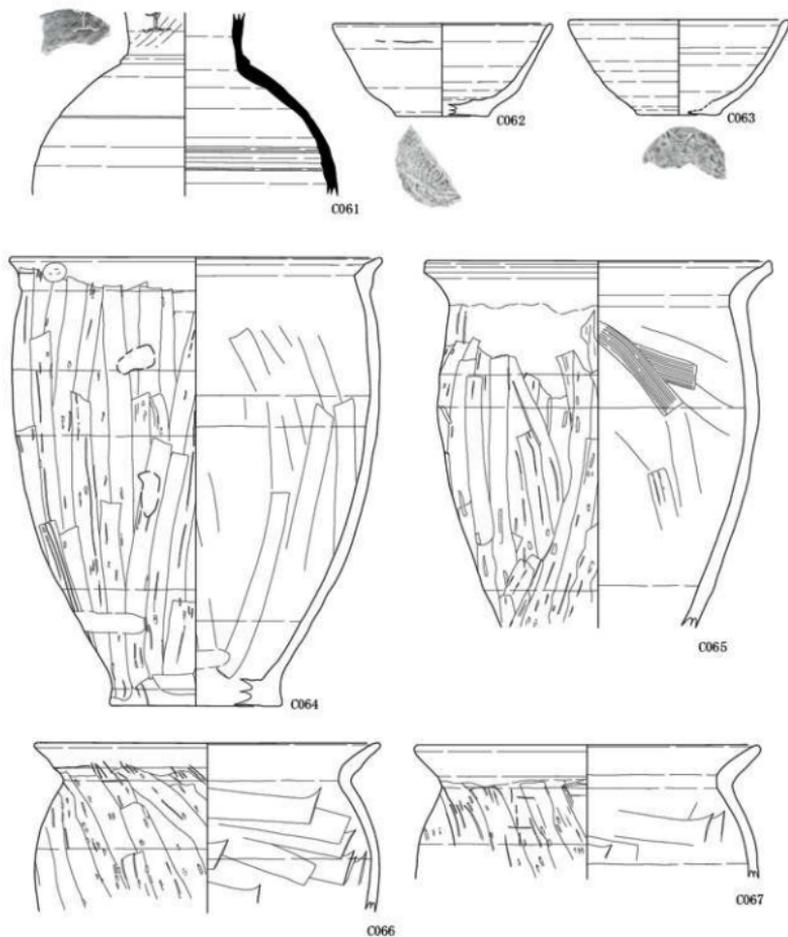
甕の破片、C081は同じく弥生時代中期の付き甕か鉢の脚部である。カマド支脚のC082は上径9.5 cm、器高1.6.4 cm、下径9.6 cmを測る。透かしの切り込みが鋭利な工具で入れられている。

#### S1-002 (図1-157～160)

調査区中央よりやや北側の位置から検出した。SX-001、SP-073と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は方形を呈し、4.5.1.0×4.5.0.0×1.4.0 cmを測る。主軸方位はN-12.7°-Eである。ピットは竅穴内から7基検出している。カマド設置壁の対面側のPit2とカマド設置部分の下部にPit7(図1-159の掘り方で図示)が所在しており、SX-001扱いの穴状の部分を含め、一部ピットの確認がたいもの、元々は4本柱であった可能性がある。ただし、カマド使用時にPit7が柱穴として機能した可能性が弱い。Pit1・3・4などの浅い支柱穴が機能した可能性がある。壁溝はカマド設置部分を除き全周する形で検出した。堆積土は掘り方を含めて5層に分層し、一部削平により十分な堆積状況が確認できない部分が見られるが、ブロック混じりの急激な埋め戻しによる堆積状況を呈している。SX-001の掘削についてはS1-002の埋没が進んだ状態で上面から掘削が開始されている。

カマドは南東2の位置から検出した。左袖が欠損しているが、芯材の礫が残存しており、袖部幅(80.0) cm、煙道長8.0 cmを測る。短煙道タイプで、支脚としてC090に図示した土製支脚が設置されている。左袖部が破壊されているのか前庭部の左側で焼土が面的に検出されている。出土遺物は遺構間接合資料を含めて9点図示したが、C083は五所川原産の長頸瓶で口径1.2.8 cmを測る。刻書は外面頸部直下の体部上半に細い刻線が付けられている。C084は第3層出土の須器器坏の底部資料で、底径5.8 cmを測る。外面に火痺痕があり、細い工具で刻書が刻まれている。C085は第3層出土の土師器碗で、口径1.4.0 cm、器高5.7 cm、器高6.2 cm、器高指数4.0.7、底径指数4.4.2を測る。底径幅がやや広く、外面の稜段が顕著な対応で、口唇は丸みを帯び立ち上がる。土師器煮炊具は第1層出土のC086は廃棄資料で、S1-001出土のの資料と比較可能な資料で、カマド出土のC087は口縁部の折れがルーズで、口唇部を先細りにさせた上で軽く外反させている程度である。カマド支脚として設置されていたC090は上径10.3 cm、器高1.3.4 cm、下径10.6 cmを測る。S1-001の切り込みに比べると高さが3 cmほど低く、透かしの切り込みもやや広めで逆U字形を呈する。

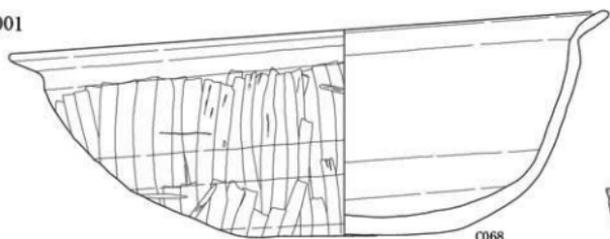
SI-001



IV-2  
C-2区

图 1-155 C-2区 SI-001-6

SI-001



C068



C069



C070



C072



C073



C074



C075



C076



C077



C071



C078



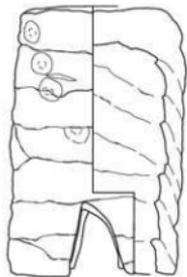
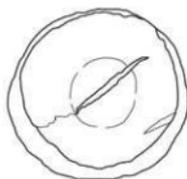
C079



C080



C081

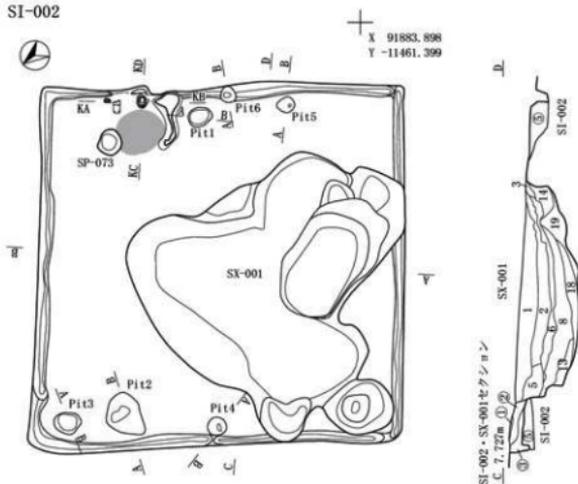


C082



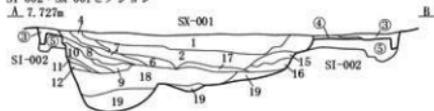
図 1-156 C-2区 SI-001-7

SI-002



X 91890.516  
Y -11464.109

SI-002・SX-001セクション



SI-002

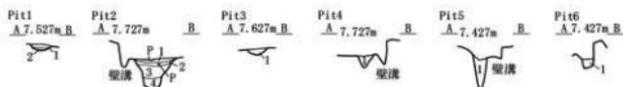
- |     |              |  |
|-----|--------------|--|
| 第①層 | 10YR3/3 暗褐色土 | ローム粒(φ3~10mm)少量,ロームブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量         |
| 第②層 | 10YR3/4 暗褐色土 | ロームブロック(φ15~30mm)多量,炭化粒(φ10mm)微量 胎落土                       |
| 第③層 | 10YR3/2 黒褐色土 | ローム粒(φ5~10mm)少量,ロームブロック(φ20mm)微量,炭化粒(φ5mm)微量,焼土粒(φ3~5mm)微量 |
| 第④層 | 10YR3/2 黒褐色土 | ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量                             |
| 第⑤層 | 10YR3/2 黒褐色土 | ローム粒(φ3~10mm)多量,ロームブロック(φ10~50mm)中量                        |

SX-001

- |      |                            |   |
|------|----------------------------|---|
| 第1層  | 10YR3/3 暗褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)微量,ロームブロック(φ20~50mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量, To-a火山灰微量 |
| 第2層  | 10YR3/2 黒褐色土               | ローム粒(φ5~10mm),炭化粒(φ5~10mm)微量,焼土粒(φ5~10mm)微量, To-a火山灰微量        |
| 第3層  | 10YR3/2 黒褐色土               | ローム粒(φ5mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量                                   |
| 第4層  | 10YR3/3 暗褐色土               | ローム粒(φ3~5mm)少量,焼土粒(φ3~5mm)微量                                  |
| 第5層  | 10YR3/4 暗褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量                                |
| 第6層  | 7.5YR4/6 褐色土               | 粘土(大谷ローム),炭化粒(φ5~10mm)微量                                      |
| 第7層  | 10YR3/4 暗褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)中量,ロームブロック(φ15~20mm)少量                           |
| 第8層  | 10YR3/2 黒褐色土               | ロームブロック(φ15~30mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量,焼土粒(φ5~10mm)少量             |
| 第9層  | 10YR3/3 暗褐色土               | ロームブロック(φ20~40mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量                            |
| 第10層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土            | ローム粒(φ5~10mm)少量,ロームブロック(φ30mm)微量                              |
| 第11層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土            | ロームブロック(φ10~20mm)多量   |
| 第12層 | 10YR3/2 黒褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量                                |
| 第13層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土            | ロームブロック(φ10~30mm)多量   |
| 第14層 | 10YR5/4 にぶい黄褐色土            | 粘土(月見野ローム),炭化粒(φ5~10mm)微量                                     |
| 第15層 | 10YR3/4 暗褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ3~5mm)微量,焼土粒(φ5~10mm)微量                  |
| 第16層 | 10YR3/3 暗褐色土               | ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化物(φ10~30mm)微量,焼土粒(φ3~5mm)微量                 |
| 第17層 | 7.5YR4/6 褐色土               | ロームブロック(φ15~20mm)微量   |
| 第18層 | 10YR4/6褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 | 炭化粒(φ3~5mm)微量,焼土粒(φ3~5mm)微量,ローム粒(φ3~10mm)微量                   |
| 第19層 | 10YR4/6 褐色土                | 焼土粒(φ5~10mm)微量  |

IV-2  
C-2区

図 1-157 C-2区 SI-002-1



- Pit1  
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量, 焼土粒(φ1~3mm)極微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量
- Pit2  
 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒微量
- Pit2  
 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)微量, 焼土粒・ブロック(φ3~30mm)少量, 炭化粒(φ3~10mm)少量
- Pit2  
 第2層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ5mm)微量, 焼土粒(φ1~3mm)微量
- Pit2  
 第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ローム粒(φ1~10mm)微量
- Pit2  
 第4層 10YR2/3黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 ローム粒(φ1~10mm)微量
- Pit3  
 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒・ブロック(φ3~15mm)少量, 焼土粒(φ1~10mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
- Pit4  
 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)少量, 炭化粒(φ5mm)微量, 焼土粒(φ3mm)微量
- Pit5  
 第1層 10YR2/1黒色土と10YR4/6褐色土の混合土 ローム粒(φ3~10mm)少量, 炭化粒(φ3~10mm)微量
- Pit6  
 第1層 10YR3/3暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 ローム粒(φ3~10mm)微量

SI-002土器・石器・鉄関係・土製品・Pit2土器出土位置図, 炭化物範囲

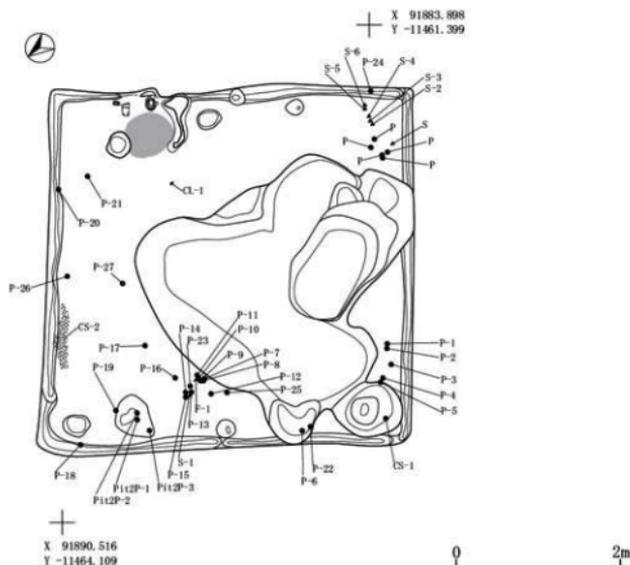


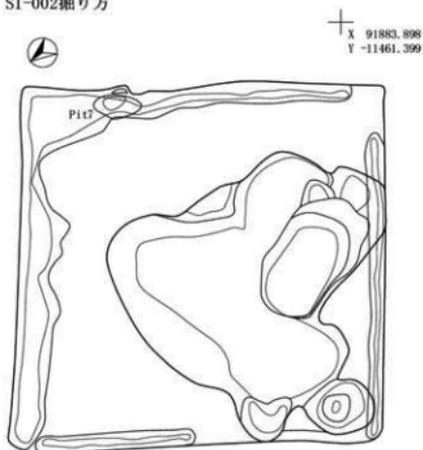
図 1-158 C-2区 SI-002-2

SI-002焼土範囲



+ X 91890.516  
Y -11464.109

SI-002掘り方

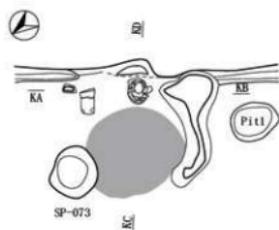


+ X 91890.516  
Y -11464.109

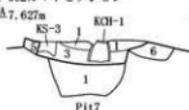
IV-2  
C-2区

図 1-159 C-2区 SI-002-3

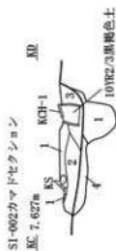
SI-002カマド



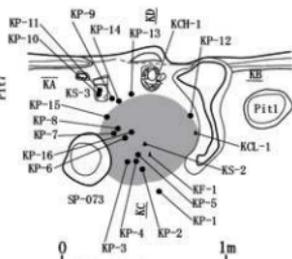
SI-002カマドセクション  
KA 7.627m



- SI-002カマド
- |      |          |         |
|------|----------|---------|
| 第1層  | 2.5YR3/4 | 暗赤褐色土   |
| 第2層  | 5YR4/4   | にじみ赤褐色土 |
| 第3層  | 10YR2/3  | 黒褐色土    |
| 第4層  | 2.5YR4/6 | 赤褐色土    |
| 第5層  | 10YR3/4  | 暗褐色土    |
| 第6層  | 10YR4/3  | にじみ黄褐色土 |
| P117 |          |         |
| 第1層  | 10YR2/3  | 黒褐色土    |

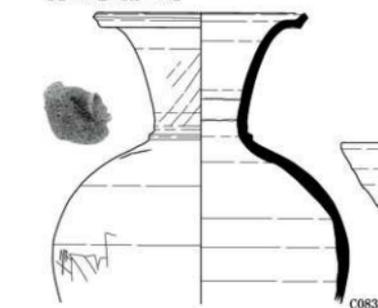


SI-002カマド土器・石器・  
鉄関連遺物・土製品出土位置図



- 焼土粒(φ1~10mm)少量, 焼土ブロック(φ10~40mm)少量  
 ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量, 焼土粒(φ3~10mm)少量,  
 炭化粒(φ5mm)微量  
 火床面  
 焼土粒(φ1~3mm)微量  
 ローム粒(φ3~10mm)微量, ロームブロック(φ50mm)微量  
 ローム粒(φ3~10mm)微量, ロームブロック(φ10~30mm)少量,  
 焼土粒(φ1~3mm)微量

SI-002+SX-001



SI-002

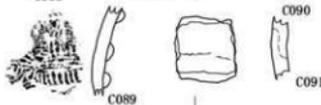
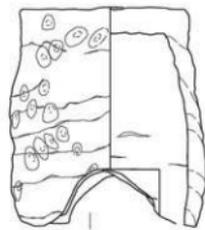
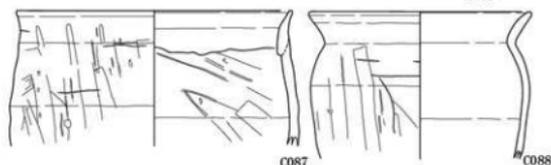
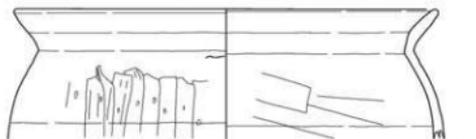
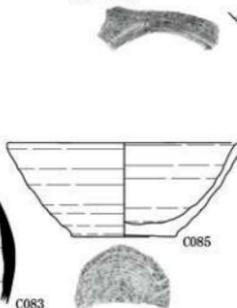


図 1-160 C-2区 SI-002-4

## 2. 土坑

## SK-001 (図1-161)

調査区中央から南側の位置から検出した。平面形は楕円形を呈し、 $95.0 \times 85.0 \times 24.0$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層に分層し、ローム粒などが混入した自然堆積状況を呈する。

## SK-002 (図1-161)

調査区南端から検出した。平面形は楕円形を呈し、 $119.0 \times 116.0 \times 19.0$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は4層に分層し、中段の第2層はローム主体の堆積土で、流れ込みに伴う自然堆積状況を呈する。

## SK-003 (図1-161)

調査区中央から南側の位置から検出した。平面形は隅丸方形を呈し、 $157.0 \times 143.0 \times 25.0$  cmを測る。断面形は壁上部の一部で緩やかに立ち上がる形状で、堆積土は4層に分層し、底面直上に炭化物層を検出し、底面の一部が焼けていることから、本遺構は製炭土坑である。

## SK-004 (図1-161)

調査区中央から南側の位置で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $120.0 \times 83.0 \times 88.0$  cmを測る。断面形は柱穴状を呈し、西側が柱痕状に下がり、東側がテラス状に立ち上がる。堆積土は1層に分層し、ブロック主体の埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

## SK-005 (図1-162)

調査区南端から検出した。SP-070と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形楕円形を呈し、 $190.0 \times 159.0 \times 41.0$  cmを測る。断面形は底部の一部に凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所が多いが、一部は袋状を呈する。堆積土は1層に分層されているが、記録写真を確認したところ、SP-070に近い壁寄りの部分では崩落ブロックが伴っており、堆積土も単層ではなく、上下で色調が異なり、上層は黒味が強い堆積土、下層は赤みが強い黒色土が堆積している。自然堆積状況を呈する。

## SK-006 (図1-162)

調査区中央から北寄りの部分で検出した。平面形は隅丸方形を呈し、 $146.0 \times 140.0 \times 26.0$  cmを測る。掘り方を有する土坑で、掘り方の深さは $56.0$  cmを測る。断面形は底面が凹凸があり、垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やか

に立ち上がる部分がある。また掘り方は北側の部分が深く掘り込まれ段差が生じている。深く掘り込まれた側の底面の一部にはブロックが主体を占める土が充填され、その上位にはブロックの混入量が多い暗褐色土が充填されている。第3層の上面を底面としており、その上位に堆積する第2層は炭化物層に相当し、本遺構は製炭土坑である。堆積土中から土器・鉄滓等の出土があったが、いずれも破片で土器は土師器製の体部片主体であった。

## SK-007 (図1-162)

調査区中央から東寄りの位置から検出した。SP-012・022と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は長方形を呈し、 $252.0 \times 111.0 \times 17.0$  cmを測る。断面形は箱形を呈し、垂直に近い形で立ち上がる。底面は北側が少し隆起した形状である。堆積土は1層に分層し、ブロック混じりの人為的埋め戻しに伴う堆積状況である。

## SK-008 (図1-162)

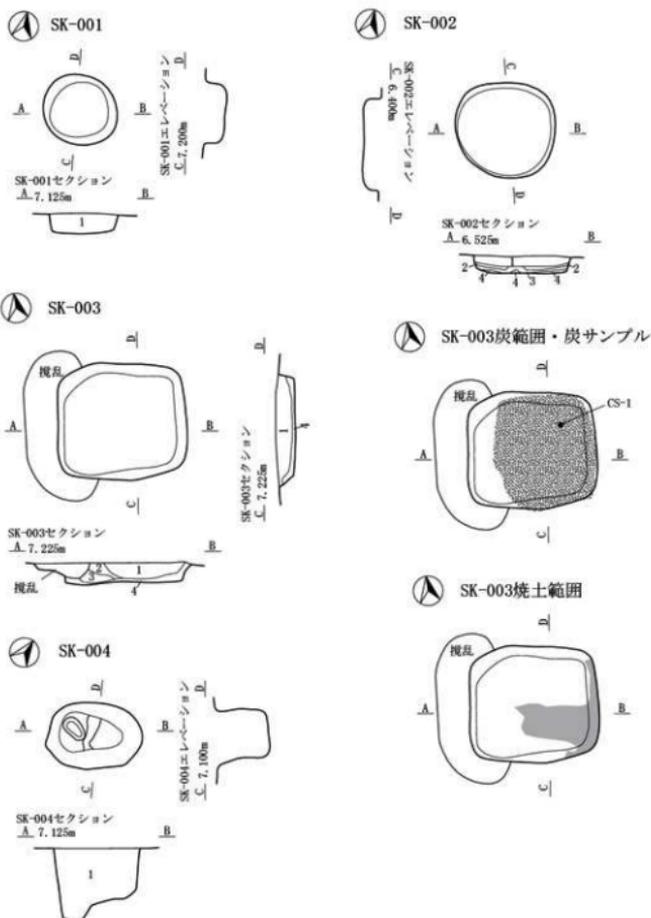
調査区中央から検出した。平面形は溝状の細長い長方形を呈しており、 $207.0 \times 75.0 \times 54.0$  cmを測る。また本遺構の南側の底部にはピット状の掘り方があり、深さ $97.0$  cmを測る。断面形は段状に立ち上がる形状で、掘り部分は柱穴状を呈する。壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は6層に分層し、ピット状の掘り方が埋没してから再掘削され土坑状の掘り方がなされている。埋没は埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈し、中位に相当する第2層中ではP-2・P-3の位置からC092とC093の土師器碗2点が重なって出土した。また、同一層のP-1の地点からC094の椀土器の小壺が出土しており、廃棄ではなく、設置されたような出土状況である。

## SK-009 (図1-163)

調査区中央から西寄りの位置から検出した。平面形は不整形形を呈し、 $100.0 \times 90.0 \times 13.0$  cmを測る。断面形は円筒形で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は1層で、ローム粒が混入する自然堆積状況を呈する。

## SK-010 (図1-163)

調査区北端から検出した。SX-002を切る擾乱に本遺構の壁も影響を受けているが、直接遺構同士の切り合い関係はない。平面形は隅丸方形で、 $143.0 \times 128.0 \times 34.0$  cmを測る。断面形は擾乱の影響を受けている部分は変形が見られるが、それ以外の部分の壁は垂直に近い形で立ち上



- SK-001  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量
- SK-002  
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)微量, ロームブロック(φ20~50mm)微量  
第2層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 ローム層  
第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量  
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量
- SK-003  
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量, ロームブロック(φ20~30mm)微量, 炭化粒(φ5~10mm)微量  
第2層 10YR1 7/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)少量, 炭化粒(φ5~10mm)微量  
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)中量, 炭化粒(φ10mm)微量  
第4層 10YR1 7/1 黒色土 炭化物層 ロームブロック(φ15~20mm)微量
- SK-004  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)多量, ロームブロック(φ20~70mm)多量

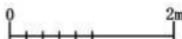


図 1-161 C-2 区 SK-1

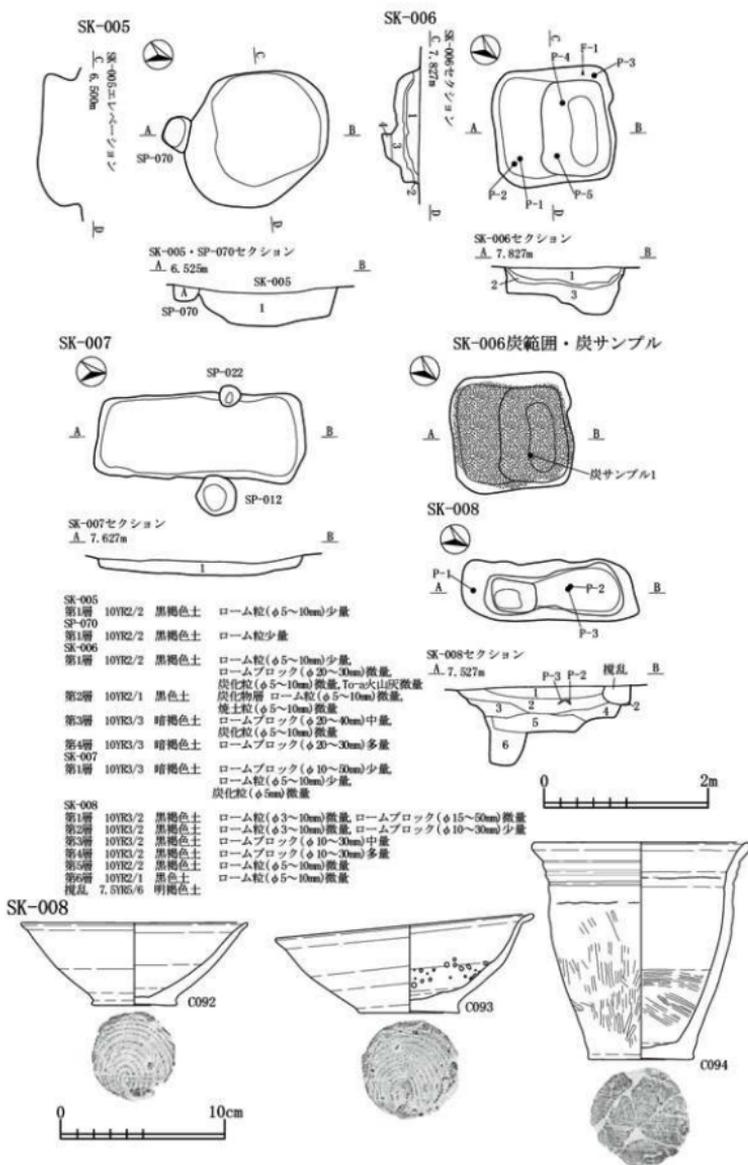


図 1-162 C-2区 SK-2

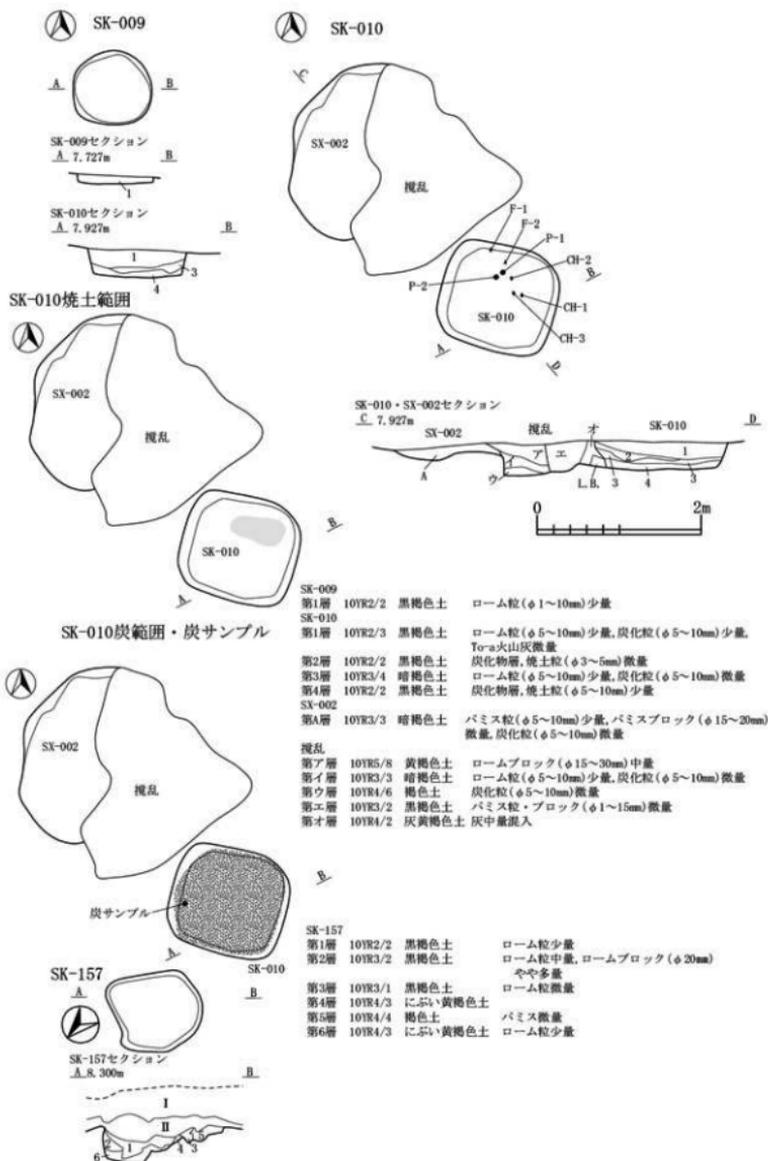


図 1-163 C-2区 SK-3

がっている。堆積土は4層に分層し、最下層の第4層は炭化物層で、本遺構は製炭土坑である。また第1層中からT<sub>0-a</sub>火山灰を粒状に検出した。

#### SK-157 (図1-163)

調査区北側で検出した。平成17年(2005)のE区の調査時に北側半分の精査が済み、平成20年(2008)の調査時に再度検出し、南側残り半分の精査を行っている。平面形は不整形を呈し、120.0×105.0×46.0cmを測る。断面形は凹凸のある形状で、堆積土は6層に分層し、崩落の伴う堆積状況を呈する。

### 3. その他の遺構

#### SX-001 (図1-164・165)

調査区中央よりやや北側の位置から検出した。S1-002と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形を呈し、331.0×317.0×95.0cmを測る。断面形は凹凸の顕著な形で、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分が多く見られる。記録写真を確認したところ、遺構精査に不十分な部分が認められ、暫定的に図1-164中に「P i t - a」と付した部分についてはセクションラインE-Fの掘り方としては柱穴状の落ち込みが認められる。S1-002の記述の際に柱穴の存在の可能性を指摘しているが、状況的には確立が高いものと思われる。また、重複するS1-002の床面より若干下がった部分ではカマド状に焼土化した土が写真上では記録されており、SX-001の使用時には焼成が伴っていた可能性がある。記録土層がなく、根拠がない状況であるが、D-2区でS1-59と重複するS1a-02(調査時SK-313)は古い堅穴よりも小型なカマド付きの堅穴建物を建築している事例などもあり、本遺構についても土層堆積図を確認すると可能性を有する堆積が部分的に確認できる。ただし、調査時に十分な検討がなされていない分層図であるため、可能性を指摘するのみに留め記録図については調査時の情報を優先とした掲載とした。堆積土は19層に分層し、第1・2層中からT<sub>0-a</sub>火山灰を検出している。

堆積土中から多量の土器片や鉄滓・自然礫等が出土したが、図示したのはC095の土師器椀、C096の縄文時代中期の口縁部片、C097の土製支脚の破片である。C095は、第2・8層出土の土師器椀で、口径13.8cm、器高5.1cm、底径5.8cm、器高指数36.9、底径指数42.0を測る。底径幅がやや広い椀形で、丸みを帯びた膨らみは体部中半で顕著で、口縁部は端反気味に軽く段を持たせ外反させている。

#### SX-002 (図1-165)

調査区北端で検出した。視乱により破壊されており、全体形等の情報の詳細は不明であるが、残存部分で(楕円形)を呈し、226.0×(116.0)×14.0cmを測る。断面形は凹凸があり壁は緩やかに立ち上がっている。堆積土は1層に分層し、自然堆積状況を呈している。視乱部分については隣接するSK-010の壁面にも食い込み形で、本根等も含むことから倒木痕である可能性がある。

#### 4. ビット (図1-166～169)

調査区内から93基検出した。分割図Aで提示した幅2.5m、長さ11.5m程度の二列の柱列が認められるが、調査前の地割とは異なった軸線で、C-1区で検出した神社関連のビット群とも近似した軸線であることから同時期の可能性がある。また、分割図Dで図示したビットについても同一地点の漸進な群集にも見えるが、軸線としては分割図Aの柱列とも平行する軸線であり、同時期の所産の可能性がある。個別の遺構情報を遺構観察表にまとめ掲載している。

#### 5. 遺構外出土遺物 (図1-169)

3点図示した。C098・C099はいずれも視乱出土の同一個体の可能性の高い縄文土器の破片で、縄文時代中期の円筒土層4式期に属する。C100は包含層出土の土師器小甕で口径12.6cmを測る。口径12.6cmを測る。内面頸部に煮炊痕が見られ、口縁部は口唇端部を折り返すように捻り返している。

SX-001

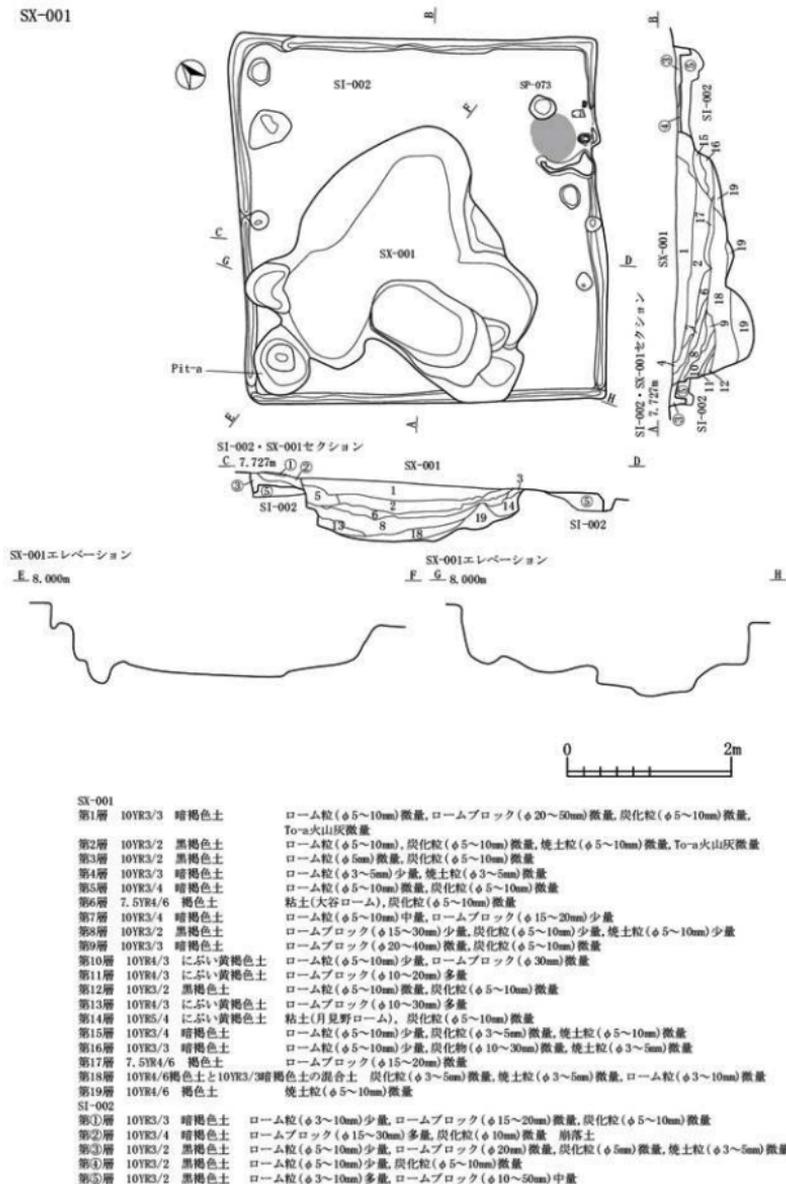
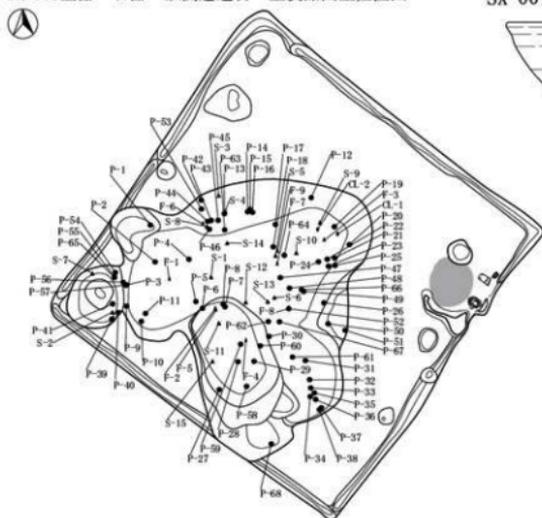
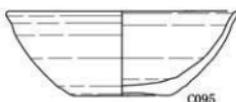


図 1-164 C-2 区 SX-1

SX-001土器・石器・鉄関連遺物・土製品出土位置図



SX-001



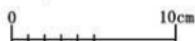
C095



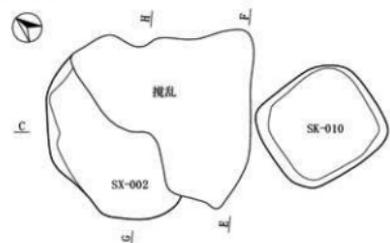
C096



C097



SX-002



SX-002・SK-010セクション  
C. 7.927m



SX-002

第A層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ5~10mm)少量,パミスブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量

視乱 10YR5/8 黄褐色土 ロームブロック(φ15~30mm)中量

第イ層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量

第ウ層 10YR4/6 褐色土 炭化粒(φ5~10mm)微量

第エ層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒・ブロック(φ1~15mm)微量

第オ層 10YR4/2 灰黄褐色土 灰中量混入

第カ層 10YR5/6 黄褐色土 炭化物(φ10~15mm)微量

SK-010

第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量, To-a火山灰微量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 炭化物,焼土粒(φ3~5mm)微量

第3層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量

第4層 10YR2/2 黒褐色土 炭化物,焼土粒(φ5~10mm)少量



SX-002+セクション  
上. 7.927m



図 1-165 C-2区 SX-2

高間(1)C-2区SP配置図

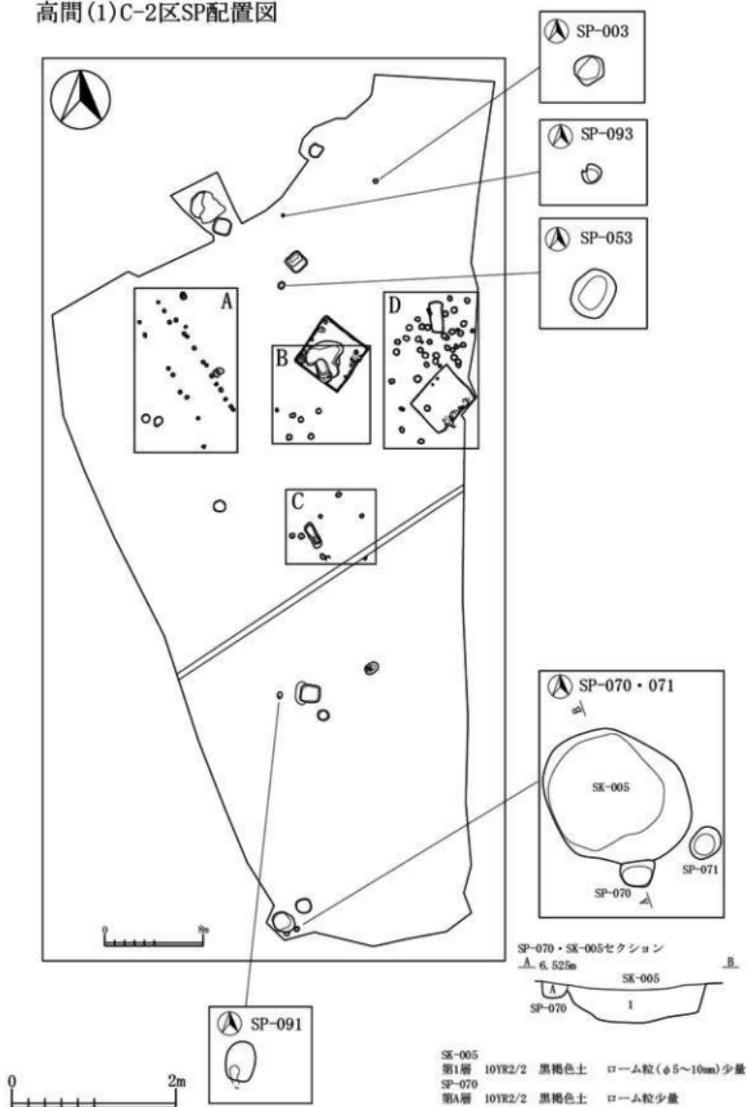
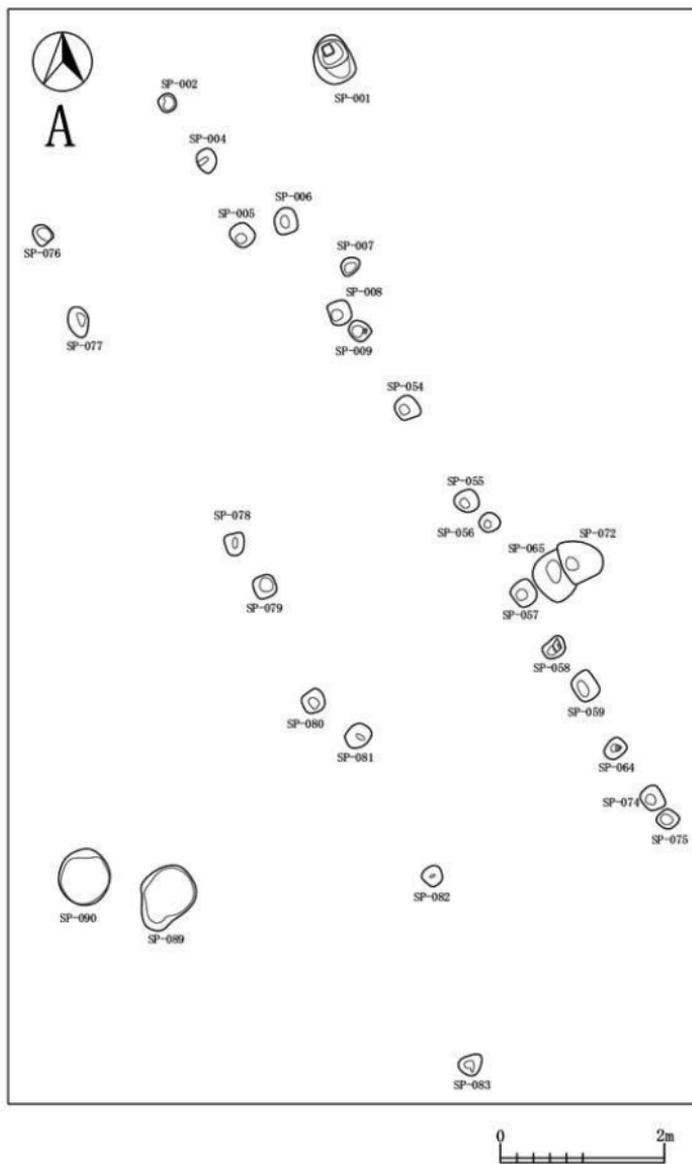


図 1-166 C-2区 SP-1



IV-2  
C-2区

图 1-167 C-2区 SP-2

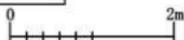
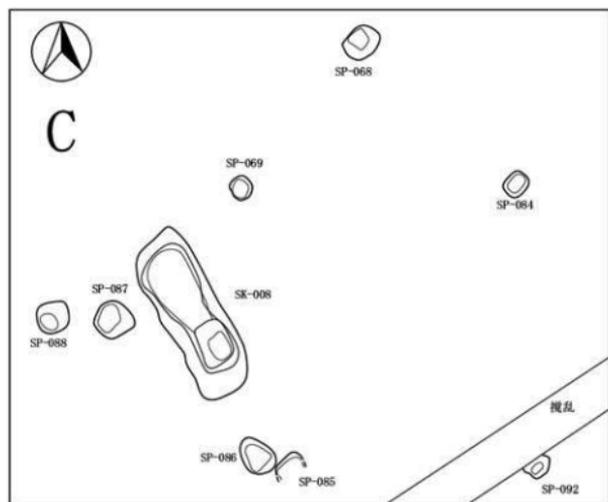
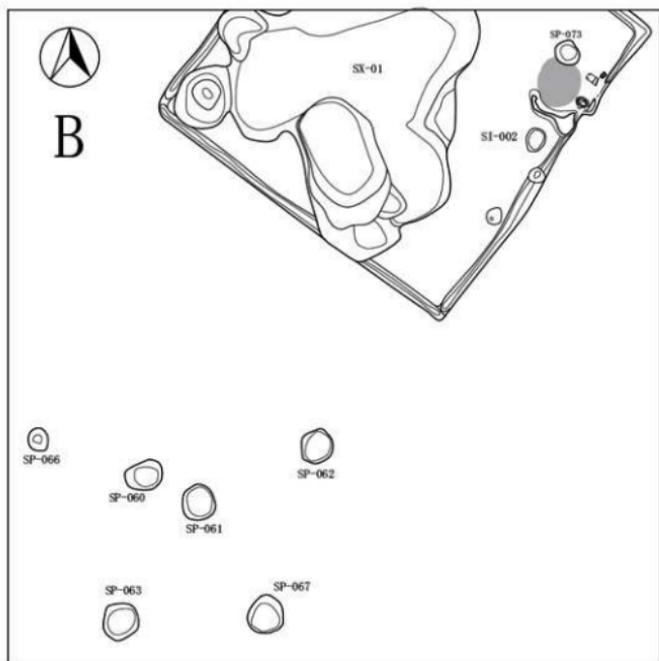
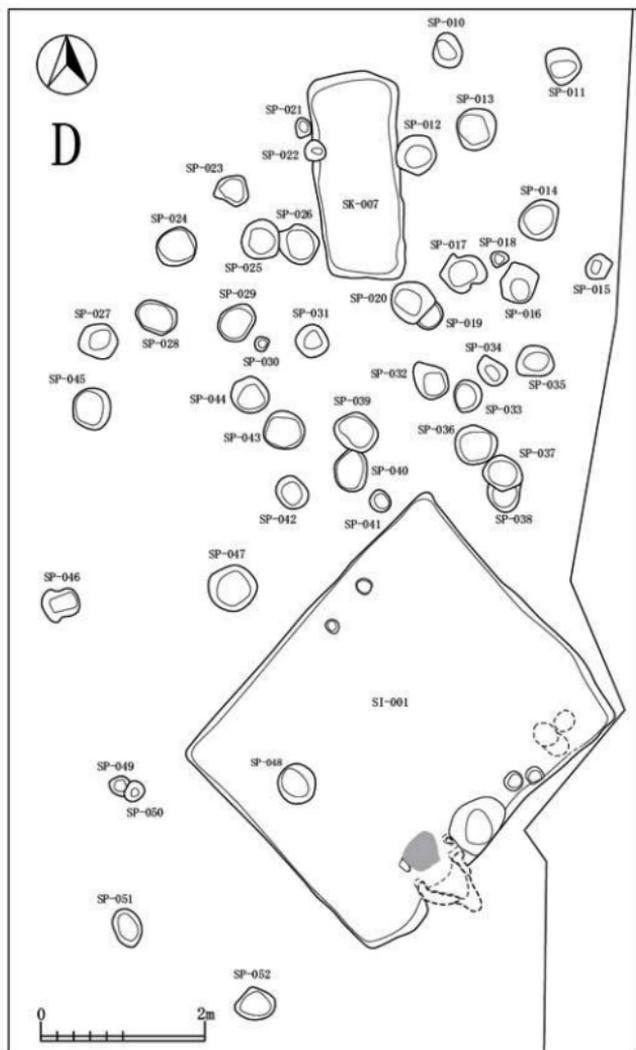


図 1-168 C-2区 SP-3



遺構外出土遺物

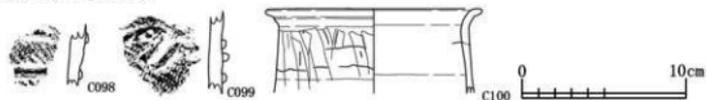


図 1-169 C-2区 SP-4

### 第3節 C-3区

#### 1. 竪穴住居跡

##### SI-003 (図1-171～173)

調査区北端で検出した。北側半分が調査区外へ延びているため詳細は不明であるが、検出部分は(台形)を呈し、規模は405.0×235.0×23.0cmを測る。主軸方位はN-119°-Eである。床面はカマド設置部分周辺を除き掘り方を有し、バミスブクコ混じりの土が充填されており、やや凹凸がある。ピットは竪穴内から2基検出しており、Pit1はカマド脇ピット、Pit2は壁溝の欠落部の支柱穴に相当する。壁溝は一部欠落しているが、検出した三辺の壁いすれからも検出している。堆積土は9層に分層し、壁溝部分が埋没した後には床面全体を第6層が覆っており、第6層上で炭化材や焼土粒が伴う焼成があり、炭化材を検出している。炭化材は一部倒壊したような検出状況の箇所も見られるが、散逸した検出状況で、焼成後流動が発生した可能性がある。炭化材の上層に堆積する第2層からB-Tm火山灰をブロック状に検出した。カマドは南東3ないしは4の位置から検出した。構造は短煙道タイプの半地下式で袖幅76.0cm、煙道長14.0cmを測る。袖部等は粘土による構築で、支脚相当位置に土師器椀2点(C101・C104)を重ねた状態で(出土状況は位置がずれている。)設置したものと考える。出土遺物は前述のカマド支脚以外に攪乱(C102)、床面(C103・105)の合計5点図示した。支脚相当のC101の底部中央は穿孔されている。

##### SI-004・004a (図1-174～180)

調査区北西側で検出した。攪乱でカマド部分の破壊が著しいが、設置位置については推定可能である。新旧二段階あり、古い方をSI-004aとしている。新しい方のSI-004については平面形が長方形を呈し、511.0×449.0×9.0cmを測る。旧段階のSI-004aは東壁のみ一回り小さい規模で、他の壁はSI-004と共通である。平面形は台形呈し、452.0×449.0×(23.0)cmを測る。新段階の壁は削平のためほとんど残存していない状況であるが、一部の残存箇所では垂直に近い形で立ち上がっていたようである。ピットは竪穴内から16基検出しているが、SI-004aとの重複部分は確認面が浅く、帰属関係が不明瞭な資料が多い。SI-004の時点で支柱穴として機能した可能性のあるピットはPit3・7・10・14のカマド設置壁側が壁に接した4本柱である。また、Pit1については断面図の状況と位置関係からクロコピットである可能性が高い。

い。Pit6についてはカマド脇ピットの可能性が高い。その他、南西壁寄り部分からSK扱いの掘り方土坑4基検出している。壁溝はカマド設置部分相当を除く全ての部分から検出している。古段階のSI-004aの段階でも一部断続し、カマド設置部分相当の位置が欠落しているが、ほぼ全周する形で検出している。

堆積土はSI-004aの堆積土を含め11層に分層した。削平のため廃絶後の堆積土がほとんどない状況であるが、Pit1の最上層にあたる第7層からT0-a火山灰を粒状に検出している。

カマドは東1の部分から散乱した焼土と火床面を検出した。煙道部の状況等は不明である。構築土の一部である第9層からT0-a火山灰をブロック状に検出している。なお、周辺のSK-033からは焼土ブロックなどとともに土製支脚等が廃棄された状況で出土しており、関連性が考慮される。SI-004a段階のカマドも壁溝の欠落部分と焼土化した部分が新段階の焼土上の延長線上に配置していることから、ほぼ同軸線上に位置する。

出土遺物は、SI-004出土資料として取り上げられており、12点図示した。C106～C109の須恵器破片はいずれも五所川原産であると考えられ、C106は壺、C107・C108は長頸瓶、C109は環の体部片である。C109の内面は鳥の足状の当て具が見られる。覆土出土の黒色土器の椀であるC110は内面の黒色化が体部中半～下半に留まっており、ヘラミガキについてもその部分を中心とした横方向へ崩れ気味の放射状である。C111は覆土出土の土師器椀で、口径15.0cm、器高6.7cm、底径5.4cm、器高指数4.46、底径指数36.0を測る。底径が狭めで、外面に輪のやや広めな浅い稜段を持ち、体部中半が膨らみながらも伸ばし上げるように経ち当てている。Pit6第7層出土の底部資料であるC112は底径5.6cmを測る。底部が円柱部分を多く残し、微高台状になっており、底部から体部にかけての角度がやや急である。煮炊具のうち甕については、クロコピットを検出した竪穴内出土の影響なのか回転運動の伴う甕が多い。またカマドとPit6出土の接合資料であるC117の場合は口縁部に括れをほとんど持たない直線的な立ち上がりを持つ器形である。

本竪穴周辺ではSK-032などの焼成坑とSK-022などの製炭土坑があり、土器生産の工房として利用された可能性がある。

##### SI-005 (図1-181～184)

調査区中央よりやや西側の地点で検出した。北側が現代の建物の基礎による攪乱により破壊されてい

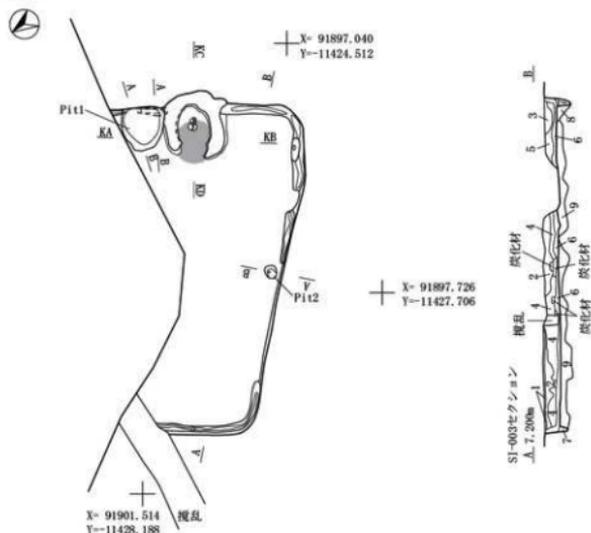
高間(1)遺跡C-3区遺構配置図 S=1/400



図 1-170 C-3区遺構配置図



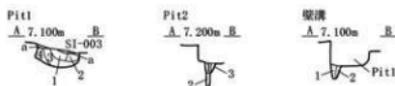
SI-003



SI-003

- |     |                            |  |
|-----|----------------------------|--|
| 第1層 | 10YR4/6褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合土 | ローム粒(φ3~9mm)多量,炭化粒(φ5~9mm)微量,焼土粒(φ5~9mm)微量                           |
| 第2層 | 10YR2/2 黒褐色土               | ローム粒(φ3~9mm)少量,焼土粒(φ5~9mm)微量,8-Tn火山灰(φ10~30mm)少量,炭化粒(φ5~9mm)少量       |
| 第3層 | 10YR3/3 暗褐色土               | ローム粒(φ5~9mm)微量,ロームブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ3~9mm)微量                     |
| 第4層 | 10YR3/4 暗褐色土               | ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ15~20mm)微量,炭化粒(φ3~9mm)少量,炭化材(幅60~90cm)混入     |
| 第5層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土            | ローム粒(φ3~9mm)少量,炭化粒(φ5~9mm)微量,焼土粒(φ5~9mm)中量                           |
| 第6層 | 10YR2/2 黒褐色土               | ローム粒(φ5~9mm)少量,炭化粒(φ5~9mm)少量,焼土粒(φ5~9mm)少量,炭化材(幅50~90mm)混入           |
| 第7層 | 10YR4/3 にぶい黄褐色土            | バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ2~3mm)極微量(堅清)                      |
| 第8層 | 10YR5/4 にぶい黄褐色土            | バミス粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~25mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量(壁溝限り方)              |
| 第9層 | 10YR6/4 にぶい黄褐色土            | バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~50mm)多量,ローム粒(φ5~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量(掘り方) |

SI-003 Pit1・2,壁溝セクション



SI-003

- |      |                 |  |
|------|-----------------|--|
| 第a層  | 10YR4/2 灰黄褐色土   | バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量,焼土粒(φ1~9mm)微量                                     |
| Pit1 |                 |  |
| 第1層  | 10YR5/4 にぶい黄褐色土 | バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~6mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量                                     |
| 第2層  | 10YR3/2 黒褐色土    | バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)中量,焼土粒(φ1~3mm)少量                                     |
| 第3層  | 7.5YR3/3 暗褐色土   | バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~6mm)中量,焼土粒(φ1~9mm)多量,焼土ブロック(φ10~20mm)少量,10YR5/4にぶい黄褐色土少量 |
| 第4層  | 10YR4/2 灰黄褐色土   | バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)少量,粘土粒(φ5~9mm)少量                       |
| Pit2 |                 |  |
| 第1層  | 10YR3/3 暗褐色土    | バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)極微量                                    |
| 第2層  | 10YR3/4 暗褐色土    | バミス粒(φ1~5mm)微量   |
| 第3層  | 10YR5/6 黄褐色土    | バミス粒(φ5~9mm)中量,バミスブロック(φ10~20mm)中量   |
| 壁溝   |                 |  |
| 第1層  | 10YR4/3 にぶい黄褐色土 | バミス粒(φ1~5mm)微量,ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)微量                      |
| 第2層  | 10YR6/6 明黄褐色土   | バミス粒(φ1~9mm)少量   |

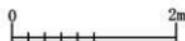
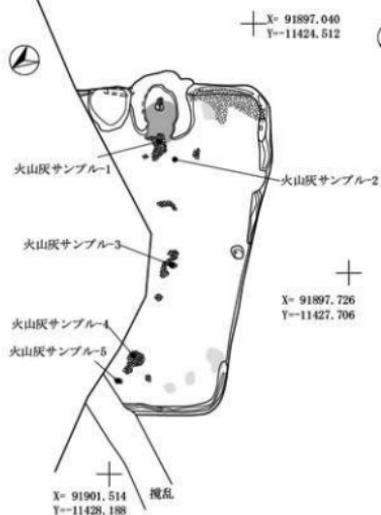
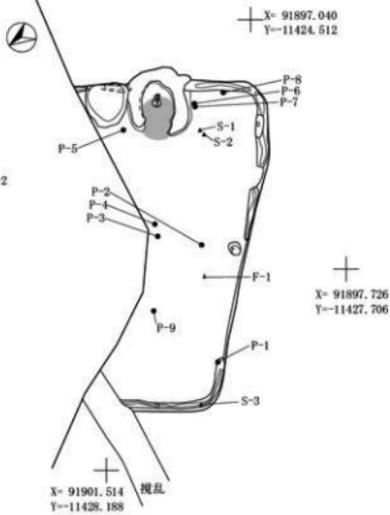


図 1-171 C-3区 SI-003-1

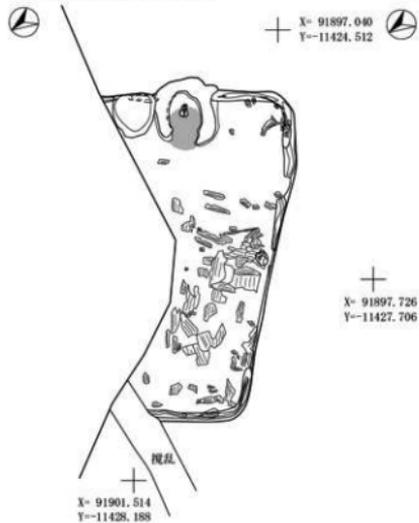
SI-003炭・焼土・B-Tm火山灰範囲



SI-003土器・石器・鉄関連遺物出土位置図



SI-003炭化物出土位置図



SI-003掘り方

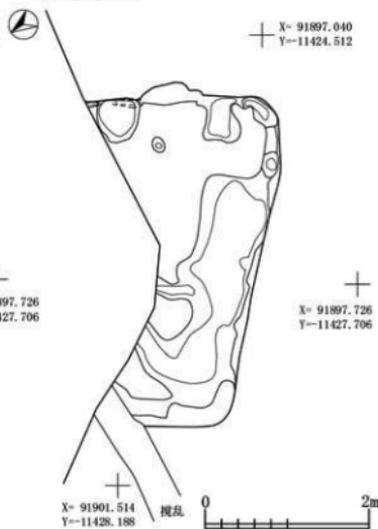
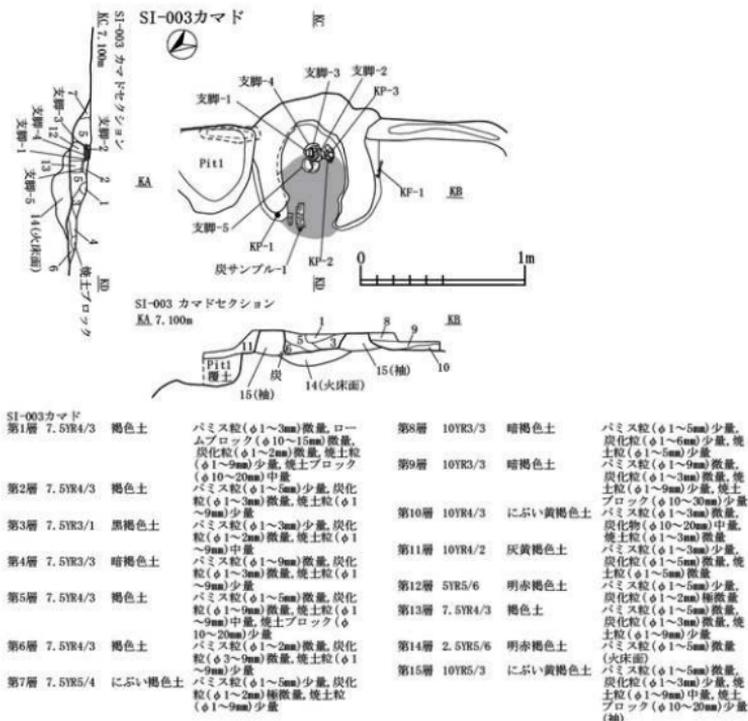


図 1-172 C-3区 SI-003-2



SI-003

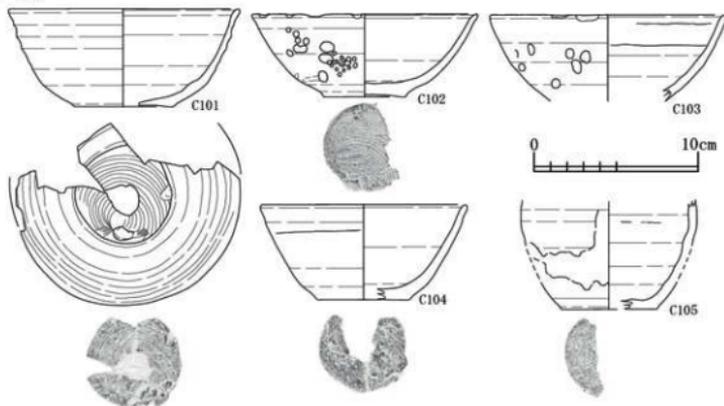
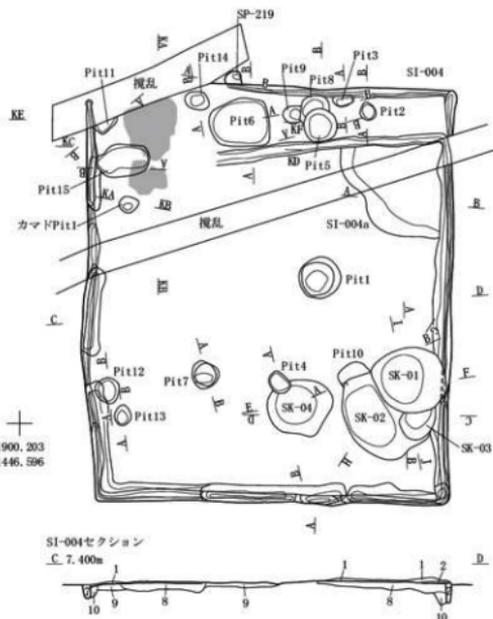


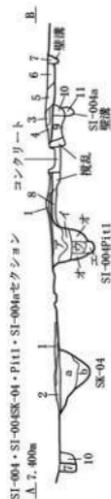
図 1-173 C-3区 SI-003-3

SI-004・SI-004a

X= 91893.907  
Y=11442.788



X= 91900.203  
Y=11446.506



層	土質	説明
SI-004 第1層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)少量(視乱),焼土粒(φ3~9mm)少量,炭化粒(φ5~9mm)微量
第2層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,焼土粒(φ5~9mm)微量
第3層 7.5B4/6	褐色土	パミス粒(φ1~5mm)極微量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,焼土粒極微量
第4層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)微量,焼土粒(φ3~5mm)微量
第5層 10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ30mm)微量
第6層 10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)微量,焼土粒(φ5~9mm)微量
第7層 10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ5~9mm)少量
第8層 10YR4/3	にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)多量,パミスブロック(φ10~10mm)少量,ローム粒(φ1~3mm)微量,ロームブロック(φ10~12mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,炭化物(φ10~20mm)微量
第9層 10YR5/4	にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~30mm)中量,ローム粒(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒極微量
第10層 10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)微量,ローム粒(φ1~5mm)微量
SI-004a壁溝	暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量
Pit1		
第11層 10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)微量,To-a火山灰微量
第1層 10YR2/2	黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~12mm)微量
第2層 10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量,炭化物(φ20mm)混入,10YR5/4にぶい黄褐色土粒少量
第3層 10YR4/6	褐色土	ローム粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量
第4層 10YR5/6	黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)少量
SK-04 第5層 10YR4/6	褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~30mm)少量,ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
第6層 10YR5/6	黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)微量

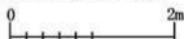
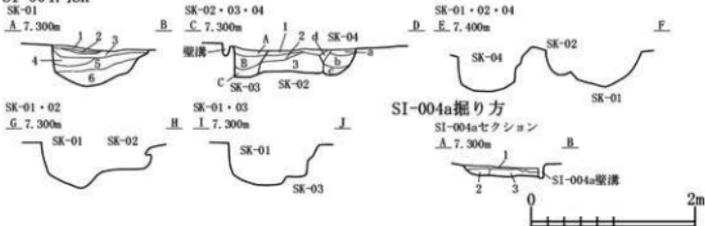


図1-174 C-3区 SI-004・004a-1

SI-004内SK

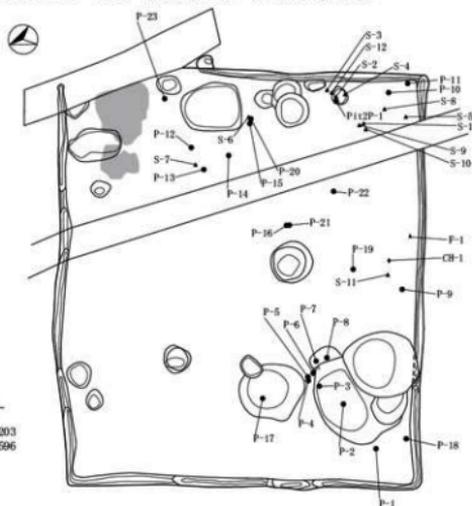


SK-01 第1層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)少量,焼土ブロック(φ10~15mm)微量
第2層	10YR5/4	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10mm)微量,ローム粒細粒,炭化粒細粒,10YR3/1黒褐色土粒(φ1~3mm)極微量,粘土質
第3層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~40mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量,10YR3/1黒褐色土粒(φ1~5mm)少量
第4層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,10YR3/4暗褐色土粒(φ3~5mm)少量
第5層	10YR5/6	黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)微量,焼土ブロック(φ3~5mm)少量
第6層	10YR4/3	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,10YR3/2黒褐色土粒(φ1~5mm)少量
SK-02 第1層	10YR4/3	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)少量,10YR3/3暗褐色土粒(φ1~5mm)少量
第2層	10YR4/6	褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,パミスブロック(φ100mm)1個入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)少量,焼土ブロック(φ10~15mm)微量
第3層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒細粒,10YR3/1黒褐色土粒(φ1~5mm)少量
SK-03 第A層	10YR4/2	灰黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,パミスブロック(φ100mm)1個入,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)少量,焼土ブロック(φ10~15mm)微量
第B層	10YR4/6	褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ100mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)中量,ロームブロック(φ10~20mm)多量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ3~5mm)微量
第C層	10YR4/3	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒細粒,10YR3/1黒褐色土粒(φ1~5mm)少量
SK-04 第1層	10YR5/3	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
第2層	10YR4/4	褐色土	パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)少量
第3層	10YR2/0	黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)極微量,ローム粒(φ1~2mm)少量
SK-04a 第1層	10YR3/4	暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
第2層	10YR5/4	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量,パミスブロック(φ10~25mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)微量
第3層	10YR6/4	にがい黄褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量

+

X= 91893.997  
Y= -11442.788

SI-004土器・石器・鉄関連遺物・羽口出土位置図



+

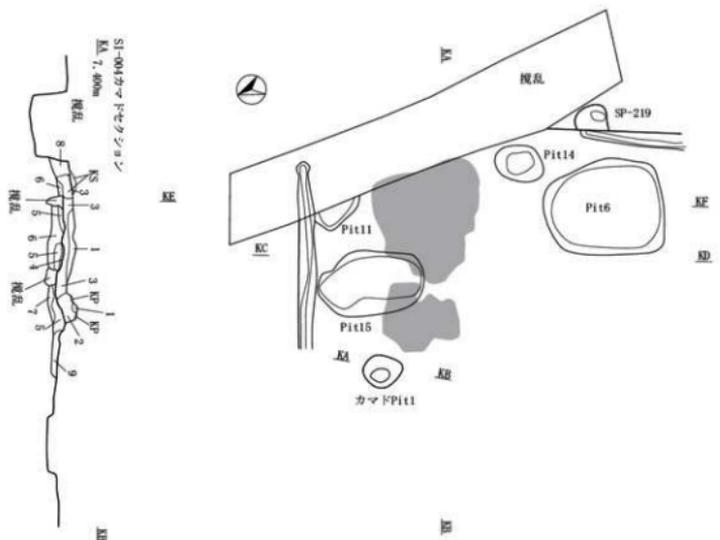
X= 91900.203  
Y= -11446.596

図 1-175 C-3区 SI-004・004a-2





SI-004カマド

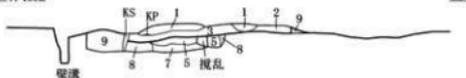


SI-004カマドPit11  
KA 7.300m KE



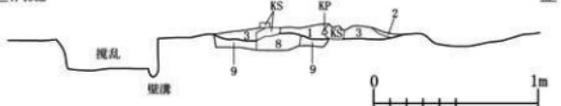
SI-004カマドセクション

KE 7.400m



SI-004カマドセクション

KE 7.400m

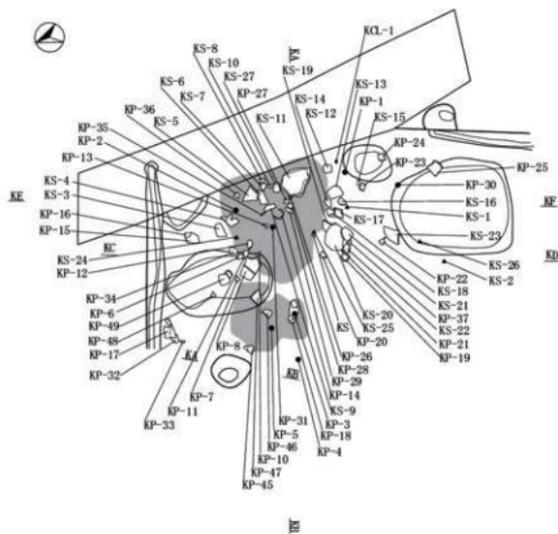


SI-004カマド

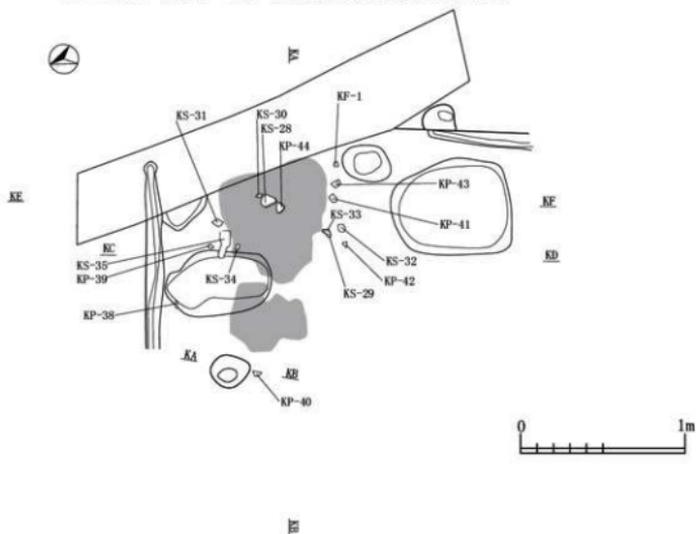
第1層	7.5YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)少量,焼土ブロック(φ10mm)少量
第2層	7.5YR2/3	極暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量,炭化物(φ15mm)微量
第3層	7.5YR4/4	褐色土	パミス粒極微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第4層	7.5YR7/8	黄褐色土	火床面 パミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第5層	5YR5/6	明赤褐色土	炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)極微量
第6層	5YR5/4	にぶい赤褐色土	焼土層 パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)多量,焼土ブロック(φ10~20mm)中量
第7層	7.5YR4/6	褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)少量,焼土ブロック(φ10~12mm)微量
第8層	7.5YR5/4	にぶい褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)少量,10YR3/4暗褐色土ブロック(φ10~12mm)微量
第9層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ20~25mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)微量,To-a火山灰ブロック(φ10mm)微量
カマドPit11			
第1層	10YR3/3	暗褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒極微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)少量

図 1-178 C-3 区 SI-004・004a-5

SI-004カマド土器・石器・土製品出土位置図(1面目)



SI-004カマド土器・石器・鉄関連遺物出土位置図(2面目)



IV-3  
C-3区

図 1-179 C-3 区 SI-004・004a-6

SI-004

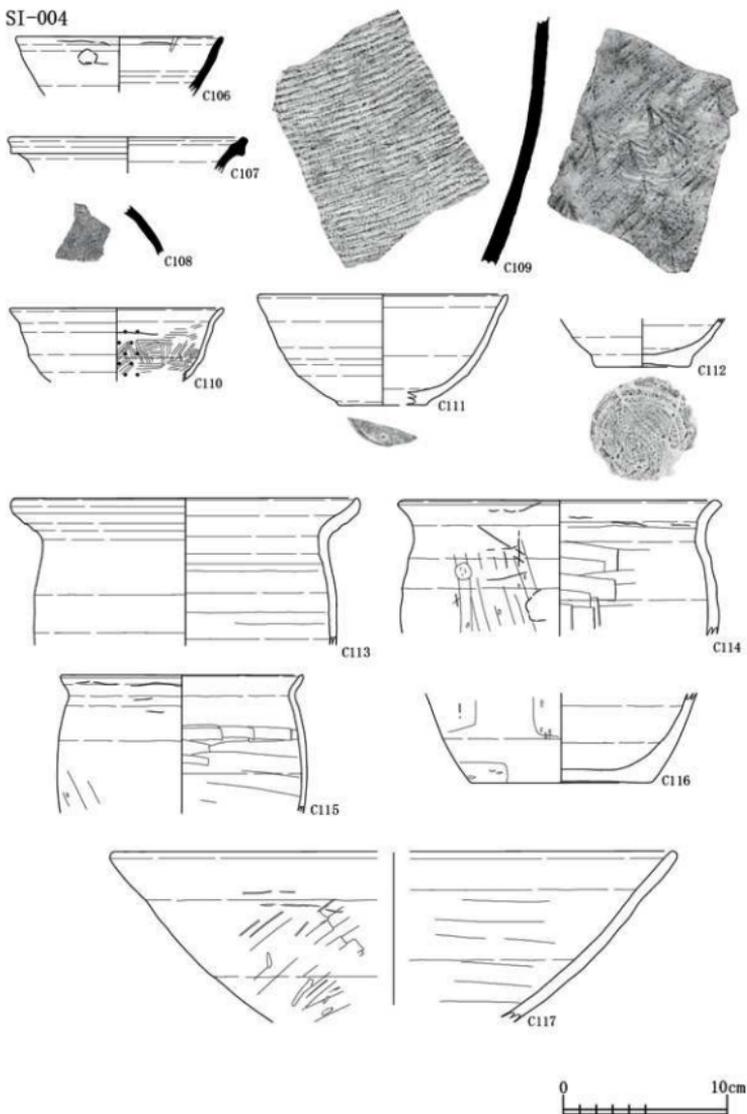


図 1-180 C-3 区 SI-004・004a-7

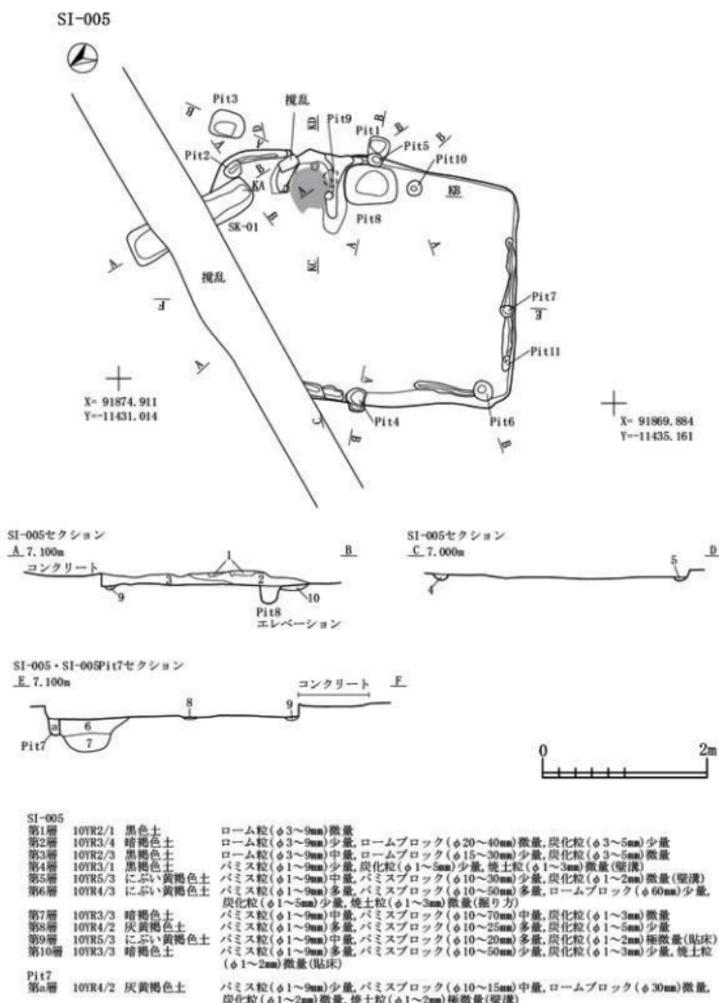


図 1-181 C-3 区 SI-005-1

る。また、その擾乱に直交する形で検出した本遺構の掃風扱いになっているSK-01と重複しており、本遺構よりも新しい可能性が高い。擾乱によって破壊されているが、残存部は、不整形長方形を呈し、 $376.0 \times 304.0 \times 13.0 \text{ cm}$ を測る。主軸方位はN-123°-Eである。ピットは堅穴内から9基、カマド設置壁側の堅穴外から2基掃風扱いとして記録している。Pit 8はカマド脇ピットに相当し、Pit 2・4~7・10・11が支柱穴として機能した可能性がある。壁溝は部分的に検出しているが、前述の支柱穴相当のピットに連結するような位置に掘り込みが行われている。堆積土は削平のため残存が悪い状況であるが、掘り方を含め10層に分層している。床面直上から炭化物や焼土を検出しており、床面直上で焼成が行われた可能性がある。火山灰は、メイレンセクションの土層注記には記録されていないが、図1-186に図示した土層部分でB-Tm火山灰の堆積範囲が記録されており、カマド脇ピットに相当するPit 8の第1・3層からもB-Tm火山灰を検出している。Pit 8の底部直上に堆積した後に再堆積している状況であることから、堅穴内で検出したB-Tm火山灰については再堆積の要素が強い。また、掘り方部分では堅穴中央付近に壁と平行する溝溝を検出している。Pit 1とPit 4を結ぶ軸線上に位置することから前段階の壁溝ないしは間仕切り溝としての機能が想定される。カマドは南東2の位置から半地下式の短煙道タイプを検出した。袖部幅90.5 cm、煙道長12.0 cmを測る。左袖にKCL-5の位置から出土したC124に図示した粘板が多量に入った焼成粘土板を、右袖のKCL-3の位置から出土し、C122に図示した土製支脚を芯材としており、袖部を構築している。支脚はKCL-4の位置から出土し、C123に図示した土製支脚を支脚としている。出土遺物は前述の資料も含め7点図示したが、C118・C119は床面出土の土師器碗で、C118は口径12.0 cm、器高4.7 cm、底径4.6 cm、器高指数39.1、底径指数38.3を測る。体部下半に膨らみを持つタイプで、器壁が底部中央、体部下半ともやや肉厚である。口縁部は体部下半から伸ばし上げるように立ち上げている。C119は口径13.8 cm、器高5.1 cm、底径5.4 cm、器高指数36.9、底径指数39.1を測る。楕形の外面体部に稜段を顕著に残すタイプで、体部下半から膨らみを持ち、若干開き気味に伸ばし上げるように立ち上げている。口唇部は先細りに意識した調整を行っている。煮炊具は非ロクロでC120のように口縁部と体部の最大径が近い資料のほかC121のように肩部が張り体部上半に最大径があるタイプが認められる。調整手法が外面が縦方向、内面がヘ

ラ・指ナドとも横方向主体で、共通した調整手法であるが、C120のように口唇部直下までヘラが及んでいる資料もあり、調整手法がルーズである。

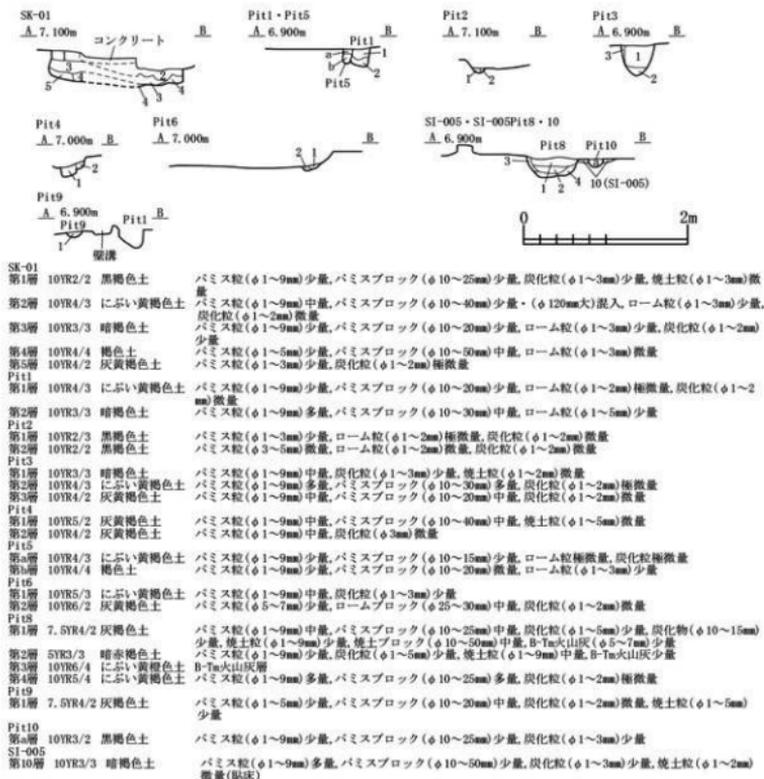
S1-006 (図1-185~190)

調査区北西側から検出した。S1-004・004aと近接した位置から検出している。SP-279と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は隅丸方形を呈し、 $323.0 \times 292.0 \times 26.0 \text{ cm}$ を測る。主軸方位はN-158°-Wである。ピットはカマド設置壁側から4基検出しているが、柱穴として機能した可能性のあるピットはPit 4のみで、主柱配置は不明である。また、西側のPit 1・3の下からSK-01扱いの土坑を検出している。堆積土は掘り方を含めて13層に分層し、掘り方充填の第13層中にはT-o-a火山灰が混入し、堆積土の最上層第1層中にB-Tm火山灰が堆積するT-o-a降灰後構築、B-Tm火山灰降灰前築絶の堅穴建物に相当する。床面直上に第5層が堆積した上に多量の炭化材が倒壊した状況で検出した。床面はほとんど焼けておらず、堆積土上に焼土層と炭化物の堆積層が認められるため、偶発的な焼失ではなく、廃棄に伴う焼成の可能性がある。また、カマド設置壁側から粘土が崩落した部分が見出されており、カマド設置壁側土製支脚であった可能性がある。カマドは南2の位置から半地下式で、袖部幅82.0 cm、煙道長54.0 cmを測る。粘土による構築で、前底部が浅い土坑状に一段低くなっている。また、支脚として「支脚-1」の位置からC128に図示した土製支脚が出土している。出土遺物は前述の土製支脚を含め4点図示し、土器は煮炊具のみで、カマド出土のC125・C126の甕のうち非ロクロのC125は口径21.6 cmを測る。調整は外面が幅広の縦方向のヘラ削り、内面が縦方向のハケメによる調整である。C126はロクロ系の甕で口径20.4 cmを測る。頸部の器壁に厚みを持ち、口唇端部は先細りの形状で、端部の面取は真ん中が凹んだ形状である。外面は縦方向のヘラ、内面は横方向のヘラによる調整で、内面はほとんど撫で消されている。堅穴覆土第3・4層出土の小体であるC127は口径13.6 cmを測る。器形的にはC125に類似したもので、調整も内外面とも縦方向のヘラによる調整で、内面の一部はハケメ状である。残存率の高い資料の出土が認められなかったことから遺物についても廃棄主体であると考えられ、廃棄に伴う焼成である可能性を裏付けている。

## 2. 土坑

SK-011 (図1-191)

調査区北側で検出した。SP-094と重複して



SI-005土器・鉄関連遺物出土位置図

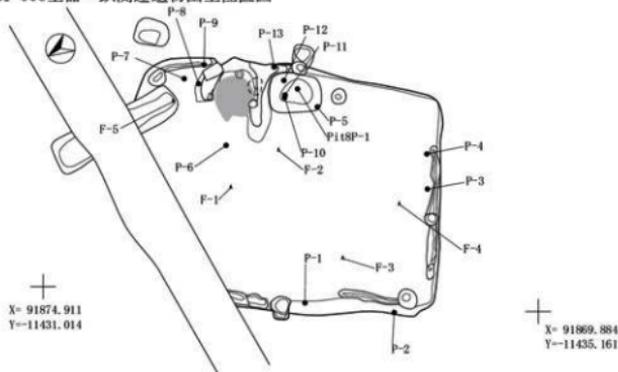


図 1-182 C-3区 SI-005-2

SI-005粘土範囲・SI-005Pit8B-Tm火山灰範囲

SI-005掘り方

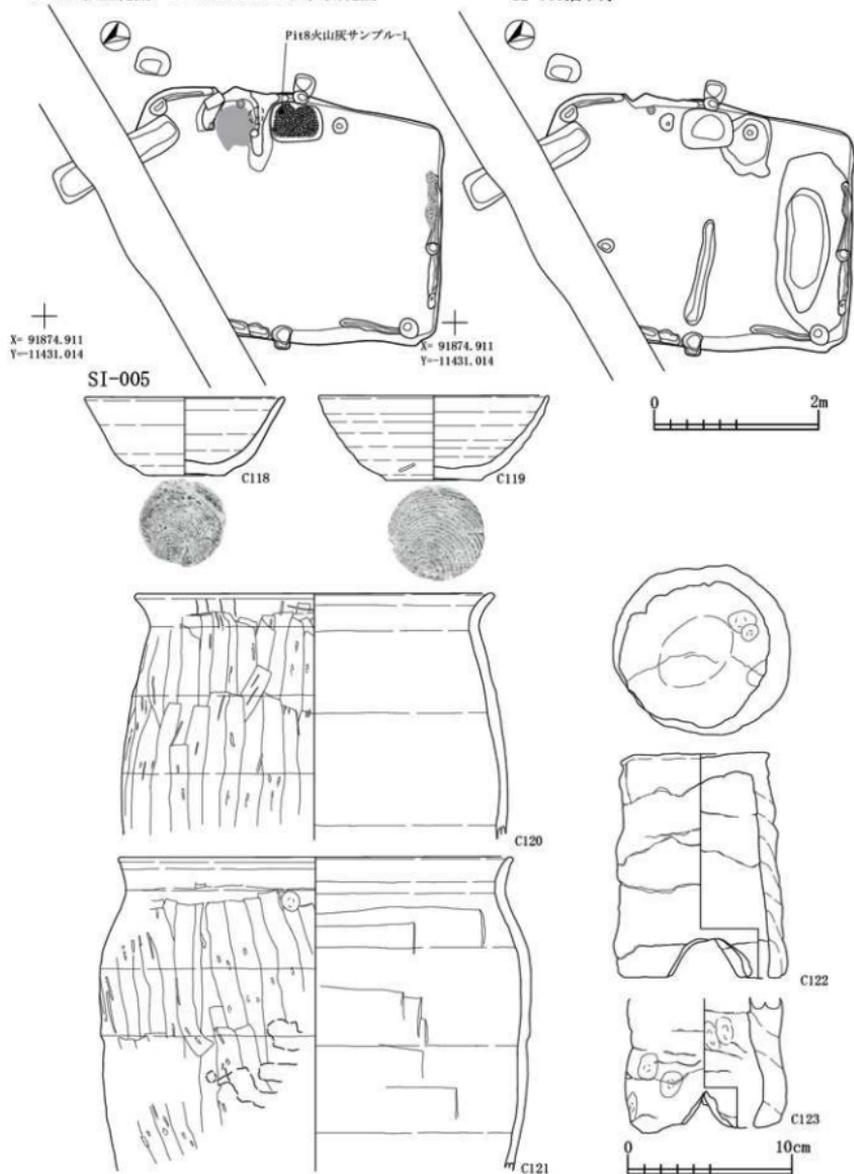


図 1-183 C-3区 SI-005-3

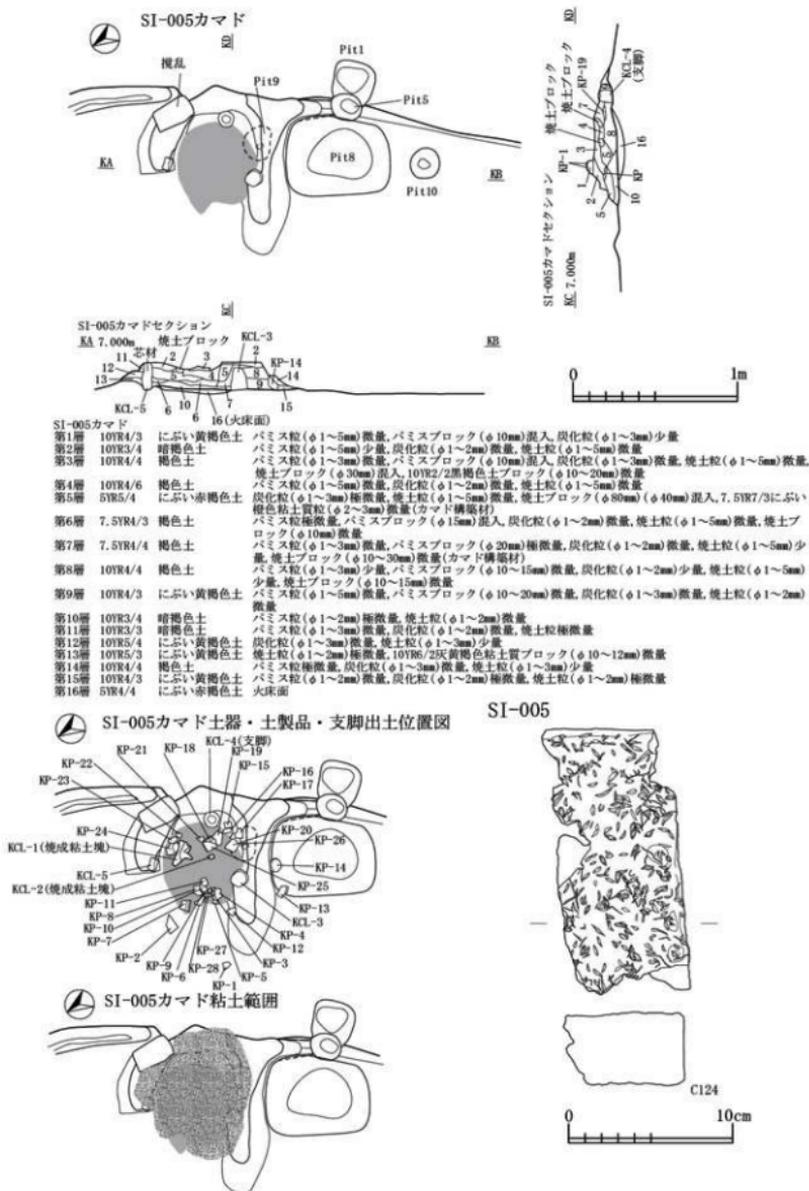
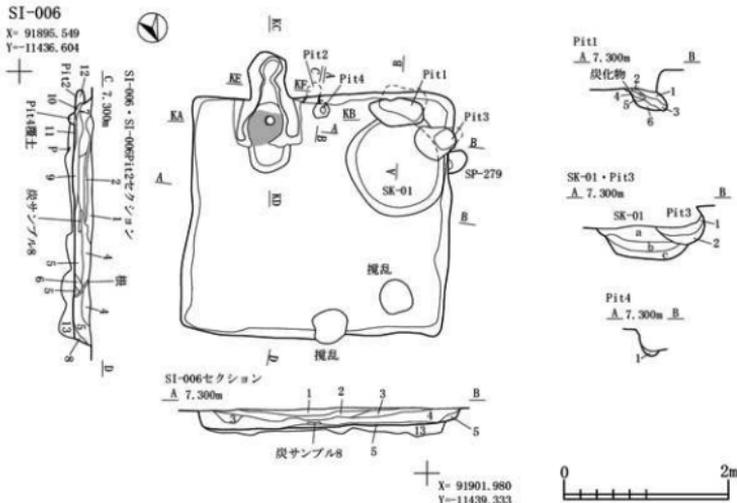


図 1-184 C-3区 SI-005-4

## SI-006

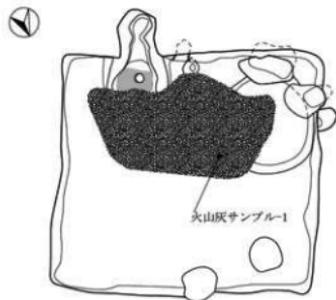
X= 91895.549  
Y=11436.604

## SI-006

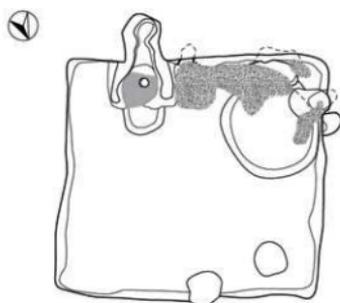
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,B-7a火山灰中量混入(B-7a火山灰屑)
第2層	10YR3/2	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)極微量
第3層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第4層	10YR4/2	灰黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~80mm)少量,焼土粒(φ1~9mm)微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~50mm)中量,焼土粒(φ1~5mm)微量(炭屑)
第6層	7.5YR4/3	褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ3~9mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)中量
第7層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)微量
第8層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ20~30mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
第9層	5YR4/4	にぶい赤褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~20mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)少量,7.5YR3/3暗褐色土少量混入(焼土層)
第10層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~9mm)中量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)中量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第13層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~50mm)中量,ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~60mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量,To-a火山灰少量混入(貼床)
Pit2	10YR4/2	灰黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~15mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)少量
Pit11	10YR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量(ロームブロック屑)
第2層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量,炭化物(φ10~50mm)多量(炭化物屑)
第4層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,ロームブロック(φ10~60mm)多量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量
第6層	10YR4/2	灰褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量
Pit13	7.5YR4/3	褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~6mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)中量
第7層	10YR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~40mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)微量
SK-01	10YR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~80mm)中量,ローム粒(φ1~9mm)多量,ロームブロック(φ10~30mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第8層	10YR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~40mm)中量,ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~60mm)多量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第9層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~40mm)少量,ローム粒(φ1~9mm)中量,ロームブロック(φ10~60mm)多量,炭化粒(φ1~3mm)微量
Pit14	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~9mm)微量

図1-185 C-3区 SI-006-1

SI-006 B-Tm火山灰範囲(上層)



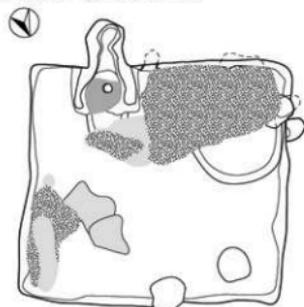
SI-006粘土範囲(上層)



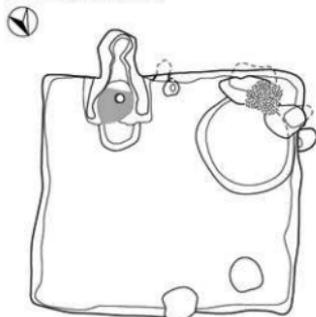
+ X= 91901.980  
Y=11439.333

+ X= 91901.980  
Y=11439.333

SI-006炭・焼土範囲(下層)

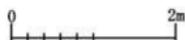


SI-006炭範囲(下層)



+ X= 91901.980  
Y=11439.333

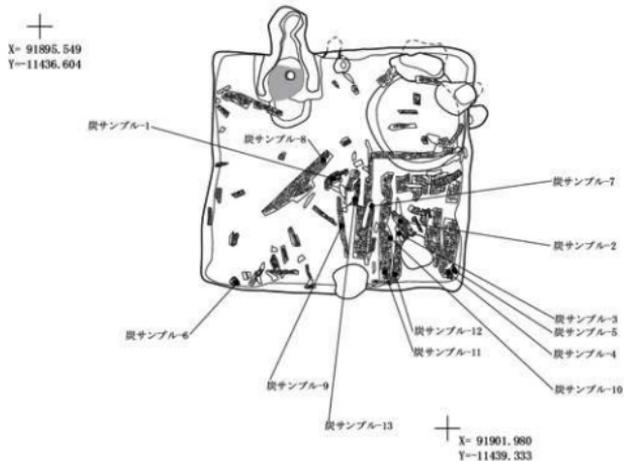
+ X= 91901.980  
Y=11439.333



IV-3  
C-3区

図 1-186 C-3区 SI-006-2

SI-006炭化物出土位置図(微細)



SI-006炭化物出土位置図

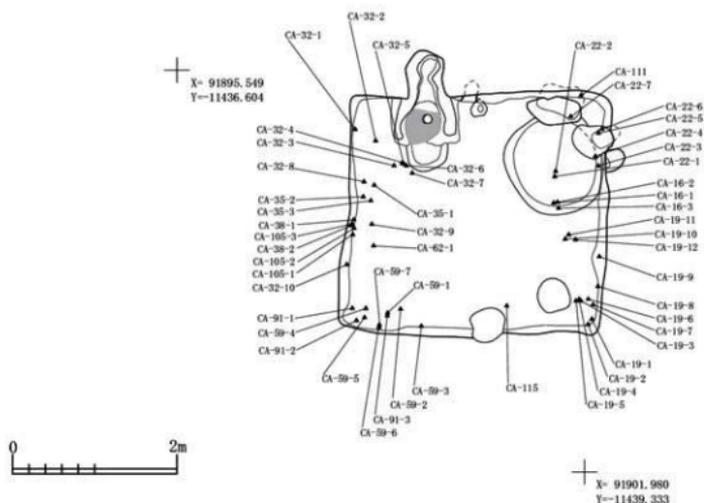
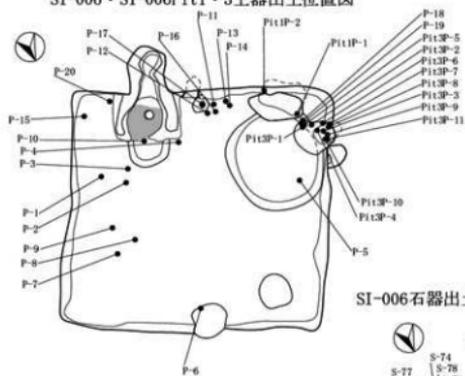
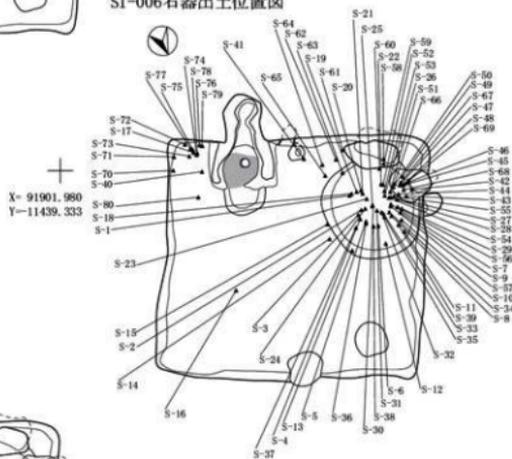


図 1-187 C-3区 SI-006-3

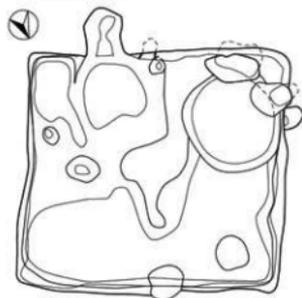
SI-006・SI-006Pit1・3土器出土位置図



SI-006石器出土位置図



SI-006掘り方



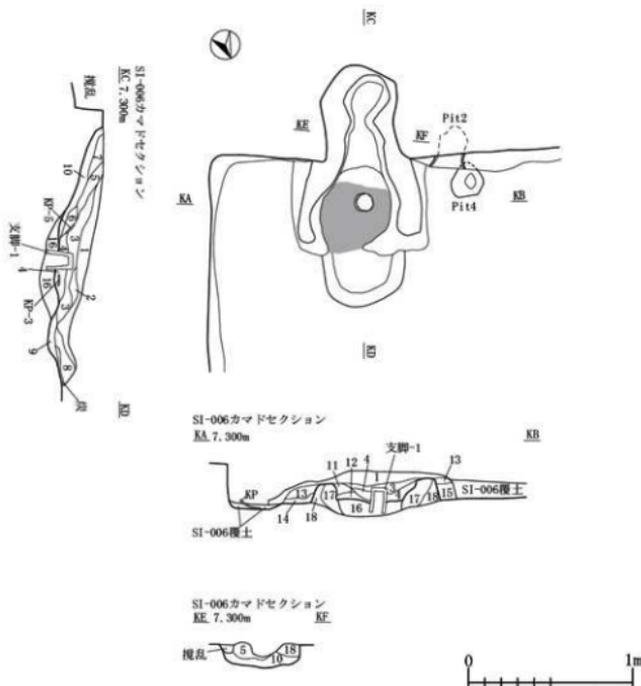
X= 91901.980  
Y=11439.333

X= 91901.980  
Y=11439.333



図 1-188 C-3区 SI-006-4

SI-006カマド

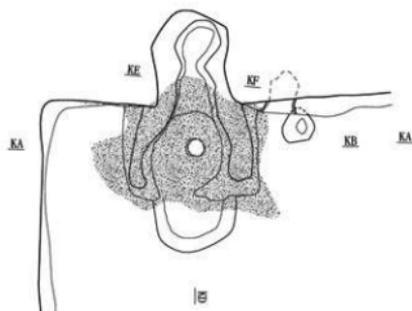


層	土質	特徴
第1層	10YR4/2	灰黄褐色土
第2層	10YR5/3	にぶい黄褐色土
第3層	10YR5/3	にぶい黄褐色土
第4層	7.5YR3/3	暗褐色土
第5層	5YR4/3	にぶい赤褐色土
第6層	5YR4/6	赤褐色土
第7層	7.5YR4/3	褐色土
第8層	5YR4/4	にぶい赤褐色土
第9層	7.5YR4/3	褐色土
第10層	10YR3/3	暗褐色土
第11層	2.5YR4/6	赤褐色土
第12層	7.5YR5/4	にぶい褐色土
第13層	7.5YR6/6	橙褐色土
第14層	10YR5/4	にぶい黄褐色土
第15層	7.5YR4/3	褐色土
第16層	5YR4/4	にぶい赤褐色土
第17層	5YR4/6	赤褐色土
第18層	7.5YR6/6	橙褐色土
掘込	10YR3/3	暗褐色土

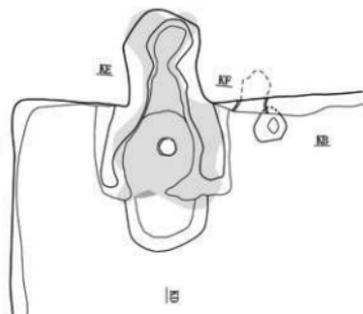
バミス粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,炭化粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量, B-Tn火山灰少量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,ロームブロック( $\phi 10\sim 20\text{mm}$ )中量,炭化粒( $\phi 1\sim 2\text{mm}$ )極微量,焼土粒( $\phi 3\sim 9\text{mm}$ )少量(粘土層)  
 バミス粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )微量,ローム粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )と5YR4/4にぶい赤褐色土の混合土,バミス粒( $\phi 2\sim 5\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,炭化粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )極微量(焼土層)  
 バミス粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,炭化物( $\phi 10\sim 15\text{mm}$ )微量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量,焼土ブロック( $\phi 10\sim 20\text{mm}$ )少量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量,10YR4/2灰黄褐色土少量混入(焼土層)  
 バミス粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 6\text{mm}$ )中量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量  
 バミス粒( $\phi 5\sim 9\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量(焼土層)  
 バミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量  
 (ローム質)バミス粒( $\phi 5\sim 9\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )微量(粘土層)  
 バミス粒( $\phi 5\sim 9\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,炭化物( $\phi 10\sim 20\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,ローム粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量,炭化粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量,焼土ブロック( $\phi 10\sim 20\text{mm}$ )少量  
 バミス粒( $\phi 5\sim 9\text{mm}$ )微量(灰床面)  
 (ローム質)バミス粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量,炭化粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )少量,焼土粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量  
 (ローム質)バミス粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量,焼土粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )微量  
 バミス粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量,炭化粒( $\phi 1\sim 2\text{mm}$ )微量,焼土粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )中量

図 1-189 C-3 区 SI-006-5

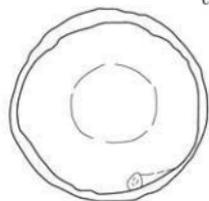
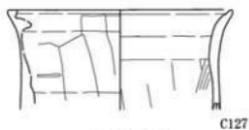
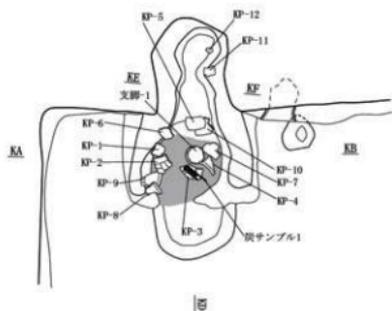
SI-006カマド粘土範圍  
|西



SI-006カマド焼土範圍  
|西



SI-006カマド土器・炭サンプル出土位置図  
|西



SI-006

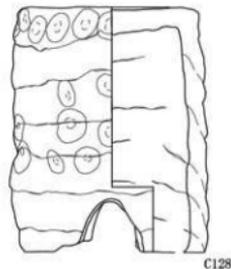
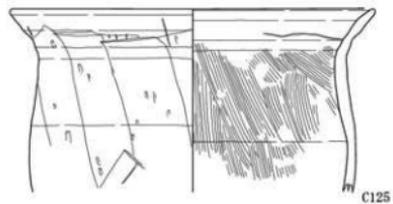


図 1-190 C-3区 SI-006-6

おり、本遺構の方が古い。平面形は不整楕円形を呈し、 $157.0 \times 136.0 \times 35.0$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、垂直に近い形で若干開き気味に立ち上がる。堆積土は5層に分層し、ブロック主体の埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

#### SK-012 (図1-191)

調査区東側から検出した。削平のため基部のみの検出で、SP-095と重複しており、堆積土の記録上ではSP-095の方が新しい。ドーナツ状の不整形で、 $141.0 \times 124.0 \times 6.0$  cmを測る。付近に同様に削平を受けたSK-021を検出しており、SK-021も本遺構と同様にドーナツ状の形状を呈している。削平のためほとんど残存していないが、残存部の断面形は凹凸が顕著で、堆積土は1層のみ記録されている。

#### SK-013 (図1-191)

調査区東側から検出した。ピットとして取り扱う規模でもあるが、調査時の遺構番号優先で掲載した。平面形は不整形を呈し、 $49.0 \times 47.0 \times 16.0$  cmを測る。断面形は底面が若干傾斜し、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は1層で、自然堆積状況を呈する。

#### SK-014 (図1-191)

調査区中央より東側から検出した。SK-013と同様比較的小型のピットの範疇にも収まる規模であるが、調査時の遺構番号優先で掲載した。平面形は不整形を呈し、 $72.0 \times 66.0 \times 14.0$  cmを測る。断面形は底面が若干凹凸があり、壁は垂直に立ち上がる部分と段状に立ち上がる部分がある。堆積土は2層に分層し、第1層は抜き取り等に伴う掘削痕の可能性があり、

#### SK-015 (図1-191)

調査区中央より東側から検出した。SP-118と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整隅丸方形を呈し、 $203.0 \times 153.0 \times 15.0$  cmを測る。断面形は凹凸が顕著で、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と段状に緩やかに立ち上がる部分が見られる。堆積土は2層に分層し、下層の第2層は赤みが強い土で、流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。

#### SK-016 (図1-191)

調査区北側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $187.0 \times 180.0 \times 37.0$  cmを測る。底面中央から小ピットを検出しており、 $28.0 \times$

$24.0 \times 17.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、所謂フラスコ状土坑である。周辺にはSK-017・019など本遺構と同様の土坑が配置し、さらに北側のC-1区の部分にもフラスコ状土坑が配置している状況から斜面の落ち際にかけて群集していたことが考えられる。本調査区内は削平が著しい部分が多いため、残存状況が悪く、本遺構についても下部のみの検出である。堆積土は5層に分層し、崩落を含む自然堆積状況を呈する。覆土中から縄文土器片や自然礫が出土しているが、破片であるため図示に至らなかった。

#### SK-017 (図1-191)

調査区北側で検出した。平面形は不整楕円形を呈し、 $237.0 \times 193.0 \times 73.0$  cmを測る。また底面中央よりやや北側の地点から $45.0 \times 23.0 \times 27.0$  cmを測る小ピット1基を検出している。断面形は袋状を呈し、本遺構も前述のSK-016同様フラスコ状土坑である。堆積土は10層に分層し、崩落に伴う自然堆積状況を呈する。覆土中から出土した縄文土器体部片はC129に図示した。

#### SK-018 (図1-192)

調査区北側で検出した。削平のため下端のみの検出で、平面形は楕円形を呈し、 $157.0 \times 143.0 \times 23.0$  cmを測る。壁は垂直に近い形で立ち上がるが、近隣にSK-016・019などのフラスコ状土坑が検出されており、本遺構も削平により底下端のみの形状であることから、フラスコ状土坑の一部であった可能性がある。堆積土は2層に分層しているが、第1層は削平後の二次的な堆積土で、実質的には第2層がこの土坑の堆積土である。ブロックが若干混入するが崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### SK-019 (図1-192)

調査区北側で検出した。平面形は不整形を呈し、 $149.0 \times 147.0 \times 66.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、所謂フラスコ状土坑である。底面部分の規模は $183.0 \times 168.0$  cmを測る。堆積土は6層に分層し、地山土主体の人為的埋め戻し状況を呈する。

#### SK-020 (図1-192)

調査区北側で検出した。削平されており、視乱によって一部破壊されているが、記録された情報は、平面形が不整楕円形を呈し、 $152.0 \times 135.0 \times 23.0$  cmを測る。断面形は一部袋状を呈し、フラスコ状土坑であるSK-019が近接している



SK-018



SK-018セクション



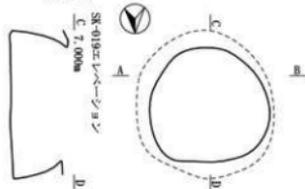
SK-020



SK-020セクション



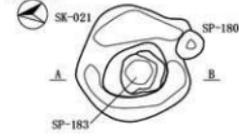
SK-019



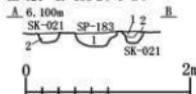
SK-019セクション



SK-021



SK-021・SP-183セクション



SK-018

第1層 7.5YR5/6 明褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量  
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ15~20mm)微量, 炭化粒(φ3~5mm)微量

SK-019

第1層 7.5YR5/6 明褐色土 ローム粒(φ30~50mm)微量  
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 ロームブロック(φ10~50mm)中量, 炭化粒(φ3~5mm)少量  
第3層 7.5YR4/6 褐色土と10YR4/4 褐色土の混合土

SK-020

第4層 10YR5/8 黄褐色土  
第5層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ15~30mm)少量  
第6層 7.5YR4/4 褐色土  
復乱 10YR2/3 黒褐色土

SK-020

第1層 10YR3/3 暗褐色土 バミス粒(φ3~9mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)微量, ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)微量, 焼土粒(φ3~5mm)微量  
第2層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量

SP-183

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~30mm)少量

SK-021

第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)微量

SK-021

第2層 10YR2/3 黒褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)中量

図 1-192 C-3 区 SK-2

ことから本遺構もフラスコ状土坑であった可能性がある。堆積土は2層に分層し、バミス粒混じりの自然堆積状況を呈する。

SK-021 (図 1-192)

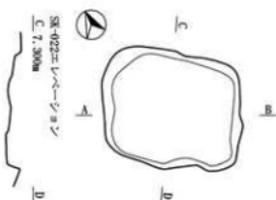
調査区東側で検出した。SK-012と同様削平を受けたドーナツ状のプランを確認しており、SP-180と重複しており、SP-180の方が新しい。また、直接の切り合い関係は認められないがSP-183が本遺構中央に配置している。類似した土が堆積しており、場合によっては帰属する可能性

があるが、詳細は不明である。検出部分は、不整楕円形を呈し、153.0×142.0×14.0cmを測る。堆積土は2層検出し、ブロック混じりの人為的堆積状況を呈する。

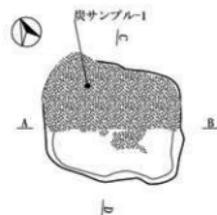
SK-022 (図 1-193)

調査区西側で検出した。平面形は不整隅丸方形を呈し、169.0×146.0×16.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は6層に分層し、底面直上に堆積する第6層は炭化物の混入層で、製炭土坑の可能性もある。そ

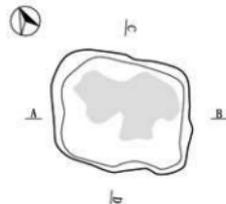
SK-022



SK-022炭範囲



SK-022焼土範囲



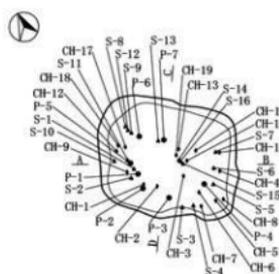
SK-022



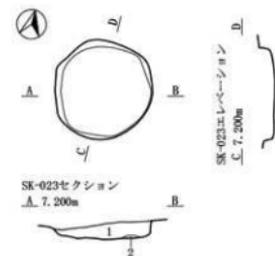
SK-022

- |               |      |  |
|---------------|------|--|
| 第1層 10YR2/3   | 黒褐色土 | パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)微量    |
| 第2層 10YR2/2   | 黒褐色土 | パミス粒(φ1~2mm)微量,ローム粒極微量,炭化粒(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~3mm)微量                               |
| 第3層 10YR2/1   | 黒色土  | パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ15mm)混入,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~3mm)少量,焼土ブロック(φ10mm)微量,炭層多量 |
| 第4層 10YR3/1   | 黒褐色土 | パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)微量                  |
| 第5層 10YR4/4   | 褐色土  | パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  |
| 第6層 10YR1.7/1 | 黒色土  | パミス粒極微量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~8mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量                          |

SK-022土器・石器・羽口出土位置図



SK-023



SK-023

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 第1層 10YR3/3暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土 | パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,10YR2/1黒色土アロック(φ40mm)混入,ローム粒(φ1~3mm)少量 |
| 第2層 10YR4/3 にがい黄褐色土             | 10YR5/4にがい黄褐色土のロームブロック(φ10mm)混入,パミス粒(φ1~3mm)微量                            |

図 1-193 C-3区 SK-3

の上位には多量の鍛冶滓・羽口・炉壁などがまとまって出土しており、鍛冶系の廃滓場である可能性がある。出土遺物は混入していた土師器碗の口縁部片を図示した。口径14.6cmを測る。

#### SK-023 (図1-193)

調査区中央からやや北西寄りの位置から検出した。平面形は不整形円形を呈し、124.0×118.0×19.0cmを測る。断面形は一部崩落のため変形しているが、円筒形を呈し、ほとんどの部分が垂直に近い形で立ち上がる壁である。堆積土は2層に分層し、埋め戻しに伴う人為的堆積状況を示す。

#### SK-024 (図1-194)

調査区西側から検出した。平面形は不整形長方形を呈し、198.0×145.0×51.0cmを測る。断面形は凹凸が顕著で、壁の一部が袋状に入り込む部分も見られるが、ほとんどは垂直に近い形で立ち上がり、壁上部の一部で開き気味に立ち上がる箇所が見られる。堆積土は6層に分層し、一部壁の崩落に伴う自然堆積状況を示す。

#### SK-025 (図1-194)

調査区西側から検出した。平面形が不整形円形を呈する小規模な落ち込みで、77.0×68.0×10.0cmを測る。類似した規模であるSK-026・028などが近接した位置に所在する。断面形は凹凸が顕著で、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は2層に分層し、ブロック混じりの人為的埋め戻し状況を示す。

#### SK-026 (図1-194)

調査区西側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、86.0×78.0×16.0cmを測る。前述のとおりSK-025・028などが近接し、類似した規模である。堆積土は3層に分層したが、SK-025と同質のブロック混じりの土が堆積しており、人為的堆積状況を示す。

#### SK-027 (図1-194)

調査区西側から検出した。平面形は不整形円形を呈し、113.0×92.0×9.0cmを測る。断面形は凹凸があり、開き気味に立ち上がる形状である。堆積土は2層に分層し、規模が若干大きいのが近接するSK-025などと同様にブロック主体の人為的埋め戻しに伴う堆積状況である。

#### SK-028 (図1-194)

調査区西側から検出した。平面形は不整形円形を

呈し、72.0×67.0×13.0cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がっている。堆積土は2層に分層し、前述のSK-025等と同様に人為的埋め戻しに伴う堆積状況である。

#### SK-029 (図1-194)

調査区西側で検出した。削平のため掘り方と掘り方充填部分のみを検出した。平面形は不整形長方形を呈し、166.0×123.0×(4.0)cmを測る。掘り方部分は凹凸が顕著で最大33.0cmの深さを持っている。堆積土は掘り方充填土のみ1層分を検出しているが、バミスブロック混じりの土が充填されている。隣接する位置にSK-033が所在し、本遺構と類似した形状であることから本遺構と関連した可能性がある。上面から土器片が出土したがが破片のため図示できなかった。

#### SK-030 (図1-194)

調査区西側で検出した。平面形は小判形を呈し、108.0×63.0×9.0cmを測る。底面は凹凸が顕著で、壁は削平のため実質的には残存していない。堆積土は2層に分層し、第2層はバミスブロック混じりの掘り方充填土に相当する。第1層から土師器破片が出土したが図示し得ていない。

#### SK-031 (図1-195)

調査区西側で検出した。SK-032と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は長方形を呈し、129.0×101.0×38.0cmを測る。底面は凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は5層に分層し、第5層は掘り方充填土である。覆土は第1～4層が相当し、流れ込みを含む自然堆積状況を示す。土師器破片等が出土しているが、図示し得るものはなかった。

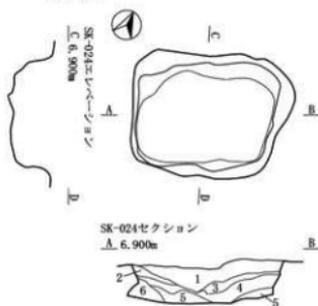
#### SK-032 (図1-195)

調査区西側で検出した。SK-031と重複しており、本遺構の方が古い。また、本遺構帰属のPit1としたピットについても本遺構を切る形で構築されており、本遺構には帰属せず、本遺構の方が古い。平面形は三角形を呈し、191.0×158.0×6.0cmを測る。削平のため壁はほとんど残存していない。堆積土は1層に分層しTora火山灰混じりの焼土・炭化物堆積層である。底面が赤化し、製炭土坑より温度が高い焼成坑の可能性が高い。近隣にはロクロピットを持つSI-004があり、本遺構が焼成に関連した可能性がある。

#### SK-033 (図1-196・197)

調査区西側で検出した。平面形は長方形を呈し、

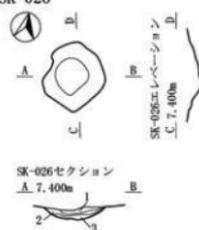
SK-024



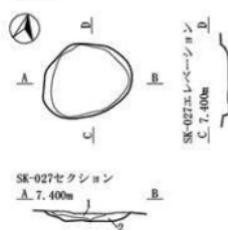
SK-025



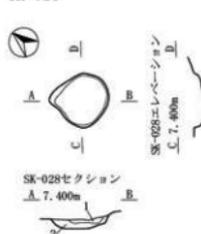
SK-026



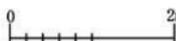
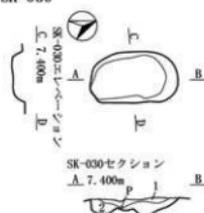
SK-027



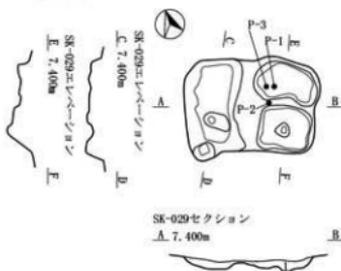
SK-028



SK-030



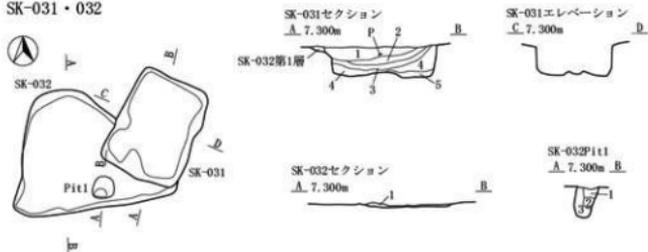
SK-029



- SK-024  
第1層 10YK3/3 暗褐色土  
第2層 10YK3/3 暗褐色土  
第3層 10YK3/2 暗褐色土  
第4層 10YK3/3 暗褐色土  
第5層 10YK3/4 暗褐色土  
第6層 10YK7/6 明黄褐色土
- SK-025  
第1層 10YK3/2 黒褐色土  
第2層 10YK2/2 黒褐色土
- SK-026  
第1層 10YK5/6 黄褐色土  
第2層 10YK2/2 黒褐色土  
第3層 10YK5/6 黄褐色土
- SK-027  
第1層 10YK2/2 黒褐色土  
第2層 10YK5/6 黄褐色土
- SK-028  
第1層 10YK2/2 黒褐色土  
第2層 10YK5/6 黄褐色土
- SK-029  
第1層 10YK3/2 黒褐色土
- SK-030  
第1層 10YK3/2 黒褐色土  
第2層 10YK3/2 黒褐色土

- パミス粒・ブロック(φ5~30mm)少量  
パミスブロック(φ10~30mm)少量  
パミス粒・ブロック(φ5~30mm)少量  
パミス粒・ブロック(φ5~50mm)少量  
パミスブロック(φ10~50mm)中量  
ローム、パミスブロック(φ20~40mm)中量
- パミス粒・ブロック(φ5~20mm)多量  
パミス粒・ブロック(φ5~20mm)少量
- パミス粒・ブロック(φ5~20mm)多量  
パミス粒(φ2~5mm)微量
- パミス粒(φ5~9mm)中量  
パミスブロック(φ20~30mm)多量
- パミス粒(φ5~9mm)少量  
パミスブロック(φ20~30mm)多量
- パミス粒・ブロック(φ5~20mm)中量
- パミス粒(φ2~9mm)少量、焼土粒(φ2~5mm)微量  
パミス粒・ブロック(φ5~30mm)中量

SK-031・032



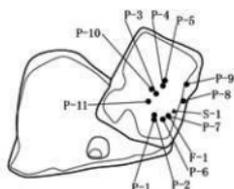
SK-031

第1層	10YK3/2 黒褐色土	パミス粒(φ5~9mm)微量,炭化粒(φ5~9mm)微量
第2層	10YR4/2 灰黄褐色土	パミスブロック(φ10~30mm)少量,炭化粒(φ2~5mm)微量
第3層	10YK3/3 暗褐色土	パミス粒(φ5~9mm)微量,炭化粒(φ2~5mm)微量
第4層	10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミスブロック(φ10~30mm)中量
第5層	10YR6/4 にぶい黄褐色土	ロームブロック層
SK-032		
第1層	10YR2/1 黒色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)多量,焼土粒(φ1~5mm)少量, To-a火山灰微量

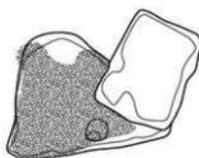
SK-032Pit1

第1層	10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第2層	10YR2/2 黒褐色土	パミス粒極微量,炭化粒極微量
第3層	10YK3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)少量,炭化粒極微量

SK-031土器・石器・鉄関係出土位置図



SK-032炭範囲



SK-032焼土範囲

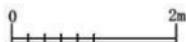


図 1-195 C-3区 SK-5



図 1-196 C-3区 SK-6

187.0×127.0×20.0cmを測る。ほぼ全面に掘り方を有し、最大34.0cmの深さである。断面形は垂直に近い形で立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分がある。掘り方の掘削痕以外で壁跡に小ピットを検出している。懸架材の設置痕の可能性も残されるが詳細は不明である。堆積土は掘り方充填土を含め4層に分層し、第2層が焼土混じりの堆積土である。遺物が多量出土しているが、廃棄主体で、第1～3層にかけて出土している。遺物の出土状況を見ると第1～3層の埋没時間は短時間であったことが考えられる。底面は赤化しておらず、炭化・焼土粒の検出はあるものの、具体的に本遺構で焼成が行われていた痕跡は認められず、焼土の伴う部分の廃棄資料である可能性がある。その点で判断すると隣接するS I-004はカマドが破壊され構築材や支脚等の出土はなく、焼土も散逸した状況での検出で、根元の第9層の部分ではT o-a火山灰がブロック状に混入しており、そこから派生した状況であると本遺構の第1層に含まれるT o-a火山灰ブロックについても整合性がある。

出土遺物は図上復元資料を含め4点図示した。C131は第1層出土の黒色土器碗の口縁部資料で、口径15.0cmを測る。器壁が肉厚で、内外面とも黒色処理が行われており、外面のヘラミガキも体部中半まで広めである。C132は第2層出土の製塩土器の体部片で、円筒状を呈しており、内面は剥落が顕著である。C133は第1～3層出土の図上復元の非クロロ土器甕ないしは撥文土器で、口径28.6cm、器高(37.0)cm、底径6.8cmを測る。内外面ともヘラミガキ主体の調整であるが、外面の頸部にはハケ調整で、その直下には横方向のヘラミガキにより凹線気味の区画を作出している。また外面口唇部は面取りがされ沈線状になっており、口唇部直下には補修孔と貼付の一部が残存しており、裝飾ないしは補修された口縁部である可能性がある。本資料については若干調整手法が異なるものの江渡遺跡のS I-11堆積土出土資料(青市埋文報第75集図版32-123)に類似したものであり、北方からの流入の要素というよりは、9世紀からの系譜を持つ元々在地にいた勢力の製作手法に則った土器である。C134は土製支脚で、上部径9.4cm、器高14.5cm、下部径10.4cmを測る。輪積成形で、製作時の下部にあたる上部の中央を凹ませており、円筒状に積み上げた成形である。透かし部分の切り込みはV字状に刃物等鋭利な工具を使用して作出しているが、左側が直立気味で、右側がルーズな広がりを持った形状となっている。

#### SK-034 (図1-197)

調査区西側で検出した。平面形は不整形円形を呈し

105.0×105.0×26.0cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、一部袋状に入り込む部分がある。堆積土は3層に分層し、流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。本遺構とほぼ同一標高(コンターライン)上にSK-035が近接しており、類似した規模であることから関連した可能性がある。

#### SK-035 (図1-197)

調査区西側で検出した。平面形は不整形円形を呈し、101.0×96.0×33.0cmを測る。断面形は袋状を呈し、所謂フラスコ状土坑である。堆積土は4層に分層し、壁の崩落を含む自然堆積状況を呈する。覆土中からC135・C136に図示した縄文時代後期前葉の体部片が出土している。北側に分布するSK-019等のフラスコ状土坑とは時期が異なり、規模についても本遺構の方が小型である。

#### SK-036 (図1-197)

調査区南西側で検出した。平面形は不整形円形を呈し、138.0×117.0×54.0cmを測る。底面は東側が一段凹んだ形状で、壁は直立気味に立ち上がる。堆積土は4層に分層し、バミスブロック混じりの流れ込みによる自然堆積状況を呈する。

#### SK-037 (図1-197)

調査区南西側で検出した。平面形は不整形円形を呈し、86.0×85.0×19.0cmを測る。断面形は袋状を呈し、所謂フラスコ状土坑である。堆積土は2層に分層し、自然堆積状況を呈する。

#### SK-038 (図1-197)

調査区南西側で検出した。平面形は不整形円形を呈し、144.0×107.0×16.0cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、垂直に近い形で若干開きながら立ち上がる。堆積土は3層に分層し、自然堆積状況を呈する。

#### SK-039 (図1-197)

調査区北西側で検出した。SP-286と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は長方形を呈し、137.0×64.0×14.0cmを測る。断面形は箱形を呈しており、壁は直立気味に立ち上がっている。堆積土は2層に分層し、ブロック混じりの埋め戻しに伴う人為堆積状況を呈する。

#### SK-040 (図1-197)

調査区北西側で検出した。攪乱に破壊されており、(楕円形)を呈したものと思われるが、詳細は不明である。残存部の規模は(63.0)×72.0×11.0cmを測る。堆積土は2層に分層し、第2層は掘り方充填土の可能性がある。

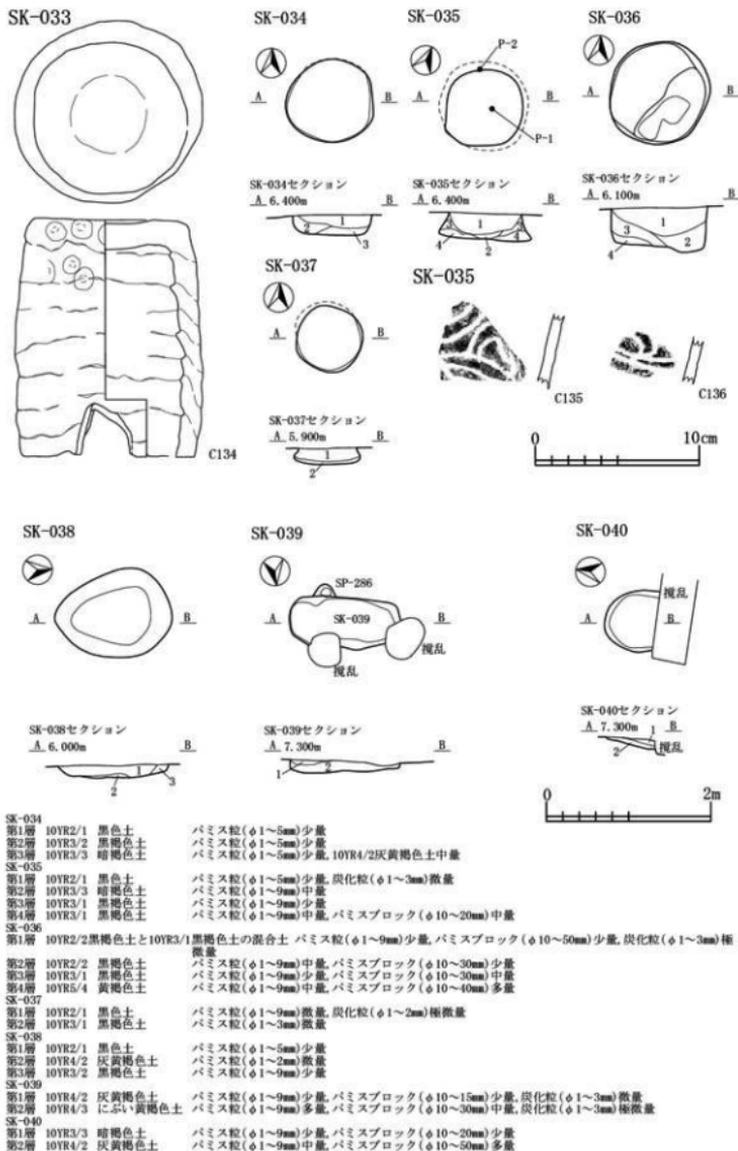


図 1-197 C-3 区 SK-7







### 3. 鉄生産関連炉

SN-001 (図1-198～200)

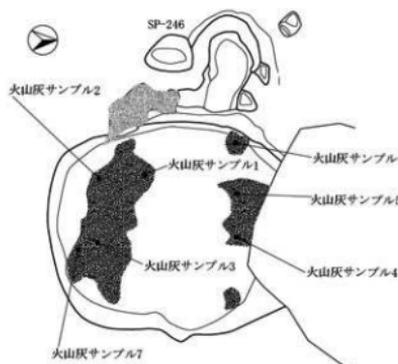
調査区東側で検出した。SP-246と重複し、本遺構の方が古い。斜面の落ち際に前庭部を斜面下方にして作られており、主軸方位はN-84°-Wである。右手(北)側部分が攪乱により破壊されているが、構造は半地下式整形炉で、長さ201.0cm、幅140.0cm、深さ36.0cmを測る。前庭部側は掘り方を有し、深さ46.0cmを測る。堆積土は30層に分層し、炉廃絶後の上面は自然堆積状況を呈している。上面の堆積土に相当する第2・5層からB-Tm火山灰を検出している。出土した鉄滓は製錬滓主体である。

SN-002 (図1-198・201)

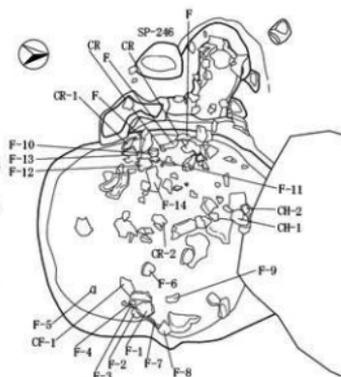
調査区東側で検出した。SN-003①・SP-

299と重複しており、本遺構の方が古い。また約1.8m南側にはSN-001が存在する。SN-001と同様に斜面の落ち際に前庭部を斜面下方にして作られており、主軸方位はN-92°-Wである。前庭部の一部が攪乱によって破壊されているため全体形は不明であるが、残存部の規模は長さ(124.0)cm、幅122.0cm、深さ24.0cmを測る。前庭部は掘り方があり、掘り方の深さは46.0cmを測る。堆積土は15層に分層し、炉体の破壊後そのまま放置された状態で、上面がSN-003①に利用されている状況である。SN-001に比べると操業回数が少ない状況である。堆積土中から火山灰の検出はなく、出土した鉄滓は製錬滓主体であるが、隣接するSN-003①・②の影響による鍛冶滓の混入がある。

SN-001B-Tm火山灰・火山灰サンプル・粘土範囲



SN-001鉄滓・羽口・炉壁出土位置図

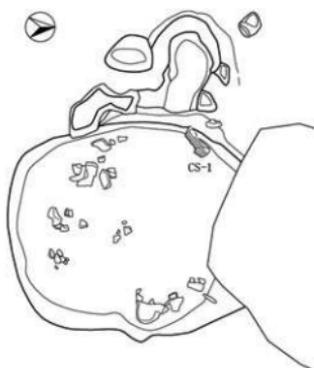


SN-001焼土範囲

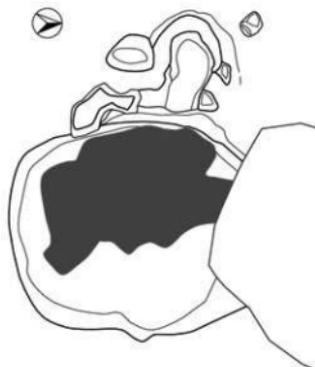


図1-199 C-3区SN-2

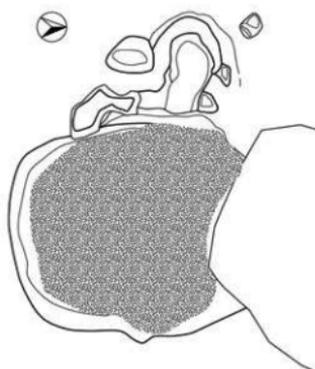
SN-001炭化物・遺物微細出土位置図



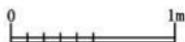
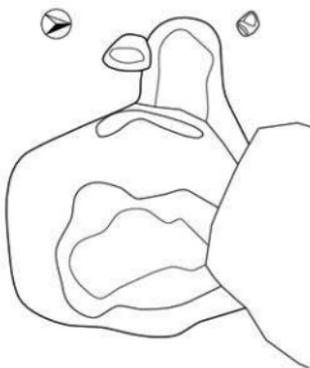
SN-001鉄関連遺物出土範囲



SN-001炭化物混入黒化土範囲



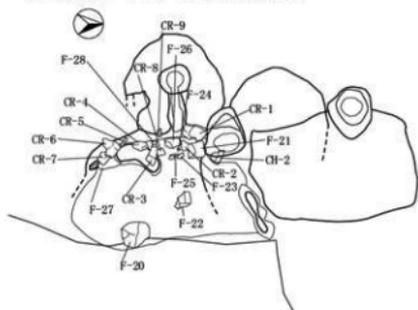
SN-001掘り方



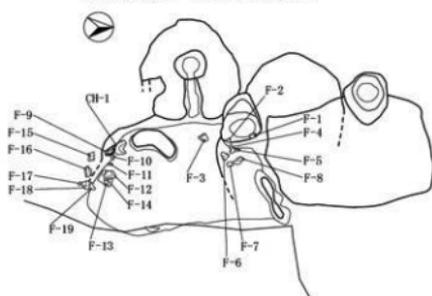
IV-3  
C-3区

図 1-200 C-3区 SN-3

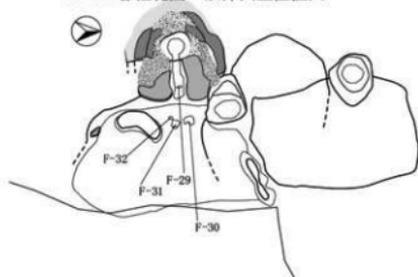
SN-002鉄滓・炉壁・羽口出土位置図



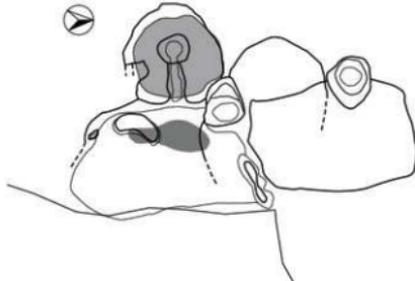
SN-002鉄滓・羽口出土位置図



SN-002各種範囲・鉄滓出土位置図



SN-002焼土範囲



SN-002・003①・003②掘り方平面

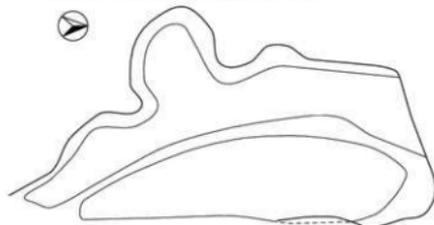


図 1-201 C-3区 SN-4

SN-003①・② (図 1-198・202)

調査区東側で検出した。精査当初はSN-003単独で取り扱われていたが、土層確認時に2基に分かれることが判明し、「①」と「②」を付し精査されている。なお、出土した鉄滓の一部はSN-003で取り上げられているものもある。南側の楕円形状のプランのSN-003①と北側の長方形のプランの西側に円形の鍛冶炉が付属したSN-003②がある。SN-003①は南側でSN-002、北側でSN-003②と重複しており、SN-003①がいずれの遺構よりも新しい。また、

SP-299と重複しており、攪乱の影響があるが、SN-003①の方が古い。

SN-003①は不整楕円形を呈し、 $200.0 \times 143.0 \times 7.0$  cmを測る。一部で掘り方を有し、掘り方の深さは17.0 cmを測る。斜面上方の黒化した被熱部分となっており、鍛冶炉として機能していた場合この部分が炉体部となる。なお、斜面下方に向け焼土が広がった状況で検出していることから廃棄に際し、破壊が伴い斜面下方に流れ込んでいる状況である。堆積土は7層に分層している。

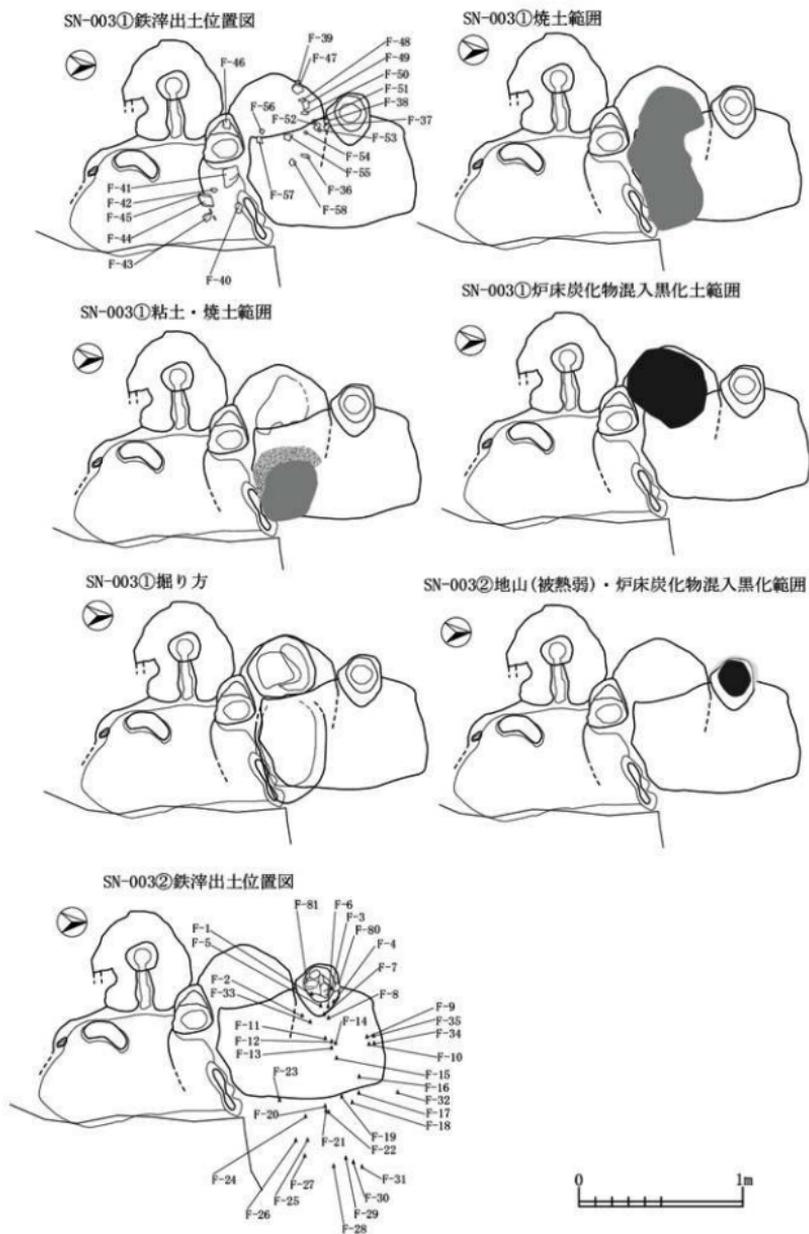


図 1-202 C-3 区 SN-5

SN-003②は長さ68.0cm、幅102.0cmの長方形の掘り込みの斜面上方の西側に、長さ32.0cm、幅26.0cmの不整形円形の落ち込みが組み合わさった鍛冶炉で、炉体は不整形円形形状の部分が相当し、炭化物混じりの黒化した炉床の上面には還元化した炉壁の一部が出土していた。遺物は斜面下方に散乱した状況で出土しており、面的にSN-003①と混在した可能性が高い。堆積土はSN-003①と共通の第8～12層5層分が本遺構扱いで記録されている。

SN-003①・②双方が鍛冶炉とした場合、SN-003①とSN-002が重複関係にあり、SN-003①がSN-002より新しいことからSN-003①が炉として機能した際に製錬炉として対応する炉跡はSN-001の可能性が最も高い取り扱いとなる。その場合前段階のSN-002に対応する鍛冶炉はSN-003②となる。また後述するSN-004とSN-003①は類似した軸線の不整形円形を呈する形状で同時併存の可能性がある。

SN-004 (図1-198・203)

調査区東側で検出した。SN-001・002・003①・②と近接した位置にあり、SN-003②の斜面下方に相当する。平面形は不整形円形を呈し、81.0×60.0×16.0cmを測る。また斜面下方は掘り方を有し、深さ18.0cmを測る。前述のとおりSN-003①と類似した軸線で、本

遺構は掘り方の部分に粘土が貼られ、斜面上方に相当する西側の部分を炉体とし、焼成が行われている。土層注記の記録が不十分であるが、記録写真を確認すると炉床部は炭化物とともに一部還元化した土が確認でき、周縁部の粘土は赤化していた。炉床部に集中して鉄滓が出土しているが、出土した際は製錬・鍛冶混在した状況であった。

4. 溝状土坑 (Tピット)

STP-001 (図1-204)

調査区東側で検出した。コンターラインに直交する形で構築されている。平面形は溝状を呈し、329.0×48.0×83.90cmを測る。断面形は長軸方向が両端とも袋状に入り込む形状で、短軸側は底部から直立気味に立ち上がり、上端の一部で段を持つ部分があり、若干開き気味に立ち上がっている。堆積土は3層に分層し、崩落が伴う自然堆積状況を呈する。

STP-002 (図1-204)

調査区東側で検出した。コンターラインにはほぼ直交する形で構築されている。平面形は、溝状を呈し、289.0×53.0×67.0cmを測る。断面形は長軸方向は袋状に入り込む形状で、短軸方向は垂直に近い形で立ち上がっている。堆積土は1層で、流れ込みの伴う自然堆積状況を呈する。

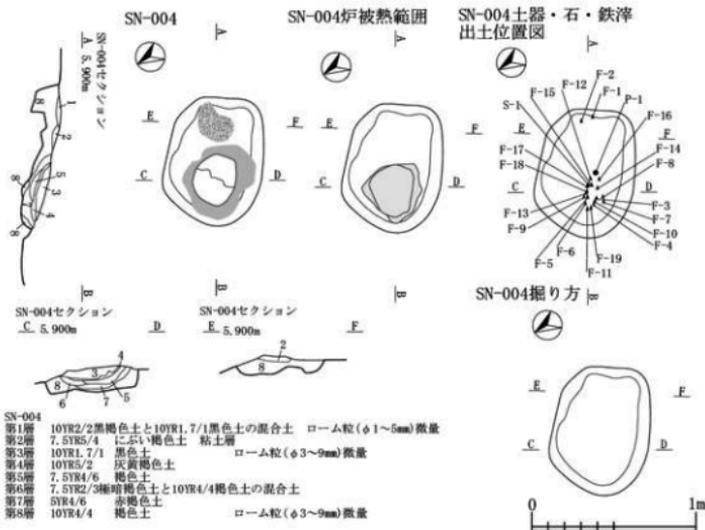


図1-203 C-3区SN-6

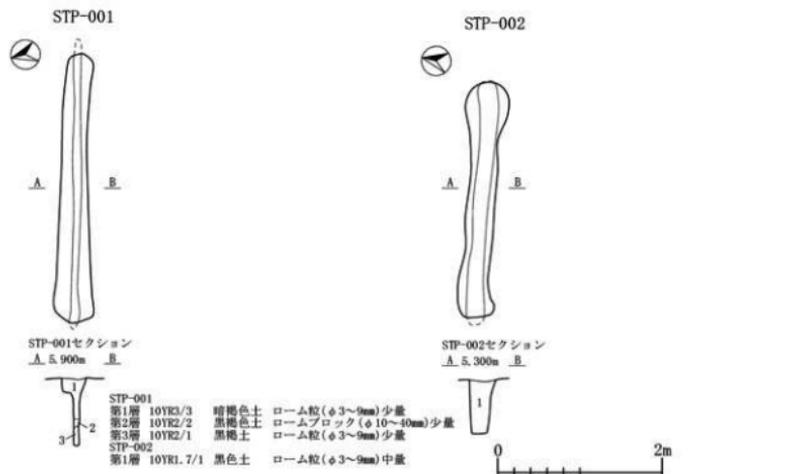


図 1-204 C-3 区 STP

## 5. その他の遺構

SX-003 (図 1-198・205)

調査区東側で検出したSN-001等の検出に伴い、斜面下方で鉄滓が分布していた範囲をSX-003とし、その部分に図1-205に図示した50cmメッシュを配置して遺物の取り上げを行った。掘り下げに伴い検出した土坑やピット状の落ち込みについてはそのままSX-003掃蕩扱ひのPitとして精査されている。

斜面は緩やかに東側に傾斜する地形で、SX-003の認定時以前にある程度の掘り下げが進行していたため上面の堆積土が残存していない状況であった。ただ、SN-001等に伴う鉄滓については掘り下げに伴い出土するものがほとんどで、擾乱に伴い一部新しい時期の資料が混入した部分も認められるが、廃棄層は記録した第2層に伴うものである。鉄滓混入層除去後のみからT<sub>0-a</sub>火山灰をブロック状に検出しており、Pit13とした小判形の土坑(130.0×83.0×18.0cm)の第1層にもT<sub>0-a</sub>火山灰のブロックが堆積している。SN-001にB-T<sub>m</sub>火山灰が伴っていることからT<sub>0-a</sub>火山灰降灰後～B-T<sub>m</sub>火山灰降灰前の期間に操業した可能性が高く、C-3区検出の竪穴建物の継続時間内に土器生産と鉄生産が行われていた可能性が高いものと判断できる。図示した資料は2層に混入した陶器(C137)、石鏝(C138)、土製基石(C139)、寛永通寶(C140)と混入した資料中心である。

SX-004 (図 1-206)

調査区南西で検出した。溝状の流路状に図面が記録されているが、沢地形の最も落ち込んだ自然地形に相当する。調査区内での長さは17.4mを測る。南東側の斜面下方は凹みが広がった形状で、周辺には縄文時代後期のフラスコ状土坑なども点在しており、水場としての利用も考慮できるが、遺物がほとんど伴っていない状況である。

SX-006 (図 1-205・207)

調査区東側で検出した。SP-245と重複し、本遺構が古い。平面形は不整形円形を呈し、73.0×70.0×7.0cmを測る。壁は開き気味に立ち上がっている。堆積土は1層に分層し、埋め戻しの要因が強い。

SX-007 (図 1-205・207)

調査区東側で検出した。平面形は不整形を呈し、134.0×107.0×19.0cmを測る。断面形は凹凸が顕著で壁は緩やかに立ち上がっている。堆積土は1層に分層し、埋め戻しに伴う人為堆積状況を呈する。

SX-008 (図 1-205・207)

調査区東側で検出した。平面形は不整形長方形を呈し、133.0×89.0×24.0cmを測る。東側の底面にピット状の浅い落ち込みがあり、42.0×25.0×6.0cmを測る。壁は開き気味に立ち上がっている。堆積土は1層に分層し、埋

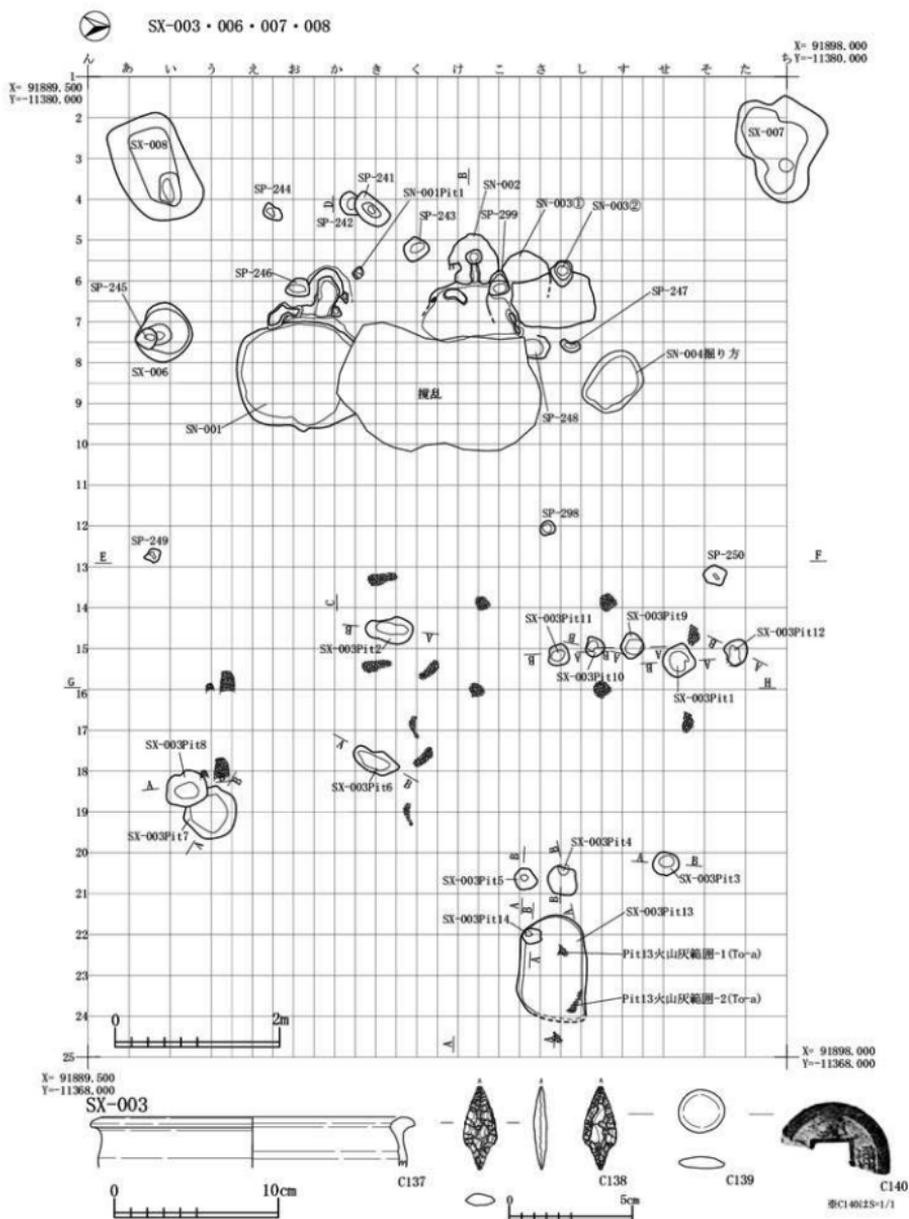
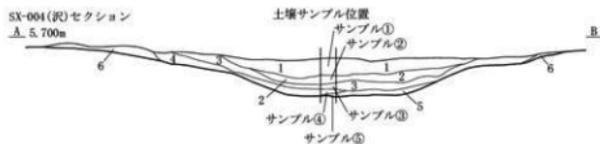
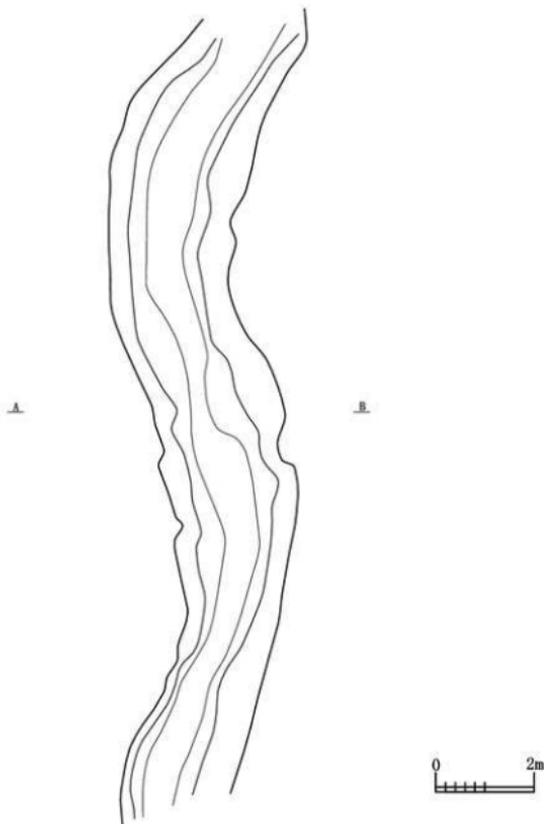


図 1-205 C-3区 SX-1

 SX-004(沢)



SX-004(沢)

- 第1層 10YR1.7/1 黒色土
- 第2層 10YR2/1 黒色土
- 第3層 10YR4/1 暗灰色土
- 第4層 10YR5/2 暗灰褐色土
- 第5層 2.5YR5/2 暗灰色土(灰質土)
- 第6層 10YR4/2 灰黄褐色土

- パミス粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量, ローム粒( $\phi 1\sim 2\text{mm}$ )少量
- パミス粒( $\phi 1\sim 2\text{mm}$ )極微量, ローム粒( $\phi 1\sim 2\text{mm}$ )極微量
- ローム粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )微量

- パミス粒( $\phi 1\sim 9\text{mm}$ )中量, ローム粒( $\phi 1\sim 5\text{mm}$ )少量, 炭化粒( $\phi 1\sim 3\text{mm}$ )微量, 焼土粒( $\phi 3\sim 5\text{mm}$ )極微量



IV-3  
C-3区

図 1-206 C-3区 SX-2

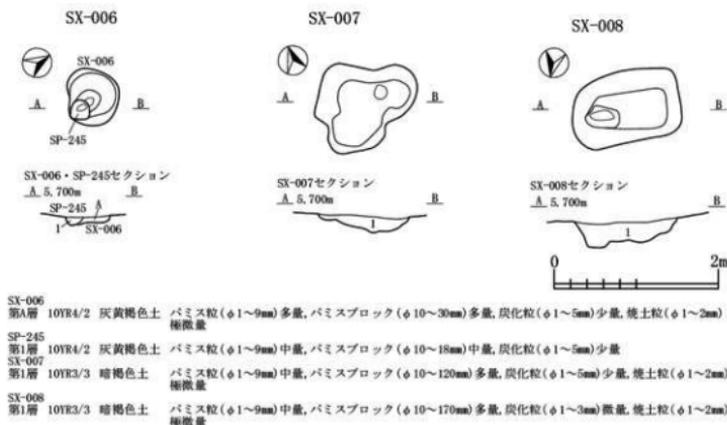


図 1-207 C-3 区 SX-3

め戻しに伴う人為堆積状況を呈する。

#### 6. ピット (図 1-208 ~ 228)

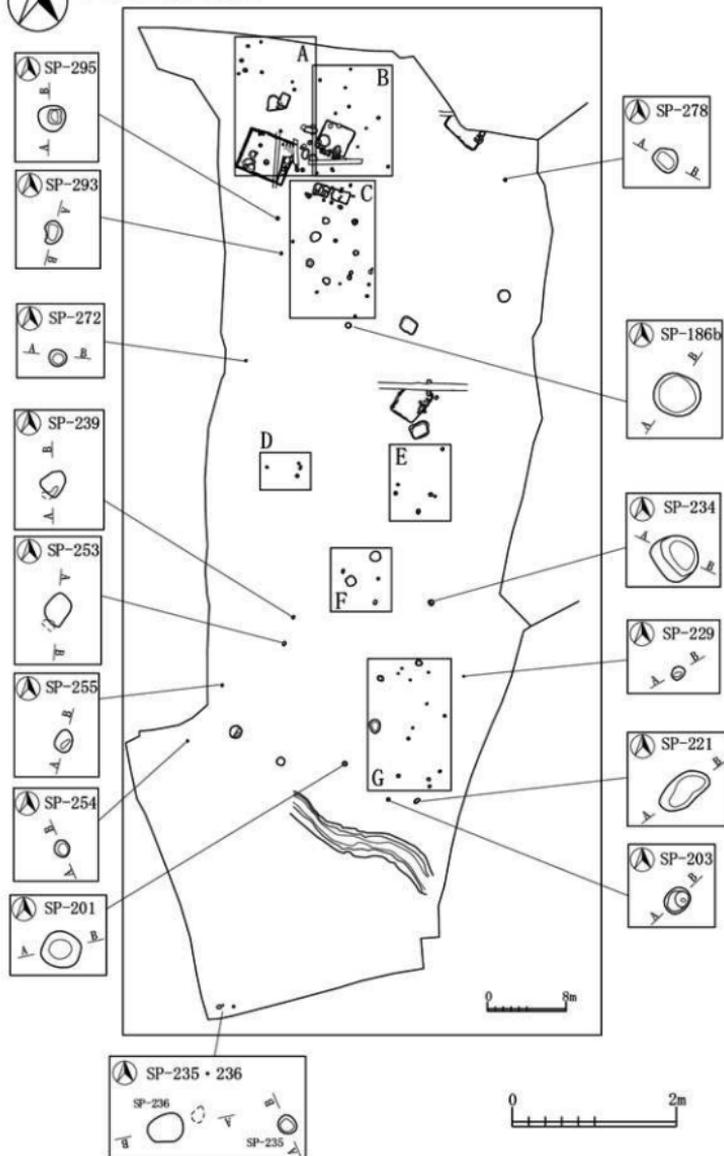
調査区内から 200 基検出した。SP の略号が付された資料以外に別遺構の帰属扱いで記録されたピットも存在する。図 1-223 の「H」で図示した地点のピット群は調査前に建っていた住宅の地割と合致する。その他のピットについては一部列を成すものも見られるが、建物跡や欄列として認定した資料はない状況である。個別の規模等に関する情報は遺構観察表に一括して掲載した。

#### 7. 遺構外出土遺物 (図 1-229)

6 点図示した。C141 は縄文時代前期の円筒下層式の体部資料で、地文は単軸絡条体 1 類で、胎土中に繊維の混入痕が見られる。内外面とも黒斑が見られる。C142 は白磁碗で高台径 5.6 cm を測る。高台部は削り出で、内外面の軸は非常に薄く、内面見込部分にはトチン目が二箇所残存している。C143 は陶器の甕で外面はカキメによる調整で、掲軸が垂れかけられている。C144 は図 1-170 の遺構外 S-1、C145 は遺構外 S-2 出土の石鏃で、石質はいずれも珪質頁岩である。また、C146 は擾乱から出土した寛永通寶である。

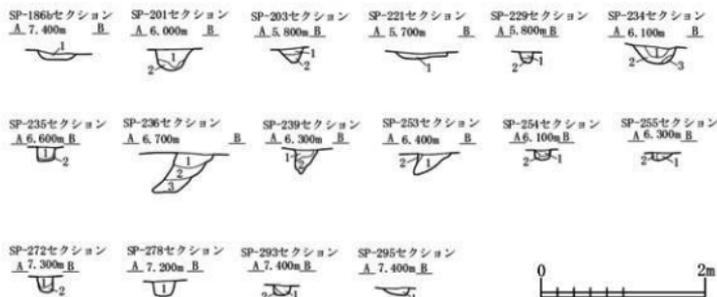


C-3区SP配置図-1



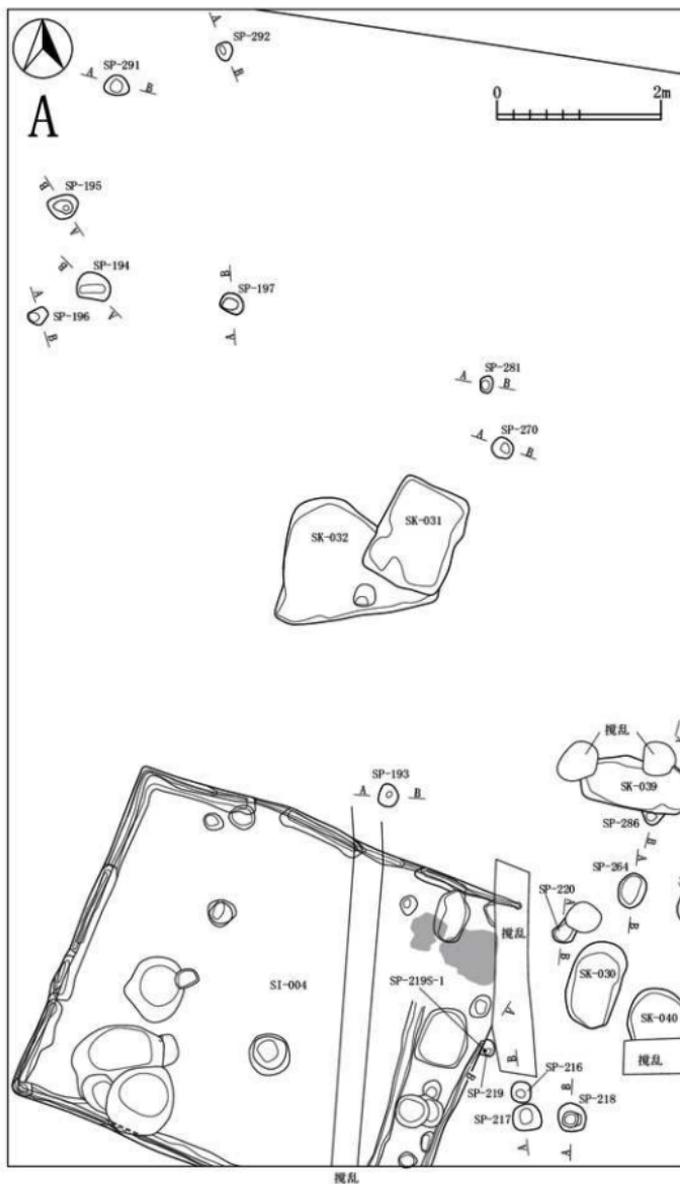
IV-1  
C-3区

図 1-208 C-3区 SP-1



SP-186b		
第1層 10TR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量
SP-201		
第1層 10TR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第2層 10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~20mm)中量
SP-203		
第1層 10TR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量
第2層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量
SP-221		
第1層 10TR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,10TR4/2灰黄褐色土のローム粒(φ9~10mm)少量
SP-229		
第1層 10TR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~2mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)少量
第2層 10TR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量
SP-234		
第1層 10TR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量
第2層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,バミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~9mm)微量
第3層 10TR6/6	明黄褐色土	バミス層
SP-235		
第1層 10TR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
第2層 10TR2/3	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SP-236		
第1層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量
第2層 10TR4/1	褐灰色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)少量
第3層 10TR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~30mm)少量
SP-239		
第1層 10TR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量
第2層 10TR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-253		
第1層 10TR3/1	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~9mm)少量
第2層 10TR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SP-254		
第1層 10TR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1~5mm)少量
第2層 10TR4/2	灰黄褐色土	炭化粒(φ1~3mm)微量(砂質土)
SP-255		
第1層 10TR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ5~9mm)少量
第2層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)中量,ローム粒(φ1~9mm)少量
SP-272		
第1層 10TR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~5mm)少量
第2層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
SP-278		
第1層 10TR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
SP-293		
第1層 10TR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量,バミスブロック(φ10~12mm)極微量,ローム粒(φ1~3mm)極微量
第2層 10TR4/4	褐色土	バミス粒(φ1~5mm)極微量,バミスブロック(φ10~12mm)極微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-295		
第1層 10TR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)少量

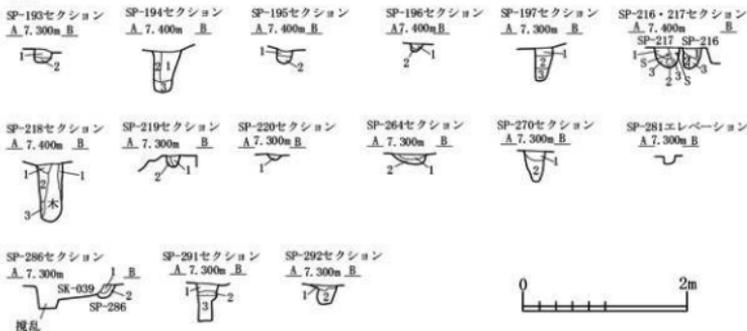
図 1-209 C-3区 SP-2



IV-3  
C-3区

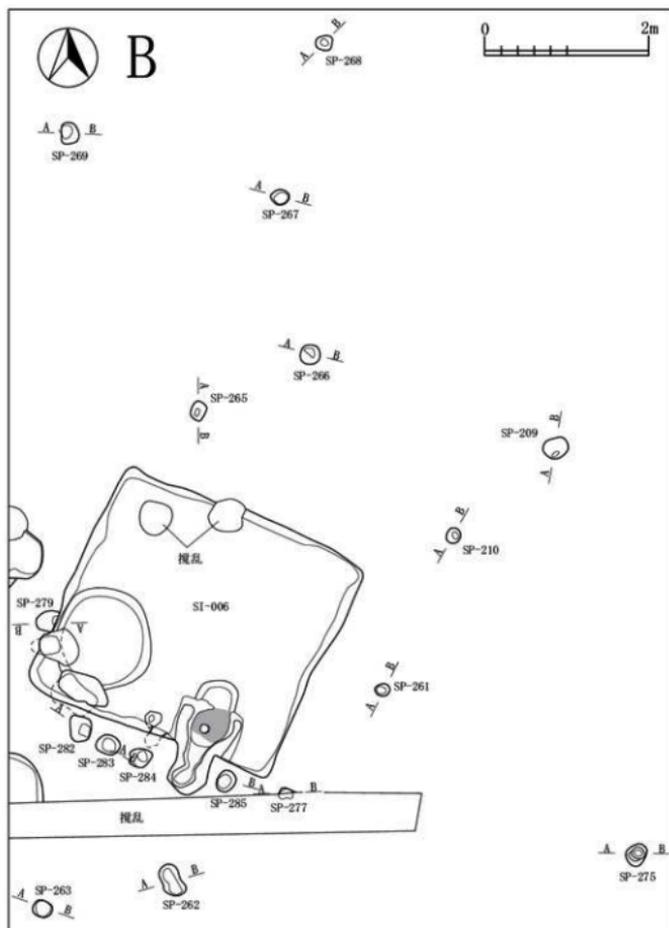
図 1-210 C-3区 SP-3

# A

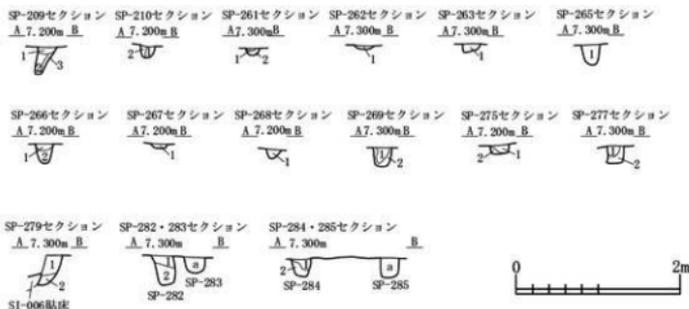


SP-193	第1層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量,パミスブロック(φ10~30mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ3~5mm)微量
	第2層 10YR4/6 褐色土	パミス粒(φ1~3mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
SP-194	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量,To-a火山灰微量混入
	第2層 10YR4/4 褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR4/6 褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量
SP-195	第1層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~20mm)極微量,ローム粒(φ1~2mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR3/1 黒褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)微量
SP-196	第1層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR3/4 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~15mm)微量
SP-197	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR3/4 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量
	第3層 10YR3/4 暗褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-216	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒極微量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,ローム粒極微量
	第3層 10YR3/4 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量
SP-217	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR3/4 暗褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量,パミスブロック(φ10~25mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR3/2 黒褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)少量
SP-218	第1層 10YR5/4 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR6/6 明黄褐色土	パミス粒(φ1~3mm)微量,パミスブロック(φ10mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR6/8 明黄褐色土	パミス粒極微量,ローム粒(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)少量
SP-219	第1層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
	第2層 10YR5/4 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	SP-220	
	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~5mm)中量,パミスブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)少量
SP-264	第1層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量,To-a火山灰少量混入
	第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~30mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量
SP-270	第1層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)少量
SP-286	第1層 10YR4/2 灰黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量
	第2層 10YR4/2 灰黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)多量,パミスブロック(φ10~30mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量
SP-291	第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~25mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR4/4 褐色土	パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
	第3層 10YR3/3 暗褐色土	パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~3mm)少量
SP-292	第1層 10YR2/3 黒褐色土	パミス粒(φ1~2mm),ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量
	第2層 10YR4/6 褐色土	パミス粒(φ1~2mm)微量,ローム粒極微量

図 1-211 C-3 区 SP-4



# B



SP-209			
第1層	10TR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
第2層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,バミスブロック( $\phi$ 10~30mm)微量
第3層	10TR5/4	にぶい黄褐色土	
SP-210			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,ローム粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
第2層	10TR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)微量,ローム粒( $\phi$ 1~9mm)中量,ロームブロック( $\phi$ 10~20mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-261			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)微量,炭化粒( $\phi$ 1~9mm)微量
第2層	10TR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,バミスブロック( $\phi$ 10~30mm)多量
SP-262			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)中量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-263			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)中量,バミスブロック( $\phi$ 10~30mm)多量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
SP-265			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~9mm)微量
SP-266			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)微量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
第2層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,バミスブロック( $\phi$ 10~20mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-267			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~3mm)微量,ローム粒( $\phi$ 1~9mm)少量,ロームブロック( $\phi$ 10~20mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
SP-268			
第1層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
SP-269			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量,To-a火山灰微量混入
第2層	10TR4/3	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)中量,バミスブロック( $\phi$ 10~30mm)中量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-275			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~5mm)微量
第2層	10TR5/4	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)微量,バミスブロック( $\phi$ 10~20mm)微量
SP-277			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,ローム粒( $\phi$ 2~5mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量
第2層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)少量,ローム粒( $\phi$ 1~9mm)中量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-279			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~6mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~2mm)微量,To-a火山灰極微量
第2層	10TR4/2	黒褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-282			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~9mm)微量,焼土粒( $\phi$ 1~3mm)微量,To-a火山灰微量
第2層	10TR4/2	灰黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,バミスブロック( $\phi$ 10~20mm)微量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量
SP-283			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~5mm)少量,焼土粒( $\phi$ 8~9mm)微量,To-a火山灰微量
SP-284			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)微量,ローム粒( $\phi$ 1~9mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~3mm)微量,To-a火山灰微量
第2層	10TR4/2	にぶい黄褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~3mm)微量,ロームブロック( $\phi$ 10~40mm)多量,To-a火山灰微量
SP-285			
第1層	10TR3/3	暗褐色土	バミス粒( $\phi$ 1~5mm)少量,炭化粒( $\phi$ 1~5mm)少量,焼土粒( $\phi$ 1~3mm)微量,To-a火山灰微量

図 1-213 C-3区 SP-6

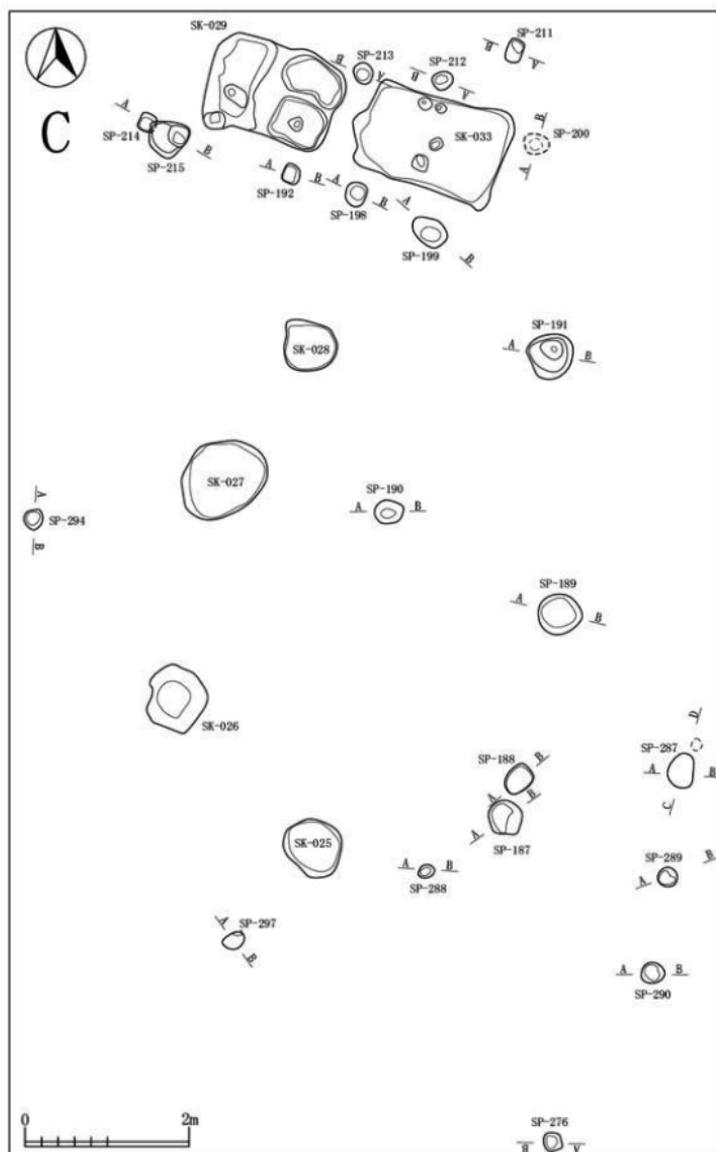
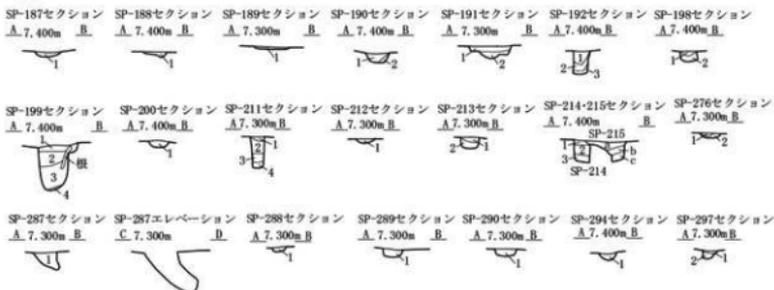


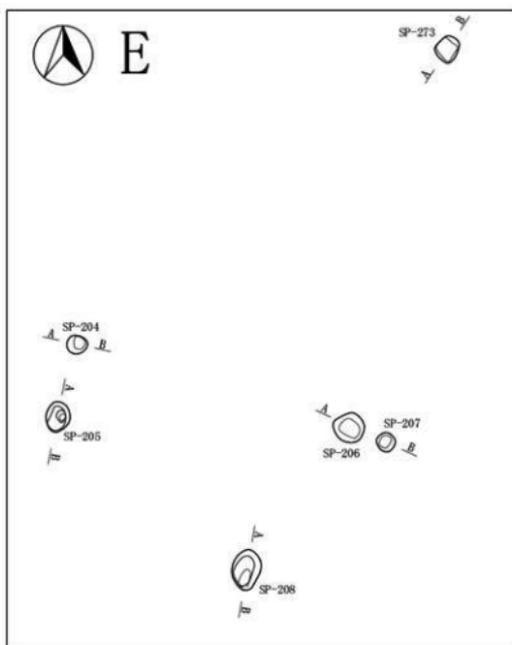
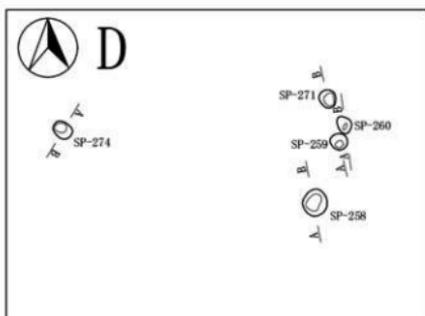
図 1-214 C-3 区 SP-7

C



SP-187 第1層 10TR3/3 暗褐色土	SP-188 第1層 10TR3/3 暗褐色土	SP-189 第1層 10TR3/3 暗褐色土	SP-190 第1層 10TR2/2 黒褐色土 第2層 10TR5/6 黄褐色土	SP-191 第1層 10TR3/3 暗褐色土 第2層 10TR3/3 暗褐色土	SP-192 第1層 10TR4/3 にぶい黄褐色土 第2層 10TR4/3 にぶい黄褐色土	SP-199 第1層 10TR4/3 にぶい黄褐色土 第2層 10TR3/4 暗褐色土 第3層 10TR3/2 黒褐色土 第4層 10TR3/3 暗褐色土	SP-200 第1層 10TR5/4 にぶい黄褐色土	SP-211 第1層 10TR3/3 暗褐色土 第2層 10TR4/3 にぶい黄褐色土 第3層 10TR3/2 黒褐色土 第4層 10TR3/1 黒褐色土	SP-212 第1層 10TR5/3 にぶい黄褐色土	SP-213 第1層 10TR4/2 灰黄褐色土 第2層 10TR4/6 褐色土	SP-214 第1層 10TR4/3 にぶい黄褐色土 第2層 10TR2/3 黒褐色土 第3層 10TR2/2 黒褐色土	SP-215 第a層 10TR4/3 にぶい黄褐色土 第b層 10TR3/4 暗褐色土 第c層 10TR3/2 黒褐色土	SP-276 第1層 10TR3/2 黒褐色土 第2層 10TR5/4 にぶい黄褐色土	SP-288 第1層 10TR4/2 灰黄褐色土	SP-289 第1層 10TR3/3 暗褐色土	SP-290 第1層 10TR3/4 暗褐色土 第2層 10TR3/3 暗褐色土	SP-294 第1層 10TR3/4 暗褐色土 第2層 10TR4/3 にぶい黄褐色土	SP-297 第1層 10TR3/4 暗褐色土 第2層 10TR4/3 にぶい黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)中量 ローム粒(φ3~9mm)少量 ローム粒(φ3~9mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)少量 ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)少量 ローム粒(φ3~9mm)少量 ロームブロック(φ10~30mm)多量 バミズ粒(φ1~3mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)少量 ローム粒(φ1~3mm)微量 ローム粒極微量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~15mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~3mm)少量,ローム粒(φ1~5mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒極微量,ローム粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒極微量,ローム粒(φ1~2mm)微量 ローム粒(φ1~2mm)少量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~5mm)少量,バミズブロック(φ10mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量 バミズ粒(φ1~3mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)少量 バミズ粒(φ1~5mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量 ローム粒(φ1~2mm)少量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~15mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~5mm)微量,バミズブロック(φ10~12mm)極微量,ローム粒(φ1~3mm)少量 バミズ粒(φ1~3mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~2mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)少量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~5mm)少量,バミズブロック(φ10~12mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~2mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)中量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量 バミズ粒(φ1~9mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量 バミズ粒(φ1~5mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)少量 バミズ粒(φ1~3mm)少量,バミズブロック(φ10~20mm)微量,ローム粒(φ1~2mm)微量
----------------------------	----------------------------	----------------------------	--	--	--	---	-------------------------------	---	-------------------------------	--	---	---	---	-----------------------------	----------------------------	--	---	---	--

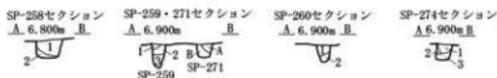
図 1-215 C-3区 SP-8



IV-3  
C-1E

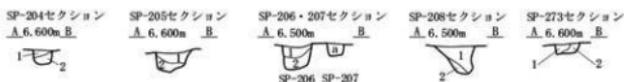
図 1-216 C-3区 SP-9

# D



SP-258			
第1層 10YK3/3 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~30mm) 少量, 炭化粒 (φ1~3mm) 微量		
第2層 10YR1/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~20mm) 少量		
SP-259			
第1層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~5mm) 中量		
第2層 10YK3/3 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量		
第3層 10YK2/3 黒褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量		
SP-271			
第4層 10YK3/3 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, ローム粒 (φ1~3mm) 少量		
第5層 10YR1/2 灰黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ20mm大) 混入		
SP-260			
第1層 10YR1/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~3mm) 少量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量		
第2層 10YR1/2 灰黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 中量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量		
SP-274			
第1層 10YK1/4 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, ローム粒 (φ1~3mm) 微量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量		
第2層 10YR1/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~2mm) 微量, 炭化粒 (φ1~3mm) 微量		
第3層 10YK3/3 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~50mm) 少量, ロームブロック (φ20mm大) 混入		

# E



SP-204				
第1層 10YR1/2 灰黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~40mm) 微量			
第2層 10YK3/2 黒褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, 炭化粒 (φ1~3mm) 微量			
SP-205				
第1層 10YR1/2 灰黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~50mm) 微量, 炭化粒 (φ1~3mm) 微量			
第2層 10YK3/2 黒褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, バミスブロック (φ10~20mm) 少量			
SP-206				
第1層 10YR1/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量			
第2層 10YR1/2 灰黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, 炭化粒 (φ1~3mm) 少量			
SP-207				
第3層 10YK3/3 暗褐色土	バミス粒 (φ1~5mm) 少量, 炭化粒 (φ1~3mm) 微量			
SP-208				
第1層 10YK3/1 黒褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 少量, 炭化粒 (φ1~2mm) 微量			
第2層 10YK2/1 黒色土	バミス粒 (φ1~5mm) 少量			
SP-273				
第1層 10YR1/3 にぶい黄褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 中量, 炭化粒 (φ3mm) 極微量			
第2層 10YK3/4 暗褐色土	バミス粒 (φ1~9mm) 多量, バミスブロック (φ10~30mm) 中量			

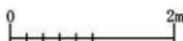
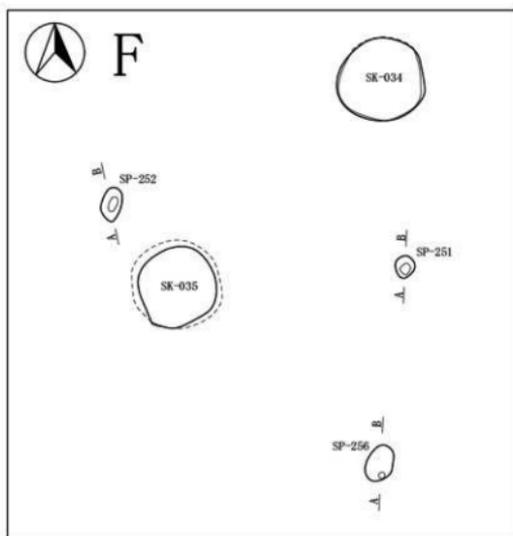


図 1-217 C-3 区 SP-10



SP-251セクション  
A. 6.400m B.



SP-252セクション  
A. 6.400m B.



SP-256セクション  
A. 6.300m B.



SP-251

第1層 10YR2/1 黒色土  
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土

SP-252

第1層 10YR3/1 黒褐色土  
第2層 10YR2/2 黒褐色土  
第3層 10YR3/2 黒褐色土

SP-256

第1層 10YR2/2 黒褐色土  
第2層 10YR3/2 黒褐色土  
第3層 10YR3/3 暗褐色土

バミス粒(φ1~9mm)多量,バミスブロック(φ30mm大)混入,炭化粒(φ1~3mm)微量  
バミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量

バミス粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量  
バミス粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量,ローム粒(φ1~3mm)微量  
バミス粒(φ1~5mm)中量,ローム粒(φ1~2mm)微量

バミス粒(φ1~9mm)少量,ローム粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
バミス粒(φ1~5mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)微量  
バミス粒(φ1~9mm)中量,ローム粒(φ1~3mm)少量,炭化粒(φ3mm)極微量

IV-3  
C-3B



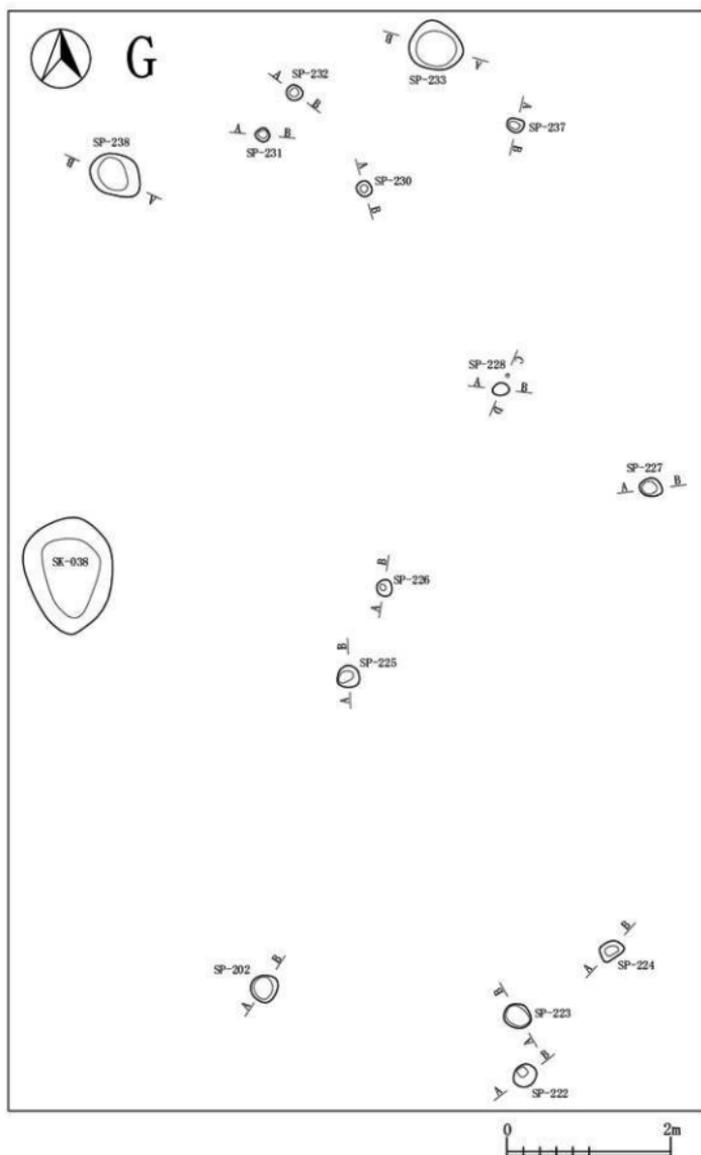
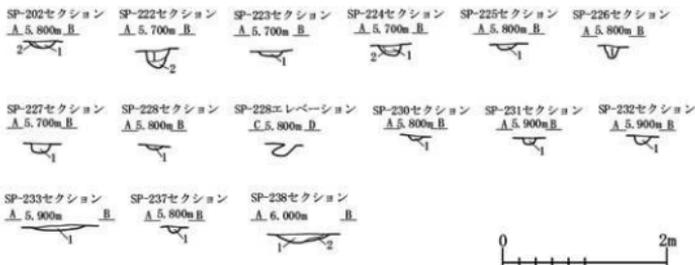


图 1-219 C-3 区 SP-12

## G



SP-202		
第1層 10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量	
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土	バミス粒(φ1~2mm)微量	
SP-222		
第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ5~9mm)微量, ローム粒(φ1~3mm)少量	
第2層 2. 5YR2/1 黒色土	ローム粒(φ1~2mm)微量	
SP-223		
第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, バミスブロック(φ20mm大)混入, ローム粒(φ1~2mm)微量	
SP-224		
第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)微量	
第2層 10YR4/2 灰黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~9mm)少量	
SP-225		
第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量, 炭化粒(φ1~9mm)少量	
SP-226		
第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ20mm大)混入, ローム粒(φ1~3mm)少量	
SP-227		
第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量, ローム粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)極微量	
SP-228		
第1層 10YR2/3 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量, 10YR5/4にぶい黄褐色土のロームブロック(φ30mm大)混入, 焼土粒(φ1~2mm)極微量	
SP-230		
第1層 10YR3/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量, ローム粒(φ1~2mm)少量	
SP-231		
第1層 10YR2/2 黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)微量, ローム粒(φ1~2mm)微量	
SP-232		
第1層 10YR3/3 暗褐色土	ローム粒(φ1~3mm)微量, バミス粒(φ1~9mm)中量, バミスブロック(φ10~15mm)少量	
SP-233		
第1層 10YR2/1 黒色土	バミス粒(φ1~3mm)少量	
SP-237		
第1層 10YR3/1 黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, ローム粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ3mm)極微量	
SP-238		
第1層 10YR4/1 褐色土	バミス粒(φ1~2mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)少量	
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土	バミス粒(φ1~3mm)少量	



高間(1)C-3区SP配置図-2

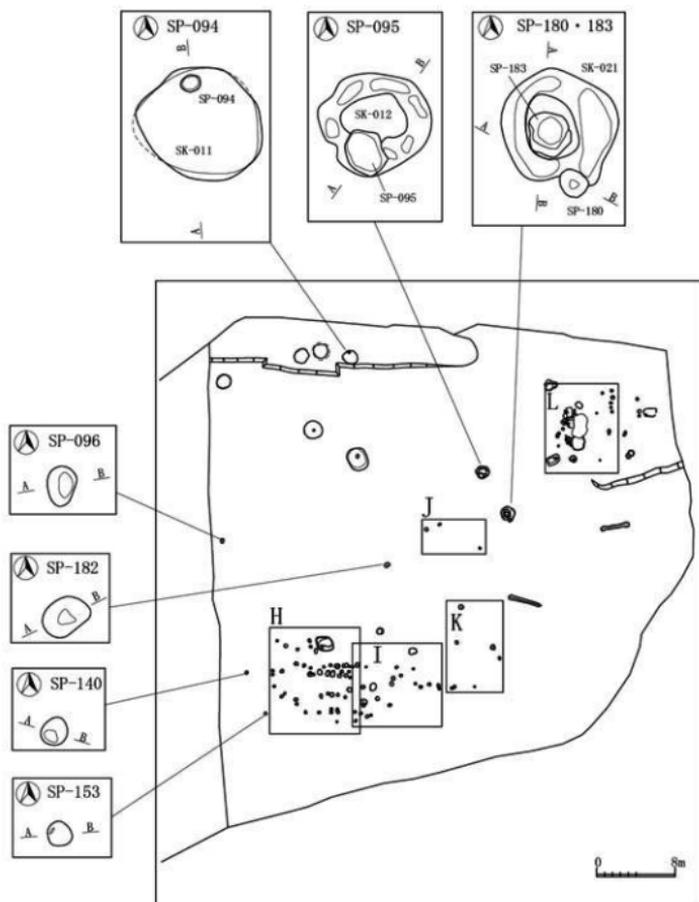
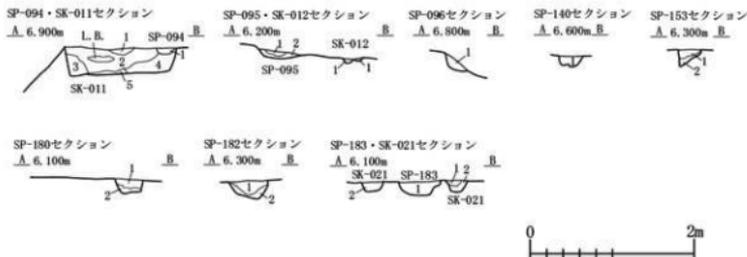


図 1-221 C-3区 SP-14



SP-094			
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
SK-011			
第1層	10YR3/4	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第2層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量
第3層	10YR4/4	褐色土	パミス粒(φ1~9mm)微量,ローム粒(φ1~9mm)少量
第4層	10YR5/6	黄褐色土	ローム粒(φ1~9mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)少量
第5層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~9mm)少量
SP-095			
第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒・ブロック(φ1~20mm)少量
第2層	10YR3/3暗褐色土と10YR5/8黄褐色土の混合土		
SK-012			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1~9mm)少量
SP-096			
第1層	10YR3/3	暗褐色土	ローム粒(φ3~9mm)微量,ロームブロック(φ10~20mm)少量
SP-140			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10~50mm)多量
SP-153			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ10mm)中量
SP-180			
第1層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)微量
第2層	10YR2/3黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土		
SP-182			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)少量,ロームブロック(φ10~50mm)少量
第2層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ20~50mm)少量
SP-183			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)少量
SK-021			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量,ロームブロック(φ10~20mm)微量
第2層	10YR2/3	黒褐色土	ロームブロック(φ10~30mm)中量

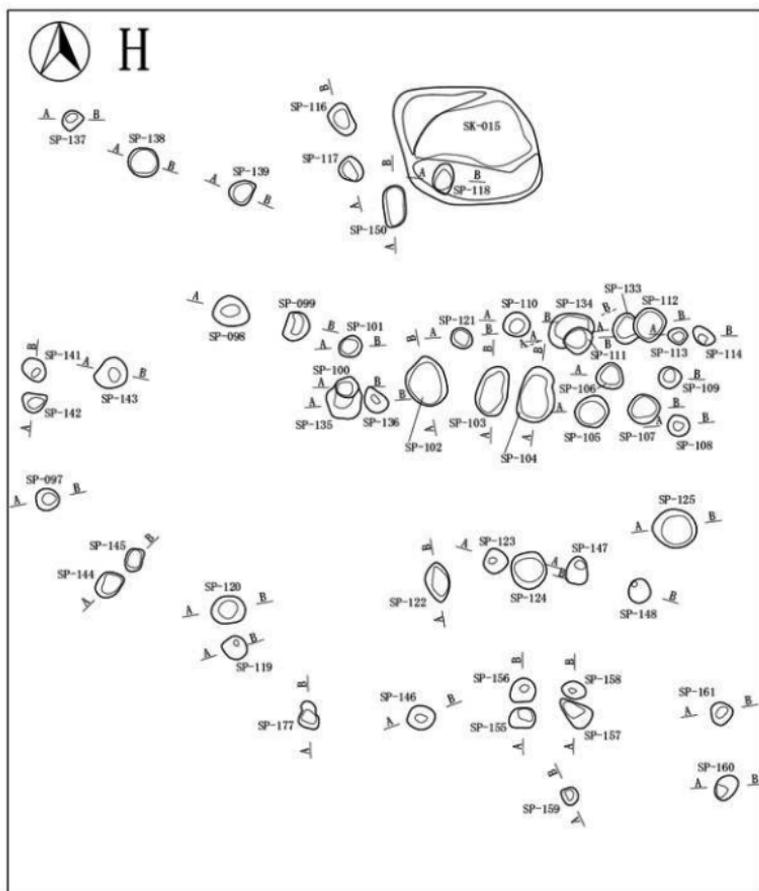


图 1-223 C-3 区 SP-16



SP-144	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)散量
	第2層	10R2/2	黒褐色土と10R5/6黄褐色土の混合土	
SP-145	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ20~30mm)少量
SP-146	第1層	10R2/3	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)散量
	第2層	10R3/3	緑褐色土	ローム粒(φ3mm)散量
SP-147	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3mm)散量
SP-148	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)散量
SP-150	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)散量、ロームブロック(φ10mm)散量
	第2層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量、ロームブロック(φ10~30mm)少量
SP-155	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量
SP-156	第1層	10R2/2	黒褐色土	パリス粒(φ3~5mm)散量、ローム粒(φ3mm)散量、ロームブロック(φ10~30mm)散量
SP-157	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~5mm)散量
SP-158	第1層	10R2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ20mm)少量
SP-159	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3mm)散量
SP-160	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)散量
SP-161	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)少量
SP-177	第1層	10R2/2	黒褐色土	ローム粒(φ3~9mm)散量
	第2層	10R2/2	黒褐色土と10R5/6黄褐色土の混合土	パリス粒(φ10~30mm)散量

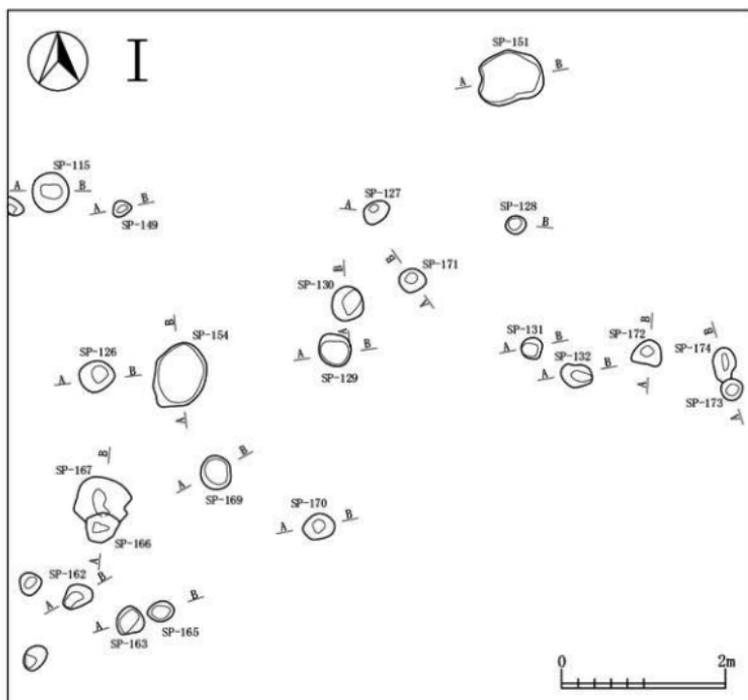
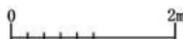
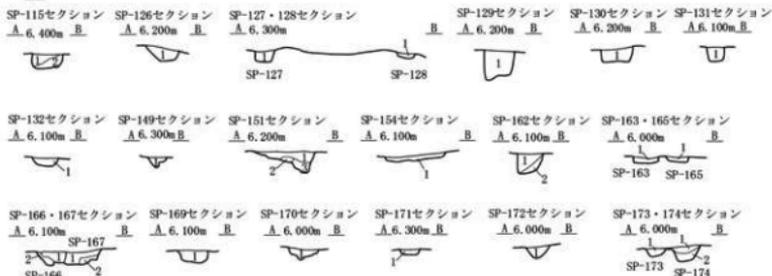


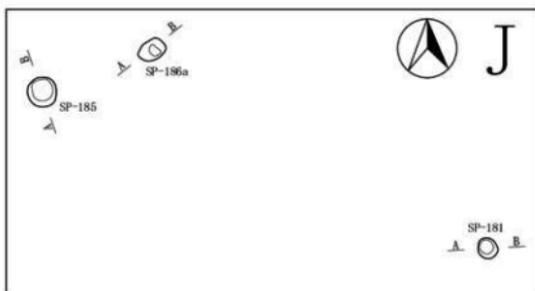
図 1-225 C-3 区 SP-18

## I



- SP-115  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量  
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~9mm)微量, ロームブロック(φ10~30mm)少量  
SP-126  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~50mm)微量  
SP-127  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量, ロームブロック(φ10~40mm)微量  
SP-128  
第1層 10YR2/2黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合土  
SP-129  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~50mm)中量  
SP-130  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
SP-131  
第1層 10YR2/2黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土  
SP-132  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
SP-149  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
SP-151  
第1層 10YR2/2黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 ローム粒(φ3~5mm)微量, ロームブロック(φ10~40mm)少量  
第2層 10YR6/6 明黄褐色土  
第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~9mm)微量  
SP-154  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量  
SP-162  
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~30mm)微量  
SP-163  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)微量  
SP-165  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
SP-166  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
第2層 10YR2/2黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土  
SP-167  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~40mm)少量  
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)少量, ロームブロック(φ20~50mm)中量  
SP-169  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量, ロームブロック(φ50mm)微量  
SP-170  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~40mm)少量  
SP-171  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)微量  
SP-172  
第1層 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(φ20~100mm)微量  
SP-173  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)少量  
SP-174  
第1層 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(φ10~15mm)微量  
第2層 10YR2/2黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土

図 1-226 C-3 区 SP-19

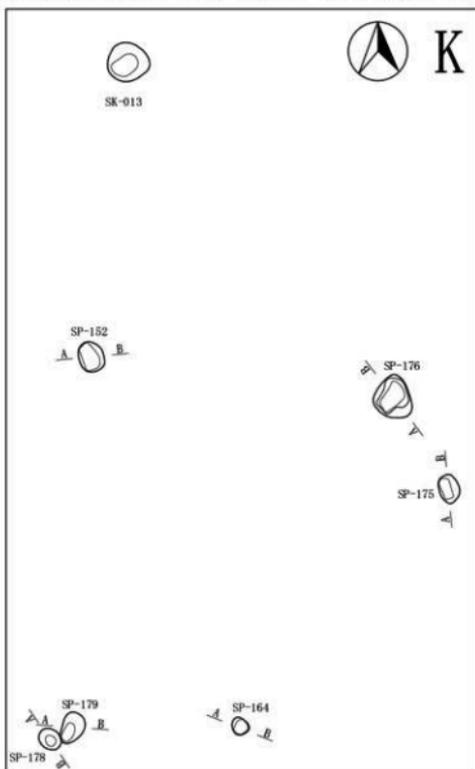


SP-181  
 第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量, 埴土粒(φ1~3mm)微量  
 SP-185  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
 SP-186a  
 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ100mm)層下部混入

SP-181セクション  
 A. 6.300m B.

SP-185セクション  
 A. 6.400m B.

SP-186aセクション  
 A. 6.400m B.



SP-152セクション  
 A. 6.100m B.

SP-164セクション  
 A. 5.800m B.

SP-175セクション  
 A. 5.900m B.

SP-176セクション  
 A. 5.900m B.

SP-178セクション  
 A. 5.900m B.

SP-179セクション  
 A. 5.900m B.

SP-152  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
 SP-164  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
 SP-175  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)微量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
 SP-176  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量, ロームブロック(φ10~20mm)微量  
 SP-178  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量  
 SP-179  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~9mm)少量

IV-3  
 C-3区



図 1-227 C-3 区 SP-20

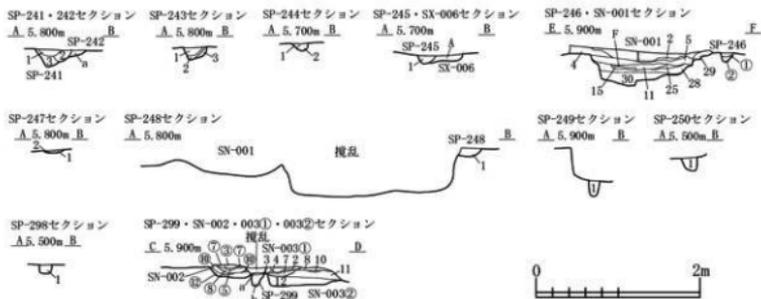
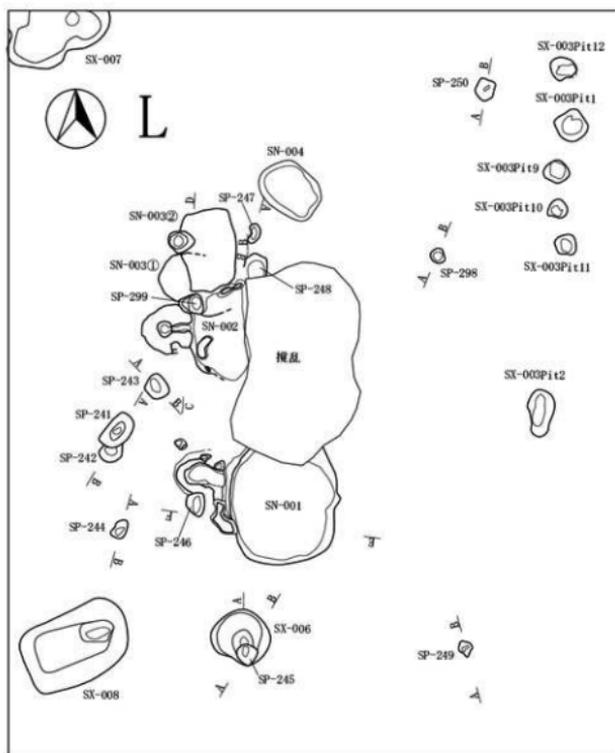


図 1-228 C-3 区 SP-21



高間(1)遺跡C-4区遺構配置図 S=1/600

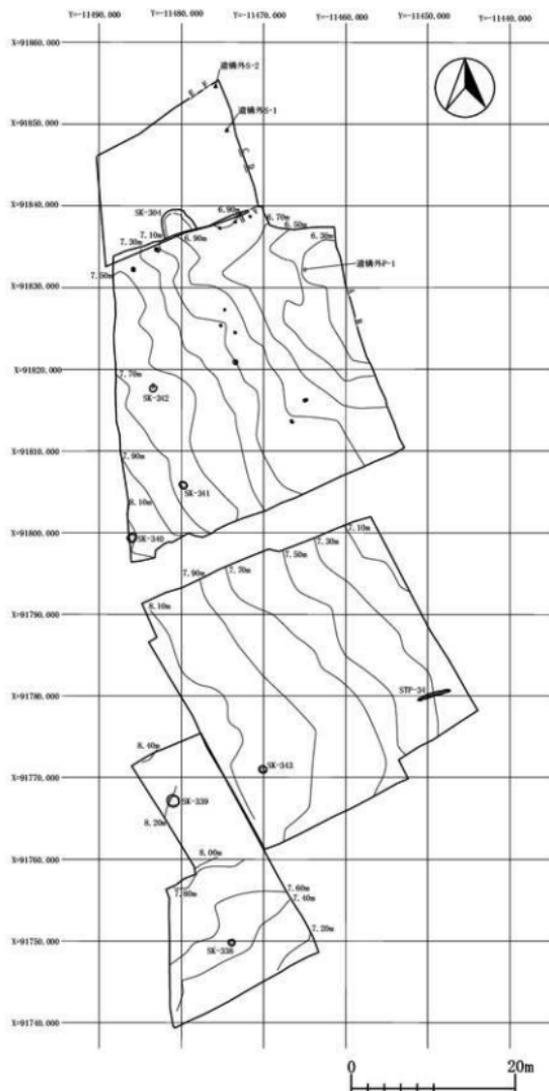


図 1-230 C-4区遺構配置図

## 第4節 C-4区

## 1. 土坑

SK-304 (図1-231)

調査区北側で検出した。調査が小区画の境界に跨り、それぞれの調査担当者が異なっていて、北側で検出した本遺構の延長部に相当する南半分が飛ばされていた。南側半分の情報が不明である。検出部分の規模は(306.0)×400.0×19.0cmを測る。遺構の掘り込みが浅く、立ち上がり不明瞭なも欠測の原因であろう。平面形は(不整楕円形)、断面形は皿形で、開き気味に立ち上がる形状である。堆積土は1層に分層し、水の影響による流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。

SK-338 (図1-232)

調査区南西側で検出した。平面形は不整形を呈し、83.0×78.0×54.0cmを測る。断面形は円筒形を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は9層に分層し、底面直上に黒色土が堆積した上に粘土が堆積し、底面となっており、その後流れ込みを含む自然堆積でほとんどが埋まっており、最上層の第1・2層は人為的な埋め戻しの土が伴っている。

SK-339 (図1-232)

調査区南西側で検出した。平面形は不整形を呈し、146.0×146.0×36.0cmを測る。

断面形は鍋底状を呈し、壁は垂直に近い形で立ち上がる箇所と壁中段で角度を変え、開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は12層に分層し、自然堆積で、一度埋没した後に中央を再掘削し、再堆積した堆積状況を呈している。人為的要因が強い。

SK-340 (図1-232)

調査区西側で検出した。一部隣接する新幹線調査区(青市埋文報第94集)内に入る部分があるが、報告は本報告で一括して掲載した。平面形は不整楕円形を呈し、118.0×103.0×32.0cmを測る。断面形は底面に凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は5層に分層し、上面が耕作土によって攪乱が生じているが、底面から流れ込みに伴う自然堆積状況を呈している。

SK-341 (図1-232)

調査区中央から西寄りの地点で検出した。平面形は不整楕円形を呈し、100.0×84.0×26.0cmを測る。断面形は底面に凹凸があり、壁は揃るやかに立ち上がる部分と壁途中まで垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で角度を変え開き気味に立ち上がる部分がある。堆積土は上面で調査前の耕作の影響を受けている土層が確認できるが、それ以外の部分について5層分層した。埋め戻しに伴う人為堆積状況を呈する。

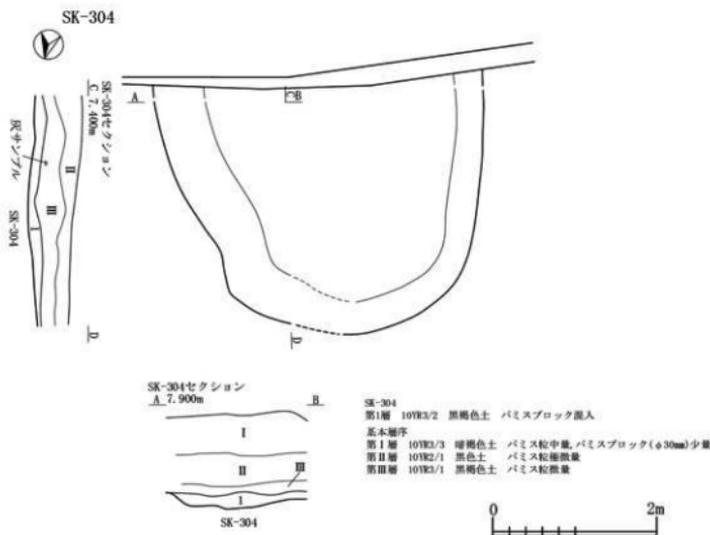


図1-231 C-4区 SK-1

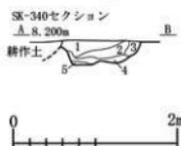
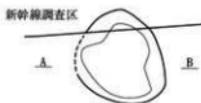
SK-338



SK-339



SK-340



SK-341



SK-342



SK-343



- SK-338
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~8mm)中量,ロームブロック(φ10~30mm)少量,パミス粒(φ1~8mm)中量,パミスブロック(φ10~30mm)少量
- 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,パミス粒(φ1~5mm)少量
- 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)微量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~5mm)極微量,パミス粒(φ1~3mm)極微量
- 第5層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,パミス粒(φ1~3mm)中量
- 第6層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)中量,パミス粒(φ1~3mm)少量
- 第7層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)微量
- 第8層 10YR3/3 二色(黄褐色土,ローム粒(φ1~5mm)少量,黒褐色土(10YR3/1)微量) パミス層
- 第9層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,パミス粒(φ1~3mm)少量
- SK-339
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,パミス粒(φ1~5mm)微量
- 第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)極微量,パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)極微量
- 第3層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~3mm)少量,パミス粒(φ1~3mm)少量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~8mm)少量,ロームブロック(φ10~15mm)極微量,パミス粒(φ1~8mm)少量
- 第5層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)中量
- 第6層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~5mm)多量,パミス粒(φ1~8mm)多量
- 第7層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)中量
- 第8層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量,パミス粒(φ1~3mm)微量
- 第9層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1~3mm)微量,パミス粒(φ1~3mm)微量
- 第10層 10YR3/2 黒褐色土と10YR6/6 明黄褐色土ロームの混合土 パミス粒(φ1~3mm)多量
- 第11層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第12層 10YR4/4 褐色土 ローム粒(φ1~5mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)中量,パミスブロック(φ10~15mm)極微量
- SK-340
- 第1層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第2層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~8mm)少量
- 第4層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,パミスブロック(φ10~15mm)極微量
- 第5層 10YR4/4 褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量
- SK-341
- 第1層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
- 第2層 10YR3/4 暗褐色土 パミス粒(φ1~8mm)少量
- 第3層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~7mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量
- 第5層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ15~25mm)微量
- SK-342
- 第1層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量
- 第2層 10YR3/6 黄褐色土 パミス層
- 第3層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~9mm)微量
- 第4層 10YR1.7/1 黒色土 パミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第5層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量
- 第6層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~9mm)微量,パミスブロック(φ15~25mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第7層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ15mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第8層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~9mm)極微量
- 第9層 10YR3/6 黄褐色土 パミス層
- 第10層 10YR4/4 褐色土 パミスブロック(φ10~35mm)中量
- 第11層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~9mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- SK-343
- 第1層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~4mm)微量,パミスブロック(φ10~25mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第2層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ1~3mm)微量,パミスブロック(φ10~20mm)極微量
- 第3層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ2~5mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
- 第4層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ2~5mm)少量
- 第5層 10YR3/4 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量,パミスブロック(φ10~13mm)極微量
- 第6層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ1~7mm)微量,パミスブロック(φ10~20mm)極微量
- 第7層 10YR3/4 暗褐色土 パミス粒(φ1~8mm)中量,パミスブロック(φ10~17mm)微量
- 第8層 10YR4/4 褐色土 パミス層

図 1-232 C-4 区 SK-2

SK-342 (図1-232)

調査区北西側で検出した。平面形は不整形形を呈し、 $89.0 \times 79.0 \times 70.0$  cmを測る断面形は柱状に中央が凹んだ形で、掘り込みも北側に斜め方向に入り込んだ掘り込みがなされている。壁は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は11層に分層し、埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

SK-343 (図1-232)

調査区南側で検出した。平面形は不整形形を呈し、 $101.0 \times 86.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は底面に凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がる形状である。堆積土は8層に分層し、ブロック主体の埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

2. 溝状土坑 (Tピット)

STP-34 (図1-233)

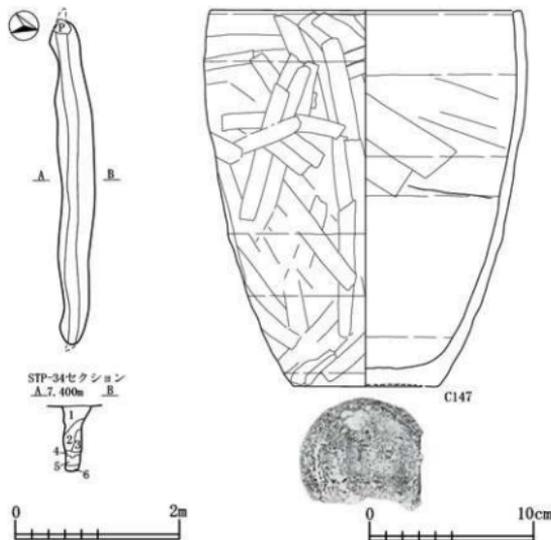
調査区南東側で検出した。コンターラインに対し、直交する形で配置している。平面形は溝状を呈し、 $399.0 \times 44.0 \times 82.0$  cmを測る。断面形は長軸方向は両端とも袋状に入り込んでおり、短軸

側は垂直に近い形で立ち上がる部分と、壁中段までは垂直に近い形で立ち上がった上で、上段で角度を変え開き気味に立ち上がる箇所が見られる。堆積土は6層に分層しているが、底面側の第4~6層は周辺からの地山土主体の崩落が伴う水平方向の自然堆積状況であるが、中層より上面はやや角度が急な流れ込みを含めた自然堆積状況を呈する。

西端の中層の位置(第4層上面相当)からC147として図示した深鉢形の土器が出土している。口径18.8 cm、器高22.8 cm、底径8.8 cmを測る。土師器の甕と同様の褐色気味の焼成良好な資料で、底面は編み気味の圧痕が部分的に確認できる。外面はヘラ状の工具による削り調整がなされ、口縁部側は横方向のヘラケズリの後に体部側からの縦方向のヘラケズリが重なっている状況である。内面の斜め方向のヘラケズリによる調整で、指ナゲが加わっている。口唇端部は面取が平滑にされており、縄文土器の深鉢的な調整となっている。外面に煤炭炭化物が体部上半~中半にかけて面的に付着しており、内外底面には黒斑が観察される。

STP-34

STP-34



STP-34	層	色	特徴
第1層	10YR2/1	黒色土	パミス灰(φ1~9mm)少量、炭化灰(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR2/3	黒褐色土	パミス灰(φ1~9mm)中量、炭化灰(φ1~2mm)極微量
第3層	10YK/2	黒褐色土	パミス灰(φ1~9mm)中量、パミスブロック(φ10~30mm)微量、炭化灰(φ1~2mm)極微量
第4層	10YK5/6	黄褐色土	パミス層
第5層	10YK3/4	暗褐色土	パミス灰(φ1~9mm)中量、パミスブロック(φ10~40mm)少量
第6層	10YK2/2	黒褐色土	パミス灰(φ1~9mm)少量、パミスブロック(φ15~30mm)微量

図1-233 C-4区 STP

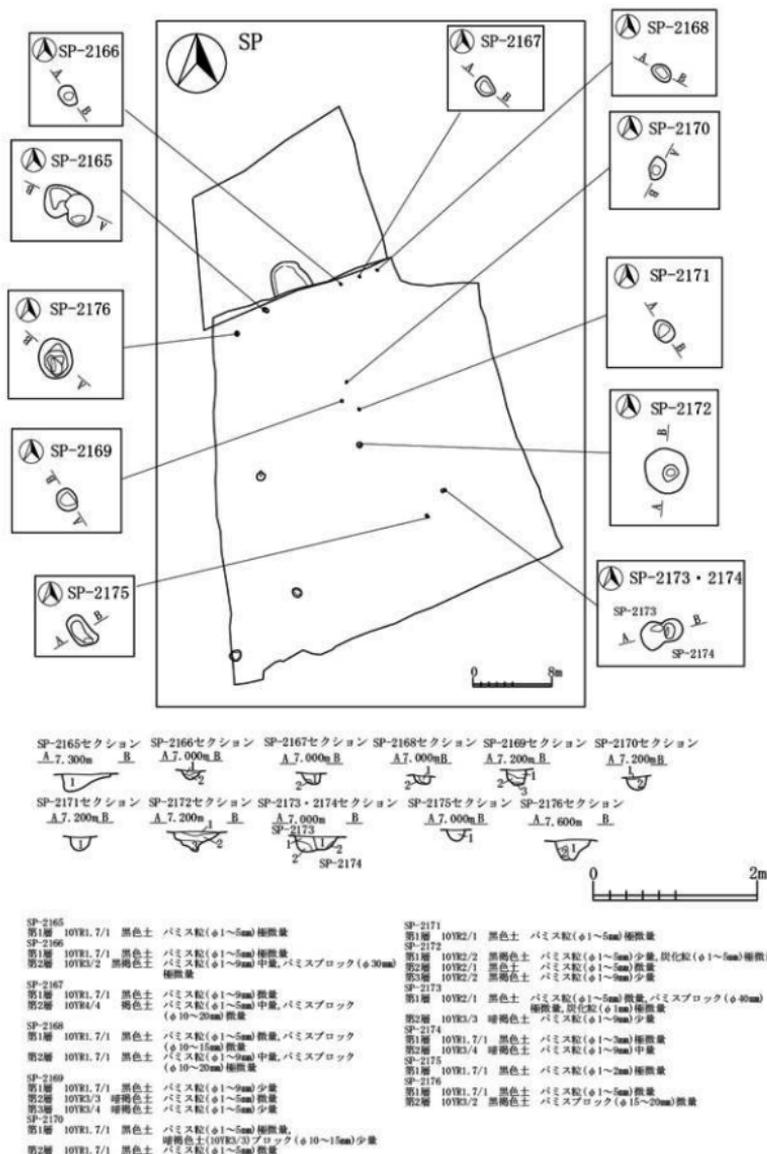


図 1-234 C-4 区 SP

### 3. ビット (図1-234)

調査区内から12基検出した。SP-2165・2166・2167・2168は同一軸線上に並ぶビットであるが、小調査区ラインと比較してみてわかるように元々の地割に平行した軸線に並ぶビットで、比較的新しい段階に帰属するものと考えられる。その他のビットについては散発的な検出で、建物跡や柵列として認定できるものはなかった。

各ビットの計測情報等は遺構観察表に一括して掲載した。

### 4. 遺構外出土遺物 (図1-235)

4点図示した。C148は羽状縄文が施された縄文時代中期の円筒上層式の体部片で、内面は磨きが精緻で煤が付着している。C149も細別は不明であるが縄文時代中期の体部資料で、LR縄文が施され、外面には煤付着が認められ、周辺が淡黒斑化している。C150は縄文時代後期前葉の深鉢形土器の体部～底部資料で、底径6.2cmを測る。底面が平行脈の木葉痕で、外面はLR縄文が施された後にほとんどが磨り消されている。ほとんど高さを整えて打欠が行われており、破断面は外傾するように磨り潰しを加えられ調整されていることから、転用しているものと考えられる。

C151は天目碗の体部片で柿軸がかった色調である。

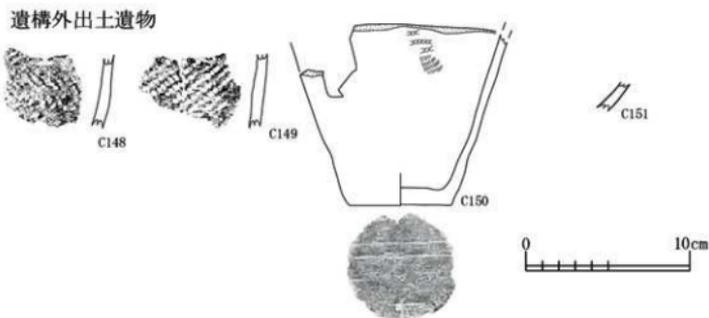


図1-235 C-4区遺構外出土遺物

## 高間(1)遺跡D区遺構配置図 S=1/1000

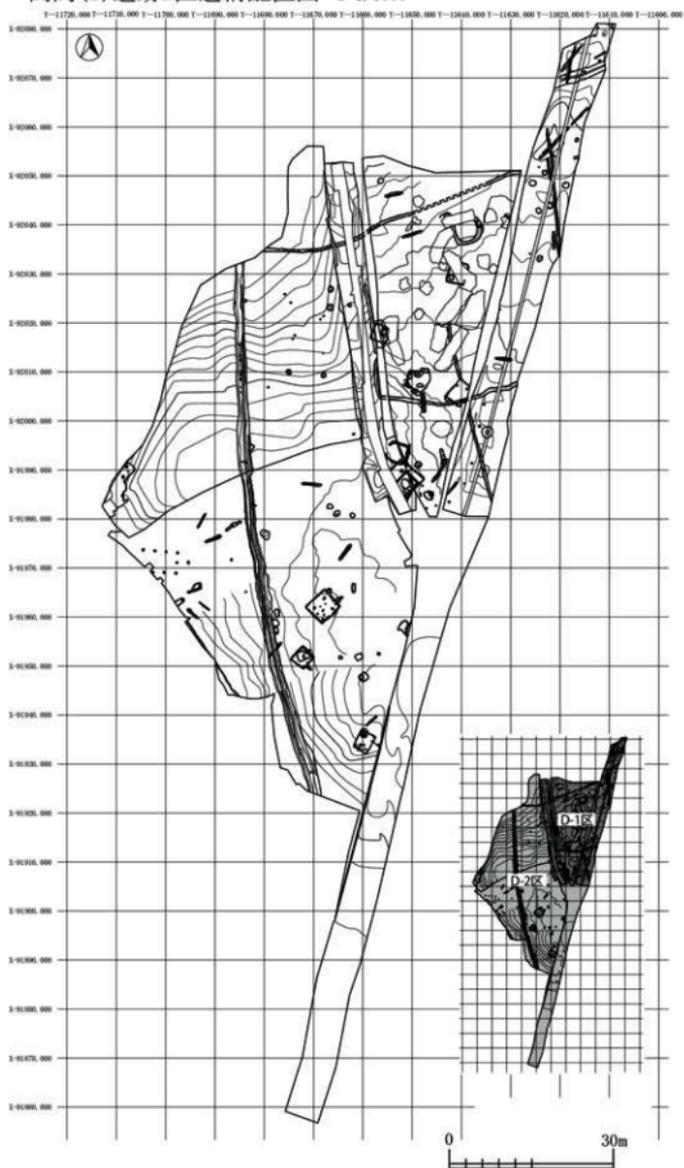


図 1-236 D区遺構配置図

## 第V章 D区

D区の調査は、平成16～19年度に7、316.3㎡を対象とし調査を実施している。調査は調査可能になった単位で実施されており、調査時にもD-1～4の番号が付され調査が実施されていた。他の地区と同様に調査担当が異なっていたため、遺構番号等もその調査区内では完結するもの、隣接する調査区との関連性が追えない資料が多い状況であった。

そこで、本報告に際し、調査区の区割を整理し、D-1区とD-2区の二つの調査区とし掲載することとした。なお、遺構番号に関して種別ごとの整理に伴い変更になったものも含まれるが、同一遺構であっても調査年度ごとに別々の番号が付されたものは併記して掲載することとした。また、遺構外出土資料については区割が不明瞭な資料も含まれることから本調査区の資料については、第3節にまとめて掲載することとした。

### 第1節 D-1区

#### 1. 竪穴住居跡

SI-05・10・005・010 (図1-238～245)

D-1区南西隅から検出した。平成16年(2004)時にSI-05・10と付され、平成19年(2007)に延長部をSI-005・010として精査されている。前段のSI-10・010と建て替えた後のSI-05・005の重複した建物である。また、SI-05・005の北側ではSM-01・001と重複しており、本遺構の方が古い。西側が水道管理設に伴い破壊されていた状況で、新しい段階のSI-05・005は、残存部の平面形が(不整形)を呈し、63.4.0×(59.0.0)×38.0cmを測る。主軸方位はN-136°-Eである。ピットは重複するSI-10・010に帰属した可能性もあるピットも含まれるが、11基検出しているが、主柱配置は不明瞭である。SI-005 Pit 4とPit 11とした穴は掘り方土坑に相当し、Pit 4には多量の遺物が廃棄されていた。壁溝は残存部の各壁で検出しているが、断続した形で検出している。堆積土は2004年時の精査で15層、2007年の精査時にはSI-010の堆積土を含め20層分層しているが、SI-10・010の重複部分は床面がほぼ同一レベルであった可能性が高い。床面は掘り方が全面に掘られ、ロームブロックが充填されている。堆積土中～上層にかけてB-Tm火山灰を検出している。床面直上から炭化物および焼土を検出しており、廃絶に際し焼成が伴った可能性が高い。カマドは南東壁の南隅側の位置(南東3か4の位置)から

検出している。構造は半地下式の短煙道タイプで、煙道が竪穴の壁とほとんど変わらない程度にしか突出しておらず、袖部幅8.6cm、煙道長3.4cmを測る。粘土による構築で芯材は検出していない。出土遺物はSI-10・010の重複部分の資料は双方の遺構名が付され取り上げられた資料が多いが、実質的には本遺構に伴う資料である。東～南側の壁際にかけて多く出土しており、カマドの左袖周辺に集中している。縄文土器も含め31点図示した。カマドから出土したD005は土師器椀の底部資料で、底径6.0cmを測る。海綿骨針を微量含むやや粘りのある胎土で粒径の大きな砂礫を含む。内外面とも二次被熱が顕著で、一部黒硬化している。底面は右回転糸引による切離しであるが、端部を面的に残し、微高台状に作出している。D007は確認面および上層出土の土師器甕で、口径18.6cm、器高31.9cm、底径8.6cmを測る。粒径の細かい砂粒を含むやや粘りのある胎土で、底面の一部へらにより調整がなされているが、砂粒や数物類の見られない状況で、外面口縁部は横方向の回転運動に伴うナデが行われた後に縦方向のへらによる削り調整で調整されている。底面と口縁部の造りはロクロ系を志向したものである。外面口縁部の一部が二次被熱により橙色を呈した箇所がある。また、外面の体部中半～底部にかけ剥落した箇所があり、炭化物の付着が認められ、特に体部中半のこびり付きが顕著である。また頭部直下の体部上半には帯状の黒斑が認められ、対応する内面側はその部分を上端とし、底部にかけ淡灰色化している。D008はカマドおよびPit 4出土の土師器ロクロ系甕で、口径21.4cmを測る。D007に比べると海綿骨針の含むやや粘りの弱いザラザラした質感を有する胎土で、体部上半～口縁部にかけて明瞭な回転運動に伴うナデが認められ、内面も外面に対応する横方向の回転ナデのみの痕跡である。残存部の下端に相当する体部中半の外面側には煤付着が認められ、粘土も付着している。D009は堆積土中層およびカマド覆土出土の非クロロの土師器甕で、口径23.2cmを測る。海綿骨針を含む粘りの強い胎土で、小礫をやや多く含むが砂礫が少なため、骨針を多く含む胎土である。外面は上半部が最後に指ナデにより元々の調整痕を撫で消している状況であるが、上半から下半に向け水分の多い状況で縦方向のへらによる調整が行われており、頸部は幅が短い状況で、体部と明瞭に区画するために横方向のナデが行われており、一部は工具により面取り状に段が作出されている。内面の体部もハケメ状の若干痕が残る工具により横方向に調整がされた後に若干幅の狭い木口



SI-05・10(2004年)  
SI-005・010(2007年)

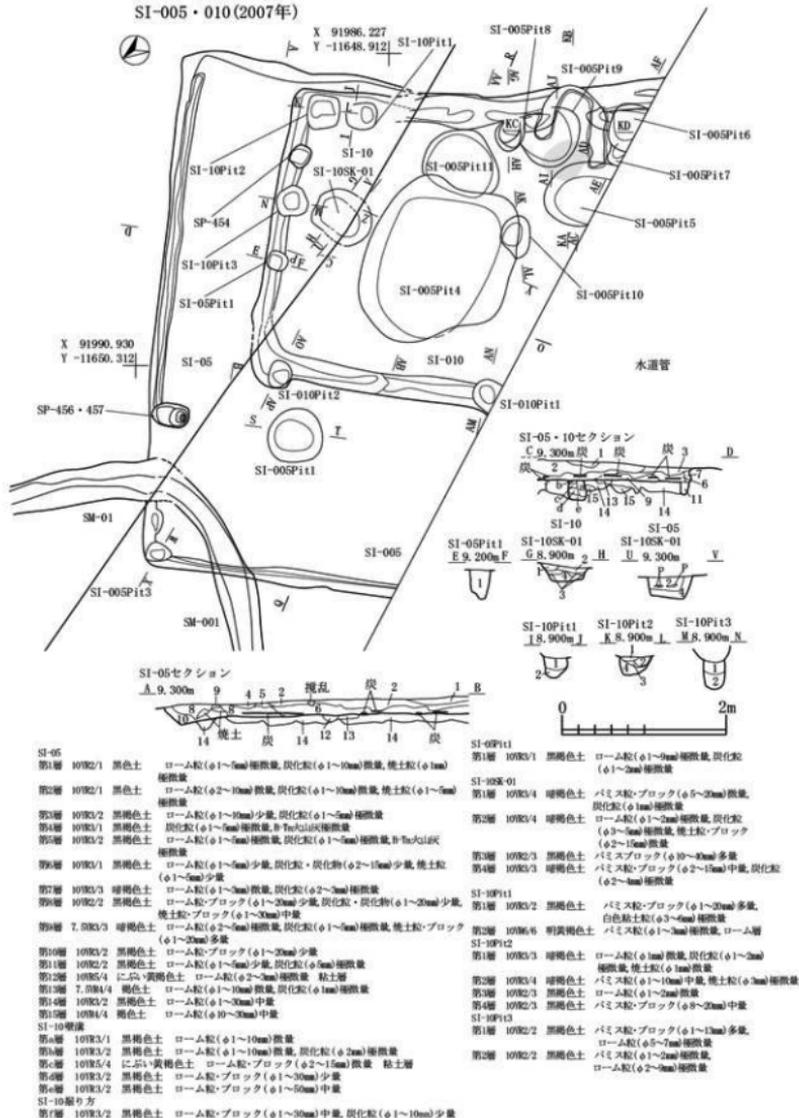


図 1-238 D-1区 SI-05・10・005・010-1

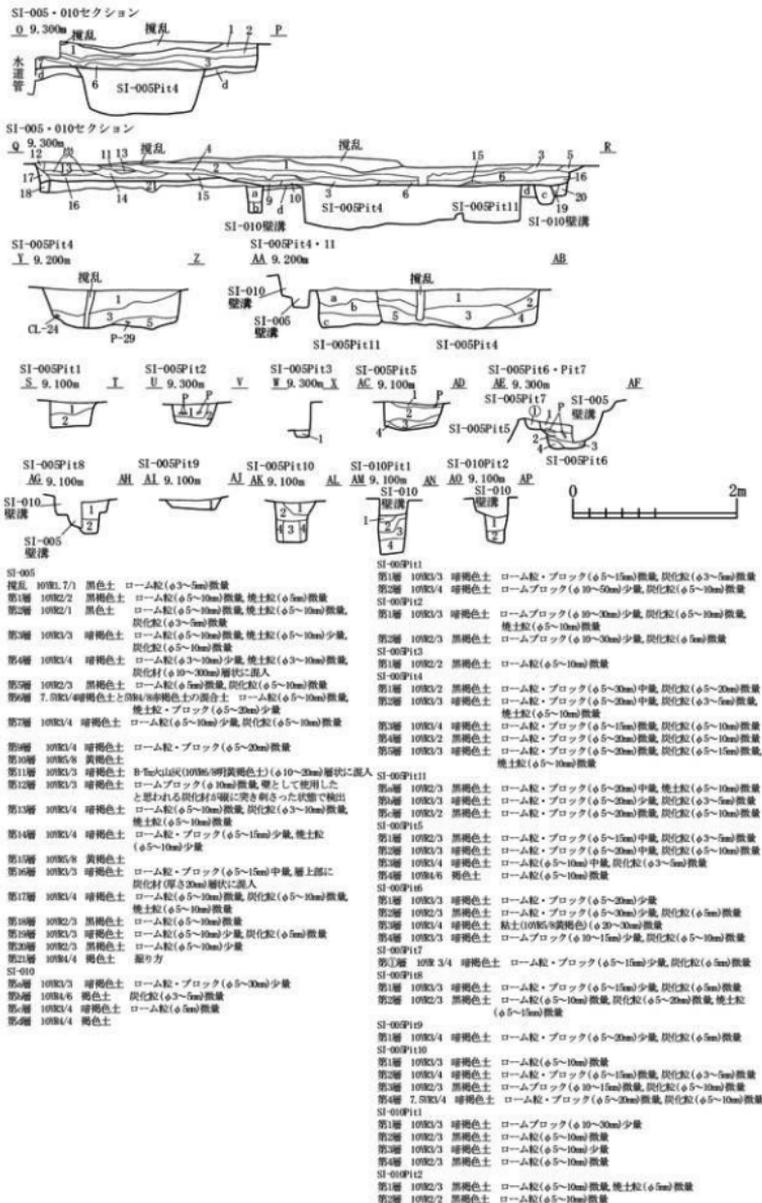
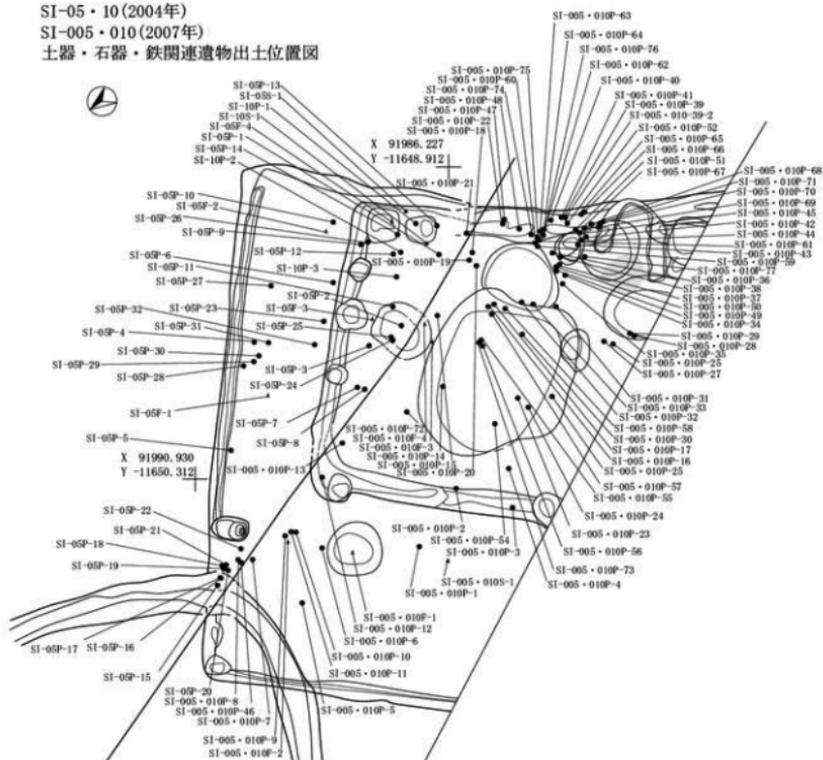


図 1-239 D-1 区 SI-05・10・005・010-2

SI-05・10(2004年)  
SI-005・010(2007年)  
土器・石器・鉄関連遺物出土位置図



SI-005Pit4土器・石器・土製品出土位置図

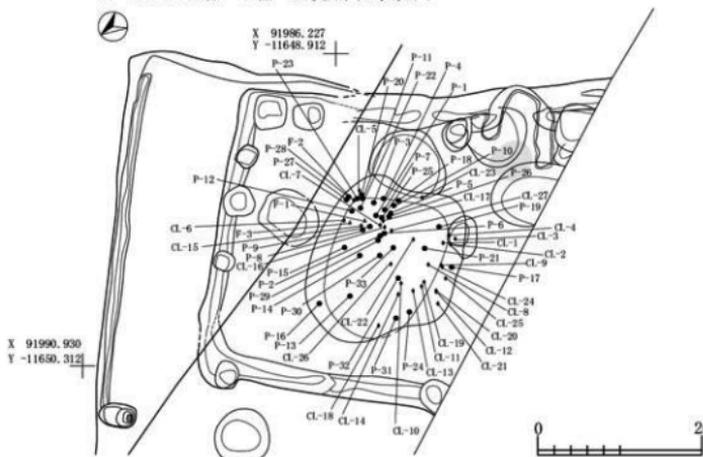


図 1-240 D-1 区 SI-05・10・005・010-3

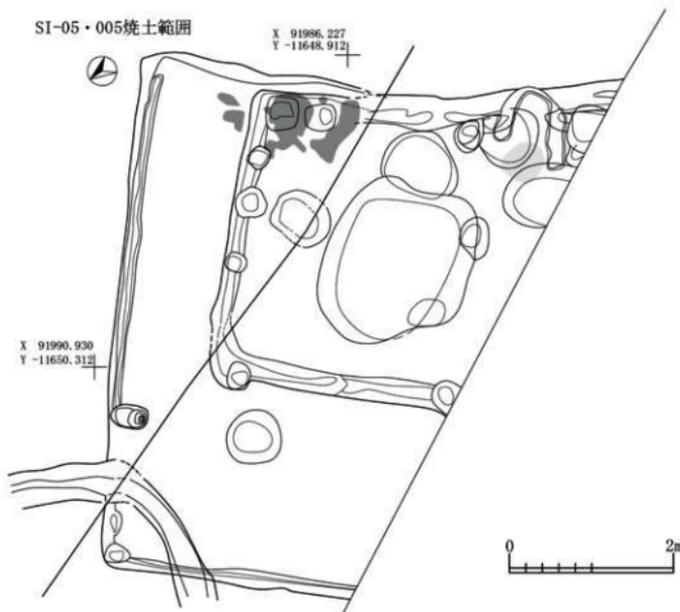
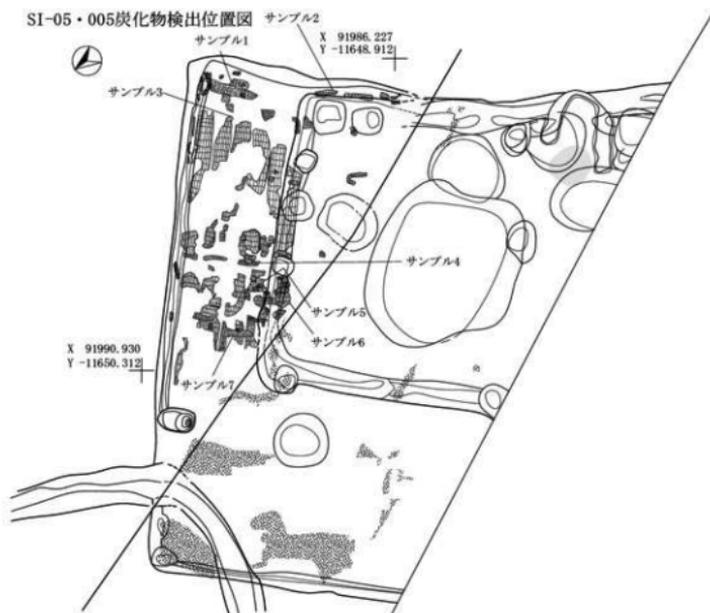
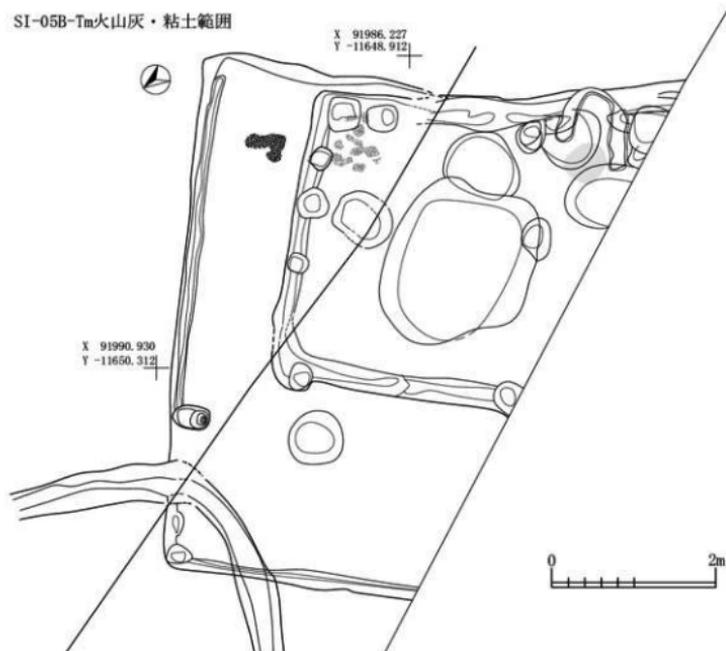


図 1-241 D-1区 SI-05・10・005・010-4

## SI-05B-Tm火山灰・粘土範囲



## SI-05・005

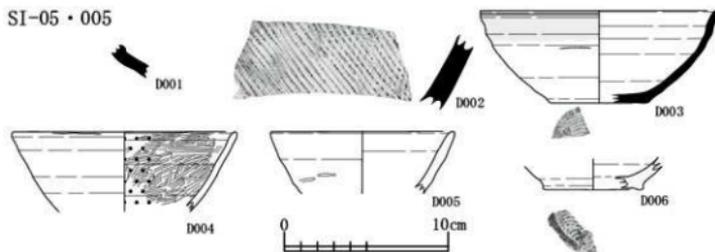


図 1-242 D-1 区 SI-05・10・005・010-5

痕の残らない工具により横方向にヘラ削り気味に調整されている。ハケメはほとんど小甕の範疇である甕のD013でも内外面に見られており、外面は縦方向、内面は横方向に施されている。外面の頸部幅が長く、頸部にはハケメが及んでいない。D019は3層出土の擦文土器の小甕で、口径12.2cmを測る。海綿骨針を含むやや粘りのある胎土で、口

唇端部に浅い刻みがあり、外面口縁部は歪んだ平行沈線が残存部で7条施されている。SI-05・10の重複扱いの地点から出土した資料のうちD027・D028は土師器の非ロクロの食膳具である。出土層位を確認すると第3層や第6層といった覆土中からの出土事例が多いため、SI-05・005の埋没過程に伴う資料であると考えられる。



SI-05·005

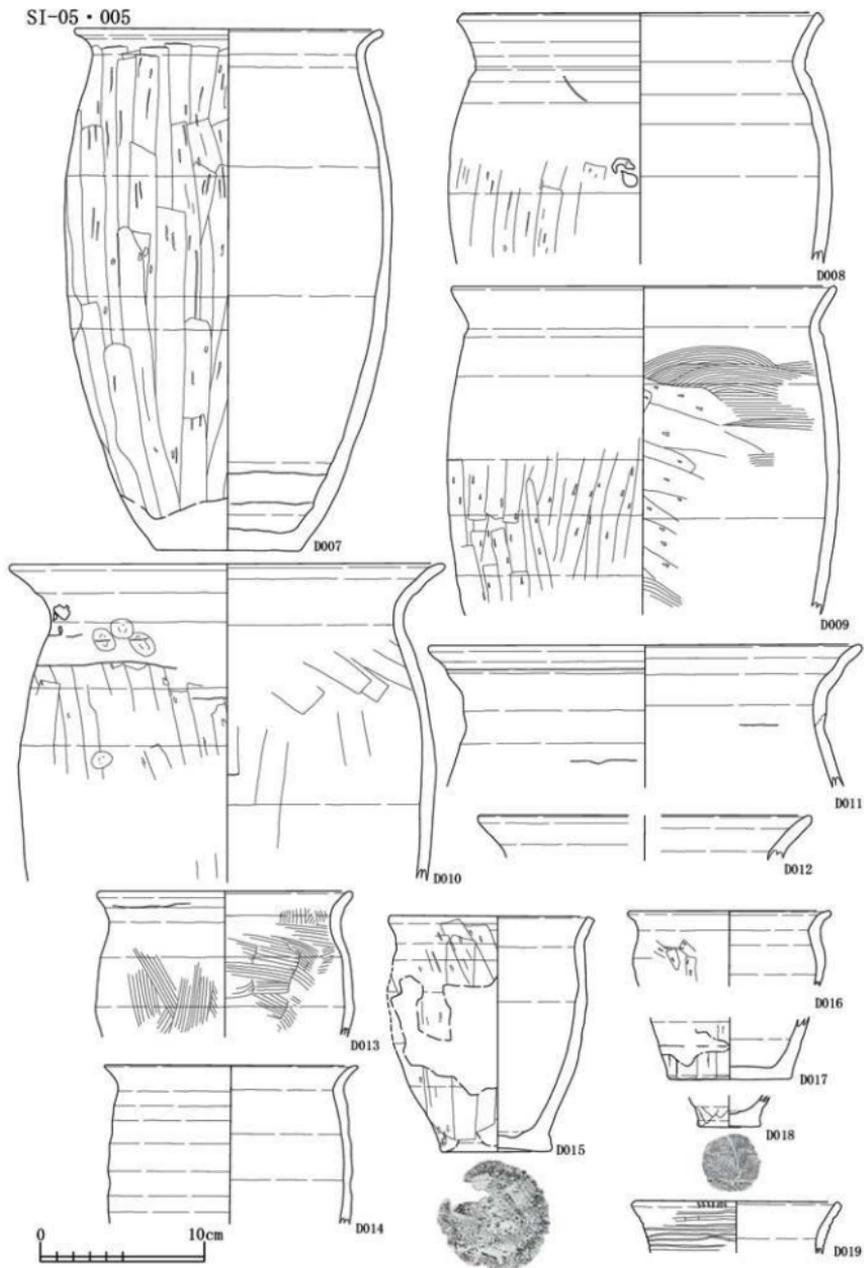


图 1-244 D-1 区 SI-05·10·005·010-7

D027は第6層出土の資料で、口径9.4cm、器高4.9cm、底径4.6cm、器高指数52.1、底径指数48.9を測る。小ぶりの形状で、砂礫をやや多く含む粘りのやや弱い硬質な胎土である。底面は網状脈の本葉痕で、外面は縦方向のヘラ削り、内面は横方向の指ナデによる調整である。内面見込部分は使用痕が顕著である。D028は第3・6層と覆土出土の資料で、口径11.2cm、器高5.5cm、底径6.4cm、器高指数49.1、底径指数57.1を測る。D027よりもさらに砂礫の量が多くザラザラした質感を有する胎土で、底面は網状脈の本葉痕、外面は縦方向のナデ、内面は横方向のナデが行われている。D029は第3層および覆土出土の資料で、口径11.2cm、器高5.0cm、底径5.6cm、器高指数44.6、底径指数50を測る。前の2点とは異なり、円柱から右方向のクロ口回転により成形され、静止糸切によって切り離されている。切離後に外面体部下半〜底面にかけて粗雑に再調整しており、内面の見込部分には凹みが生じている。器壁が厚く歪みも顕著である。内外面とも黒斑があり、外面の黒色化が顕著である。

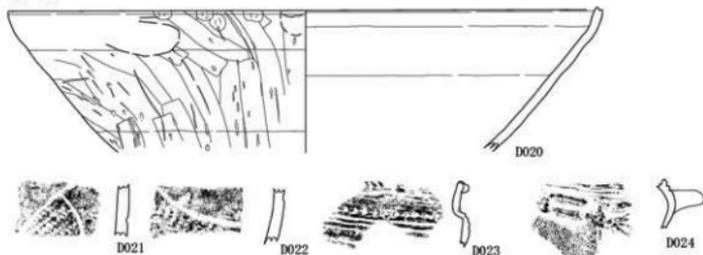
SI-10・010は、SI-05・005の南東壁部分寄り部分の構築されている小型の長方形を呈する堅穴建物である。SI-05・005と同様に西側の部分が水道管理施設に伴い破壊されており、検出部の規模は(425.0)×354.0×(39.0)cmを測る。カマドが残存していないが、検出した壁溝の断続部分がSI-05・005のカマド設置箇所とほとんど類似した部分で検出していることからほぼ同位置にカマドが構築されていた可能性が高く、主軸方位についても壁の軸線をもとにするとN-138°-Eと類似した軸線である。ピットはSI-05・005の重複部分の占有面積が多いため、帰属が不明瞭な資料も含まれるが、調査時に5基、本遺構扱いで精査されている。壁溝に沿った形で検出している資料が多く柱穴として機能したと判断できる掘り方・堆積状況を有していることから壁際主体の柱穴配置であった可能性がある。壁溝は前述のとおり、カマド設置壁相当の南東壁の一部で断続しているが、それ以外の残存部からは連続する形で検出している。堆積土はSI-05・005の堆積土の記述でも触れたが、床面がほぼ同一面の利用であったため、一部混在した可能性がある。分層した堆積土のうち本遺構帰属と認定できたのは壁溝と掘り方であった。出土遺物はSI-05・10扱いの破片とSI-10SK-01の接合資料の黒色土器碗(D026)とSK-01出土の土師器器口縁部片(D032)を図示した。D026は口径13.6cmを測り、海綿骨針を含む粘りのある胎土で、黒色処理は外面の口縁〜体部上

半の一部にも及んでおり、黒色化した部分の一部は磨かれている。口唇部の一部にV字の切り込み状の浅い打欠がされている。D032は口縁部のみで、口径21.4cmを測る。海綿骨針を含む硬質な胎土で、内外面とも二次被熱と淡青灰色の黒斑が顕著で、黒斑は内面側の色調が若干濃い。

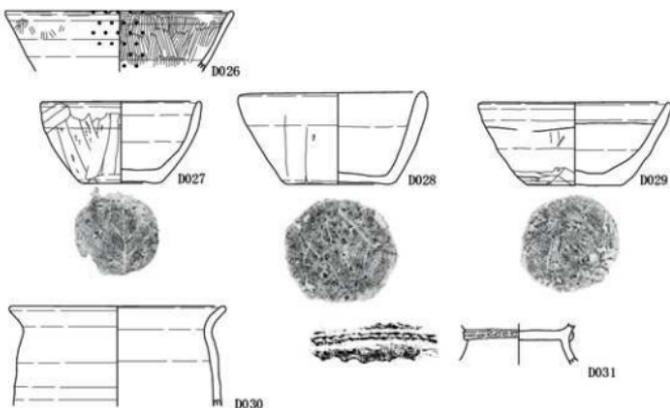
#### SI-06 (図1-246~249)

D-1区の中央より南側から検出した。SD-13・14と重複しており、本遺構の方が古い。一部調査区域で年次を跨いだ調査となった影響で、欠測部分が認められるが、平面形は長方形を呈し、480.0×380.0×43.0cmを測る。主軸方位はN-133°-Eである。ピットは4基検出したが、東壁側のPit3・4は柱穴として機能した可能性が高い。壁溝は北壁と西壁から逆L字状に連続する形で検出したが、全周はしていない。堆積土は2層に分層し、中位から上は、壁際を中心に埋め戻しに伴う堆積状況を呈している。第6・9・13層中からB-Tm火山灰を検出したが、二次堆積・埋め戻しの掘削土中の粉れ込み等二次的な影響が生じた土も含まれている。カマドは南3の位置から検出した。構造は半地下式で軸幅88.0cm、煙道長58.0cmを測る。粘土による構築で、煙道は壁際からやや急激に立ち上がっている。出土遺物はPit1およびカマド周辺を中心に出土しており、16点図示した。D033は下層出土の資料とG区SK-01T層出土の遺構間接合の須臾器の体部〜底部にかけての資料である。接合破片の状況はSI-06出土の資料の方が粗色しており、破断面の磨耗が著しく、また一部二次被熱を受けているが、SK-01側の資料も器面の磨耗は著しい。製作技法上、須臾器としているが、焼成は酸化焼成で、器面の色調も土師器と同様に褐色を基調とする。同様の資料はG区で完形に近い資料が3個体程度出土しているため、G区側の記述が優先するが、海綿骨針を含む胎土で、外面は3cmあたりの条数が7〜9と幅広く、内面の当て具痕は底部側が平行、体部側が放射状(蓮藕文)を呈している。非五所川原産の可能性が高い資料である。D034はカマド18層支脚出土の土師器杯で、口径12.2cm、器高4.4cm、底径6.4cm、器高指数36.0、底径指数52.4を測る。椀形の器形とは異なり、底径幅がある浅身の形状で、底部から外面側を一度意識的に段をつけてから、上方向に伸ばし上げており口唇部は軽く引き伸ばしている。カマドの支脚相当位置からの出土の影響か、二次被熱を受けており、器面の一部が剥落している。D037・D038はカマド出土の土師器で同一個体と考えられる資料である。残存率の高い資料でD037であるが、口

## SI-05



## SI-05・10



## SI-10

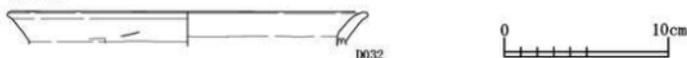


図 1-245 D-1 区 SI-05・10・005・010-8

径 2.5、2 cm を測る。支脚の坏の下でスペーサーとして用いられた資料である。海綿骨針を含むややや粘りのある胎土で、頸部幅は短めであるが、外面の縦方向のヘラの調整は頸部には及んでおらず調整も正位の状態では体部上半から下半に向けて工具が動かされている。内面も頸部直下から下半にかけ横方向基調のハケが施されている。体部中半が横方向であるが、上半の一部は右下がりの斜め方向に施されている部分も見られる。各接合破片の破断面は摩滅しており、二次被熱の色調も不整合が見られる。D044 は実質的には小甕の範疇に入る土師器非ロクロ甕で、口径 15.8 cm、器高 16.0 cm、底径 7.0 cm を測る。海綿骨針を微量、砂礫を多く含むやや粘りのある胎土で、底面はヘラによる調整がされ

ており、内外面とも粗雑な指オサエと指ナデによる調整が部分的にされており、いびつな形状となっている。外面は縦方向基調のヘラ削り、内面は横方向の指ナデで、外面の一部は鈍削り状に面取りされた削りが行われている。また、口縁部は頸部まで斜め方向のヘラケズリによる削り出しによって、ヘラケズリを行わない口唇端部を面取状に残してロクロ系の平滑な端部を有する甕の口唇端部の形状に類似させている。ただし、造りが粗雑であるため、厚みが不均一で雑多な印象を与える資料となっている。内外面とも二次被熱が顕著で内面頸部の煮炊痕などは確認できず、内面口唇端部～体部にかけて紐状の煤付着痕が観察され、使用状況が小甕とは異なっていた可能性が高い。

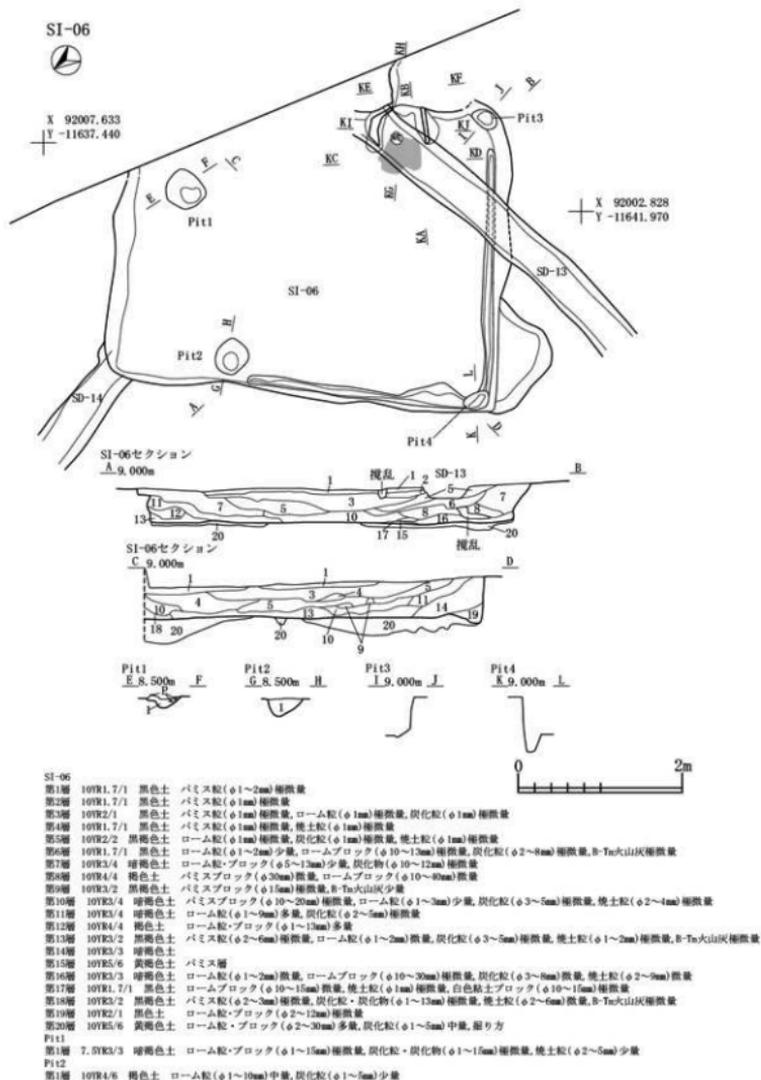
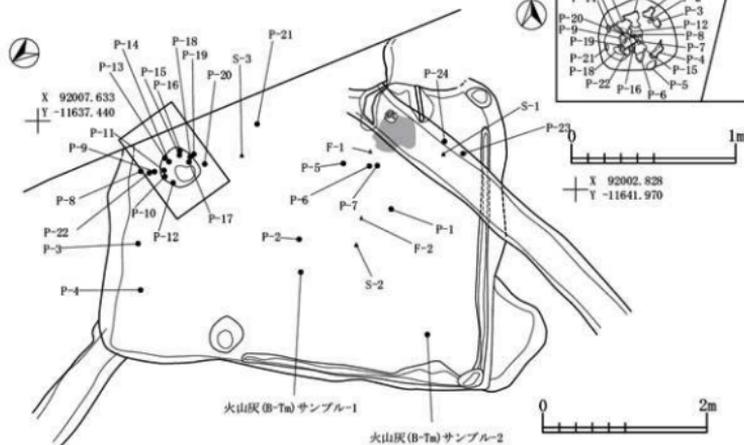
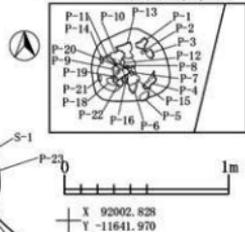


図 1-246 D-1区 SI-06-1

SI-06土器・石器・鉄関連遺物・B-Tm火山灰サンプル位置図



SI-06Pit1土器出土位置図



SI-06+G区SK-01

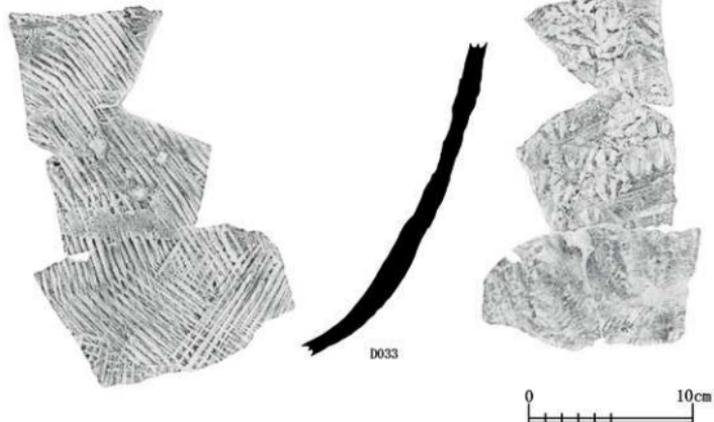
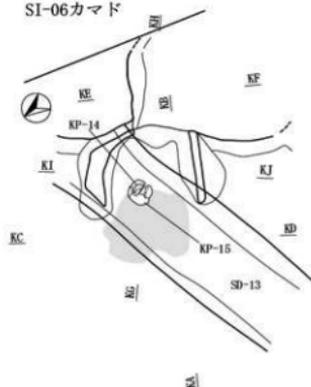
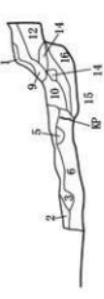
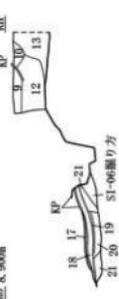
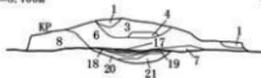
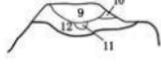
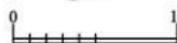


図 1-247 D-1区 SI-06-2

## SI-06カマド

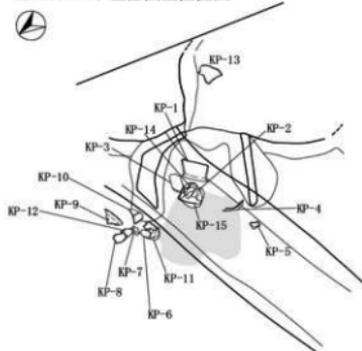
SI-06カマドセクション  
KE 9,000mSI-06カマドセクション  
KH 9,900mSI-06カマドセクション  
KC 8,700mSI-06カマドセクション  
KD 8,900mSI-06カマドセクション  
KI 8,700m

## SI-06カマド

- 第1層 109K2/1 黒褐色土  
パミスブロック(φ13mm)散見, ローム粒(φ1~2mm)散見, 焼土粒(φ1mm)散見  
灰化粒(φ5~15mm)散見, 焼土粒(φ1~2mm)散見  
第2層 109K4/4 褐色土  
灰化粒(φ5~15mm)散見, 焼土粒(φ1~2mm)散見  
第3層 109K3/3 暗褐色土  
ローム粒(φ1~5mm)散見, 灰化粒(φ5mm)散見, 焼土粒・ブロック(φ2~15mm)散見  
第4層 109K2/1 黒褐色土  
パミス粒(φ2~3mm)散見, 焼土粒・ブロック(φ2~15mm)散見  
第5層 109K3/3 暗褐色土  
パミス粒(φ1~2mm)散見, 灰化粒(φ30mm)散見, 焼土粒(φ1mm)散見  
第6層 109K3/2 黒褐色土  
パミス粒(φ5~7mm)散見, ローム粒(φ1~2mm)散見, 灰化粒(φ2~4mm)散見, 焼土粒(φ2~3mm)散見  
第7層 109K2/2 黒褐色土  
パミス粒(φ3~4mm)散見, 焼土粒(φ2~3mm)散見  
第8層 109K3/3 暗褐色土  
ローム粒(φ1~2mm)散見, ロームブロック(φ30~50mm)散見, 灰化粒(φ2~4mm)散見, 焼土粒(φ1~2mm)散見  
第9層 7.59K6 明褐色土  
灰化粒(φ1~2mm)散見, ローム  
第10層 7.59K4/4 褐色土  
パミス粒(φ3~5mm)散見, 焼土粒(φ3~5mm)散見  
第11層 7.59K3/3 暗褐色土  
粒土(φ10mm)少量  
第12層 7.59K4/4 暗褐色土  
ローム粒・ブロック(φ1~15mm)散見, 灰化粒(φ5~8mm)散見, 焼土粒(φ2~3mm)散見  
第13層 109K3/3 暗褐色土  
ローム粒(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ30~50mm)散見

- 第14層 59K4/6 赤褐色土 焼土層  
第15層 7.59K4/4 褐色土 ローム粒(φ1~2mm)散見, 焼土粒・ブロック(φ5~15mm)散見  
第16層 7.59K3/3 暗褐色土 ロームブロック(φ15~30mm)散見, 焼土ブロック(φ30~20mm)少量  
第17層 59K4/6 暗赤褐色土 焼土粒(φ1~2mm)多量  
第18層 59K4/4 暗赤褐色土 ローム粒(φ1~2mm)散見, 灰化粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)中量  
第19層 59K5/6 暗赤褐色土 ローム粒(φ1~2mm)中量, 焼土粒(φ1~2mm)少量  
第20層 59K4/6 赤褐色土 灰化粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)少量  
第21層 7.59K4/4 褐色土 灰化粒(φ1~2mm)少量, 灰化粒(φ1~2mm)少量, 焼土粒(φ1~2mm)少量  
第22層 59K4/4 に5%赤褐色土 灰化粒(φ1~2mm)散見, 焼土粒(φ1~2mm)少量  
第23層 7.59K5/6 明褐色土 ローム粒(φ1~2mm)少量, 灰化粒(φ1~2mm)散見, 焼土粒(φ1~2mm)極少量  
第24層 7.59K4/6 褐色土 ローム粒(φ1~10mm)少量, ロームブロック(φ30mm)少量, 灰化粒(φ1~2mm)散見  
第25層 7.59K4/4 暗褐色土 ローム粒(φ1~2mm)少量, 灰化粒(φ1~2mm)少量

## SI-06カマド土器出土位置図



## SI-06カマド掘り方Pit



図 1-248 D-1区 SI-06-3

SI-06

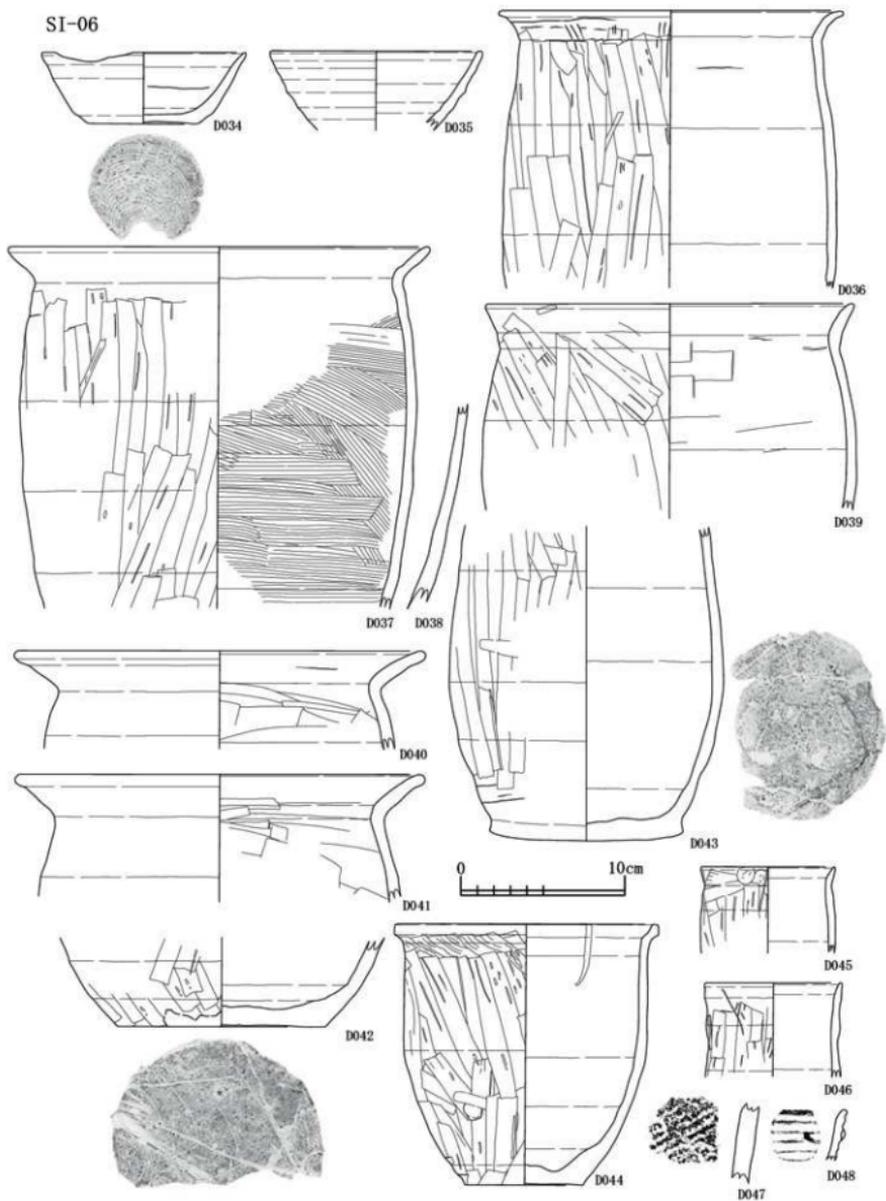


图 1-249 D-1区 SI-06-4

## S I-07-007 (図1-250)

調査区中央より西側の位置から検出した。他の遺構同様平成16(2004)年と平成19(2007)年に分けて精査している。SK-82とSD-014と重複しており、本遺構の方が古い。北東部分が攪乱の影響により根元の一部が残存している状況であったが、平面形は不整形を呈し344.0×342.0cm×45.0cmを測る。ピットは攪乱の影響のあった北東部分を除き各コーナーから浅いピットを検出し、攪乱部分も壁溝状の掘削痕が残存していたことから壁際に柱穴が存在した可能性が高い。カマドは設置されておらず、主軸について不明瞭ではあるが他のカマドの設置状況と比較した軸線とした場合、(N-112°-E)という取り扱いになる。廃絶後に再掘削されたSK-82の影響があるが、堆積土は各調査年度とも6層に分層している。SK-82の影響が強い2004年の記録図は上面がSK-82の影響層とし、SK-82の構築以前の堆積層のみS I-07と取り扱っており、2007年のS I-07単独の土層とは若干堆積状況が異なっているが、いずれもB-Tm火山灰が壁際に土層堆積した後に二次堆積のブロック状に壁際の中央から中央の床面直上付近に堆積しており、SK-82の下部でも崩落に伴う再堆積でブロックが確認される。出土遺物は砕片主体で、図示可能な資料は無かった。

## S I-08 (図1-251・252)

D-1区中央から検出した。北西～南東方向にかけ攪乱により破壊を受けているが、残存部分の状況から平面形は長方形を呈し、450.0×380.0×47.0cmを測る。ピットは攪乱部分の根元から2基検出しているが、主柱配置は不明である。また、壁溝は一部断続しながらも残存部のほとんどで検出している。その他南西隅からSK-01とした土坑1基を検出しており、覆土上面からB-Tm火山灰を検出している。出土遺物は砕片主体であるがSK-01周辺に出土しており、図示したのは本遺構の帰属とは直接は関係ないが縄文土器の体部片2点を図示した。

## S I-09 (図1-253)

D-1区中央から南側の地点で検出した。SK-87・88・91～93と重複しており、本遺構の埋没後にそれぞれの遺構が掘削されており、本遺構の方が古い。平面形は重複する遺構の影響で変形しているが、元々は不整形円形を呈していたものと思われる。460.0×378.0×65.0cmを測る。柱穴や炉・カマド・壁溝等の施設は検出しておらず堅穴ではあるが、建物跡として機能したかどうかは

不明である。堆積土は他の遺構の掘削痕や埋め戻しの影響も含まれるが4層に分層しており、人為的堆積状況を呈している。出土遺物は底面直上に堆積する第3層から出土した深鉢形の底部資料(D052)や覆土出土のD051、中層出土の土器片利用の土製品であるD053を図示した。いずれも縄文時代後期前葉十腰内1式期の資料である。

## S I-001b (図1-254)

D-1区調査区北東隅で検出した。ピット6基の検出で、明瞭な堅穴の掘り方や壁溝などの痕跡はなく、認定の経緯に関する情報も残されていないが調査記録の報告として本項目で取り扱った。柱穴として機能した可能性のあるピットを中心としたPit6基が本遺構として記録されている。出土遺物等もなく詳細は不明である。

## 2. 土坑

## SK-55 (図1-255)

D-1区南側から検出した。平面形は不整形丸方形を呈し、133.0×121.0×50.0cmを測る。SD-07・08と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形丸方形を呈し、83×67×30cmを測る。断面形は凹凸があり、南側が一段下がった形状で、壁は垂直に近い形で立ち上がる。北側にはPit1とした小ピットを検出している。堆積土は6層に分層し、ロームブロック混じりの人為堆積状況を呈する。

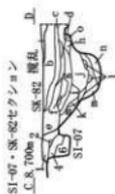
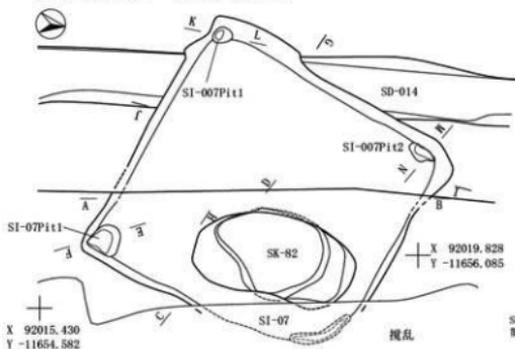
## SK-56 (図1-255)

D-1区南側から検出した。SK-57と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は小判形を呈し203.0×103.0×33.0cmを測る。断面形は一部凹凸がある形状で一部段状に立ち上がる部分も見られる。また、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と一部で緩やかに角度を変える部分が見られる。堆積土は5層に分層し、埋め戻しに伴う人為堆積状況を呈する。出土遺物はD054に図示した縄文時代中期の底部資料と弥生土器の底部資料が出土しており、混在している。

## SK-57 (図1-255)

D-1区南側から検出したSK-56とSP-455と重複しており、いずれの遺構よりも古い。平面形は不整形円形を呈し、切り合いによって部分的な残存であるが、(98.0)×93.0×46.0cmを測る。断面形は柱穴状で、東側の部分が落ち込んだ段状の立ち上がりを呈する。堆積土は8層に分層し、柱穴の抜き取りの伴った堆積状況を呈する。

SI-07(2004年)・SI-007(2007年)



SI-07・SK-82セクション



SI-07

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ5~7mm)極微量, ローム粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第2層 10YR6/6 明黄褐色土 B-Tox山灰層
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~7mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第4層 10YR2/3 黒褐色土 パミス粒(φ1~10mm)極微量, ローム粒(φ1mm)極微量
- 第5層 10YR5/6 黄褐色土 パミス層
- 第6層 10YR3/3 暗褐色土 パミス粒(φ2~3mm)極微量, ローム粒(φ1~3mm)少量

SK-82

- 第5層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1mm)極微量, ローム粒(φ1mm)極微量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第3層 10YR1.7/1 黒色土 パミス粒(φ2~2mm)極微量, ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第2層 10YR2/1 黒色土 パミスブロック(φ10~12mm)極微量
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ3~5mm)極微量, ローム粒(φ1mm)少量
- 第7層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
- 第6層 10YR1.7/1 黒色土 ロームブロック(φ10~30mm)極微量
- 第5層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ2~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量, ロームブロック(φ10~15mm)極微量
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 B-Tox山灰(φ2~3mm)極微量
- 第1層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 B-Tox山灰層
- 第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~15mm)極微量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第1層 10YR5/6 黄褐色土 パミス層
- 第1層 10YR3/2 黒褐色土 パミスブロック(φ13~20mm)極微量, ローム粒(φ1~5mm)少量

SI-007セクション



SI-007セクション



SI-007Pit1



SI-007Pit2



SI-007

- 第1層 10YR2/1 黒色土
- 第2層 10YR2/1 黒色土上10YR2/3黒褐色土の混合土 ローム粒(φ3~5mm)微量
- 第3層 10YR2/2 黒褐色土 B-Tox山灰(10YR5/6黄褐色土)が層状に堆積, ローム粒(φ3~5mm)微量
- 第4層 10YR3/3 暗褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)少量
- 第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量
- 第6層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~50mm)多量

SI-007Pit1

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)中量
- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ10~30mm)多量



SI-007土器出土位置

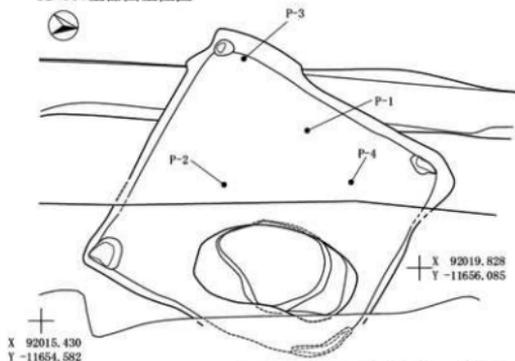


図 1-250 D-1区 SI-07・007-1

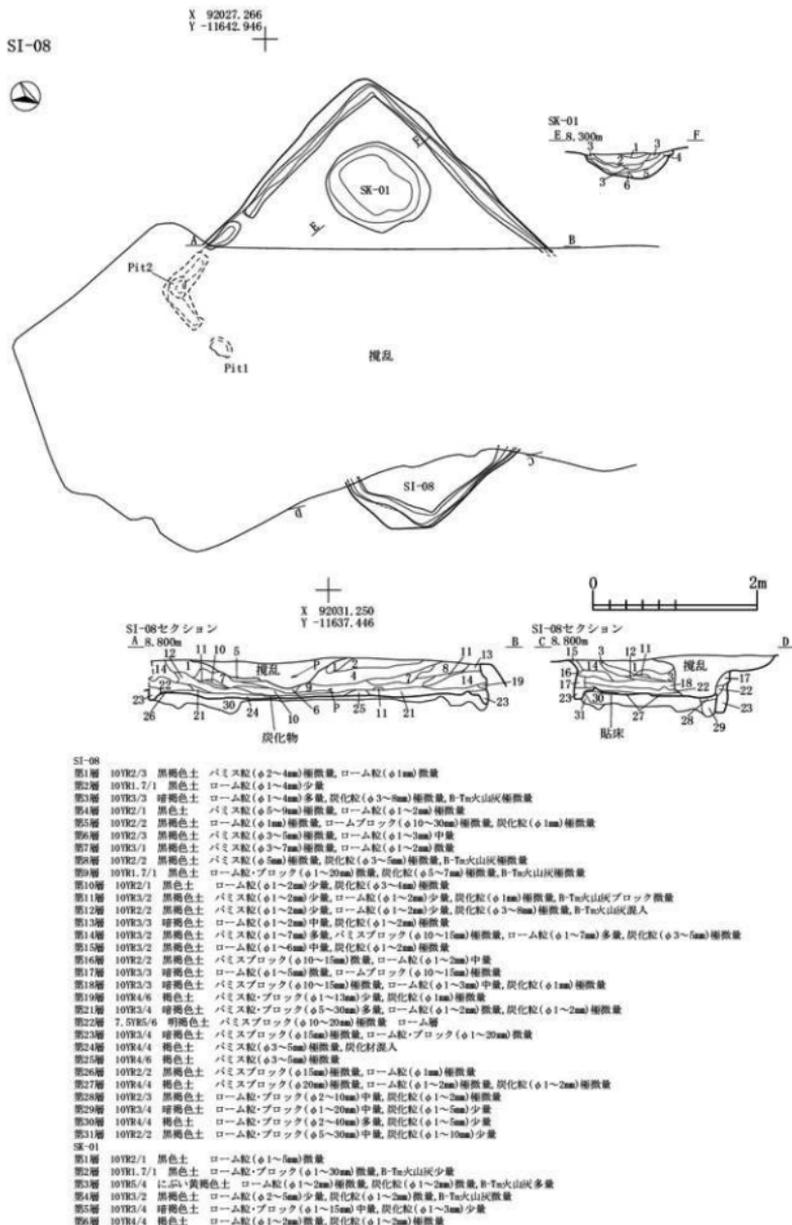


図 1-251 D-1区 SI-08-1

## SI-08遺物出土位置図

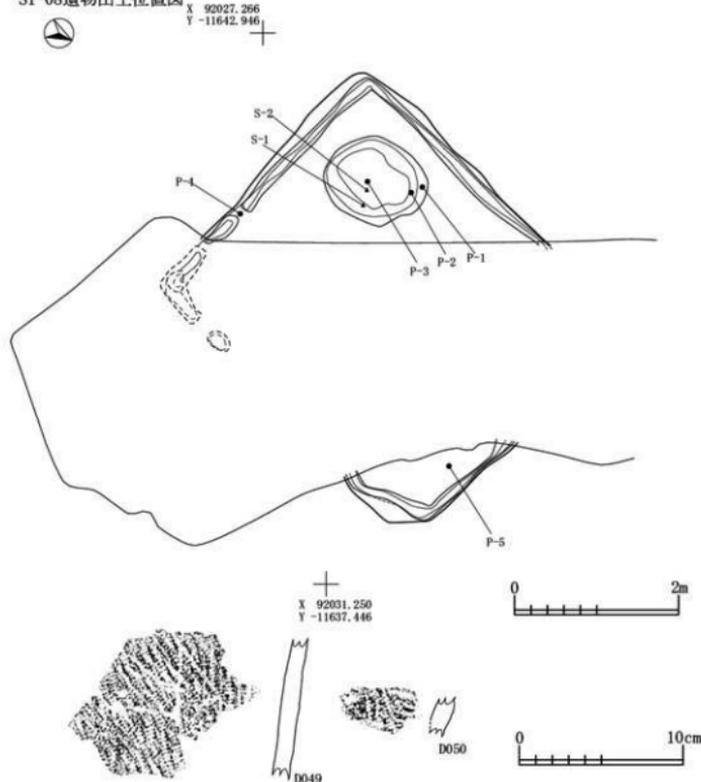


図 1-252 D-1 区 SI-08-2

SK-59・60 (図 1-255・256)

D-1区南側から検出した。円形状の柱痕の伴う土坑状の掘り込みと溝状の浅い落ち込みが連結した状況で検出しており、調査時に柱痕の伴う土坑の中層～下層にかけてと溝状の掘り込み部分をSK-60とし、上面の掘削痕をSK-59として取り扱っている。実質的には抜き取り後の埋め戻しがSK-59相当で取り扱われたもので、SK-60扱いの第10～13層の溝状の掘り込みと柱痕の伴う土坑は別遺構の可能性はある。出土遺物はSK-60扱いとなっており、記述は一括した形で記述することとした。

遺構は溝状のSK-60と図示した部分と土坑状のSK-59と図示した部分が重複したもので、溝状の部分が古く、土坑状の部分が新しい。また、土

坑部分にはSTPa-07 (SK-58) が重複しており、土坑の方が新しい。土坑状の掘り込みはSK-59扱いの第a～e層の5層とSK-60扱いの第1～9層の14層分が相当し、抜き取り部分の第a～e層、柱部分の第1～4層、柱痕が中央底部に残存し、裏込土の第6～9層という堆積状況である。柱はD056として図示したが、長さ(39.8)cm、幅(28.6)cm、厚さ(26.0)cmを測る。樹種はアスナロである。溝状の掘り込みは(248.0)×80.0×28.0cmを測る。若干西偏しているが南北軸で、北側の部分が若干段状を呈し、V字状に入り込んだ形状を呈する。堆積土はブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況を呈する。中央からPit1とした23×22×13cmの小ピットを検出しているが、直接の帰属関係は不

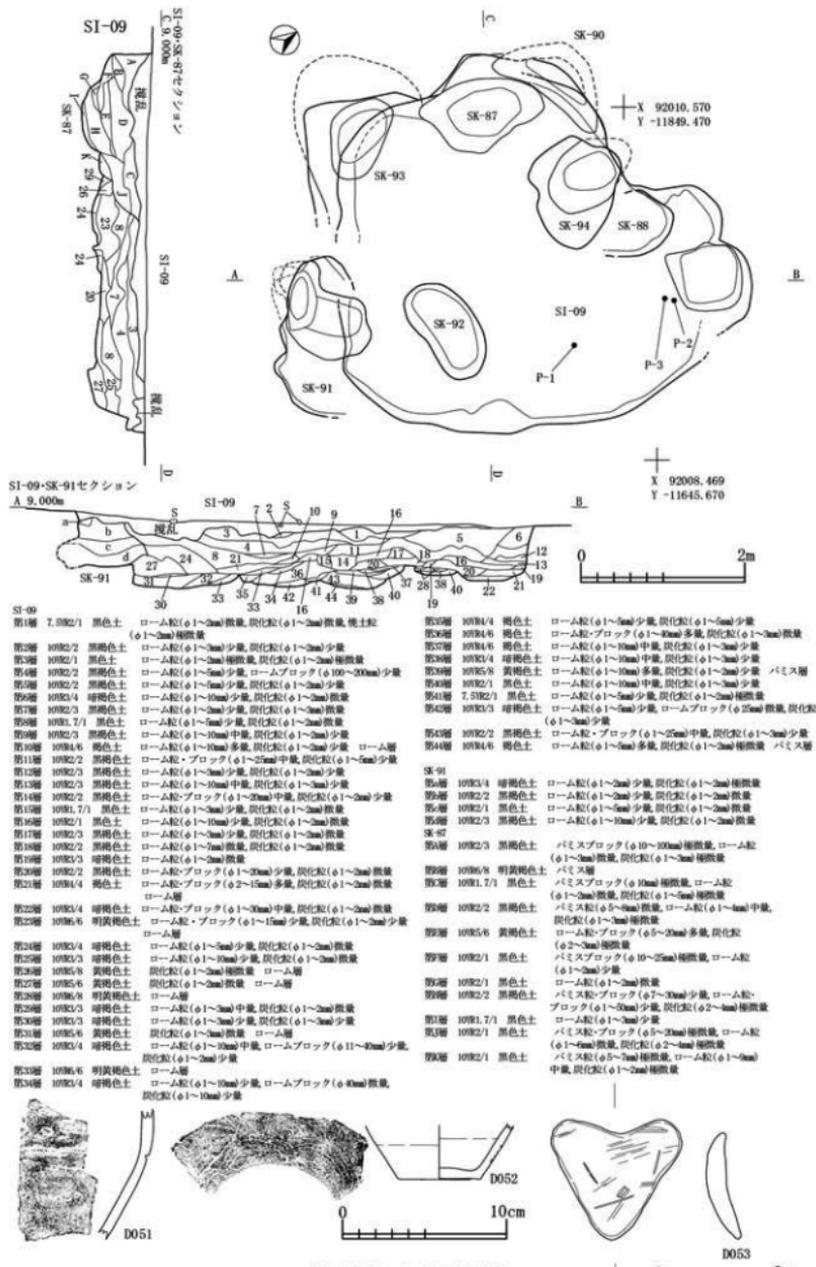
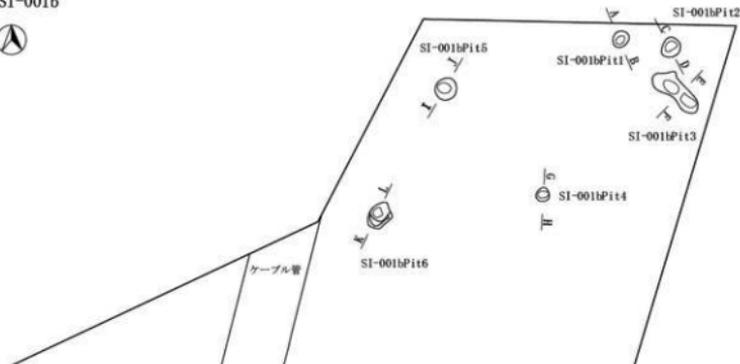


図1-253 D-1区 SI-09

SI-001b



SI-001bPit1

第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス配(φ1~3cm)微量, ローム配(φ1~2cm)微量, 白色粘土配(φ1~2cm)微量, 10YR3/3暗褐色土配(φ3~5cm)少量, 10YR3/3暗褐色土ブロック(φ10~15cm)少量

SI-001bPit2

第1層 10YR2/3 黒褐色土 バミス配(φ3~5cm)微量, ローム配(φ1~2cm)微量, ロームブロック(φ10cm)極微量

SI-001bPit3

第1層 10YR4/4 褐色土 バミス配(φ1~3cm)微量, ローム配(φ1~2cm)微量

第2層 10YR3/4 暗褐色土

ローム配(φ1~5cm)微量, ロームブロック(φ10~20cm)微量

SI-001bPit4

第1層 10YR2/2 黒褐色土 バミス配(φ1~2cm)極微量, ローム配(φ1~5cm)極微量

SI-001bPit5

第1層 10YR3/3 暗褐色土 バミス配(φ5~9cm)微量, バミスブロック(φ10~15cm)微量, ローム配(φ1~3cm)少量, ロームブロック(φ10cm)微量,

10YR3/2暗褐色土配(φ3~5cm)少量

第2層 10YR2/2 黒褐色土 バミス配(φ5~9cm)少量, バミスブロック(φ10~20cm)微量, ローム配(φ1~9cm)微量, ロームブロック(φ10~20cm)少量,

2.0YR3/2暗褐色土配(φ3~9cm)少量

SI-001bPit6

第1層 10YR3/2 暗褐色土 バミス配(φ1~9cm)微量, ローム配(φ1~2cm)少量, ロームブロック(φ10~15cm)微量

第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土 バミス配(φ1~9cm)多量, バミスブロック(φ10cm)少量, ローム配(φ1~2cm)中量, ロームブロック(φ10~20cm)少量

図 1-254 D-1 区 SI-001b

明である。

SK-78 (図 1-257)

D-1区北側で検出した。平面形は不整形を呈し、116.0×105.0×43.0cmを測る。上面が撓乱により変形しているが、残存部の断面形は浅い円筒形を呈する。堆積土は9層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

SK-80 (図 1-257)

D-1区中央より北側から検出した。SM-02と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形な長方形で、145.0×100.0×63.0cmを測る。断面形は壁の途中で角度を変え、開口部付近では開き気味に立ち上がっている。堆積土は21層に分層し、3回掘削が行われている状態で、人為的堆積状況を呈する。

SK-81 (図 1-257)

D-1区中央より北側から検出した。SM-02の北西側に相当し、SM-02を切っている撓乱部に本遺構も切られている。撓乱に伴う掘削で本遺構も形状が変形しており、残存部の規模は(159.0)×(63.0)×37.0cmを測るまた中央に20.0×19.0×35.0cmのビット状の落ち込みがある。断面形は柱穴状を呈し、開口部側は変形しているが、下半部は段状に立ち上がる。堆積土は撓乱の影響箇所も含め10層に分層し、下層部分は埋め戻しに伴う人為的堆積状況を呈する。

SK-82 (図 1-258)

調査区中央より西側の位置から検出した。SI-07007と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形長楕円形を呈し、193.0×96.0×7.0cmを測る。断面形は中央が柱穴状に凹

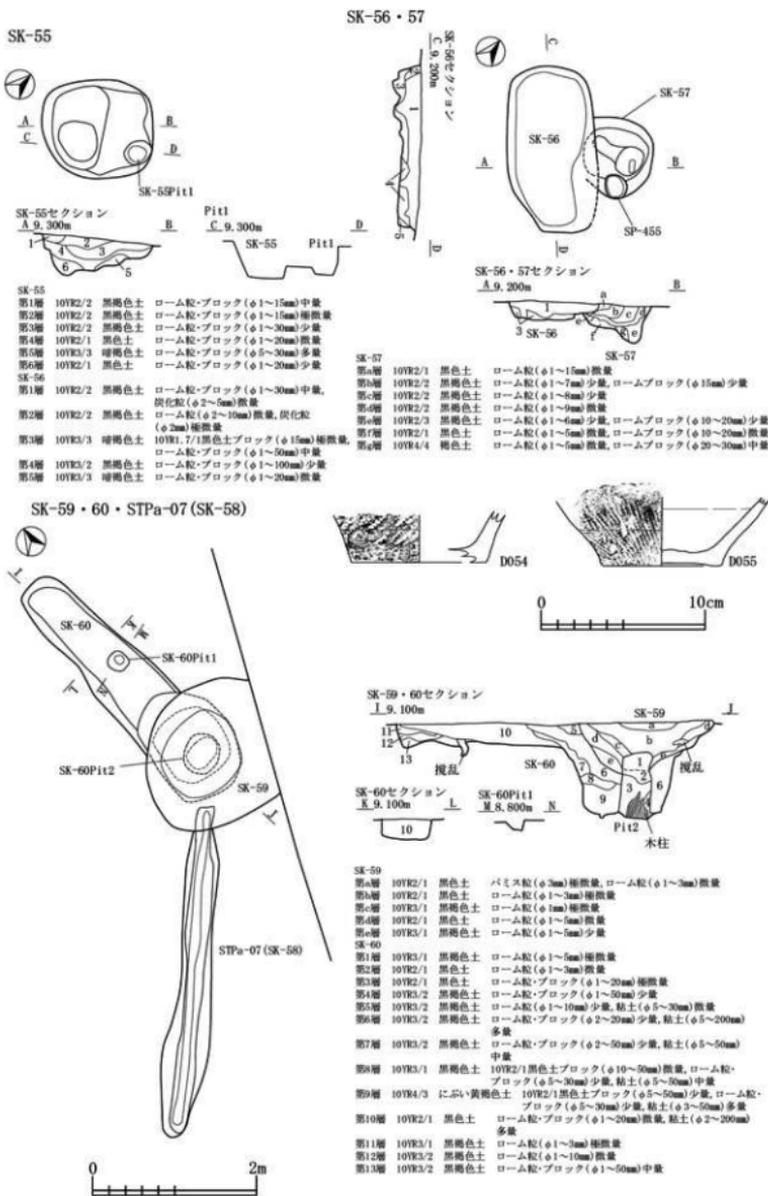


図 1-255 D-1区 SK-1

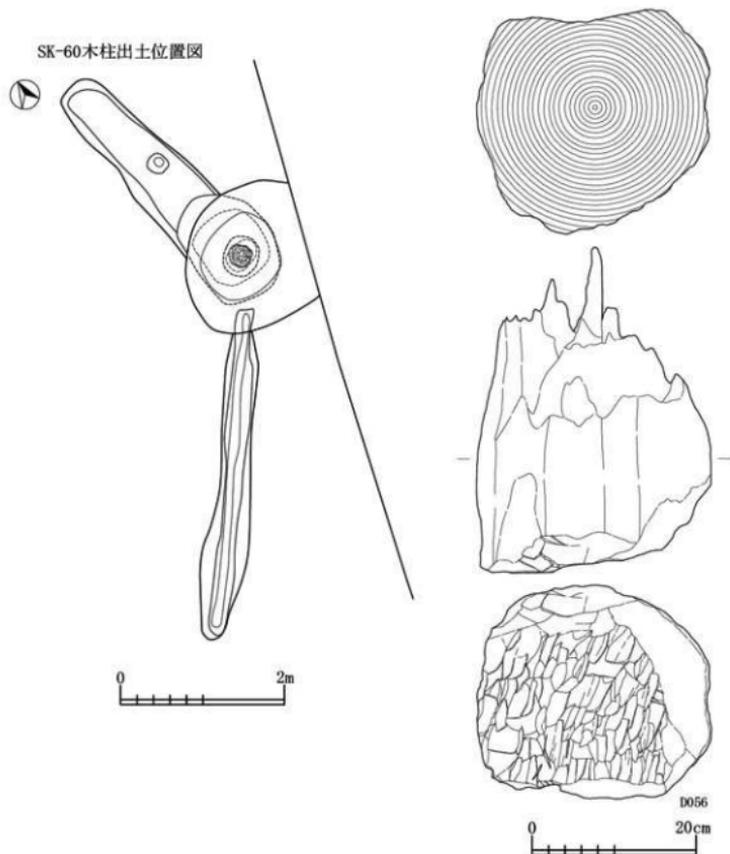


図 1-256 D-1区 SK-2

んだ形状で壁の途中で角度を変え、開き気味に立ち上がっている。堆積土は重複する堅穴部の影響する部分の堆積土も含め15層に分層したが、実質的な本遺構の堆積度としては第g層以下の土層となる。下層の第1層中にB-Tm火山灰層が堆積しているが、元々S1-07・007の堆積土中に堆積した火山灰が土坑開口部の埋没過程において崩落等が発生し、ブロックごと堆積しているものと考えられる。

SK-87・88・90~94 (図1-259・260)

D-1区の南側から検出した。S1-09と重複しており、S1-09よりいずれも新しい。S1-09の堆積土を切る形で構築されており、土

坑の情報欠落している箇所も見られるが、SK-87は平面形が不整形円形、断面形が楕円形で、152.0×90.0×81.0cmを測る。中層から縄文時代晩期の粗製深鉢の体部資料1片を図示した。SK-88はSK-94に切られており平面形は(不整形円形)、断面形は凹凸のある底面で、壁は垂直に近い形で立ち上がる形状である。規模は(79.0)×90.0×68.0cmを測る。底面直上に堆積する第6層P-1出土の土器1点を図示したが、記録図と遺物の状態が若干異なっている。P-1として整理された土器片1点をD058として図示した。縄文時代後期前葉十腰内I式期の破片である。SK-90は平面形が不整形円形、断面形が袋

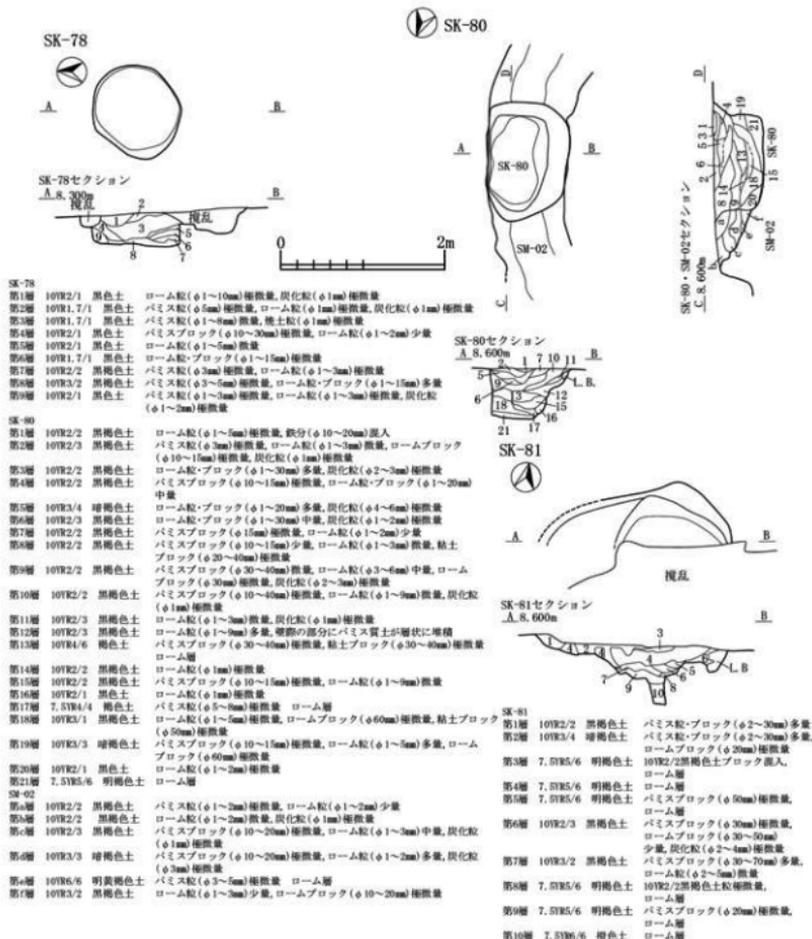


図1-257 D-1区SK-3

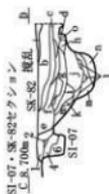
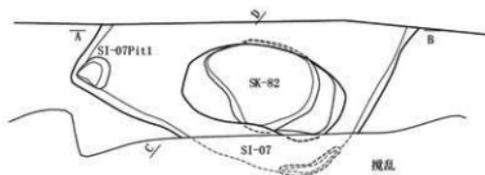
状を呈する。(154.0) × (64.0) × 80.0 cmを測る。堆積土中からB-Tm火山灰を検出した。SK-91は平面形が不整長楕円形、断面形が袋状を呈し、201.0 × (121.0) × 68.0 cmを測る。SK-92は平面形が小判形、断面形は血形を呈し、(138.0) × (67.0) × (96.0) cmを測る。SK-93は平面形が不整円形、断面形が袋状を呈し、(106.0) × (70.0) × 102.0 cmを測る。SK-94は平面形が不整長楕円形、断面形が袋状を呈し、(137.0) × (112.0) × 123.0 cmを測る。

SK-001 (図1-261)

D-1区北東側で検出した。平面形は楕円形で88.0 × 61.0 × 11.0 cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に緩やかに立ち上がる形状である。堆積土は黒褐色土1層のみである。

SK-002 (図1-261)

D-1区東側で検出した。平面形は不整円形を呈し103.0 × 93.0 × 7.0 cmを測る。断面形は血形で、開き気味に立ち上がる。堆積土はSK-001同様黒褐色土1層のみである。



SI-07・SK-82セクション



SI-07

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ5~7mm)極微量, ローム粒(φ1~2mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第2層 10YR6/6 明黄褐色土 B-Tm火山灰層
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 バミス粒(φ1~7mm)中量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第4層 10YR2/3 黒褐色土 バミス粒(φ1~10mm)極微量, ローム粒(φ1mm)極微量
- 第5層 10YR5/6 黄褐色土 バミス層
- 第6層 10YR3/3 暗褐色土 バミス粒(φ2~3mm)極微量, ローム粒(φ1~2mm)少量

SK-82

- 第a層 10YR2/1 黒色土 バミス粒(φ1mm)極微量, ローム粒(φ1mm)極微量
- 第b層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第c層 10YR1.7/1 黒色土 バミス粒(φ2~4mm)極微量, ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第d層 10YR2/1 黒色土 バミスブロック(φ10~12mm)極微量
- 第e層 10YR2/2 黒褐色土 バミス粒(φ3~5mm)極微量, ローム粒(φ1mm)少量
- 第f層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量, ロームブロック(φ10~30mm)極微量
- 第g層 10YR1.7/1 黒色土 バミス粒(φ2~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第h層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)極微量, 炭化粒(φ1mm)極微量
- 第i層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量
- 第j層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)極微量, ロームブロック(φ10~15mm)極微量
- 第k層 10YR2/2 黒褐色土 B-Tm火山灰極微量
- 第l層 10YR3/4 に近い黄褐色土 B-Tm火山灰層
- 第m層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒・ブロック(φ1~15mm)極微量, 炭化粒(φ1~2mm)極微量
- 第n層 10YR5/6 黄褐色土 バミス層
- 第o層 10YR3/2 黒褐色土 バミスブロック(φ13~20mm)極微量, ローム粒(φ1~5mm)少量

SK-82石器・B-Tm火山灰サンプル出土位置図

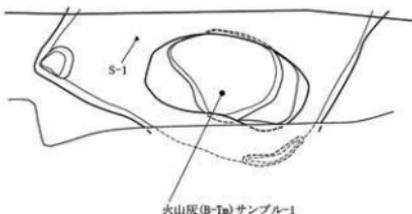


図 1-258 D-1区 SK-4

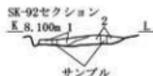




- SK-88
- 第1層 10R3/3 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)中量, ロームブロック(φ10~15mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)少量, 粘土粒(φ1~2mm)微量
- 第2層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, ロームブロック(φ10mm)微量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第3層 10R2/3 黒褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第4層 7.5R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第5層 10R4/6 褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)微量, 粘土層
- 第6層 10R3/1 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)中量, 炭化灰(φ1~2mm)微量



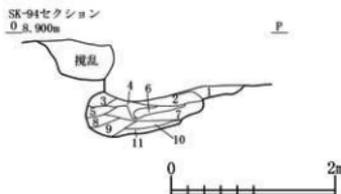
- SK-90
- 第1層 10R2/3 黒褐色土 ローム殻(φ1~10mm)中量, 炭化灰(φ1~5mm)少量
- 第2層 10R5/6 黄褐色土 a: Tox(土)灰土, ローム層, 炭化灰(φ1~2mm), b: Tox(山)灰土, ローム層, 炭化灰(φ1~2mm)微量, 粘土層
- 第3層 7.5R4/4 褐色土 ローム殻(φ1~2mm)微量, 粘土層
- 第4層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第5層 7.5R5/6 黄褐色土 炭化灰(φ1~2mm)微量, 粘土層
- 第6層 10R2/2 黒褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, ロームブロック(φ15mm)微量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第7層 10R2/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~2mm)微量, 炭化灰(φ1~2mm)少量



- SK-92
- 第1層 10R3/3 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量, 炭化灰(φ1~5mm)少量
- 第2層 10R3/4 暗褐色土 ローム殻・ブロック(φ1~20mm)少量, 炭化灰(φ1~10mm)少量



- SK-93
- 第1層 10R3/3 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第2層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第3層 10R3/4 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第4層 10R3/3 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, ブロック(φ30~20mm)中量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第5層 10R5/6 黄褐色土 炭化灰(φ1~5mm)少量, ローム層
- 第6層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~2mm)少量, 炭化灰(φ1~5mm)少量
- 第7層 10R3/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)中量, ブロック(φ30~50mm)中量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第8層 10R5/6 黄褐色土 炭化灰(φ1~2mm)少量, ローム層
- 第9層 10R3/1 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量, ロームブロック(φ30~15mm)中量, 炭化灰(φ1~5mm)少量



- SK-94
- 第1層 10R2/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量, ロームブロック(φ40mm)微量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第2層 10R5/6 黄褐色土 炭化灰(φ1~3mm)少量, ローム層
- 第3層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ30~15mm)少量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第4層 10R3/4 暗褐色土 ローム殻・ブロック(φ1~20mm)多量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第5層 10R3/3 暗褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ30~20mm)中量, 炭化灰(φ1~5mm)少量
- 第6層 10R2/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~15mm)少量, ロームブロック(φ30~40mm)中量, 炭化灰(φ1~2mm)少量
- 第7層 10R2/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量, 炭化灰(φ1~3mm)微量
- 第8層 10R3/1 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)中量, ロームブロック(φ40mm)微量, 炭化灰(φ1~2mm)微量
- 第9層 10R3/1 黒褐色土 ローム殻(φ1~5mm)少量, ロームブロック(φ11~30mm)少量, 炭化灰(φ1~5mm)少量
- 第10層 7.5R1/2 黒褐色土 ローム殻・ブロック(φ1~15mm)少量, 炭化灰(φ1~3mm)微量
- 第11層 7.5R3/2 暗褐色土 ローム殻(φ1~10mm)少量

SK-88土器微細

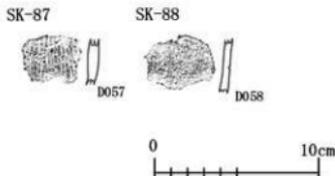
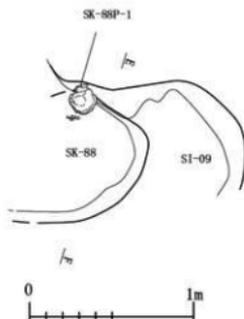


図 1-260 D-1 区 SK-6

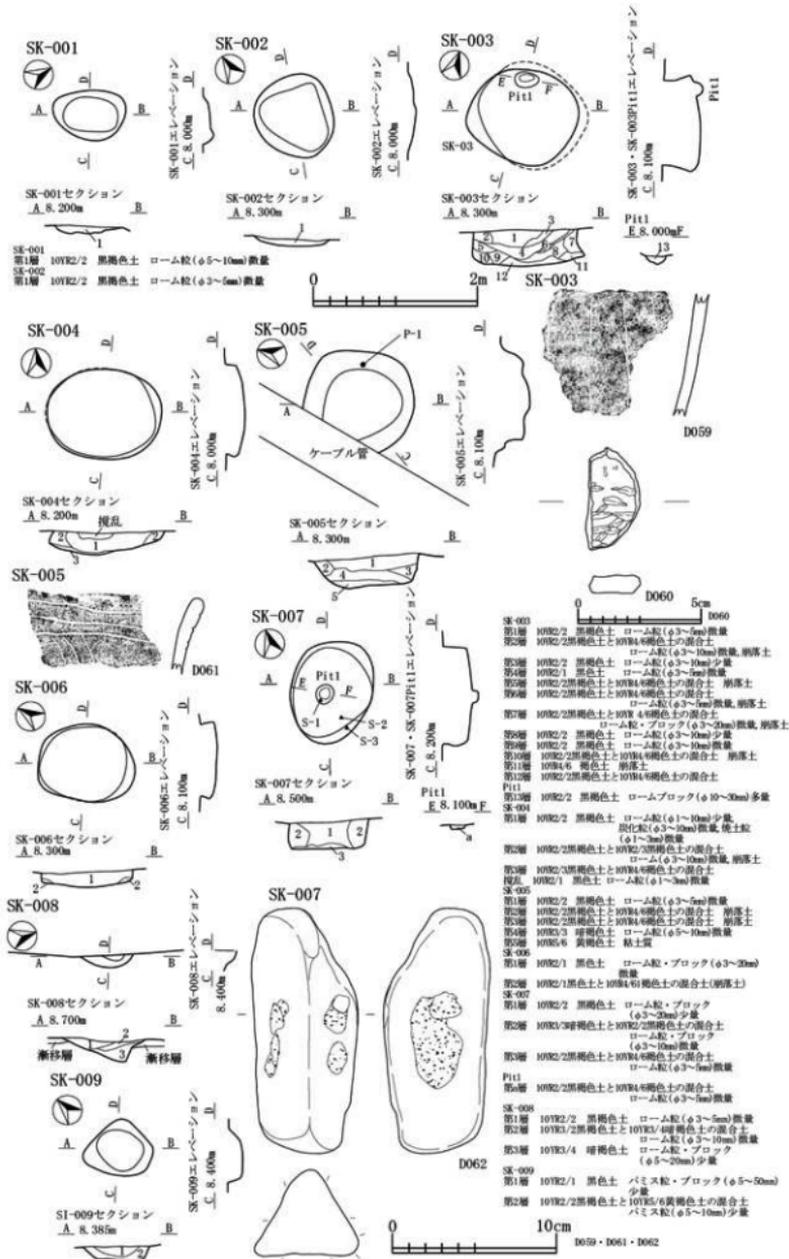


図 1-261 D-1 区 SK-7

## SK-003 (図1-261)

D-1区東側で検出した。平面形は不整隅丸方形を呈し、 $124.0 \times 113.0 \times 45.0$  cmを測る。断面形は袋状を呈し、特に東側がプラスチック状に入り込んだ形状を呈する。また、底面北側には $30.0 \times 19.0 \times 10.0$  cmの小ピットがある。堆積土はピットの堆積土を含め13層に分層し、一部崩落が伴っているが、人為的埋戻しの要因が強い堆積状況である。出土遺物は覆土中から出土した縄文時代後期前葉十腰内I式期の深鉢体部片と土器片利用の円盤状土製品が出土しており、いずれも縄文時代後期前葉に取まるものと考えられる。

## SK-004 (図1-261)

D-1区東側で検出した。平面形は楕円形を呈し $138.0 \times 111.0 \times 26.0$  cmを測る。断面形は一部袋状を呈している。堆積土は3層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

## SK-005 (図1-261)

D-1区東側で検出した。西側が光ケーブル埋設により破壊されていたが、残存部の形状は隅丸方形を呈し、 $136.0 \times 135.0 \times 36.0$  cmを測る。断面形は一部凹凸があり、壁は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は5層に分層し、一部崩落が伴う自然堆積状況を呈する。出土遺物は第1層から出土した縄文時代後期前葉十腰内I式の深鉢口縁部を図示した。

## SK-006 (図1-261)

D-1区東側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $116.0 \times 96.0 \times 18.0$  cmを測る。断面形は一部袋状を呈している。堆積土は2層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

## SK-007 (図1-261)

D-1区東側で検出した。平面形は楕円形を呈し、 $130.0 \times 96.0 \times 34.0$  cmを測る。また中央に $25.0 \times 21.0 \times 8.0$  cmを測る小ピットを検出した。断面形は鍋底形を呈し、垂直に近い形で立ち上がる部分が多く見られる。堆積土は3層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。出土遺物は底面直上から類似した規格の自然礫および礫石器が出土しており、S-1として取り扱った敲磨器類1点を図示した。

## SK-008 (図1-261)

D-1区東側で検出した。調査区境の複数年次に渡る境界の欠測箇所延びており、部分的な精査に

留まっている。検出部分の平面形は(不整形)を呈し、 $(63.0) \times (15.0) \times (26.0)$  cmを測る。断面形はV字状を呈しており、開き気味に立ち上がっている。堆積土は3層に分層し、一部流れ込みに伴う堆積が生じた自然堆積状況を呈している。

## SK-009 (図1-261)

D-1区西側で検出した。平面形は不整形を呈しており、 $83.0 \times 70.0 \times 18.0$  cmを測る。断面形は直立気味に立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる部分が見られる。堆積土は2層に分層し、いずれの土層中にも粒径の大きなバースブロックが多く含まれ、人為的堆積状況を呈する。

## 3. 井戸跡

## SE-001 (図1-262～265)

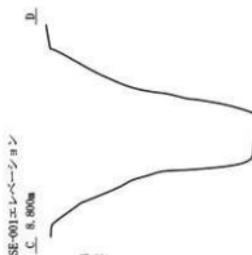
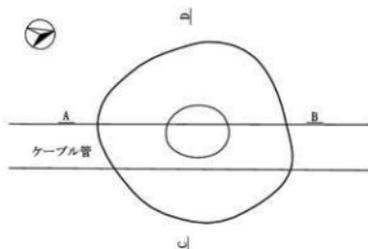
D-1区南東側で検出した。平面形は不整形を呈し、 $220.0 \times 217.0 \times 253.0$  cmを測る。断面形は垂直に近い形で立ち上がるが中段で角度を変え、若干開き気味に立ち上がっている。堆積土は36層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈している。出土遺物は下層に相当する第34～36層から木製品のみ出土している。D063の白木の木器軸は第35層出土で、口径 $14.2$  cmを測る。器壁が厚めで、口唇部の一部が炭化している。樹種はモクレン属である。D064は第34層出土の下駄の欠損資料で、長さ $(13.7)$  cm、幅 $(7.5)$  cm、厚さ $3.4$  cmを測る。アスナロの柁目取りで、歯の部分は後ろ側に傾斜するような形で削り出されている。D065～D067は箸状を呈する木製品であるが、出土量は非常に少ない。また、箸状のD065の他、板状のD068やD071、木片のD083・D086なども炭化しており、燃された残りである可能性がある。D074～D077は井桁として機能した可能性がある資料で、朽ちていたため完形資料はないが、全長のわかるD075は幅 $99.4$  cmを測る。樹種はいずれもアスナロである。その他D078の杭、D079・D080の板壁材、D081の板杭(壁材)等の部材も出土しているが本遺構に帰属した資料ではなく廃棄に伴う資料の可能性が高い。樹種は全てアスナロである。

## 4. 溝状土坑(Tピット)

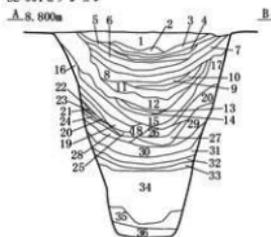
調査後に認定された資料を含め9基検出した。STPa-07 (SK-58) (図1-266)

D-1区南側で検出した。調査時SK-59・60と扱われた土坑と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は溝状を呈し、 $406.0 \times 56.0 \times 135.0$  cmを測る。断面形は垂直に近い形で立

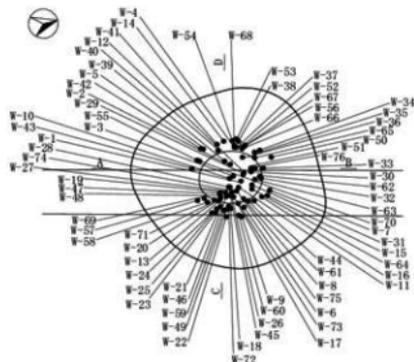
## SE-001



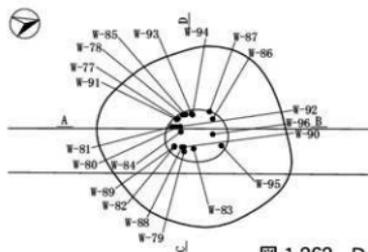
## SE-001セクション



## SE-001木製品出土位置図(1回目)



## SE-001木製品出土位置図(2回目)



## SE-001

- |      |           |                          |                                     |
|------|-----------|--------------------------|-------------------------------------|
| 第1層  | 10YR2/3   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~10mm)少量                     |
| 第2層  | 10YR2/1   | 黒色土                      | ローム粒(φ1~3mm)微量                      |
| 第3層  | 10YR2/1   | 黒色土                      | ローム粒・ブロック(φ1~20mm)微量                |
| 第4層  | 10YR1.7/1 | 黒色土                      | ローム粒(φ1~3mm)微量                      |
| 第5層  | 10YR2/1   | 黒色土                      | ローム粒(φ1~3mm)微量                      |
| 第6層  | 10YR1.7/1 | 黒色土                      |                                     |
| 第7層  | 10YR1.7/1 | 黒色土                      | ローム粒(φ1~3mm)微量                      |
| 第8層  | 10YR1.7/1 | 黒色土                      | ローム粒(φ3~5mm)微量                      |
| 第9層  | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ1~3mm)少量                      |
| 第10層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~10mm)微量                     |
| 第11層 | 10YR2/1   | 黒色土                      | ローム粒(φ3~5mm)微量                      |
| 第12層 | 10YR2/3   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ5~10mm)少量                     |
| 第13層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~5mm)中量                      |
| 第14層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~5mm)微量                      |
| 第15層 | 10YR1.7/1 | 黒色土                      | ローム粒・ブロック(φ5~20mm)微量, 炭化粒(φ3~5mm)微量 |
| 第16層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ5~10mm)微量                     |
| 第17層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ5~10mm)微量                     |
| 第18層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~5mm)微量, 炭化粒(φ1~3mm)微量       |
| 第19層 | 10YR2/2   | 黒褐色土と10YR4.6褐色土の混合土      |                                     |
| 第20層 | 10YR4.6   | 褐色土(崩落土)                 |                                     |
| 第21層 | 10YR5.6   | 黄褐色土                     |                                     |
| 第22層 | 10YR2/2   | 黒褐色土と10YR4.6褐色土の混合土(崩落土) |                                     |
| 第23層 | 10YR4.6   | 褐色土(崩落土)                 |                                     |
| 第24層 | 10YR1.7/1 | 黒色土                      |                                     |
| 第25層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~5mm)微量                      |
| 第26層 | 10YR2/2   | 黒褐色土と10YR4.6褐色土の混合土      | ローム粒(φ3~5mm)微量                      |
| 第27層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     | ローム粒(φ3~5mm)少量                      |
| 第28層 | 10YR2/2   | 黒褐色土と10YR4.6褐色土の混合土      | ローム粒(φ3~5mm)少量                      |
| 第29層 | 10YR2/2   | 黒褐色土                     |                                     |
| 第30層 | 10YR2/1   | 黒色土                      |                                     |
| 第31層 | 10YR4.6   | 褐色土(崩落土)                 |                                     |
| 第32層 | 10YR3/3   | 暗褐色土                     | 炭化粒(φ5~10mm)多量                      |
| 第33層 | 10YR4.6   | 褐色土(崩落土)                 |                                     |
| 第34層 | 10YR3/3   | 暗褐色土(包材が出土した層)           |                                     |
| 第35層 | 10YR3/3   | 暗褐色土(包材が出土した層)           |                                     |
| 第36層 | 10YR3/3   | 暗褐色土                     |                                     |

## SE-001土器・石器出土位置図

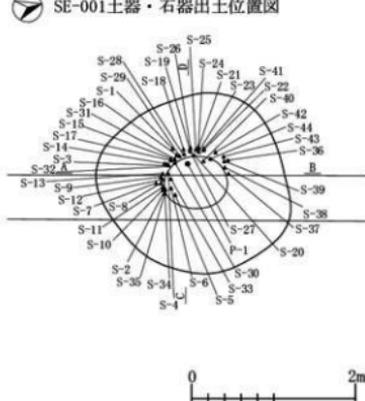


図1-262 D-1区SE-1

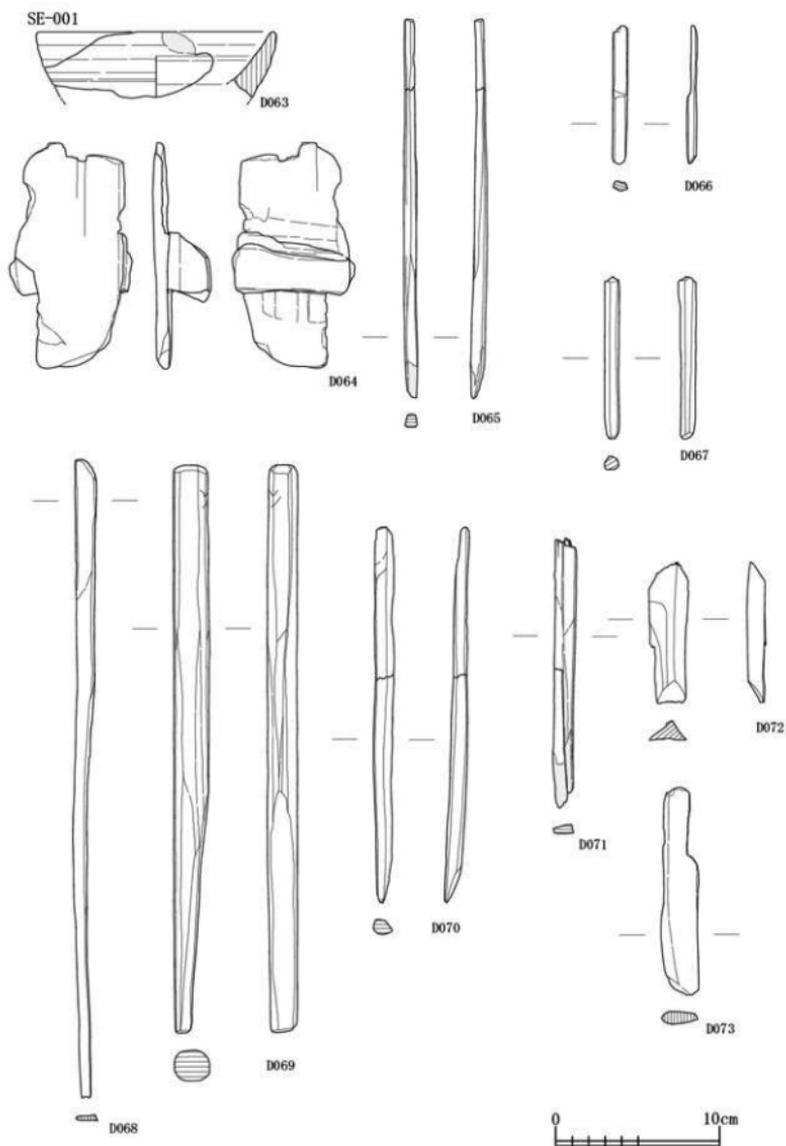


图 1-263 D-1区 SE-2

SE-001

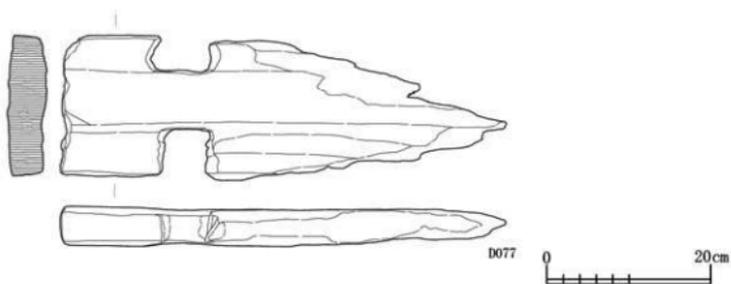
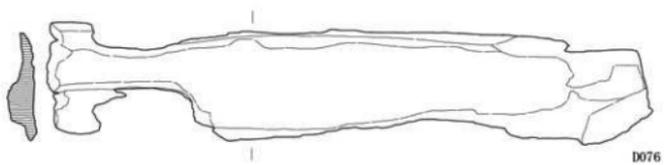
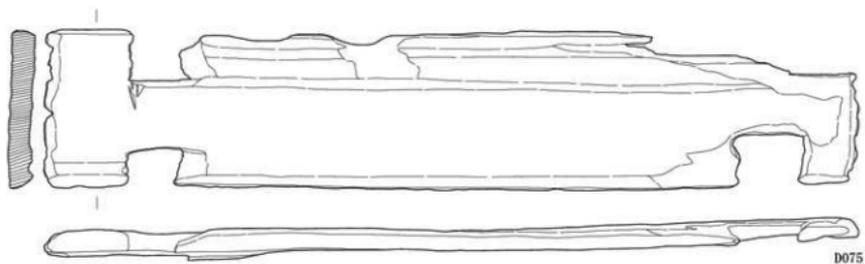
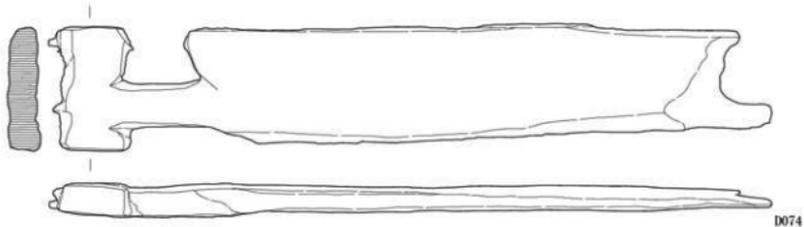


図 1-264 D-1区 SE-3

SE-001

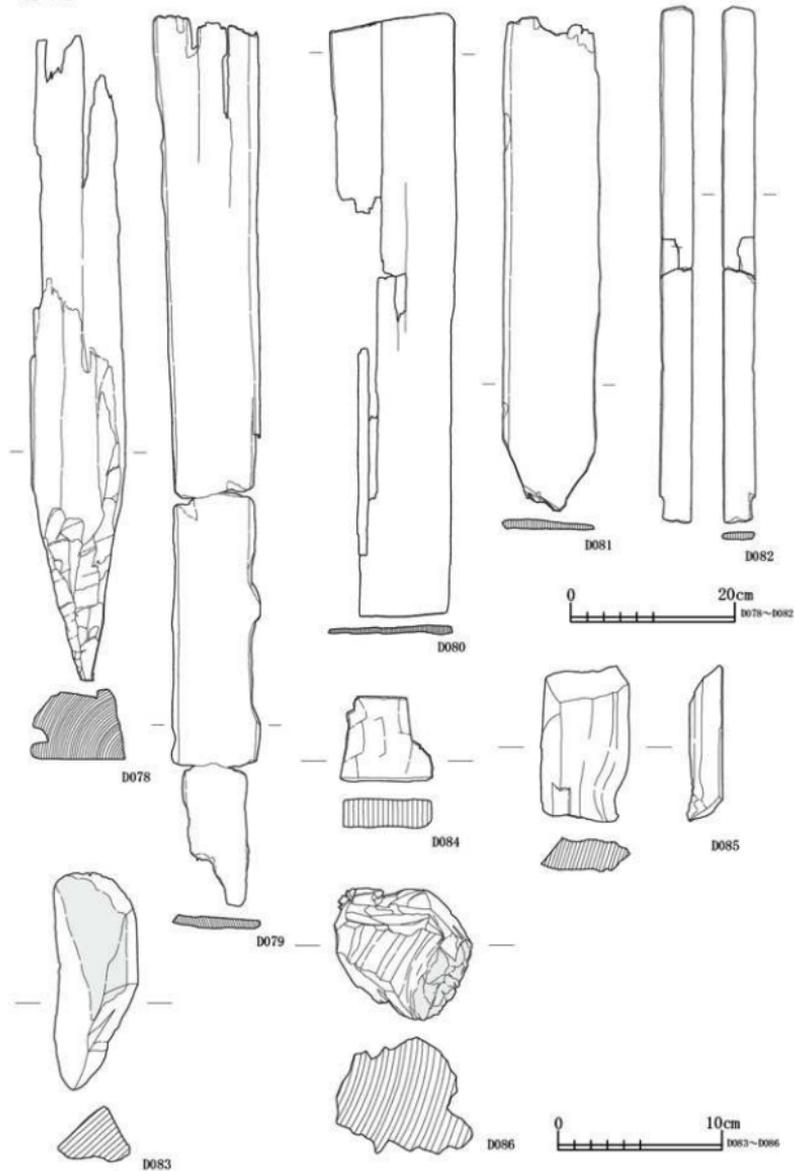


图 1-265 D-1区 SE-4

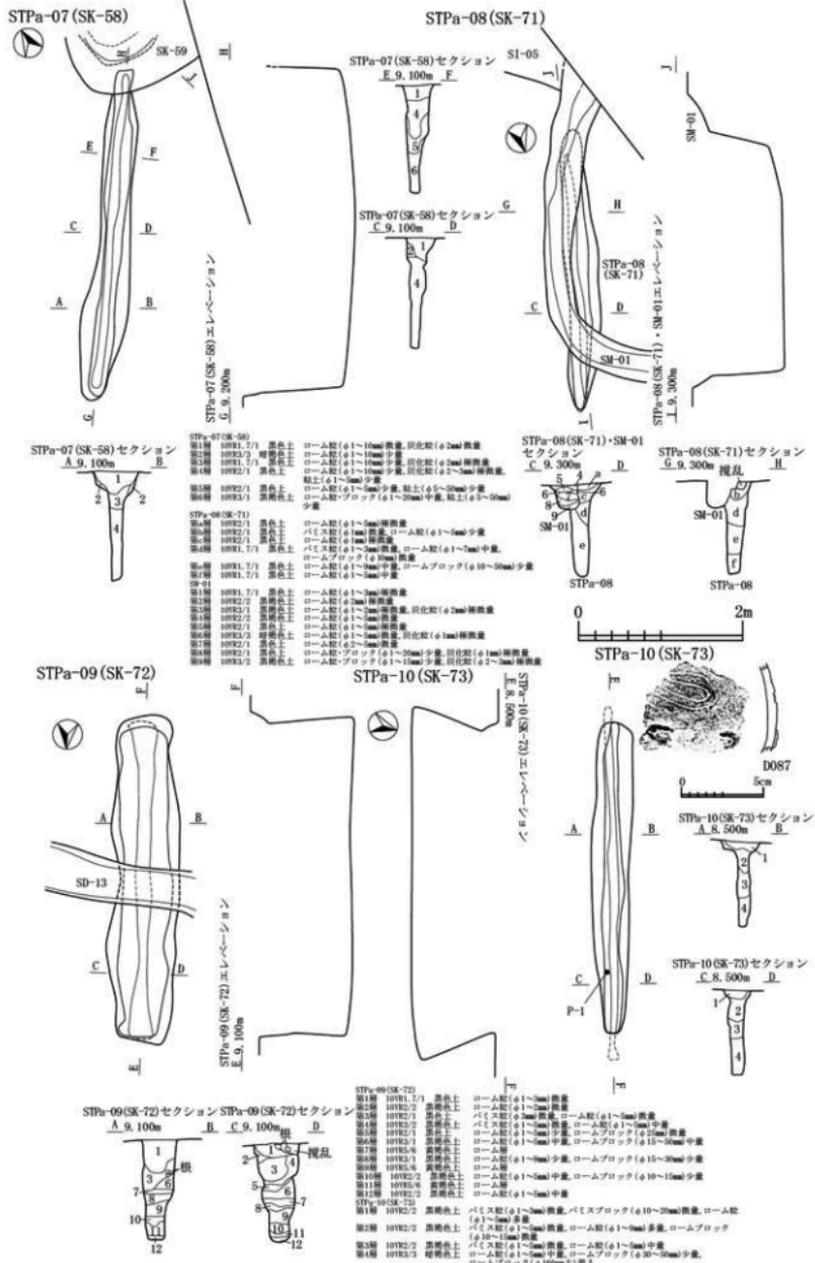


図 1-266 D-1 区 STP・STPa-1

ち上がり、壁上部の一部で角度を変えている部分がある。堆積土は6層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

STPa-08 (SK-71) (図1-266)

D-1区の南側から検出した。SM-01・001と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は溝状を呈し、345.0×44.0×113.0cmを測る。断面形はSM-01・001に切られている部分が多いが、垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は6層に分層し、崩落の伴った自然堆積状況を呈する。

STPa-09 (SK-72) (図1-266)

D-1区の南側から検出した。SD-13と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は溝状を呈し403.0×83.0×123.0cmを測る。断面形はやや凹凸があるが、垂直に近い形で立ち上がる。

長軸方向は少し袋状に入り込んだ部分が見られる。堆積土は12層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

STPa-10 (SK-73) (図1-266)

D-1区の中央より北側から検出した。平面形は溝状を呈し379.0×68.0×104.0cmを測る。断面形は垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で緩やかに角度を変えている。また長軸方向は袋状に入り込んだ形状を呈している。堆積土は4層に分層し、崩落が伴う自然堆積状況を呈する。出土遺物は第1層から出土した縄文時代後期前葉十腰内1式期の深鉢体部片を図示した。

STPa-11 (SK-76) (図1-267)

D-1区の北側から検出した。平面形は溝状を呈し362.0×47.0×127.0cmを測る。断面形は凹凸があるが、垂直に近い形で立ち上がり、

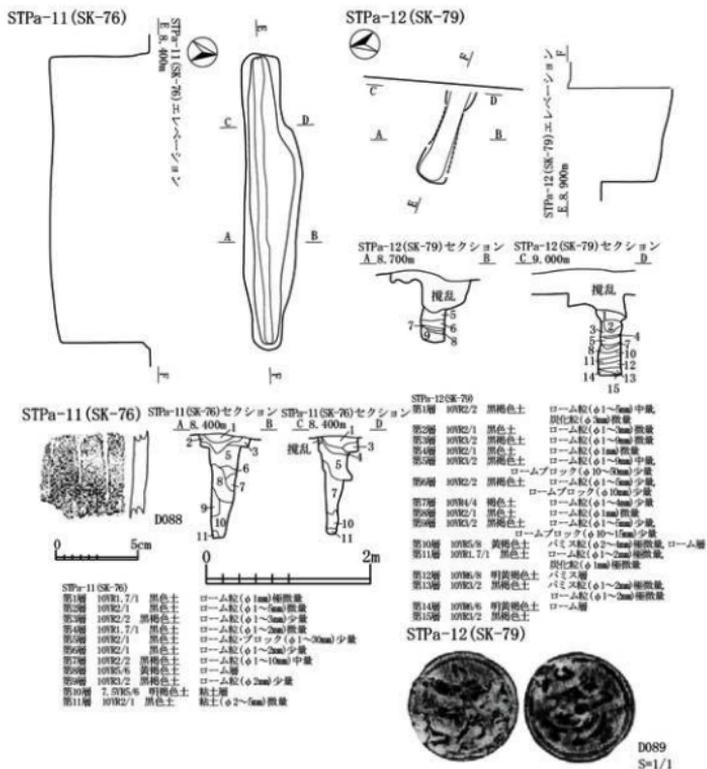


図1-267 D-1区 STP・STPa-2

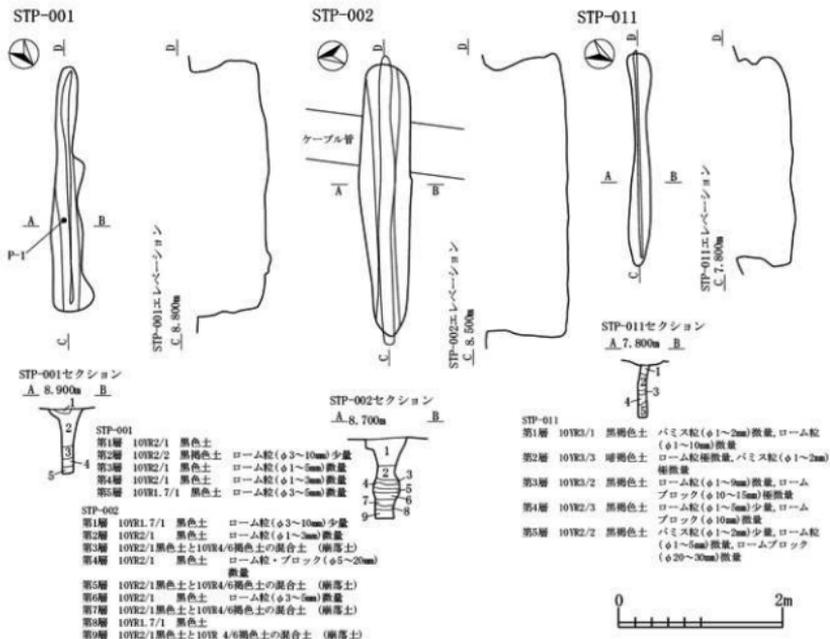


図 1-268 D-1区 STP・STPa-3

壁上部で一部広がった掘り込みを有している。堆積土は11層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。覆土中から沈線文の土器片が出土しており、縄文時代後期前葉の土器が出土したSTPa-10(SK-73)と本遺構は平行した軸線であることから同時併存ないしは近接した時期に使用されていた可能性が高い。

## STPa-12 (SK-79) (図1-267)

D-1区の中央からやや北側の地点で検出した。複数年次に跨る調査区域から検出した遺構で、東側部分が欠測資料となっており、検出部分の平面形は溝状を呈し、(121.0)×37.0×98.0cmを測る。上部が擾乱による影響で変形しているが、断面形は垂直に近い形で立ち上がっている。残存部の堆積土は15層に分層しており、自然堆積状況を呈している。覆土出土扱いでD089として図示した古銭状の遺物が出土しているが、火熱を受けたアルミニウム状の材質で本遺構とは直接関係のない擾乱に伴った可能性が高い資料である。

## STP-001 (図1-268)

D-1区の南側から検出した。平面形は溝状を呈

し、298.0×50.0×83.0cmを測る。断面形は一部で凹凸が見られるが、垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で緩やかに立ち上がる。長軸方向は一部で袋状に入り込む。堆積土は5層に分層し、崩落に伴う堆積状況である。出土遺物は覆土中から縄文土器片が出土したが破片の高図示していない。なお、本遺構はSTPa-07(SK-58)と平行しており、STPa-10(SK-73)・11(SK-76)の関係と同様に併行関係が近接関係にあった可能性がある。

## STP-002 (図1-268)

D-1区の東側で検出した。平面形は溝状を呈し、333.0×64.0×98.0cmを測る。断面形は凹凸があるが、垂直に近い形で立ち上がり、壁の一部で開き気味に立ち上がる箇所がある。また長軸方向は袋状に入り込んでいる。堆積土は9層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

## STP-011 (図1-268)

D-1区の北東で検出した。平面形は溝状を呈し、257.0×26.0×66.0cmを測る。断面形は一部凹凸が見られるが垂直に近い形で立ち上

り、長軸方向は袋状に入り込む部分が見られる。堆積土は5層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

### 5. ビット (図1-269・270)

調査区から26基検出した。平面・土層図の掲載を優先し、遺構規模情報は遺構観察表中に一括して掲載した。

柱穴として機能した可能性のあるビットがあり、同一軸線上で並んだビットとしてはSP-001・450・451、SP-452・458などがあるが、間尺が不均一で掘立柱建物として認定できる資料はない。

### 6. 溝跡

発掘調査が複数年次及び、担当者が複数存在し、調査単位ごとにそれぞれの遺構番号を付し精査されているため、連続する同一遺構でありながら異なる遺構名が付されている。本報告に際して、連続する同一の溝跡について一括して取り上げ、遺構名は調査時に使用した遺構番号を並列表記する形とした。

SD-13・002・015 (図1-271)

X=92007.600, Y=11628.500 ~ X=92012.900, Y=11657.100 付近で検出した。SI-06とSTPa-09 (SK-72)と重複しており、本遺構が新しい。

東側のSD-002から西側のSD-13へ東西軸で走り、一部水道管の埋設に伴い破壊されているが、X=92004.800, Y=11656.400付近でL字状に曲がり南

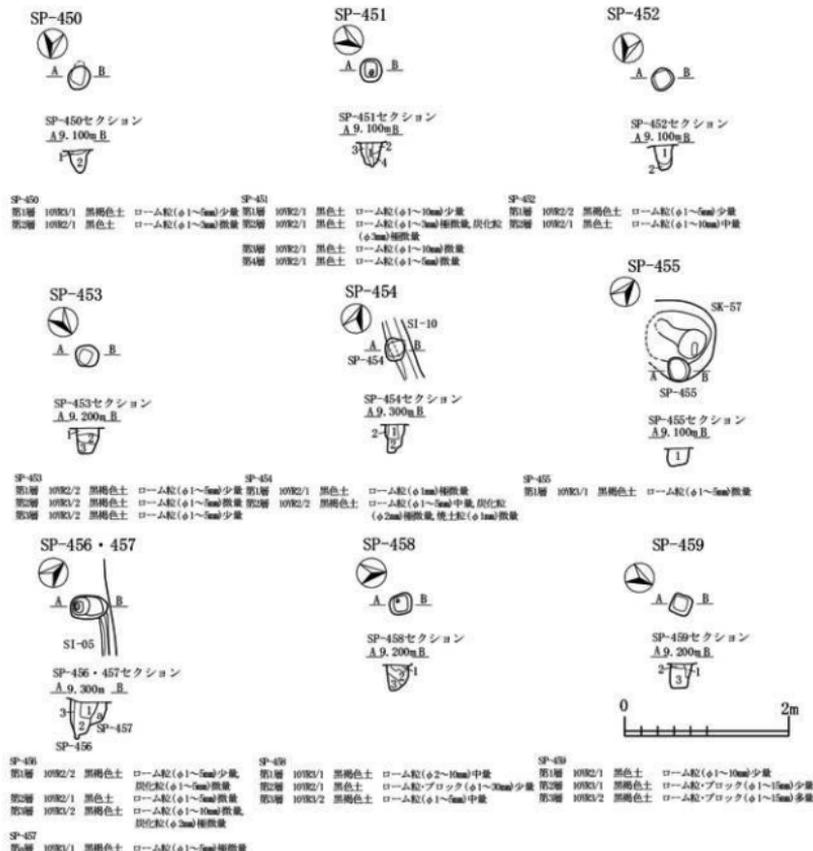


図1-269 D-1区 SP-1

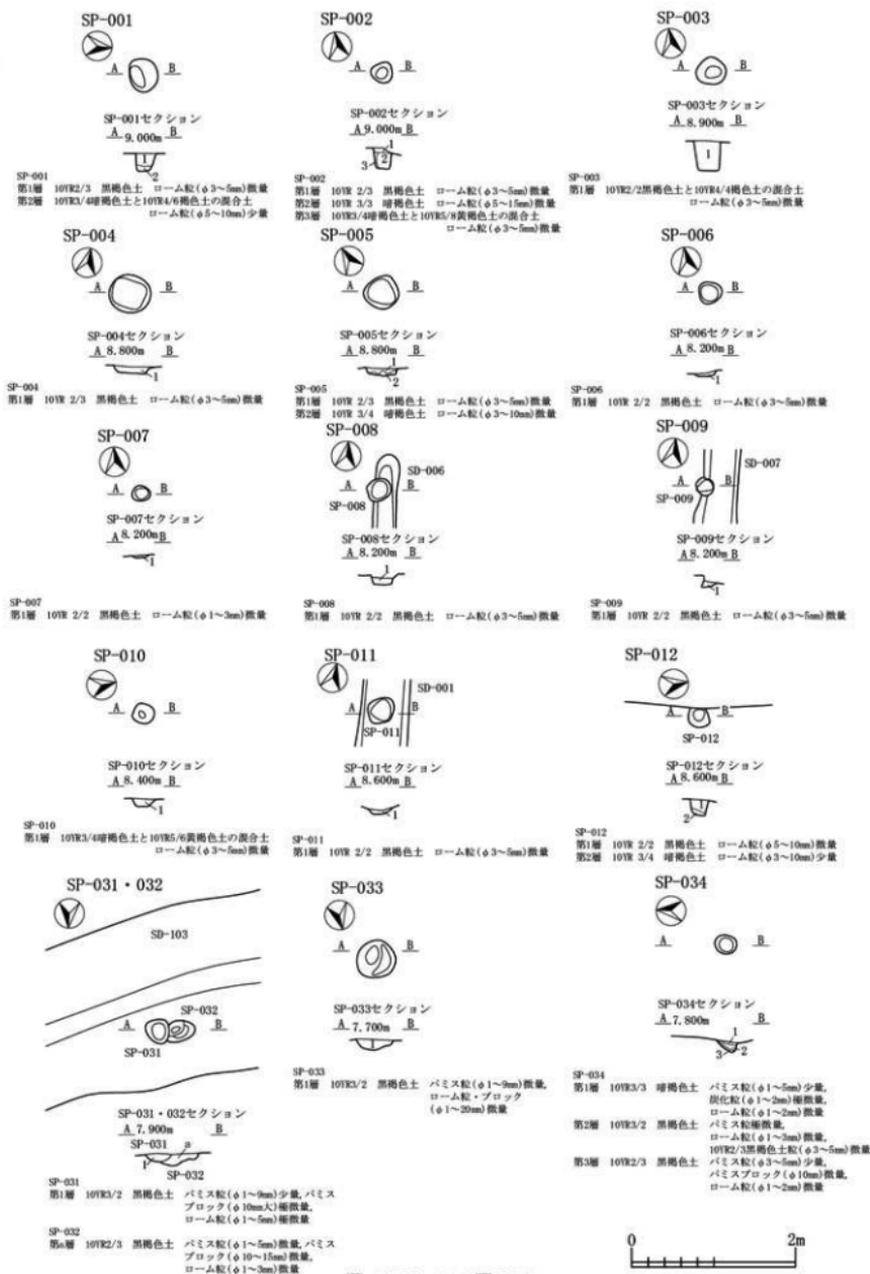


図 1-270 D-1区 SP-2

北軸のSD-015扱いの溝と接する形である。

北側の延長線上にはSD-014とした溝跡と同一軸線であるが、連結しておらず、SD-015の北端が若干東側に寄った配置をしている部分など、断続した配置であった可能性が高い。なお、SD-002の東側のE区ではSD-27が本遺構の延長部に相当する。

#### SD-14・001 (図1-271)

X=92020.000,Y=11642.500~X=91984.200,Y=11633.800付近で検出した。SI-006とSP-011と重複しており、SI-006より新しく、SP-011より古い。また、南端はE区のSD-80と連続する。13°西偏した軸線で、SD-14の北端より北側の地点では検出していない。覆土中からB-Tm火山灰を検出した地点があるが、爆風時期を示すものではなく、埋没に際し、付近に堆積していたB-Tm火山灰を含む土層が堆積したものと思われる。出土遺物は覆土出土の縄文時代後期前葉十層内I式の深鉢体部資料を图示した。

#### SD-15・013 (図1-272)

X=92050.600,Y=11628.000~X=92035.800,Y=11665.800付近で検出した。擾乱の影響により断続しているが連続していたものと判断される。また、西側のSD-013側は更に西側に延び、D-2区のSD-001につながっている。東側は一部空地があるが、東端で検出したSD-010と同軸で、さらにE区のSD-112に連結する。歪んだ東西軸であるが、N-70°-E程度の軸線である。出土遺物は、縄文時代前期末円筒下層d式期の口縁部片と土師器碗底部、円盤状石製品などが出土している。

#### SD-005・006 (図1-273)

SD-005は、X=92037.000,Y=11621.200付近、SD-006は、X=92051.500,Y=11622.000付近で検出した。断続しているが同一軸線上に位置しており、東側に隣接するSD-007と平行している。この位置関係は南側の延長線上が位置するE区内ではSD-69とSD-70につながるもので、西側に配置しているSD-69は断続しながら記録されている。SD-005・006についても調査時に別々の遺構として調査記録がなされているが実質的にE区SD-69に連結する区画溝として認定できる資料である。

#### SD-007 (図1-273)

X=92059.700,Y=11622.500~X=92032.600,Y=11620.000付近で検出した。前述のとおり、SD-005・006と平行しており、南端のE区ではSD-70

とした溝と連結する。北側でSD-008・009と切り合い関係があるが、適切な位置で土層記録が成されていなかったため新旧関係の詳細は不明である。

#### SD-008・009 (図1-273)

X=92053.600,Y=11624.100~X=92063.800,Y=11614.200付近で検出した。

SD-008は、X=92055.400,Y=11622.800付近でSD-009と重複しており、SD-008の方が新しい。SD-009相当部分は部分的で、新しいSD-008側と重なった位置にある部分が多く見られる。また前述のとおりSD-007と重複しているが、詳細は不明である。N-44°-Eの軸線で、北東側のE区ではSD-104に連結する。

#### SD-010 (図1-273)

X=92053.600,Y=11616.600付近で検出した。SD-15・013の部分で記述したが、SD-15・013の延長部に相当し、また東側のE区ではSD-112に連結する溝である。SD-010とSD-15との間にはSD-006・007が南北方向に走っており、SD-15・010にとっては空地地となっている。

#### SD-011 (図1-274)

X=92068.900,Y=11618.600~X=92076.500,Y=11617.000付近で検出した。SD-012・103と重複しており、SD-103より新しく、SD-012より古い。南北軸でN-11°-Eの軸線でE区のSD-33・34と類似した軸線である。

#### SD-012 (図1-274)

X=92071.400,Y=11619.800~X=92076.600,Y=11617.000付近で検出した。SD-011と重複しており、本遺構の方が新しい。主軸はN-40°-Eである。

#### SD-014 (図1-275)

X=92028.000,Y=11660.000~X=92013.800,Y=11657.600付近で検出した。SI-07・007と重複しており、本遺構の方が新しい。SD-13・015の部分で記述したが、SD-015部分の北側の同軸線上に本遺構は存在するが、双方の遺構が連結していないこととSD-015側が若干東側に入り込むことなどの理由により別遺構扱いとなっている。主軸はN-10°-Wで北側が西寄りに関いている。

#### SD-103 (図1-274)

X=92072.400,Y=11610.800~X=92069.000,Y=11620.000付近で検出した。E区で検出したSD-103に相当する。

SD-13・14・001・002・015

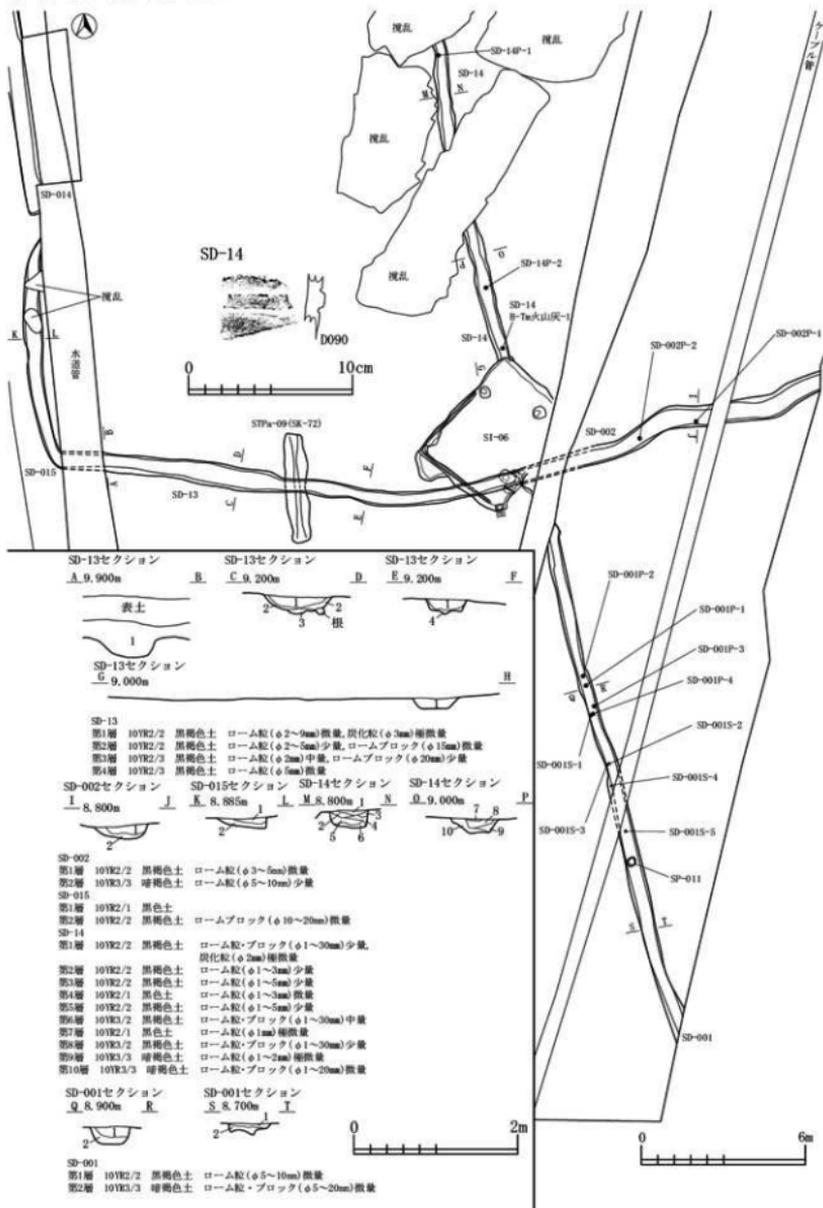


図1-271 D-1区SD-1

## SD-15(2004年)・SD-013(2007年)

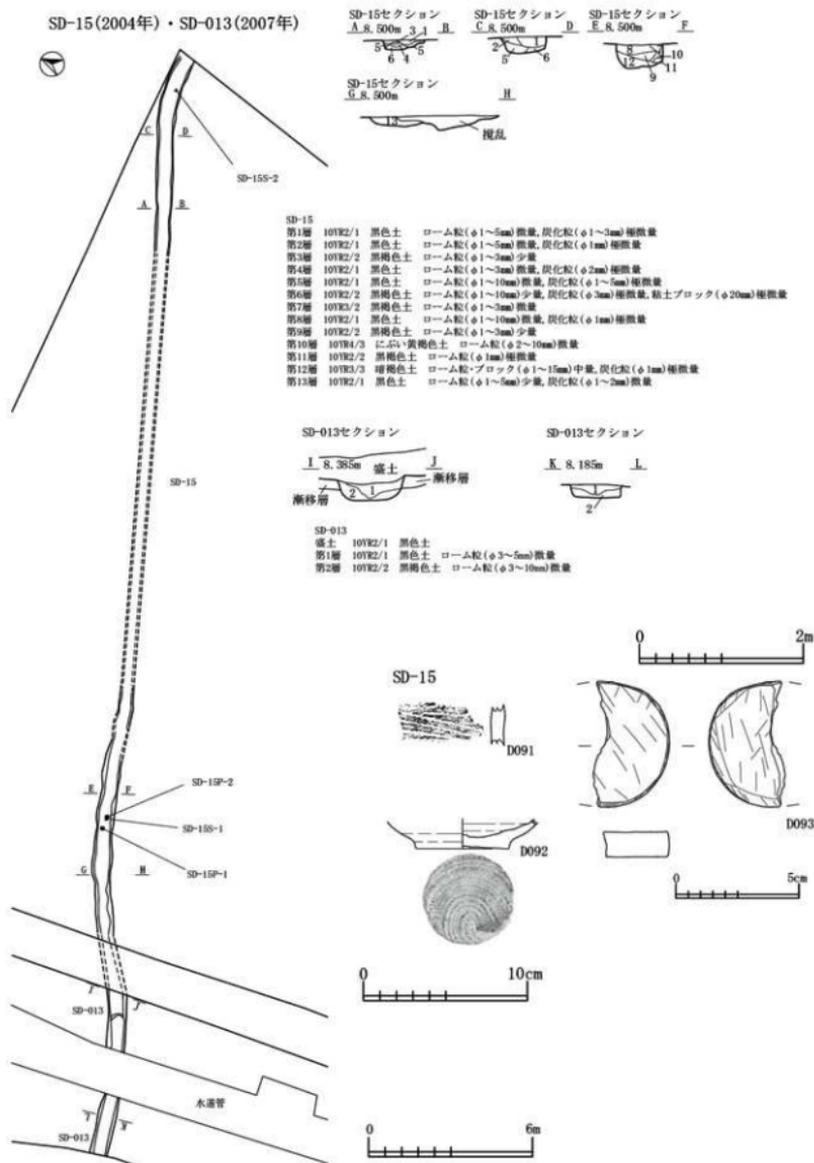


図 1-272 D-1区 SD-2

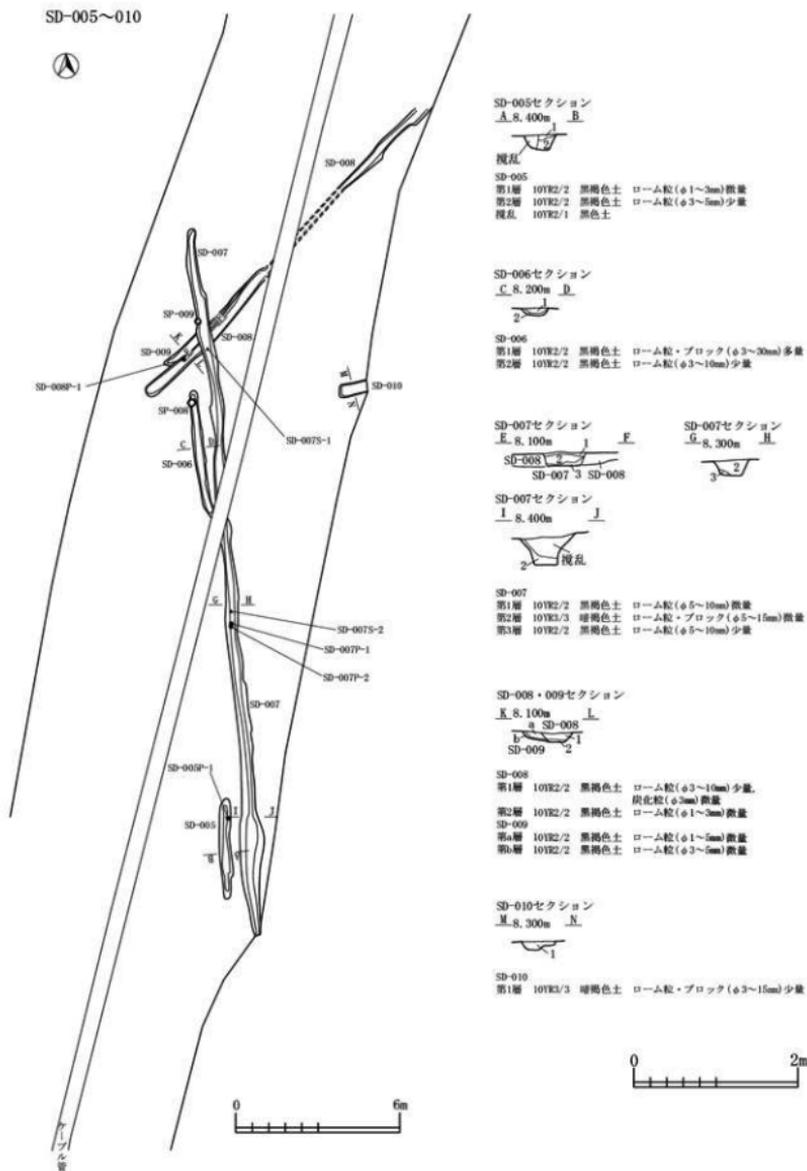


図 1-273 D-1区 SD-3

SD-011・012・103

ケーブル管



SD-011・012セクション  
点 7.900m 且  
1 SD-011  
2 SD-012

SD-011  
第7層 10TR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~9mm)少量,  
パミスブロック(φ10~20mm)少量,  
ローム粒(φ1~5mm)少量,  
10TR2/3黒褐色土粒(φ1~5mm)少量

SD-012  
第1層 7.5TR2/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)微量,  
ローム粒(φ1~3mm)微量,  
焼土粒(φ1~2mm)微量,  
炭化粒(φ1~2mm)少量

第2層 10TR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量,  
ローム粒(φ1~9mm)少量

SD-012

SD-011

SD-103

SP-031

SP-032

SP-034

SD-011



SD-103



D095



D094



D096



D097



D098



D099



D100



D101



D102



SD-103炭化物範囲

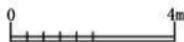


図 1-274 D-1区 SD-4

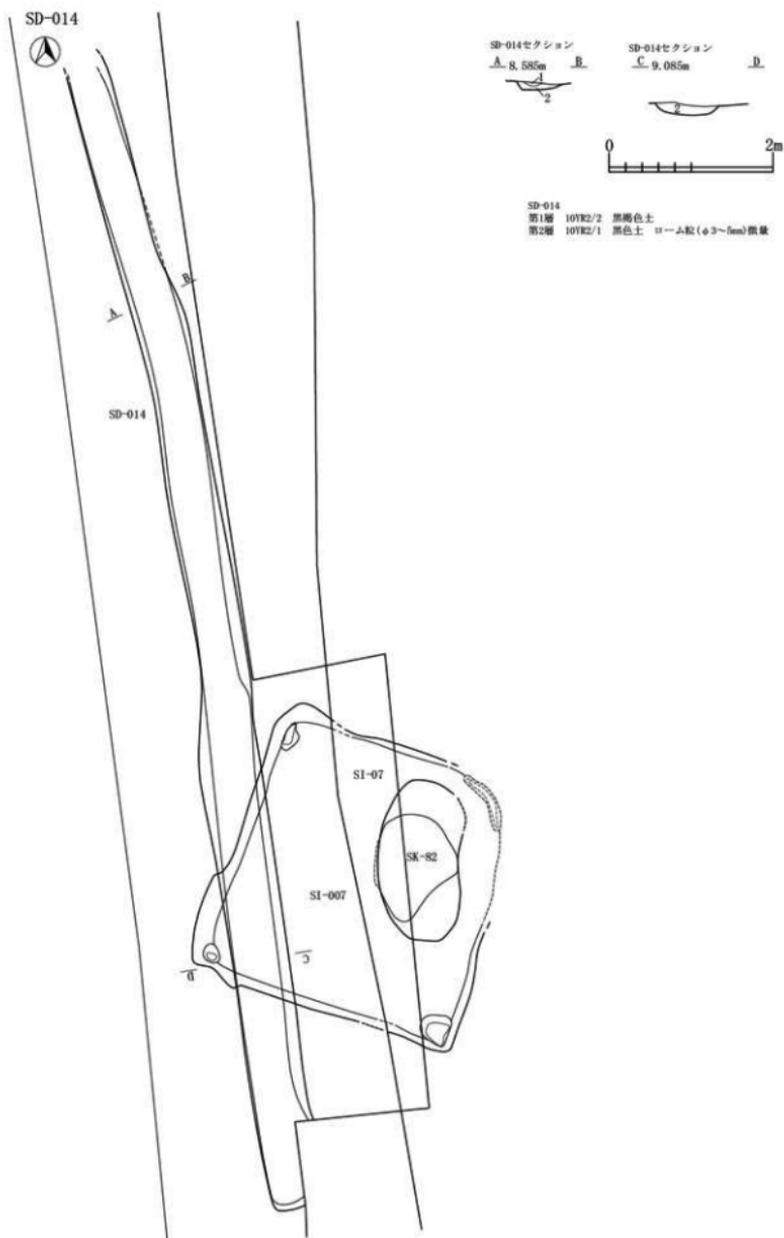


図 1-275 D-1区 SD-5

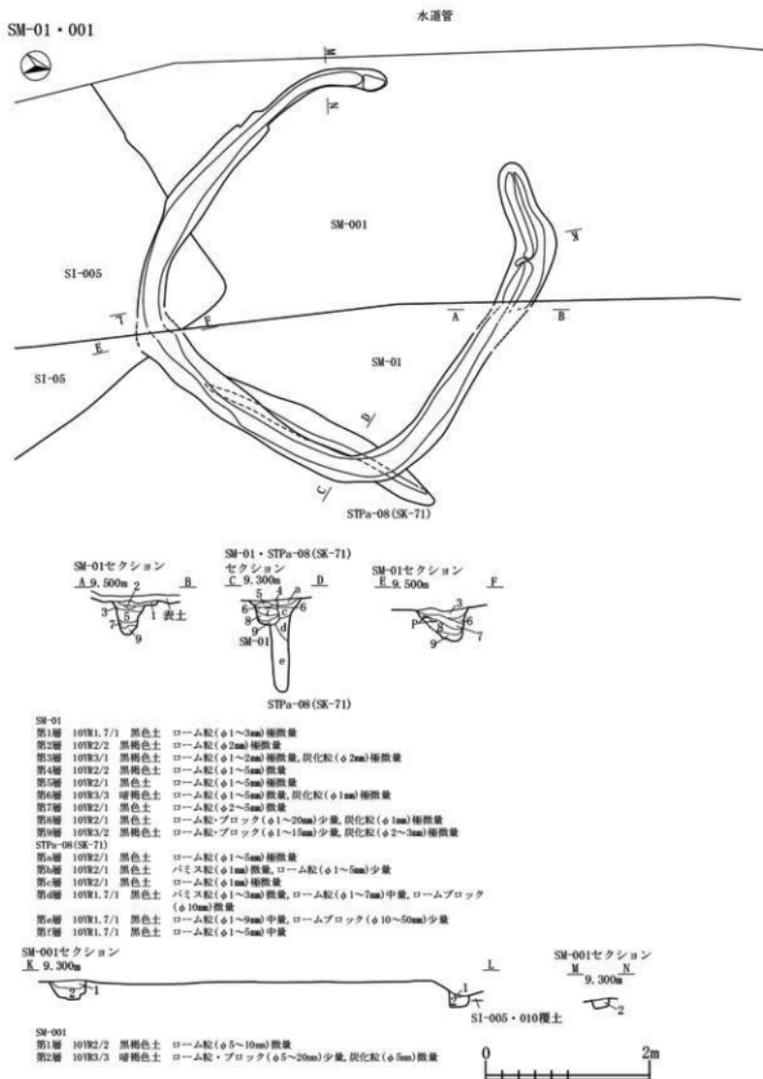


図 1-276 D-1区 SM-1

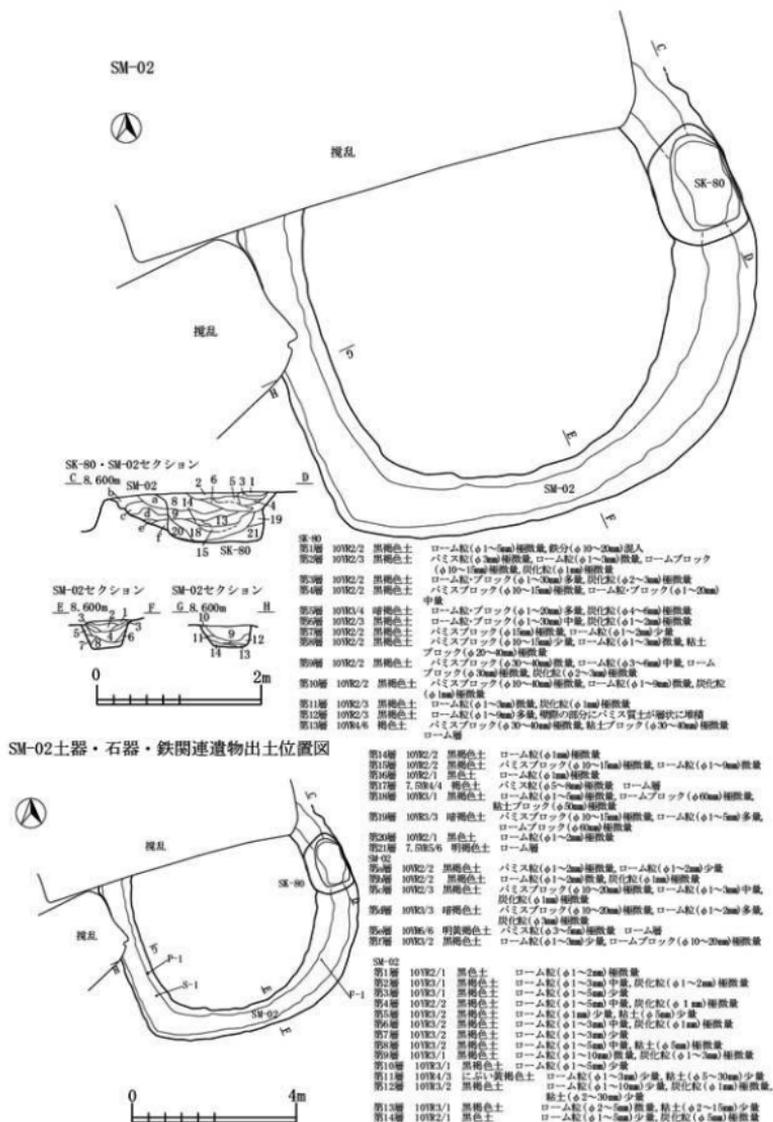


図 1-277 D-1区 SM-2

本調査区内で検出した長さは約11m、幅228.0cm、深さ170cmを測る。中層から炭化物を検出している。出土遺物は古代の須恵器・土師器及び縄文土器の破片が出土した。縄文土器は後期前葉の資料が多い。

## 7. 円形・方形周溝状遺構

SM-01-0001 (図1-276)

D-1区の南側で検出した。SI-05-005、STPa-08 (SK-71)と重複しており、本遺構の方が新しい。方形気味の馬蹄形状を呈しており、北西側が開口している。規模は452.0×428.0×41cmを測る。東側のE区でも方形気味の馬蹄形状のSM-06があるが、開口方向は北東側で、本遺構と同様に古代の円形周溝の南東方向への開口とは向きが異なっている状況である。溝の中からは土坑等は検出しておらず、盛土がされたような痕跡も残存していない。

SM-02 (図1-277)

D-1区の中央よりやや北側の位置から検出した。北側と西側が擾乱によって破壊されており、西側はSK-80と重複し、本遺構が古い。擾乱により全体形の詳細は不明であるが、方形気味の部分と円形気味の部分が組み合わさった溝状の遺構である。規模は596.0×(443.0)×42.0cmを測る。擾乱により開口部があったかどうかについては確定できないが、前述のSM-01同様、本遺構も南東方向に開口部を持たない周溝で、溝の内側についても土坑などの施設や盛土なども確認されていない。

## 第2節 D-2区

### 1. 竪穴住居跡

SI-58 (図1-279～282)

D-2区調査区中央より南側の位置から検出した。平面形は長方形を呈し550.0×508.0×46.0cmを測る。

ピットは竪穴内から1基検出しており、主柱穴として機能したピットはPi1・2・7・10で、若干南東壁寄りではあるが、カマド設置壁側に柱穴配置がされない4本柱の配置である。壁溝はカマド設置がされた北東壁側とSK-02とした遺物が集中して出土した南東壁中央と東寄りの部分の一部で欠落しているが、断続しながらほぼ全周する形である。調査時にSK-01・02の土坑扱いとして2基精査されている。このうちSK-01とした掘り込みは壁溝の欠落部で、壁面の上面が竪穴より突出した位置まで掘り込みが行われている。床面からの延長部はその上面の掘り込みとはつながらない状態で、トンネル式に竪穴の屋外方向に突出させて掘り込みが行われている。壁溝の欠落部にあたり、カマドとして構築しようとした可能性もあるが、煙道部としてトンネルは煙出部が存在しておらず、上面の掘り込みは半地下式を想定した場合でも土坑状に広い掘り込みとなっていることや焼成に伴った火床面や赤化面が伴っていないことからカマドとしての使用は消極的な判断となる。SK-02については南東壁側の壁溝の空間地にやや幅広く突出した溝状の掘り込みがあり、その部分から破片主体で遺物が出土している。

堆積土は40層に分層し、廃絶後壁際に若干堆積した後にB-Tm火山灰が堆積している。

カマドは北東3の位置から検出した。構造は半地下式で、袖幅102.0cm、煙道長108.0cmを測る。主軸方位はN-54°-Eである。また、奥壁の南側に若干幅の狭い煙道部がある。廃絶段階のカマドとの重複部分においても若干南側に掘削痕が広がり、土が充填されている状況を見ると煙道部が長い段階が存在した可能性がある。この部分の煙道長は158.0cm、軸線はN-57°-Eである。出土遺物は床面およびカマド、ならびに南に位置するSI-59との遺構間接合の土器3点を図示した。D103は覆土・床面およびカマド覆土出土の土師器非ロクロ甕で口径21.8cm、器高29.7cm、底径7.5cmを測る。砂礫をやや含むやや粘りのある胎土で、底面はヘラによる調整で、一部棒状工具等で突き刺すように入れた痕跡が見られる。外面は倒位にした状態で底部側から口縁部にかけストロークの長いヘラによる削り調整がされているが、口縁部は横方向の回転ナデにより体部側から

高間(1)遺跡D-2区遺構配置図 S=1/600

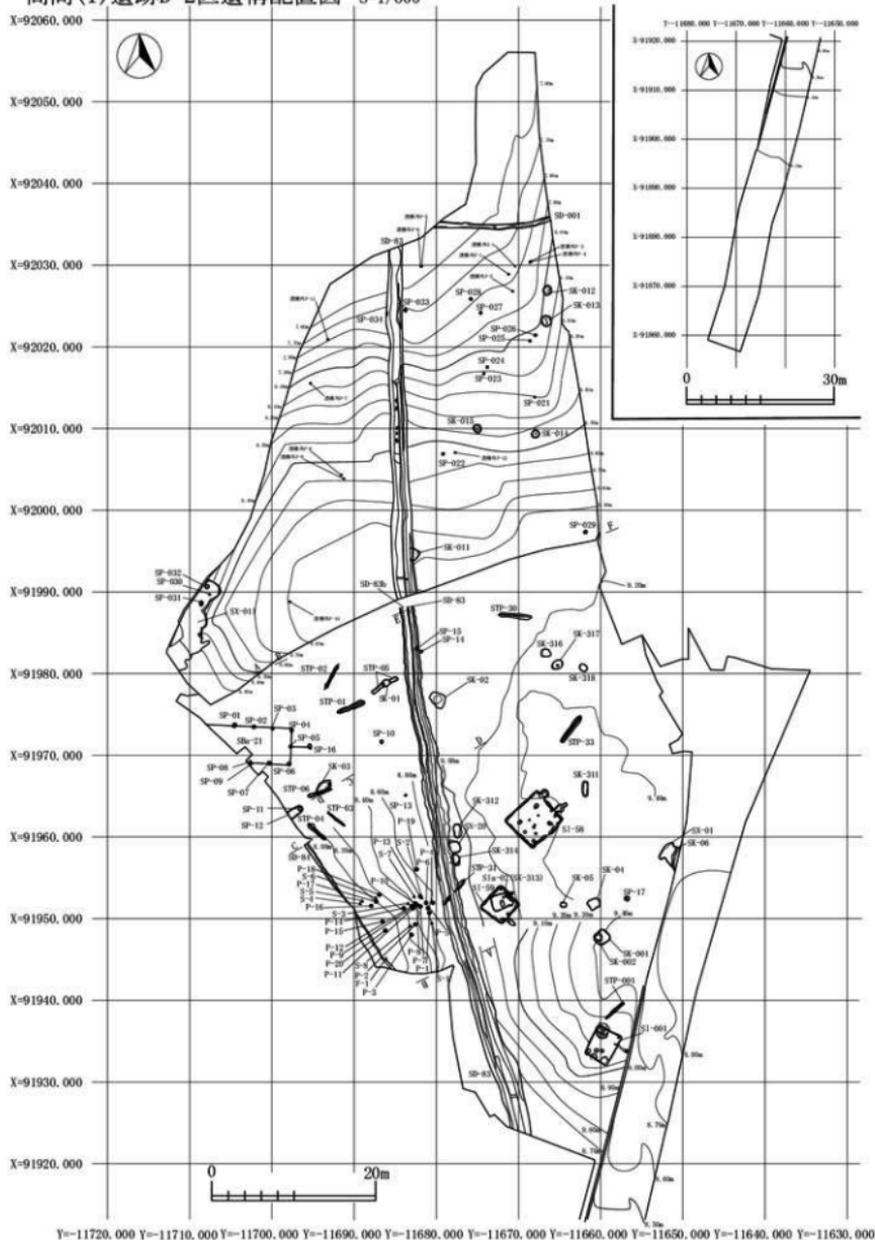
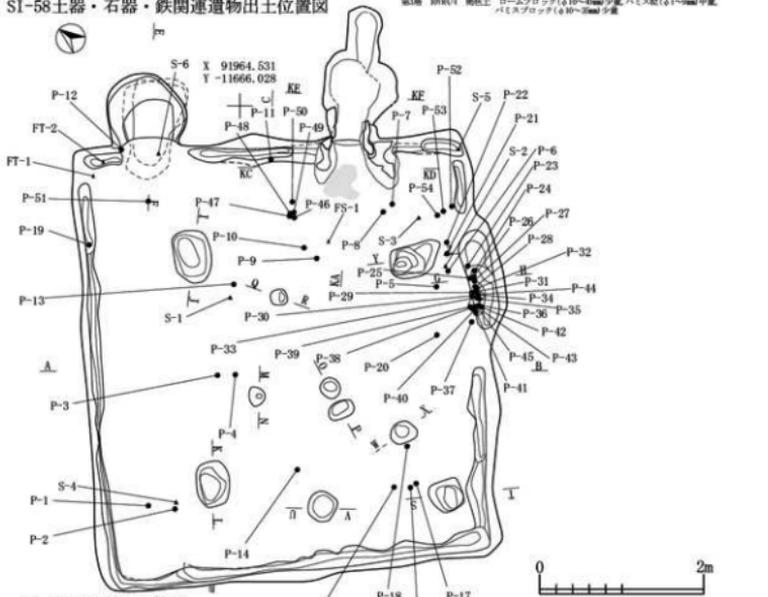


図 1-278 D-2区遺構配置図





SI-58土器・石器・鉄関連遺物出土位置図



SI-58B-Tm火山灰範囲

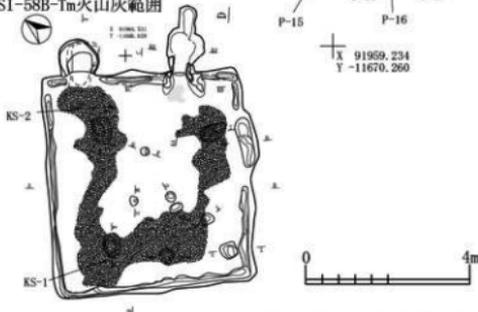
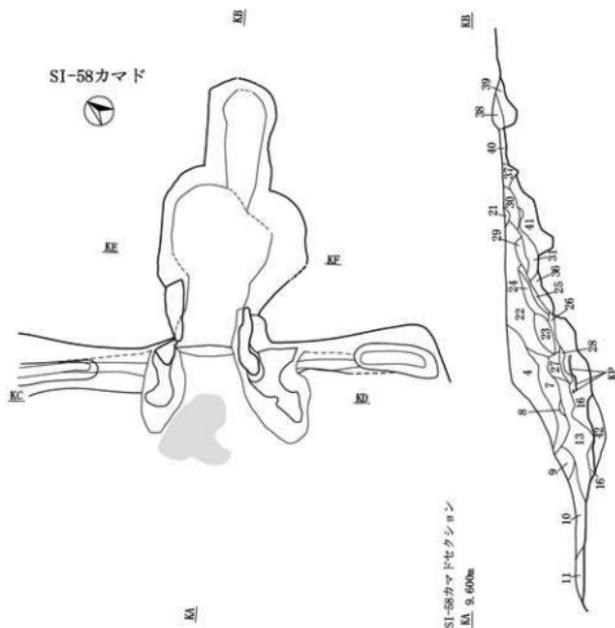
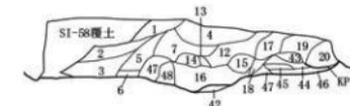


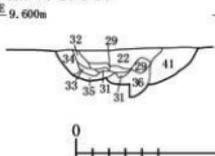
図 1-280 D-2区 SI-58-2



SI-58カマドセクション  
KC 9.60m



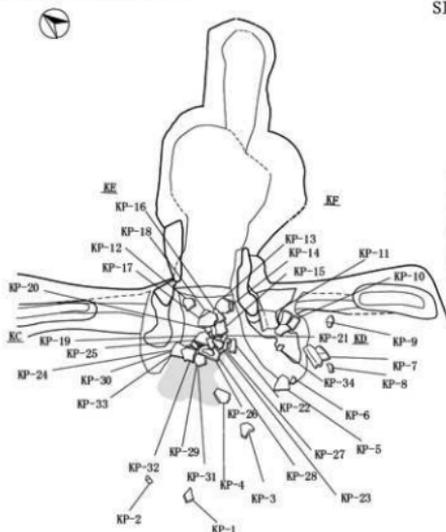
SI-58カマドセクション  
KD KE 9.60m



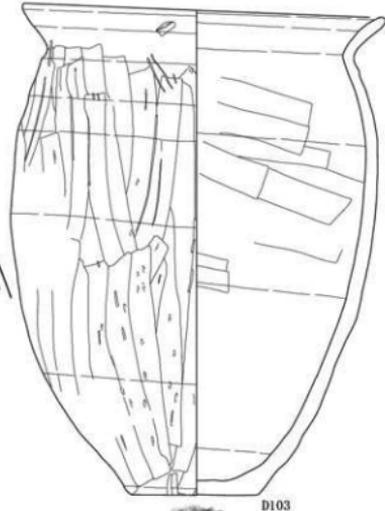
SI-58カマド	層	土質	説明
第1層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量
第2層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
第3層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ15~10mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)極微量
第4層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第5層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第6層	10R4/4	褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~2mm)微量
第7層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)少量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第8層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
第9層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
第10層	10R3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)微量,非Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 炭粒
第11層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)微量,非Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 炭粒
第12層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~5mm)微量,炭化物(φ10~15mm)少量
第13層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)微量,炭化物(φ1~5mm)少量
第14層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第15層	10R3/4	暗褐色土	炭化灰(φ5~7mm)極微量,焼土層(天井筋部)
第16層	7.5R4/6	褐色土	炭化灰(φ5mm)極微量,焼土層
第17層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
第18層	10R4/6	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1mm)極微量,焼土層
第19層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)少量
第20層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)少量,焼土層
第21層	7.5R4/6	褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ10~15mm)極微量,炭化物(φ10~15mm)少量,バミスブロック(φ15mm)極微量
第22層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土層
第23層	7.5R4/4	褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土層
第24層	7.5R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土層(天井筋部)
第25層	7.5R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土層
第26層	7.5R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,焼土層
第27層	10R4/4	褐色土	バミス灰(φ1~5mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土層(天井筋部)
第28層	10R3/4	暗褐色土	炭化灰(φ1~5mm)極微量,炭化物(φ1~2mm)微量,焼土層(天井筋部)
第29層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第30層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第31層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第32層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第33層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ15mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第34層	10R3/6	褐色土	炭化灰(φ5mm)極微量,焼土層(天井筋部)
第35層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)微量
第36層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第37層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)炭化灰(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)少量
第38層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~5mm)極微量
第39層	10R3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ12mm)極微量,炭化灰(φ1~5mm)極微量
第40層	10R4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)少量
第41層	10R3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
第42層	10R4/6	暗褐色土	炭化物,焼土層
第43層	10R3/6	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)極微量,炭化灰(φ1mm)極微量,焼土層
第44層	7.5R3/6	暗褐色土	バミス灰(φ1mm)極微量,炭化灰(φ1mm)極微量,焼土層(φ1~2mm)微量
第45層	10R4/6	暗褐色土	炭化灰(φ1mm)極微量,焼土層(φ1~5mm)少量
第46層	10R4/6	暗褐色土	炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土層(φ1~2mm)微量,焼土層
第47層	7.5R3/6	暗褐色土	バミス灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土層(φ3~5mm)極微量
第48層	7.5R4/6	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)微量,炭化灰(φ3~5mm)極微量,焼土層(φ3~5mm)微量

図 1-281 D-2区 SI-58-3

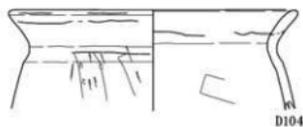
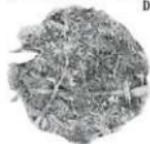
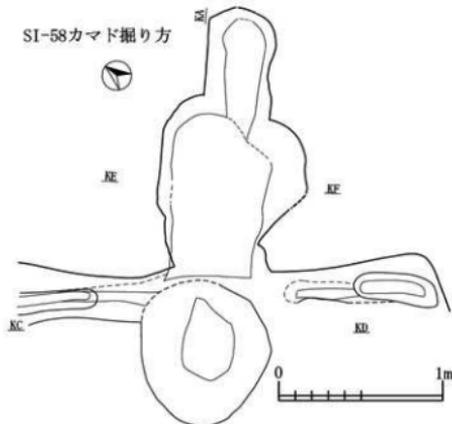
SI-58カマド土器出土位置図



SI-58



SI-58カマド掘り方



SI-58+SI-59

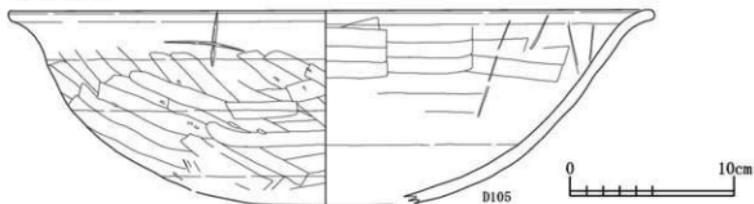


図 1-282 D-2 区 SI-58-4

らのヘラによる調整がほとんど撫で消されている。内面側は横方向のヘラによる調整で、ハケメ状の痕跡は見られない。床面及び床面直上の第2・4層出土のD104は口径17.2cmを測り、D103に比べ一回り小ぶりであるが、調整手法はほぼ同一で、外面口縁部を明瞭に横方向の撫でにより外面体部のヘラの調整を撫で消し、体部との境界を明瞭にさせている。D105はS1-58の床面出土とS1-59の床面や覆土出土との遺構間接合の場で、口径38.6cm、器高12.0cmを測る。底面は丸底で平坦面がほとんどない状態である。砂粒の少ないやや粘りの弱いザラザラした質感を有する白みがかつた褐色を呈する胎土で、外面は頸部直下～底面に煤付着が見られるが、内面はピッチ状の付着物は見られる程度である。外面の頸部に倒位にした状態で縦棒を底部側から口縁側に、横棒を左から右（正位にした場合右から左）側に運筆した「十」が刻書されている。

#### S1-59・S1a-02 (SK-313) (図1-283～286)

S1-59は、D-2区中央より南側の位置から検出した。調査時にSK-313とされた堅穴と重複しており、整理時に内容を再確認しSK-313をS1a-02と認定した。軸線の異なる重複関係にあるため、直接の変遷過程の資料ではない可能性が含まれるが、記述は本項目でまとめて記載する。

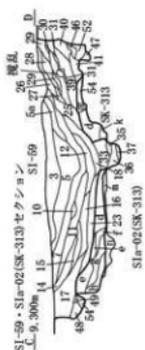
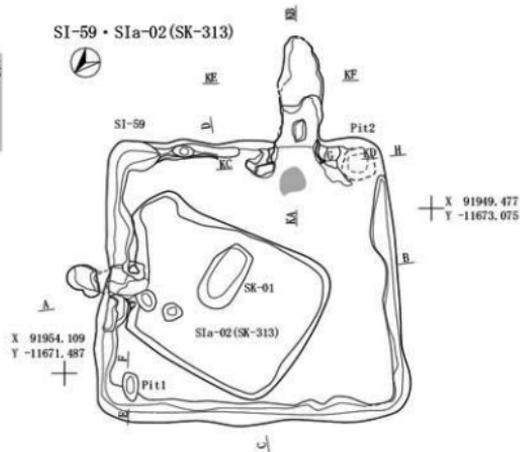
S1-59は、平面形が台形を呈し、373.0×347.0×51.0cmを測る。ピットは堅穴内から2基のみの検出扱いであるが、南壁の東側には壁溝上にピットがあり、同じく南壁西隅Pit2と対応関係にある柱穴の可能性が高い資料である。堅穴中央ではS1a-02 (SK-313)の重複箇所が占有していたこともあり、土坑扱いとされた遺構の精査で十分な状況把握ができていなかった可能性が高く、実質的にはS1a-02 (SK-313)側が新しい関係にある。そのため、堆積土についてもS1-59と取り扱われたものの一部がS1a-02 (SK-313)側の上面に堆積する土層であり、S1-59に帰属すると認定できる土層は第26～31、38～41、46・47、52～56層の17層分である。堆積状況は崩落の伴う自然堆積状況である。S1-59側の中位の第31層中にはB-Tm火山灰が堆積しており、平面的にもS1a-02 (SK-313)との重複部分を除いた位置から検出している。壁溝はカマド設置部分周辺の南西側で一部欠落が認められるがその他の部分は連続して巡っている状況である。カマドは南3の位置から検出した。構造は半地下式で袖部幅96cm、煙道長134cmを測る。主軸はN-135

°-Eである。粘土による構築で、芯材等は出土していない。出土遺物は重複するS1a-02 (SK-313)との接合資料等も含め9点図示したが、出土地点を確認するとD109に図示した土師器甕はS1a-02 (SK-313)の覆土地点とS1-59P-4扱いの接合資料であるが、S1-59のP-4の地点は実質的にS1a-02 (SK-313)の遺構内扱いになるので、S1a-02 (SK-313)単独の遺物となる。同様にS1-59SK-01出土扱いのD114の石籤についてもS1a-02 (SK-313)単独の出土扱いとなる。前述のS1-58と遺構間接合した破片も一部S1a-02 (SK-313)との重複部分に及んでいる資料もあるが、P-15などS1a-02 (SK-313)とは重複のない床面から出土している破片と接合関係はあり、S1-59に帰属した破片であると認定できる。同様にS1-59単独と認定できる資料はD109・114を除いた資料で、D106の須恵器坏は外面体部下半に刻書があり、床面およびPit2出土のD107は口唇部に打欠がある土師器碗である。口径13.4cm、器高5.7cm、底径5.8cm、器高指数42.5、底径指数43.2を測る。海綿骨針を含み砂礫のほとんどない精緻な胎土であるが、粘りにやや欠けるためサラサラし、軽質な質感を有する。前述のとおり外面口唇部に打欠があり、内面の口縁部周辺の約半分が煤がバンド状に付着し、内面は体部上半～底面にかけて液垂状に煤状の付着物と汚れが顕著に付着している。D111は床面とカマド出土の土師器場で口径35.2cmを測る。D105と類似した胎土と造りであるが、本資料は外面体部下半の削りがやや面取り気味に行われており、頸部の横ナデも本資料の方が顕著である。たゞ、使用としては同時期に属する資料で問題ないものと考えられる。

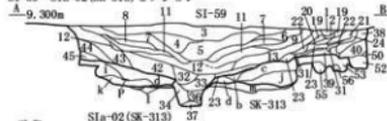
S1a-02は、調査時にはSK-313として精査されているが、前述のとおり堅穴と認定し、分層や遺物の取り扱いについて再検討した上で、前述のとおり記載している。

平面形はS1-59の壁面に接する部分がS1-59の壁面に沿った造りに変形させているが、他の部分はS1-59の軸線とは異なる長方形を基調とした形状で、260.0×190.0×69.0cmを測り、S1-59よりも下がった位置を床面としている。ピットはSK-01と取り扱ったものとカマド周辺の2基検出しているが、SK-01の下部が柱穴として機能した可能性があり、1本柱であった可能性がある。堆積土は記録された土層のうち前述の実質的なS1-59に帰属する土層を除く土層がS1a-02 (SK-313)の堆積土として認定できるが、東壁側はS1-59を埋りきった部

SI-59・SIa-02(SK-313)



SI-59・SIa-02(SK-313)セクション



Pit1 E. s. 800m F.

Pit2 E. s. 200m H.

SI-59					
第1層	10YR5/4	黄褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	ローム層	
第2層	10YR2/2	黒褐色土	ローム灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第3層	10YR3/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	焼土粒(φ2mm)散見
第4層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第5層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第6層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第7層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	バミスブロック(φ10~15mm)散見
第8層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第9層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第10層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第11層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第12層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第13層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第14層	10YR4/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第15層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第16層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第17層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第18層	10YR2/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第19層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第20層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第21層	10YR2/1	黒色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第22層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第23層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第24層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第25層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第26層	10YR4/3	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第27層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	
第28層	10YR5/6	黄褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	ローム層
第29層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第30層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第31層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第32層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第33層	10YR5/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第34層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第35層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第36層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第37層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第38層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第39層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第40層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第41層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第42層	10YR3/4	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第43層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第44層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第45層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第46層	10YR4/6	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第47層	7.5YR6/4	明褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第48層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第49層	10YR5/6	黄褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第50層	7.5YR6/6	紅色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第51層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
SIa-02(SK-313)					
第35層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第36層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第37層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第38層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第39層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第40層	10YR2/2	黒褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第41層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第42層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第43層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
SI-59/Pit2					
第1層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1mm)散見	焼土粒(φ1~5mm)散見
第2層	10YR3/3	暗褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	
第3層	10YR4/4	褐色土	バミス灰(φ1~2mm)散見	炭化灰(φ1~2mm)散見	

図1-283 D-2区 SI-59・SIa-02-1

SI-59土器・石器・鉄関連遺物出土位置図

SI-59火山灰(B-Tm)範囲

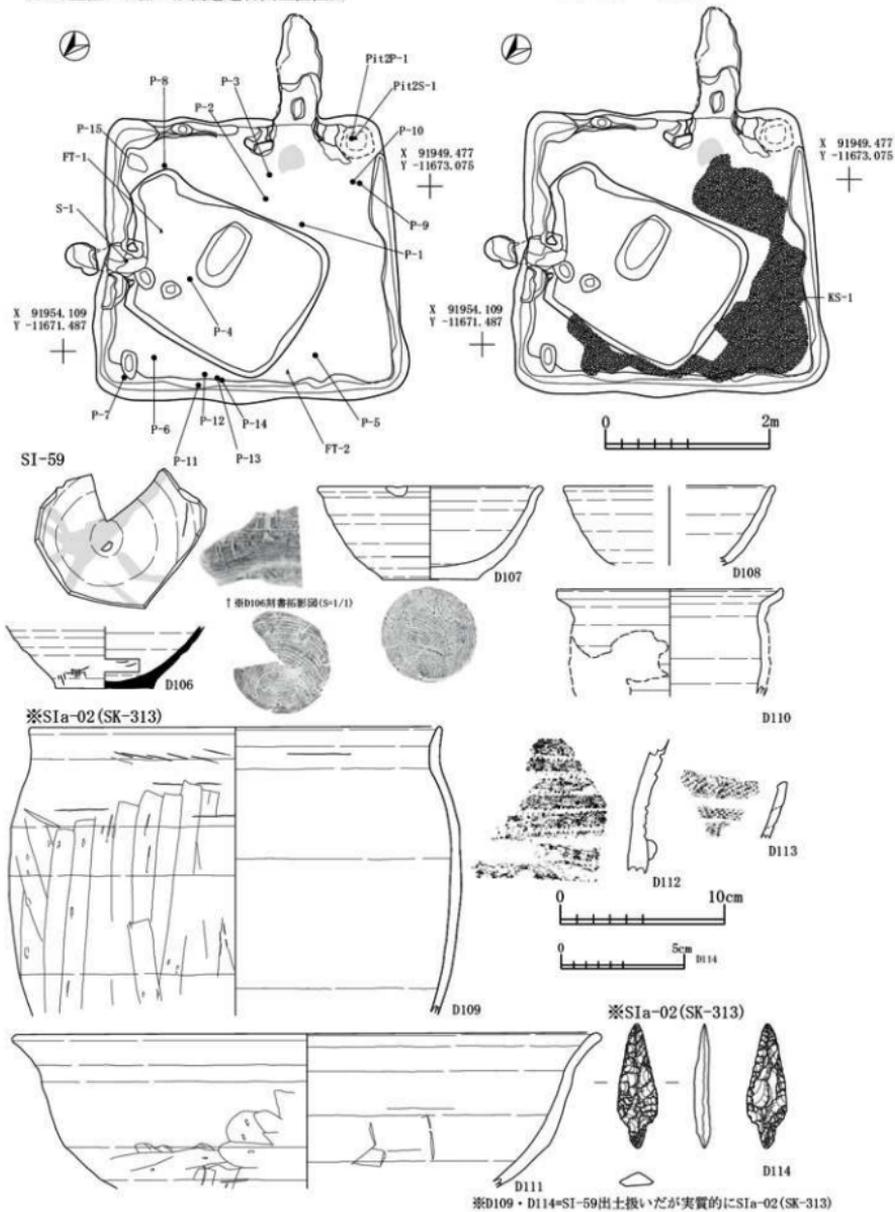
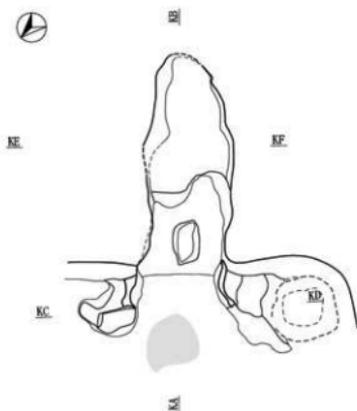


図 1-284 D-2 区 SI-59・SIa-02-2

SI-59カマド

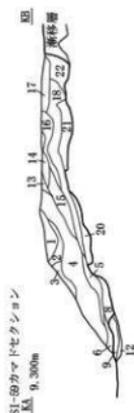


SI-59カマドセクション  
KC 9,300m

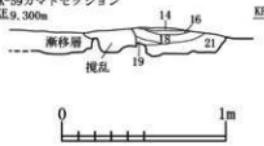


SI-59カマド

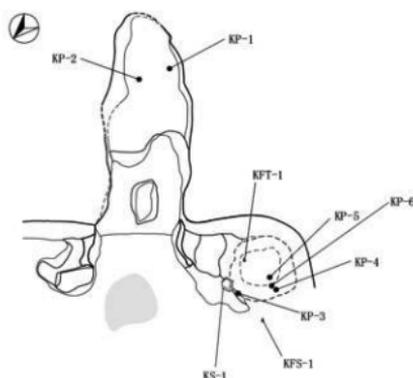
- 第1層 10YR3/4 埴間色土 バミス灰(φ1~4mm)微量,バミスブロック(φ12mm)極微量
- 第2層 10YK3/2 黒褐色土 ローム灰(φ3~5mm)微量,ロームブロック(φ15mm)微量,バミス灰(φ1~3mm)極微量
- 第3層 10YR1/4 褐色土 バミス灰(φ1~4mm)微量 (天井崩落部)
- 第4層 10YR5/6 黄褐色土 バミス灰(φ1~5mm)極微量,焼土粒(φ3~5mm)極微量,ローム層(天井崩落部)
- 第5層 5YR4/4 に近い赤褐色土 バミス灰(φ1~5mm)極微量,炭化物(φ10~20mm)微量,焼土ブロック(φ10~40mm)中量,焼土層(天井崩落部)
- 第6層 7.5YR4/4 褐色土 バミス灰(φ1~4mm)微量,炭化灰(φ1~5mm)微量,焼土層
- 第7層 10YK3/2 埴間色土 バミス灰(φ1~4mm)少量,炭化灰(φ1mm)極微量
- 第8層 10YR3/2 埴間色土 バミス灰(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)少量,炭化灰(φ1~5mm)微量
- 第9層 5YR4/6 赤褐色土 バミス灰(φ1~5mm)微量,焼土層,火床面
- 第10層 10YR3/4 埴間色土 バミス灰(φ15mm)極微量,焼土粒(φ1~2mm)微量
- 第11層 10YR3/4 埴間色土 バミス灰(φ1~4mm)少量,炭化灰(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)微量
- 第12層 7.5YR4/6 褐色土 火床面,焼土層
- 第13層 10YR3/2 埴間色土 ローム灰(φ1~9mm)微量,バミス灰(φ1~4mm)微量
- 第14層 10YR4/4 褐色土 ローム灰(φ1~9mm)少量,バミス灰(φ1~7mm)中量,炭化灰(φ1~4mm)極微量,焼土粒(φ1~5mm)微量
- 第15層 10YR5/5 黄褐色土 バミス灰(φ1~7mm)少量,バミスブロック(φ15~20mm)極微量,ローム土状(天井崩落)
- 第16層 10YR3/2 埴間色土 ローム灰(φ1~5mm)微量,炭化灰(φ5mm)極微量,焼土粒(φ3~5mm)微量,焼土ブロック(φ10~15mm)微量
- 第17層 10YR3/2 埴間色土 バミス灰(φ1~7mm)少量,炭化灰(φ1~2mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)少量,焼土ブロック(φ10~30mm)微量,焼土土体
- 第18層 10YR4/4 褐色土 バミス灰(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ10~20mm)微量,焼土粒(φ1~9mm)少量,7.5YR4/4褐色土混入
- 第19層 10YR3/4 埴間色土 バミス灰(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1~4mm)微量
- 第20層 10YR4/4 褐色土 バミス灰(φ1~7mm)微量,バミスブロック(φ10~15mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量
- 第21層 10YR4/4 褐色土 バミス灰(φ1~5mm)微量
- 第22層 10YR4/4 褐色土 バミス灰(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ10~25mm)微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量
- 第23層 7.5YR5/6 明褐色土 バミス灰(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ5~9mm)微量,ローム層
- 第24層 10YR3/4 埴間色土 ローム灰(φ5~9mm)微量,バミス灰-ブロック(φ1~15mm)微量,炭化灰(φ1~9mm)極微量,焼土粒(φ1~3mm)極微量
- 第25層 7.5YR5/6 明褐色土 バミス灰(φ1~9mm)微量,焼土粒(φ1~2mm)極微量
- 第26層 10YR5/6 黄褐色土 バミス灰(φ1~5mm)少量,バミスブロック(φ15mm)極微量,炭化灰(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量



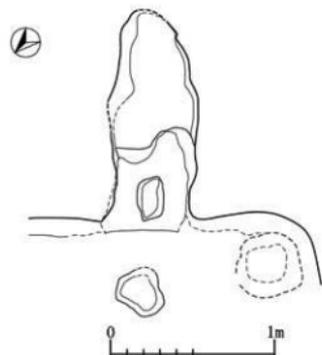
SK-59カマドセクション  
KE 9,300m



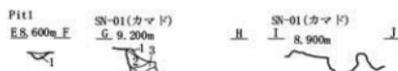
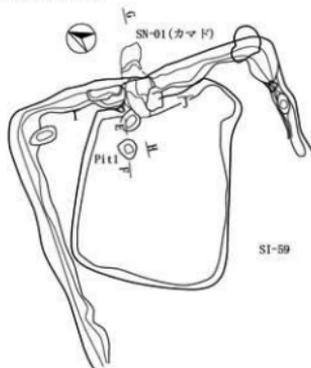
SI-59カマド土器・石器・鉄関連遺物出土位置図



SI-59カマド掘り方

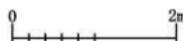


SIa-02 (SK-313)

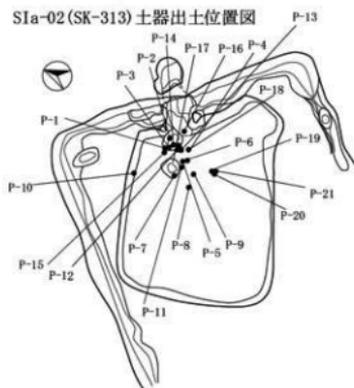


SIa-02 (SK-313) Pit1  
 第1層 10YR4/4 褐色土 ロームブロック (φ10~15cm) 微量, パミス粒 (φ1~5mm) 少量, 炭化粒 (φ1~5mm) 微量, 炭化物 (φ10~30mm) 極微量, 焼土粒 (φ1~5mm) 極微量

SIa-02 (SK-313) SN-01  
 第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒 (φ1~5mm) 微量  
 第2層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒 (φ1~5mm) 微量, 炭化粒 (φ1~2mm) 極微量  
 第3層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒 (φ1~5mm) 微量, パミスブロック (φ10~15cm) 微量, 炭化粒 (φ1mm) 極微量  
 第4層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒 (φ1~5mm) 微量, 炭化粒 (φ1mm) 極微量  
 第5層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒 (φ1~5mm) 微量, パミスブロック (φ30cm) 極微量, 炭化粒 (φ1mm) 極微量



SIa-02 (SK-313) 土器出土位置図

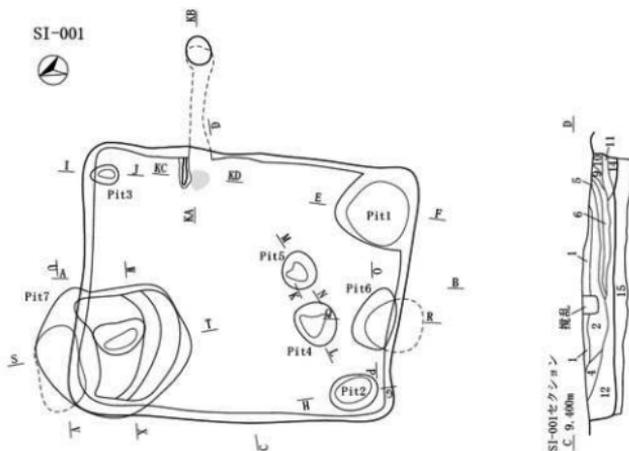


分から再掘削されているが、南壁側は南側に浅くテラス状に凹んだ状況となっている。廃棄時までの地盤の弱さに起因するか不明であるが、開き気味に立ち上がる形状を呈した可能性がある。カマドは北東2の位置から検出し、主軸方位は堅穴の軸線に沿う形ではなく、SI-59の壁面を意識した軸線にしており、カマドの軸線はN-48°-Eである。堅穴の主軸はN-72°-Eで24°差が生じている。土坑掘りの精査であったため、記録図が断片的であるが、袖幅約50cm、煙道長45.0cmを測る。出土遺物の出土状況を見るとD109として図示した資料はSI-59掘いのP-4以外はSIa-02 (SK-313) のカマド前庭部周辺から出土 (SIa-02 P-1~4, 9・13~19・21) が相当し、床面直上の第d・k層主体したことがわかる。

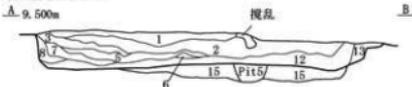
図 1-286 D-2 区 SI-59・SIa-02-4

V-2  
D-2区

SI-001



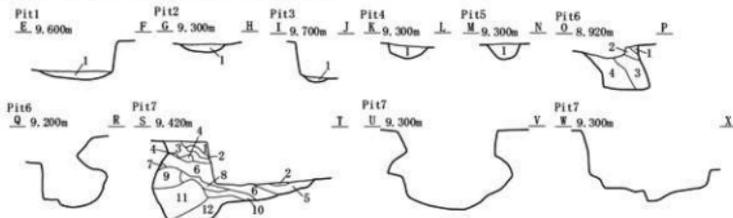
SI-001セクション



SI-001

- 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量
- 第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5~10mm)微量
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第4層 10YR2/3 暗褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 ローム粒(φ5~10mm)微量
- 第5層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ3~10mm)微量
- 第6層 10YR2/2 暗褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第7層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第8層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量
- 第9層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量

- 第10層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第11層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- 第12層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~30mm)中量,炭化粒・物(φ5~15mm)少量,焼土粒(φ5~10mm)微量,8-Tp山吹層上部に層状に混入
- 第13層 10YR4/6 褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,焼土層下部に層状に混入
- 第14層 10YR4/4 褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第15層 10YR4/6 褐色土 筋床 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量



- Pit1 第1層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量,焼土粒(φ5~10mm)微量
- Pit2 第1層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)微量,炭化粒(φ10~15mm)微量
- Pit3 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒・炭化物(φ5~30mm)微量
- Pit4 第1層 10YR3/4 暗褐色土 ローム・ブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- Pit5 第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム・ブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- Pit6 第1層 10YR5/6 黄褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)微量
- 第2層 10YR2/3 暗褐色土 炭化粒(φ3~5mm)微量,ローム粒(φ5~10mm)微量
- 第3層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- 第4層 10YR4/6 褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量

- Pit7 第1層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量
- 第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ3~5mm)微量,8-Tp山吹層
- 第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第4層 10YR5/8 黄褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量
- 第5層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- 第6層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- 第7層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ5mm)微量
- 第8層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第9層 10YR3/4暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量
- 第10層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~20mm)少量
- 第11層 10YR3/3暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合土 炭化粒(φ3~5mm)微量
- 第12層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量

図1-287 D-2区 SI-001-1

## S1-001 (図1-287～290)

D-2区の南側から検出した。平面形は長方形を呈し、 $39.0 \times 32.7 \times 39.0 \text{ cm}$ を測る。ピットは壁内から7ピット検出したが、主柱穴として明確に認定できるピットは無い。また、北隅のPit7は袋状に入り込んだ土坑状の掘り込みで覆土中から後述する黒色土器碗が一括して出土した。貯蔵穴として機能した可能性がある。堆積土は15層に分層し、掘り方がほぼ全面にあり、ローム主体の土が充填されている。床面直上に堆積した第12層の上面にB-Tm火山灰が堆積しており、第12層の堆積が薄い北側のPit7周辺では床面直上に相当する地点(Pit7第2層)からB-Tm火山灰を検出している。カマドは南東2の位置から1基検出した。精査時に右袖が欠測しているが、記録写真を確認したところ、基本土層の第14層が右袖に相当し、ベルト除去時に誤って掘削された可能性が高い。構造は地下式で、ベルト位置から推定した袖幅は幅50cm程度、煙道長は142.0cmを測る。主軸方位はN-116°-Eである。煙道は下がりながら外側に向かっており、煙出ピットとは軸線のずれがあまりないまま連結されている。遺物は左袖側に集中した出土状況を見ている。

出土遺物は20点図示したが、D115～D117は同一個体の須恵器の体部片である。同一資料はD002に図示したS1-05・005中からも出土しており、明灰色を呈し、内外面ともピッチが附着し、断面まで灰色を呈し良好な焼成である。外面には自然釉が軽く附着した状態でやや大きめの破片であるD115は外面の輪積み痕が残っている。タタキ目は3cmあたり9条で、内面はナデや指オサエの痕跡は残存しているが、当て具痕は観察されない、非五所川原産の可能性が高い資料である。D119は第13層P-26出土の土師器坏で、口径11.2cm、器高3.7cm、底径6.0cm、器高指数33.0、底径指数53.5を測る。海綿骨針を微量含むやや粘りの弱い胎土で、浅身で底径幅があり、底部の器壁が肥厚した資料で、口唇部は先細りの形状で伸ばし上げるように立ち上げている。内外面とも二次被熱を受け、褐色している箇所も見られる。D120は第12層P-37出土の土師器碗で底径4.4cmを測る。海綿骨針を含むやや粘りのある胎土であるが、内面側は、ガラス分や炭化した附着物、鉄分や緑青気味の硬質附着物等熔着している。破断面には熔着していないことから口縁部側の欠損前に熔着した可能性が高い。外面側は熔着範囲に対応する形で体部上半～体部下半にかけ灰色～黒灰色に変色しており、高い温度にさらされた可能性が高い。D121は第8層P-13出土の製塩土器片である。土坑状のPit7からはD122～

D134に図示した黒色土器碗が一括して出土しており、同質の資料が第12層P-37から出土し、D118に図示した。破片の状況も類似した特徴で、実質的に同時期ないしは近接した時間に廃棄に伴っている。

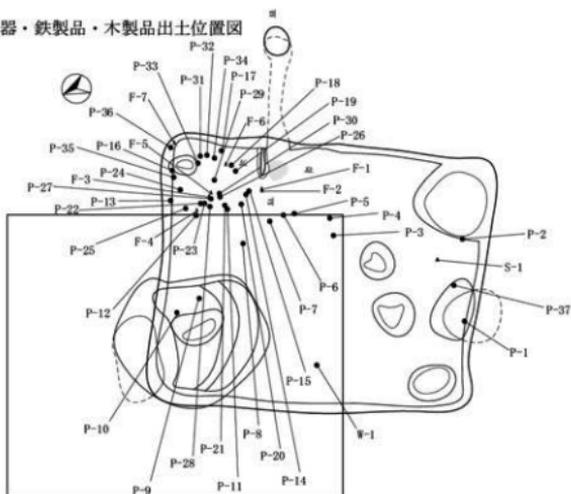
全体的にみて、外面体部～底部を打ち欠いて廃棄されている資料がほとんどで、底部側を打ち欠く意図的な行為がなされている。剥落した部分にもピッチが附着している箇所が見られ、一部二次被熱が生じている資料も若干存在し、火熱を受けた可能性がある資料もある。胎土は水肥され、海綿骨針を含む粘りのある胎土で、比較的器壁が厚みを持っている。D123やD125のように体部を膨らみを持たせた碗形を呈するものとD122・D126のように若干段をつけ立ち上がるものなども見られるが、外面側を口縁部～体部にかけて磨く資料が多い。外面の黒色化は磨いた部分全てが黒色化しているわけではなく、口縁部周辺で、一部の資料は体部下半まで黒色化している資料もあるが、その部分は磨かされていないなど黒色化と磨きの範囲について対応関係がない状況である。底部切離しは右回転糸切のほかD123・D124のように静止糸切の資料が含まれる。また、内面についても磨きは全面にみられているものの、黒色化した部分が口縁部のみという資料がD123・D124・D132・D134と見られる。これは黒色土器が使用時の被熱によって黒色部分が剥けた資料ではなく、製作時の時点で、吸炭作業を行った際に重ねた状態で伏せ焼きにし、重なった部分のずれた部分のみが黒色化している状況である。内面のヘラミガキそのものもD124・D125・D127・D131などに見られるようにやや乱雑な方向にヘラミガキが行われているなど雑駁な造りであることから、焼成時にもまとめて焼成するなど生産性優先で製作されたものである。出土状況としても同一建物内の床面から一部破片が出土しているものの、土坑状のPit7からほとんどまとめて出土していることから製作・焼成から使用段階までまとまった資料であった可能性が高い。内面の見込み部分の摩滅が顕著な資料があるため、ある程度の使用は想定されるものである。

## 2. 土坑

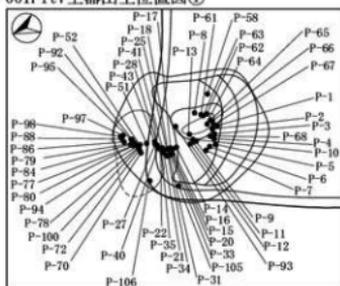
## SK-311 (図1-291)

D-2区中央から南側で検出した。平面形は小判形を呈し、 $18.7 \times 6.8 \times 4.6 \text{ cm}$ を測る。断面形は壁上部の一部で緩やかに立ち上がる箇所が見られる。堆積土は14層に分層し、埋め戻し等による人為堆積状況を呈する。覆土中から鉄滓が出土している。

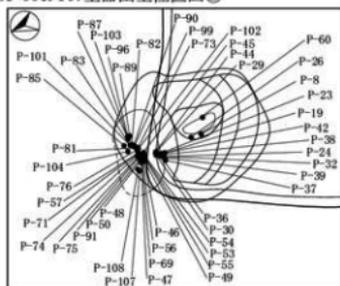
SI-001土器・石器・鉄製品・木製品出土位置図



SI-001Pit7土器出土位置図①



SI-001Pit7土器出土位置図②



SI-001火山灰・焼土範囲

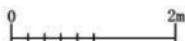
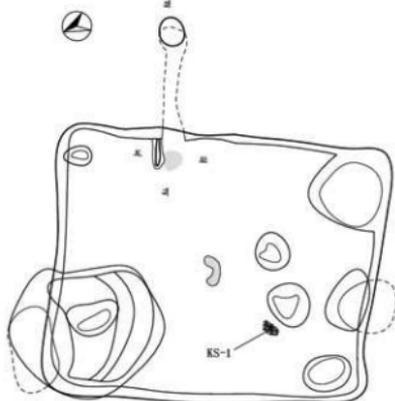
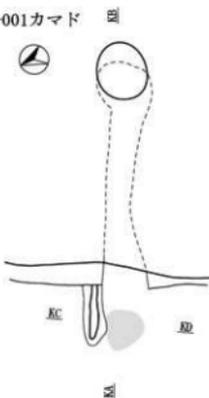


図 1-288 D-2区 SI-001-2

## SI-001カマド

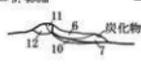


## 区

SI-001カマドセクタション  
KA, 9.600m

## SI-001カマドセクション

KC 9.400m



## SI-001



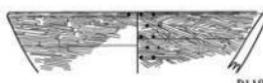
D115



D116



D117



D118



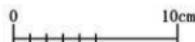
D119



D120



D121



- 第1層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ3~5mm)微量  
 第2層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~15mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量  
 第3層 10YK3/3 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,炭化粒(φ3~5mm)微量  
 第4層 10YK3/3暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合土 ロームブロック(φ10~20mm)微量,  
 炭化粒(φ3~5mm)微量  
 第5層 10YR4/6 褐色土 ローム粒・ブロック(φ5~15mm)少量,焼土粒(φ5~10mm)微量  
 第6層 10YR4/6 褐色土 ローム粒(φ5~10mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)微量,  
 焼土粒(φ5~10mm)微量  
 第7層 10YK3/4 暗褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,焼土粒(φ5~10mm)少量  
 第8層 10YK3/4暗褐色土と10YR5/8黄褐色土と混合土 ローム粒・ブロック  
 (φ5~20mm)少量,炭化粒(φ5~10mm)少量  
 第9層 10YK3/4 暗褐色土 ロームブロック(φ10~15mm)微量,炭化粒(φ5~10mm)少量,  
 焼土粒(φ5~10mm)微量  
 第10層 5YR5/8 暗赤褐色土 灰層部  
 第11層 5YR4/8 赤褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,袖部  
 第12層 7.5YR4/6 褐色土 ローム粒(φ5~10mm)微量,袖部

## SI-001Pit7

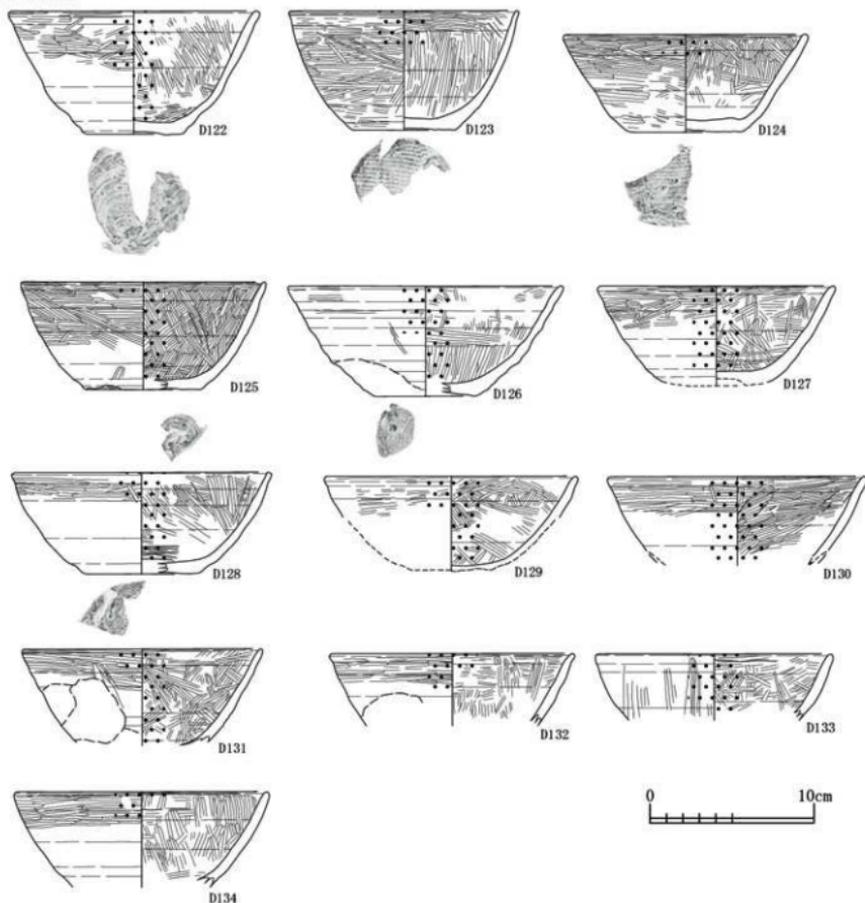


図 1-290 D-2 区 SI-001-3

## SK-312 (図1-291)

D-2区中央から南側で検出した。平面形は小判形を呈し、 $172.0 \times 83.0 \times 14.0$  cmを測る。断面形は垂直に近い形で立ち上がる部分と開き気味に立ち上がる箇所が見られる。堆積土は9層に分層し、流れ込みを含む自然堆積状況を呈する。

## SK-314 (図1-291)

D-2区南側から検出した。SD-83と重複しており、本遺構の方が古い。残存部の平面形は不整形楕円形を呈し、 $138.0 \times (79.0) \times 26$  cm

を測る。断面形は円筒状を呈している。堆積土は13層に分層しているが、SD-83の堆積土も一括した分層となっており、実質的には第8~13層の6層分で、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

## SK-316 (図1-291)

D-2区東側から検出した。平面形は不整形台形を呈し $124.0 \times 104.0 \times 27.0$  cmを測る。断面形は鍋底状に垂直に近い形で立ち上がる部分と袋状に入り込む部分がある。堆積土は7層に分層し、崩落が伴う自然堆積状況を呈する。



V-2  
D-2区

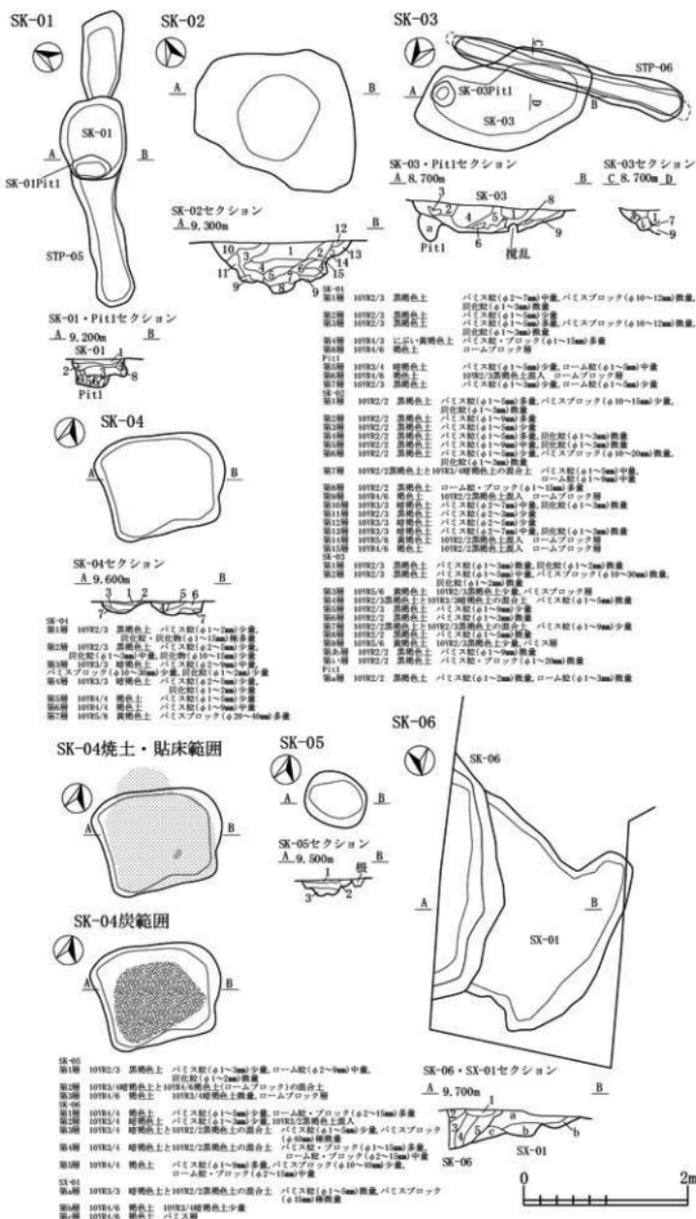


図 1-292 D-2 区 SK-2

を呈し、 $102.0 \times 79.0 \times 20.0$  cmを測る。また、底面の南西隅にはPit1とした落ち込みがあり、 $47.0 \times 30.0 \times 16.0$  cmを測る。堆積土はPit1の堆積土を含め8層に分層した。Pit1部分は柱穴状の堆積状況を呈しており、土坑部を含め人為的な堆積状況を呈する。

## SK-02 (図1-292)

D-2区中央で検出した。平面形は不整形を呈し $221.0 \times 158.0 \times 63.0$  cmを測る。断面形は凹凸が顕著で、中央が柱穴状に凹んでおり、壁が凹凸がありながらも開き気味に立ち上がる。堆積土は15層に分層し、埋め戻しの伴う人為的な堆積状況を呈する。

## SK-03 (図1-292)

D-2区西側で検出した。STP-06と重複しており、本遺構の方が新しい。平面形は不整形円形を呈し、 $219.0 \times 126.0 \times 32.0$  cmを測る。また、東端の底面上にPit1としたピットがあり、 $28.0 \times 27.0 \times 23.0$  cmを測る。堆積土はPit1部分を除き11層に分層し、人為的な埋め戻しに伴う堆積状況を呈している。Pit1部分は土坑部分が埋没する以前に埋め戻されている。

## SK-04 (図1-292)

D-2区南東側で検出した。底面および掘り方部分の検出であるが、平面形は隅丸方形を呈し、 $148.0 \times 123.0$  cmを測る。掘り方の深さは $17.0$  cmを測る。底面上から一部赤化した部分と炭化物を面的に検出しており、製炭土坑である可能性が高い。

## SK-05 (図1-292)

D-2区南東側で検出した。平面形は不整形円形を呈し $75.0 \times 66.0 \times 17.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、段状に立ち上がっている。堆積土は3層に分層し、埋め戻しに伴う人為的な堆積状況を呈する。

## SK-06 (図1-292)

D-2区南南東側で検出した。SX-01と重複しており、本遺構の方が新しいが、調査区境界部分の調査で検出し、別年度に延長部を実施した際に延長部を検出していない(道路部分に相当し、路床部の破壊があった)こともあり、全体形・規模等は不明である。検出部のみの情報としては不整形楕円形で、 $300.0 \times (78.0) \times 49.0$  cmを測る。断面形は開き気味に立ち上がる形状で、堆積土は5

層に分層し、人為的な堆積状況を呈する。

## SK-001・002 (図1-293)

D-2区南東で検出した。SK-001とSK-002は重複関係にあり、SK-002部分を埋め戻した上で、軸線を変え、拡張した土坑がSK-001となっている。記述に関して両遺構を含めて記載する。

SK-001は平面形が隅丸方形で、 $180.0 \times 161.0 \times 18.0$  cmを測る。断面形は鍋底形を呈し、垂直に近い形で立ち上がっている。堆積土は6層に分層し、底面の一部が焼土化し、炭化物が堆積しており、製炭土坑であった可能性が高く、腐絶後は流れ込みも含む自然堆積状況を呈している。

SK-002はSK-001の堆積土上にSK-002の覆土は検出しておらず、SK-001の底面より下部に相当する位置で検出を確認した。平面形は不整形隅丸方形で、 $98.0 \times 92.0 \times 30.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、開き気味に立ち上がっている。堆積土は1層でバミブロックを多量に含む土が充填されている。

## SK-011 (図1-293)

D-2区中央よりやや北側で検出した。SD-83と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形隅丸方形を呈し( $139.0$ )  $\times$   $137.0 \times 14.0$  cmを測る。断面形は鍋底状で、垂直に近い形で立ち上がる。堆積層は3層に分層し、底面直上に堆積する第2層が炭化物層で底面は赤変している。第1層中にB-Tm火山灰がブロック状に混入しており、本遺構は製炭土坑である。

## SK-012 (図1-293)

D-2区北東側で検出した。なお、本遺構とSK-013・014・015の4基は陥し穴と考えられ、D-2区の遺構配置図で図示したコンターラインと比較すると、逆L字状のコンターラインに沿った形で配置されており、関連性が考慮される。平面形は楕円形で $125.0 \times 101.0 \times 96.0$  cmを測る。中央よりやや東寄りの位置から逆茂木設置痕と考えられるピットを検出した $13.0 \times 12.0 \times 22.0$  cmを測る。堆積土は6層に分層し崩落が伴う自然堆積状況を呈する。

## SK-013 (図1-293)

D-2区北東側で検出した。前述のとおり陥し穴で、平面形は不整形円形を呈し、 $135.0 \times 121.0 \times 96.0$  cmを測る。また中央から南北方向にそれぞれ1つずつ合計2基の逆茂木設置痕があり、南側をPit1、北側をPit2としている。



Pit 1は16.0×14.0×23.0 cm、Pit 2は11.0×11.0×21.0 cmを測る。堆積土は9層に分層し、崩落土が伴う堆積で上面は人為堆積状況を呈する。

#### SK-014 (図1-293)

D-2区北東側で検出した。前述のとおり陥し穴で、平面形は不整形形を呈し、100.0×93.0×66.0 cmを測る。また、底面中央に逆茂木設置痕と考えられるピットを検出した。11.0×10.0×32.0 cmを測る。堆積土は6層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### SK-015 (図1-293)

D-2区北側で検出した。前述のとおり陥し穴で、平面形は不整形凹形を呈し、111.0×93.0×97.0 cmを測る。また、底面中央に逆茂木設置痕と考えられるピットを検出した。17.0×15.0×22.0 cmを測る。堆積土は12層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈している。

### 3. 焼成関連遺構

#### SN-20 (図1-294)

D-2区南側で検出した。SD-83と重複しており、本遺構の方が新しく、前庭側の土坑部が顕著に残存しており、煙道側の残存は顕著ではないが、SD-83よりも新しく、土坑部より明確に突出したものであったため製炭土坑とは区分した。形状は北方向に突出した形状を呈し、200.0×140.0×140.0 cmを測る。掘り方は前庭側に隅丸方形の掘り込みがあり、161.0×156.0×29.0 cmを測る。堆積土は18層に分層し、第6・7層の間と、第10層上面に炭化物層、その上位の第5層には焼土層が確認されている。

### 4. 溝状土坑 (Tピット)

#### STP-01 (図1-295)

D-2区中央よりやや西側から検出した。平面形は溝状で、348.0×68.0×103.0 cmを測る。断面形は短軸側では垂直に近い形で立ち上がり、中段で角度を変え若干開き気味で立ち上がる。また、長軸方向は両端とも袋状に入り込んでいる。

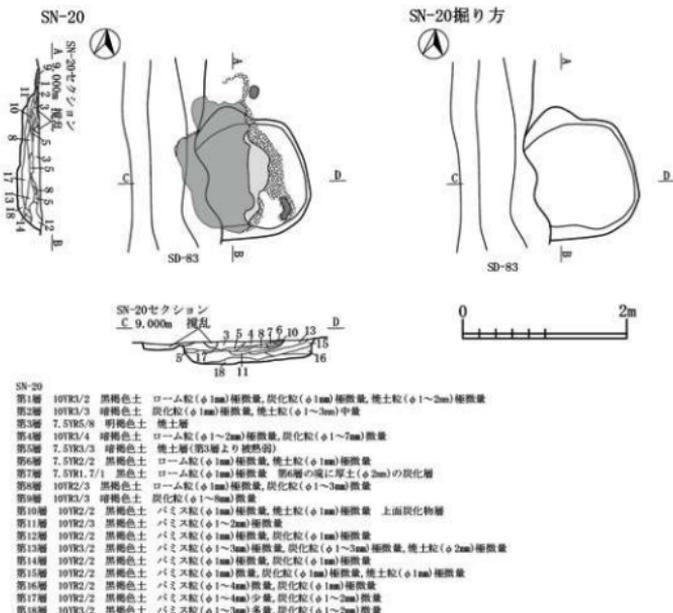


図 1-294 D-2 区 SN



堆積土は12層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈している。

#### STP-02 (図1-295)

D-2区中央よりやや西側の地点で検出した。平面形は溝状を呈し、 $305.0 \times 40.0 \times 90.0$  cmを測る。断面形は短軸方向では垂直に近い形で立ち上がり壁上部で角度を変え、開き気味に立ち上がる。長軸方向は、中央が最も深く、両端に向かって緩やかに立ち上がる形状である。また、両端とも袋状に入り込んでいる。堆積土は5層に分層し、崩落の伴った自然堆積状況を呈する。

#### STP-03 (図1-295)

D-2区西側から検出した。STP-04と平行しており、コンターラインともほぼ平行する形である。平面形は溝状で、 $263.0 \times 26.0 \times 106.0$  cmを測る。断面形は短軸方向では垂直に近い形で立ち上がり、壁上面で角度を変え、開き気味に立ち上がる。長軸方向は鍋底状に丸みを帯び立ち上がり、中段から若干開き気味に立ち上がっている。堆積土は8層に分層した。崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### STP-04 (図1-295)

D-2区西側から検出した。前述のとおりSTP-03と平行している。平面形は溝状で、 $284.0 \times 66.0 \times 104.0$  cmを測る。断面形は短軸方向で垂直に近い形で立ち上がり、壁中段よりやや上の位置から角度を変え、開き気味に立ち上がる。長軸方向は垂直に近い形で立ち上がる。堆積土は10層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### STP-05 (図1-295)

D-2区中央から検出した。SK-01と重複しており本遺構の方が古い。平面形は溝状を呈し $362.0 \times 52.0 \times 11.0$  cmを測る。溝状土坑としては非常に浅く、堆積土の記録も不十分であるため、詳細な情報は不明であるが、STP-01とした溝状土坑に近接しており、ほぼ類似した軸線で斜面に直交する形で掘削が行われていることから、調査時の遺構番号をそのまま尊重し本項目で掲載した。

#### STP-06 (図1-295)

D-2区西側で検出した。SK-03と重複しており、本遺構の方が古い。また、STP-01と同軸で斜面に直交した構築である。平面形は溝状を呈し、 $292.0 \times 43.0 \times 88.0$  cmを測る。断

面形は短軸方向が垂直に近い形で立ち上がり、長軸方向は両端とも袋状に入り込んでいる。堆積土は9層に分層し、一部崩落が伴う自然堆積状況を呈する。

#### STP-30 (図1-296)

D-2区中央から検出した。平面形は溝状で、 $390.0 \times 61.0 \times 93.0$  cmを測る。壁は垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で角度を変え、若干開き気味に立ち上がる。堆積土は5層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### STP-31 (図1-296)

D-2区南側で検出した。SD-83と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は溝状を呈し、 $368.0 \times 49.0 \times 90.0$  cmを測る。壁は垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で角度を変え、開き気味に立ち上がる。また、斜面下方の底面からPit1とした落ち込みを検出した。 $38.0 \times 17.0 \times 21.0$  cmを測る。堆積土は14層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。覆土中から縄文土器体部片が出土している。

#### STP-33 (図1-296)

D-2区中央より東側から検出した。平面形は溝状を呈し、 $396.0 \times 68.0 \times 139.0$  cmを測る。断面形は非常に細い溝状で、幅が8 cm程度の部分もあり、垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で角度を変え、開き気味に立ち上がる。堆積土は9層に分層し、崩落の伴う自然堆積状況を呈する。

#### STP-001 (図1-296)

D-2区南東から検出した。平面形は溝状で、 $295.0 \times 36.0 \times 93.0$  cmを測る。断面形は短軸側では垂直に近い形で立ち上がり、壁上部で角度を変え、開き気味に立ち上がる。長軸側では若干袋状に入り込む部分が見られる。堆積土は2層に分層し、自然堆積状況を呈する。

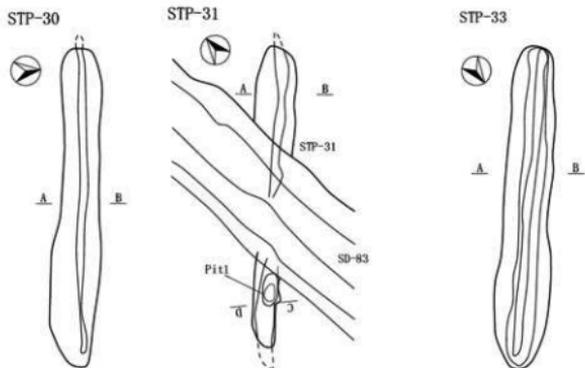
## 5. その他の遺構

#### SX-01 (図1-297)

D-2区南南東側で検出した。SK-06と重複しており、本遺構の方が古い。平面形は不整形を呈し、 $251.0 \times 250.0 \times 32.0$  cmを測る。断面形は凹凸があり、壁は開き気味に立ち上がる。堆積土は3層に分層し、ブロック混じりの埋め戻しに伴う堆積状況である。覆土中から縄文土器片を3点出土し、P-1出土の前期末円筒下層d<sub>3</sub>期の口縁部片を図示した。

#### SX-011 (図1-297)

V-2  
D-2区



STP-30セクション  
A 9,300m B



STP-31セクション  
A 9,000m B



STP-31セクション  
C 8,400m D



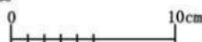
STP-33セクション  
A 9,500m B



STP-31

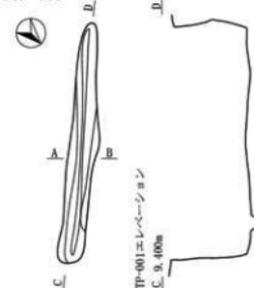


D135



- STP-30  
第1層 10YR2/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~7mm)少量  
第2層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~7mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)極微量  
第3層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~7mm)少量,パミスブロック(φ10~20mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第4層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~5mm)少量,パミスブロック(φ10~40mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第5層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~7mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
STP-31  
第1層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~2mm)中量,パミスブロック(φ10~15mm)極微量,ローム層  
第2層 10YR5/4 黄褐色土 ローム層  
第3層 10YR2/2 黒褐色土 パミス粒(φ1~7mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第4層 10YR4/3 にがい黄褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,パミスブロック(φ11mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)微量,生土粒(φ2mm)極微量  
第5層 10YR4/1 にがい黄褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,ロームブロック(φ10~30mm)微量,パミス粒(φ1~7mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第6層 10YR2/3 暗褐色土 ロームブロック(φ10~20mm)少量,パミス粒(φ1~2mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第7層 10YR2/3 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)微量,ロームブロック(φ10~40mm)中量,パミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第8層 7.0YR5/8 暗褐色土 ローム層  
第9層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1~2mm)微量  
第10層 7.0YR5/8 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,ローム主体  
第11層 10YR2/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第12層 7.0YR5/8 暗褐色土 ローム層  
第13層 10YR2/2 暗褐色土 ローム粒(φ1~5mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第14層 10YR2/1 黒色土 パミス粒(φ1~5mm)微量  
STP-33  
第1層 10YR2/3 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ2~4mm)微量  
第2層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第3層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第4層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~6mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第5層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量,パミスブロック(φ10mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第6層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第7層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)少量,炭化粒(φ1~2mm)極微量  
第8層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~6mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第9層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~5mm)中量,パミスブロック(φ10~30mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)微量  
第10層 10YR2/2 暗褐色土 パミス粒(φ1~2mm)微量

STP-001



STP-001セクション  
A 9,400m B



STP-001

- 第1層 10YR2/2 暗褐色土 ローム粒(φ2~5mm)微量  
第2層 10YR2/2 暗褐色土 ローム粒(φ2~10mm)少量



図 1-296 D-2区 STP-2



D-2区西側から検出した。SP-030～032と重複しており、木遺構の方が新しい。擾乱により一部破壊されており、斜面下方の調査区外へ延びているが、検出部分の規模は956.0×303.0×27.0cmを測る。壁は緩やかに立ち上がり、堆積土は5層に分層し、埋め戻しによる人為的堆積状況を呈している。

## 6. 掘立柱建物跡・ピット (図1-298・299)

調査区内から31基のピットを検出した。個別のピットの規模等については遺構観察表に取りまとめたが、調査区西側に所在するSP-01～08とSP-16については、西側の調査区外に延びる可能性が非常に高い資料であるが、掘立柱建物跡と認定し、SBa-21とした。桁桁3間、梁行2間で、主軸方位はN-89°-Wである。梁行の中央に独立棟持柱が設けられている。

## 7. 溝跡

### SD-83・83b (図1-300～304)

D-2区中央の北端から南端にかけて検出した。この溝跡はA-1区ではSD-01・02、A-2区ではSD-001、A-4区ではSD-51b、E区ではSD-51など調査地点ごとに別々の名称で呼称されているが、実質的に大規模区画をなした溝跡の一部である。E区のSD-51部分で全体の記述については触れているので、本項では本調査区内で検出した溝跡についてのみ記載する。

本調査区内では長さ約110mを検出し、二度掘削されており、新旧関係が生じている。北側の調査地点では一括してSD-83と取り扱っているが、南側の調査地点では新旧二つに分けており、新しい方をSD-83とし、古い方をSD-83bとして取り扱っている。新しい方のSD-83の方が栗研堀状のV字に近い掘り込みで幅205～210cm、深さ83.0～108.0cmを測る。SD-83bとした古段階の溝は箱堀状の逆台形状の形状で、新しい方に一方の壁が切られているため詳細は不明であるが、幅(140)～(170)cm程度、深さ64.0～89.0とSD-83より若干浅めである。また、北側の地点では底面から小ピット状の落ち込みを7基検出している。底面からの深さが5～10cm程度と浅めである。出土遺物は古代の須恵器・土師器・土製支脚、縄文土器の破片等が出土しているが、溝が機能した時期と想定される中世の遺物は出土していない。

### SD-84 (図1-300・302)

D-2区南西側の調査区境から検出した。西側の立ち上がりは検出しておらず、東壁の一部のみの検

出で、長さ18.8m、幅(130.0)cm、深さ44.0cmを測る。

### SD-001 (図1-305)

D-2区の北側で、東西軸の溝跡として検出した。D-1区のSD-013と接し、D-1区SD-013・15・010、E区SD-112へつながる溝である。本調査区内では長さ14.3m、幅55～78cm、深さ18～25cmを測る。



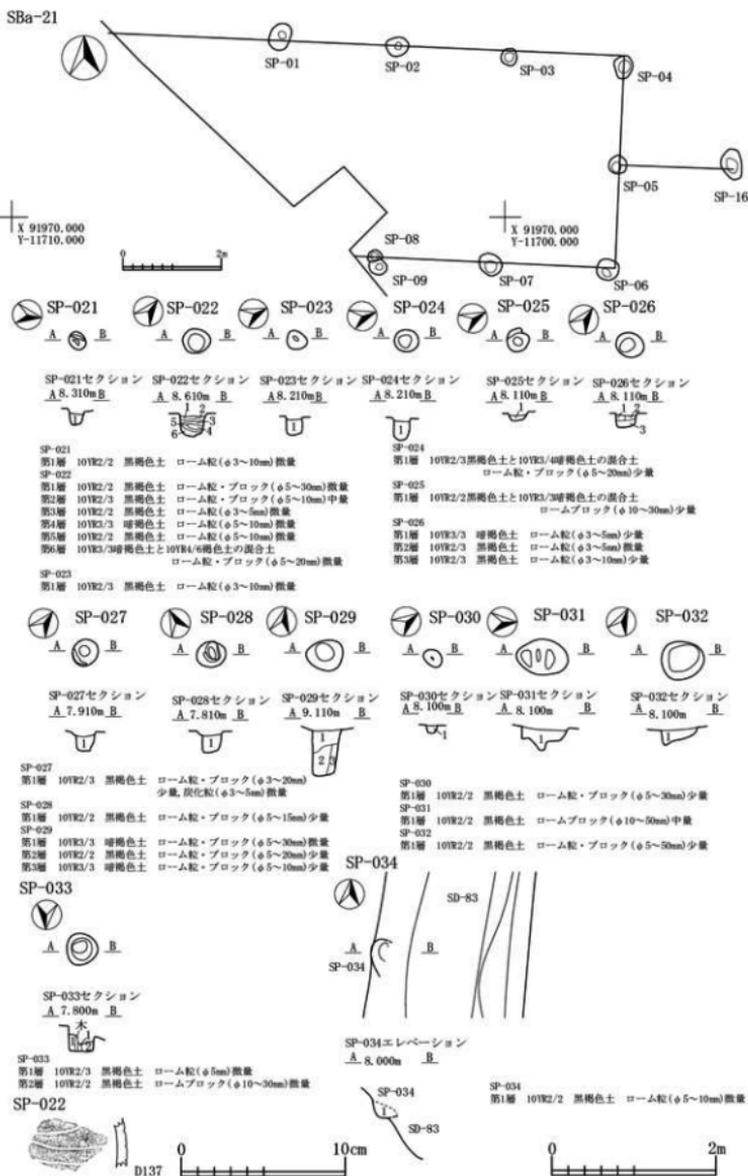
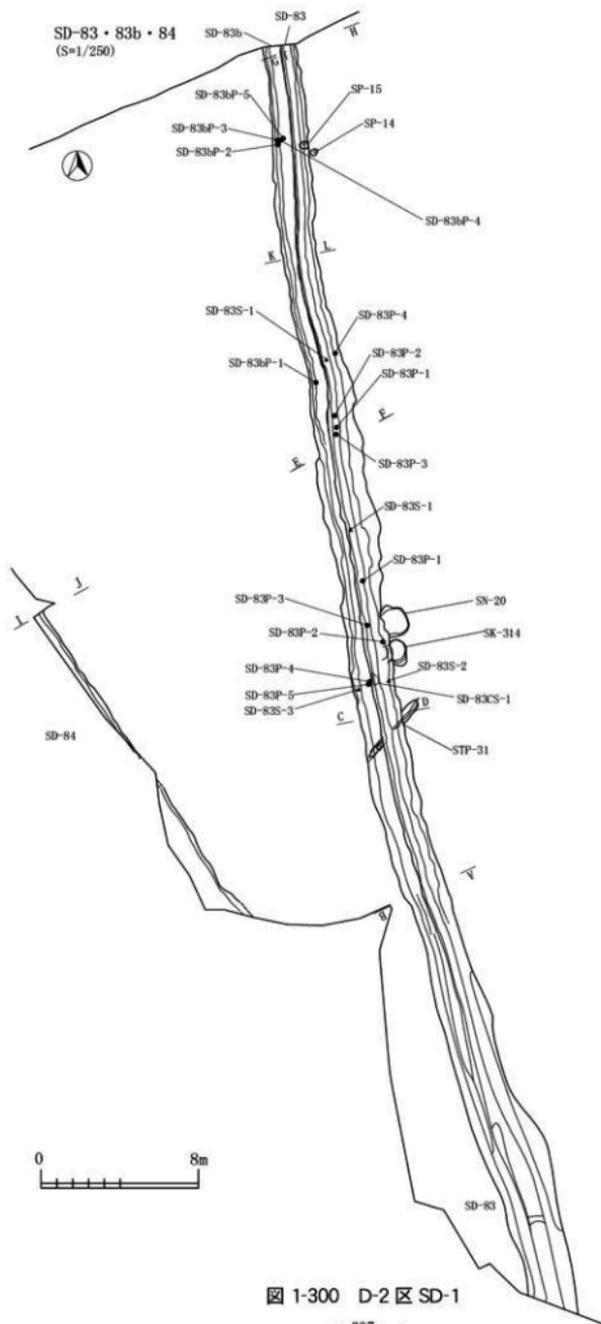
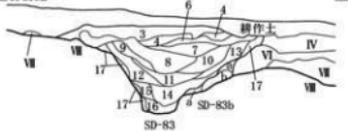


図 1-299 D-2 区 SP-2,SBa



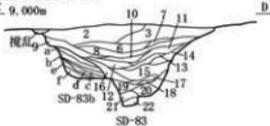
SD-83-83b-基本層序②セクション  
A. 9, 300m



SD-83			
第9層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第4層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~2mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R1/7	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量, 焼土粒(φ1mm)微量
第9層	10R3/4	暗褐色土	ロームブロック(φ10~20mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量
第9層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, バミスブロック(φ10mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量
第10層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第11層	10R1/7	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第12層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第13層	10R2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ15mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第15層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量

第9層	10R2/2	黒褐色土	ロームブロック(φ10mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量
第17層	10R3/3	暗褐色土	ロームブロック(φ5~9mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)微量
第9層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
基本層序④			
第V層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第V層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, バミスブロック(φ10mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第VI層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第9層	10R5/6	黄褐色土	バミス層
第9層	10R5/6	黄褐色土	ローム層

SD-83-83bセクション  
C. 9, 000m



SD-83-基本層序①セクション  
G. 10, 100m



SD-83			
第9層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, バミスブロック(φ15~20mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, バミスブロック(φ10~25mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第10層	10R1/7	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第11層	10R1/7	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第12層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第13層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第14層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10~15mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量

SD-83			
第10層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量, 焼土粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第11層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第12層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第13層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第14層	10R3/2	暗褐色土	ロームブロック(φ15mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第15層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量
第16層	10R2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第17層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1mm)微量
第18層	10R3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第19層	10R2/1	黒色土	ロームブロック(φ10mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第20層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)中量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第21層	10R2/1	黒色土	ロームブロック(φ15mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第22層	10R3/2	黒褐色土	ローム(φ5mm)微量, バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量

SD-83b			
第9層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10~30mm)微量
第9層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~2mm)微量
第9層	10R3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~2mm)微量

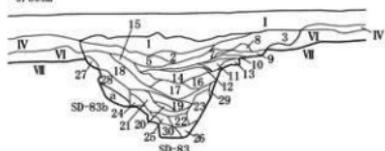
基本層序①

第1層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第2層	10R2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第3層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第V層	10R3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)少量, バミスブロック(φ10~20mm)微量, 炭化粒(φ1~5mm)微量
第9層	地山	バミス層	
耕作土	10R5/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)中量, バミスブロック(φ10~25mm)少量

図1-301 D-2区SD-2

SD-83・83b・基本層序②セクション

E. 9,600m



層	地層記号	土質	構成
第1層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~3mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第2層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)極微量
第7層	10YR3/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第8層	10YR2/1	暗褐色土	バミス粒(φ1~4mm)微量,炭化粒(φ1mm)極微量
第9層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~4mm)極微量
第10層	10YR3/3	暗褐色土	バミス・ブロック(φ10~20mm)少量,炭化粒(φ1~1mm)極微量
第11層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第12層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第13層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第14層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第15層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~4mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第16層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~4mm)微量,バミスブロック(φ10mm)極微量
第17層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)極微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1~9mm)極微量
第18層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第19層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第20層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量
第21層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ15mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量,焼土粒(φ1~4mm)極微量
第22層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第23層	10YR3/2	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第24層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)微量,焼土粒(φ1mm)極微量
第25層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~4mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量,焼土粒(φ1mm)極微量
第26層	10YR3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)中量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第27層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ10~15mm)極微量,10YR4/4ブロック(φ30~40mm)微量
第28層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~4mm)少量,バミスブロック(φ15mm)極微量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第29層	10YR3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)微量
第30層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ5~9mm)微量,ロームブロック(φ30mm)極微量,バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量

SD-83bセクション

K. 9,200m



層	地層記号	土質	構成
第1層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒・ブロック(φ2~15mm)中量,ローム粒(φ2~9mm)中量
第2層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒・ブロック(φ2~20mm)少量,ローム粒(φ2~20mm)多量
第3層	10YR2/3	黒褐色土	バミス粒(φ2~5mm)少量,ローム粒(φ2~5mm)中量,炭化粒(φ1~3mm)微量
第4層	10YR4/6	褐色土	ロームブロック層

SD-84・基本層序②セクション

L. 9,600m

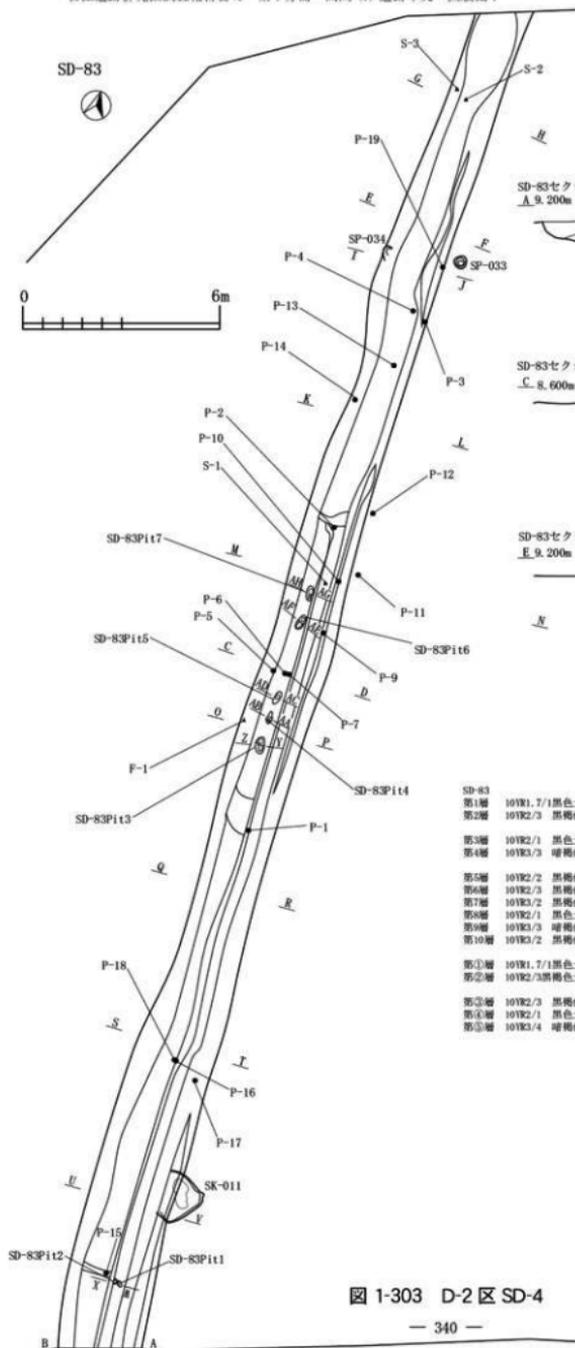
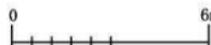


層	地層記号	土質	構成
第6層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~4mm)微量,炭化粒(φ1~4mm)極微量
SD-84			
第1層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm),炭化粒(φ1~9mm)微量
第2層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ5~9mm)微量,バミス粒(φ1~9mm),炭化粒(φ1~3mm)微量,10YR1, 7/1黒色土ブロック(φ10~35mm)少量
第3層	10YR2/1	黒色土	バミス粒(φ1~9mm)微量,炭化粒(φ1~3mm)微量,10YR1, 7/1黒色土ブロック(φ10~40mm)微量
第4層	10YR1, 7/1	黒色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,バミスブロック(φ20mm)極微量,炭化粒(φ1~5mm)微量
第5層	10YR3/2	暗褐色土	バミス粒・ブロック(φ1~60mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)微量
基本層序②			
第1層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,炭化粒(φ1~3mm)極微量
第2層	10YR2/2	黒褐色土	バミス粒(φ1~5mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第3層	10YR3/3	暗褐色土	バミス粒(φ1~7mm)微量,炭化粒(φ1~2mm)極微量
第4層	10YR3/2	暗褐色土	焼飯量,炭化粒(φ1~5mm)極微量
第5層	10YR3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~15mm)微量
第6層	10YR3/4	暗褐色土	バミス粒(φ1~9mm)少量,バミスブロック(φ10~50mm)微量,炭化粒(φ1~5mm)極微量
第7層	10YR5/6	黄褐色土	地山バミス層(月見野火山灰層)

図 1-302 D-2区 SD-3

V-2  
D-2区

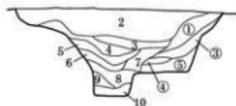
SD-83



SD-83セクション

A 9.200m

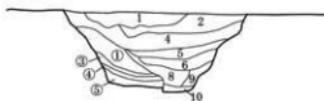
B



SD-83セクション

C 8.600m

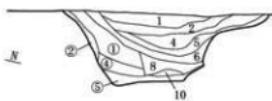
D



SD-83セクション

E 9.200m

F



SD-83

- |      |                             |                                    |
|------|-----------------------------|------------------------------------|
| 第1層  | 10YK1.7/1黒色土                | ローム粒(φ3~5mm)微量                     |
| 第2層  | 10YK2/3 黒褐色土                | ローム粒、ブロック(φ3~20mm)微量、炭化粒(φ3~5mm)微量 |
| 第3層  | 10YK2/1 黒色土                 | ローム粒(φ5~10mm)微量                    |
| 第4層  | 10YK3/3 暗褐色土                | ローム粒、ブロック(φ5~30mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量   |
| 第5層  | 10YK2/2 黒褐色土                | ローム粒、ブロック(φ5~40mm)微量               |
| 第6層  | 10YK2/3 黒褐色土                | ローム粒(φ3~5mm)微量                     |
| 第7層  | 10YK3/2 黒褐色土                | ローム粒(φ3~10mm)微量                    |
| 第8層  | 10YK2/1 黒色土                 | ローム粒(φ3~10mm)微量                    |
| 第9層  | 10YK3/3 暗褐色土                | ローム粒(φ3~5mm)少量                     |
| 第10層 | 10YK3/2 黒褐色土                | ローム粒、ブロック(φ5~20mm)少量、炭化粒(φ3~5mm)微量 |
| 第①層  | 10YK1.7/1黒色土                | ローム粒(φ2~5mm)微量                     |
| 第②層  | 10YK2/3暗褐色土と10YK3/3暗褐色土の混合土 |                                    |
| 第③層  | 10YK2/3 黒褐色土                | ロームブロック(φ10~20mm)微量、納豆土            |
| 第④層  | 10YK2/1 黒色土                 | ローム粒(φ2~5mm)微量                     |
| 第⑤層  | 10YK3/4 暗褐色土                | ローム粒(φ5~10mm)中量                    |

図 1-303 D-2区 SD-4

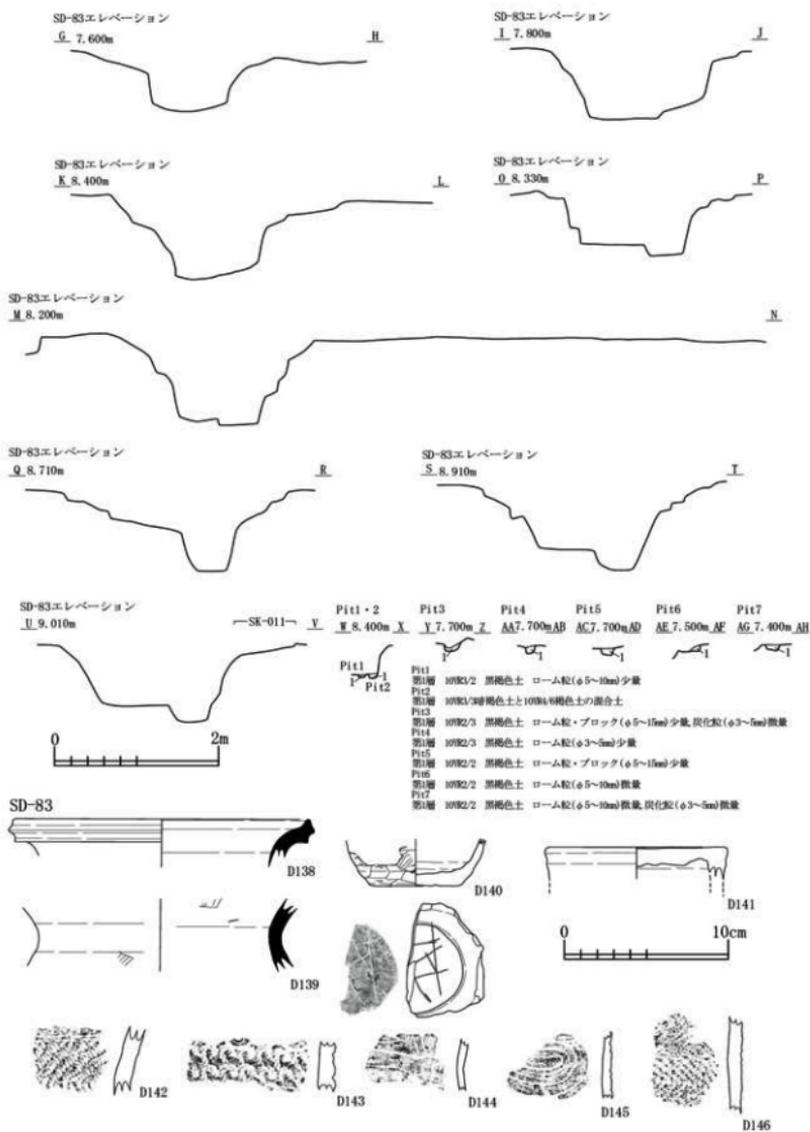


図 1-304 D-2区 SD-5

SD-001

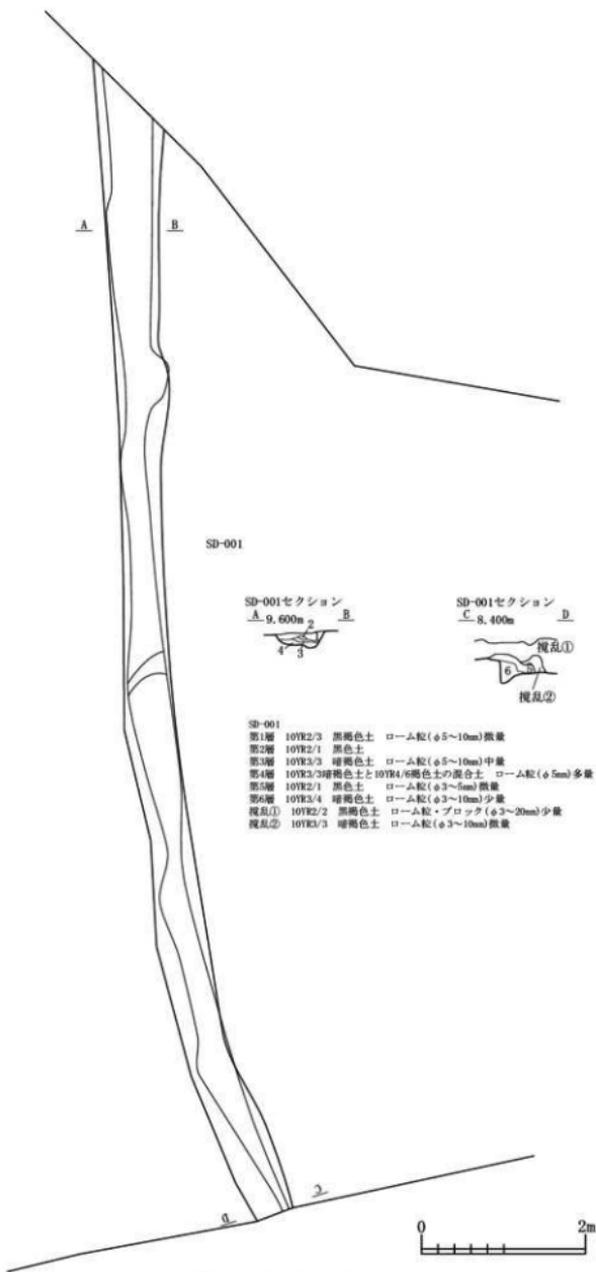


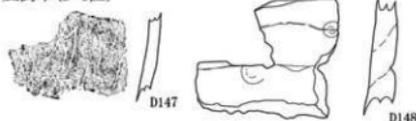
図 1-305 D-2 区 SD-6

## 第3節 D区遺構外出土遺物 (図1-306・307)

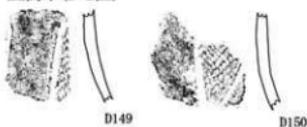
風倒木出土資料を含めて24点図示した。遺構についてD-1区・D-2区と区分して掲載したが、一部の遺物が小区画名の付かないD区として一括した取り上げがなされていた。他の調査区では小区画単位で遺構外遺物を掲載しているが、本調査区の掲載に際しては取り上げ時の事由により一括した掲載として本節を設定した。

個別の資料について詳述はしないが、破片資料がほとんどで、縄文土器については前・中・後・晩期の資料が認められる。古代の資料はD159に図示した須恵器坏とD148に図示した製塩土器の破片のみで、D160は渥美窯の壺の底部資料で、底部に軸着痕が確認できる。薄片石器は石鏃(D161)、縦型石匙(D162)、不定形石器(D163~165)、礫石器の敲磨器類(D166・167)である。古銭は寛永通寶(D168・169)、大正時代の小型5銭白銅貨も出土している。

風倒木(D-1区)



風倒木(D-2区)



遺構外出土遺物

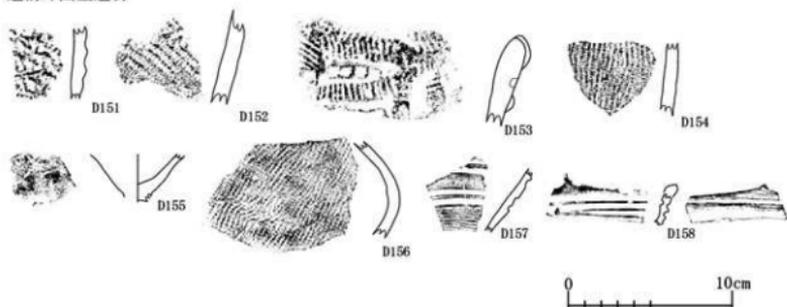


図1-306 D区遺構外出土遺物-1

遺構外出土遺物

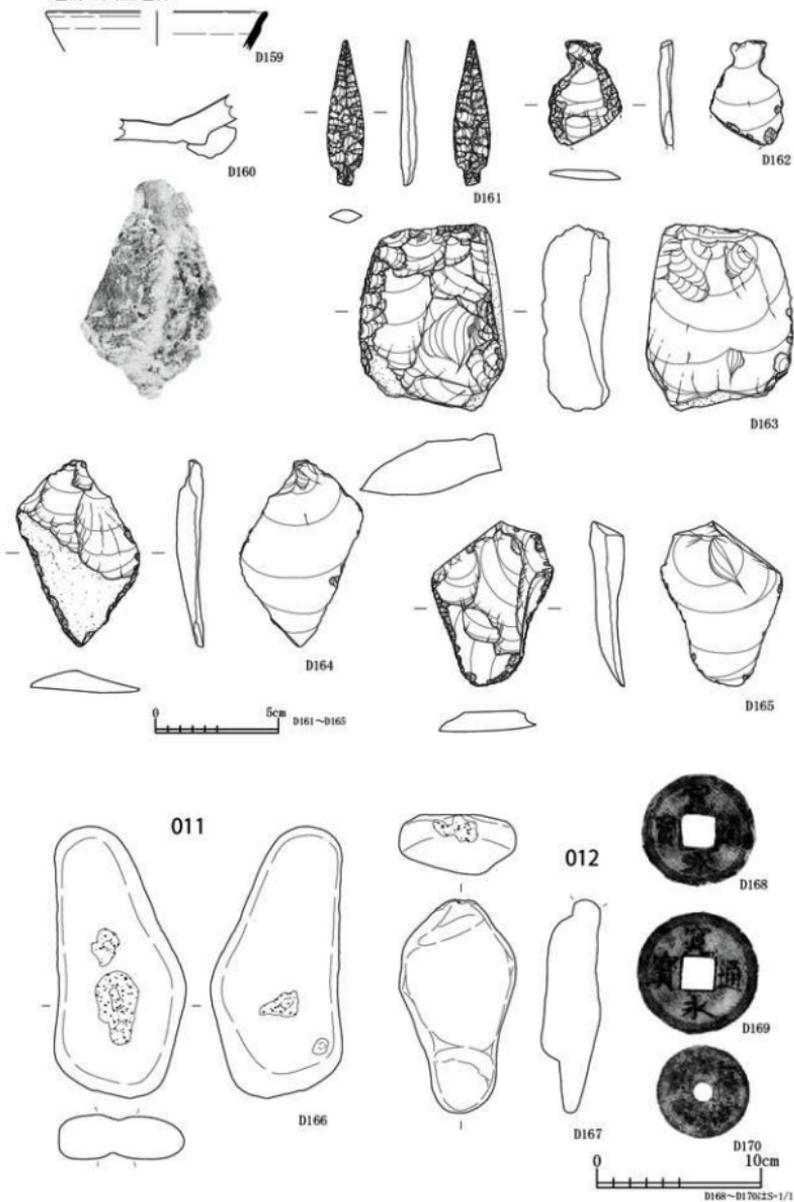


図 1-307 D区遺構外出土遺物-2

## 報告書抄録

ふりがな	いしえいせきぐんはくつちょうさほうこくしよく たかまかつこいちせきほんぐん・ずほんへんいち
書名	石江遺跡群発掘調査報告書VI 高間(1)遺跡本文・図版編1
副書名	石江土地区画整理事業に伴う発掘調査
シリーズ名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第113集-1
編著者名	木村淳一
編集機関	青森県教育委員会
所在地	〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号 TEL017-761-4796
発行年月日	西暦2013年3月29日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系 (JGD2000)		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
高間(1)遺跡 (A～D区)	青森県青森市大字石江 字高間1011ほか	00201	01070	40° 49' 43"	140° 41' 47"	(第1次) 20090101～ 2011112 (第2次) 20100811～ 2011119 (第3次) 20100728～ 2011119 (第4次) 20100529～ 20100701 (第5次) 20110121～ 2011102 (第6次) 20100905～ 20100111 (第7次) 20100422～ 20100428	29,087 (北緯経緯 別表参照)	土地区画 整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
高間(1)遺跡 (A～D区)	集落跡	縄文時代 弥生時代 平安時代 中世 近世 近・現代	竪穴住居跡 22軒 土坑 173基 井戸跡 2基 溝状土坑 30基 掘立柱建物跡 3棟 ビット 941基 溝跡 45条 鉄生産関連遺構 5基		縄文土器・石器・ 弥生土器・土師器・ 須恵器・かわらけ・ 陶磁器・鉄製品・ 鉄滓・木製品・ 土製品・石製品・ (焼夷弾)			

要約	<p>青森市西部に所在する石江遺跡群のうち高間(1)遺跡のA～D区の調査成果について所収した。高間(1)遺跡は新田(新田)川の右岸標高4.8～12.2mの丘陵上に位置する。北側には新田(1)・(2)遺跡、南東側に高間(4)遺跡が隣接している。</p> <p>発掘調査は、土地区画整理事業施工地内98,505㎡を対象に実施し、A～D区と設定した調査区の調査面積は29,087㎡である。</p> <p>調査区内からは縄文時代のフラスコ状土坑・溝状土坑(Tビット)、平安時代の竪穴住居跡・土坑・鉄生産関連遺構、中世の掘立柱建物跡・井戸跡・溝跡などを検出し、縄文土器・石器、弥生土器、土師器・須恵器・鉄製品・鉄滓・羽目・土製品、かわらけ・漆器・木製品、近現代の陶磁器などが出土した。</p> <p>現代の石江神明宮(明治32年建立)の前代の建立地がC区に該当する記録があり、発掘調査を実施したところ配列をなす柱穴が多数検出し、神社の跡地であることが裏付けられた。</p> <p>C区の東側の斜面の落ち際に古代の製錬炉と鍛冶炉が隣り合って構築されていた。周辺の古代の竪穴住居跡からはロクロビットを検出し、付近から焼成坑も検出した。生産活動が行われていたことが確認されている。</p>
----	--

既刊埋蔵文化財関係報告書一覧

青森市の文化財 1

青森市の文化財 1

青森市の埋蔵文化財調査報告書

青森市の埋蔵文化財調査報告書

青森市埋蔵文化財調査報告書第113集-1

青森市埋蔵文化財調査報告書

青森市埋蔵文化財調査報告書第113集-1

青森市埋蔵文化財調査報告書第113集-1

**石江遺跡群発掘調査報告書VI**

—石江土地区画整理事業に伴う発掘調査—

第1分冊 高間(1)遺跡本文・図版編I

発行年月日 2013年(平成25年)3月29日

編集 青森市教育委員会  
〒038-8505 青森県青森市柳川二丁目1番1号  
TEL 017-761-4796

印刷 青森オフセット印刷株式会社  
〒030-0802 青森市本町二丁目11番16号  
TEL 017-775-1431